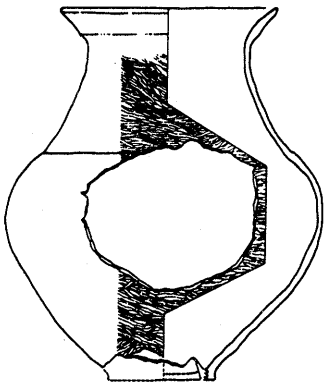
太宰府市の文化財　第39集

太宰府
佐野地区遺跡群Ⅷ

前田遺跡第7次・宮ノ本遺跡第9次調査報告



1998

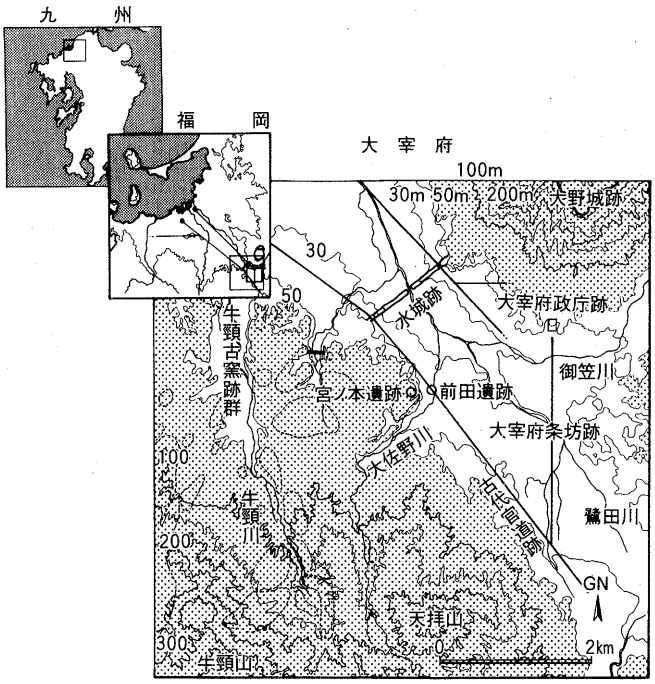
太宰府市教育委員会

正誤表

ページ	正	誤
目次	小結　213～217	小結　213～217
	調査区略測図　218	
	遺構番号台帳　219	
目次	出土遺物一覧表 220～221	出土遺物一覧表 218～219
目次	土器・鉄製釘計測表 222	遺物観察表 220～222
7、2行目	1350	800
49、SK168土色	6.人為的埋没層か	6.人造的埋没層か
49、SK168土色	12乳黄白色土	12.乳黄白色粒
84	7SK021黒灰土	7SK021黒粘土
84	7SK021黒色粘土	7SK021黒灰土
101	7SK220暗褐土	7SK021暗茶褐土
121	7SK220灰褐土	7SK220黒褐土
122、8行目	踏み込む	踏む込む
152　NO21	壺	小型丸底壺
152、NO21	鉢	壺
153	NO22	NO21
153	NO23	NO22
153	NO24	NO23
153	NO25	NO24
153	NO21	NO25
154、NO21	甕	壺
163、NO23	土師	須
163、NO7	R-020	R-010
164、NO8	R-010	R-020
167、NO1～3	S-220暗褐土	S-220暗褐土
174	7SX144NO8のスケール	3.7-0.7-0.45
187、S-21灰黒褐土	R-003	R-001
194、S-221	R-001	R-002

太宰府・佐野地区遺跡群 VIII

佐野地区土地区画整理事業に伴う調査
前田遺跡7次　宮ノ本遺跡9次



平成９年度

太宰府市教育委員会



前田7次の弥生前期土器



弥生前期高坏に施された
朱文



弥生時代前期住居跡
7SI065



宮ノ本遺跡第9次調査区全景（東から）



9ST020出土蔵骨器

序

太宰府市では次世代への継承を念頭に広大な面積を有する国の史跡指定地を維持・管理いたしております。すでに指定されている地域では漸次環境整備が進行し、史跡公園として住民をはじめとした様々な人々の憩いの場として活用されております。

今回報告いたします佐野地区遺跡群は、土地区画整理事業に伴っておこなった埋蔵文化財調査であります。今回の前田遺跡の調査では日本に稲作が伝播して間もない時期の弥生時代の集落の様子が良好な状態で見ることができ、宮ノ本遺跡では太宰府での古代の葬送の様相の一端が明らかにされ、旧石器時代から古代にかけての当地域の歴史のページに新たな項目を増やすこととなりました。

今後本報告が太宰府の研究の一助として、また広く文化遺産の保存と啓発に活用していただければ幸いに存じます。また、調査及び整理に参加されました作業員の皆様、調査にご理解ご協力いただきました地元の方々に対して、厚く御礼申し上げます。

太宰府市教育委員会
教育長　長野治己

例　言

1.　本書は平成2年度から平成7年度までに太宰府市教育委員会が調査した佐野地区遺跡群内での土地区画整理事業に伴う発掘調査に関係する成果をまとめたものである。

2.　本書に掲載した調査は、前田7次（平成2年度）、宮ノ本9次（平成8年度）の2地点の緊急調査である。

3.　本書に掲載した発掘調査の期間、面積、担当者などは各調査の報告部分に記載している。

4.　遺構の実測は各調査担当者の山村信榮、城戸康利ほか井上由紀子瀬口真司（現滋賀県埋蔵文化財協会）、塩地潤一（現大分市教育委員会）がおこなった。また、全体図の作成にあたっては委託契約による航空写真測量（1/50）による作図をおこなっている。遺構の写真撮影は上記の者のほか、調査区全景の空中写真は（有）空中写真企画がおこなった。

5.　遺構の実測には国土調査法第II座標系を利用した。したがって本書に示される方位は特に注記のない限りG.N.（座標北）を示している。

6.　遺物の実測は調査担当者の他、塩地潤一、山本麻里子、酒井三保子、黒木美幸、阿部浩子、白水文恵、松隈里恵子、時津裕子がおこない調査担当者が検査の上必要部分を修正、補足した。また遺物写真撮影は岡紀久夫（フォトハウスおか）、山村、高橋学がおこなった。

7.　図版の浄書は主として調査担当者および遺物実測者がおこなった。

8.　本書の執筆は各調査ごとの担当者がおこない、編集は山村がおこなった。

9.　本書に使用した図、写真、遺物については一括して太宰府市教育委員会が太宰府市文化ふれあい館（太宰府市国分四丁目9-1）で収蔵、管理している。

目次

I. 総説

(1) 佐野地区遺跡群の歴史的環境 1～2

(2) 調査組織 3～4

II. 調査の概要

(1) 前田遺跡7次調査

前説 7～21

遺構 22～54

遺物 55～121

小結 122～127

出土遺物一覧表 128～150

遺物観察表 151～177

出土石器観察表 178～193

(2) 宮ノ本遺跡9次調査

前説 195～197

遺構 197～201

遺物 202～213

小結 213～217

出土遺物一覧表 218～219

遺物観察表 220～222

写真図版

前田遺跡7次調査

遺構 1～42

遺物 43～89

宮ノ本遺跡9次調査

遺構 90～101

遺物 102～110

付図1 前田遺跡全体図（1/500）

付図2 宮ノ本遺跡第9次調査調査区全体図（1/200）

I. 総説

(1) 佐野地区遺跡群の歴史的環境

佐野地区は太宰府市の南西部にそびえる標高1000m級の背振山の山裾と福岡平野の最南部が接する位置にあり、地区内を南西から北西に流れる大佐野川は南の筑紫野市二日市方面から流れる鷺田川と合流し、水城を越えて博多湾に北流する。太宰府市は玄界灘に連なる博多湾に面した福岡平野と有明海に面した筑後平野を溝状に繋ぐ一番狭い場所にあたり、古代にはこの地形を利用して防衛施設としての水城が築かれている。弥生時代では遺跡の密度からいえば北の春日市の岡本丘陵を中心とした大集落群と南の筑紫野市から小郡市にまたがる三国丘陵から夜須町にかけての筑紫平野北側の大集落群に挟まれた形となり、両地域に比べれば点々とその痕跡が辿れるに過ぎないと考えられてきた。しかし、この佐野地区ではじまった調査によって、すでに報告した地区の北にある原口遺跡では弥生前期中頃（板付II式期）に5棟の円形住居からなる集落跡が、前田遺跡とは大佐野川を挟んで対峙する雛川、フケ遺跡では弥生後期から終末、古墳時代の初頭にかけての低湿地を利用した木製品貯蔵、加工の場所や堀立柱建物からなる集落の跡などが検出され、不鮮明であったこの地域の弥生時代の様相が次第に明らかにされつつある。

歴史時代にあっては地区内を東西に横たわる字宮ノ本の丘陵は過去の調査で「買地券」（墓誌）を伴った大宰府官人（推定）の葬送の場所として利用されていたことが判明しており、その後の調査でこの墳墓群の葬送の時期が奈良時代に遡り、下限は10世紀代におかれることがわかってきた。また、隣接する前田遺跡において水城西門から大宰府政庁にいたる道幅約10mの古代官道が発見され、先の宮ノ本墳墓群の地理的位置づけに、付加すべき新たな情報を提供している。

今回の前田遺跡7次調査は弥生時代前期、後期の集落のあり方を示す好例であり、調査は宮ノ本遺跡9次調査は奈良期の墳墓のあり方や広がりを考察するためには重要な発掘調査である。

参考文献

『太宰府・佐野地区遺跡群I～VII』　1989～97　太宰府市教育委員会
『宮ノ本遺跡』　1980　太宰府市教育委員会
『宮ノ本遺跡II』　1992　太宰府市教育委員会
『太宰府市史考古資料編』　1993　太宰府市

(2) 調査に至る経緯および調査・整理の方法

基本的な調査に至る経緯および本市における調査・整理の流れや分類基準に関する参考文献



第1図　佐野地区周辺の遺跡（1/25000）

については詳細に既述しており、以下の文献をご参照いただきたい。

「太宰府・佐野地区遺跡群I」1989太宰府市教育委員会

(3)　調査組織

報告する調査が多年度にまたがるため、ここで一括して調査体制を列挙する。

(平成2／1990年度) 前田7次調査

総括	教育長	長野治己
庶務	教育部長	西山義則
	社会教育課長	関岡　勉
	文化財係長	鬼木冨士夫
	主任主事	岡部大治
	主　　事	白水伸司
調査	主任技師	山本信夫
		狭川真一
		城戸康利（2年7月1日～）
	技　　師	城戸康利（～2年6月30日）
		緒方俊輔
		山村信榮（調査担当）
	技師（嘱託）	中島恒次郎
		狭川麻子（保存処理担当）

(平成8／1996年度) 宮ノ本9次調査

総括	教育長	長野治己
庶務	教育部長	小田勝弥
	文化課長	津田秀司
	文化財保護係長	和田敏信
	文化振興係長	大田重信（～6月30日）
		田中利男（7月1日～）
	主任主事	岡部大治　　川谷　豊
	主　　事	今村江利子
調査	技術主査	山本信夫
	主任技師	狭川真一　　城戸康利（調査担当）　　山村信榮
		中島恒次郎　井上信正

技　師　　高橋　学　　宮崎亮一

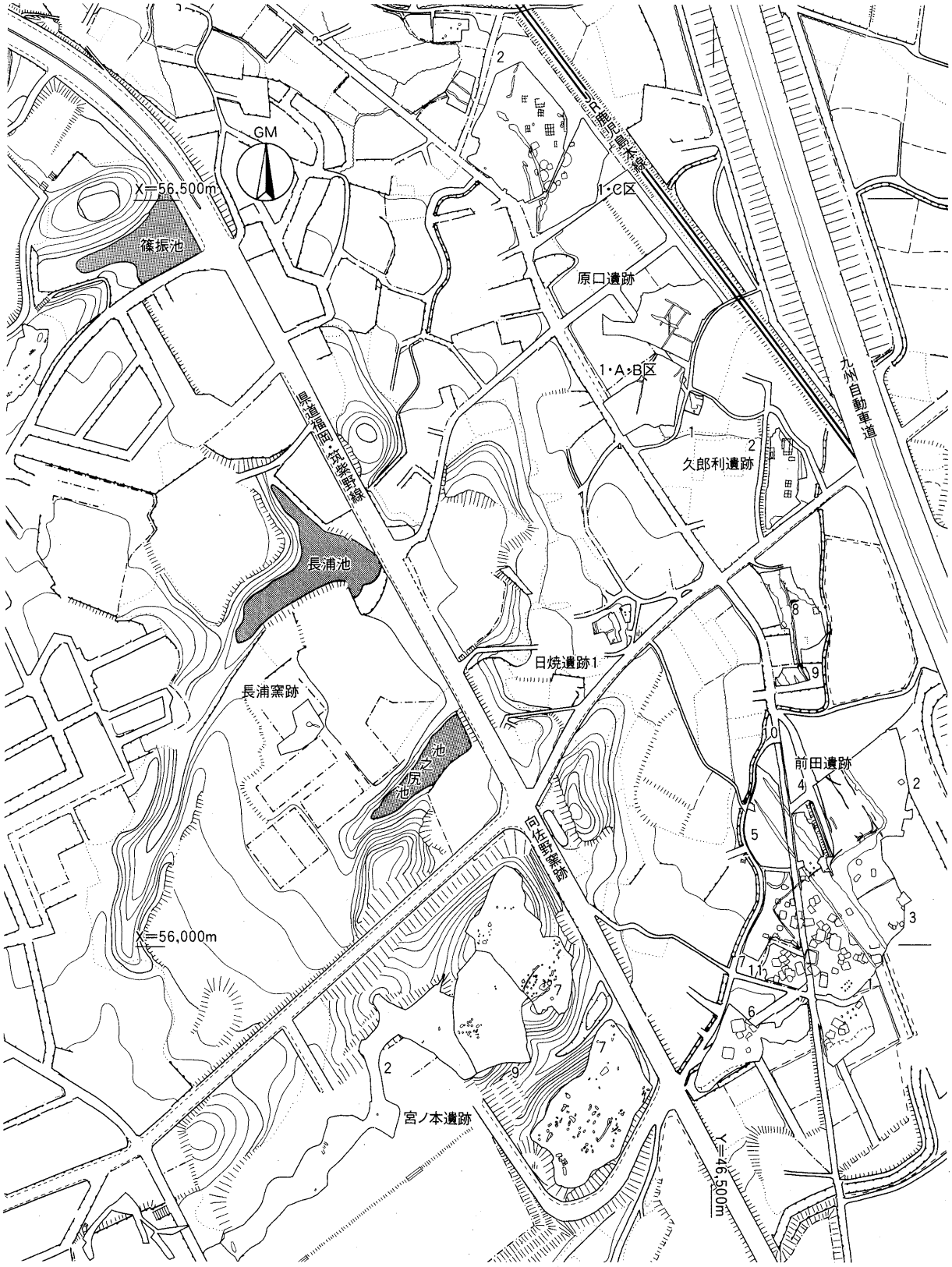
技師（嘱託）　　下川可容子（保存処理担当）　森田レイ子

（平成9／1997年度）整理作業

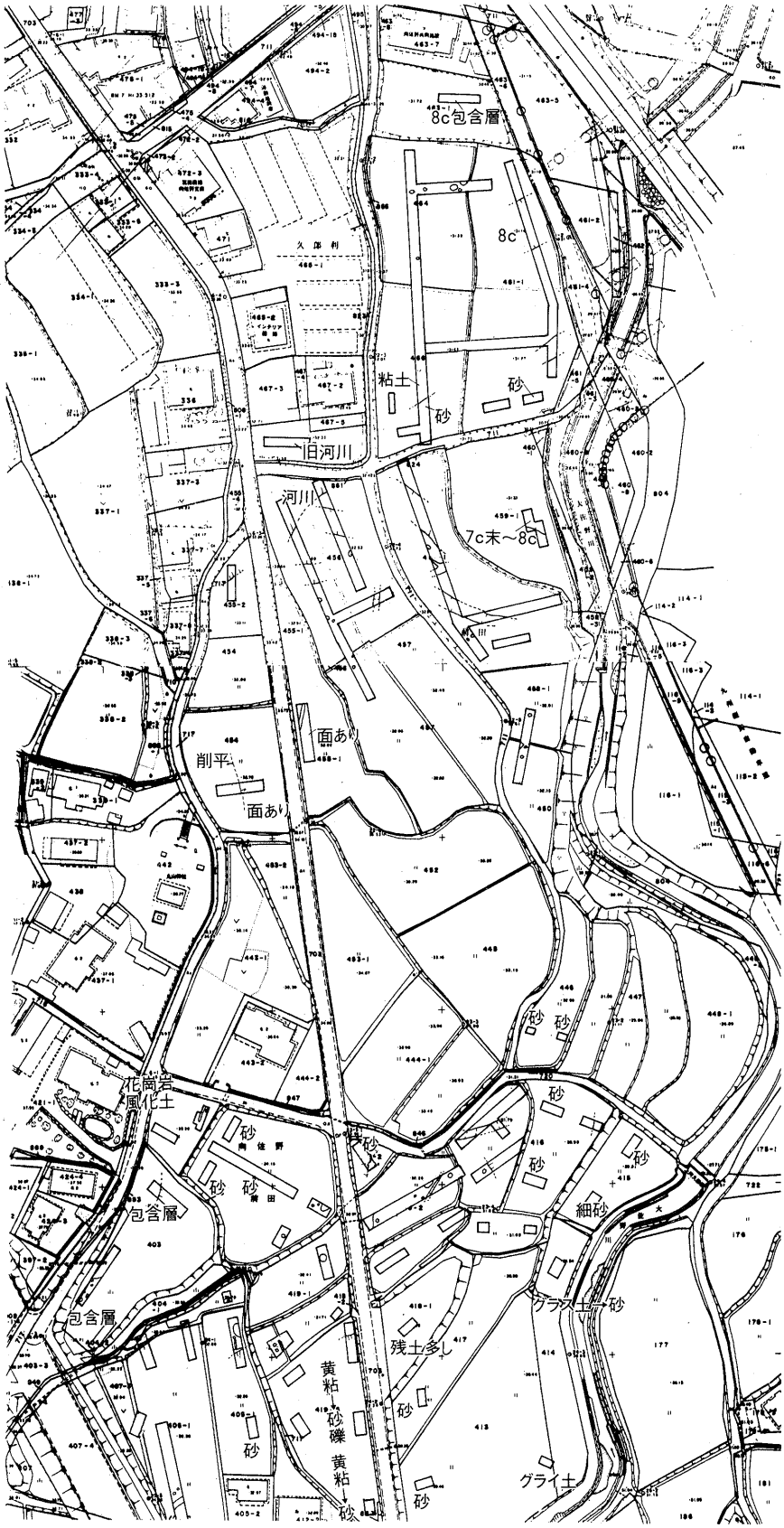
総括	教育長	長野治己
庶務	教育部長	小田勝弥
	文化財課長	津田秀司
	文化財保護係長	和田敏信
	文化財調査係長	山本信夫
	主任主事	藤井泰人
	主　事	今村江利子
調査	技術主査	狭川真一（9年10月1日～）
	主任技師	狭川真一（～9年9月30日）
		城戸康利（整理担当）
		山村信榮（整理担当）
		中島恒次郎
		井上信正
	技　師	高橋　学（整理担当）
		宮崎亮一
	技師（嘱託）	下川可容子
		森田レイ子

また、このほか工事関係者をはじめとする多くの方々のご協力とご教示をいただき調査をおこなうことができました。記して感謝申し上げます。

小田富士雄、武末純一（福岡大学）、渡辺正気（元九州歴史資料館）、西谷正（九州大学）、高倉洋彰（西南学院大学）、伊藤大作（奈良国立文化財研究所）、田崎博之（愛媛大学）、石松好雄、橋口達也（福岡県教育委員会）、平田定幸（春日市教育委員会）、吉留秀敏（福岡市教育委員会）、後藤直（現東京大学）（以上、順不同敬称略す）



第2図　前田・宮ノ本遺跡調査位置図（1/4000）



第3図　前田遺跡予備調査調査位置図（1/2000）

II. 調査の概要

(1) 前田遺跡第7次調査

調査地は、太宰府市大字向佐野字前田443-1,453-2番地に所在する。調査は平成2（1990）年10月5日から12月28日まで実施した。調査対象面積は800㎡で、調査は山村信榮が担当した。個別の実測は担当者の他、調査補助員の塩地潤一（現大分市教育委員会）、瀬口真司（現財団法人滋賀県文化財保護協会）がおこなった。また全体図は国際航業㈱に委託し、ヘリコプターによる写真測量を行いそのデータから作成したものである。

1．地形・基盤層・遺構検出状況

調査区は大佐野川北岸、宮ノ本丘陵の東裾にあり、西に隣接する丸山神社側に高く10次調査地点の東方向に低くなっている。地盤となる土壌の堆積状況は調査区の東側では山側（西側）から供給された基盤層の花崗岩岩盤が風化、流出した土砂に由来する粘土質と砂質の堆積地盤からなり、西側の高位部分は花崗岩岩盤とその堆積層に挟まれて第4紀層と考えられる乳白色の粘土層が東に深く傾斜して堆積している（乳白色粘土層の土は未分析だが八女粘土層を想定している）。乳白色粘土層の上位に薄く橙色粘質土が部分的に存在する（鳥栖ローム層か）。さらにその外（上層）側は暗茶色粘土層、黄色土層へと続く。遺構の検出環境は表土である灰色の旧耕作土（灰色土）下の遺物包含層（茶褐土）を除去した時点で大半の遺構プランが認識された。東側では多少住居跡の覆土を削り込んでしまったきらいがある。

2．遺構

遺構は調査区の東に密度が高く、西側及び北側は多少希薄で、弥生時代から中世に属す柱穴や貯蔵土坑の深さが東側に比べ著しく浅い傾向が見られる。対象とした調査区の元地形は耕作によって上下二段の利用形態になっていた。丸山神社境内を含む調査区西側は後世（近代の所産か）の造成により著しく削平されたと考えられる。調査区西側では顕著に遺構の深さが浅く、ピット（穴）の密度が西にむかって稀薄である様子は空中写真からも見て取れる。丸山神社の創建は正式な記録はないが、明治20（1887）年ころの水害によって上流の字「宮ノ本」から社が流されここに止まったので社地としたとされ、本殿は明治23（1890）年、正面鳥居には大正14（1925）年、潮井台は大正13（1924）年、手洗鉢には大正12（1923）年の銘が刻まれており、明治20年代と大正13年前後に整備がなされていることがわかる。先の調査区西側の削平は本調査地との境にあたる神社周辺の水路と石垣の普請に伴ってこの時期におこなわれた可能性がある。

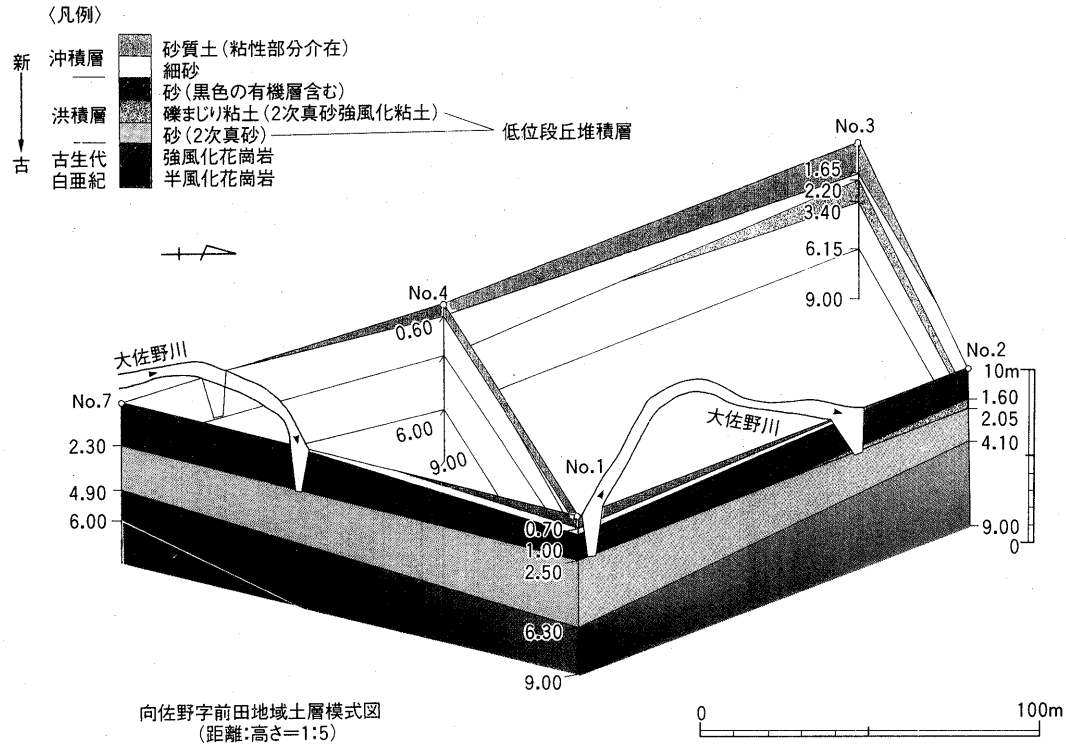
形成された遺構の時期とその概要は弥生前期前半の住居と土坑、弥生後期後半から古墳時代前期前半の住居、奈良時代中頃の掘立柱建物と区画溝と土坑、平安時代の墳墓、鎌倉時代の耕作痕跡が主なものである。なお、遺構として把握できなかったが後期旧石器時代の尖頭器、縄



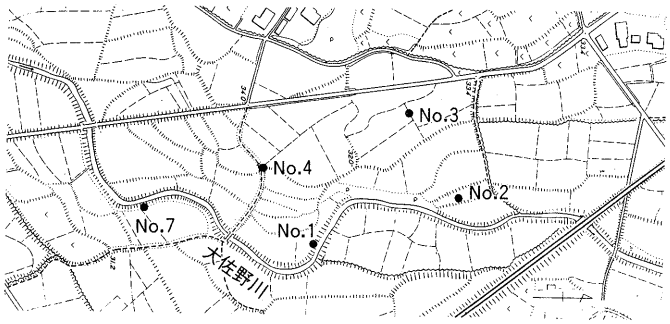
第4図　前田遺跡調査位置図（1/1500）

前田7次遺構早見表

001	溝		奈良		141	土坑（廃棄土坑）	60→141	奈良	CX47
005	竪穴式住居		弥生後期	CQ51	143	畝状遺構		中世～	DD48
015	木棺墓		平安	CQ53	145	土坑（貯蔵穴）	145→1	弥生前期	CR49
020	木棺墓		平安	CT52	150	竪穴式住居	150→172→015	弥生後期～	CP53
021	土坑（貯蔵穴）		弥生前期	CR47	155	竪穴式住居		弥生後期	CP53
022	土坑（貯蔵穴）	（貯蔵穴か）	弥生前期	CS56	160	竪穴式住居		弥生後期	CV49
025	土坑（貯蔵穴）		弥生前期	CV53	165	木棺墓	1→165	平安～	CU51
030	掘立建物		奈良	CP49	168	土坑（貯蔵穴）	168→167　168→1	弥生前期～	CU51
040	土坑		弥生前期	DA51	170	井戸		奈良	CM57
047	溝		奈良	CW49	175	竪穴式住居	175→179	弥生後期	CO47
055	竪穴式住居		弥生前期	CY51	179	竪穴式住居	175→179	古墳前期	CN46
057	ピット		弥生後期	CR48	183	土坑		弥生前期	CN56
060	竪穴式住居		弥生後期	CX48	184	土坑		弥生前期	CT49
065	竪穴式住居		弥生前期	DB49	185	土坑		弥生前期	CS49
068	土坑（貯蔵穴）		弥生前期	CW50	186	土坑		弥生後期	CO54
070	竪穴式住居		弥生後期	CV50	190	竪穴式住居		弥生前期	CX49
080	土坑		弥生前期	DA51	192	土坑		弥生	CP47
085	竪穴式住居		弥生前期	CR50	193	土坑	193→1	弥生前期	CT50
090	土坑		弥生後期	CP51	195	竪穴式住居	195→130→125	弥生後期	CP46
095	溝		古墳後～	DC51	205	竪穴式住居	205→175　205→110	弥生後期後	CO49
105	土坑		奈良～	CR51	210	土坑（貯蔵穴）	210→215→110	弥生前期	CQ50
110	竪穴式住居	220→210→110	弥生後期～	CP49	215	竪穴式住居		弥生後期	CP49
115	竪穴式住居	115→48	弥生後期	CQ46	220	土坑（貯蔵穴）	220→210	弥生前期	CP50
120	竪穴式住居		弥生後期中～	CT47	225	土坑（貯蔵穴）		弥生前期	CQ52
125	竪穴式住居		弥生後期後～	CP47	230	土坑		弥生前期	CY51
130	竪穴式住居		弥生後期～	CO46	235	竪穴式住居		弥生後期～	CU47
133	土坑		弥生後期～	CV49	240	柵列		弥生後期	CV50
135	竪穴式住居	135→120	弥生後期～	CS46	241	井戸		奈良	CM55
140	竪穴式住居	140→5→90	弥生前期～	CQ51	243	土坑	243→1	弥生前期	CP48

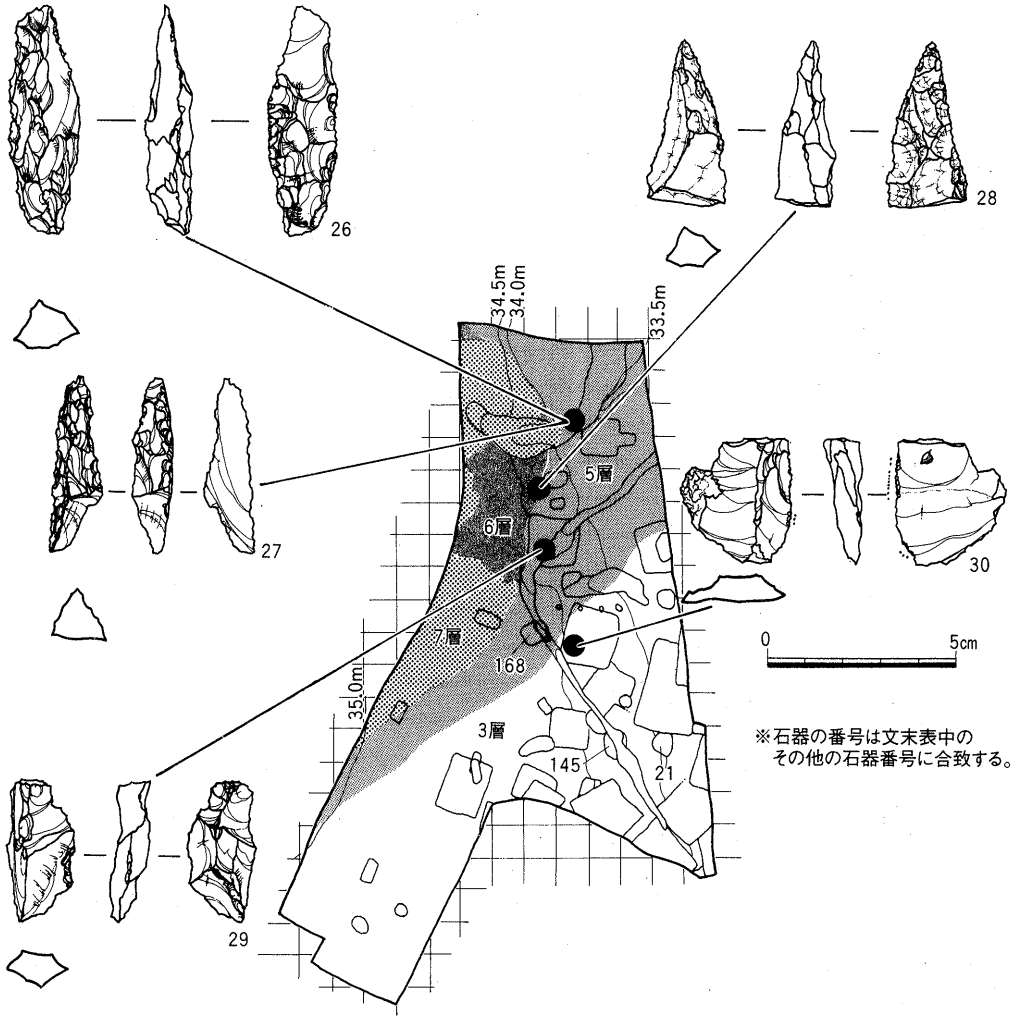


向佐野字前田地域土層模式図
（距離:高さ=1:5）

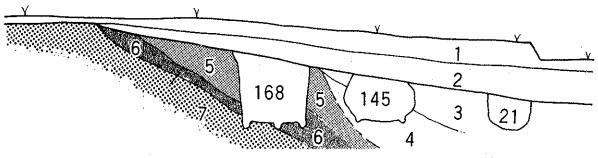


向佐野・前田地域ボーリング地点位置図（1/4000・地図は『大宰府条坊跡Ⅴ』の転載）

第5図　前田地域土層模式図



前田7次土層略図



1．灰色土（耕作土・表土）
2．茶褐色土（遺物包含層）
3．黄色土
4．灰色砂
5．茶色粘土
6．橙色粘土（鳥栖ロームか）
7．乳白色粘土（八女粘土層か）

第6図　前田7次土層略図、旧石器関連遺物実測図（1/2）

前田7次調査 遺構番号台帳　(1)

S-番号	遺構番号	種　別			地区
1		溝		奈良	
2		ピット群			CS54
3		ピット	（淡茶褐土）	弥生中	CR53
4		ピット	（暗茶褐土）	弥生	CR53
5	7SI005	竪穴式住居			CQ51
6		ピット群	（黒褐土）		CQ53
7		ピット	（黒褐土）	弥生後期　×	CR50
8		ピット	（黒褐土 柱跡あり）　S-30iか？	弥生	CQ50
9		ピット		弥生	CQ50
10		欠番			
11		ピット群		8ｃ～	CQ50
12		ピット群	105→12	弥生～	CQ51
13		溜まり	淡茶土	弥生	CR49
14		ピット	灰粗砂	8ｃ～	CP49
15	7ST015	木棺墓		平安	CQ53
16		溜まり	（灰色土・灰色粗砂）	11ｃ～	CP48
17		ピット群		弥生～　×	CQ48
18		ピット		弥生後期前　×	CQ48
19		ピット群	19→16←30d	11ｃ～	CP48
20	7ST020	木棺墓		平安	CT52
21	7SK021	土壙	貯蔵穴	弥生前期	CR47
22	7SK022	土壙	貯蔵穴	弥生前期	CS56
23		土壙		弥生後期？	CP47
24		ピット群			SC52
25	7SK025	土壙	貯蔵穴	弥生前期	CV53
26		土壙	26→27		CS51
27		ピット群			CS51
28		ピット		8c前～	CS51
29		ピット群		11ｃ～	CV52
30	7SB030	掘立柱建物		奈良	CP49
31		ピット群			CV52
32		ピット群		弥生	CV52
33		ピット			CV52
34		ピット群		弥生後期後半	CV52
35	7SB035	掘立柱建物		8ｃ～？	CQ51
36		ピット		8ｃ～	CS52
37		ピット	37→1		CQ48
38		ピット	38→1		CQ48
39		ピット			CR48
40	7SK040	土壙		弥生前期	DA51
41		ピット			CQ47
42		ピット群		弥生後期	CT50
43		ピット		8ｃ中葉以降	CW51

※・・・×は原位置不明

S-番号	遺構番号	種　　別		地区
44		ピット群		CW51
45	7SX045	溜まり　　(黒褐土)	8ｃ中～	DD49
46		ピット群	弥生～	CW52
47	7SD047	溝	奈良	CW49
48		土壙　　48（暗茶褐土）→48（暗褐土）		CQ46
49		ピット　　49→51		CO48
50		欠番		
51		ピット		CO47
52		土壙	弥生～	CO46
53		土壙		CO46
54		ピット	弥生後期	CO46
55	7SI055	竪穴式住居	弥生前期	CY51
56		ピット群	弥生後期	CP46
57	7SK057	ピット　　57→	弥生後期	CR48
58		ピット群		CP48
59		ピット		CP47
60	7SI060	竪穴式住居	弥生後期	CX48
61		ピット群	弥生～	CR46
62		ピット	弥生～	CQ49
63		ピット	弥生～	CT47
64		ピット群	弥生後期	CU48
65	7SI065	竪穴式住居	弥生前期	DB49
66		ピット　　(柱痕あり)	弥生～	CU49
67	7SA240	柵列	弥生～	CV49
68	7SK068	土壙　　貯蔵穴	弥生前期	CW50
69		ピット群	11ｃ？	CW51
70	7SI070	竪穴式住居	弥生後期	CV50
71		ピット	古墳～	CU51
72		ピット群	弥生～	CT51
73		ピット	弥生～	CT51
74		ピット	古墳～	CT51
75	7SI085	竪穴式住居　※S-85と重複か？		CS50
76		ピット		CT51
77		ピット	×	CT52
78		ピット	古墳～	CV48
79		ピット群	弥生後期？	CV51
80	7SK080	土壙	弥生前期	DA51
81		ピット		CW51
82		ピット群	弥生～	CV51
83		ピット	？	CW51
84		ピット	古墳～	CX50
85	7SI085	竪穴式住居	弥生前期	CR50
86		ピット群	弥生～	CX50

※・・・×は原位置不明

S-番号	遺構番号	種別		地区
87		ピット	弥生前期？	CX50
88		ピット・土壙	弥生～	CX50
89		ピット	弥生中葉	CX49
90	7SK090	土壙 5→90		CP51
91		ピット群	弥生～	CW51
92			8ｃ～？ ×	CW51
93		ピット	弥生中～	CX48
94		土壙？	弥生前	CS48
95	7SD095	溝	古墳後～	DC51
96	7SD001	溝	奈良	DA49
97		ピット	弥生後期前～ ×	CY51
98		ピット群	弥生後期	CX50
99		ピット	古初～ ×	CY50
100		欠番		
101		ピット	弥生～	CN46
102		ピット	古墳前期～	CO48
103		ピット群	弥生～	CQ51
104		ピット群	弥生前期～	CQ52
105	7SK105	土壙	8ｃ前中～	CR51
106		ピット 105→106		CR51
107		ピット	×	CR53
108		ピット群		CS51
109		ピット	古墳～	CS52
110	7SI110	竪穴式住居 220→210→110	弥生後期～	CP49
111		ピット	弥生後期末	CT51
112		ピット 112→89	弥生後期	CX49
113		ピット群	弥生～	CW47
114		ピット	8ｃ前～	CX50
115	7SI115	竪穴式住居 115→48	弥生後期	CQ46
116		ピット	11ｃ～	CY48
117		ピット群	8ｃ中～	DA48
118		ピット群	弥生～	DA48
119		ピット	古墳～	DA48
120	7SI120	竪穴式住居	弥生後期中～	CT47
121		ピット	8ｃ～	CY48
122		ピット	古墳～	CY49
123		ピット	8ｃ？	CX49
124		ピット	弥生後期後～	CY48
125	7SI120	竪穴式住居	弥生後期後～	CP47
126		ピット	8ｃ前～	CY48
127		ピット 190→127	弥生後期末～	CX48
128		ピット 190→128	弥生～	CX48
129		ピット 47→129	奈良～	CW48

※・・・×は原位置不明

S-番号	遺構番号	種別			地区
130	7SI130	竪穴式住居		弥生後期～	CO46
131		ピット		弥生	CW49
132		ピット	70→132	弥生	CV49
133	7SK133	土壙		弥生後期～	CV49
134	7SX134	ピット	55→134	弥生後期～	CV51
135	7SI135	竪穴式住居	135→120	弥生後期～	CS46
136	7SA240	柵列		弥生後期～	CV50
137		ピット		7ｃ末～	DD52
138		ピット	55→138	弥生～	CY51
139		ピット		8ｃ前～	CY51
140	7SI140	竪穴式住居	140→5→90	弥生前期～	CQ51
141	7SK141	土壙	廃棄土壙 60→141	奈良	CX47
142		ピット		平安～	CU51
143	7SX143	畝状遺構		中世～	DD48
144	7SK144	土壙？		8ｃ前～	CY47
145	7SK145	土壙	貯蔵穴 145→1	弥生前期	CR49
146		ピット	55→146→134	弥生後期～	CY51
147		ピット群		弥生～	CT53
148		ピット			CS50
149		ピット群	185→149	弥生	CR49
150	7SI150	竪穴式住居	150→172→015	弥生後期～	CP53
151		ピット群		弥生後期～	CV47
152		ピット群	70→152	弥生～	CT49
153		ピット		弥生	CQ52
154	7SX154	溜まり	153→154 105→154		CR52
155	7SI155	竪穴式住居		弥生後期	CP53
156		土壙	156→113		CW47
157		ピット群			CS49
158	7SK158	土壙	157→158 85→158		CS49
159		ピット	125→159→56		CP46
160	7SI160	竪穴式住居	※S-70と同一か？	弥生後	CU47
161		ピット	125→161	弥生	CP46
162		ピット群	162→1	弥生	CP47
163		ピット		弥生	CP47
164		ピット		弥生	CQ48
165	7ST165	木棺墓	1→165	平安～	CU51
166	7SK166	土壙			CS49
167		ピット群		古墳～	CV52
168	7SK168	土壙	貯蔵穴 168→167 168→1	弥生前期～	CU51
169		ピット	169→154	弥生～	CR52
170	7SE170	井戸		奈良	CM57
171		ピット		平安～	CU50
172	7SK172	土壙	172→015		CR53

※・・・×は原位置不明

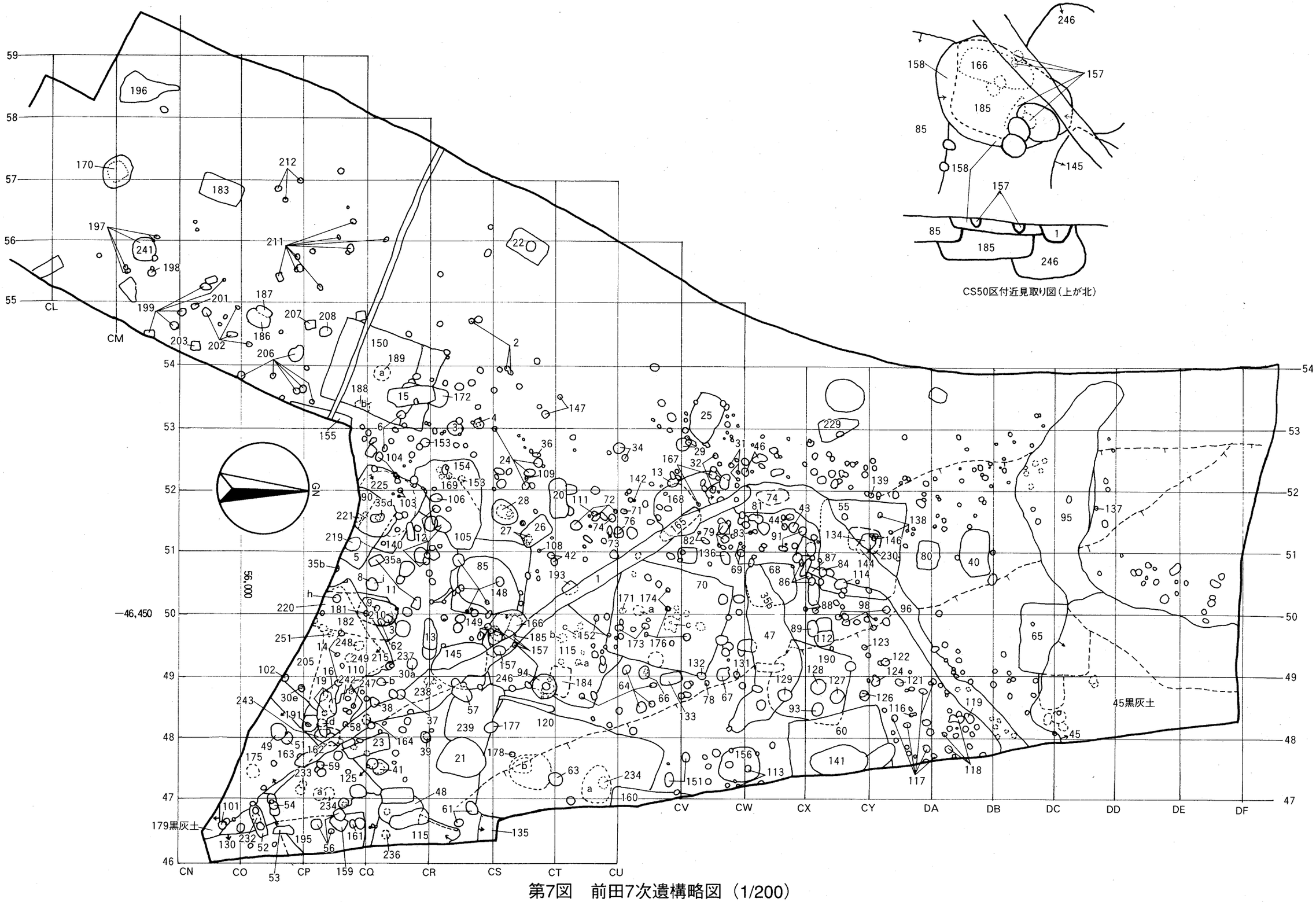
S-番号	遺構番号	種別		地区
173		ピット群 70→173	古墳～	CU49
174		ピット群 70→174	古墳～	CU50
175	7SI175	竪穴式住居 175→179	弥生後期	CO47
176		ピット群 70→176		CU50
177		ピット 120→177	弥生～	CS48
178		ピット 178←120		CS47
179	7SI179	竪穴式住居 175→179	古墳前期	CN46
180	7SI190	竪穴式住居 ※190と重複		CX49
181		ピット	弥生	CQ50
182		ピット	弥生	CP49
183	7SK183	土壙 貯蔵穴	弥生前期	CN56
184	7SK184	土壙	弥生前期	CT49
185	7SK185	土壙	弥生前期	CS49
186	7SK186	土壙	弥生後期	CO54
187		ピット	弥生後期？	CO54
188	7SI150a	主柱穴		CP53
189	7SI150b	土壙		CP53
190	7SI190	竪穴式住居	弥生前期	CX49
191		土壙	弥生後期後	CP48
192	7SK192	土壙 191→192	弥生	CP47
193	7SK193	土壙 193→1	弥生前期	CT50
194		ピット群 193→194	弥生後期前 ×	CT50
195	7SI195	竪穴式住居 195→130→125	弥生後期	CP46
196		溜まり？	弥生前期？	CM56
197		ピット群		CM55
198		ピット	弥生中期中葉～？	CM55
199		ピット群		CN55
200		欠番		
201		ピット (柱痕あり)		CN54
202		ピット群		CN54
203		ピット		CN54
204		ピット	古墳	CO53
205	7SI205	竪穴式住居 205→175 205→110	弥生後期後	CO49
206		ピット群		CO53
207		ピット		CP54
208		ピット		CP54
209		ピット	×	CQ54
210	7SK210	土壙 貯蔵穴 210→215→110	弥生前期前	CQ50
211		ピット群	弥生後期中葉～	CP55
212		ピット群		CO56
213		土壙	×	CW49
214		ピット	×	CX51
215	7SI215	竪穴式住居	弥生後期	CP49

※・・・×は原位置不明

S-番号	遺構番号	種別				地区
216		ピット			×	CX51
217		ピット	217←70	弥生後期	×	CV50
218		ピット		弥生	×	CW49
219		ピット	5→219			CP51
220	7SK220	土壙	貯蔵穴 220→210	弥生前期		CP50
221		ピット	5←221			CP51
222		ピット			×	CW50
223		ピット			×	CW50
224		ピット			×	CU51
225	7SK225	土壙	貯蔵穴	弥生前期		CQ52
226		ピット		8ｃ～	×	CV51
227		ピット	227←70		×	CV49
228		ピット			×	DC48
229		溜まり			×	CX53
230	7SK230	土壙		弥生前期		CY51
231		ピット群				CP49
232		ピット				CO46
233		ピット				CO47
234		ピット	120a→234			CP47
235	7SI235	竪穴式住居		弥生後期～		CU47
236		ピット	236→115	弥生後期？		CQ46
237		ピット				CQ49
238		ピット		弥生		CR48
239		溜まり？				CR48
240	7SA240	柵列		弥生後期		CV50
241	7SE241	井戸		奈良		CM55
242		土壙		8ｃ前～		CP48
243	7SK243	土壙	243→1	弥生前期		CP48
244		欠番				
245		欠番				
246		溜まり状遺構	246→1	弥生		CS48
247		ピット群				CP48
248		ピット				CP49
249		ピット	249→215			CP49
250		欠番				
251		ピット群	251→215			CP49
252		ピット群		11ｃ～	×	CW51

※・・・×は原位置不明

CS50区付近見取り図（上が北）



第7図　前田7次遺構略図（1/200）



第8図　前田7次遺構全体図（1/200）

文時代早期の押型文土器、縄文時代後期の鉢などの遺物が二次的に出土しており、高位面（調査区西側）からの流下によるものか、もしくは遺構地盤である無遺物層下にあった該期の文化層が認識できなかった可能性も考えられる。ボーリング調査の所見からは、調査区東側の低い場所でも遺構検出面から岩盤の風化花崗岩層まで深さは6mを超えるものと考えられる。ボーリング調査データでは基盤層上の砂、粘土層は低位段丘面上の第4紀堆積層としている。

以下、遺構の性格別に報告する。

掘立柱建物

7SB030（第9図、図版.3-1）　東西2間（4.3m）、南北3間（5.9m）以上の掘立柱建物である。柱間は東西列が2.3m・1.9mで、南北列は1.9m・1.8m・2.2mである。土層観察では柱穴a,h,i,jには柱痕跡が残されていた。建物の規模はその一部が調査区域外に延びている。柱掘り方は概ね円形で、柱痕跡下端が掘り方より浅い物ある。

遺構の掘り方の深さは遺構面から0.1～0.2mと極浅く、建物の主軸方向の振れはN-31°32′-Wである。

出土遺物は図化しがたい小片ばかりで、柱穴cで須恵器の壺、鉢片が、jで須恵器蓋3片が出土し、奈良時代以降に帰属する遺構と判断できる。

柵列跡

1SA220（第9図、図版2-2）　東西3間（5.4m）の柵列跡である。柱間は西から1.94m・1.68m・1.8mで平均1.8mある。土層観察では柱穴a,fには柱痕跡が残されていた。柱掘り方は概ね円形ないし楕円形で、直径は0.6～0.8m程度である。深さは遺構面から0.2～0.7mで、掘り方底部の標高にもばらつきがある。柱筋はN-90°-Wのラウンドに合致するものである。

出土遺物はごく少量しか出土していない。柱穴aから弥生時代後期終末頃の甕の破片が、dから後期の甕の小片が見られ、この遺構が弥生時代後期後半以降の所産と判明した。他の遺構との関係では北側に奈良時代中頃以降の時期と考えている7SD047に併行する形となっており、出土遺物が少ないことから所属時期がここまで下がる可能性も否定できない。

住居跡

遺構検出時に方形の掘り方プランで確認され、内部が平坦な床面で構成された遺構を「住居」と認定しているが、後述のごとく前田遺跡群中で検出した同種の遺構の中には建物の主たる柱穴が欠落するものや床面の整地がほとんどないもの、明確な炉跡を伴わないものもなどが存在し、全ての方形プランの遺構が主たる居住施設であったか否か判然としないものも含まれてい

る。多分に小屋的な利用もあったと考えている。

7SI005（第10図、図版4-1）　調査区の南側CQ51区で検出した。弥生前期の1SI140を切って形成される。南半分は調査区外に延びる。全体の平面形は南北に長い長方形になるものと思われる。東西3.3m、深さ約0.2mを測る。北側には幅約1m、高さ約0.1mの黒灰色土の盛り土による高まり、ベット状遺構がある。柱穴は東西の中央、ベットの際に床面から約0.4m掘られて据えられている。検出された柱の位置から本来は二本柱構造であったと考えられる。遺構全体には埋没時に黒色土が堆積する。上面は後世の耕作で削平され旧状を保っていない。

出土遺物には弥生前期前半の甕片が出土しているが、切り合い関係にある1SI140に所属する遺物と考えられる。遺構の形状は弥生後期に属すものと思われる。

7SI055（第10図、図版4-2、5-1）　調査区の中央北側CY51区で検出した。弥生時代の7SK230と奈良時代の7SD001に切られている。全体の平面形は略方形になり、南北3.8m、東西4.2m、西側の残りが良い部分で深さ約0.4mを測る。床面中央に直径約0.4m地盤がオレンジ色に焼けた炉跡がある。炭層は検出されなかった。床面は削り出されたままで使用され壁際に幅・深さ約0.1～0.2mの溝が四周をめぐり溝内に柱穴と考えられるピットが一辺に二つ以上掘り込まれている。溝は東側で内側にL字に折れ曲がって終わっている（後述の7SI065からここが入口と考えられる）。柱穴が床面中央のS-134付近にあった可能性もある。上面は後世の耕作で削平され旧状を保っていない。

出土遺物には弥生前期前半と思われる石器群が出土しており、遺構はその時期に属すものと思われる。土器は小片が出土しているが時期を確定できない。

7SI065（第11.12図、図版6～9）　調査区の北側DB49区付近で検出した。奈良時代の7SD095茶褐色土（上層）に切られている。全体の平面形は略方形になり、南北3.6m、東西3.4m、掘り方東側中央に段差を持って幅約1.0m、長さ約2.0mの張り出しがある。西側の残りが良い部分で深さ約0.4mを測る。床面中央に0.65×0.9m、深さ約0.15mの地盤がオレンジ色に焼けた炉跡がある。顕著な炭層は検出されなかった。床面は削り出されたままで使用され、壁際に幅・深さ約0.2mの溝が四周をめぐり、溝内に深さ0.2～0.5mの柱穴と考えられるピットが一辺に4ないし6つ以上掘り込まれている。南北双方の辺の穴はおおよそ位置的に対応関係が認められる。四隅のピットは心持ち中央方向に傾いて穿たれている。溝は東辺で内側の炉の方向にL字に折れ曲がって終わっている（前述の7SI055と異なり本例はこのL字間が溝で連結している）。主柱穴を建てたと思われる穴が炉の西側に隣接して掘られている。この穴の断面観察では柱痕跡が確認できなかった。廃絶時に抜き取られた可能性もある。また、全体の方形の掘り方の外側に直径10cmほどの小ピット列が0.4～0.6mの間隔で掘り方に沿うように取り巻いている。おそらくこのピット列に建てられた杭状の柱に屋根からのたる木が乗せられたものと思われ、屋根の

軒はこの外にあったものであろう。東側でプランが突出する箇所は床面のL字溝の延長上の壁際に深さ0.1m溝が掘られ、突出部の先端には深さ0.15mほどの窪みが掘られている。溝に壁板を挟み込む機能を想定した場合、この東側の突出部はこの建物の入口施設と考えることができよう。これら入口施設が備える属性にかんがみて、後述する他の例も含めたこの調査区のこの時期の住居はすべて東側に入口を持つことになる。土層観察によりこの住居は南西方向からのゆっくりとした土の流入により埋没した姿が想定できる。

出土遺物には弥生前期前半から中頃と思われる土器、石器群が出土しており、遺構はその時期に属すものと思われる。土器は小片が出土しているが時期については巻末で触れてみたい。また、焼けた土の塊が一点だけ出土しているが、炉跡以外に被熱した箇所はなく、塊に土器焼成施設の壁に見られるような植物繊維の混和は認められない。ほかに縄文晩期の土器が出ているが、深鉢は突帯文土器出現以前の特徴があり、他の浅鉢もこの時期に帰属する可能性がある。時期的共伴よりむしろ基盤層の茶色粘土層か周辺遺構に当該期のものがあったのかもしれない。

7SI060（第13図、図版5-2.6-1.28-1）　調査区の北東側CX48区付近で検出した。奈良時代の7SK141に切られている。全体の平面形は東西に長い方形になり、東側は調査区外に延びている。南北4.6m、東西3.2m、西側の残りが良い部分で深さ約0.2mを測る。床面は削り出されたままで使用されている。西側には幅約1m、高さ約0.2mの削り出しによる高まり、ベット状遺構がある。段差は北側に高い。柱穴は東西の中央、ベットの際に床面から約0.4m掘られて据えられている。検出された柱の位置から本来は二本柱構造であったと考えられる。遺構全体には埋没時に茶褐色土が堆積する。上面は後世の耕作で削平され旧状を保っていない。

出土遺物には弥生後期中頃から後半と思われる土器群が出土しており、遺構はその時期に属すものと思われる。

7SI070（第13図、図版10）　調査区の北東側CV50区付近で検出した。奈良時代の7SD001に切られている。全体の平面形は南北に長い長方形になる。南北5.6m、東西4.9m、残りが良い部分で深さ約0.4mを測る。床面は削り出されたままで使用されている。南北の両袖には幅約1m、高さ約0.2mの削り出しによる高まり、ベット状遺構がある。柱穴は東西の中央、ベットの際に床面から約0.3m掘られて据えられ、二本柱構造であったと考えられる。二本の柱芯距離は2.7mで、方向はN-10°37′-Eをとる。柱の間に擂り鉢状の窪みcがあり、炭が若干残存していることから炉跡と判断される。東辺中央には床面から深さ約0.6mの掘り込みdがあり、掘り方南側に台石として使用されたと考えられる花崗岩亜礫が床面上にある。掘り込みdの上面には白色粘土の塊があった。遺構全体には埋没時に暗茶褐色土が堆積する。上面は多少後世の耕作で削平され旧状を保っていない。

出土遺物には弥生後期後半と思われる土器群が堆積土中から出土しており、遺構はその時期

に属すものと思われる。

7SI085（第14図、図版10-2～12-1）　調査区の中央北側CR50区で検出した。奈良時代の7SK105に切られている。全体の平面形は略方形になり、南北3.3m、東西3.7m、西側の残りが良い部分で深さ約0.2mを測る。床面中央東寄りに直径約0.6m地盤が一部赤褐色に焼け、炭が堆積した炉跡がある。この炉の西、全体プランの中央に、床面からの深さ0.35m、直径約0.25cmの柱の痕跡が認められる。床面は削り出されたままで使用され、炉跡の東側に約0.1m足らずの幅と深さを持つ矩形の溝がある。溝に囲まれた壁際は床面より若干高くなっている。他の同時期の遺構との比較から入り口に関する施設と思われる。溝と炉の間の床面上に花崗岩の亜角礫が検出された。掘り方は茶灰土が堆積した後、中央が窪んだ溜まり状になった後に茶色土が堆積している。剥片を含む石器を番号を付けて取り上げたが、その分布状況は炉周辺と北辺に多少集中するような箇所が見られるが、全体的に散漫な様相があり、遺構埋没過程での冠水によって浮遊した可能性もあり、茶色土のものについては埋没過程で投棄ないし、自然流入した可能性も考えられる。上面は後世の耕作で多少削平され旧状を保っていない。

出土遺物には弥生前期前半と思われる土器、石器群が出土しており、遺構はその時期に属すものと思われる。出土した土器は小片ばかりである。

7SI110,215（第7図、図版12-2）　調査区の北東側CP49区付近で検出した。東西4.9m、南北5.5mの長方形の茶褐色のプランを約0.15m掘り下げたところ、帯状に土器群が検出され、さらにそのレベルで内側に重なるように新たなプランが見えたため、それまでの遺物をS-110で取り上げ、それ以下の遺物をS-215として取り上げた。110の土器群検出時点では柱穴などは検出されなかった。110と215の床面の高さの差は0.1m程度でしかなく、215床面上では110に帰属されると考えられる明確な柱穴が検出できず（時期差をおいた明確な切り合い関係とは認め難く）、このため110は単独で扱わず215と同時に報告している。南西の辺の立ち上がりは削平されている。北東角には深さ0.2m程の溝がL字に巡る。

7SI115（第15図、図版13）　調査区の南東側CQ46区付近で検出した。東西 2.4+m、南北4+mの暗灰色の方形プランの角が見えたため掘り下げたが、数センチも下げぬうちに床面が検出された。S-48の形成にによって角が残されていないが、角を挟んで東西と南北の縁に溝が掘られる。出土遺物は弥生後期前半から中頃の土器片が出土している。

7SI120（第16図、図版13-2.14）　調査区の北東側CT47区付近で検出した。後述の7SI205に切られている。全体の平面形は南北に長い長方形になる。南北8.0+m、東西5.4+m、残りが良い部分で深さ約0.5mを測る。北と東側は削平されて残存していない。床面は柱穴付近に一部薄い整地がなされるだけで、基本的には削り出されたままで使用されている。ベットのあった痕跡はない。柱穴は南北の中央の窪みdを挟んで対の位置にあり直径0.3mほどの柱痕跡が確認され

る。北柱aは掘り取られた痕跡が土層で観察される。柱芯の距離は2.0mで、方向はN-16°33′-Eをとる。擂り鉢状の窪みdには炭が若干残存していることから炉跡と判断される。窪みdと主柱穴aの間に東西に長い0.5mほどの深さの窪みがある。3次調査では中央の炉跡を方形に取り囲む炉縁の痕跡が確認されており本例もそういった施設の可能性も考えられる。南北、東西の壁際には幅約0.2m、深さ0.1mほどの溝が穿たれている。明確な板壁の痕跡はこの遺構では確認できなかった。南北辺の掘り方の外側には間隔にばらつきがあるが杭の痕跡と考えられる小さなピット列が並んでいる。遺構全体には埋没時に茶灰色土が堆積し、表面に薄く暗灰色土が被っている。

出土遺物には弥生後期後半と思われる土器群が堆積土中から出土している。小型の鉢型土器が多い点や高坏の特徴から後半でも終末に近い時期のものと思われる。遺構はその時期に属すものと思われる。

7SI125（第17図、図版15）　調査区の北東側CP47区付近で検出した。7SI135を切って形成される。全体の平面形は南北に長い長方形になる。南北3.8+m、東西3.6+m、残りが良い部分で深さ約0.18mを測る。床面は削り出されたままで使用されている。南西側の袖には幅約1m、高さ約0.05mの削り出しによる高まり、ベット状遺構がある。柱穴は南側のベットの際に床面から約0.25m掘られて柱が据えられ（穴a）それと対になる柱は、その深さから北側の穴bと考えている。基本的に二本柱構造であったと考えられる。二本の柱芯距離は2.2mで、方向はN-37°8′-Eをとる。柱の間の東側の少しずれた位置に方形状の窪みcがあり、炭が若干残存していることから炉跡と判断される。壁際には幅0.25m,深さ0.25mの壁溝が巡っている。また、床面南西側には赤色顔料の塊が検出された。遺構全体には埋没時に茶褐色土が堆積する。上面は多少後世の耕作で削平され旧状を保っていない。

出土遺物には古墳時代前期初頭と思われる土器群が堆積土中から複数出土しており、遺構はその時期に属すものと思われる。

7SI130（第17図、図版15）　調査区の南東隅のCO46区付近で検出した。7SI125に切られる。幅約1mの南北に長い高さ0.1mほどの高まりがあり、この部分がベット状遺構になる。高まりは黒灰土に黄色土粒が混じった土が盛られて形成される。床面は削り出されたままで使用されている。遺構全体が灰褐色土で覆われている。出土遺物には弥生時代後期後半の土器片が出土しており、遺構はこの時期以降に形成されたものと考えられる。

7SI135（第17図）　調査区の南東隅のCS46区付近で検出した。7SI120を切って形成される。方形掘り方の南西角部分が調査区にかかった状態である。0.1mほどの深さで残存している。明茶土によって覆われる。弥生時代後期中頃以降の土器片が出土しており、遺構もこの時期以降の所産であろう。

7SI140（第18図、図版16）　調査区の中央南側中央CQ51区で検出した。弥生後期の7SK005に切られ、弥生前期の7SK225を切っている。全体の平面形は略方形になり、南北3.6+m、東西3.6m、西壁側の残りが良い部分で深さ約0.6mを測る。土層の堆積は上から黒灰土、灰褐色土黄灰土となるが調査初期にはこの黄灰色土を除去した面で一度止め、柱穴などの精査をおこない、土色はまだ地山面に達していないことを示していたが、いったん作図して写真撮影をおこなった。この時点で下部遺構である土坑7SK225のプランが確認され、北半分を灰色粘土層として掘り下げた。土層は中央に窪んだ形状で検出されその下から薄い炭層とさらにその下に焼けた炉跡と柱穴が発見された。このことから沈下して中央が窪んでいるが、この面が本来の住居床面であり、この層まで住居埋土に含んで報告している。平面プランは東側で方形に張り出しがあり、ここが入口と考えられる。

出土遺物には弥生前期前半と思われる土器群が出土しており、遺構はその時期に属すものと思われる。

7SI150（第18図、図版17）　調査区の北東側CP53区付近で検出した。現代の雨水管と平安時代の墳墓7ST015に切られている。全体の平面形は南北に長い長方形になる。南北5.2m、東西4.2m、残りが良い部分で深さ約0.2mを測る。床面は削り出されたままで使用されている。南北の両袖には幅約1m、高さ約0.2mの淡茶色土を盛った高まり、ベット状遺構がある。柱穴は北側では東西の中央、ベットの際に床面から約0.5m掘られて据えられ、二本柱構造であったと考えられる。南側の柱位置には雨水管が通り観察できなかった。柱の間に擂り鉢状の窪みdがあり、炭が若干残存していることから炉跡と判断される。東辺中央には床面から深さ約0.2mの掘り込みがある。掘り込みの底面には複数の小さな窪みが見られる。遺構全体には埋没時に茶褐色土が堆積する。上面は多少後世の耕作で削平され旧状を保っていない。

出土遺物には弥生後期中頃以降後半までと思われる土器群が堆積土中から出土しており、遺構はその時期に属すものと思われる。

7SI155（第19図、図版17）　調査区の北東側CP53区付近で検出した。全体の平面形は南北に長い方形になるものと思われ、東側は調査区外に延びている。南北3.4m、東西1.0m、西側の残りが良い部分で深さ約0.1mを測る。床面は削り出されたままで使用されている。北側には幅約0.8m、高さ約0.1mの茶褐色土と黄色土の混土の盛り土による高まり、ベット状遺構がある。遺構全体には埋没時に茶褐色土が堆積する。上面は後世の耕作で削平され旧状を保っていない。

出土遺物には弥生後期の甕片が出土しており、遺構はその時期に属すものと思われる。

7SI160（第21図）　調査区の北東側CU47区付近の7SI120下位で検出した。全体の平面形を推定しうるほど検出できておらず、大半は東側の調査区外に延びている。南北4.2m、東西0.7m、西側の残りが良い部分で深さ約0.2mを測る。床面は削り出されたままで使用されている。遺構

は埋没時にまず南から暗灰色土、その上に黒色土が堆積する。

出土遺物には弥生後期中頃以降の土器群が出土しており、遺構はその時期に属すものと思われる。

7SI175（第19図、図版18）　調査区の南東側CO47区付近で検出した。全体の平面形は方形になるものと思われ、南側は調査区外に延びている。南北3.5m、東西6.0m、西側の残りが良い部分で深さ約0.3mを測る。床面は削り出されたままで使用されている。北側には幅約1.0m、高さ約0.1mの削り出しの上に淡茶色土の盛り土をした高まり、ベット状遺構がある。西側で約0.7m南へ「L」字に折れ曲がっている。遺構全体には埋没時に茶灰色土が堆積し、床面にうっすらと炭層が広がっている。上面は後世の耕作で削平され旧状を保っていない。出土遺物には弥生後期後半以降の土器群があり、遺構はその時期に属すものと思われる。

7SI179（第19図、図版18-1）　調査区の南東隅CN46区付近で検出した。7SI175を切り、7SI130に切られている。黒灰色土によって埋没している。弥生後期後半以降の壺が一点出土している。遺構の切り合い関係は土器型式から考えた場合、この遺構を挟んだ三者の形成時期には大きな時間的隔たりがなかった可能性が考えられる。

7SI190（第20図、図版19.20-1）　調査区の中央北側CX49区で検出した。奈良時代の7SD047に切られている。全体の平面形は略方形になり、南北3.4m、東西3.3m、西側の残りが良い壁部分で深さ約0.5mを測るが大半が削平されている。床面中央付近の東西二カ所に直径約0.5mの地盤が一部赤褐色に焼けた炉跡がある。全体プランの中央に、床面からの深さ0.1m、直径約0.25cmの柱の痕跡と考えられる穴が切り合って二つ認められる。床面は削り出されたままで使用され、炉跡には明確な掘り方がない。壁際には溝は巡っておらず、入り口に関わると考えられる張り出しもない（あるいは残存していない）。柱の切り合い、炉が複数ある状況から、同じ外形プラン内での建て替えがあった可能性が考えられる。

遺構埋没土からは弥生時代前期前半の甕と鉢片が出土していることから、この時期に相当する遺構と考えられる。この7SI190に切り込むピット（S-93）から石包丁の破片が出土しているが、元来はこの住居に伴ったものである可能性がある。

7SI195（第20図）　調査区の南東端側CP46区で検出した。弥生後期の7SD130に切られている。全体の平面形は略方形になり、南北4.2m、東西2.8m、西側の残りが良い壁部分で深さ約0.2mを測るが大半が削平されている。南東壁際に幅0.2mの溝がある。床面中央付近に柱穴と考えられる深さ0.4mの中間にステップを持つ穴が一つ穿たれている。

弥生時代後期後半の時期の土器群が出土しており、本遺構の時期もその頃に比定される。

7SI205（第21図）　調査区の南東端側C049区で検出した。7SI215を切り、7SI175を切って形成されている。南北4.7m、東西1.7m、深さ約0.1mを測るが大半が削平されている。「L」字の

ベットが削り出しによって形成される。

弥生時代後期後半の時期の土器群が出土しており、本遺構の時期もその頃に比定される。

土坑

7SK021（第22図、図版20-2.21）　CR47地区にあり、長辺2.4m短辺1.9m深さ0.55mを測る。覆土は6層の流れ込み堆積からなる。平面形はおおよそ方形を呈す。上面はかなり削平されていると考えられる。粘土地盤に形成されているので保水性が高い（以下、第22図土層略図を参照のこと）。弥生前期前半の遺物が出土している。

7SK022（第22図、図版22.23-1）　CS56地区にあり、1.9m×1.3m、深さ0.5mを測る。3層の流れ込み堆積からなる。方形を呈し、南西角に１層と同じ淡茶土で埋没する張り出しがある。階段状のステップであったと考えられる。弥生前期前半の遺物が出土している。

7SK025（第22図、図版23）　CV53地区にあり、2.1m×1.3m、深さ0.6mを測る。6層の流れ込み堆積。平面形は方形。北東角に張り出しがあり、階段状のステップであったと考えられる。弥生前期前半の遺物が出土している。

7SK040（第23図、図版24.25）　DA51地区にあり、1.3m×1.5m、深さ0.95mを測る。3層の堆積。2層は埋め戻しか。1層から切り込むような土層があり、堆積に時間差があったと思われる。平面形は方形をなす。弥生前期前半の遺物が出土している。

7SK068（第23図、図版26.27-1）　CW50地区にあり、2.3m×2.0m、深さ1.1mを測る。6層の流れ込み堆積。下層の暗黄褐色土形成中に完形と破片を交えた複数の壺型土器や炭化材の投棄が見られる。平面形は方形で、断面形は直線的である。弥生前期前半の遺物が出土している。

7SK080（第24図、図版27-2）　DA51地区にあり、1.4m×1.1m、深さ0.7mを測る。3層の流れ込み堆積。平面形は方形で、壁の立ち上がりは直線的。位置的に本遺構を挟んで7SK040と7SK230とが軸を揃えて並んでいる形となっている。弥生前期前半の遺物が出土している。

7SK090（第24図）　CP51地区にあり、2.0m×1.9m、深さ0.2mを測る。隅丸方形。弥生後期の住居7SI005を切って形成される。出土遺物には弥生後期のものを含んでいる（前期の遺物も混入している）。

7SK105（第24図、図版10-2）　CR51地区にあり、3.1m×1.3 m、深さ0.9mを測る。東西に長い溝状で中央でゆるいステップを持って窪む。出土遺物は奈良時代中頃に位置付けられ、口縁部の焼けた須恵器の坏やトリベなど鋳造作業に関連した遺物が含まれ、遺構の用途もそれに関係したものであったとも考えれる。

7SK141（第25図、図版28）　CX47地区にあり、2.5m×1.5＋m、深さ0.2mを測る。２層の流れ込み堆積。楕円形をなす。完形の須恵器を含め多くの土器が出土し、廃棄物の処理遺構であったと考えられる。かなり焼け歪んだ製品も含むが土師器の甕や製塩土器も併せて棄てられて

おり、須恵器生産よりも生活に関連した性格を考える必要があろう。同様の廃棄土坑はこの前田遺跡の南半分に集中している傾向がある。

7SK145（第25図、図版29）　CR49地区にあり、3.1m×2.5m、深さ1.7mを測る。12層の流れ込み堆積。平面形は隅丸方形で、壁の中央が袋状に膨らんで立ち上がる。床面四隅に直径0.15m、深さ0.1mほどの柱が建てられていた痕跡が見られた。砂層に形成されており、保水性は低い。

7SK168（第26図、30～32）　CU51地区にあり、2.7m×2.3m、深さ1.4mを測る。5層の流れ込み堆積。茶褐土層は埋め戻しか。中型壺はその上面に乗っていた。平面形は方形で、壁は直線的に立ち上がる。床面を検出した時点で直径0.2m、深さ0.2mほどの8本の柱の痕跡が認められた。柱埋土は壁に食い込むような形で立ち上がっていた。弥生前期前半の遺物が出土している。

7SK183（第25図、図版33）　CN56地区にあり、2.0m×1.2m、深さ0.1mを測る。長方形を呈す。ほとんど削平された状態であるが、出土遺物から弥生前期の貯蔵穴と判断している。

7SK184（第25図、図版33）　CT49地区にあり、1.7m×1.3m、深さ0.4mを測る。方形。

7SK185（第27図、図版34）　CS49地区にあり、2.2m×1.6m、深さ1.3mを測る。平面は方形で、壁面は西側下位で多少えぐれ気味になっている。大まかに3層の流れ込み堆積からなる。地盤は中位から下は砂層で脆く、水はけが良い。7SK145に切られる。弥生前期前半の遺物が出土している。

7SK193（第26図、図版34）　CT50地区にあり、1.7m×1.0m、深さ0.8mを測る。方形をなす。大半が黄灰土で埋没し人為的に埋められた可能性も考えられる。弥生前期に属す。

7SK210（第26図、図版35）　CQ50地区にあり、1.7m×1.2m、深さ0.5mを測る。方形。7SK220の東半分を掘り下げ中に土色の様相から別遺構と判断した。弥生前期前半の遺物が出土している。

7SK220（第27図、図版35）　CP50地区にあり、3.3＋m×2.1m、深さ1.1mを測る。南は調査区外に延びており、長方形を呈す。地盤は中位から下は砂層で脆く、水はけが良い。初期の堆積は東辺から土が供給され、時間差をおいて中層以上が細かく埋まっている。弥生前期前半の遺物が出土している。

7SK225（第28図、図版36）　CQ52地区にあり、3.0m×2.8m、深さ1.2mを測る。安全管理のため北半分を調査したに止まった。7層の流れ込み堆積からなる。平面は円形を呈すが床面は平らではない。埋没後の圧蜜によって中央がへこんだことで、上面にあった7SI140の埋土がこの遺構レベルまで下がっていた。地盤の中位以下は砂層であり水はけは良い。弥生前期前半の遺物が出土している。

7SK230（第28図、図版37）　CY51地区にあり、1.9m×1.8m、深さ1.0mを測る。方形。中央

に深さ0.1mの窪みあり。窪みの中央の南北対に杭の痕跡が見られる。後期の遺物はこの遺構に切り込んだピットの遺物が混入したものと解釈している。

7SK243（第28図）　CP48地区にあり、1.9m×1.1m、深さ0.5mを測る。方形を呈す。弥生後期の甕の口縁片が出土している。

墳墓

7ST015（第29図、図版38.39）　CQ53地区にあり、2.1m×0.65m、深さ0.15mを測る。長方形の棺長は1.25m、幅0.45m。床面から多少浮いた位置で鍛造鉄釘と鉄製紡錘車、越州窯系青磁椀口縁部片が検出された。紡錘車と越磁片は副葬されたものと考えられる。初期輸入陶磁器の破片副葬例は筑紫野市剣塚遺跡ほか太宰府周辺では希に見られる。平安時代中頃の所産か。

7ST020（第30図、図版40）　CT52地区にあり、2.1m×0.9m、深さ1.0mを測る。長方形の掘り方を持つが、上層の茶褐土を除去した時点で1.5m×0.5mの方形プランを見つけている。その下位では明確な棺の痕跡を確かめることが出来ずに、下まで掘り下げたところ土師器坏が4点出土した。釘は一点もなく、木棺の使用の有無については判断に困る。遺物は転落した形で出ており、木蓋上に供献されたものと考えている。9世紀後半の所産と考えられる。

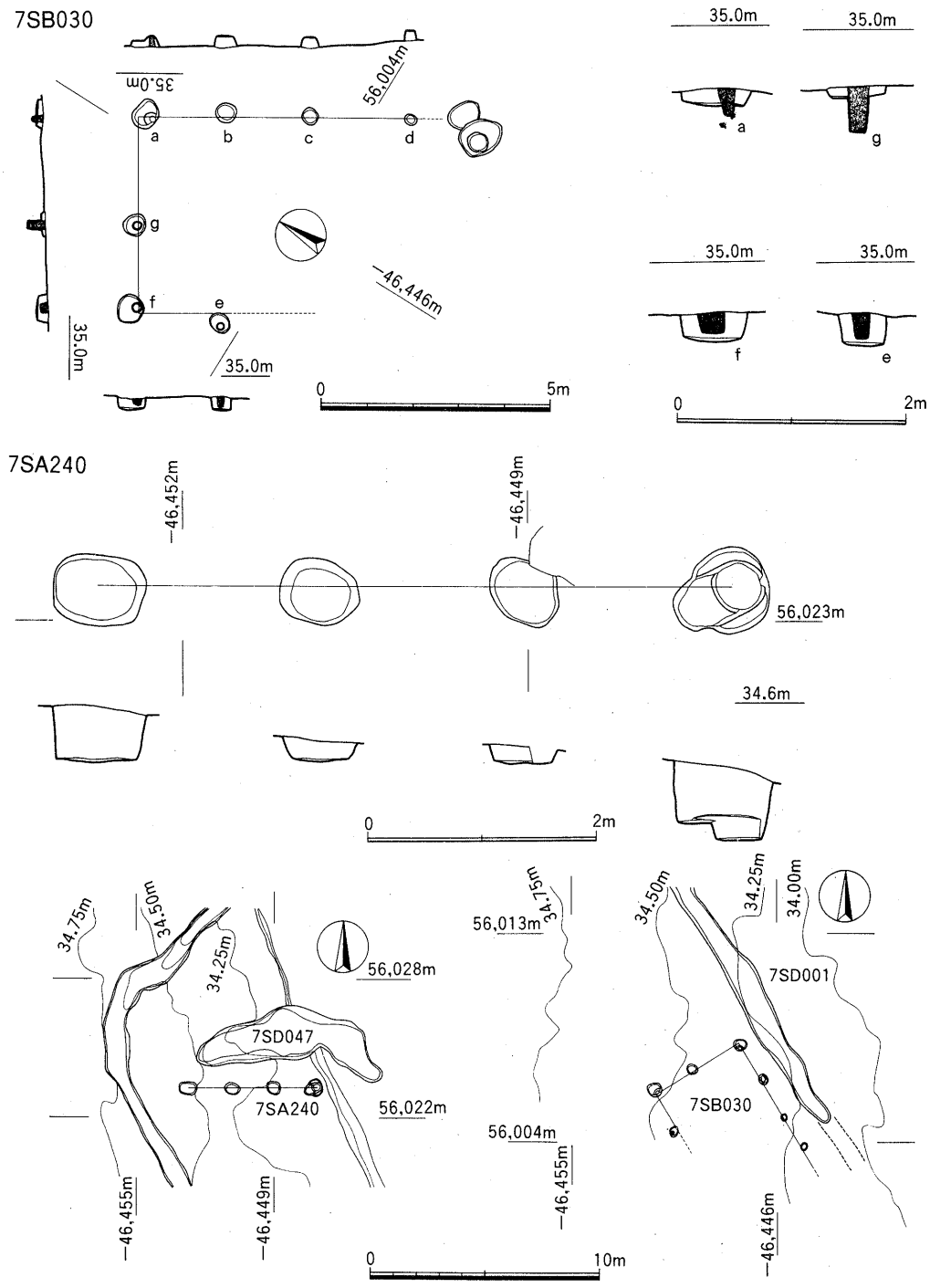
7ST165（第29図、図版40）　CU51地区にあり、2.0m×0.7m、深さ0.35mを測る。掘り方は長方形をなす。明確な棺の痕跡を確かめることが出来ずに、下まで掘り下げたところ土師器坏が1点出土した。鉄釘は掘り方中位の四隅で検出され、棺は組み合わせ式で蓋のみが釘止めされたらしい。棺中のレベルで土師器坏が1点出土している。出土レベルから棺蓋上にあり、後に落下した可能性も考えられる。9世紀後半の所産と考えられる。

溝

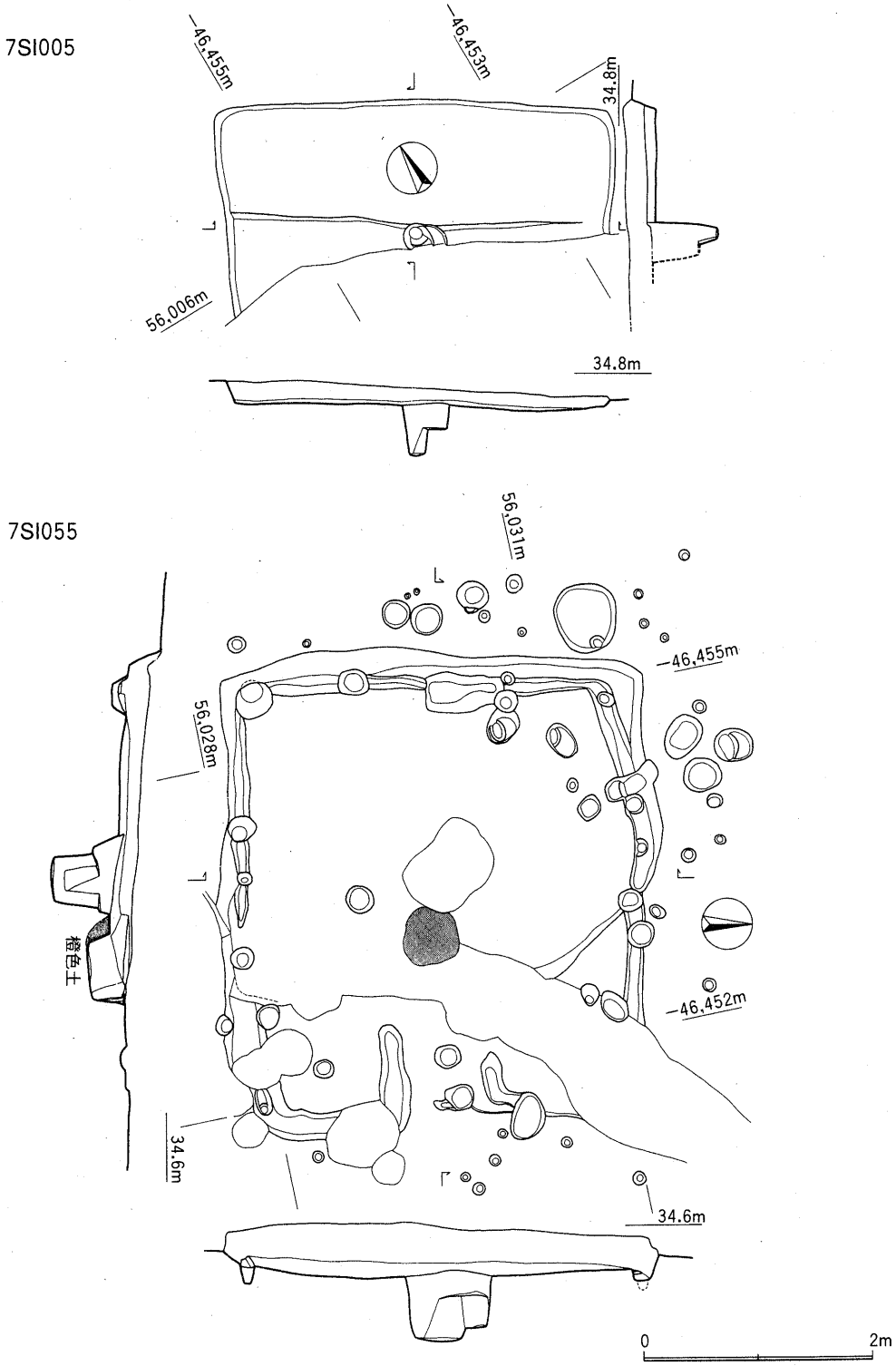
7SD001（第8図、図版2-2）　調査区の東側を「L」字に巡っている。平均的は箇所では幅0.6m、深さ0.3mを測る。東側の延長は4次調査で確認され、古代官道の路面を横切っていた。流水があったような痕跡はなく土地を区画する用途で造られた可能性が考えられる。奈良時代中頃から後半にかけての時期の遺物が出土している。

7SD047（第31図、図版2-2）　CW49　8.0m×2.3m、深さ0.5mを測る。埋土は2層の流れ込み堆積からなるが、明確に水が流れたような痕跡を示すものではない。東側が現代の整地の際に削り取られており、7SK105のような土坑状であった可能性も考えられる。奈良時代中頃の遺物が出土し、遺構の時期もその頃に比定される。

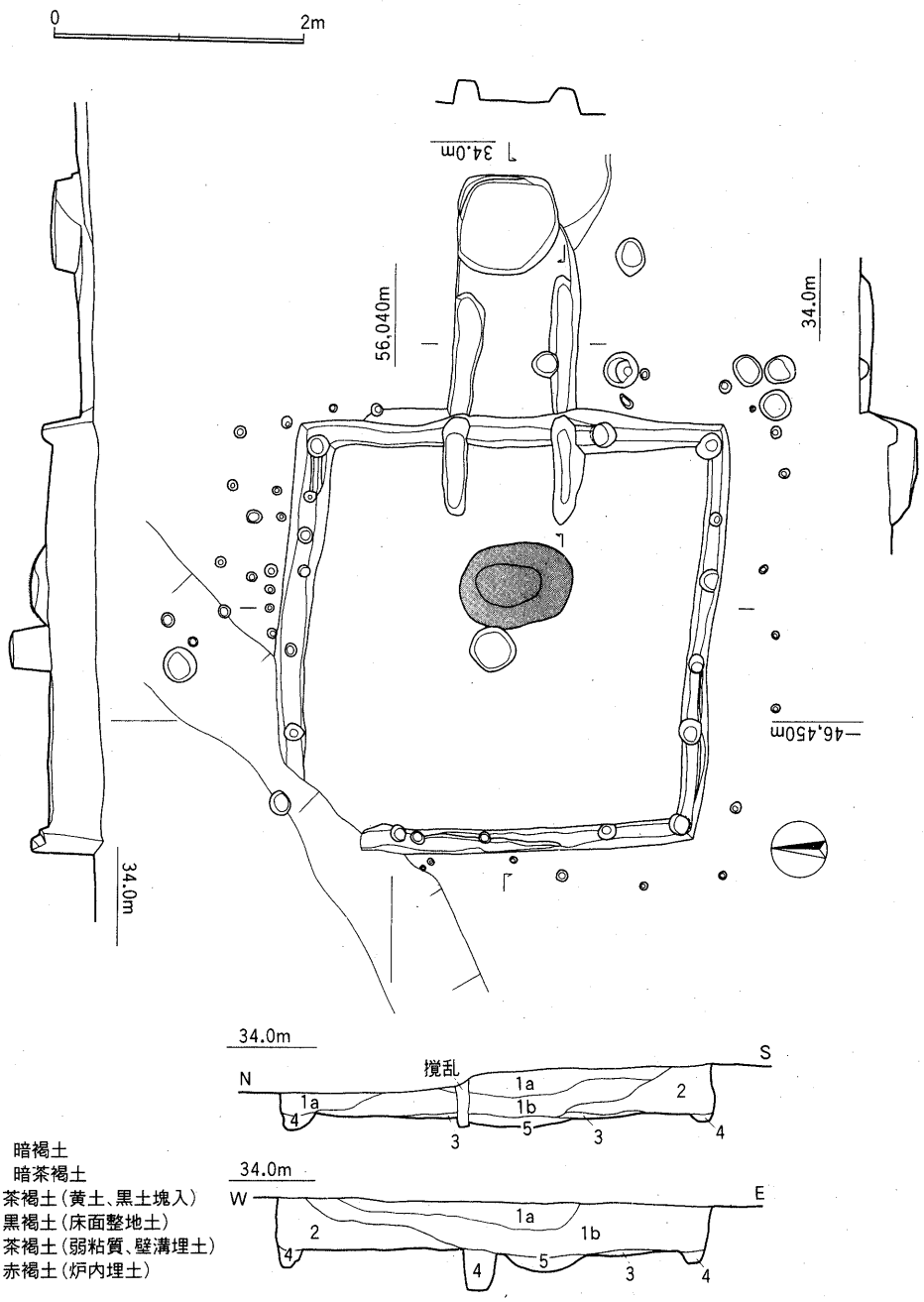
7SD095（第31図、図版41）　DC51　最大幅3.0m、深さ0.6m、半径10mの円形を描くものと考えられる。おおよそ4層の自然堆積層が見られ、最下層には6世紀に比定される須恵器が、最上層には奈良時代中頃の須恵器が流入している。円墳の周溝の可能性がある。主体部に想定される位置は完全に削平されており、墳丘盛り土も明確なものは確認できなかった。



第9図　前田7次SB030、SA240掘立柱建物・柵列跡実測図
（1/150.1/60.1/300）

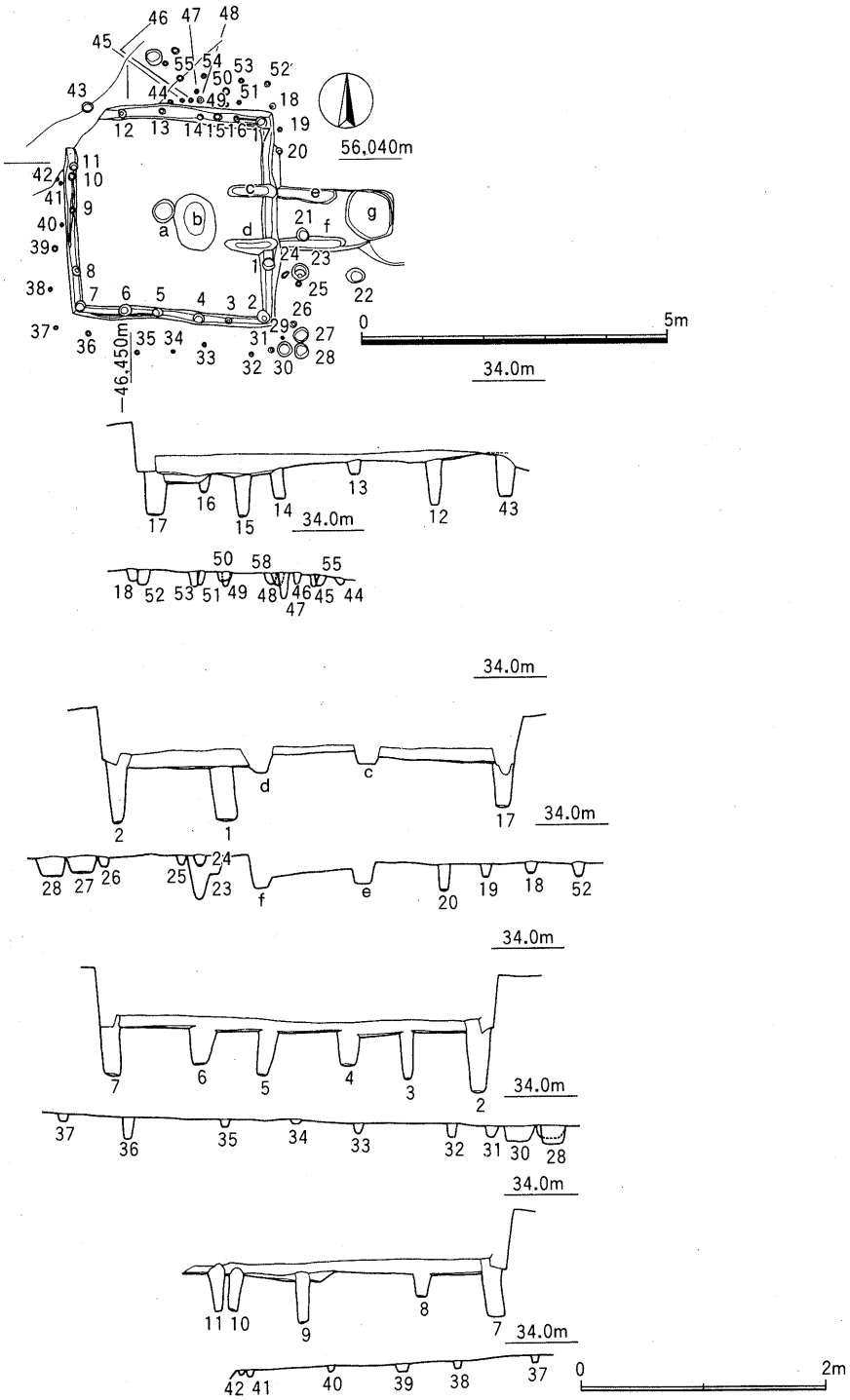


第10図　前田7次SI005、055住居跡実測図（1/60）

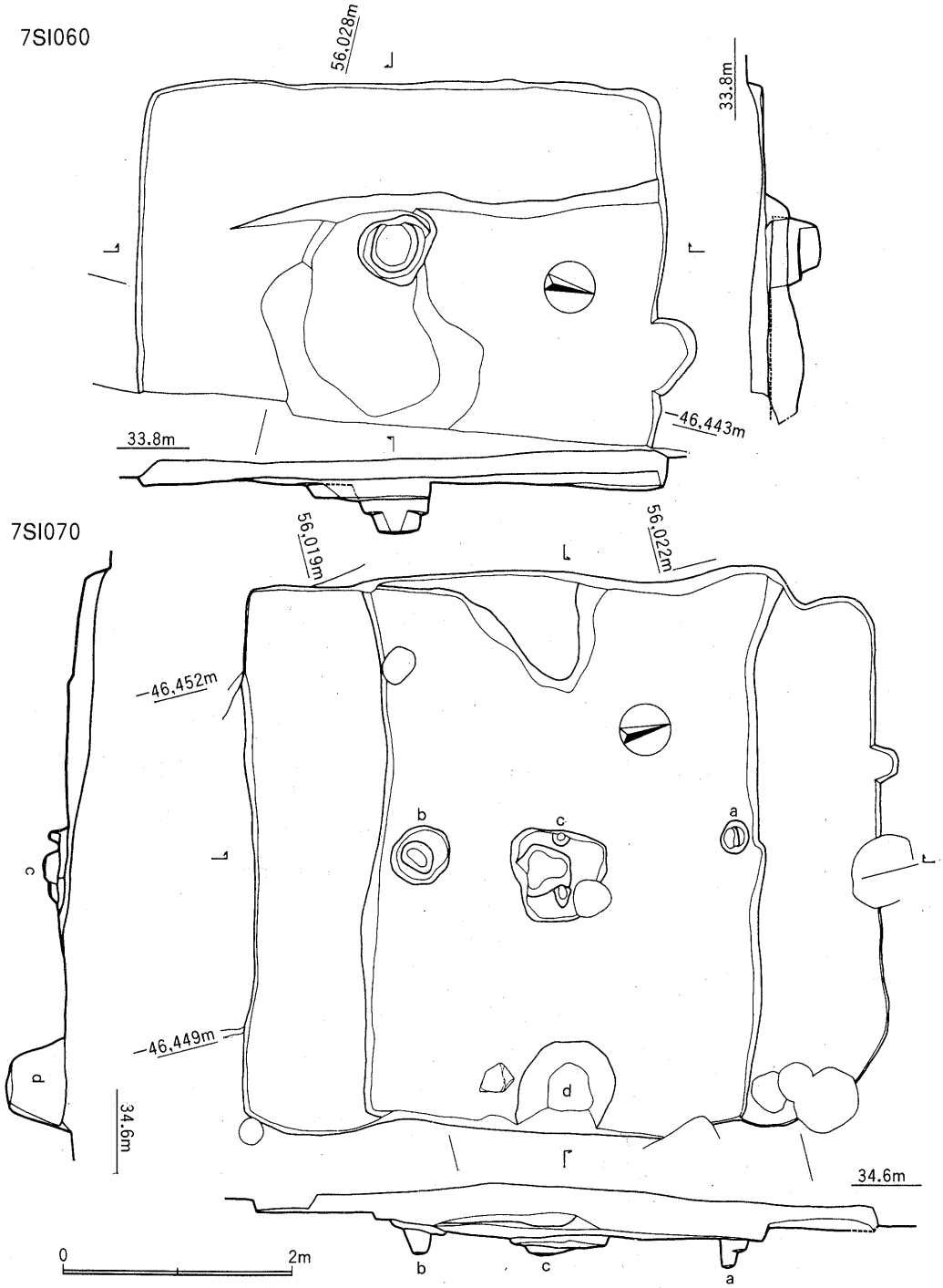


1 a．暗褐土
1 b．暗茶褐土
2．茶褐土（黄土、黒土塊入）
3．黒褐土（床面整地土）
4．茶褐土（弱粘質、壁溝埋土）
5．赤褐土（炉内埋土）

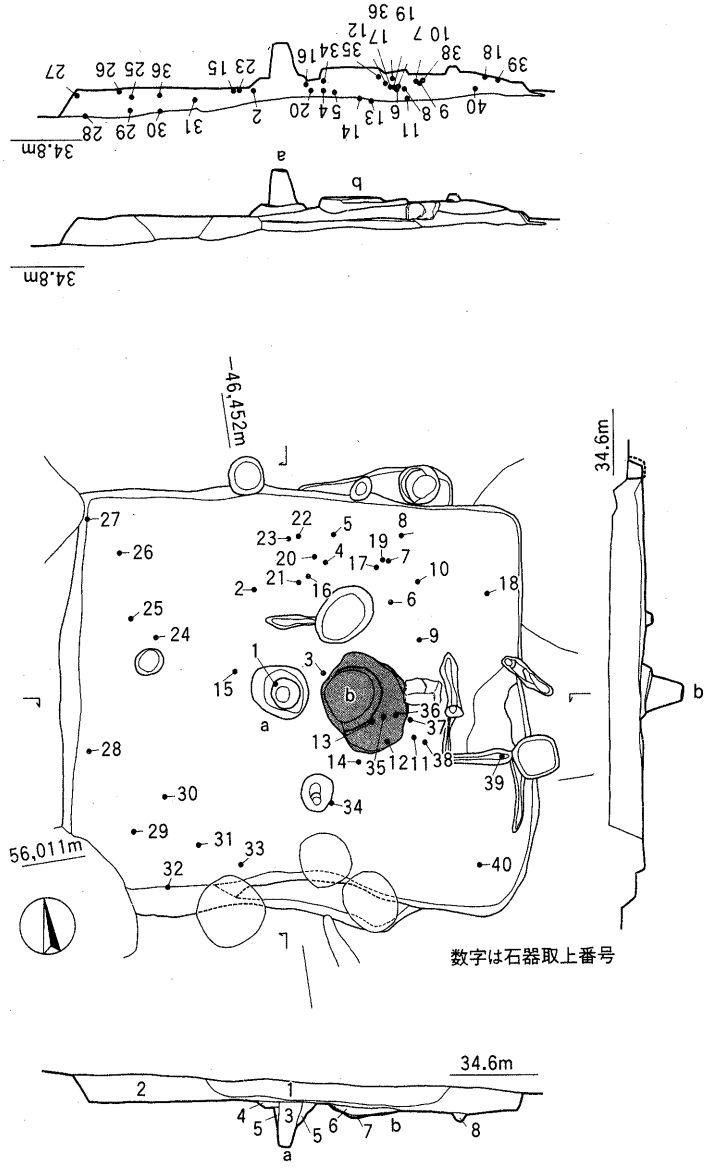
第11図　前田7次SI065住居跡実測図1（1/60）



第12図　前田7次SI065住居跡実測図2（1/120、1/60）

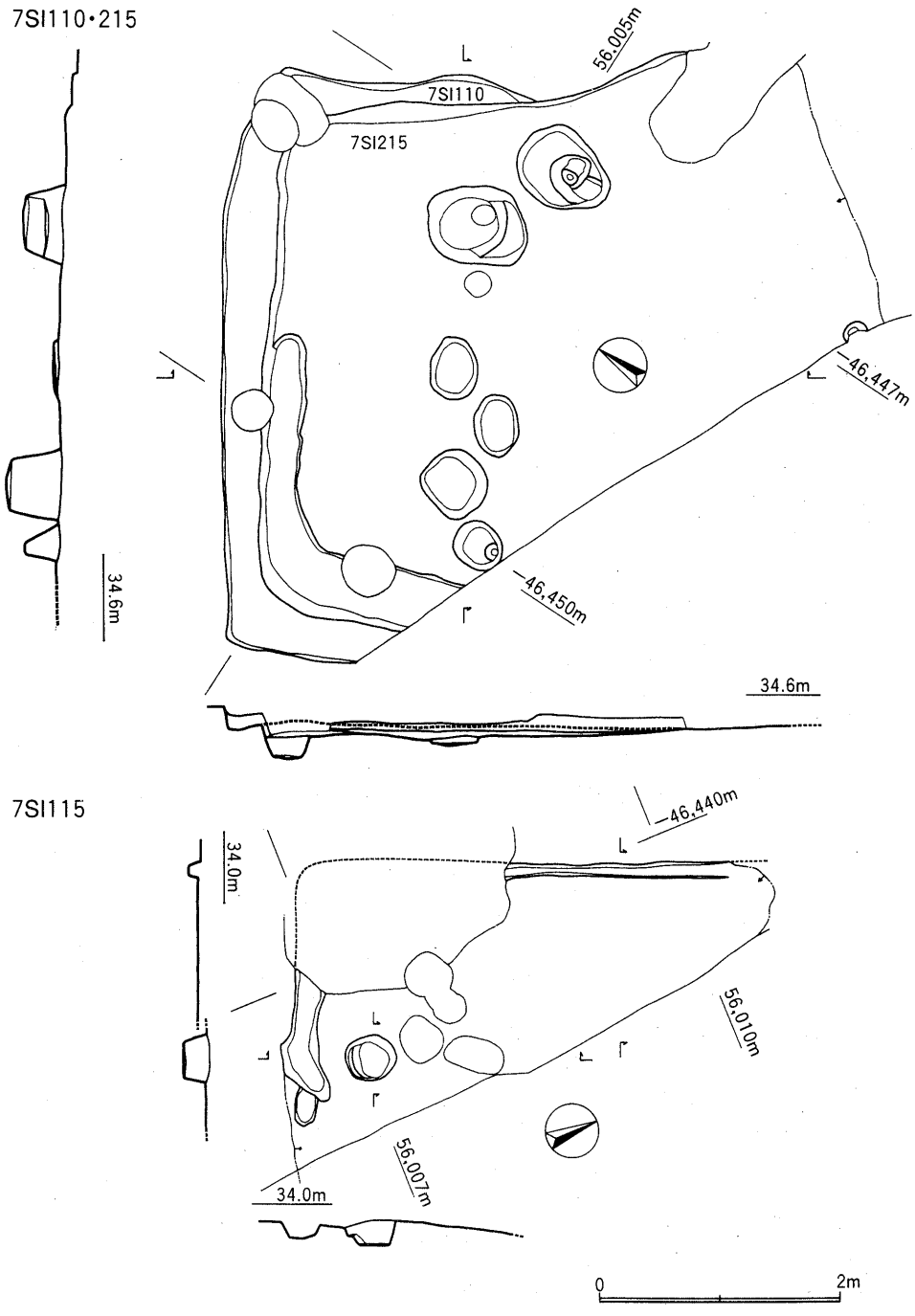


第13図　前田7次SI060、070住居跡実測図（1/60）

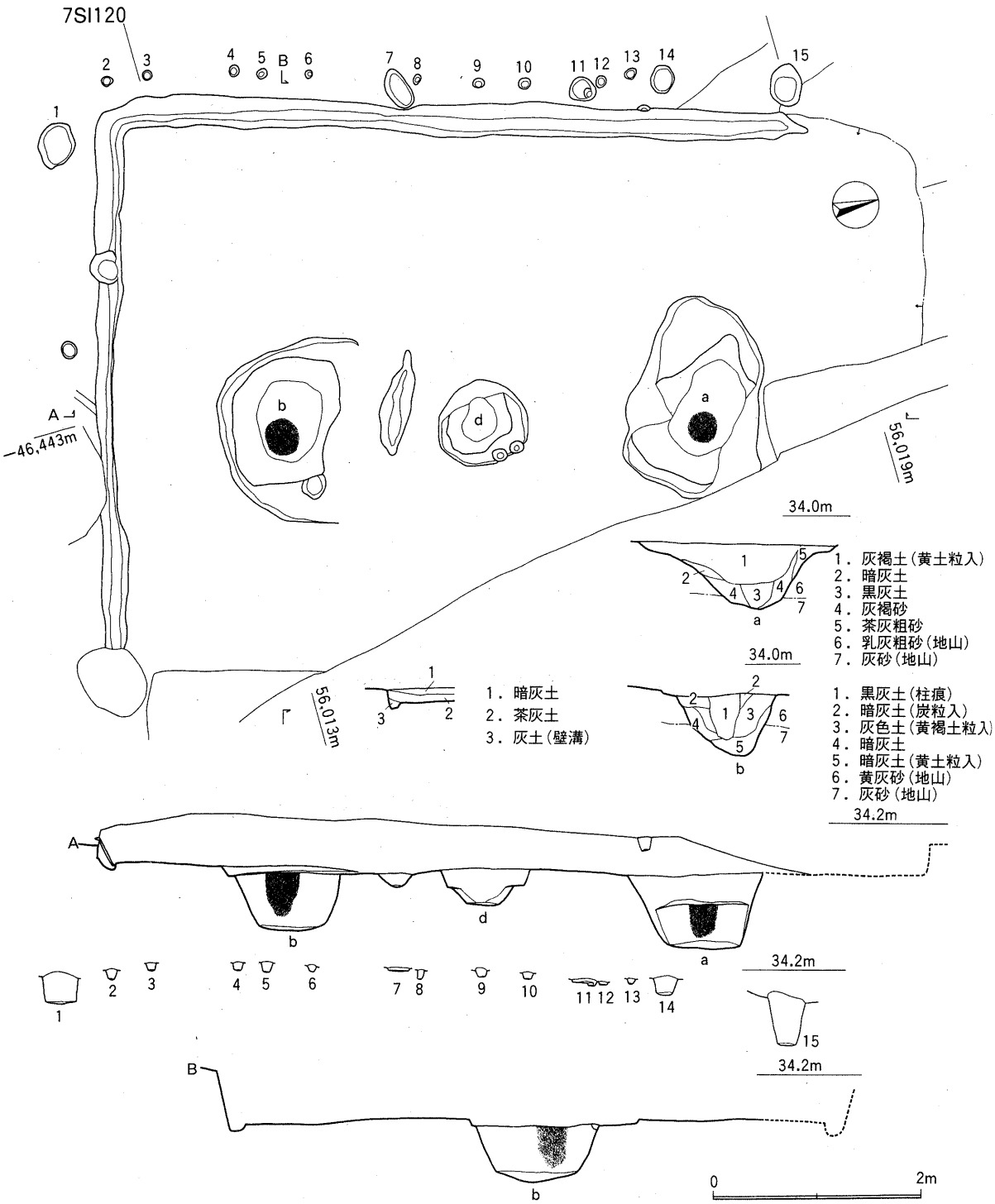


1．茶色土
2．茶灰土
3．暗茶土
4．暗灰土
5．灰色土
6．茶褐土
7．淡赤褐色砂土
8．淡茶褐土

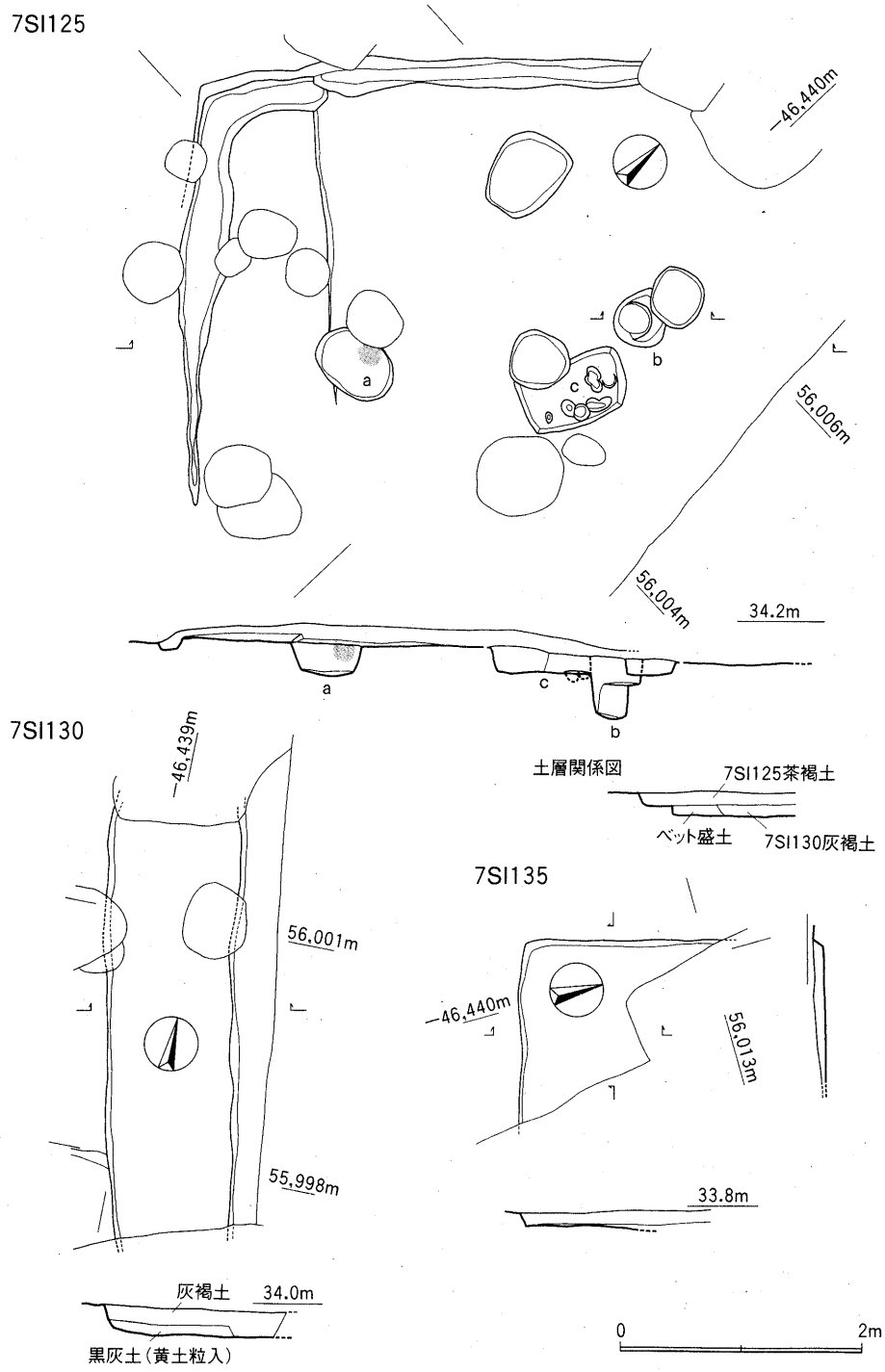
第14図　前田7次SI085住居跡実測図（1/60）



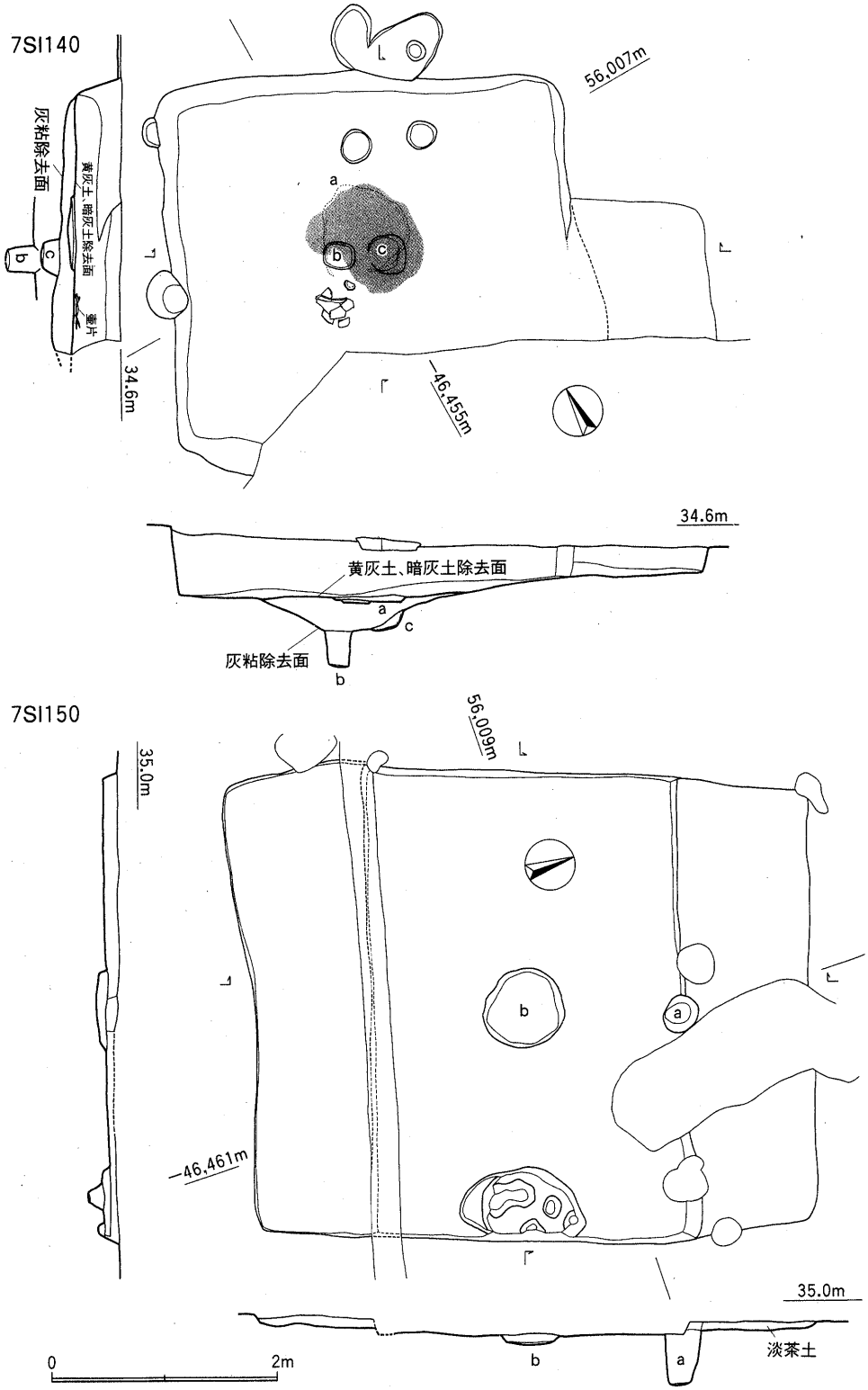
第15図　前田7次SI110、115、215住居跡実測図（1/60）



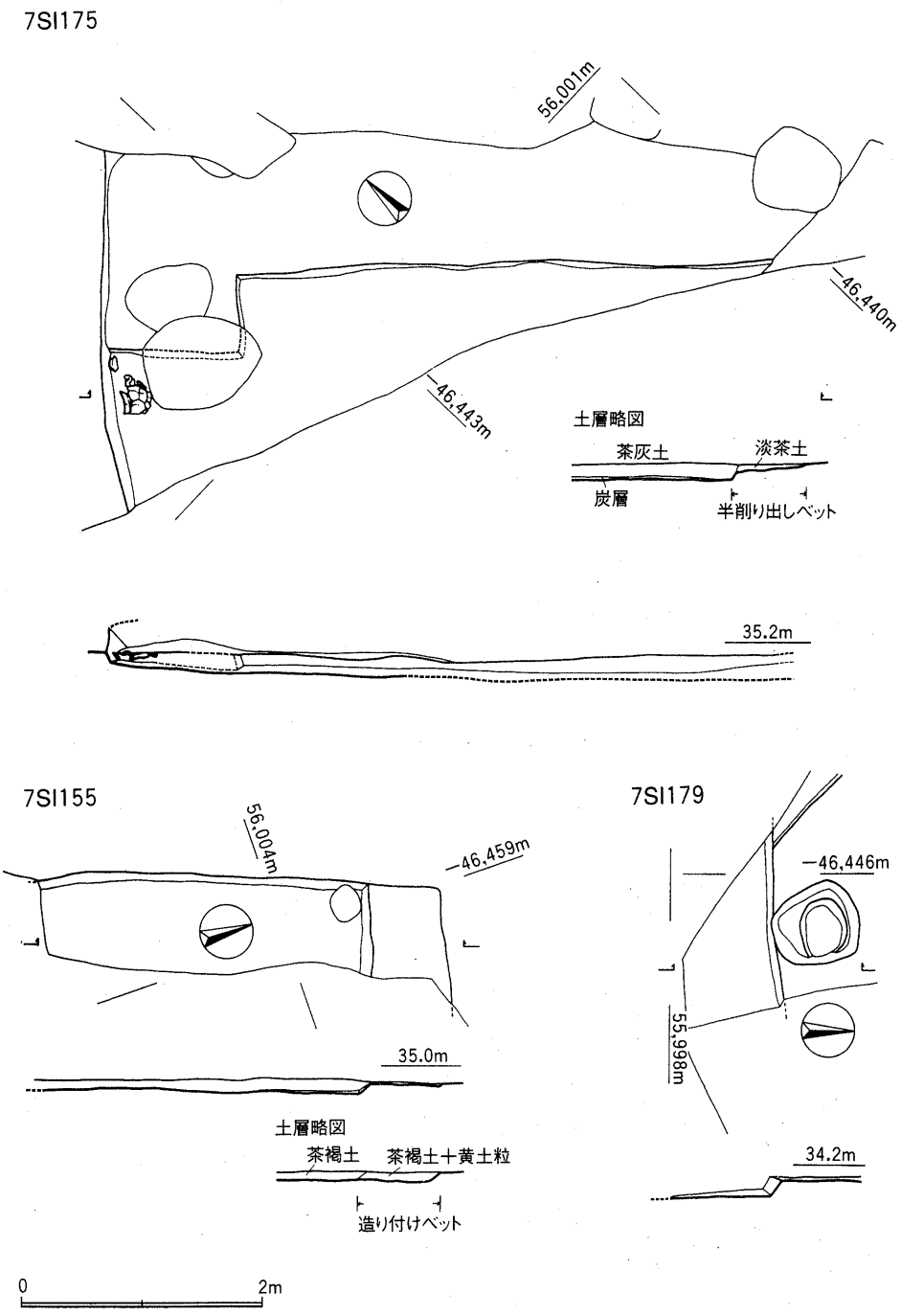
第16図　前田7次SI120住居跡実測図（1/60）



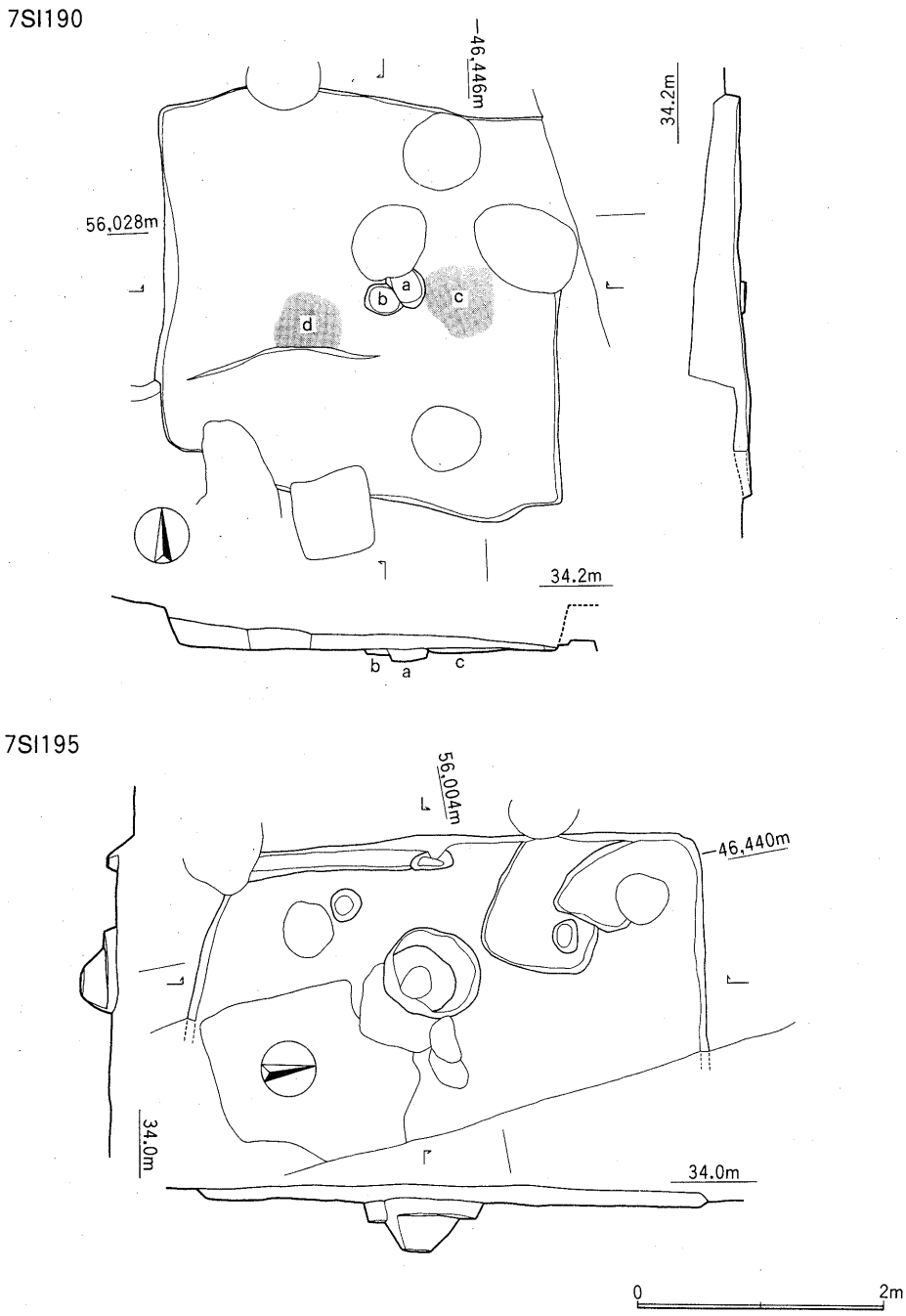
第17図　前田7次SI125、130、135住居跡実測図（1/60）



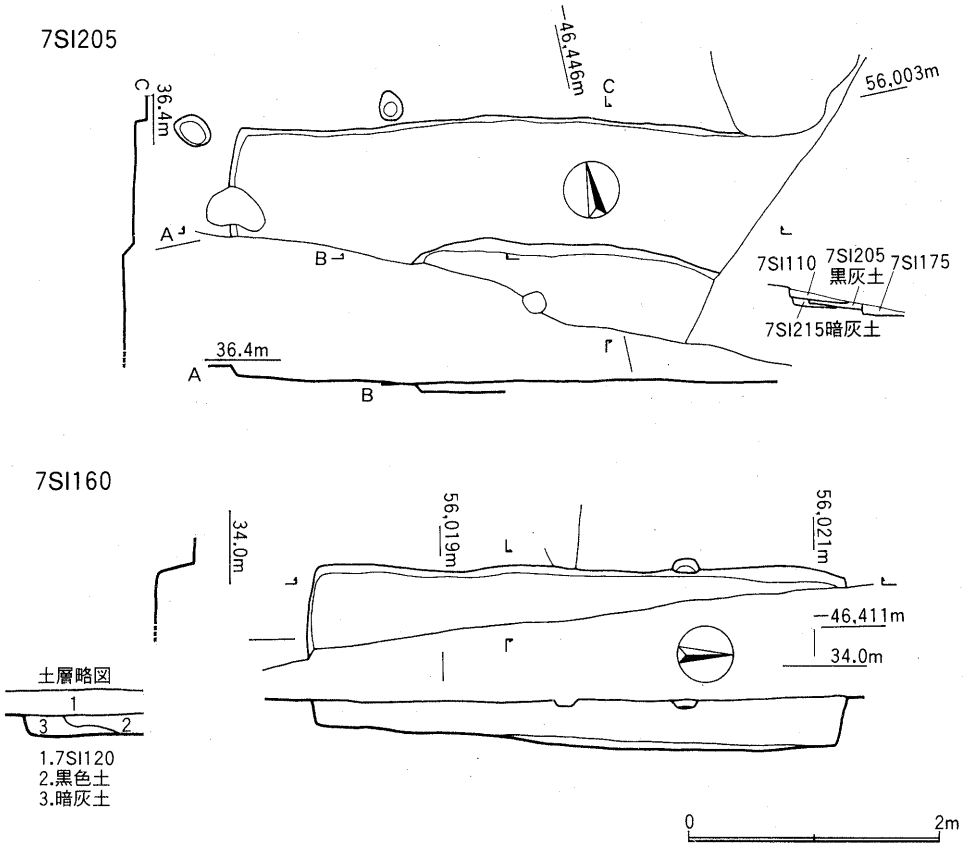
第18図　前田7次SI140、150実測
住居跡図（1/60）



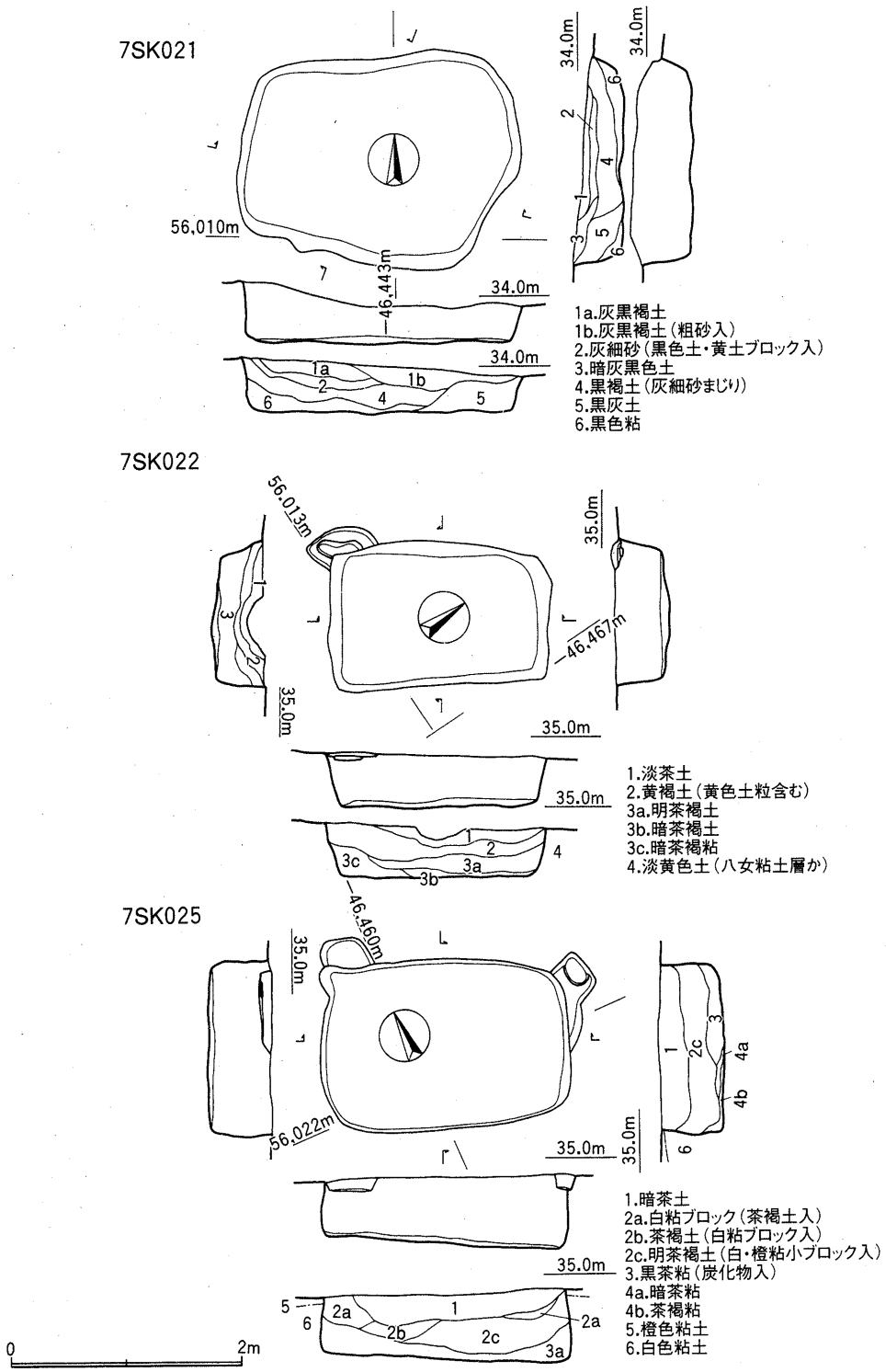
第19図　前田7次SI155、175、179住居跡実測図（1/60）



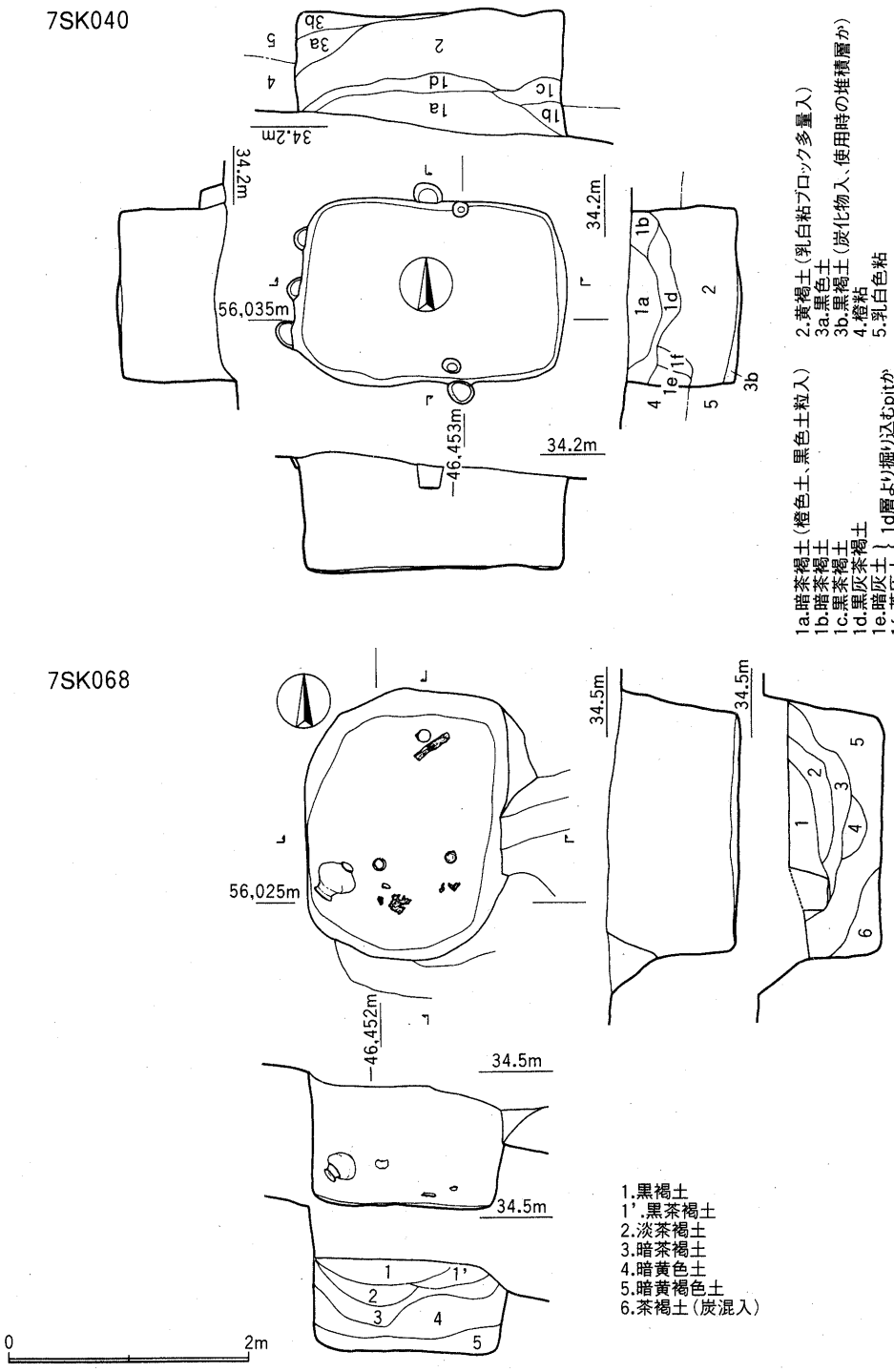
第20図　前田7次SI190、195住居跡実測図（1/60）



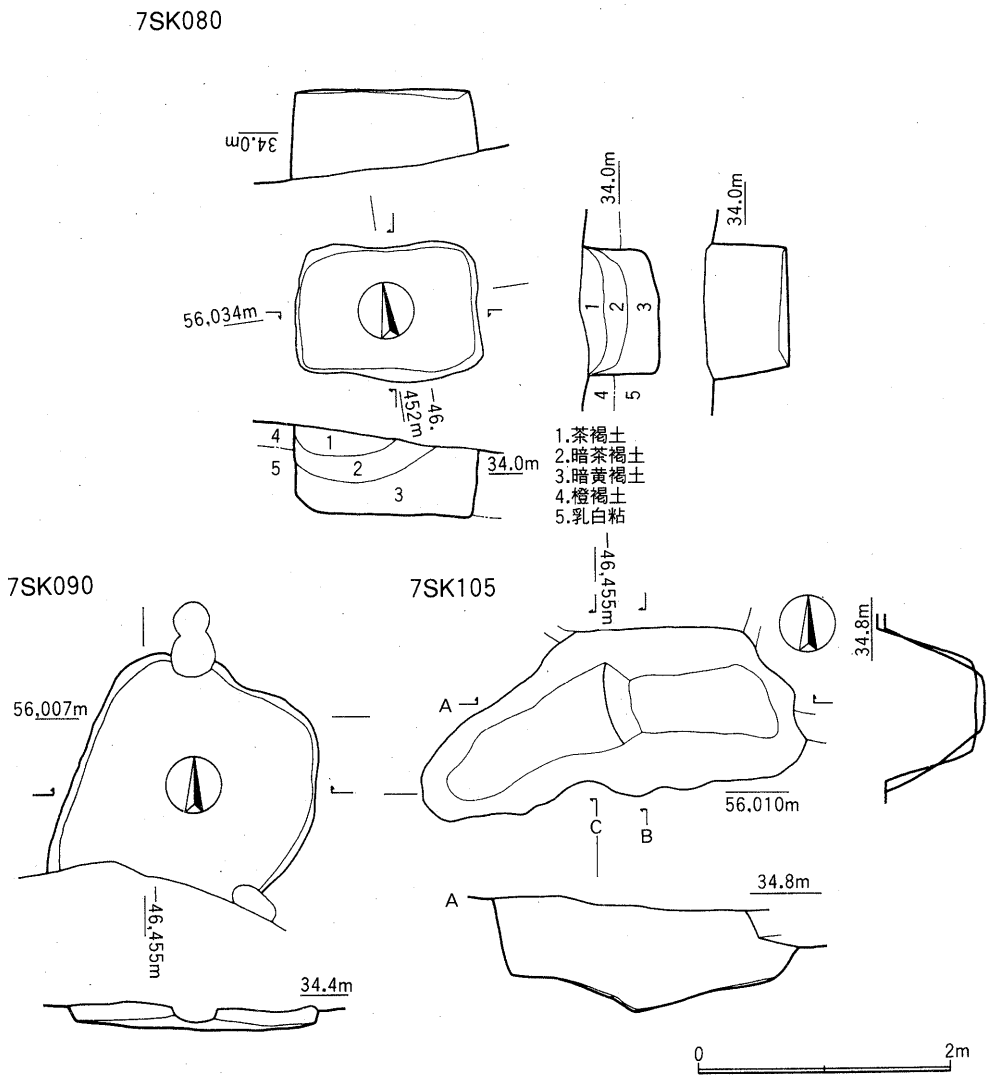
第21図　前田7次SI205、160住居跡実測図（1/60）



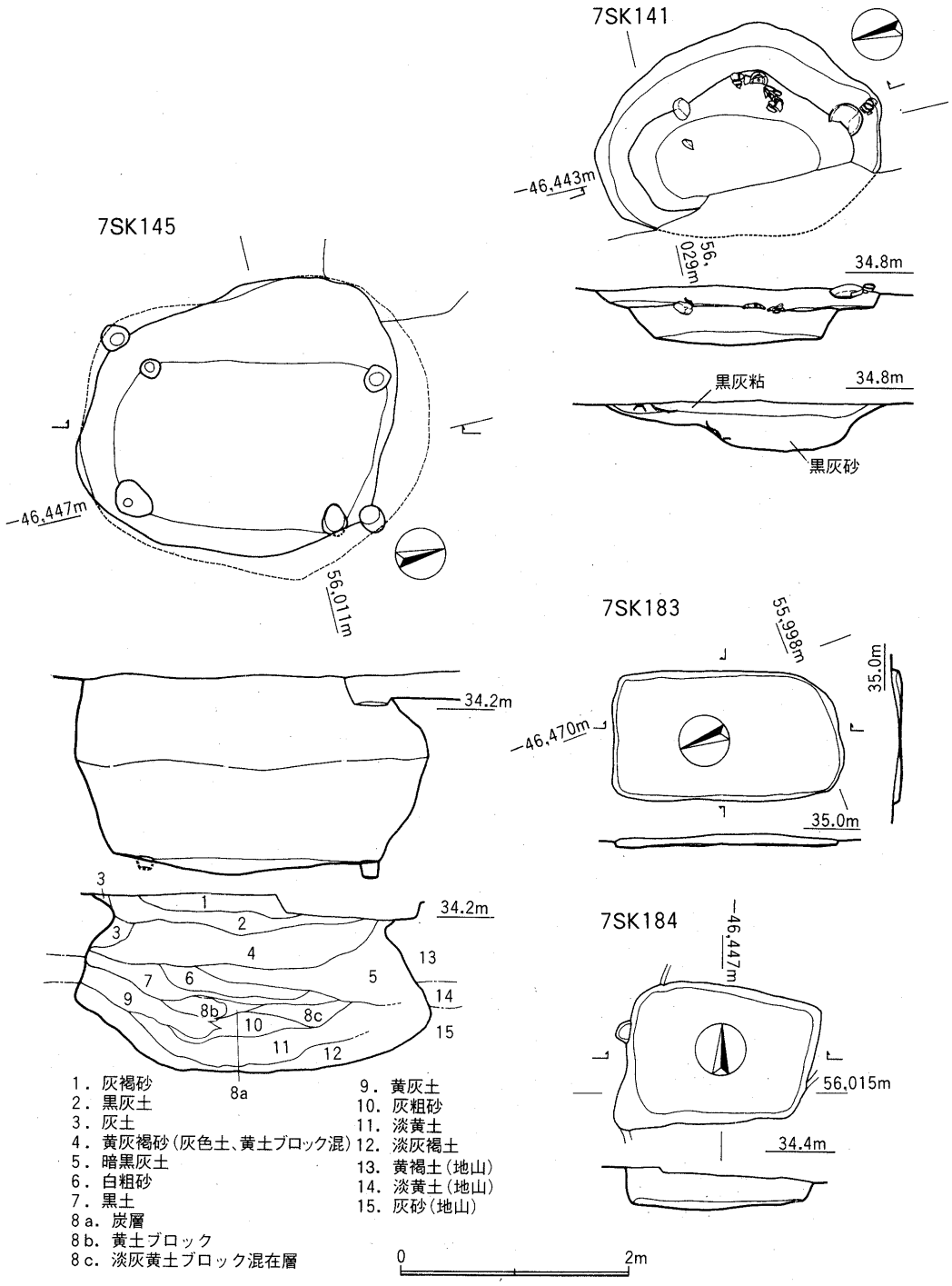
第22図　前田7次SK021、022、025土坑実測図（1/60）



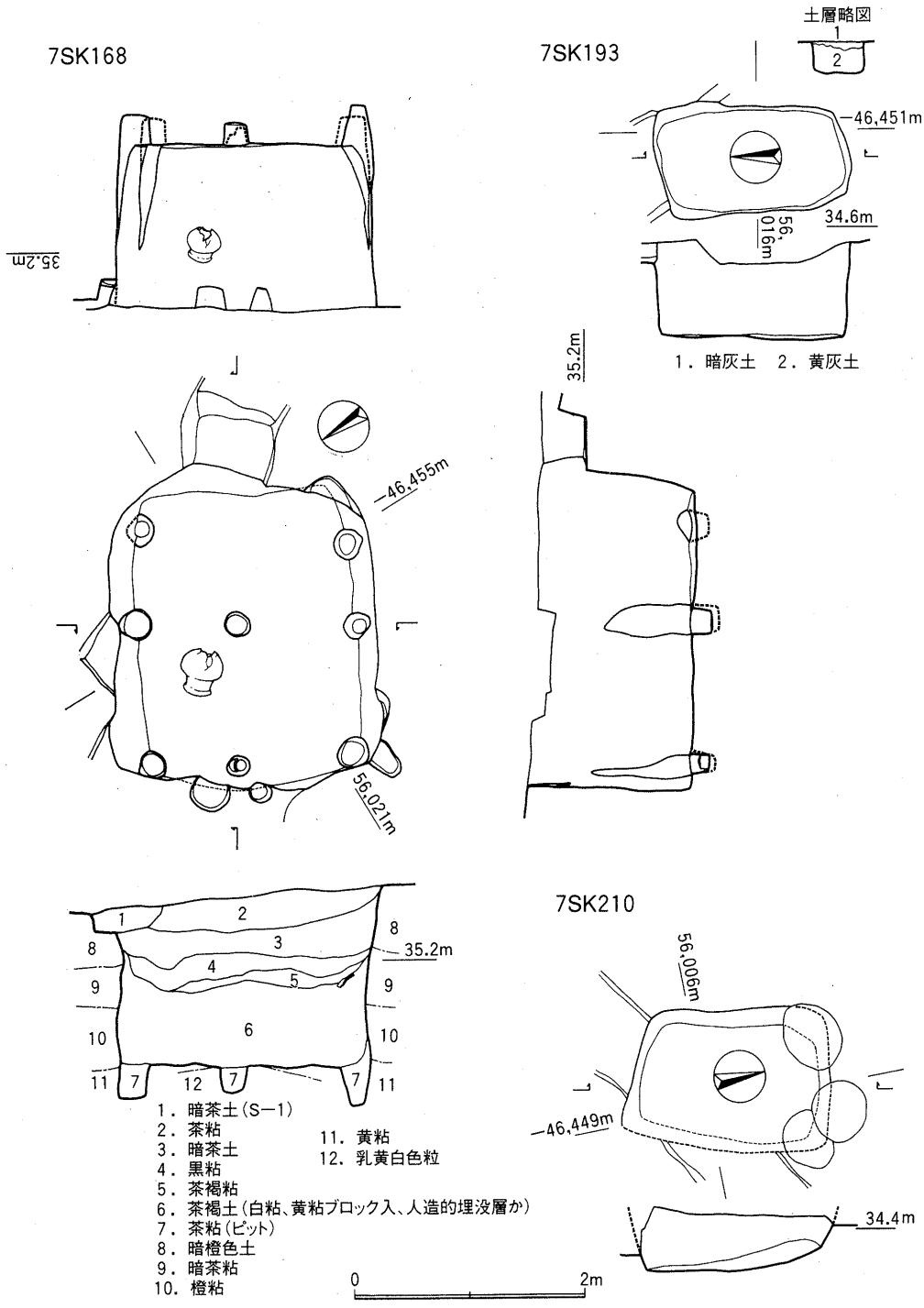
第23図　前田7次SK040、068土坑実測図（1/60）



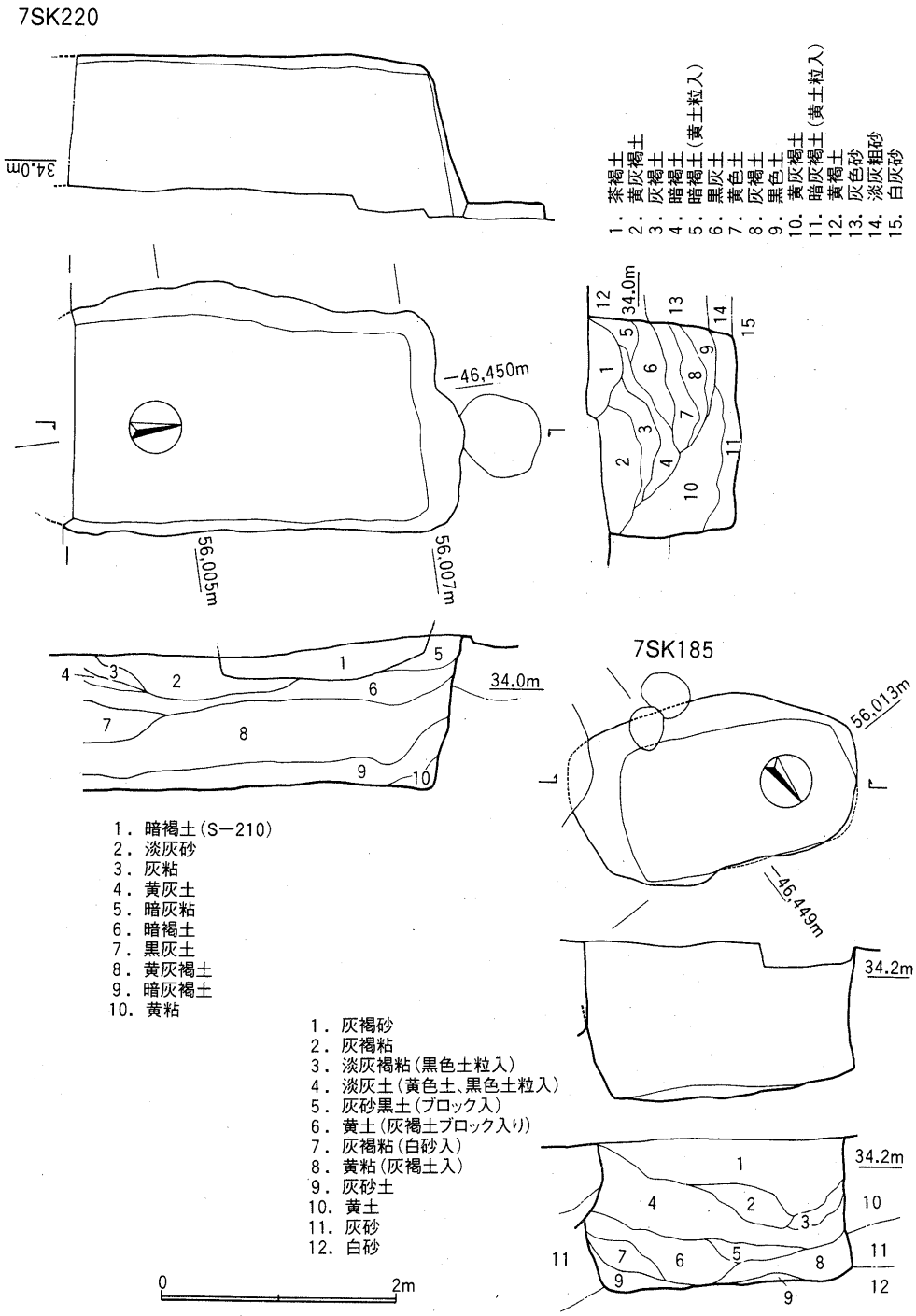
第24図　前田7次SK080、090、105土坑実測図（1/60）



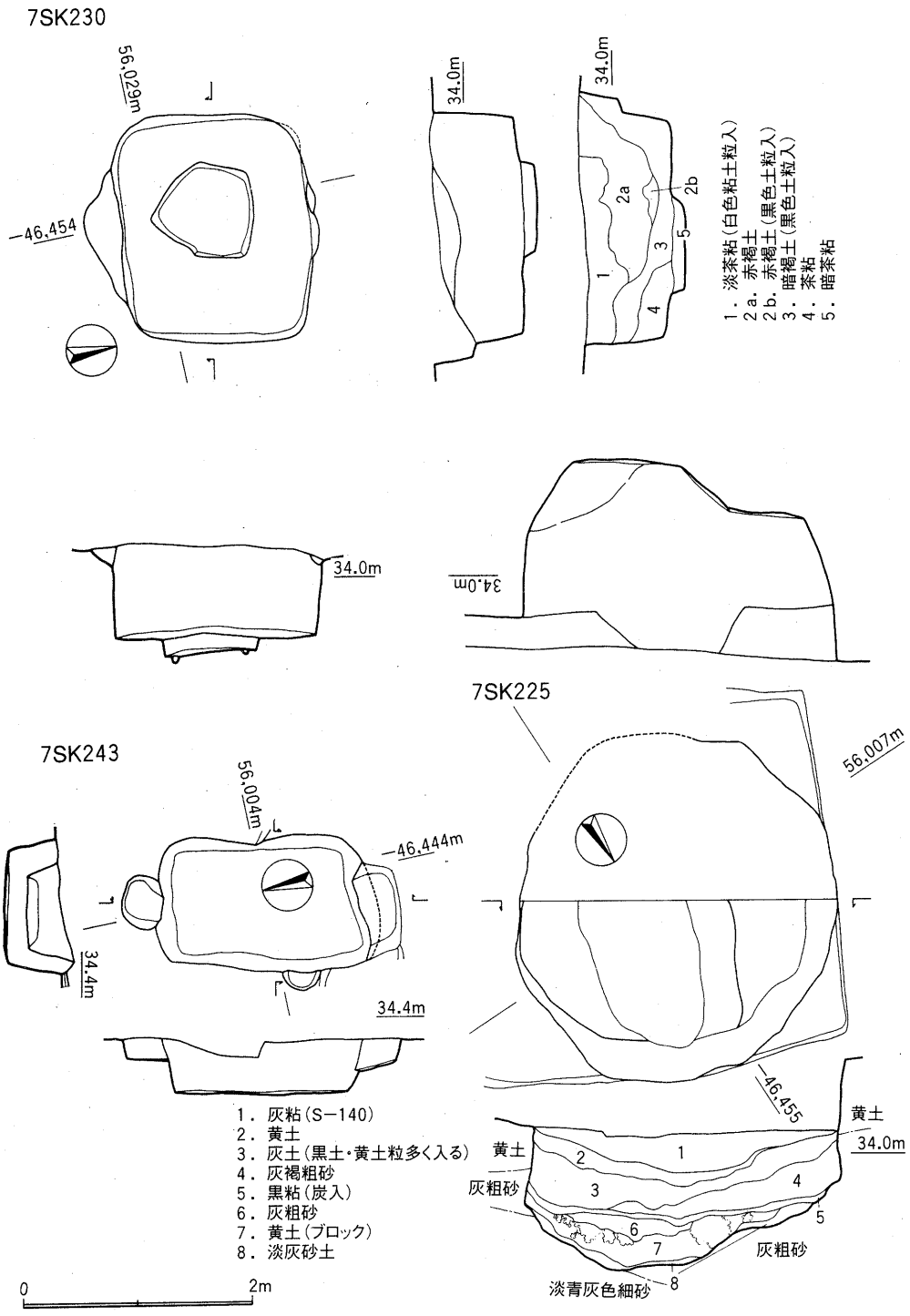
第25図　前田7次SK141、145、183、184土坑実測図（1/60）



第26図　前田7次SK168、193、210土坑実測図（1/60）

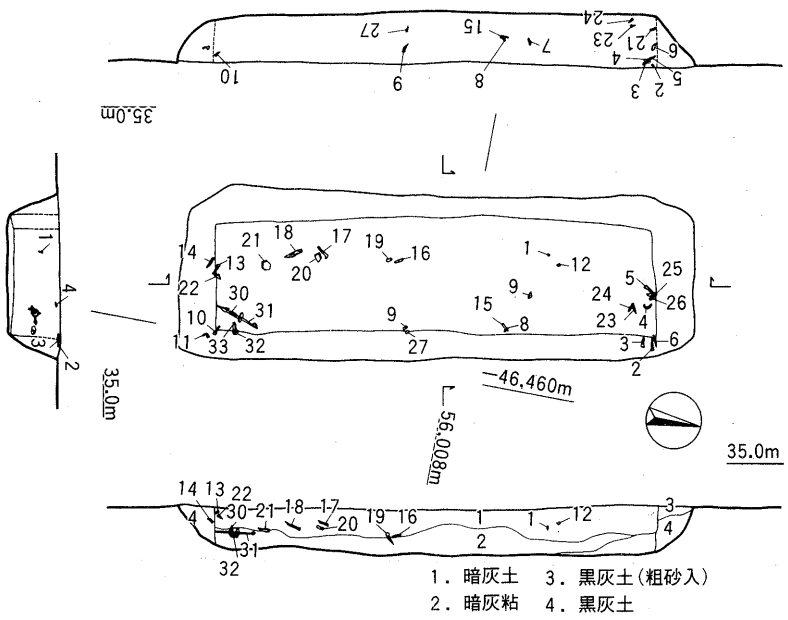


第27図　前田7次SK185、220土坑実測図（1/60）

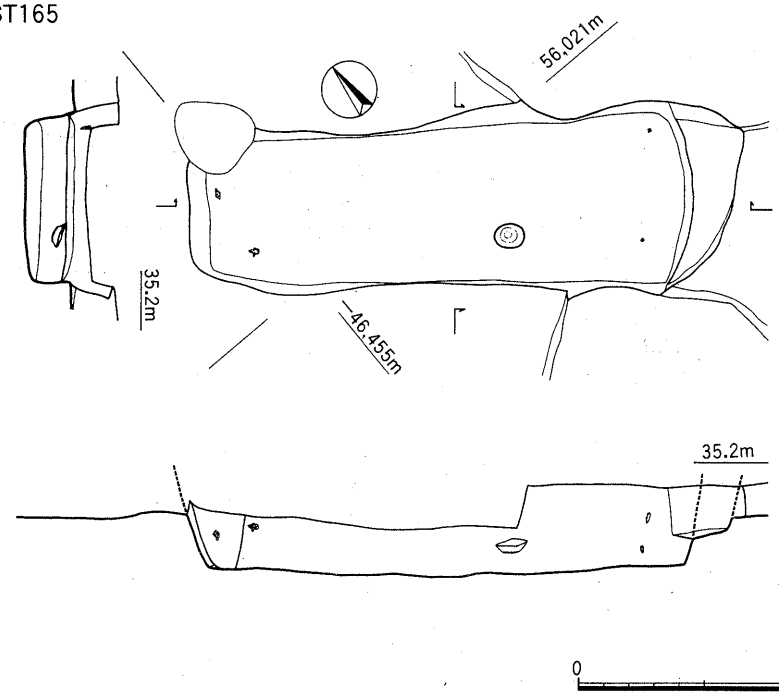


第28図　前田7次SK225、230、243土坑実測図（1/60）

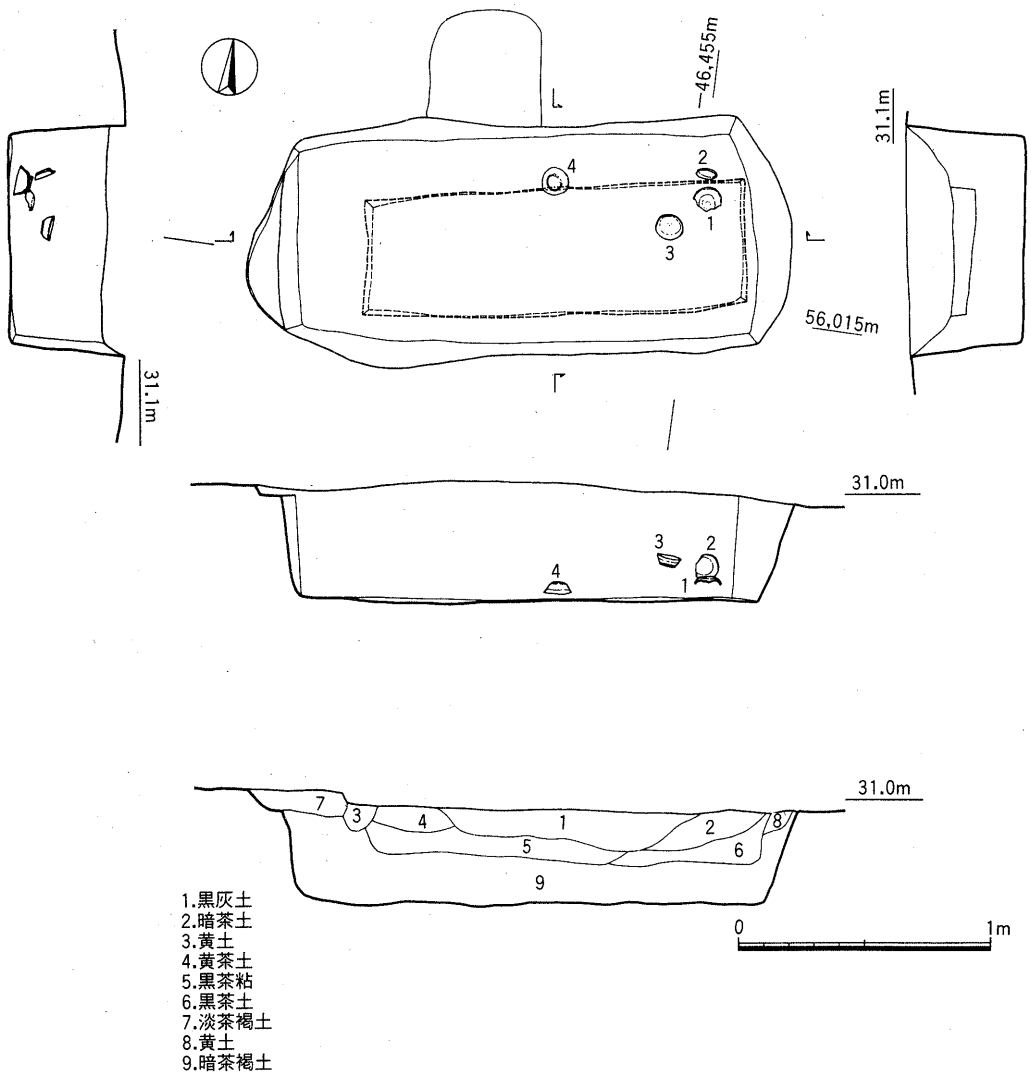
7ST015



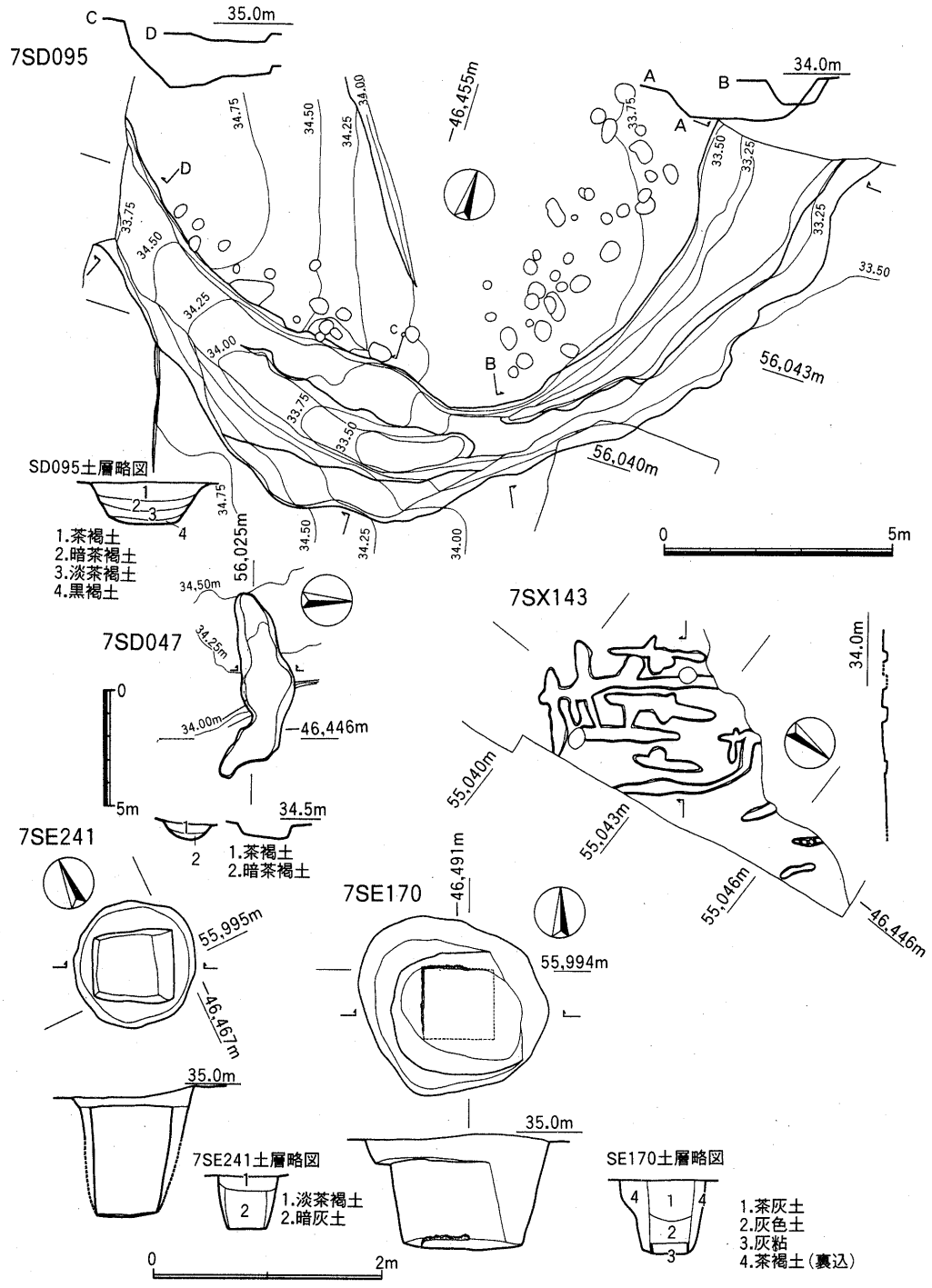
7ST165



第29図　前田7次ST015、165墳墓実測図（1/30）



第30図　前田7次ST020墳墓実測図（1/30）



第31図　前田7次SD047、095、SE170、241、SX143
その他の遺構実測図（1/150、1/300、1/60）

井戸

1SE170（第31図、図版41）　CM55　掘り方は直径1.6mの略円形。井戸枠は一辺が0.6mの方形に復元される。腐食した木製の枠の部材の一部が底に残っていた。その状態から井戸枠は板材を縦に組んだものであったと考えられる。全体では深さ1.0mが残存している。奈良時代中頃の遺物が出土しており、遺構もその時期のものと考えられる。7SE241と位置的にも時期的にも近く、いずれかが掘り直されたものである可能性がある。

7SE241（第31図、図版3-2）　CM57　掘り方は直径1.1mの円形。井戸枠は一辺が0.6mの方形に復元される。深さ1.2mが残存している。奈良時代中頃の遺物が出土しており、遺構もその時期のものと考えられる。

その他の遺構

7SX143（第31図、図版42）　DC48付近の平安時代後半の溜まり状遺構S-45黒色土を除去したのち約4m×3.5mの範囲に小規模な溝群が切り合うような形で検出された。溝群はその在り方から畑地での耕作時に形成される畝のさらえ作業で出来たものに類似する。溝群の振れは7SD001に同じである。

3．遺物

個々の出土遺物の詳細については本文末に観察表を提示しているので、そちらを参照いただきたい。ここでは各遺構出土遺物の特徴的なものの所見や遺物群全体の総体的様相を述べる。遺物の提示法は、７次調査の主要遺構出土分については実測可能な破片は全て図化、ないし写真図版に示している（作業手続き中を含む明らかな混入遺物については省いたものもある）。石器については不本意ながら本報告で全てを図化提示出来ておらず、次に喫したい。

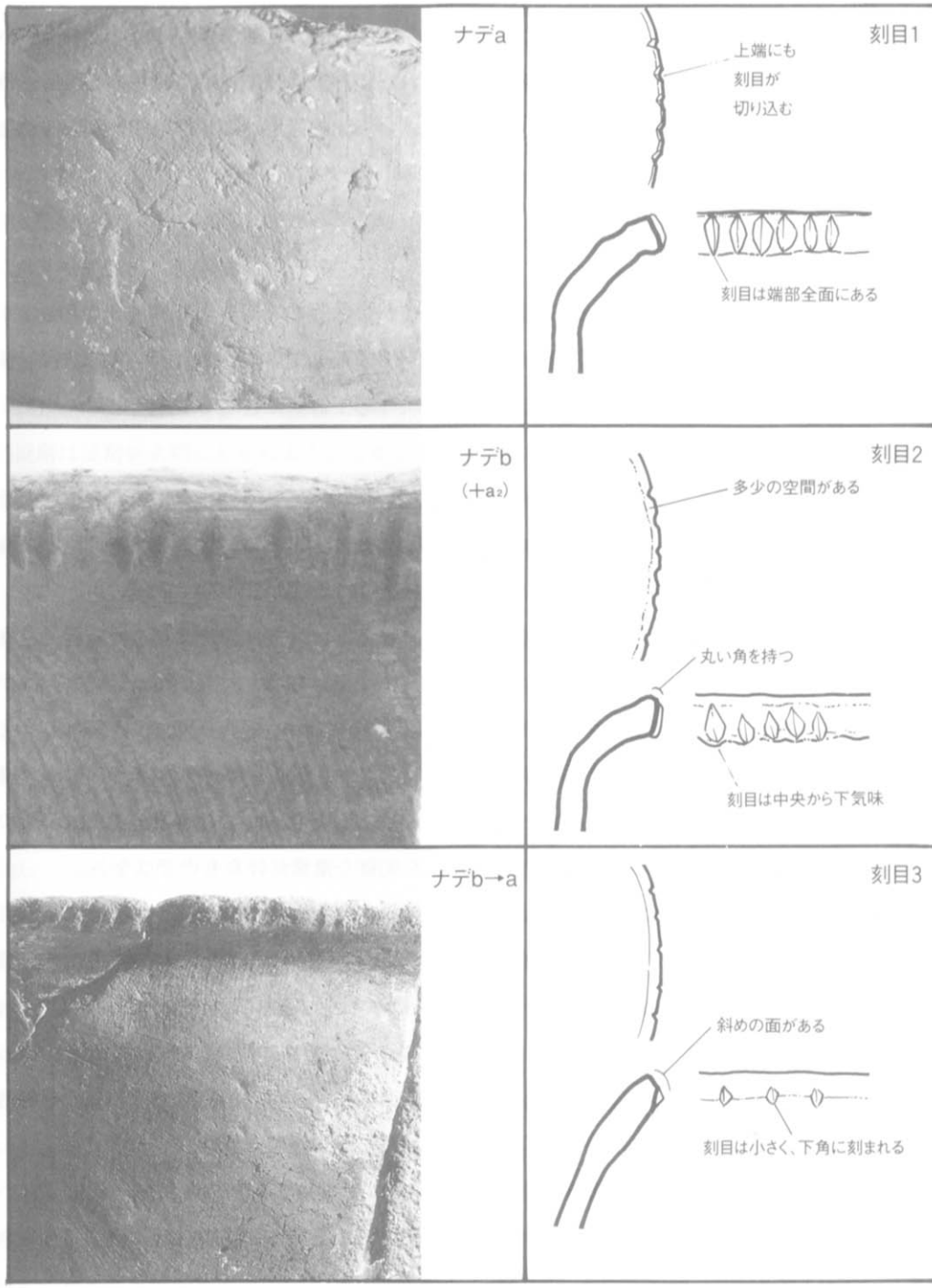
なお、弥生時代の土器の調整手法については便宜上、以下の分類を設けている。本文末の観察表の表記もこれに準じている。

弥生時代の甕型土器のナデについて

ナデa（直線的な条線を軌跡として遺す部分が見られる。条線は1mm以下の細かい繊維束状。薄い部分ではナデの外側の軌跡のみが見られる箇所もある。工具を用いたナデと考えられる。施された時点での土器の乾燥具合でケズリに近いものもある。前期の古い段階の板付式甕に見られる。口縁部のみに強く横方向に条痕が残されるものがあり、「ナデa2」としている。）

ナデb（直線的な幅1mm以上の明確な条線が全面的に見られる。いわゆる「ハケ目」はこれに含まれるが、口縁部の最終調整のヨコナデにもこの種の条線が見られ、これは「ナデb2」と表記している。「ナデb2」は前期遺構の甕の口縁部や突帯の取り付け部分で観察される。工具原体は形状に合わせて柔軟に形が変わるものでなければならない。）

ナデc（直線的な条線がなく、全般に平坦に仕上げられたナデを示す。手によるものと推定し



第32図　弥生前期甕属性凡例

ている。実際にはナデaとcの弁別が難しい資料がある。）

ナデd（ごく細かな直線的な条線を遺すナデで、「繊維束による擦過」や「ケズリ気味ナデ」「工具によるナデ」などと表現されてきた。ハケのような始点や終点の器面に食い込む工具小口の痕跡や板状工具外側にできる傷状の軌跡は見られない。実験によれば器面がある程度乾燥した時点で施した、濡れた布地によるナデの痕跡に近い。弥生後期から終末期の甕の底部に施されることが多い。）

住居跡出土遺物

7SI005出土遺物（第33図）　遺構は形状から弥生後期の住居と考えられるが、出土遺物は弥生前期の土器片や石器に限られる。本来は本遺構の下位にあった7SI140もしくは7SK225に帰属するものと思われる。1は前期板付式甕形土器（以下、「形土器」は省略する）の口縁部片で口縁端部全面に刻みが施されている。

7SI060出土遺物（第33図、図版43）　1は小型丸底壺で布留式期に属す。5は在来の口縁部形状には見られない特徴を持っている。7,8は同一個体の可能性もある。弥生後期後半の甕もあるが遺物群の下限時期は古墳時代初頭である。遺物取り上げ時に鉄釘が混入している。

7SI065出土遺物（第34図、図版44）　甕は口縁端部に施された刻みの位置が全面に施される暗褐土3と下端部のみに施される暗褐土4,5、茶褐土1とがある。暗褐土5の体部縦方向にナデaが見られる。暗褐土6は口縁外側に粘土を貼り足して口縁を造る鉢である。縄文晩期前半に考えられる深鉢茶褐土2がある。暗褐土7は口縁端部を欠いており、晩期の前半か後半か位置づけは難しい。周囲にこの時期の遺構か包含層があったものかも知れない。この時期の遺物は至近の宮ノ本遺跡や原口遺跡などで散見されるが、いずれも明確な遺構に伴うものではない。

7SI070出土遺物（第34～36.52図、図版43.56）　住居の覆土中である程度まとまって土器群が検出された。8の壺のみが完形に近い他は大半が部分的な破片として出土している。住居廃絶後、埋没中での投棄によるものと思われる。壺にはゆるい「く」字形の複合口縁壺が多く、底部は中央がやや膨れ気味の平底を呈する。21,22 のような畿内５様式系の外来的要素を持ったものもある。弥生時代後期後半から終末にかけて多く見られる鉢はまだ一点しかなく時期的には中頃に近い後半の時期を想定している。鉄器に小型の鍛造鉄斧、鉄鏃がある。

7SI085出土遺物（第37.38図、図版46.49）　1の壺は口縁端部が短く屈曲する。茶土2にはヘラ描き沈線による羽状文が、茶灰土1には弧状文が施される。甕の口縁の刻みは全面に施されるものばかりであるが、茶土18は刻みを一端、下端部に押した後に再度正面から刻み直している。ナデはハケ目とされるナデbがあるもの（茶土19,22）は少数派で、大半がaないしcで仕上げられている。

7SI110出土遺物（第38～42図、図版47）　住居の覆土中である程度まとまって土器群が検出された。壺、甕、高坏、鉢、器台、支脚などある程度組成を考えられる状況である。埋没過程での投棄と考えられ同時性には多少幅を持って考える必要があろう。在地系の甕の口縁は屈曲の弱いものが主体的で、底部は丸底化したものばかりである。布留式期の壺2や屈曲部から口縁端部が長い高坏39、脚の付く鉢38があり、下限はこの時期におかれる。鉢（手持ち食器としての始原的な坏である可能性が高いが、鉢との法量的、製作手法的区分の整理ができておらず現段階では鉢にしている。）の割合が多いのもこの時期の特徴である。調整手法として鉢と甕にタタキやナデdの痕跡も見られる。

7SI115出土遺物（第42図）　この遺構からの出土遺物は少ない。後期の甕の口縁片暗灰土1と後期前半から中頃の袋状口縁壺の口縁片黒灰土1があり、後期中頃以降に位置付けられる。

7SI120出土遺物（第42～45図）　上層の暗灰土に山陰系甕口縁部7,8,9が出ており、埋没の最終段階は後期終末期におかれよう。しかし、同層の甕の口縁は屈曲部に稜線を残すものが多く、底部も丸底でない。下位の茶灰土も甕（8～10）は似たような傾向で、壺も在地系の複合口縁壺（1～3）が複数出土している。このことからこれらの土器群の上限は後期後半に置かれよう。

7SI125出土遺物（第45図、図版50-1）　山陰系甕5,6と布留式古段階甕2,3の外来系土器に1のような在地系の壺、7の甕が一緒に出土している。9の高坏はこの時期表れる小型のものである。

7SI130出土遺物（第46.52図、図版56）　屈曲がきつい複合口縁壺1,2と高坏坏部の屈曲部から口縁端部までの距離が短い6などから弥生後期後半の一群と考えられる。甕3の底部は平坦面を残す丸底で、小型の鉢4も含まれている。砂岩製の砥石も出土している。

7SI140出土遺物（第46～49図、図版46-2.50-2.52.53.54.64-2）　壺は口縁外側が肥厚して段を成し、頚部分にはヘラ描の横沈線（暗灰土1）や弧状文を施すものがある。弧状文の中には「く」字のような直線的なものがある（暗灰土4、茶褐土5、灰粘5）。甕は茶褐土8や灰粘7の二点に口縁下方のやや下がった位置に刻みを入れるものが見られるが、大半は端部全面に刻みが施される。ナデはbが茶褐土10と灰粘7,9に見られる。属性としてナデbは灰粘7例に見られるように、時期的に新しい傾向として捉えられる。茶褐土10は底が若干、輪高台風の上げ底になっている。暗灰土8は突帯文系の甕で胴の屈曲部に張り出しがあり、その部分に刻みが施されている。外面には斜位のナデbが施される。

7SI150出土遺物（第49図、図版57）　壺には6のような畿内系のタタキ手法が見られ、2の長頚壺も平坦面を残しているが、丸底化している。鉢8は深い形状を成す。後期後半の一群かと思われる。弥生前期前半の10,11が混入している。甕11 は口縁端部の屈曲が強い。

7SI155出土遺物（第49図）　1は後期中頃以降に位置付けられる甕の口縁部。

7SI160出土遺物（第49図）　1は複合口縁の壺で、2は平底を保つ壺の底部である。4に小型

の鉢（坏）があり、傾向として後期中頃から後半に置かれようか。5は手づくねのミニチュアの坏である。小型の鉢（坏）に伴う形でミニチュアの坏が出土する例は7SI060に同じである。

7SI175出土遺物（第50.52図、図版56-1.57-1）　茶灰土1の小型丸底壺を模倣した在地の鉢や炭層5の脚部に横方向にミガキを施す高坏があることから、下限は古墳時代初期の古式土師器の段階に属す一群と考えられる。茶灰土3はミガキを施しアワビ貝型を呈す土器であるが、類例を知らない。炭層2の甕は胴部中程にタタキを施し、底から胴中位に向かってナデdを施す。底はレンズ状の平底である。板状の鉄製品が出土している。

7SI190出土遺物（第51図）　1は口縁端部全面に刻みを入れる甕で、2は短く「く」字に屈曲する口縁を持つ鉢である。弥生時代前期前半に属す。

7SI195出土遺物（第51.52図、図版56）　4は口縁端部を上につまみ上げる形状を持つ薄手の甕で7は屈曲部がシャープな形状を保つ高坏の坏部であり、弥生後期後半から終末にかけての時間幅で考えられる一群である。火打ちがねの形状に似た鉄製品が出土している。

7SI205出土遺物（第51図）　3は畿内系の小型丸底壺と思われ、在地系のタタキのある甕5や小型の鉢（坏）6～8が見られ、弥生後期終末から古墳時代初頭にかけての時期に位置付けられる。

土坑出土遺物

7SK021出土遺物（第53.54図、図版57-2.59.64-2）　甕の口縁部の刻みは上層である茶灰土の9,14が若干低い位置に施される他はほぼ全面に施されている。9は胴部が屈曲し、その部分に刻みが施される変容形をとる。調整に関しては茶灰土13にナデbが見られる。黒色粘土7は底部に木の葉の葉脈が残されている。壺には茶灰土1のような口縁外面に段を持たないタイプがある。鉢には中型で体部上位が屈曲する茶灰土16や小型で口縁が外反する黒色粘土9のタイプがある。上層の茶灰土は個々の属性に多少新しいと考えられる要素のものを含んでいる。

7SK022出土遺物（第55図）　1は壺の底部であるが円盤を貼り付けたような立ち上がり方を採らない。

7SK025出土遺物（第55図、図版61）　甕の口縁部の刻み位置は黒灰土2,3が多少下がり気味ではあるが、従来、板付II式の典型例のようなものと比較した場合、刻みの間隔が狭く、刻み自体も大きい。両者ともにナデbが施される。

7SK040出土遺物（第56図、図版63-1.64-2）　壺は全て口縁外面に段を持つ。暗茶褐土1の頚部屈曲部はか細いヘラ描沈線が辛うじて見られる。甕の口縁端部の刻みは全面に施されるタイプである。暗茶褐土7にはナデbが見られる。暗茶褐土11 は高坏坏部の口縁部分と考えられる。

7SK068出土遺物（第57.58図、図版64-2.65.66）　壺には完形で出土した暗茶褐土1と頚部を

欠いた2とがあるが、1は胴部の最大径が中央に落ちている。また、底部は円盤貼付状になるが、胴部との境のミガキが粗く、ケズリの様相を呈し、結果的にくびれた様な形状になっている。2の最大径も胴中央付近にあり、肩に赤色顔料によって羽状の彩文を施す。甕には下端部の刻み目とナデbが共伴する暗黄色土1などがあり、多少新しい属性傾向が含まれている。下層の暗黄褐土でも5,7にナデbが見られる。5のナデbは突帯文土器の様に横方向に施されている。暗茶褐土7は楕円と山形文を組み合わせた押型文土器片である。6も口縁端部を欠いて時期が決めにくいが晩期の浅鉢の可能性がある。

7SK080出土遺物（第58図、図版67）　口縁端部全面に刻みを施す1とナデbをもつ2の甕が出土している。3の須恵器の蓋は混入品と判断している。

7SK090出土遺物（第58図）　口縁が「く」字に屈曲する壺があり、遺物群の下限は弥生後期中頃を想定しうるが、前期の壺と鉢が混入している。壺は肩の部分にヘラ描横沈線が入る。鉢は胴部外面に粘土の接合部で段を成す形状を持っている。

7SK105出土遺物（第59図、図版68）　須恵器の坏と把手付き鉢b、甕が出土している。坏の形態は底部から体部が多少丸味を持って立ち上がっている。暗褐土4は回転台を利用したミガキaが施される。暗褐土1の高台坏は割れた口縁の状態で割れ口にも煤が付着しており、火に関係する作業に用いられたと考えられる。それに関連して繊維を含む焼土の塊とトリベと考えられる内面に溶融した付着物のある小型の坏型土器が出ている。暗褐土8は釘状の鉄製品である。鋳造に関連する遺物群であると考えている。

7SK141出土遺物（第60～63図、図版67）　坏については全周の1/6片でも反転復元して作図していることもあり、同一個体の識別が出来ず個体数が若干多くなっている可能性がある。坏蓋の口縁端部形状には上位土層の黒灰粘では内面にかえりを持つ黒灰粘37（壺蓋の可能性もある）を別にすれば端部が下方へ屈曲するタイプのもので占められる。35,36のように屈曲が弱く、折り曲げ部分が沈線化しているものがある。天井部には回転ヘラケズリは施されない。下位層の黒灰砂には1,3,4の天井部外側部分幅約2cmのみの限定された部分にのみ回転ヘラケズリを施す例がある。蓋の数の割に身の数は少なく、その形状は底部から体部の立ち上がりが強く屈曲し、直線的なフォルムを持っている。黒灰土10は高台がかなり中に入った位置に付けられている。土師器には煮炊具の甕とともに、かた塩作り用の底の尖ったカップ状を呈す製塩土器が上下の層共から出土している。また、素焼きの錘黒灰粘57は漁労具であろうか。

7SK145出土遺物（第64.65図、図版69.71）　甕の口縁端部の刻みは、暗灰土6,9以外は全面に残されたもので占められる。口縁の屈曲自体には極端に強く屈曲するものは含まれていない。また、胴外面にナデbを施すものがある。黒灰土7の高坏は脚部と坏部の境に突帯があり、裾の屈曲部にはヘラ描き沈線が施される。器面には赤色顔料で三角形の幾何学文を描いている。黄

色土1は鋤先状の高坏の口縁と考えられる。暗灰土1の壺は胴中央付近に最大径がある球形を成し、頚部付近のヘラ描き横沈線の下にヘラ描き連続弧状文を入れる。

7SK168出土遺物（第65～68図、図版73.74.75-1.76-2.77-1）　壺には胴部と底部に穿孔を持つ中型壺（黒粘1）の他に茶粘7,8,9がもう一個体中型壺になりそうである。小型壺の底部破片にはカーブをもって体部に立ち上がる形状のもの（黒粘4,茶褐土7,暗茶粘1）と屈曲するものとがある。暗茶褐土3は多少上げ底気味である。甕の口縁端部の刻みは、暗茶褐土6以外は全面に施されたもので占められる。高坏の口縁部は黒粘8,茶褐土8に見られるように鋤先を呈している（今回報告の前期の高坏口縁部は全てこの形状を呈している）。

7SK183出土遺物（第68図）　1の小型壺の底部は立ち上がりが屈曲し、円盤状を呈している。3は高坏裾部に推定している。弥生前期前半に位置する。

7SK185出土遺物（第69図、図版36-2.78-2.79）　1の壺はヘラ描き沈線を入れた後、沈線内に赤色顔料を施し彩色している。甕の口縁端部の刻みは5,6,7以外のものは下端部に施され、9と11は刻みが細かく、一定の間隔をおいて施されている。口縁の形状も大きく外反するもので従来板付II式に分類されてきた属性を持っている。鉢は緩やかに外反し、端部に沈線を持つもので、体部上位に段差を持っている。甕形土器の属性には今回報告した前期の遺物群の中では最も新しい要素を持つものがあると考えられる。弥生前期前半から中頃に位置する。

7SK193出土遺物（第70図）　暗灰土1は底部から体部にかけて屈曲を持つ前期の壺の底部片である。黄灰土1の壺は口縁と頚部の境が沈線で区分されている。3は幅の狭い羽状文を持つ。甕には黄灰土4のナデbを施すものがある。弥生前期前半でも新しい時期の可能性がある。

7SK210出土遺物（第70図、図版80）　甕の口縁端部の刻みは全面に施されている。茶灰土11,12は後期の遺物の混入と見られる。灰褐土4は外面に段差があり鉢の胴部か。5は縄文晩期前半の深鉢と考えられる。

7SK220出土遺物（第70.71図、図版36-2.78-2.81-1）　甕の口縁端部の刻みは全面に施されている。暗茶褐土1には縦方向のナデbが見られる。黄灰土1は口縁端部に沈線を持つ鉢である。

7SK225出土遺物（第71図、図版83）　3の甕口縁端部の刻みは全面に施されるものであるが、か細くまばらである。壺2は底部から体部が屈曲している。

7SK230出土遺物（第71図）　後期の甕の口縁部片で混入の可能性が高い。

7SK243出土遺物（第71図）　後期の甕の口縁部片。

石器について

今回の報告では既述のとおり、諸事情で石器については写真とデータを掲載できたに止まった。ここでは弥生時代前期に属す石器に限り概略を述べ、詳細報告は次回に期したい。

弥生前期に属す石器関連遺物には黒曜石と安山岩の原石、石核、二次加工のある剥片（RF)、微細剥離など使用痕のある剥片（UF)、剥片（F)、石鏃（AP）石錐、磨製石包丁、石剣、紡錘車、打製石鍬、打具、破損石斧を二次利用した打具、すり石、砥石、台石などがある（第90.91図)。

石器相で最も目を引くのは多量の黒曜石と安山岩の剥片類である。前期に関する遺構のほとんど全てから出土している。黒曜石と安山岩の出土比率は全体で501対128で石核では37対11。剥片では95対24、製品としての石鏃では28対6で、総合的には黒曜石が圧倒的に多い。安山岩は黒曜石よりも大きめの剥片が見られる。石材は黒曜石は漆黒色に気泡や白色の砂粒状の不純物が多少見られる、佐賀県腰岳を中心とした伊万里地域産と思われるものが大半を占め、灰色系半透明の大分県姫島産の剥片が極少量ある。姫島産の石材はこの時期以前には見られず、東九州地域との接触が顕在化した事象と捉えられる。姫島産には原石や核は伴わない。安山岩には青黒色系のものと白味を帯びた灰色の二種が見られる。黒曜石、安山岩ともにチップまでが出土しており、集落内で加工がおこなわれていたと想定される。金属顕微鏡観察では一部の黒曜石の剥片に微細剥離と伴に線状痕が観察され、刃器として機能した無加工剥片が存在し、単に石鏃製作過程で廃棄されたもののみではないことがわかっている。

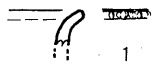
石包丁には紐穴穿孔方法に擦り切りと円形穿孔があるが、擦り切りのあるものには背部にも両面に擦り切った痕跡がみられ成形の切断にも擦り切り法が用いられた可能性がある。全体形状については様々で三角形を呈す古い属性を持つものが含まれる。石材には泥岩が用いられ、平野内での調達が想定される。金属顕微鏡による使用痕の観察では、全般的に表面の残存状況が悪しくトータルな評価を得られないが、7SK080と7SI085のものは紐穴の高さで微弱なパッチ状のコーングロスが見られ、稲科植物との接触が想定できる。刃部付近は研ぎ直しにより使用面が残っていなかった（第63図)。石剣は鎬線が発達していない。全体形状は不明。

打製石鍬は長さが10cm前後と短く、玄武岩製と緑色片岩製の２者があるなど福岡市田村遺跡などの刻目突帯文期の様相に通じる。

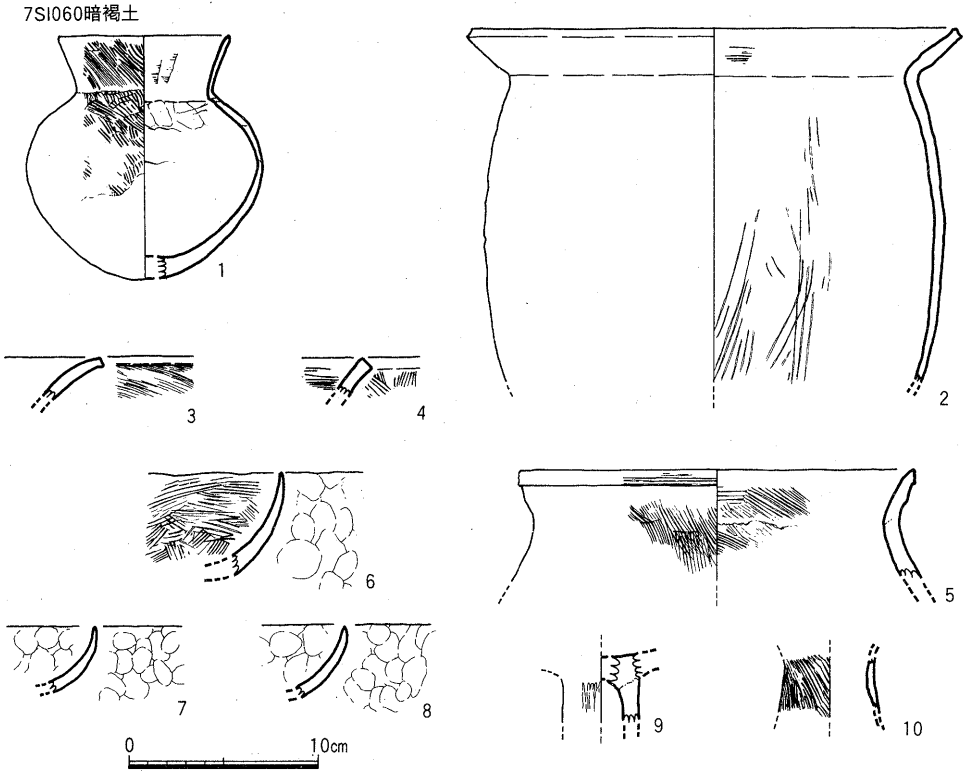
紡錘車は同様の径の土製品が1次調査で出土している。石材は緑色片岩製。

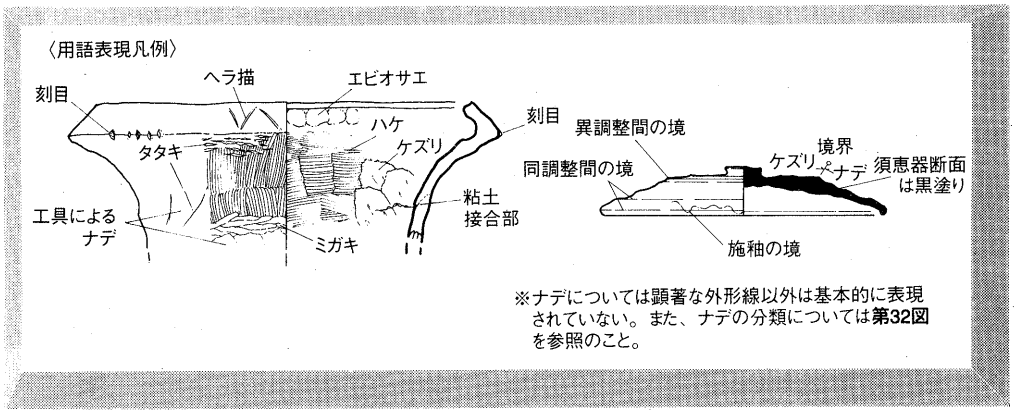
打具にはアバタ状の小さな窪みが見られるが、擦過によると考えられる平滑な部位も持ち合わせるものがあり、擦る道具として使われたものもあったようだ。7SI055出土のものには赤色顔料のようなものが窪み中に見られる。剥片石器製作に関係するものもあるのかも知れないが、特定はしえない。

7SI005

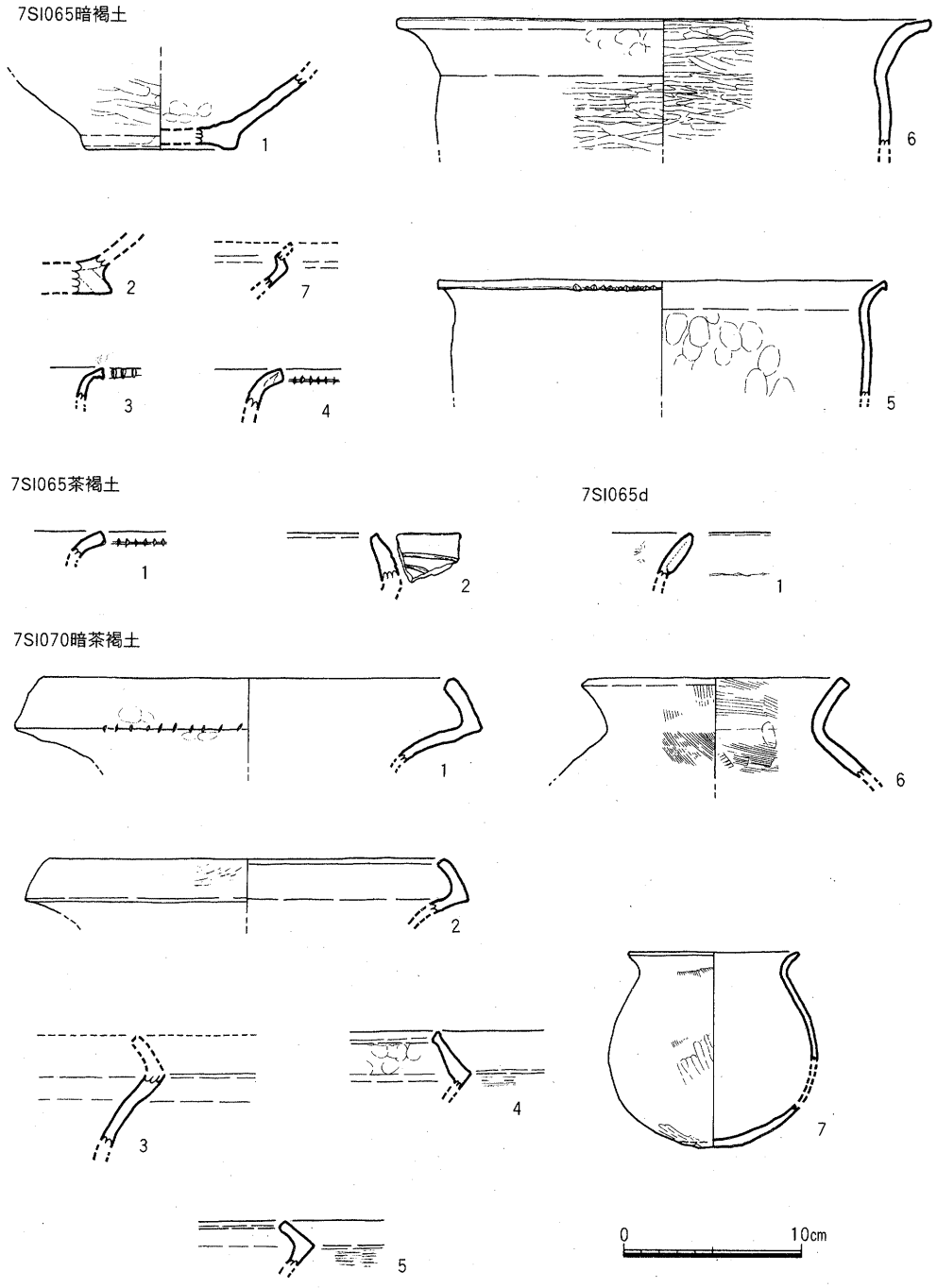


7SI060暗褐土

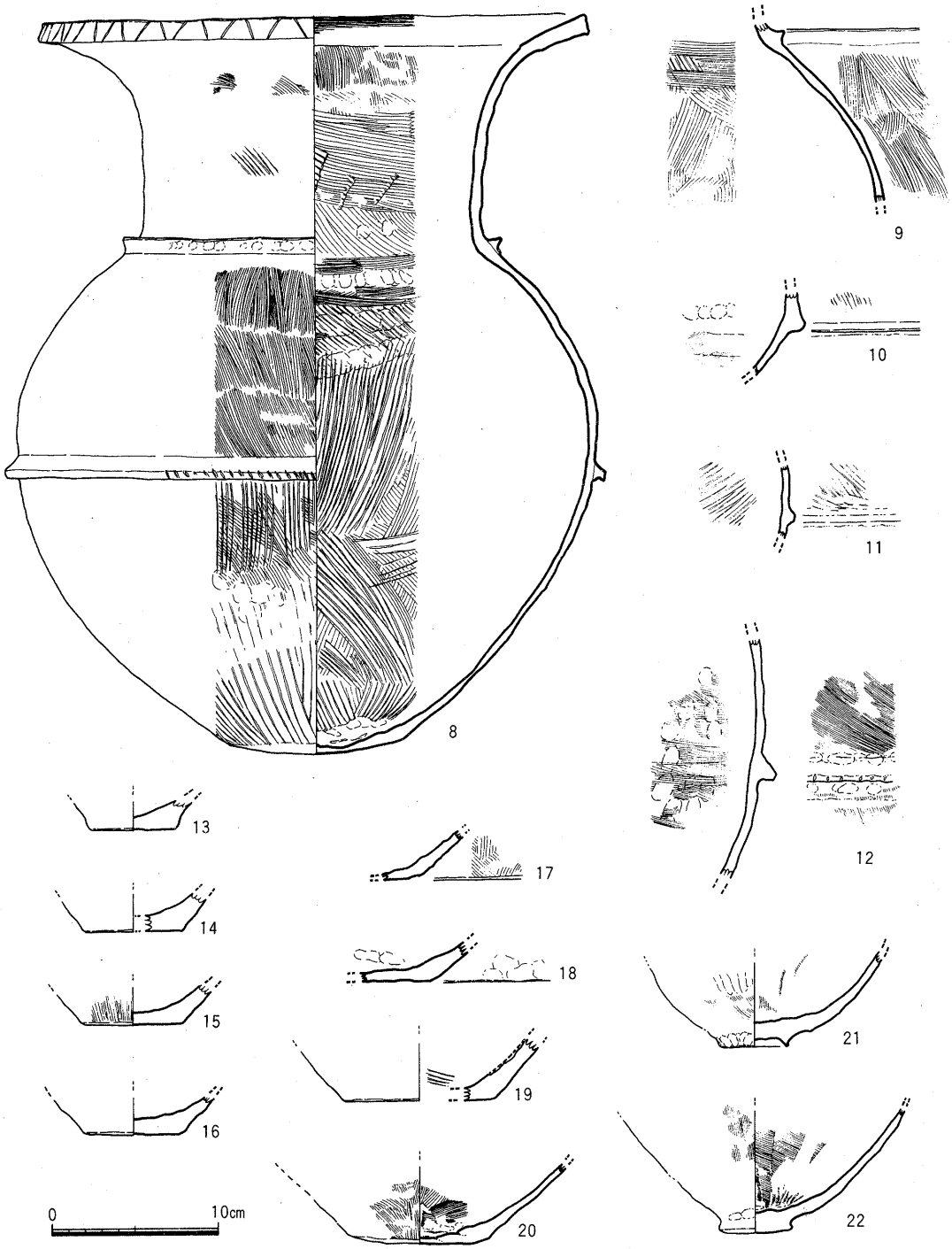




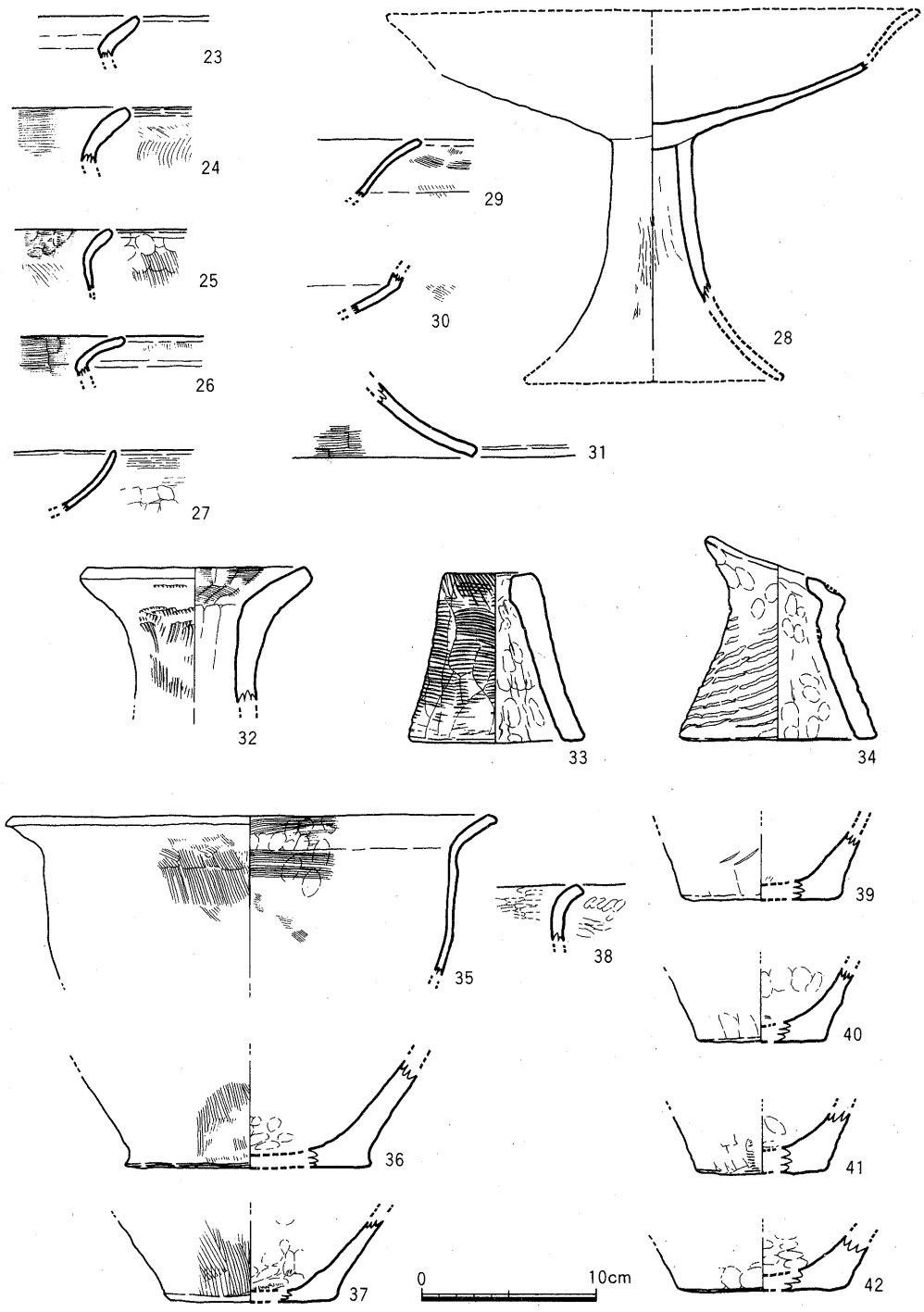
第33図　前田7次SI005、060暗褐土出土土器実測図（1/4）



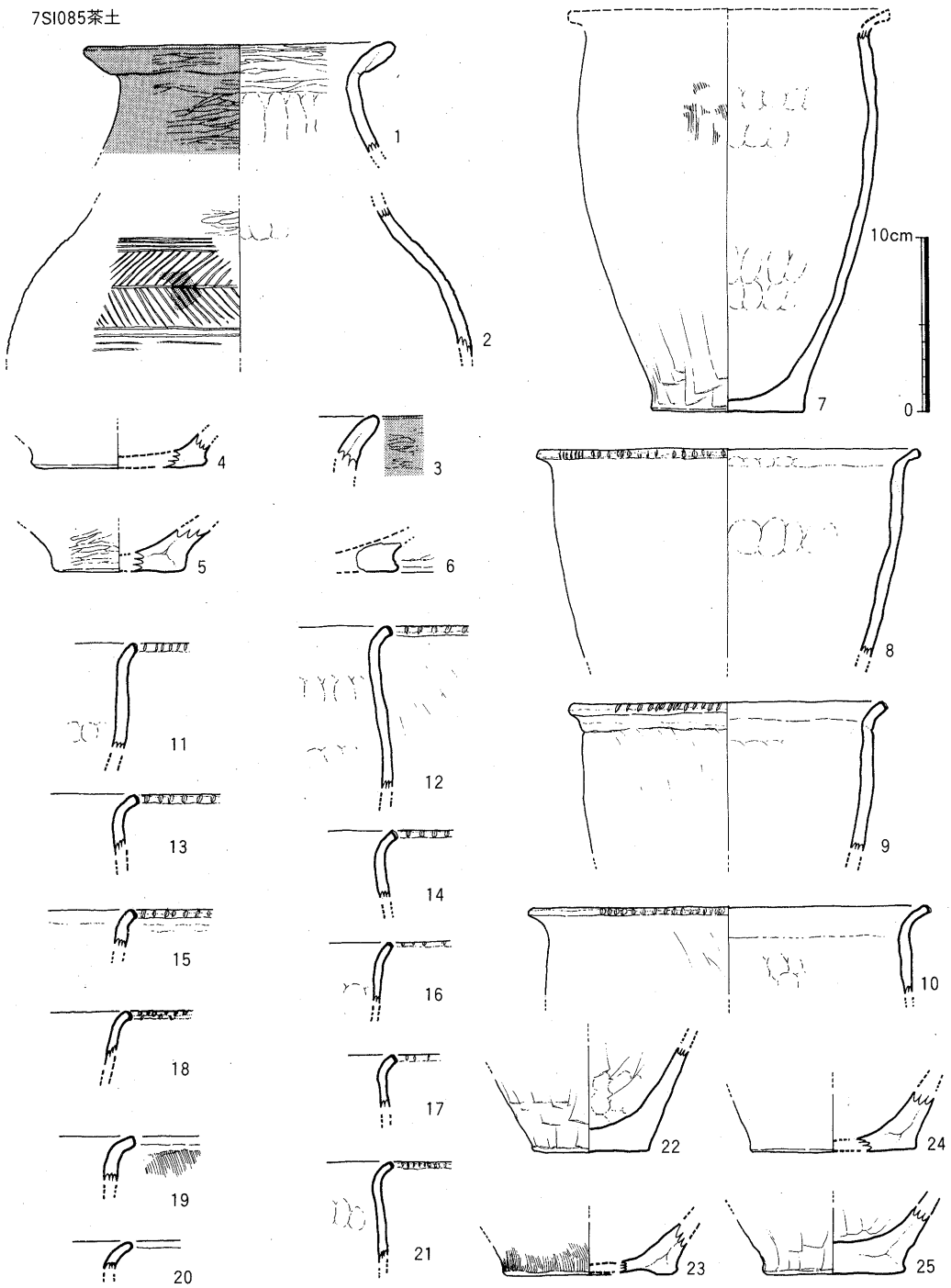
第34図　前田7次SI065暗褐土・茶褐土・070暗茶褐土（1）
出土土器実測図（1/4）



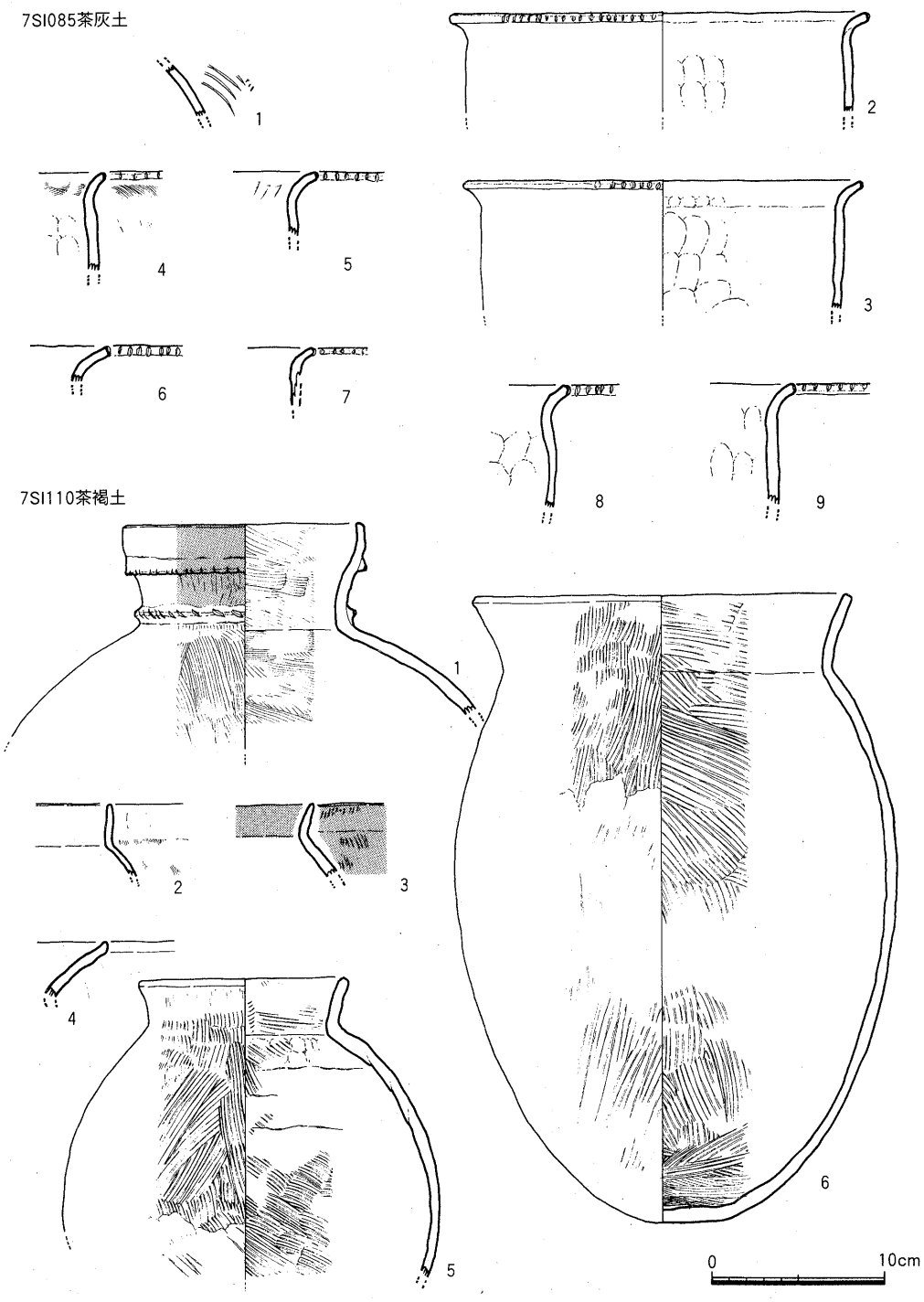
第35図　前田7次SI070暗茶褐土（2）出土土器実測図（1/4）



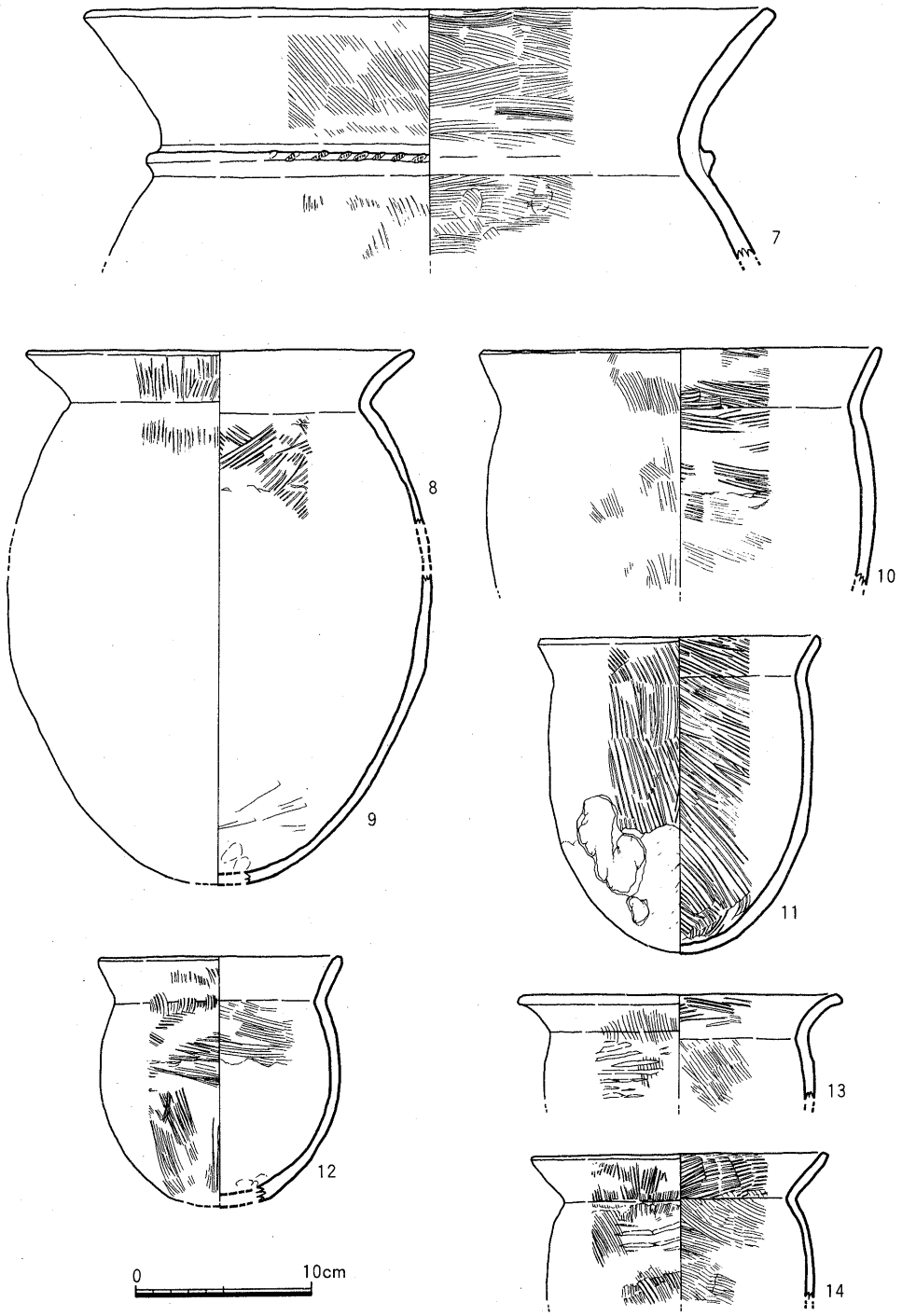
第36図　前田7次SI070暗茶褐土（3）出土土器実測図（1/4）



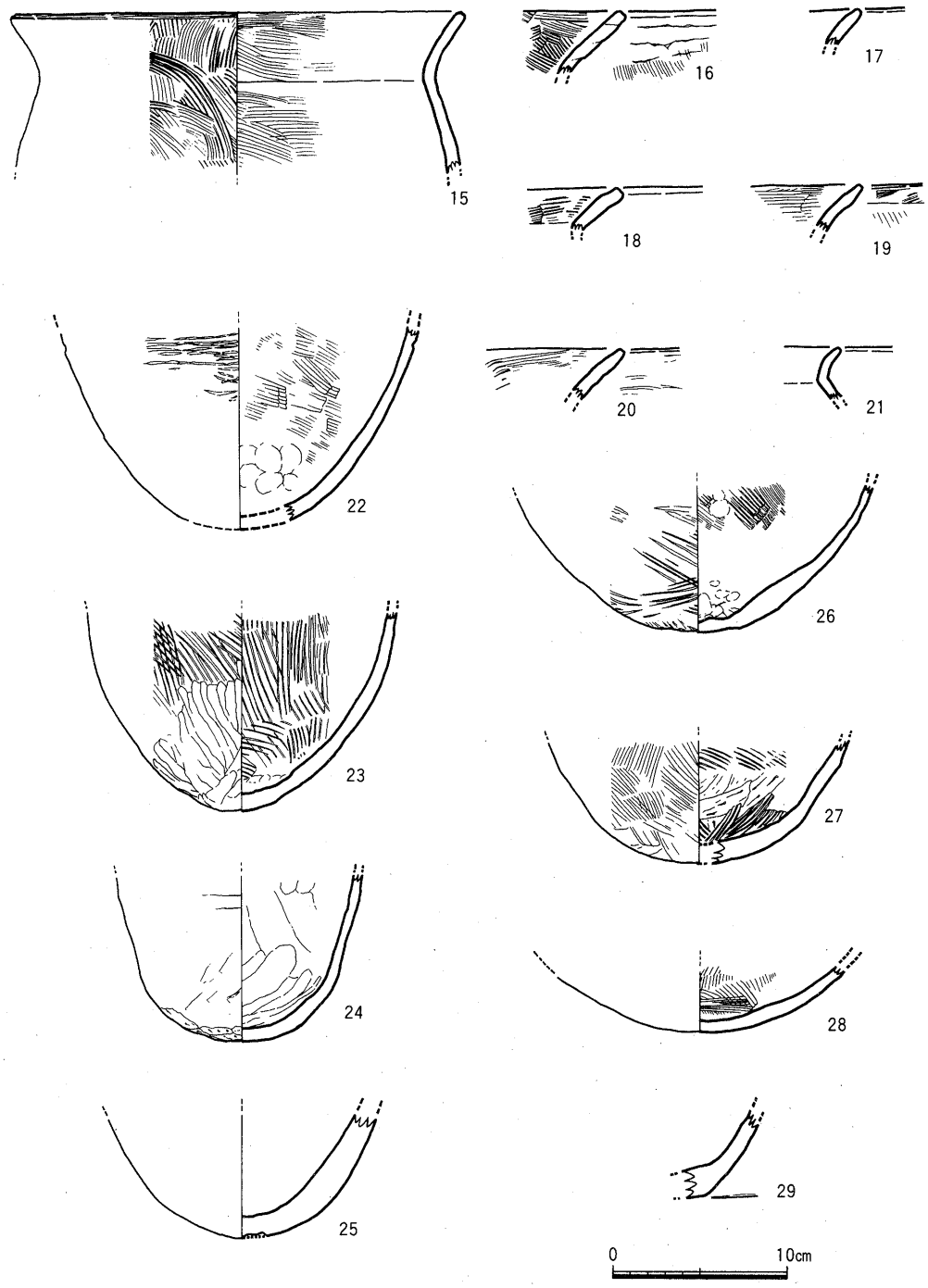
第37図　前田7次SI085茶土出土土器実測図（1/4）



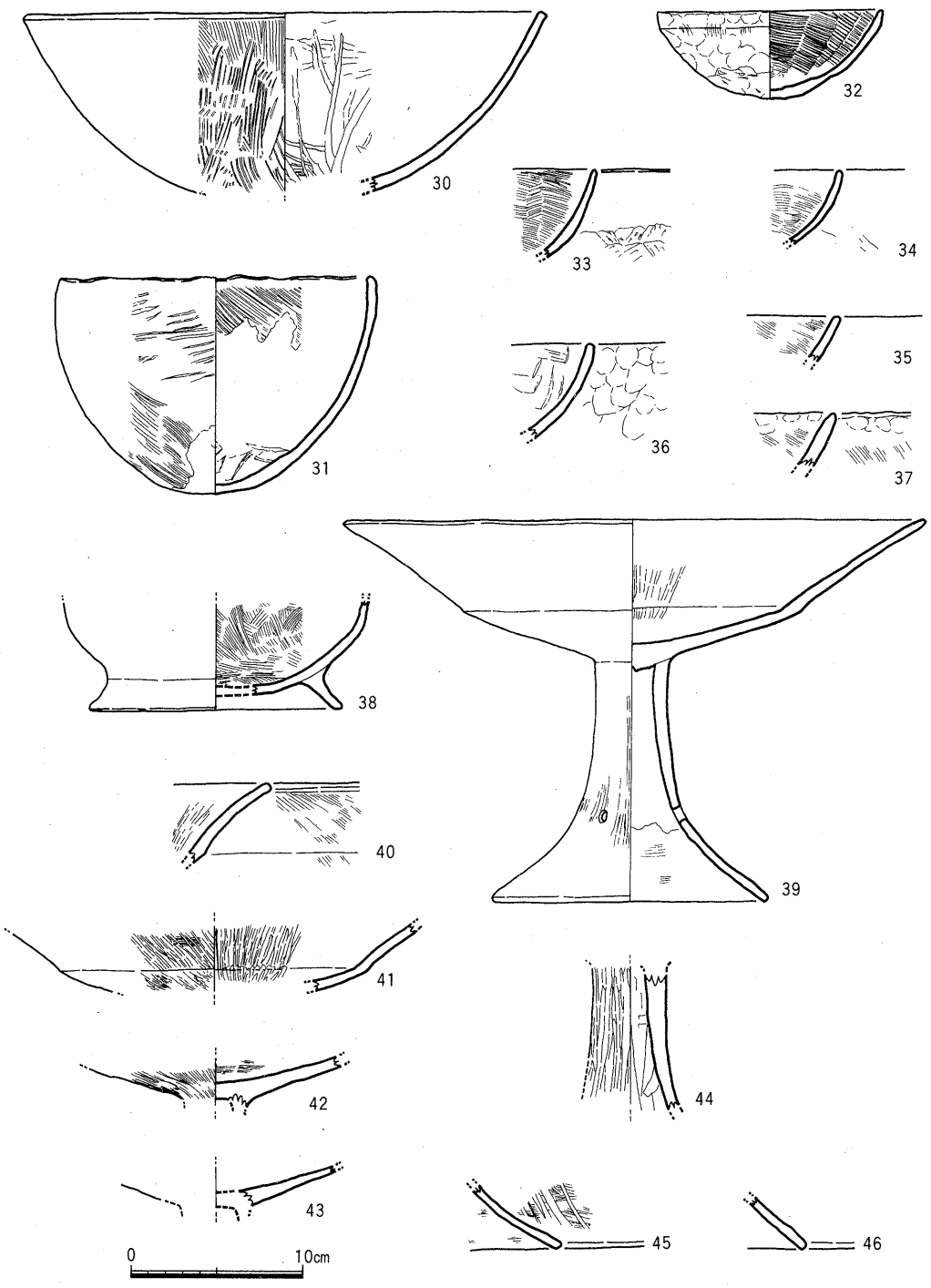
第38図　前田7次SI085茶灰土、110茶褐土（1）出土土器実測図（1/4）



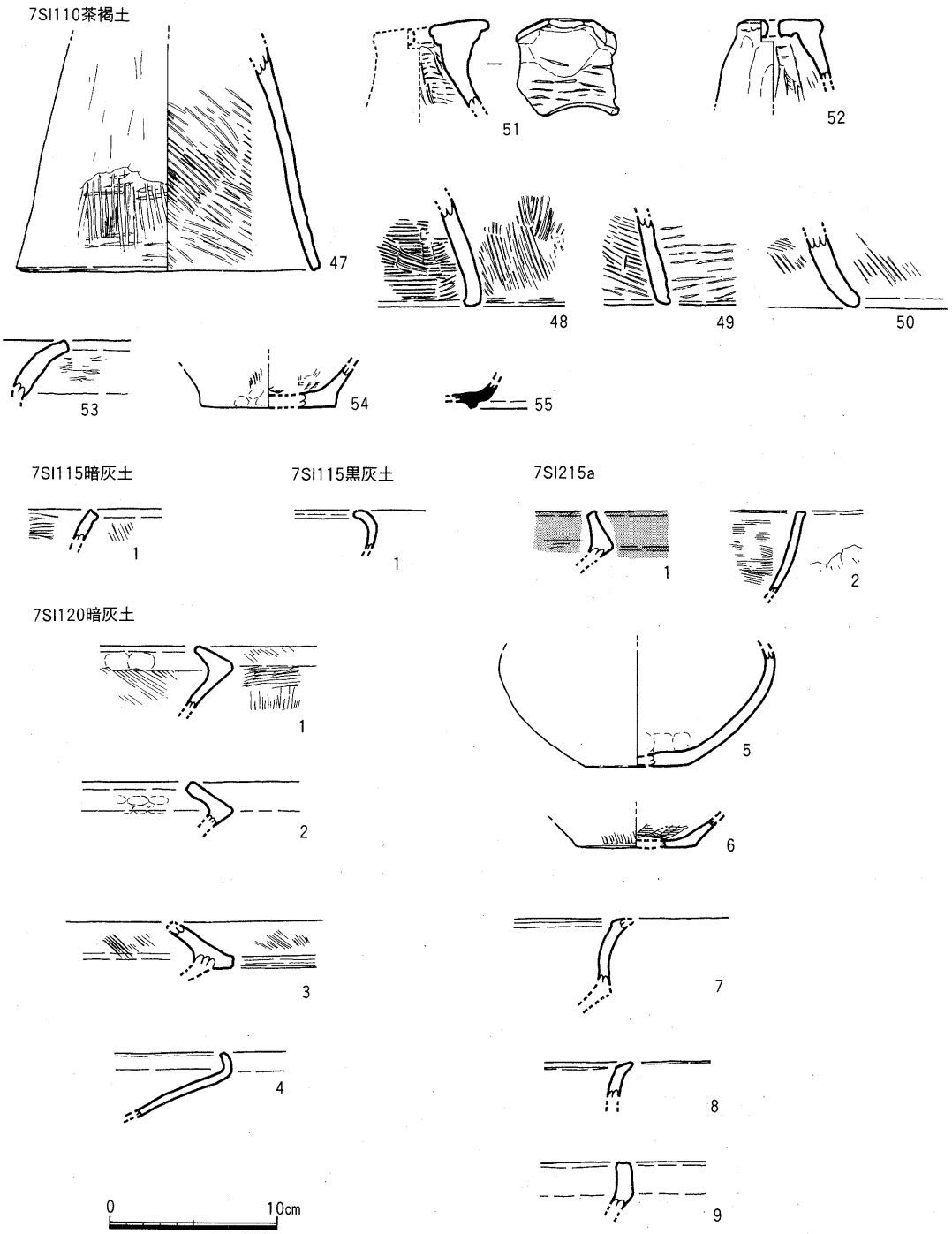
第39図　前田7次SI110茶褐土（2）出土土器実測図（1/4）



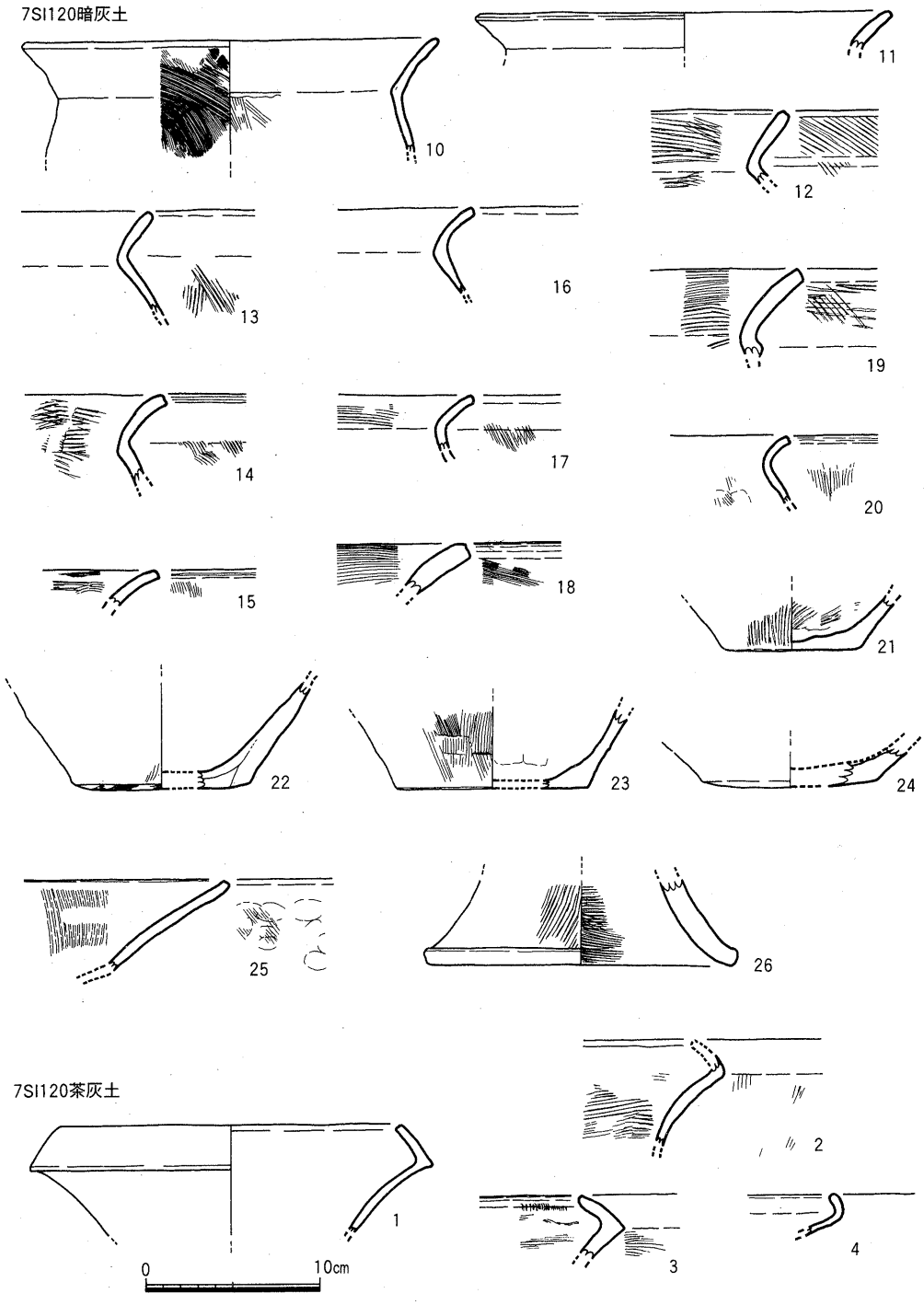
第40図　前田7次SI110茶褐土（3）出土土器実測図（1/4）



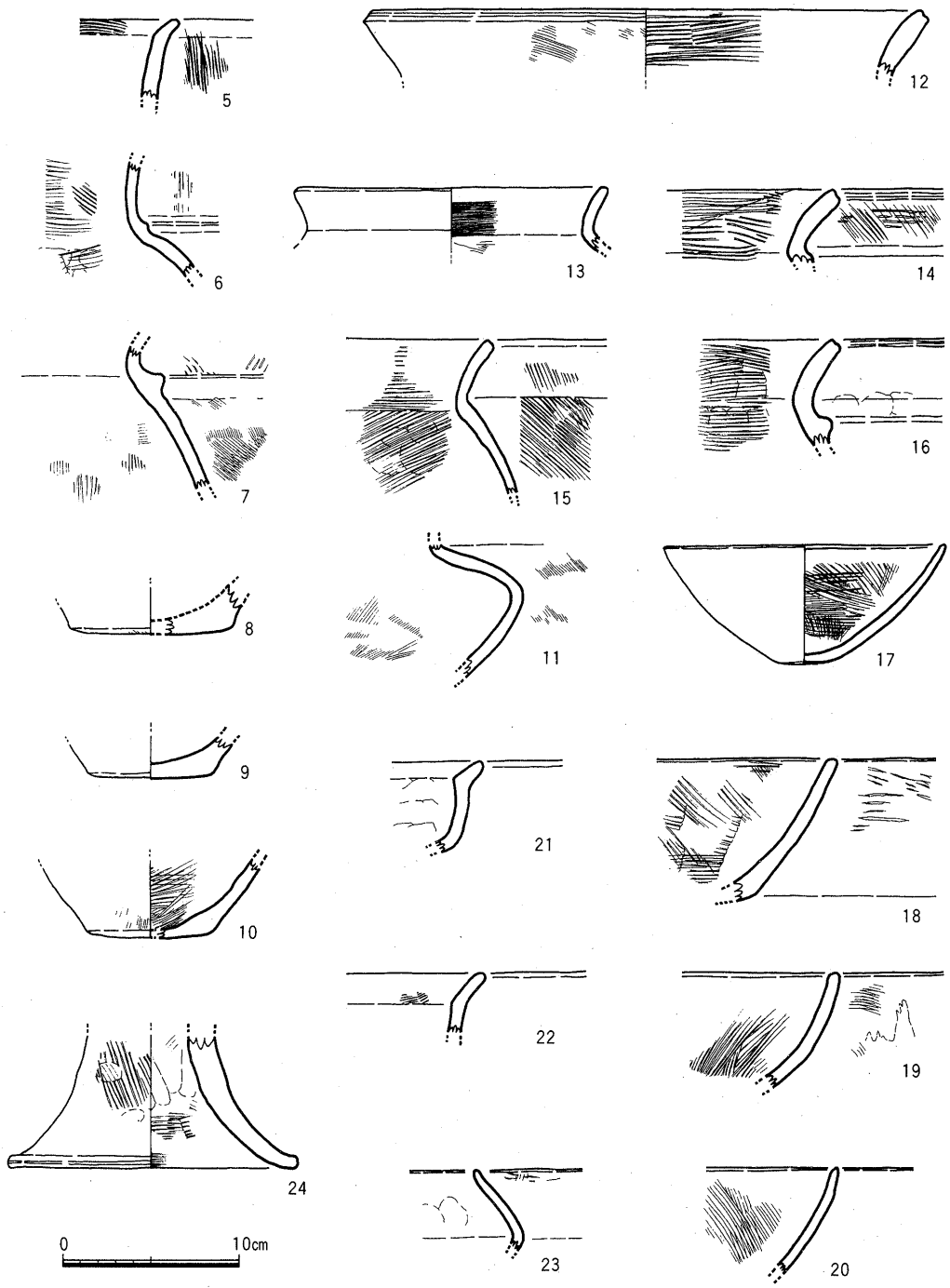
第41図　前田7次SI110茶褐土（4）出土土器実測図（1/4）



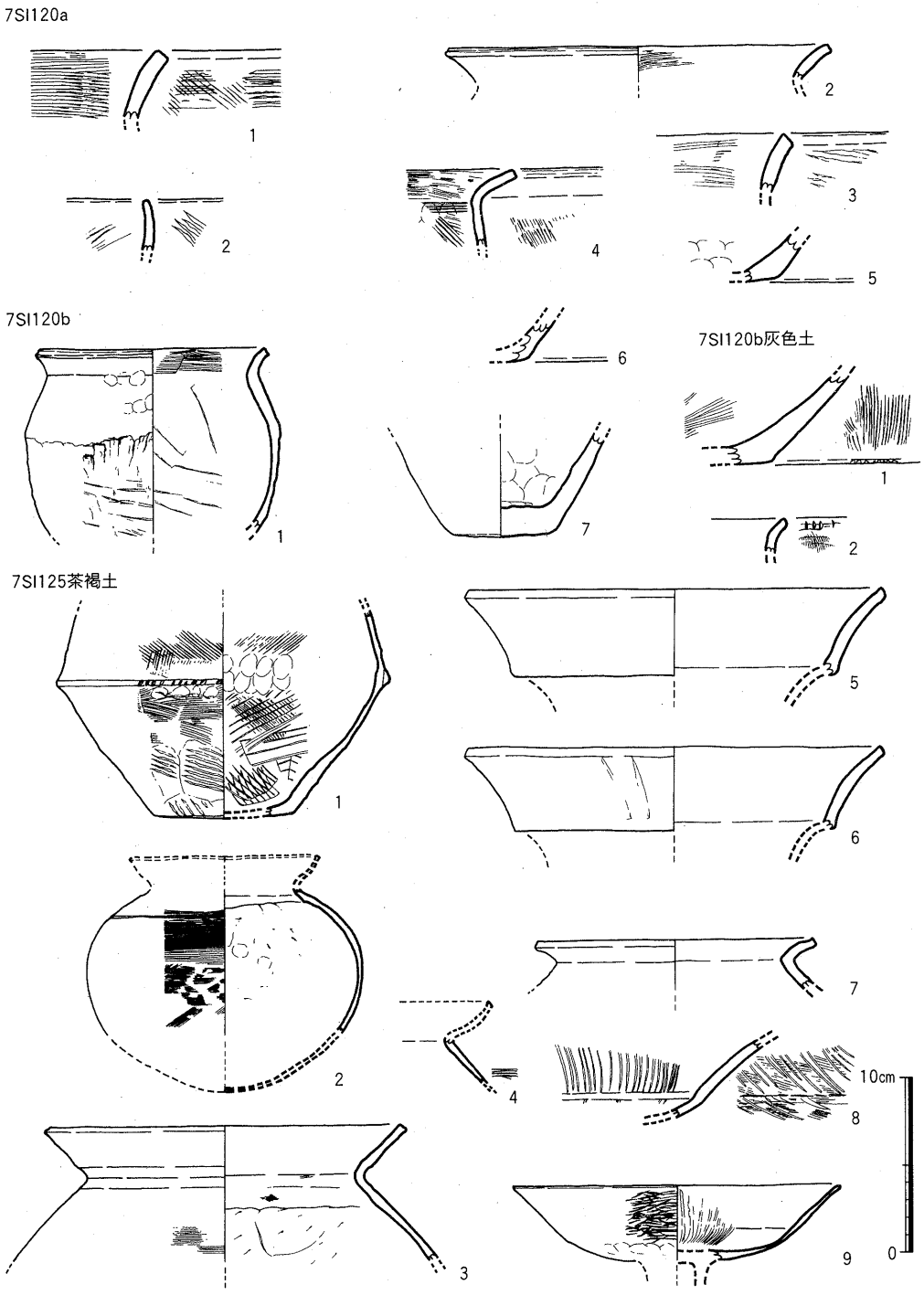
第42図　前田7次SI110茶褐土（5）、
115暗灰土・黒灰土、215a、120暗灰土（1）
出土土器実測図（1/4）



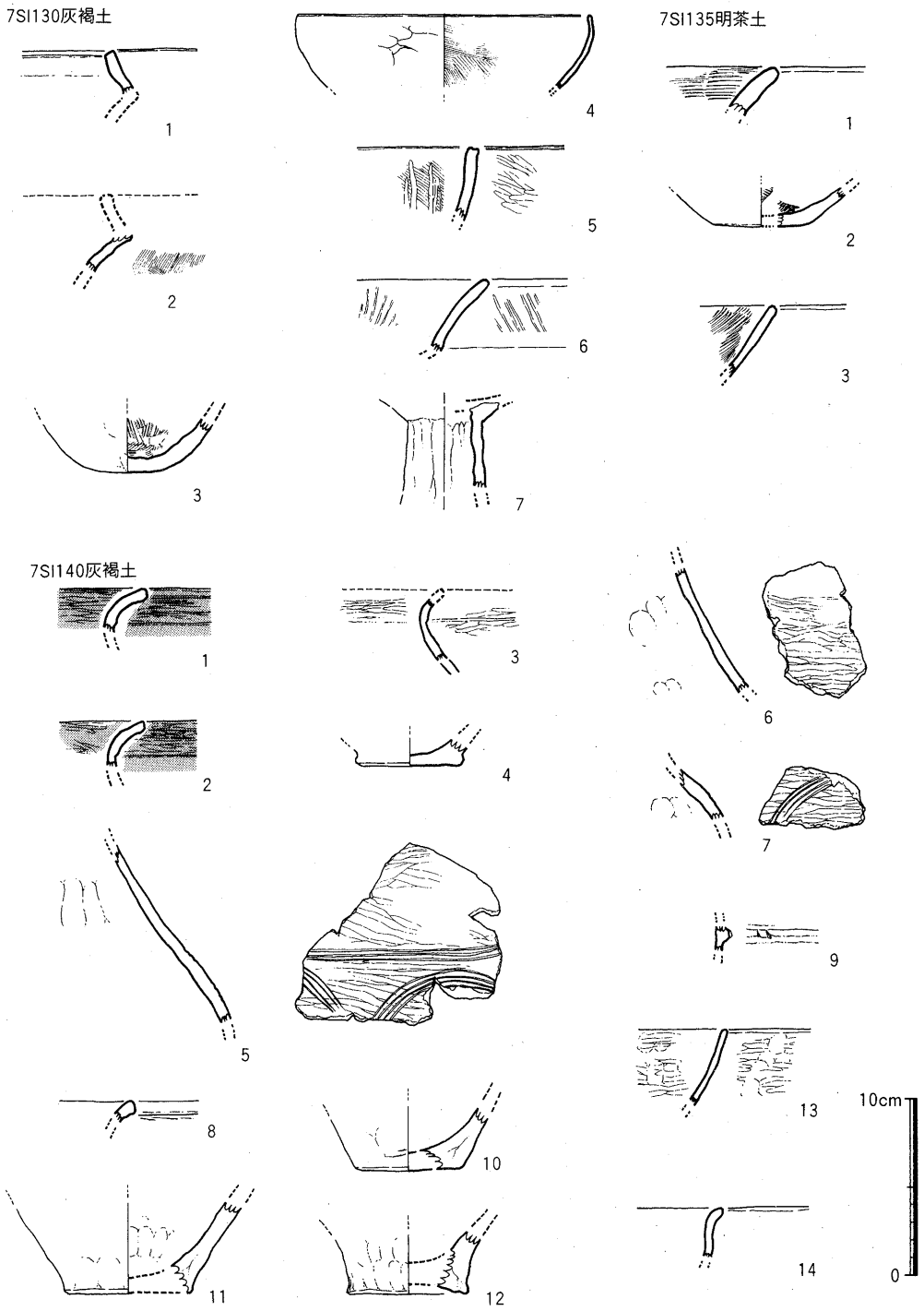
第43図　前田7次SI120暗灰土（2）、120茶灰土（1）
出土土器実測図（1/4）



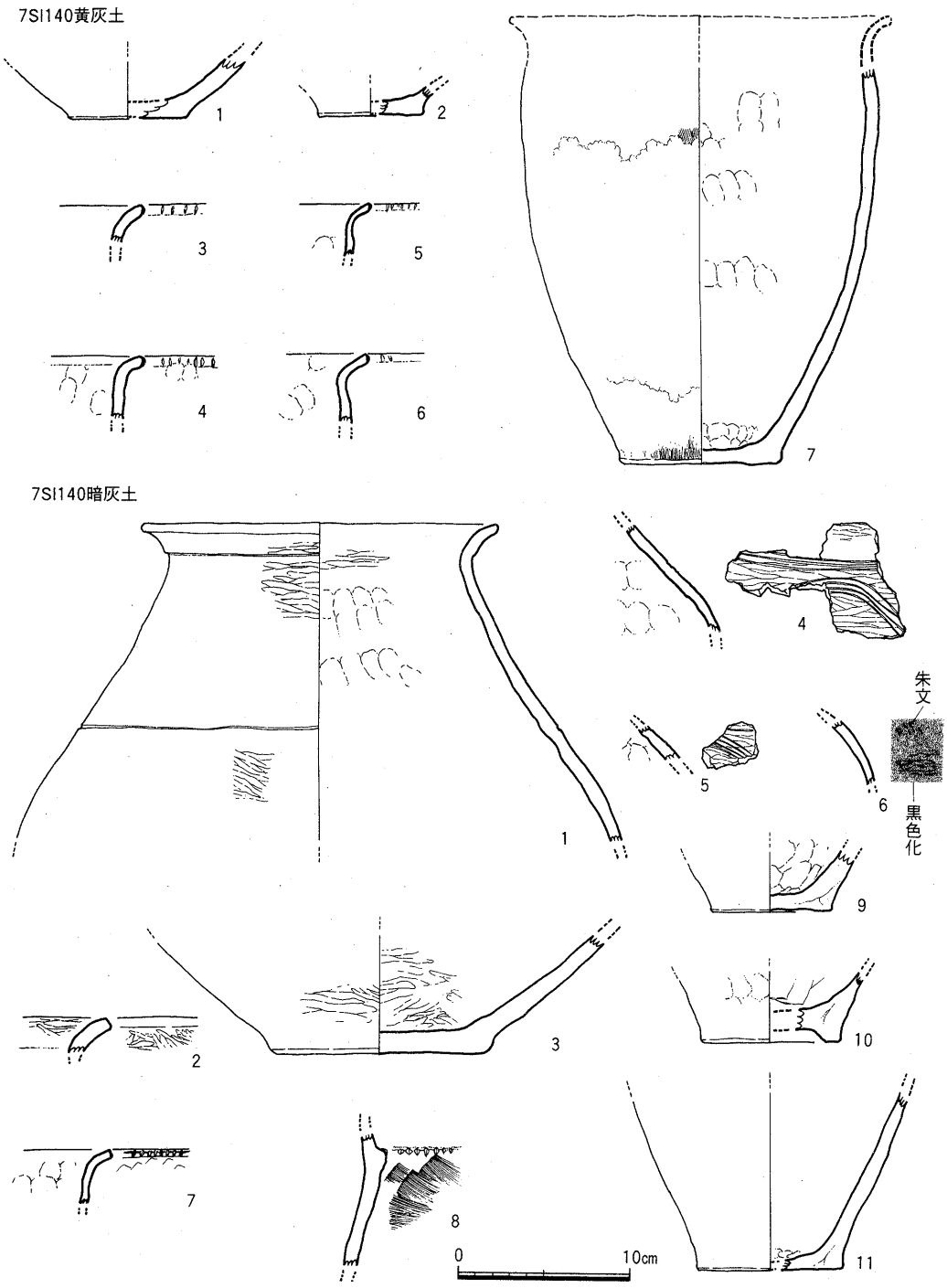
第44図　前田7次SI120茶灰土（2）出土土器実測図（1/4）



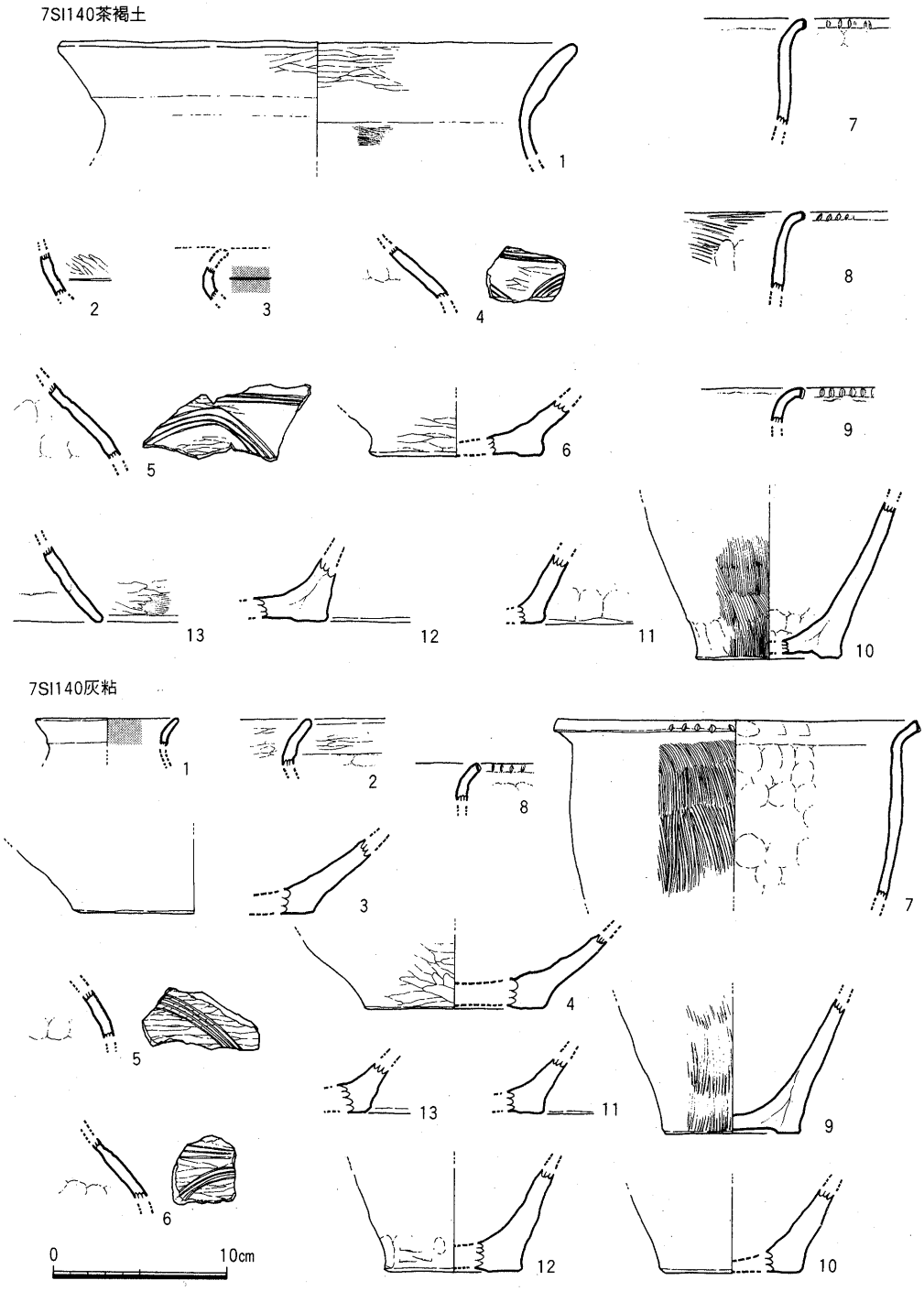
第45図　前田7次SI120a･b･b灰色土、125茶褐土出土土器実測図（1/4）



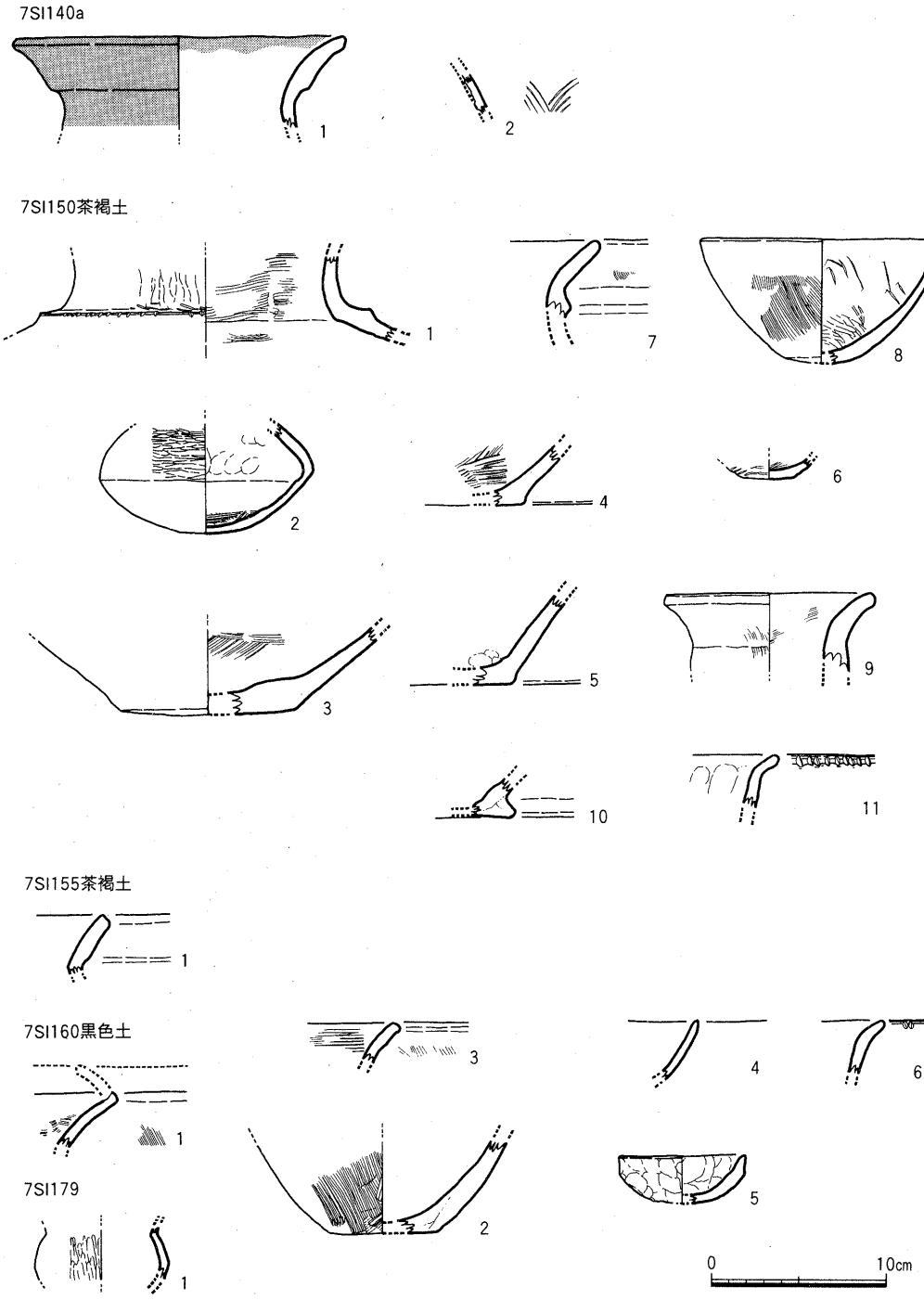
第46図　前田7次SI130灰褐土、135明茶土、140灰褐土
出土土器実測図（1/4）



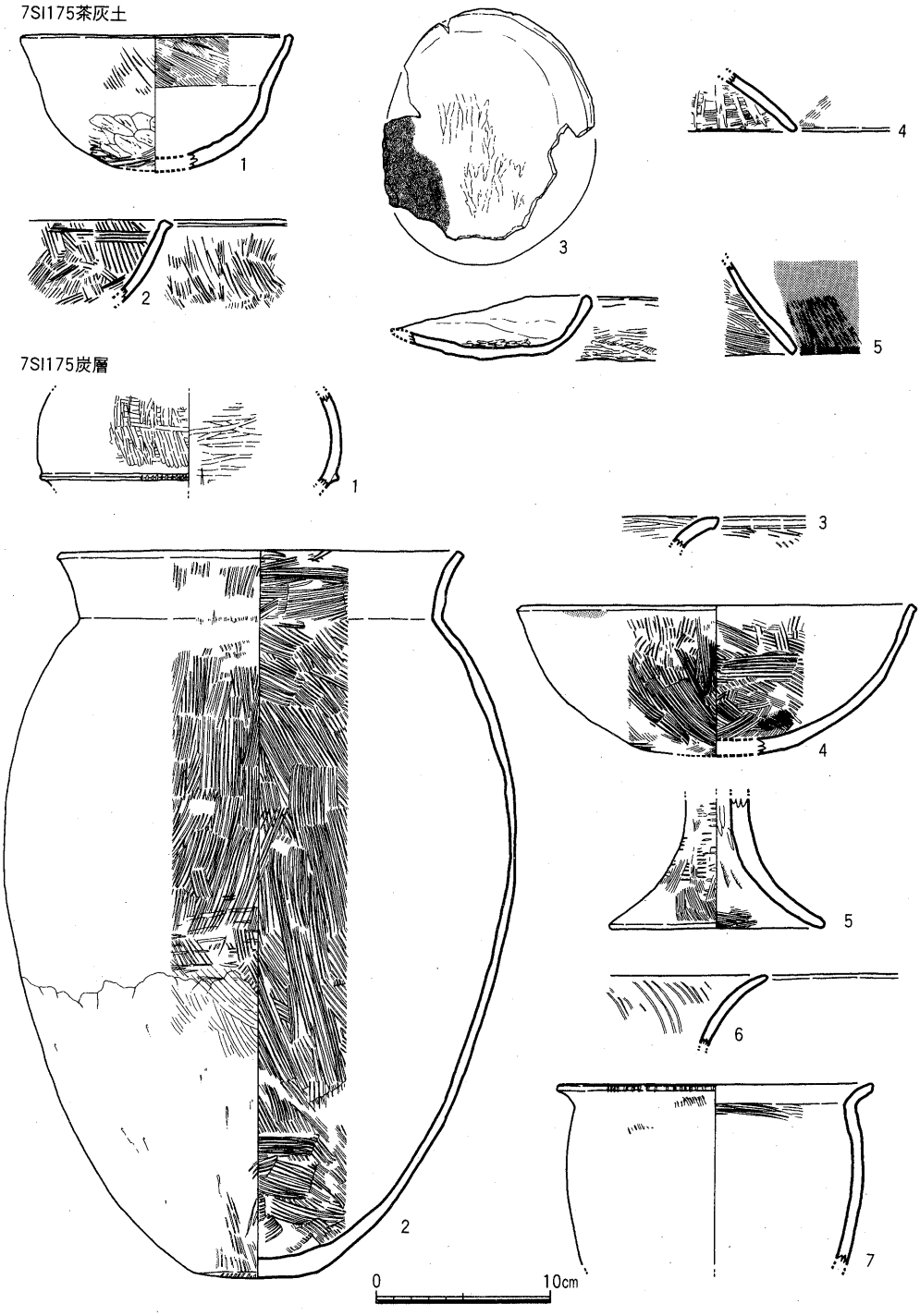
第47図　前田7次SI140黄灰土・暗灰土出土土器実測図（1/4）



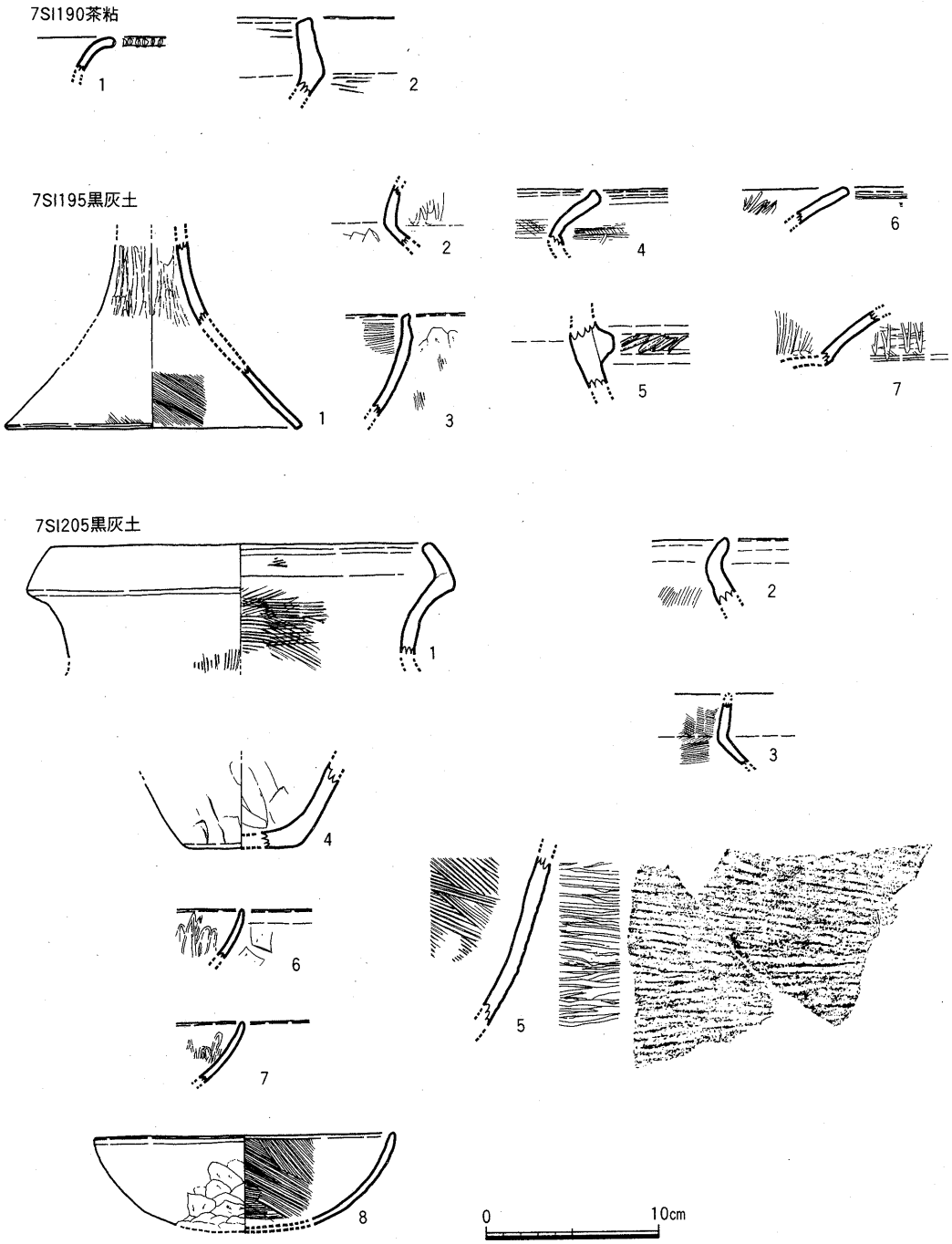
第48図　前田7次SI140茶褐土・灰粘出土土器実測図（1/4）



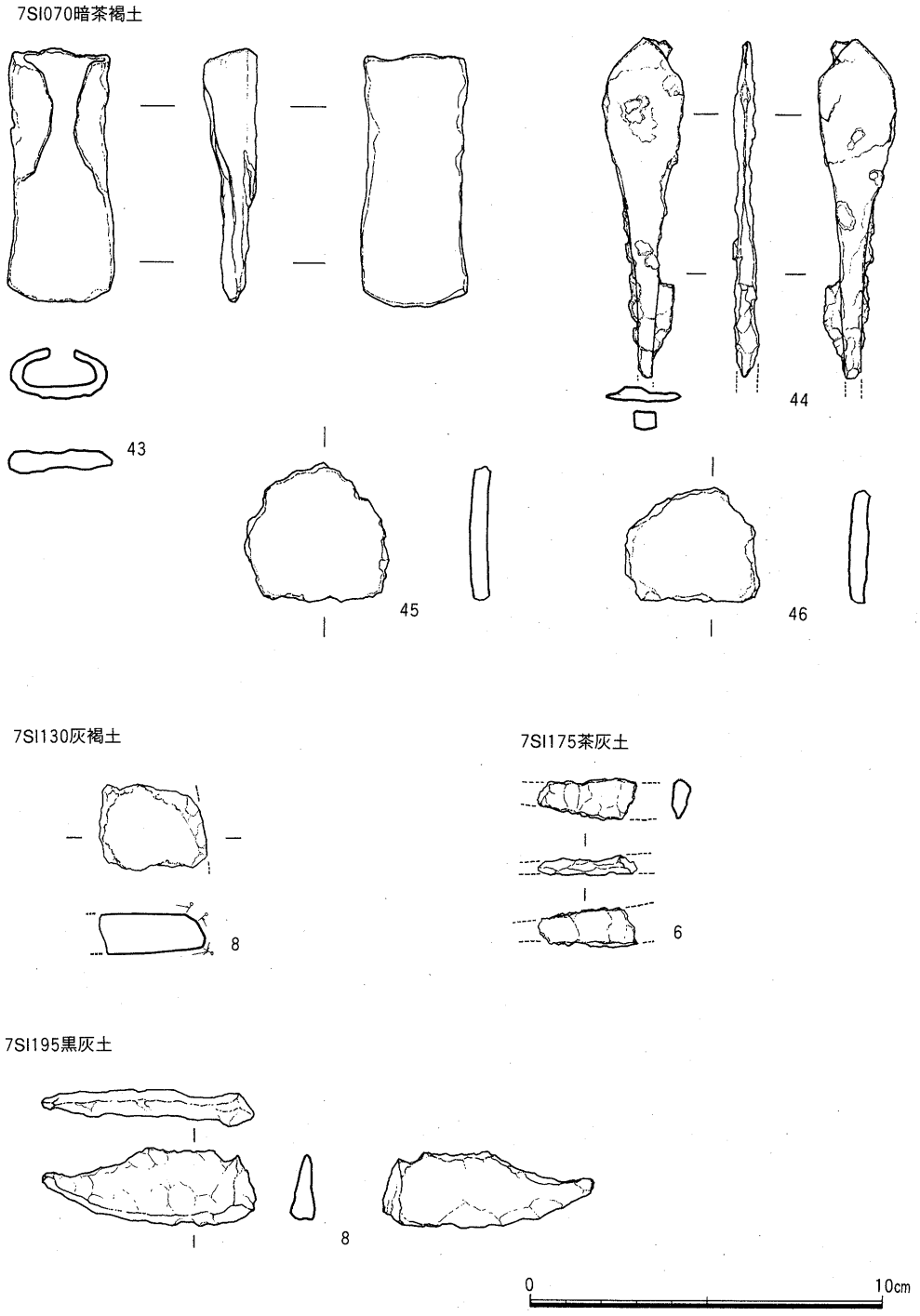
第49図　前7SI140a、150茶褐土、155茶褐土、160黒色土、179
出土土器実測図（1/4）



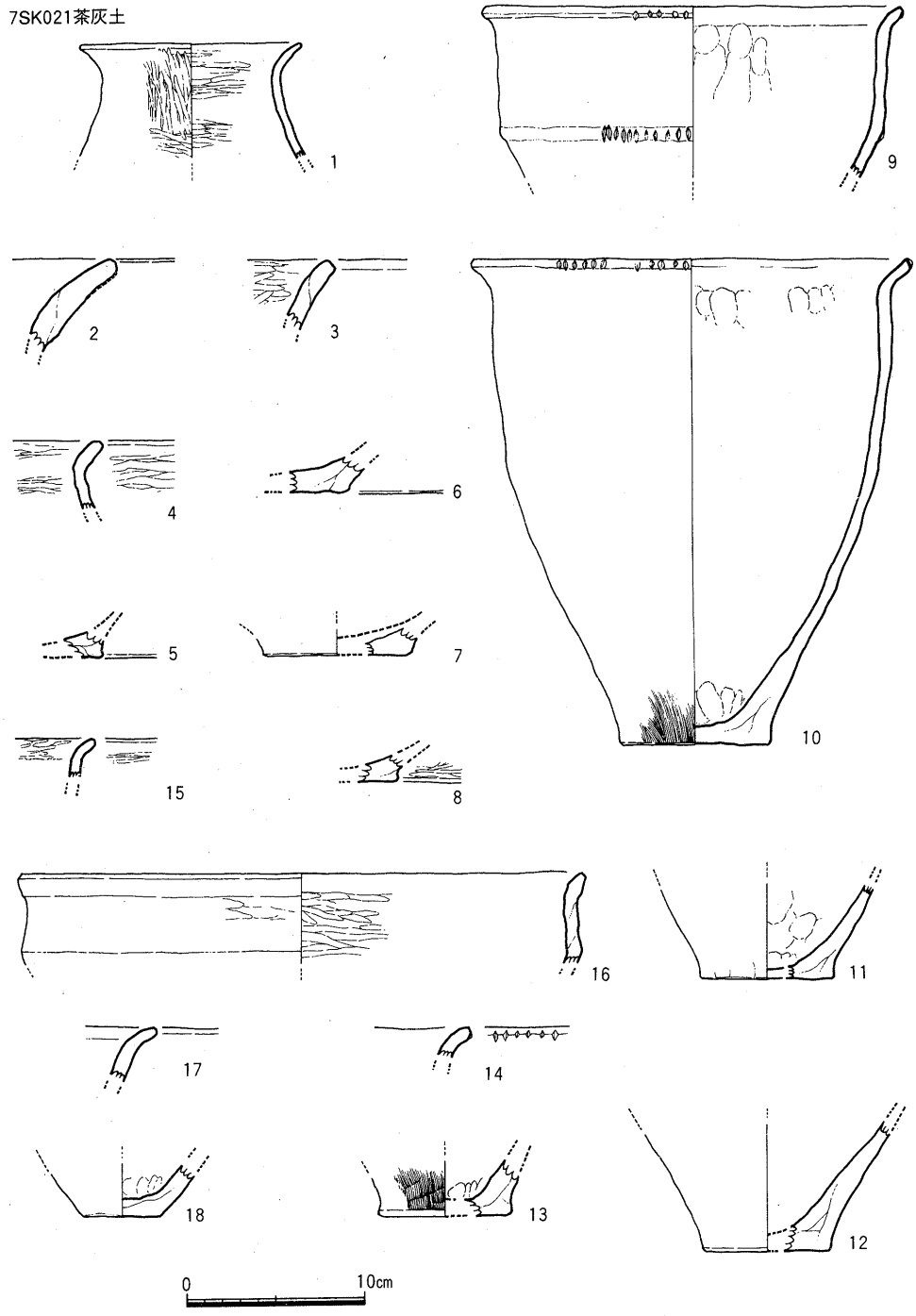
第50図　前田7次SI175茶灰土・炭層出土土器実測図（1/4）



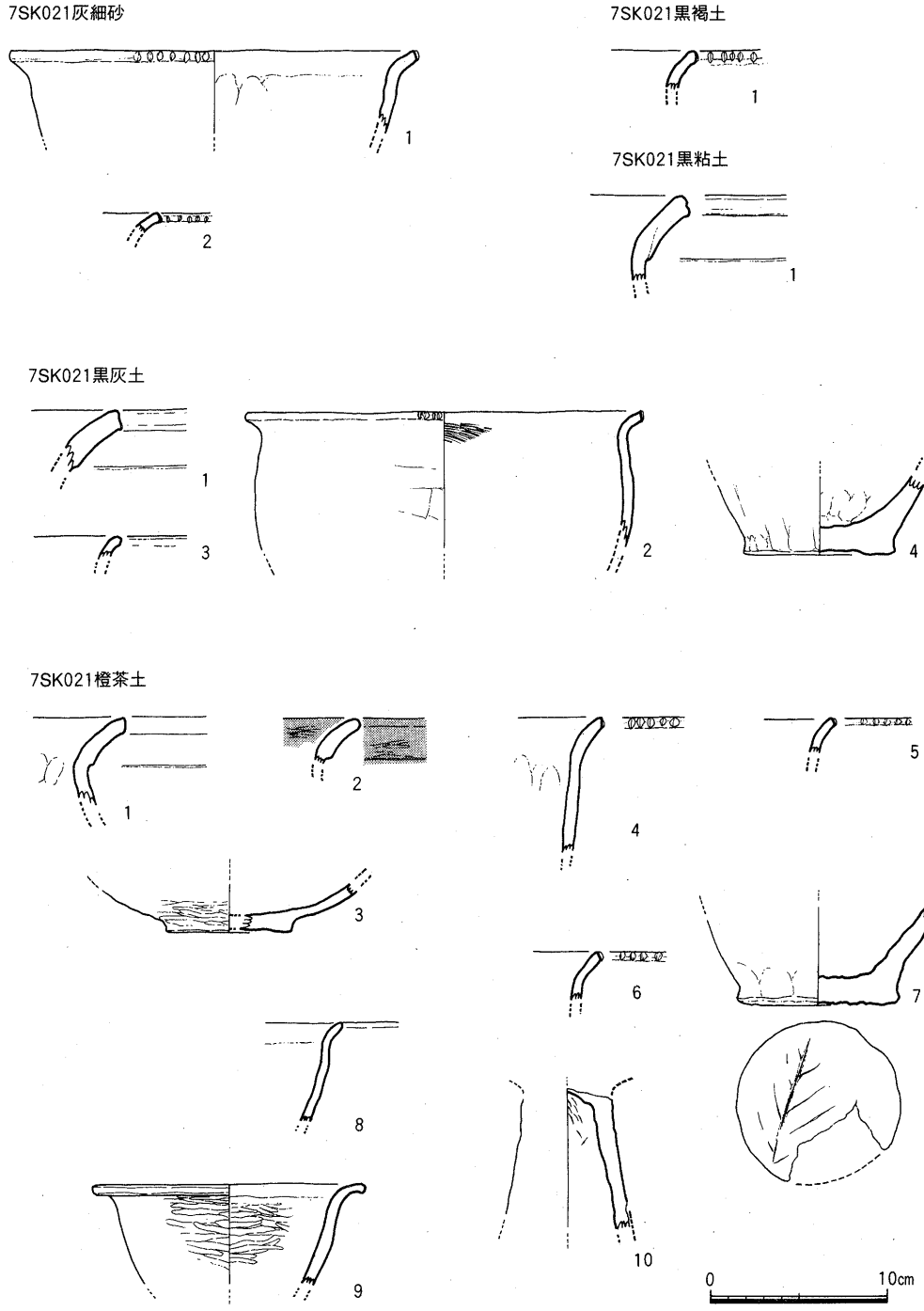
第51図　前田7次SI190茶粘、195黒灰土、205黒灰土
出土土器実測図（1/4）



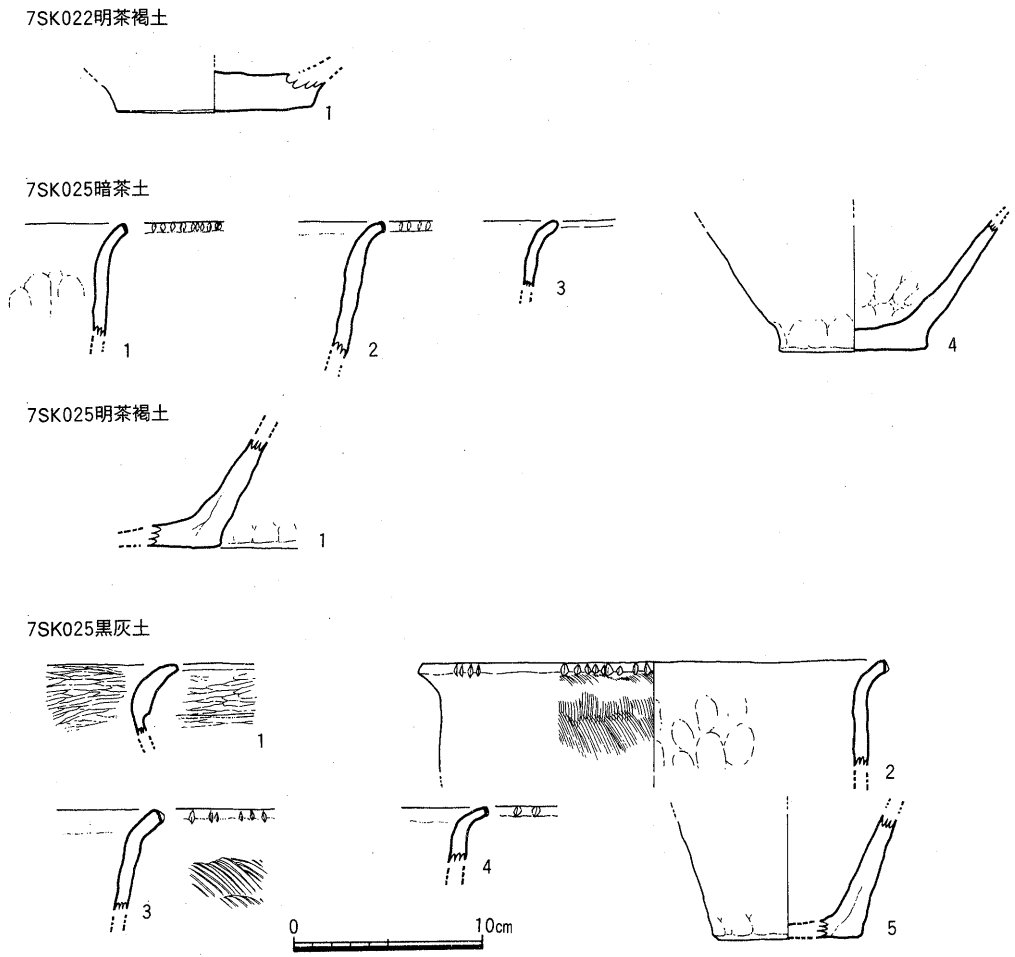
第52図　前田7次SI070暗茶褐土、130灰褐土、175茶灰土、195黒灰土、出土鉄製品、石製品、土製品実測図（1/2）



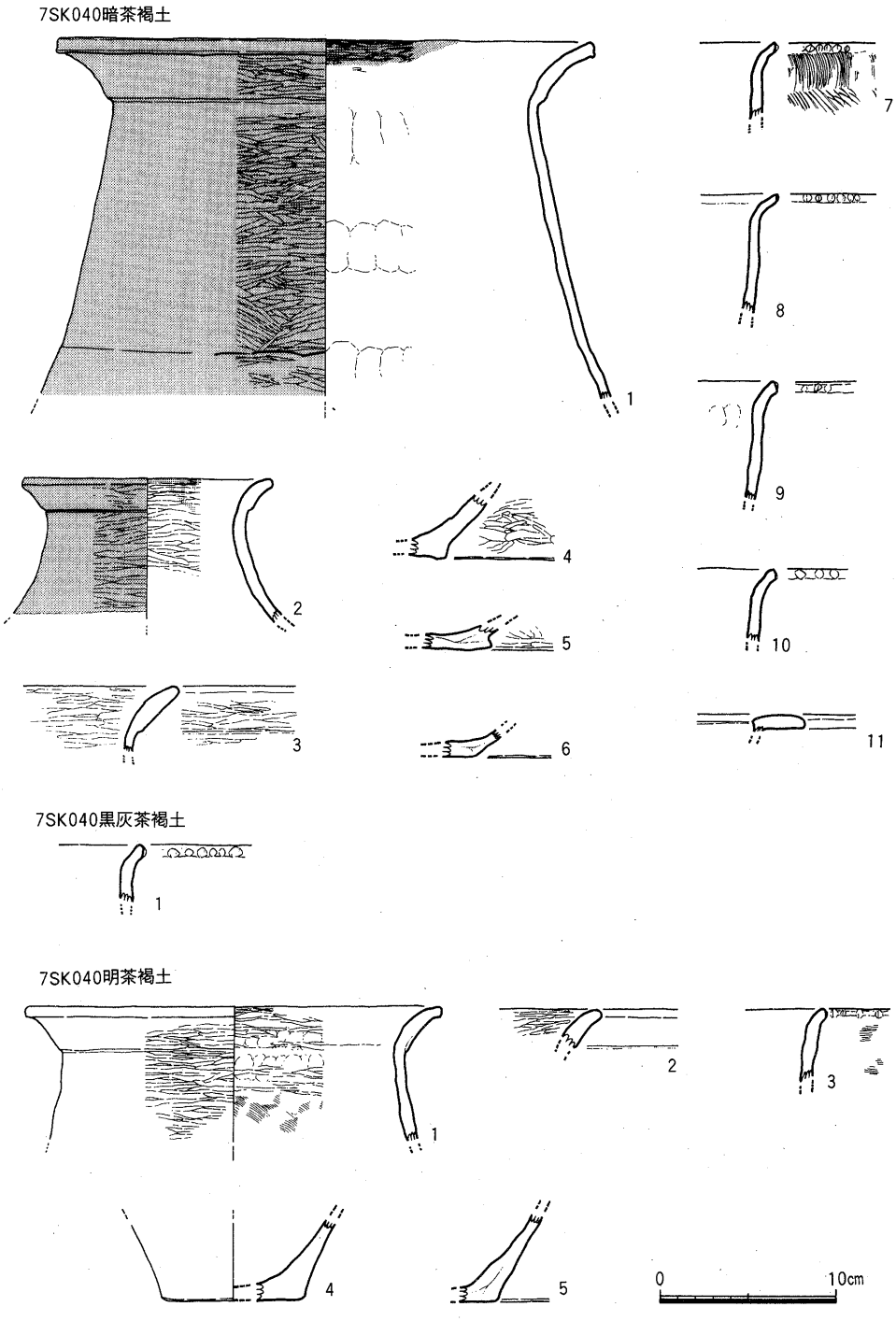
第53図　前田7次SK021茶灰土出土土器実測図（1/4）



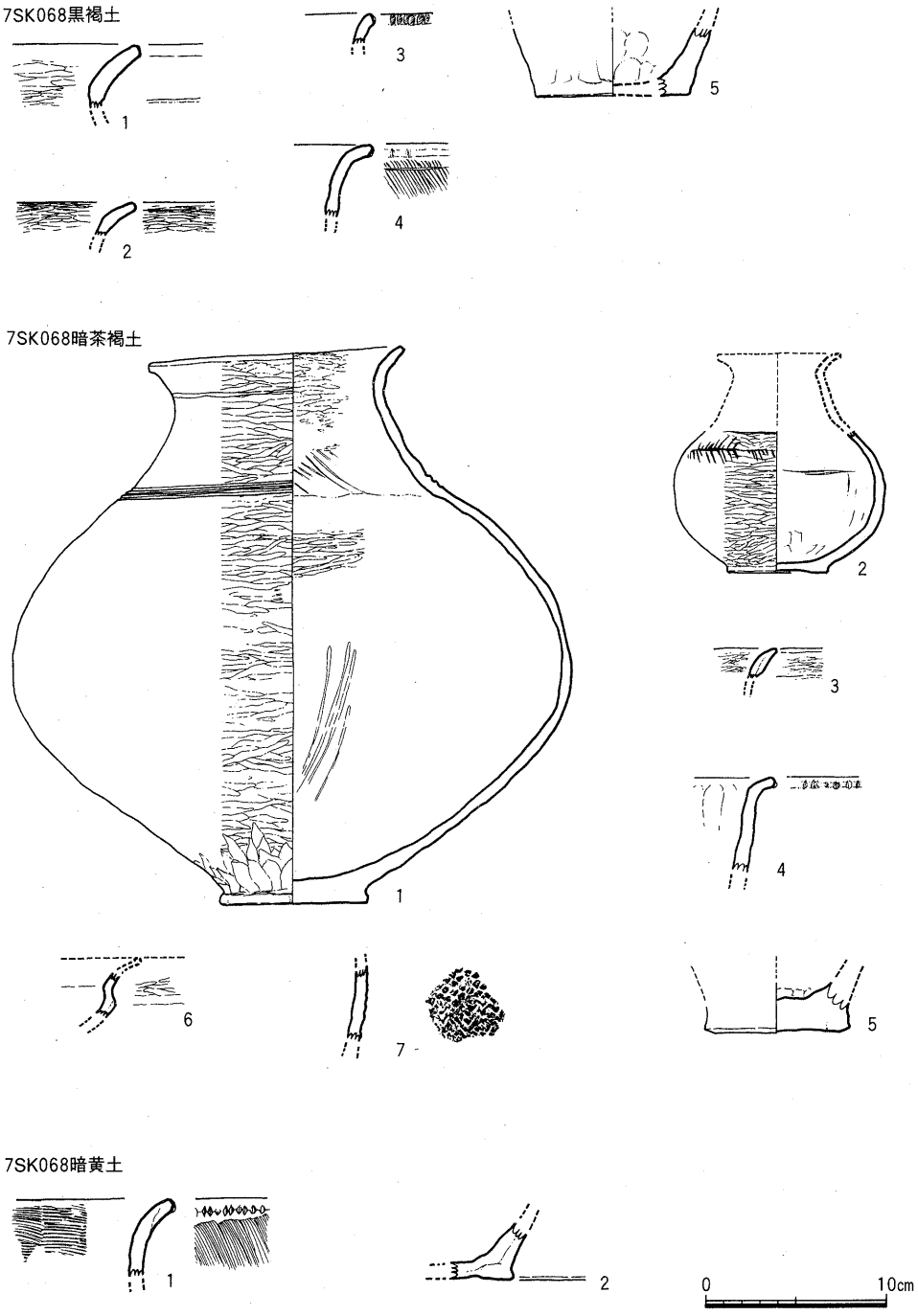
第54図　前田7次SK021灰細砂、黒褐土、黒灰土
黒粘土、橙茶土出土土器実測図（1/4）



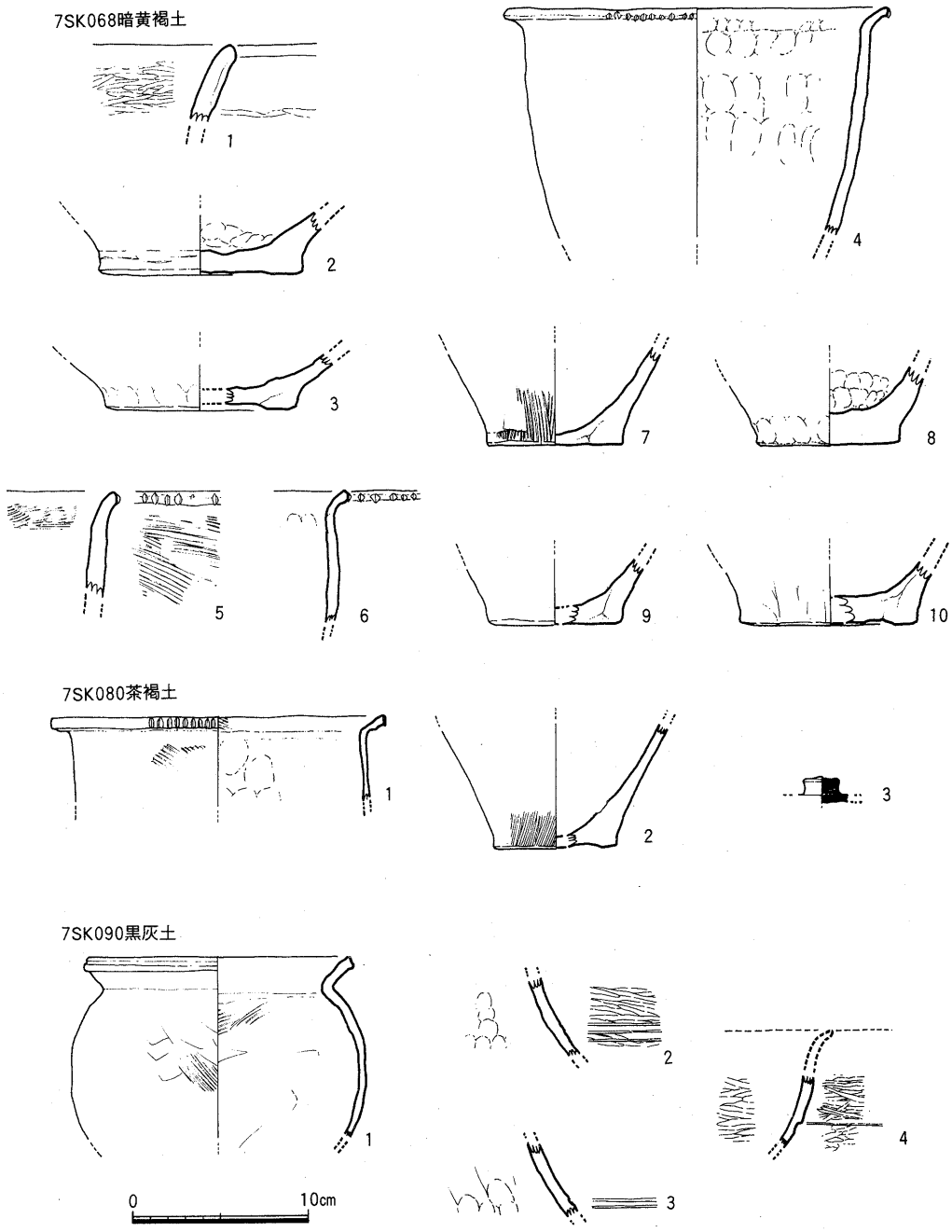
第55図　前田7次SK022明茶褐土、025暗茶土、明茶褐土、黒灰土
出土土器実測図（1/4）



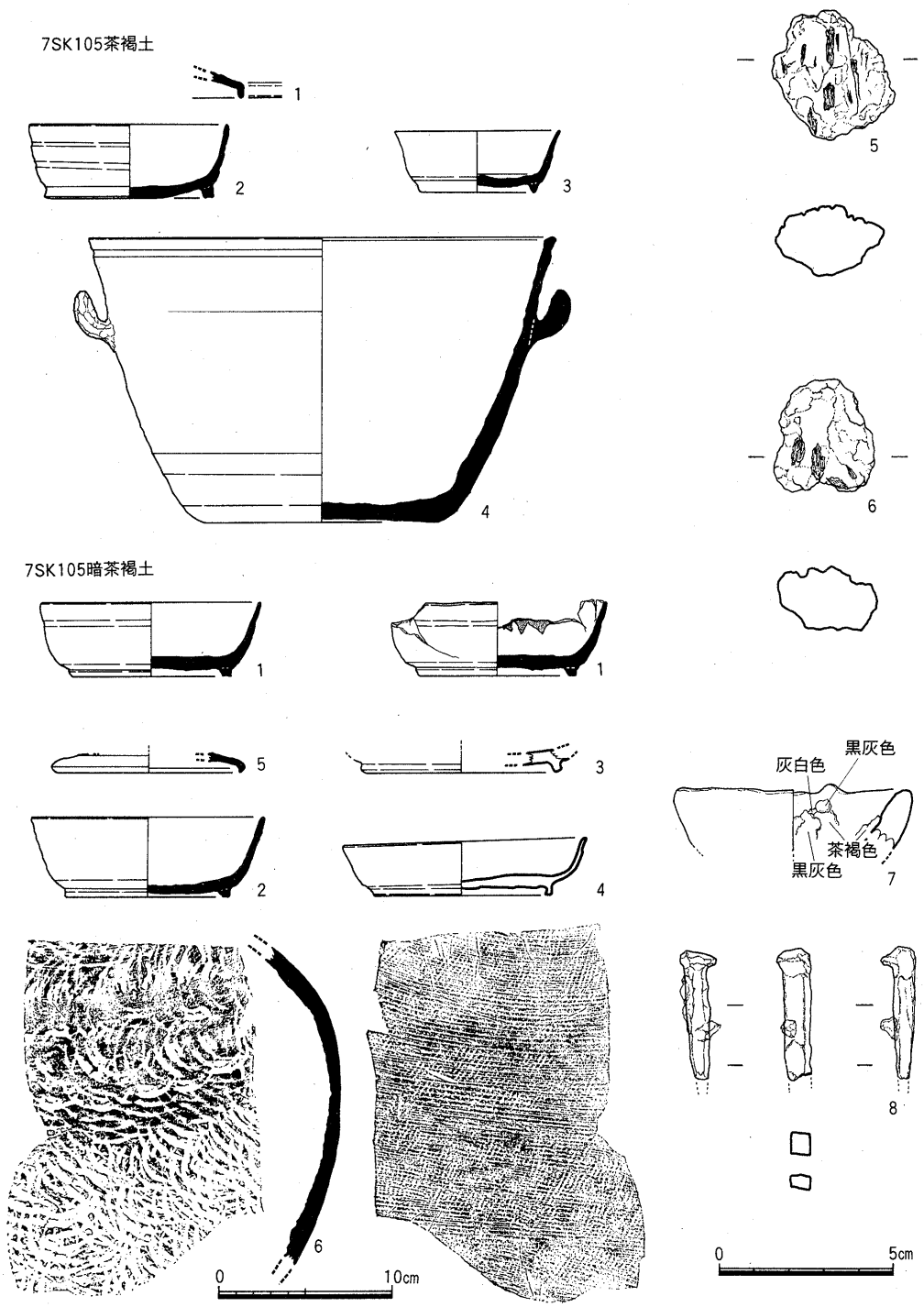
第56図　前田7次SK040暗茶褐土、黒灰茶褐土、明茶褐土
出土土器実測図（1/4）



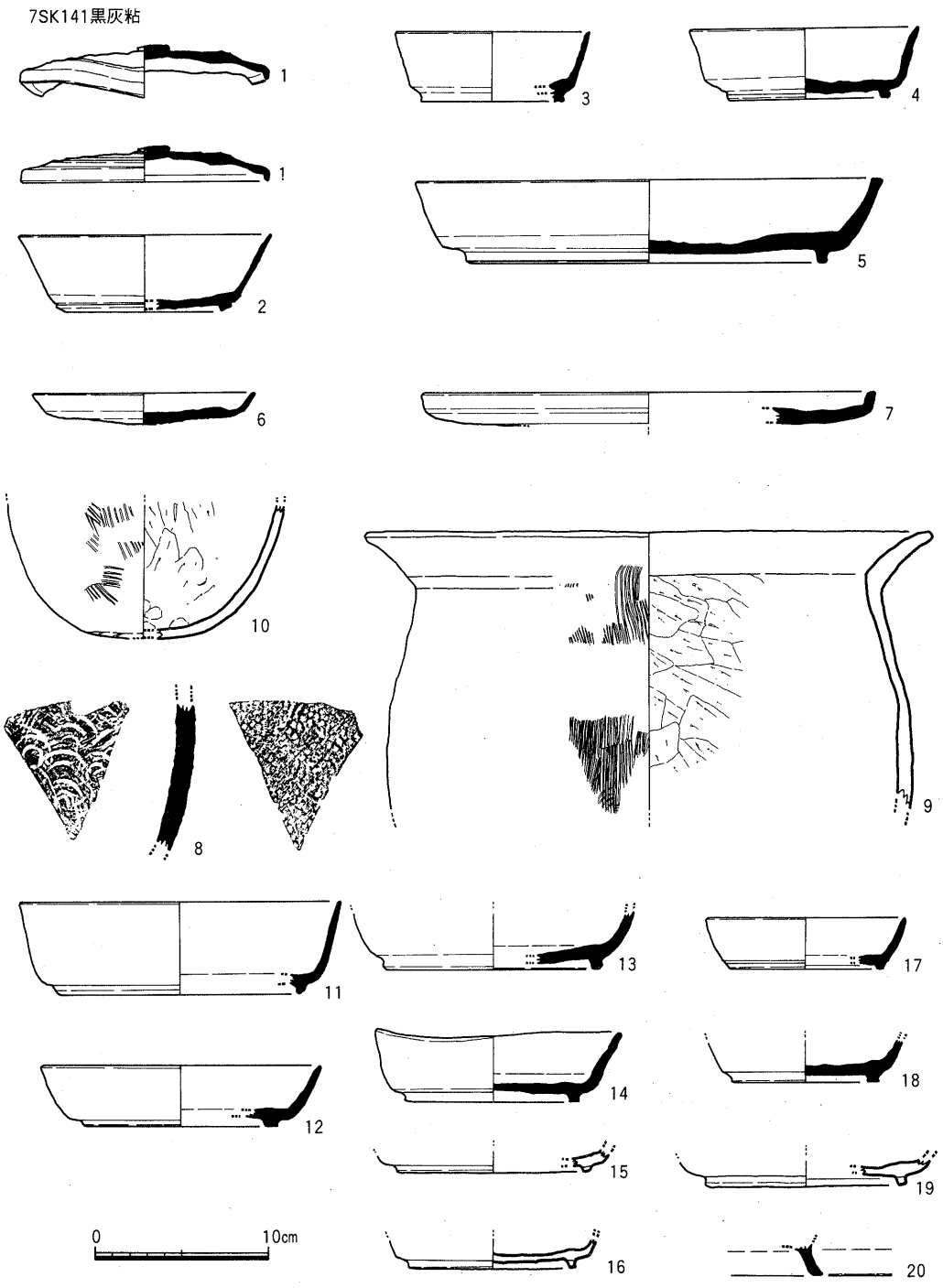
第57図　前田7次SK068黒褐土、暗茶褐土、暗黄土
出土土器実測図（1/4）



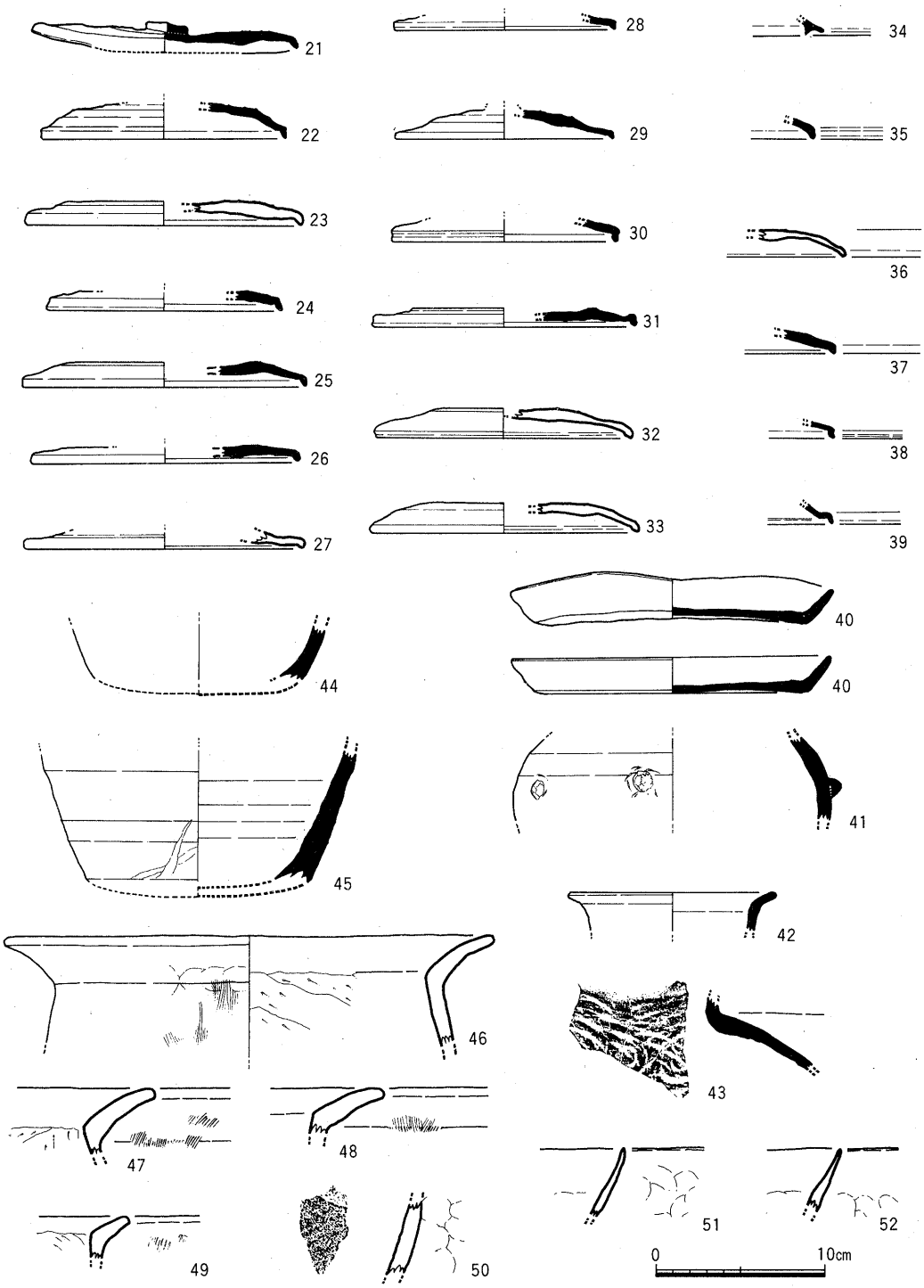
第58図　前田7次SK068暗黄褐土、080茶褐土、090黒灰土
出土土器実測図（1/4）



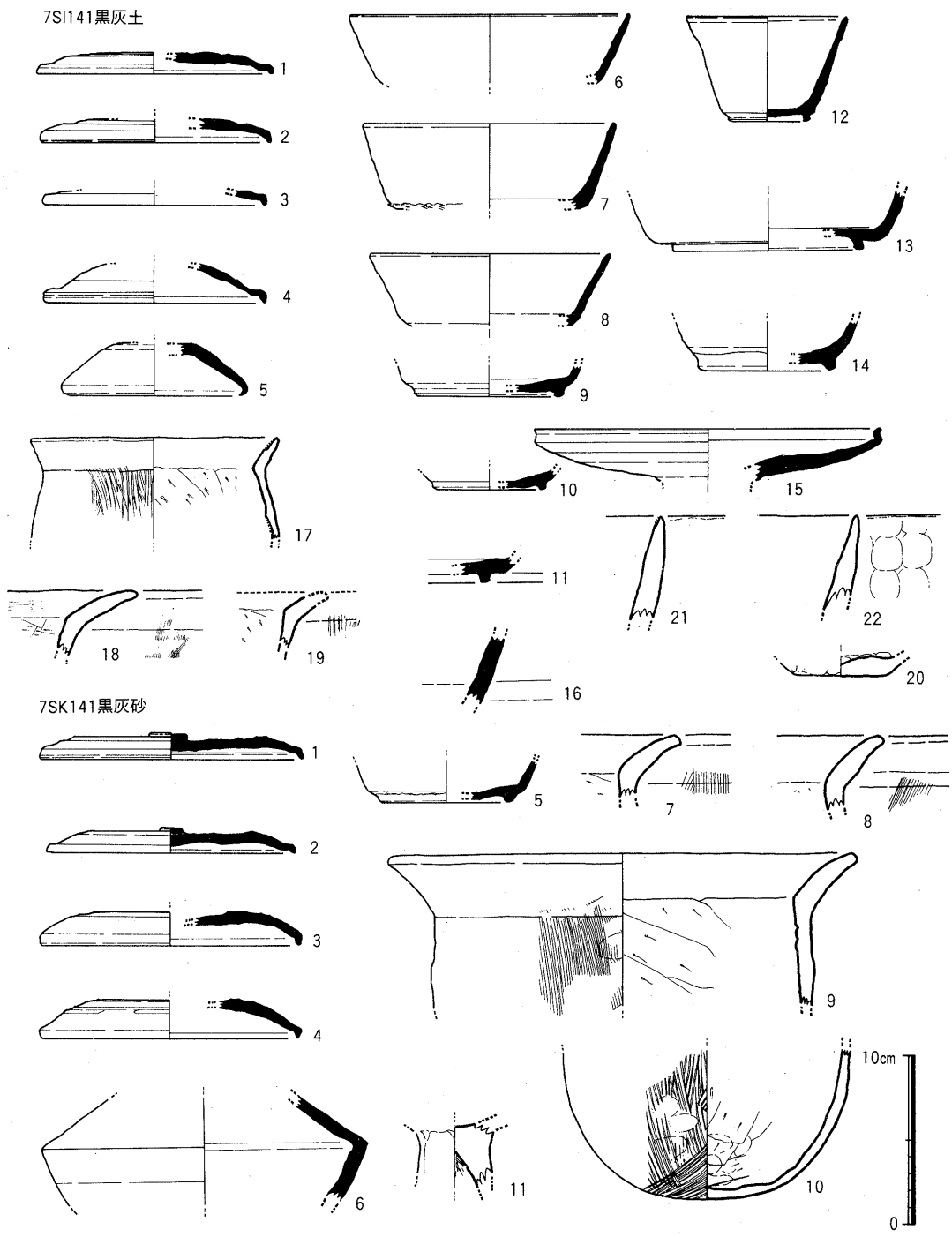
第59図　前田7次SK105茶褐土、暗茶褐土
出土土器、土製品、金属製品実測図（1/4）（1/2）



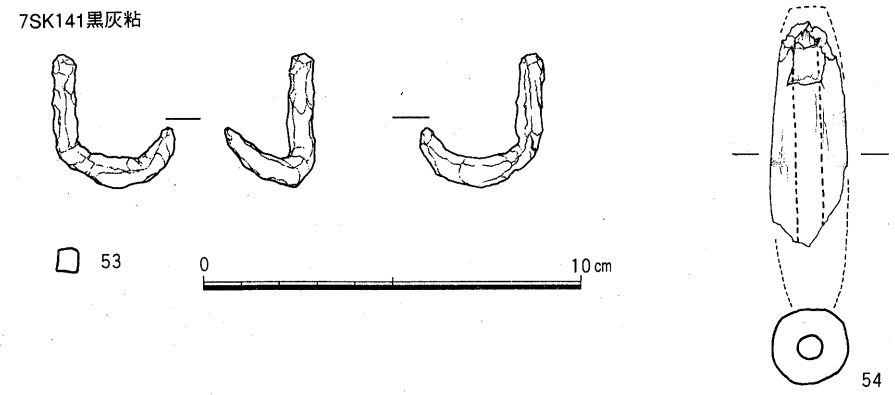
第60図　前田7次SK141黒灰粘(1)出土土器実測図（1/4）

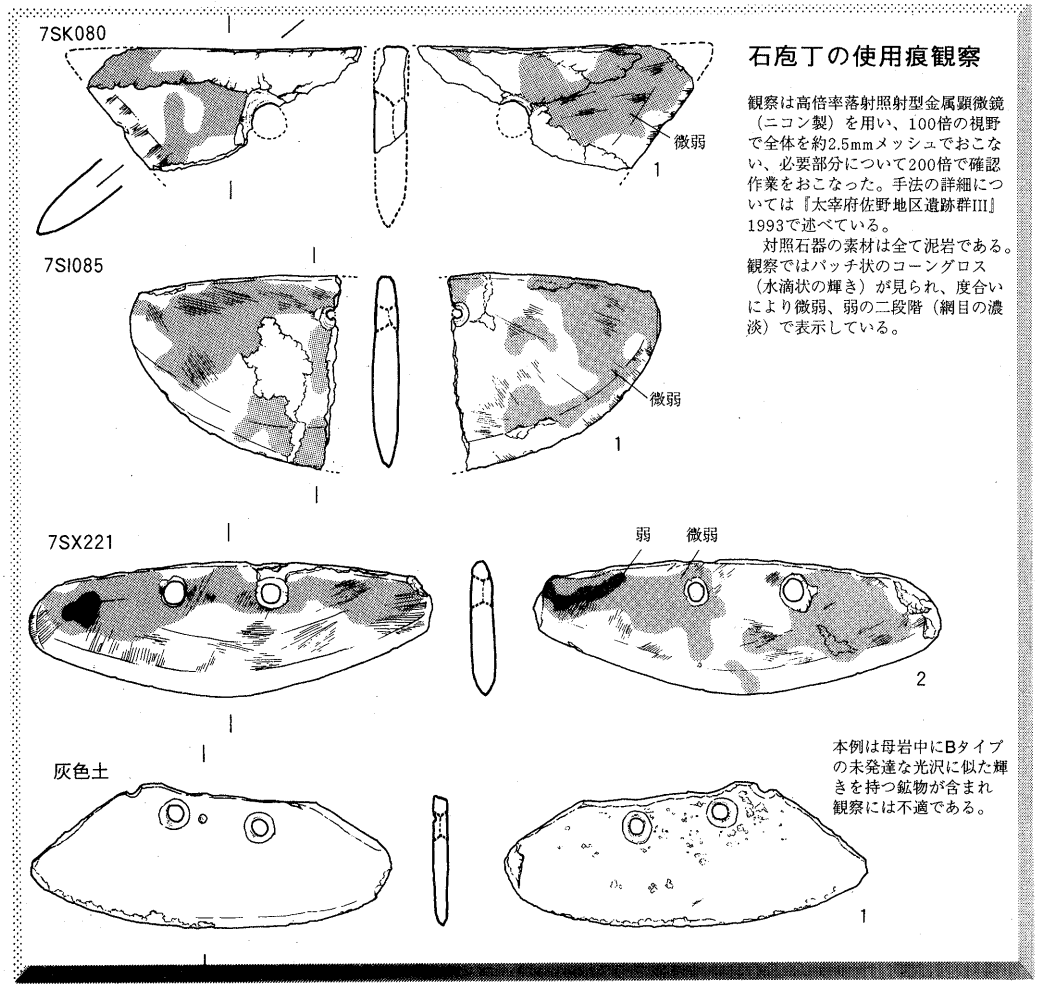


第61図　前田7次SK141黒灰粘(2)出土土器実測図（1/4）



第62図　前田7次SK141黒灰土、黒灰砂出土土器実測図（1/4）





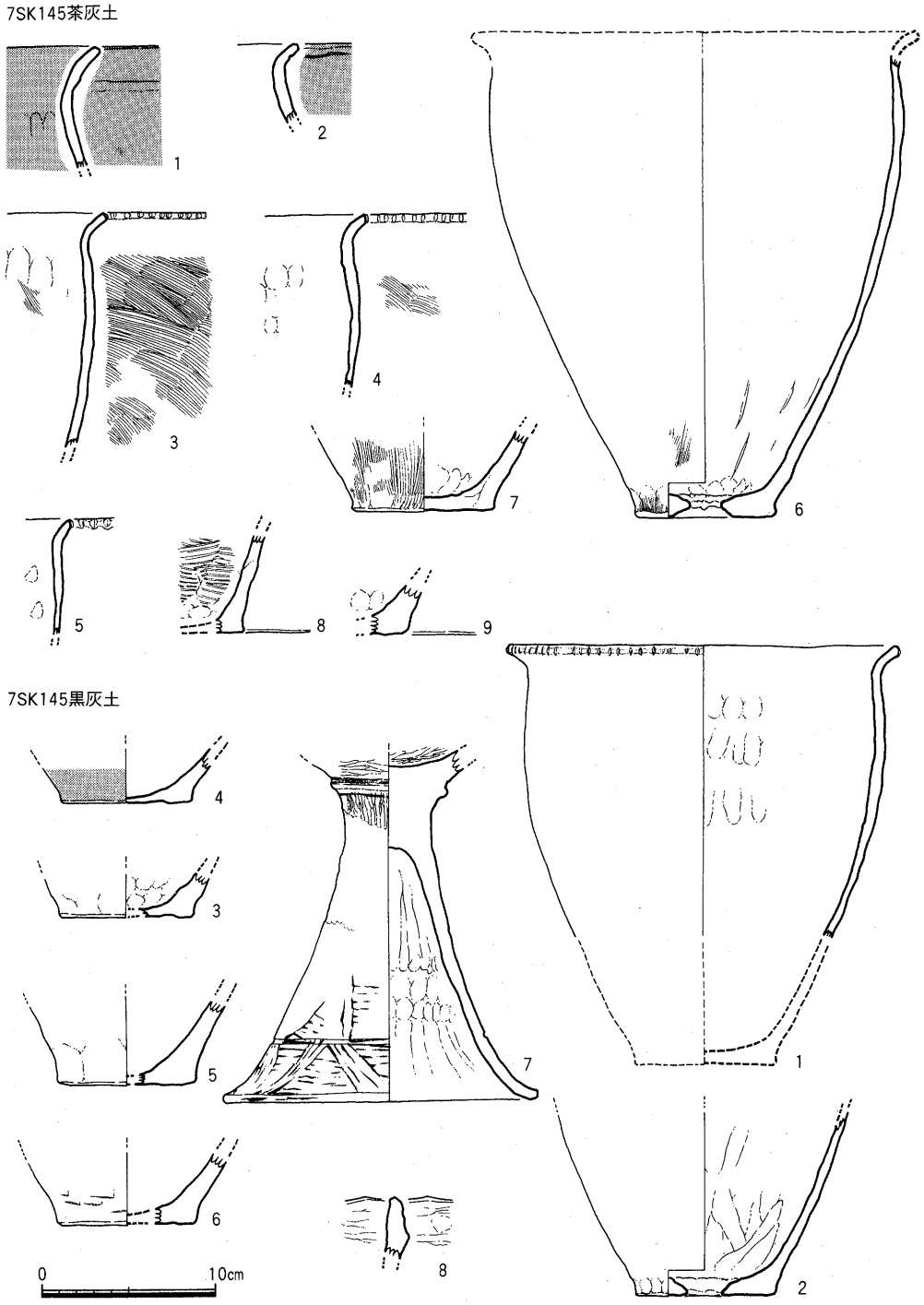
石庖丁の使用痕観察

観察は高倍率落射照射型金属顕微鏡（ニコン製）を用い、100倍の視野で全体を約2.5mmメッシュでおこない、必要部分について200倍で確認作業をおこなった。手法の詳細については『太宰府佐野地区遺跡群III』1993で述べている。

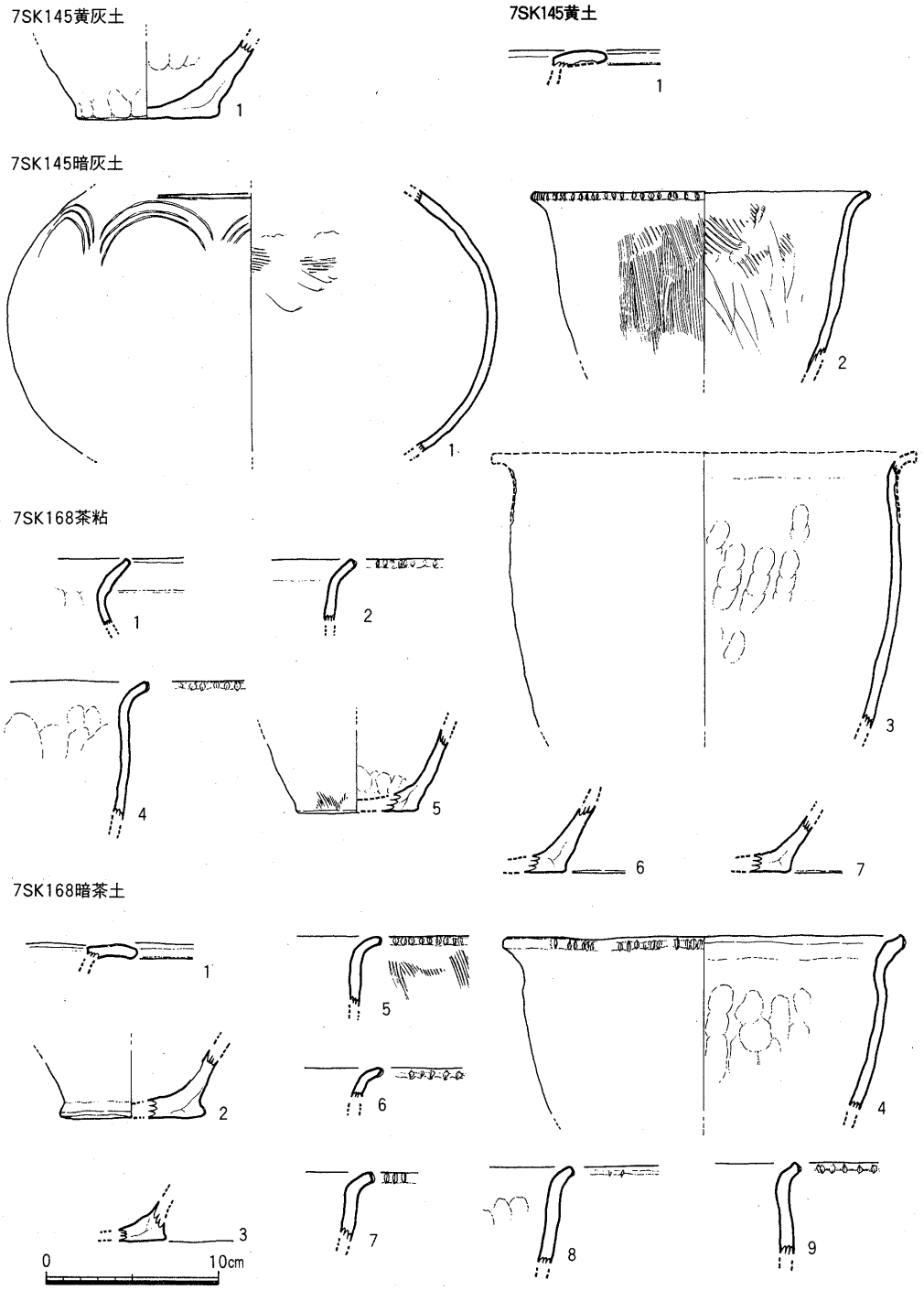
対照石器の素材は全て泥岩である。観察ではパッチ状のコーングロス（水滴状の輝き）が見られ、度合いにより微弱、弱の二段階（網目の濃淡）で表示している。

本例は母岩中にBタイプの未発達な光沢に似た輝きを持つ鉱物が含まれ観察には不適である。

第63図　前田7次SK141黒灰粘出土土製品、鉄製品実測図（1/2）及び石庖丁使用痕観察（1/2）

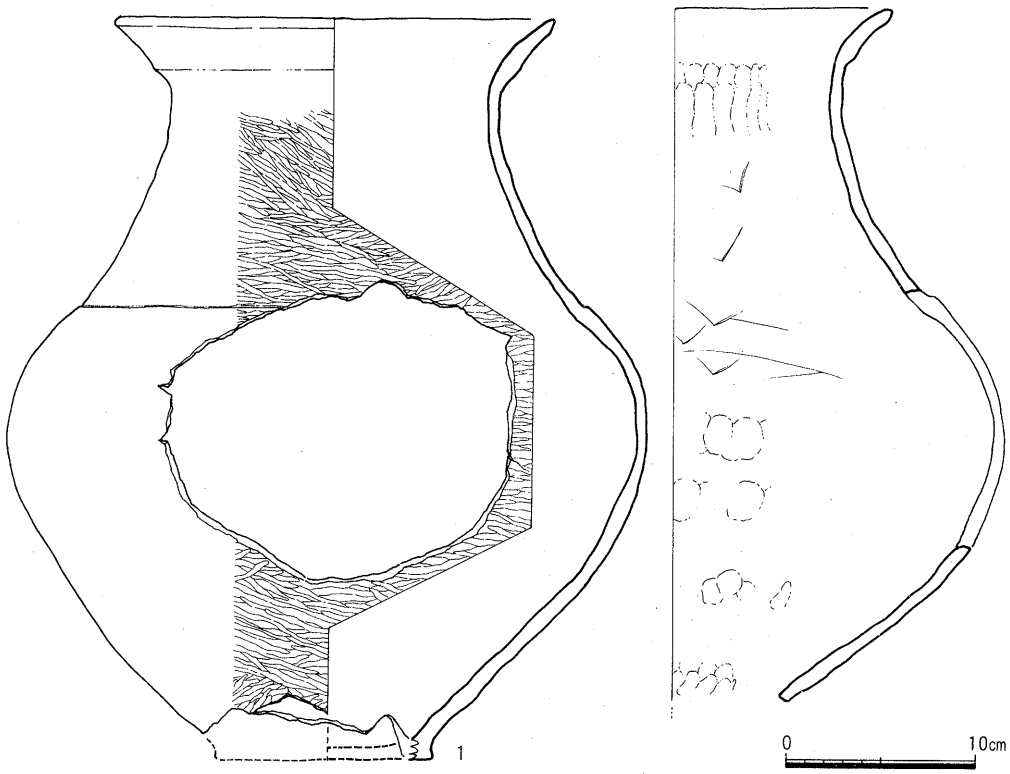


第64図　前田7次SK145茶灰土・黒灰土出土土器実測図（1/4）

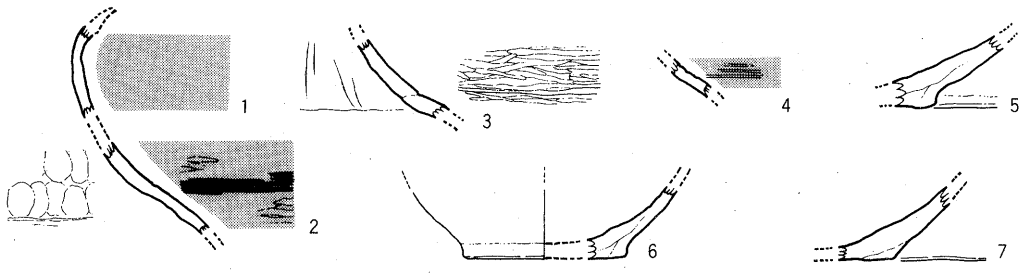


第65図　前田7次SK145黄灰土・暗灰土・黄色土、168茶粘(1)・暗茶土
出土土器実測図（1/4）

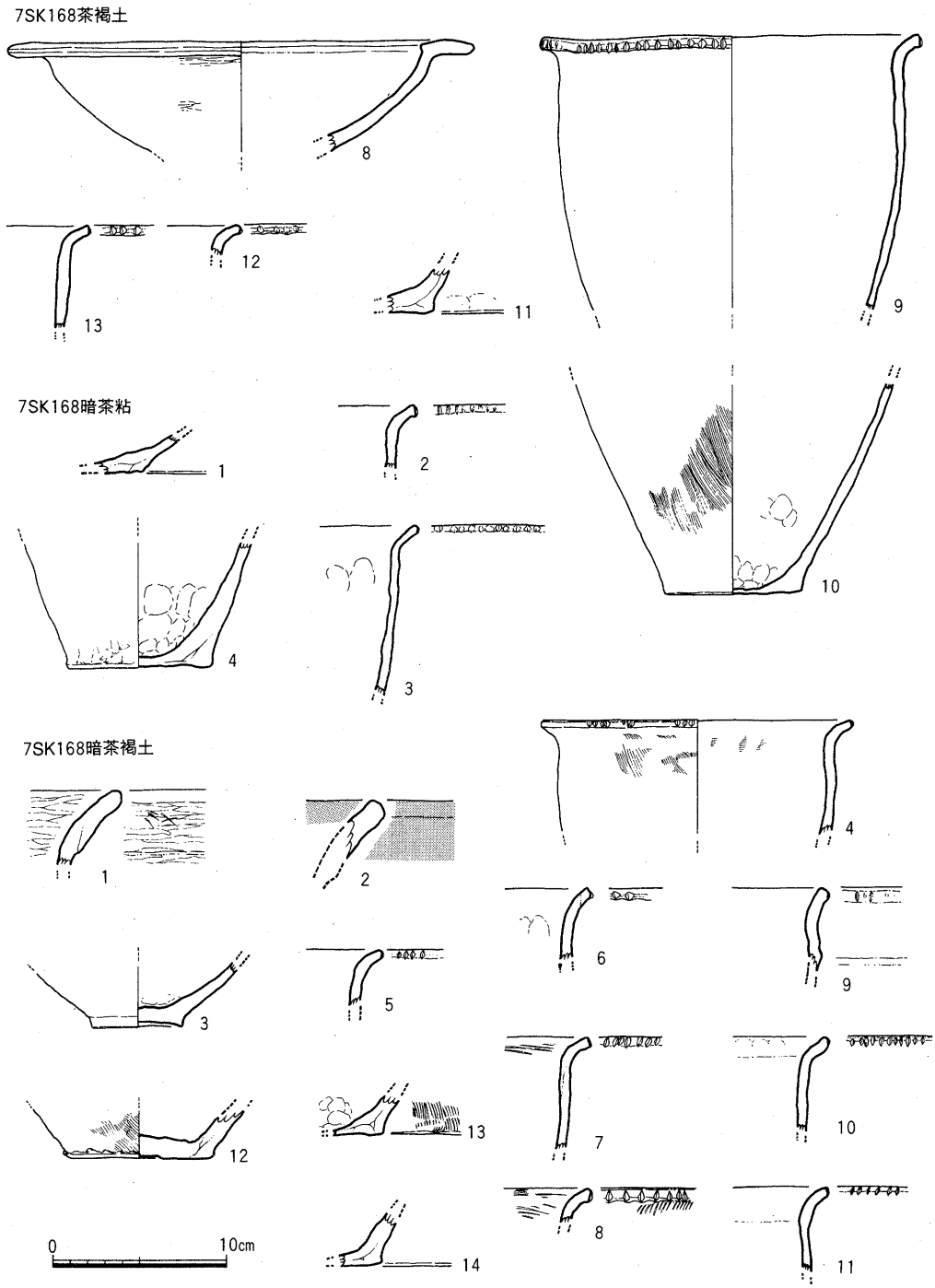
7SK168黒粘



7SK168茶褐土

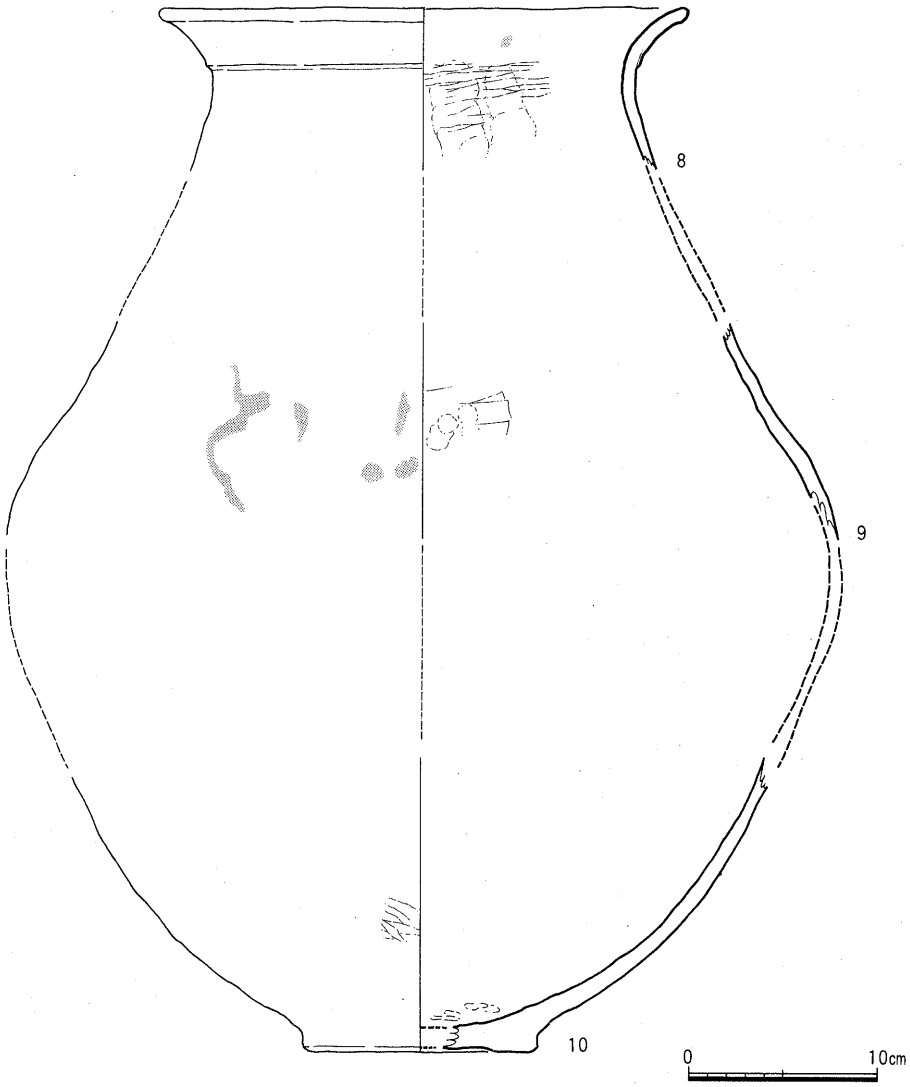


第66図　前田7次SK168黒粘・茶褐土(1)出土土器実測図（1/4）

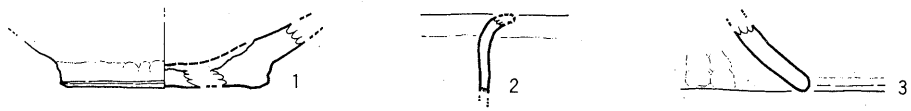


第67図　前田7次SK168茶褐土(2)・暗茶粘・暗茶褐土
出土土器実測図（1/4）

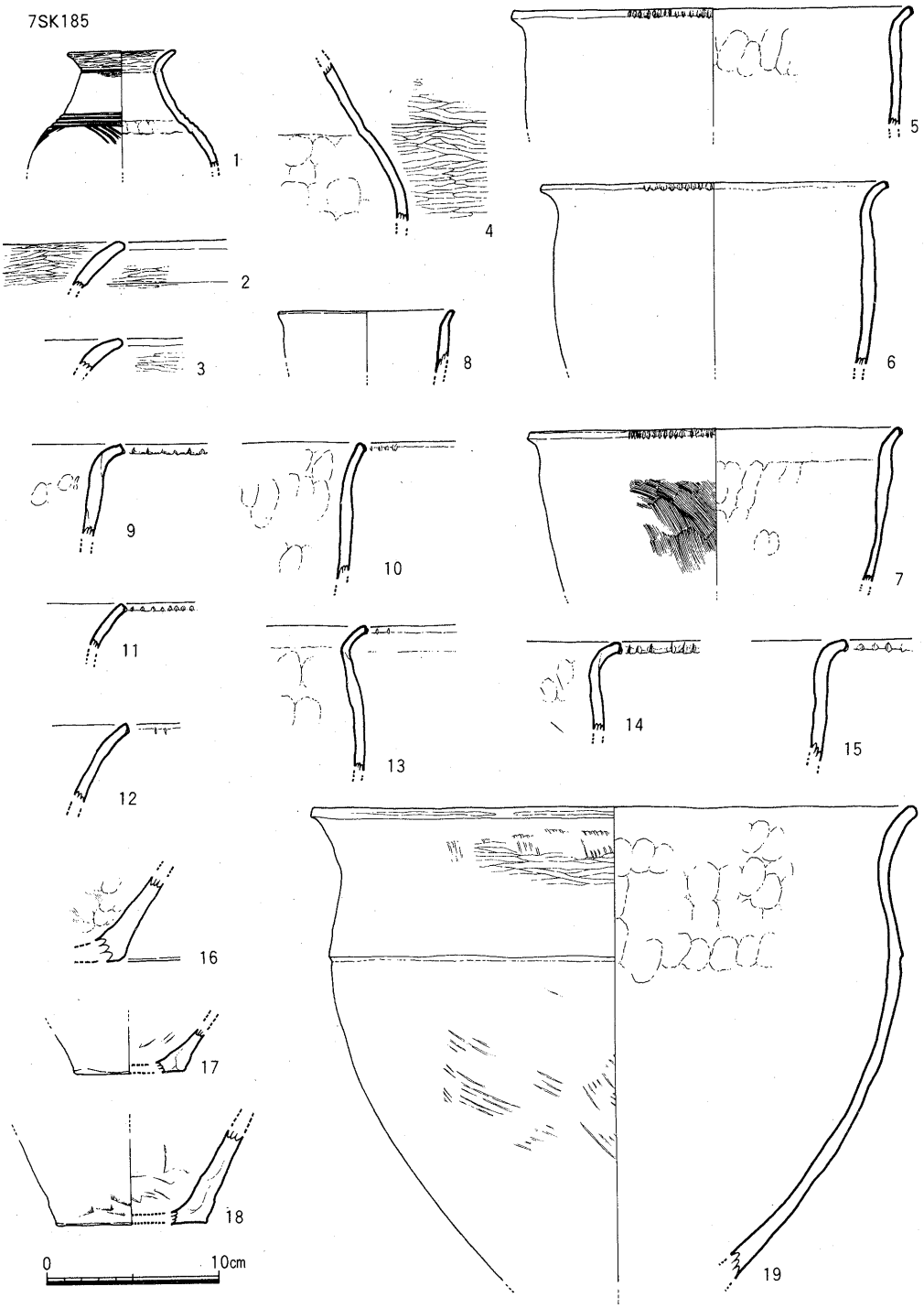
7SK168茶粘



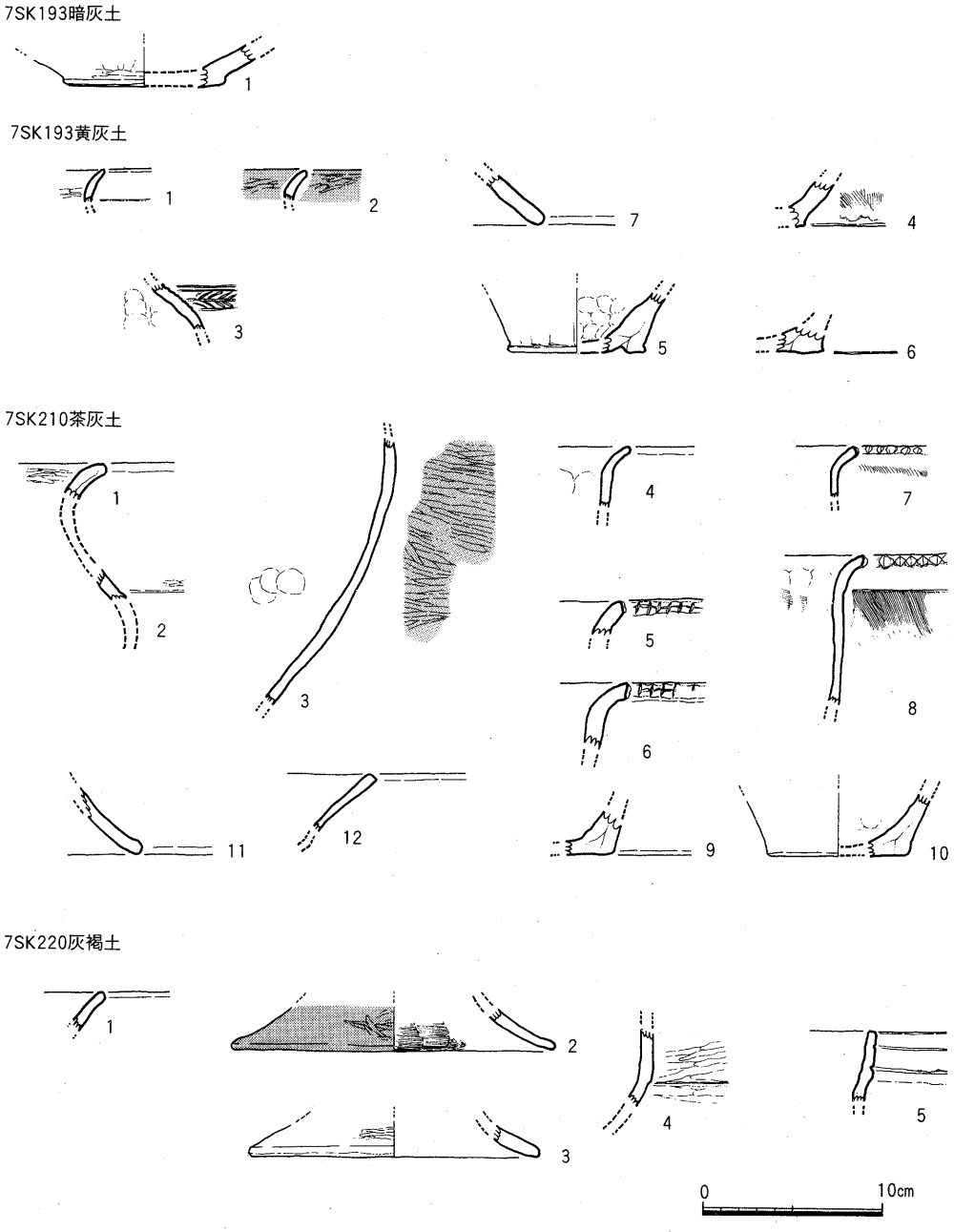
7SK183明茶粘



第68図　前田7次SK168茶粘(2)、183明茶粘出土土器実測図（1/4）

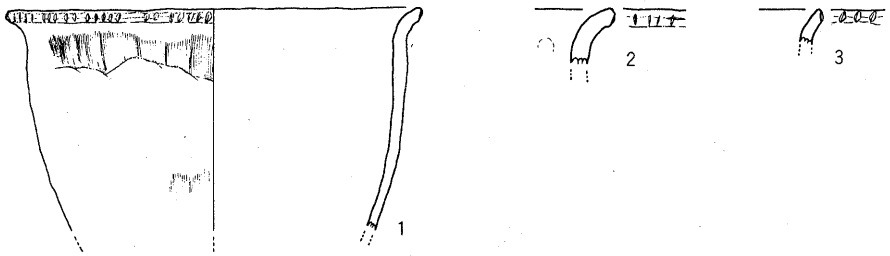


第69図　前田7次SK185出土土器実測図（1/4）

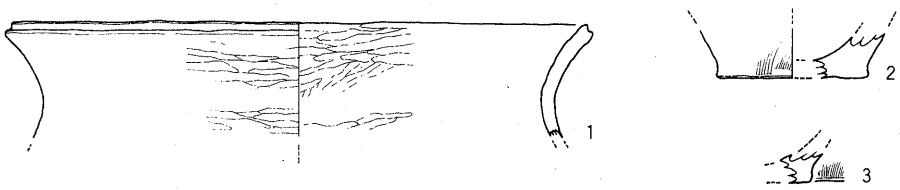


第70図　前田7次SK193暗灰土・黄灰土、210茶灰土、220灰褐土
出土土器実測図（1/4）

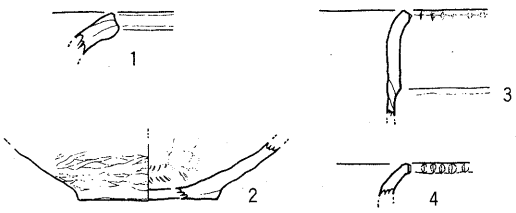
7SK220暗茶褐土



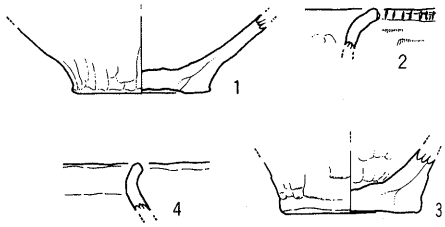
7SK220黄灰土



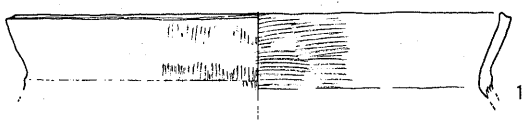
7SK225黄色土

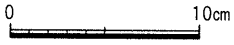


7SK225淡灰砂



7SK230

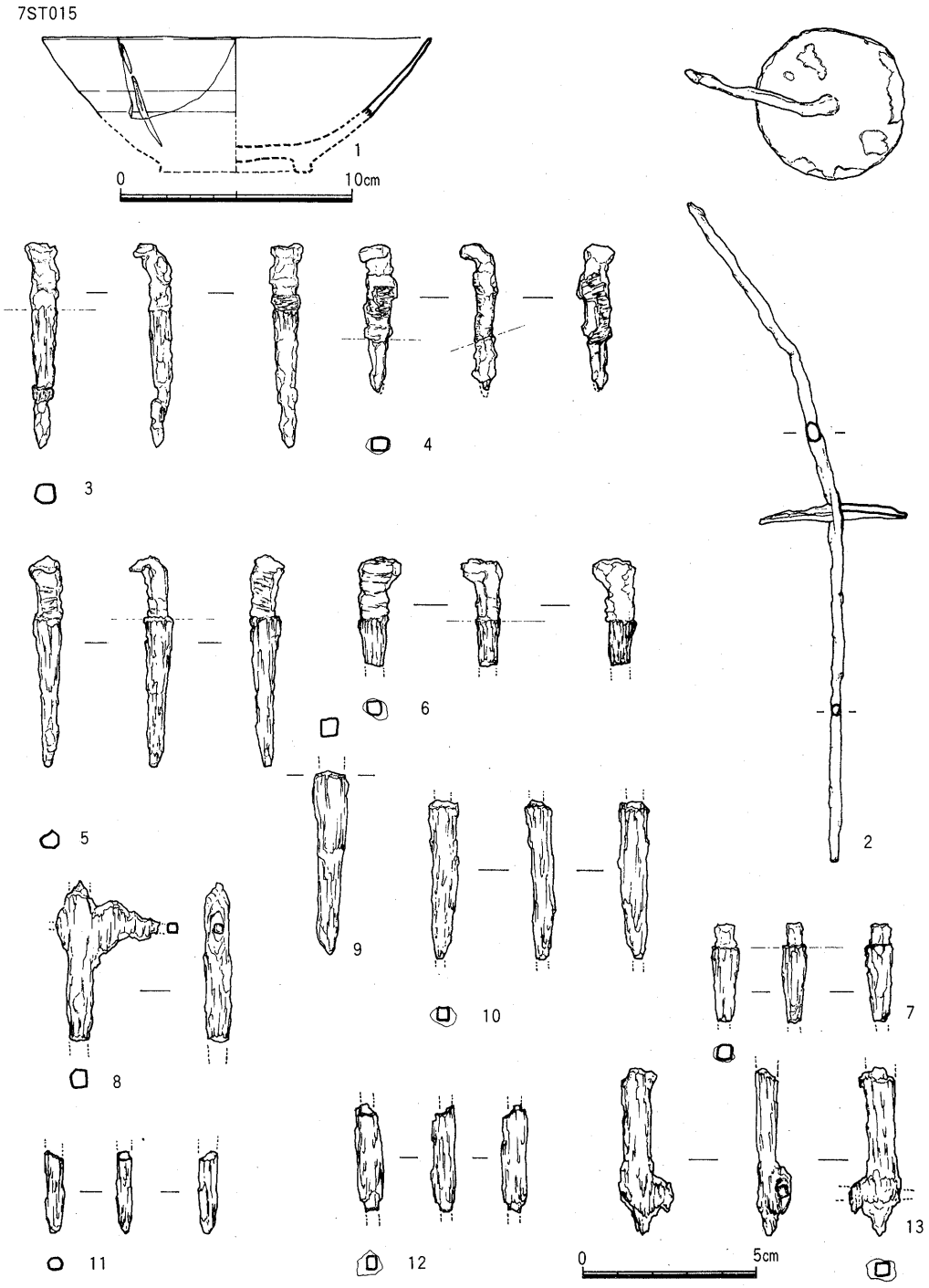




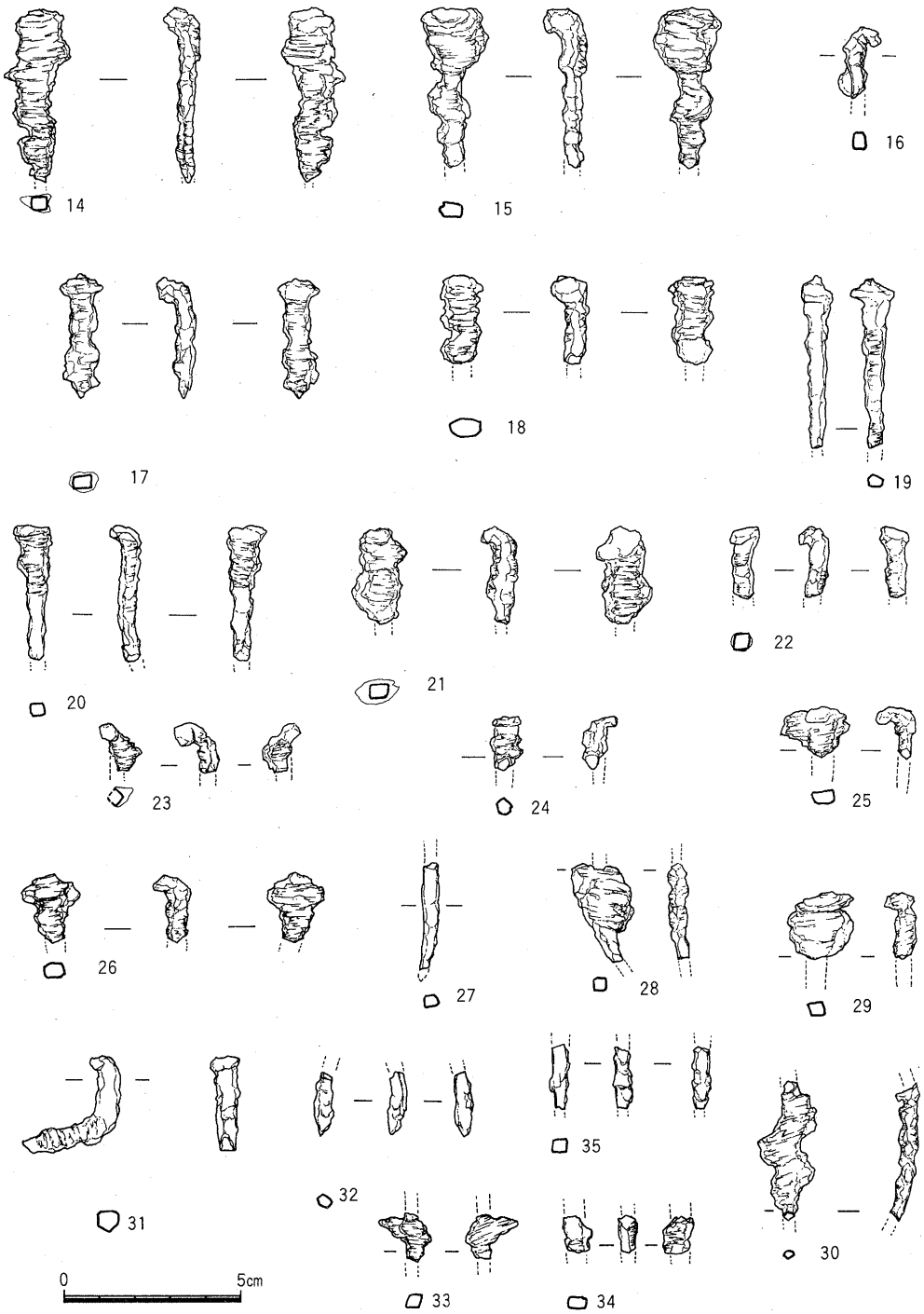
7SK243



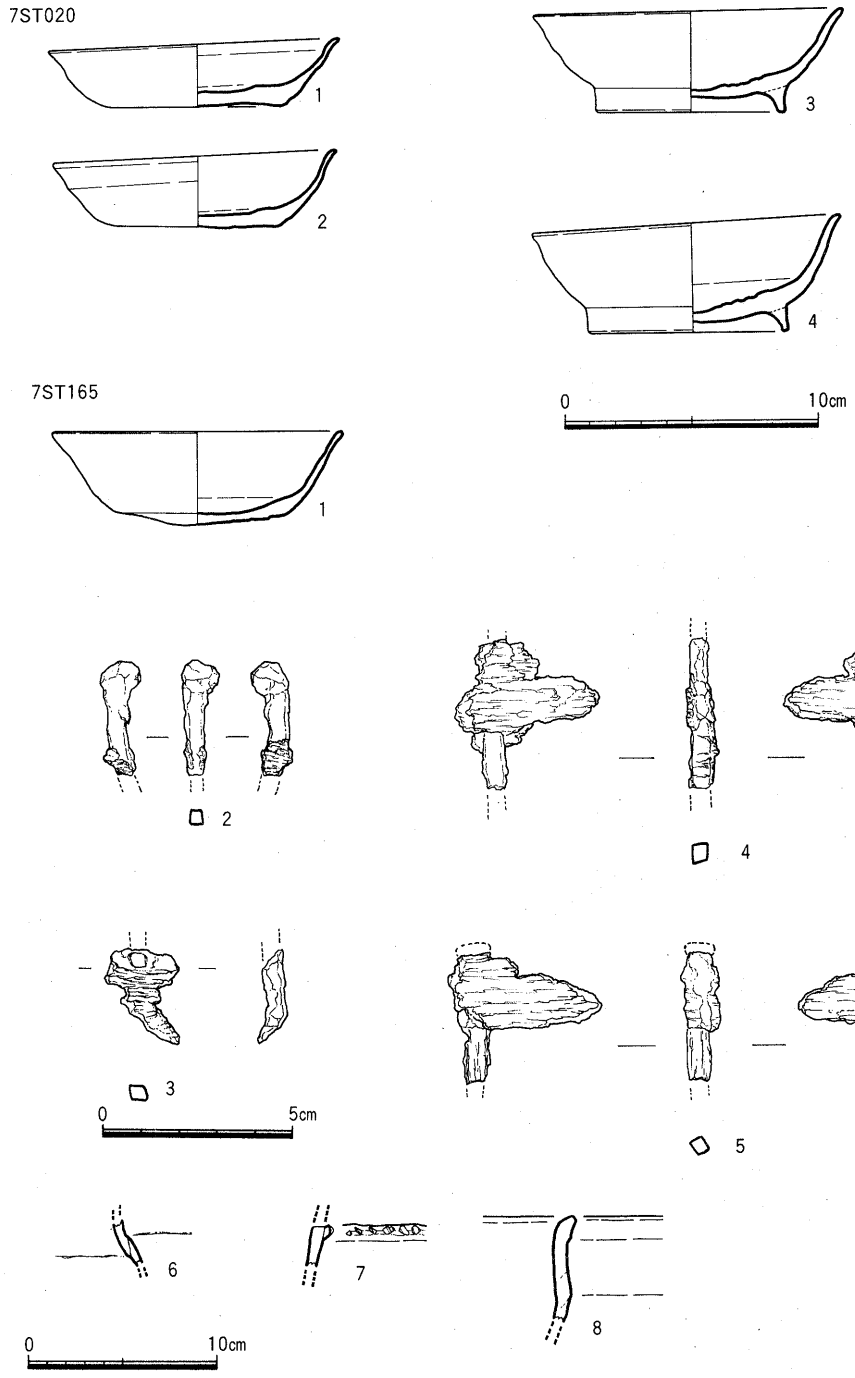
第71図　前田7次SK220暗茶褐土・黄灰土、
225黄色土・淡灰砂、230、243
出土土器実測図（1/4）



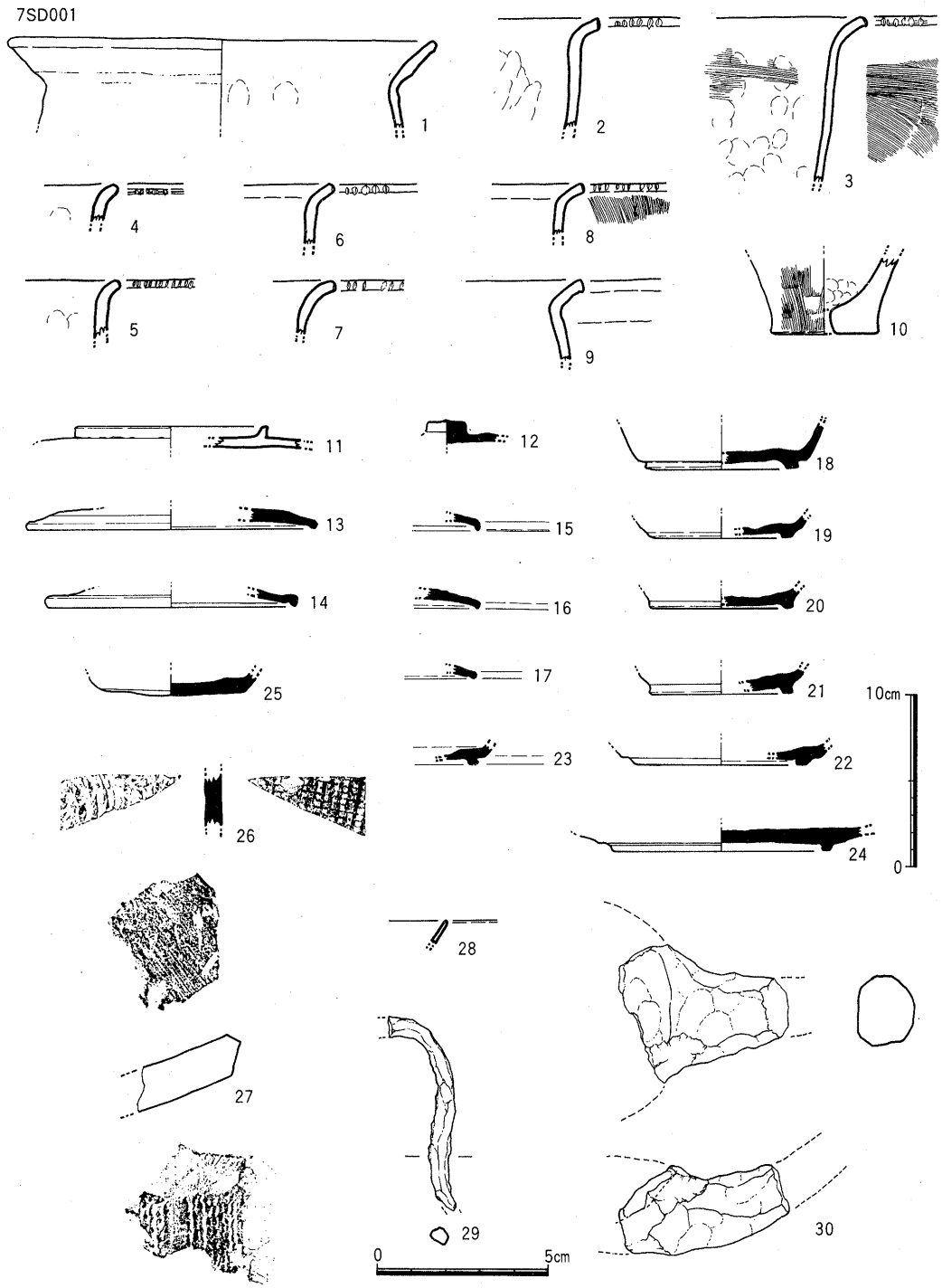
第72図　前田7次ST015(1)出土土器（1/3）、鉄製品実測図（1/2）



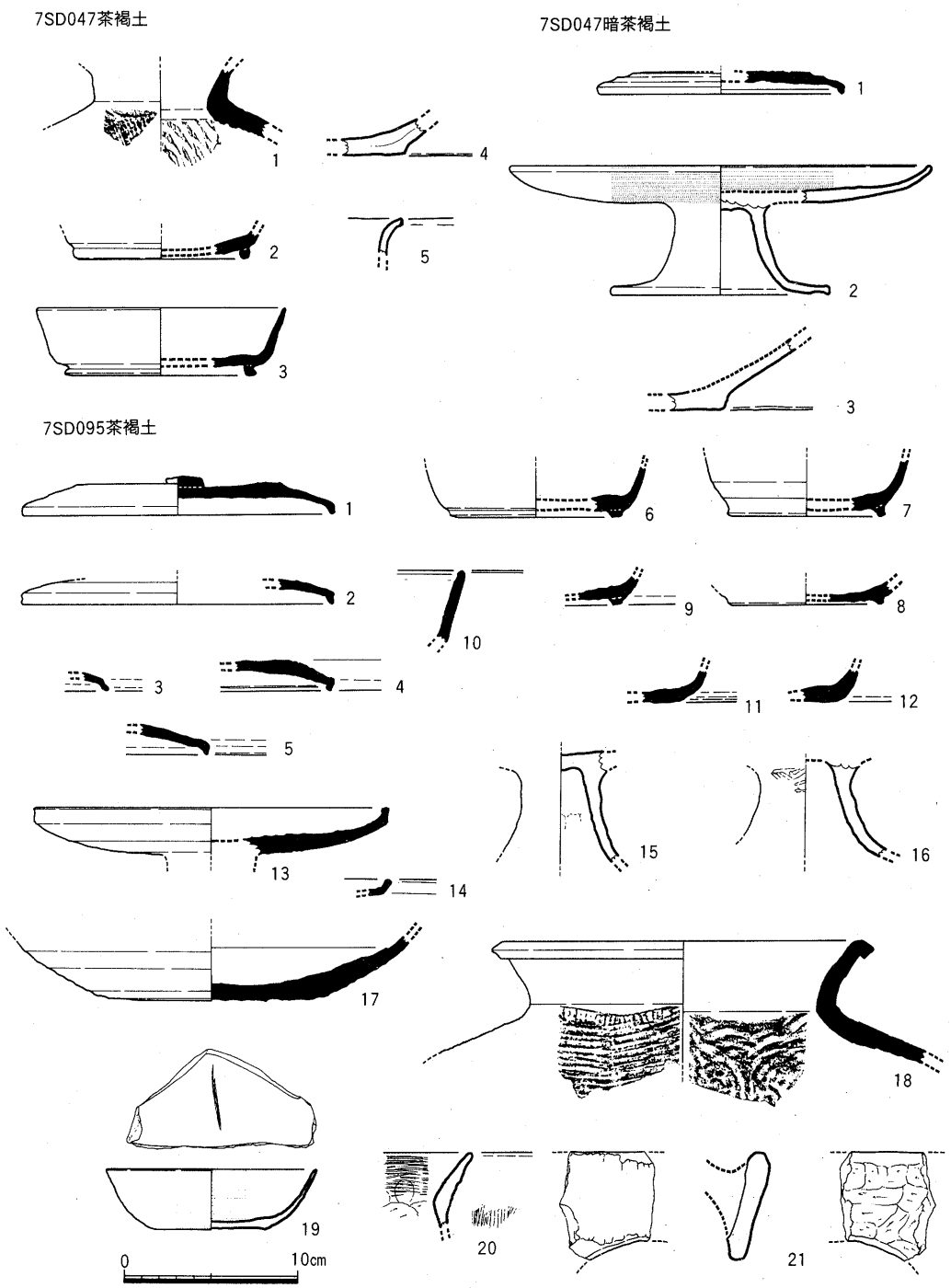
第73図　前田7次ST015(2)出土鉄製品実測図（1/2）



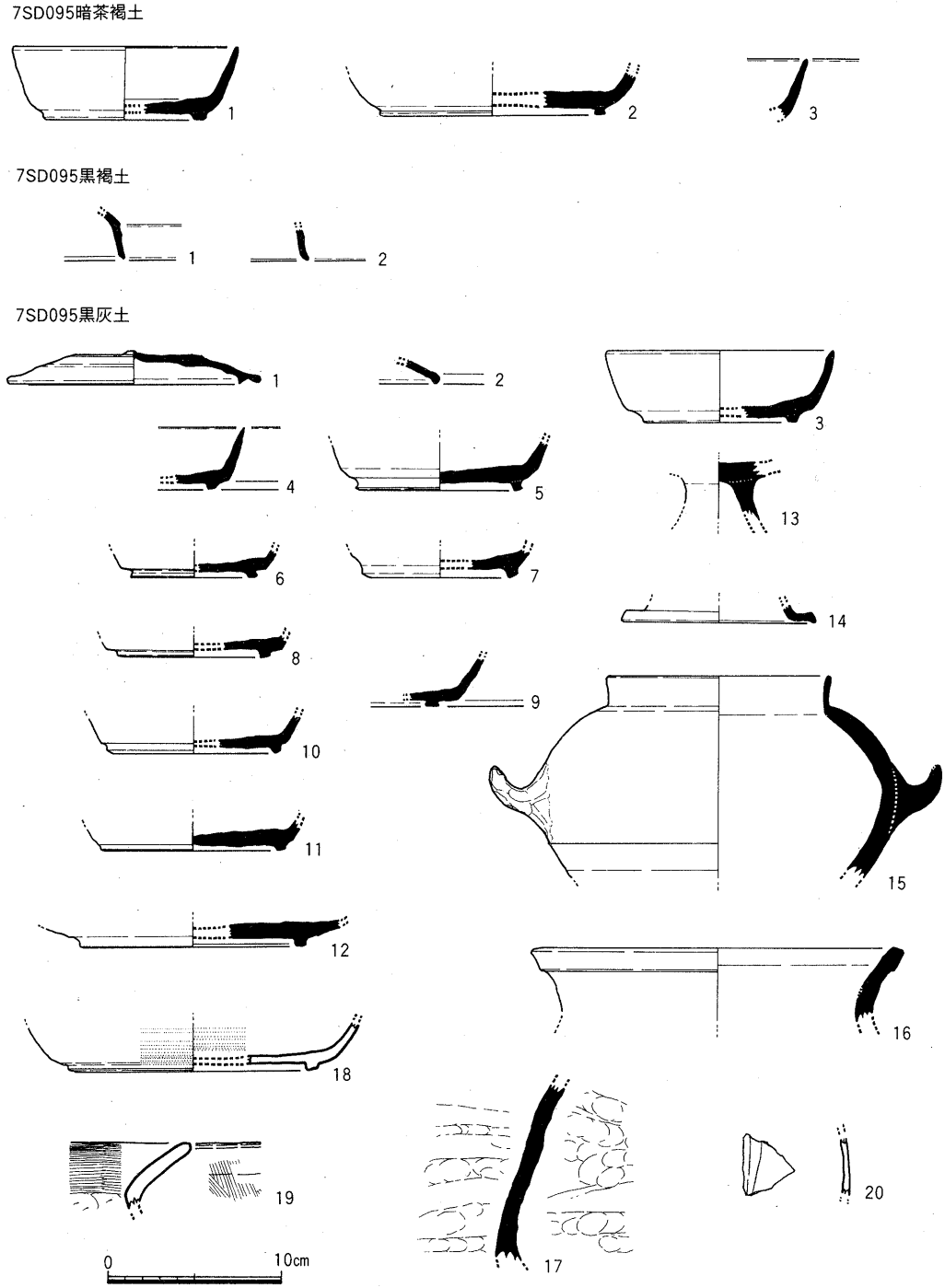
第74図　前田7次ST020、165
出土土器、鉄製品実測図（1/3）（1/2）（1/4）



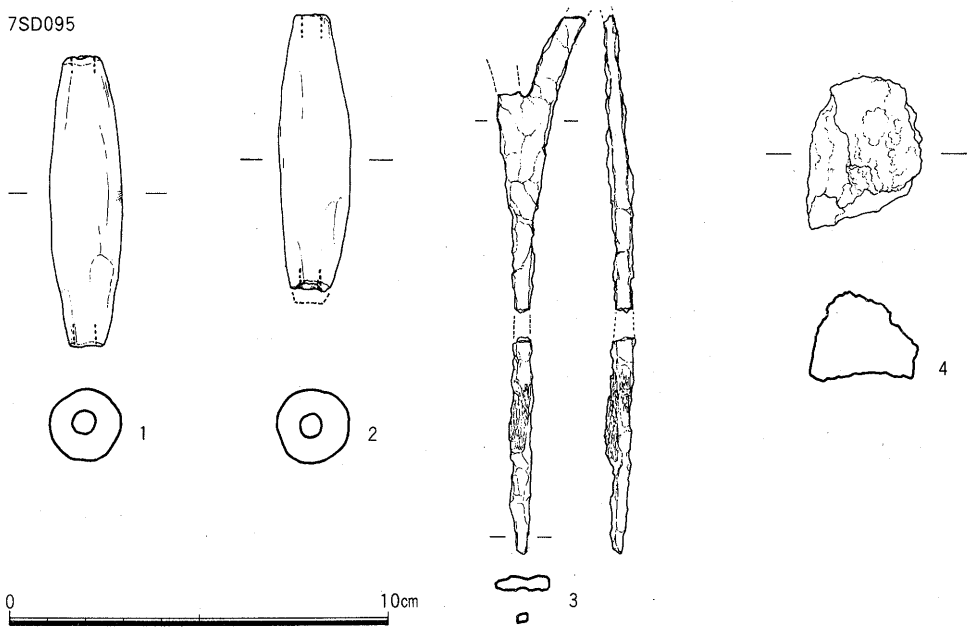
第75図　前田7次SD001出土土器、鉄製品実測図（1/4）



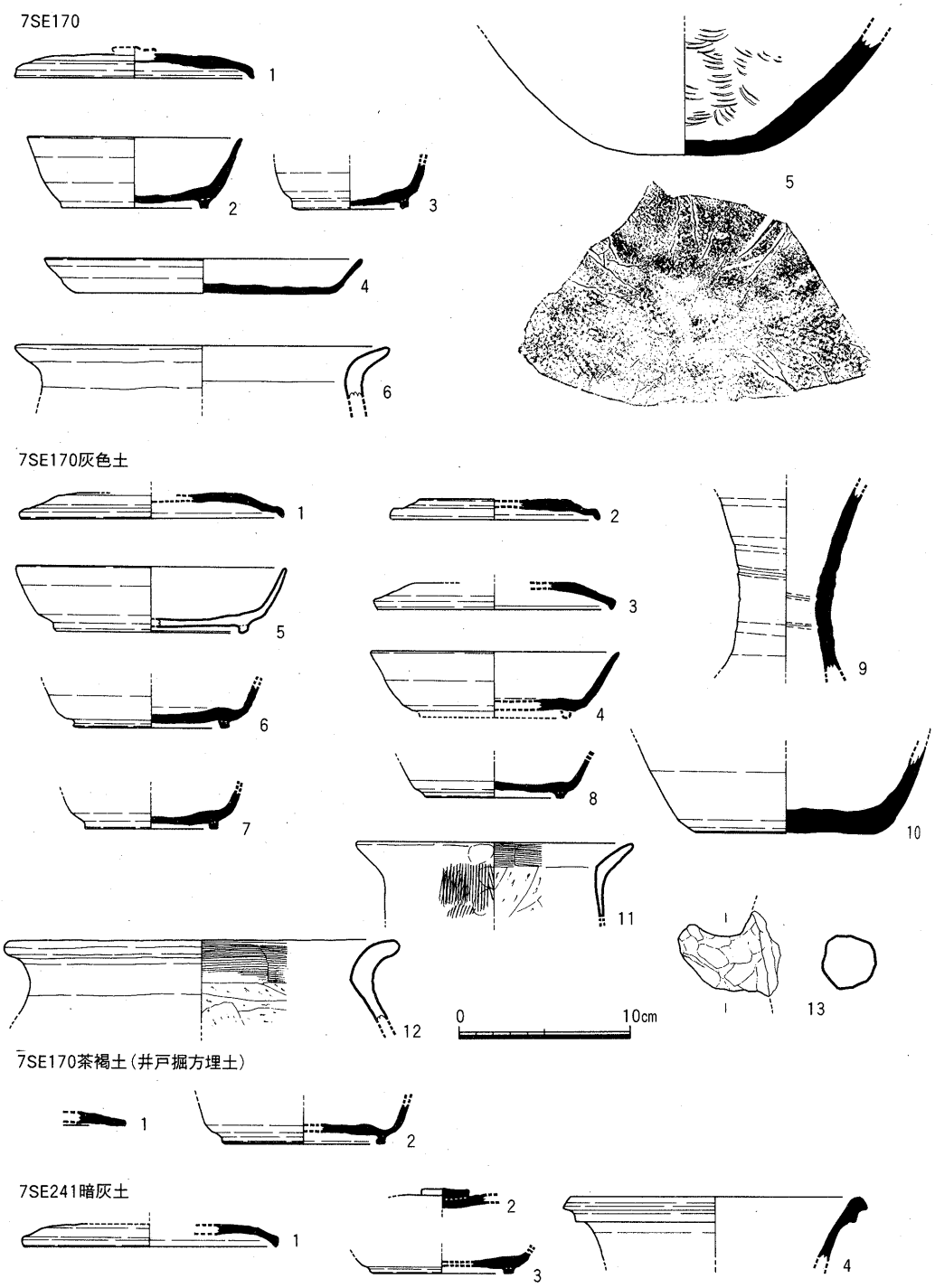
第76図　前田7次SD047茶褐土・暗茶褐土、095茶褐土(1)
出土土器実測図（1/4）



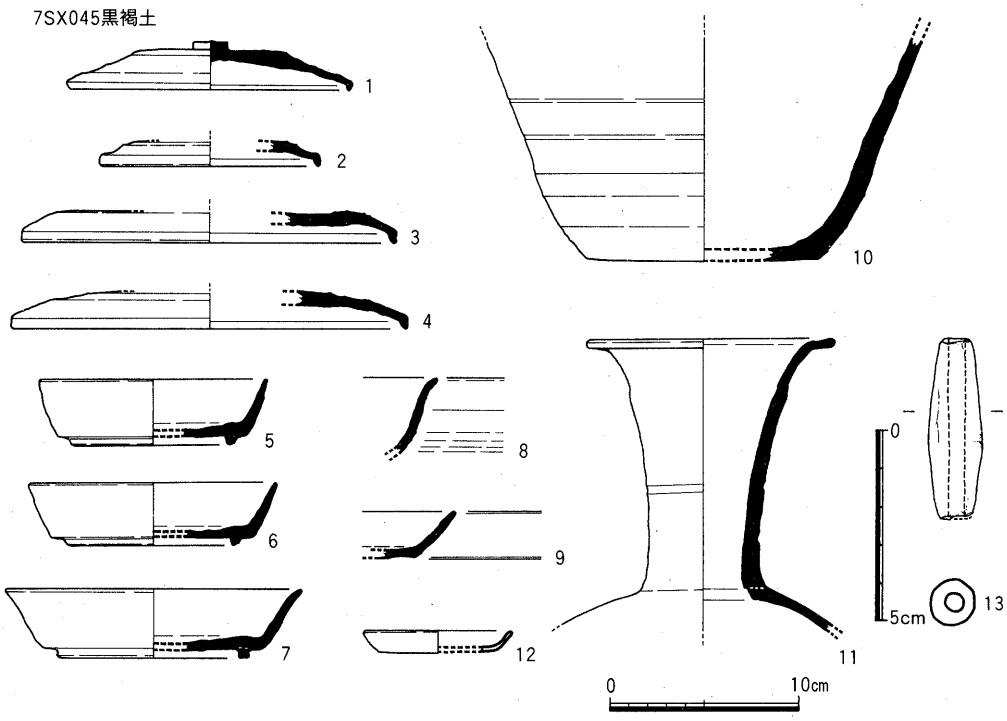
第77図　前田7次SD095暗茶褐土・黒褐土・黒灰土
出土土器実測図（1/4）



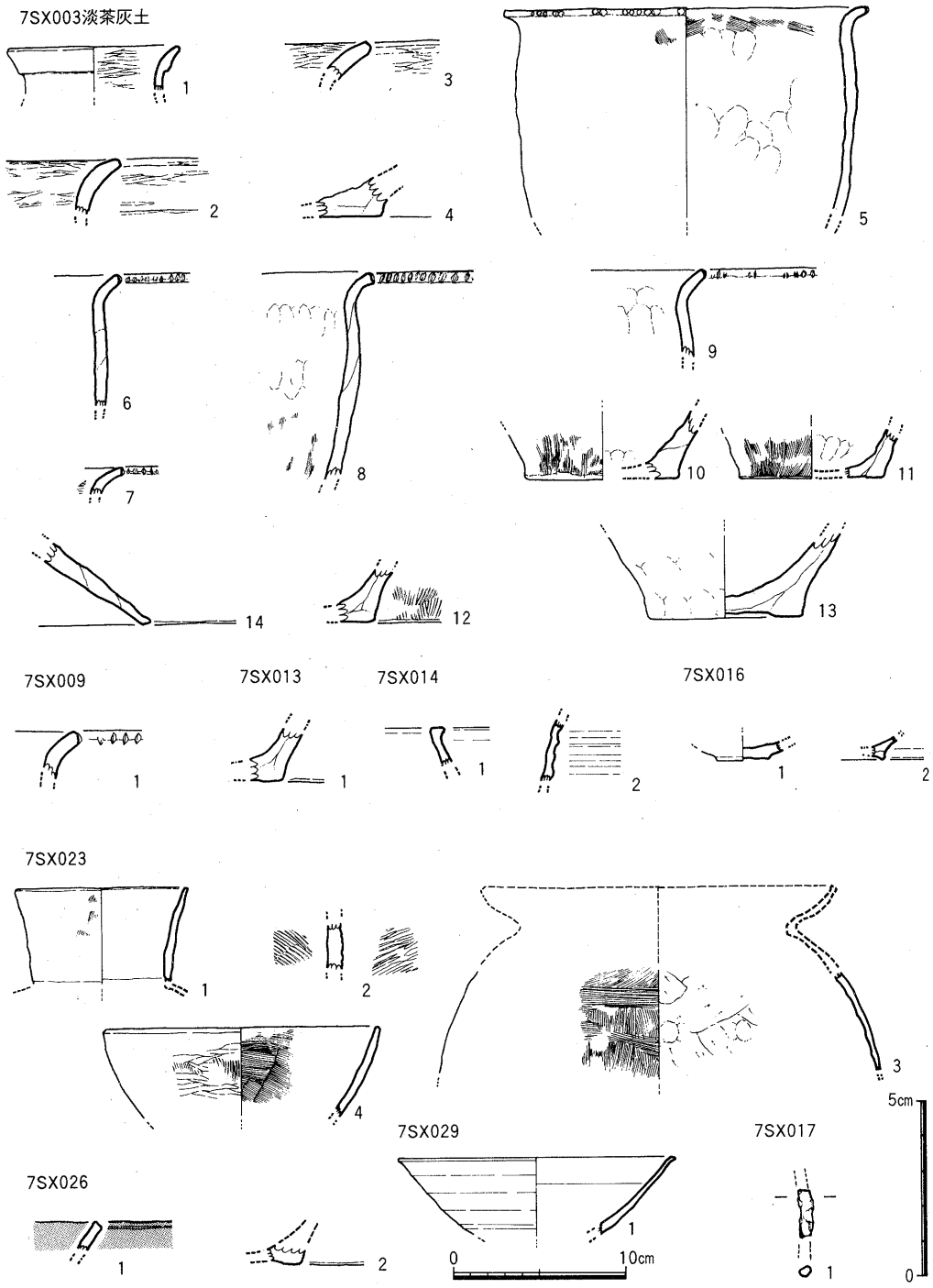
第78図　前田7次SD095出土土製品、金属製品実測図（1/2）



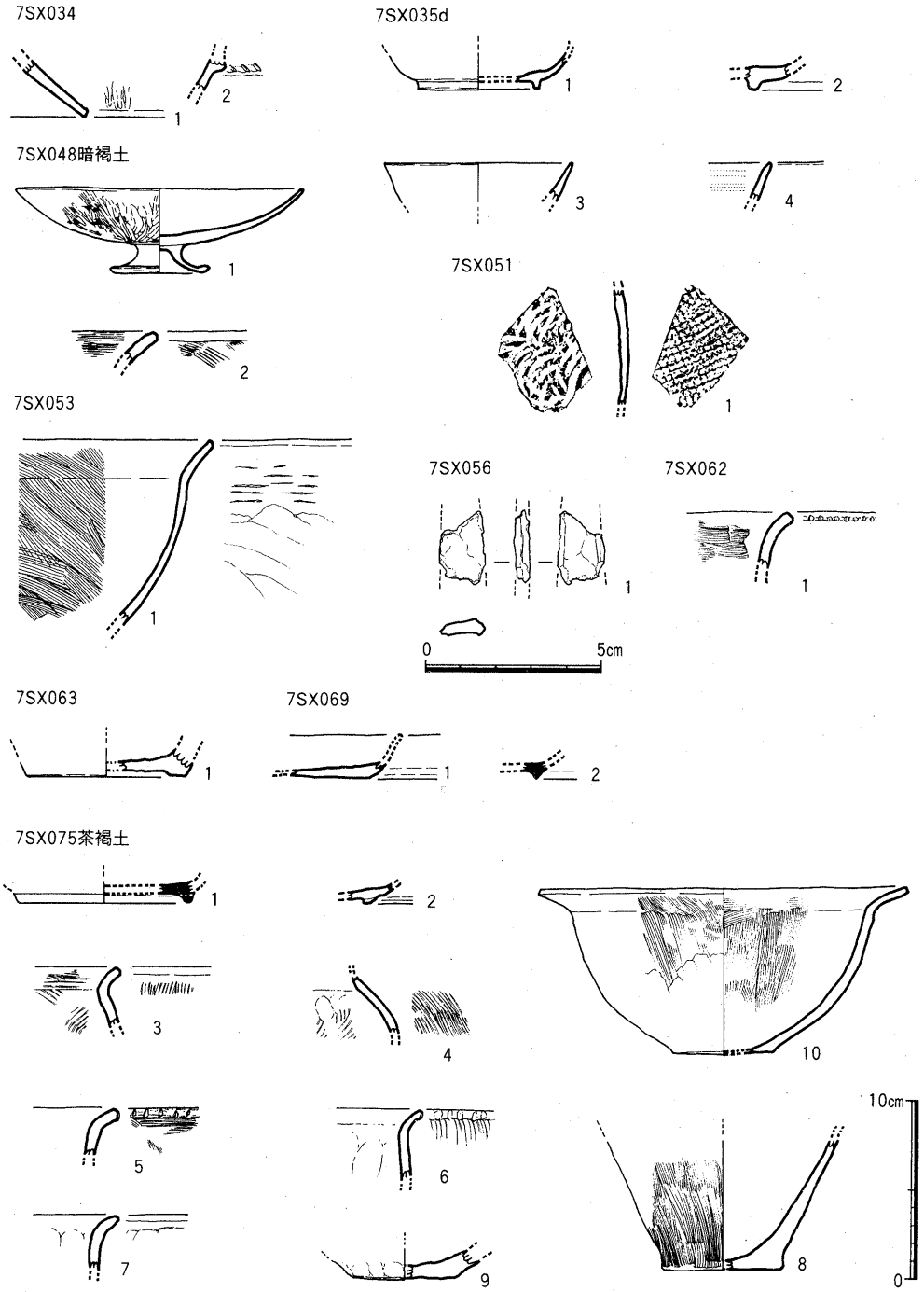
第79図　前田7次SE170・灰色土・茶褐土、241暗灰土
出土土器実測図（1/4）



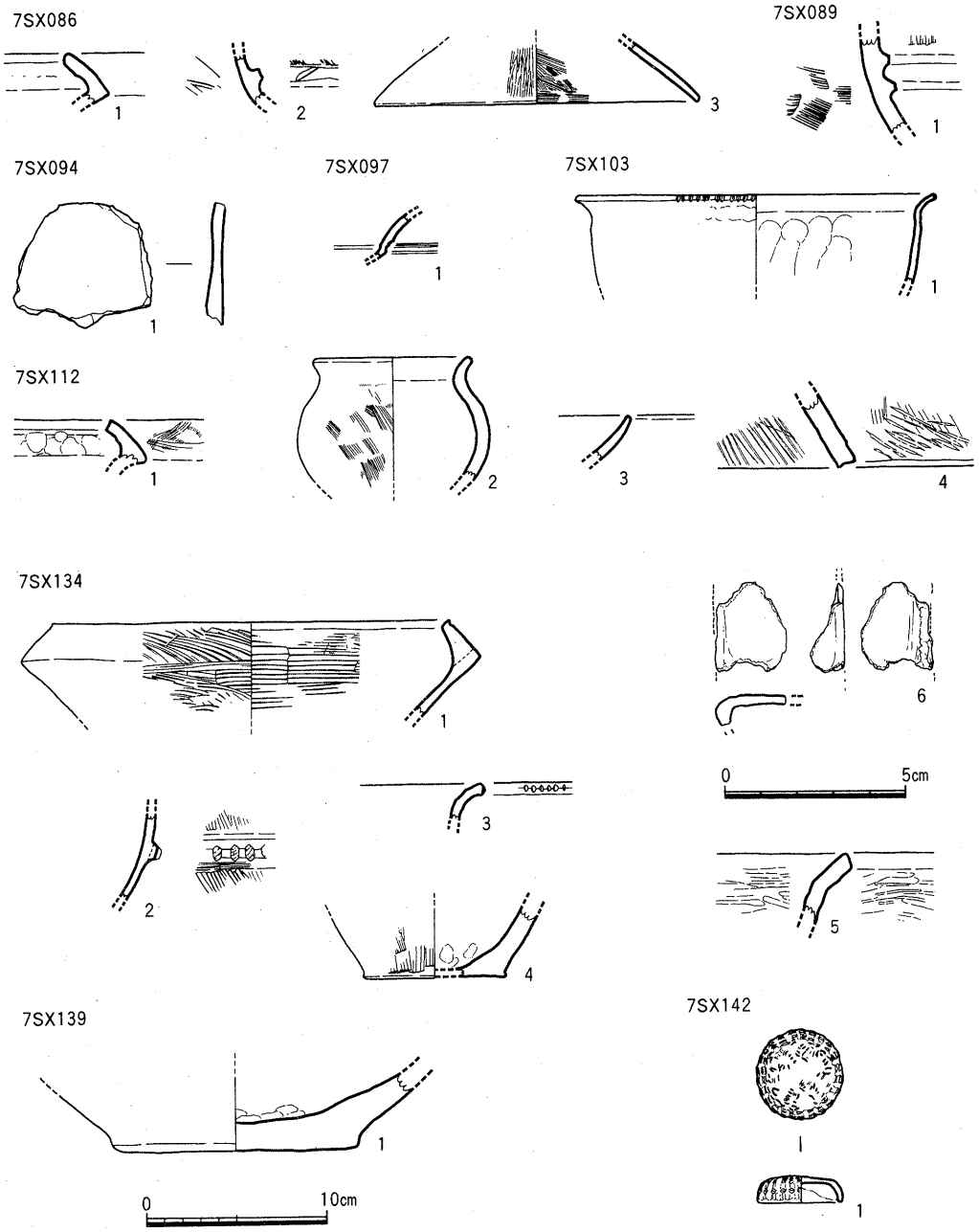
第80図　前田7次SX045黒褐土出土土器実測図（1/4）



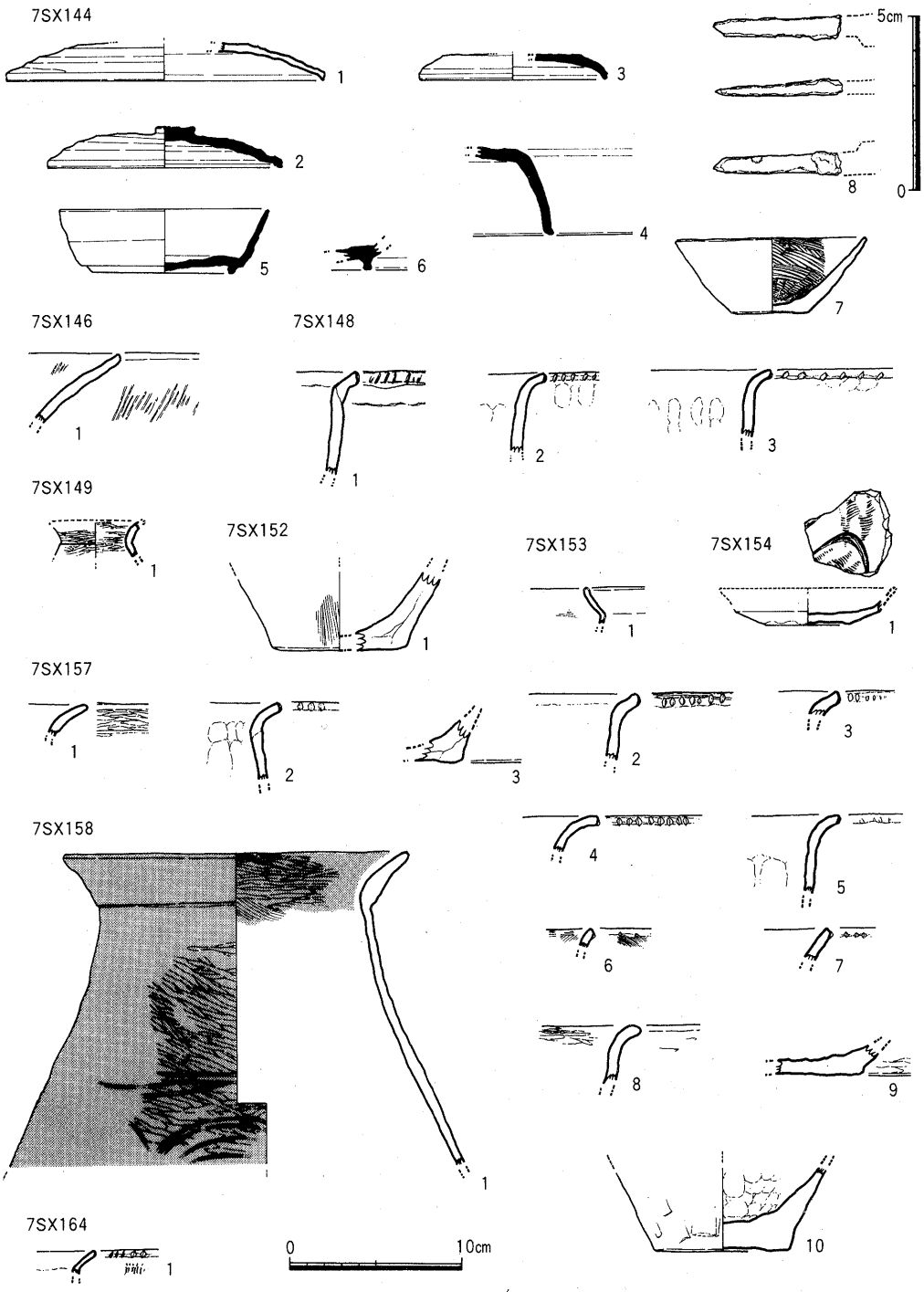
第81図　前田7次SX003～029出土土器実測図（1/4）



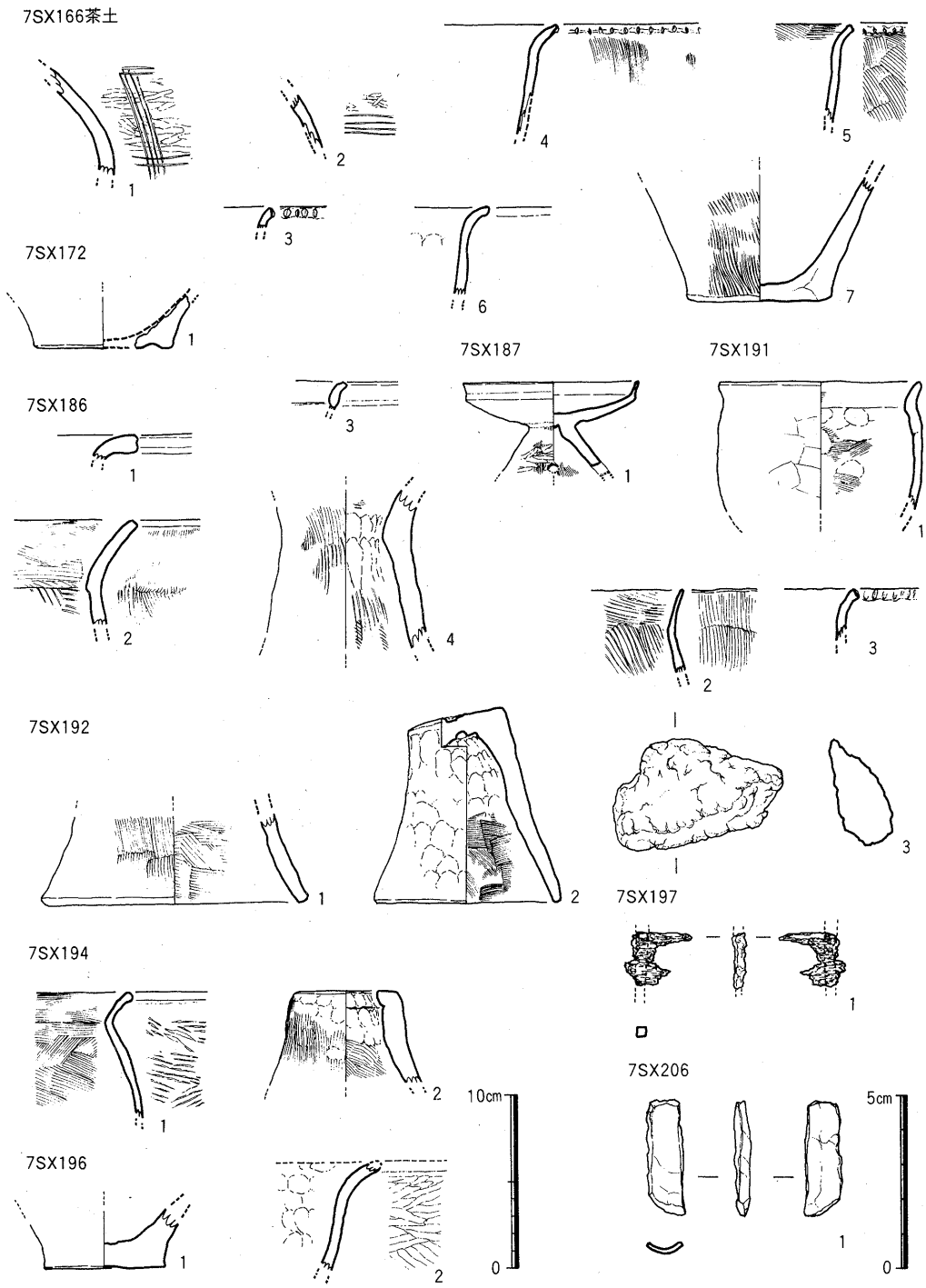
第82図　前田7次SX034～075出土土器実測図（1/4）



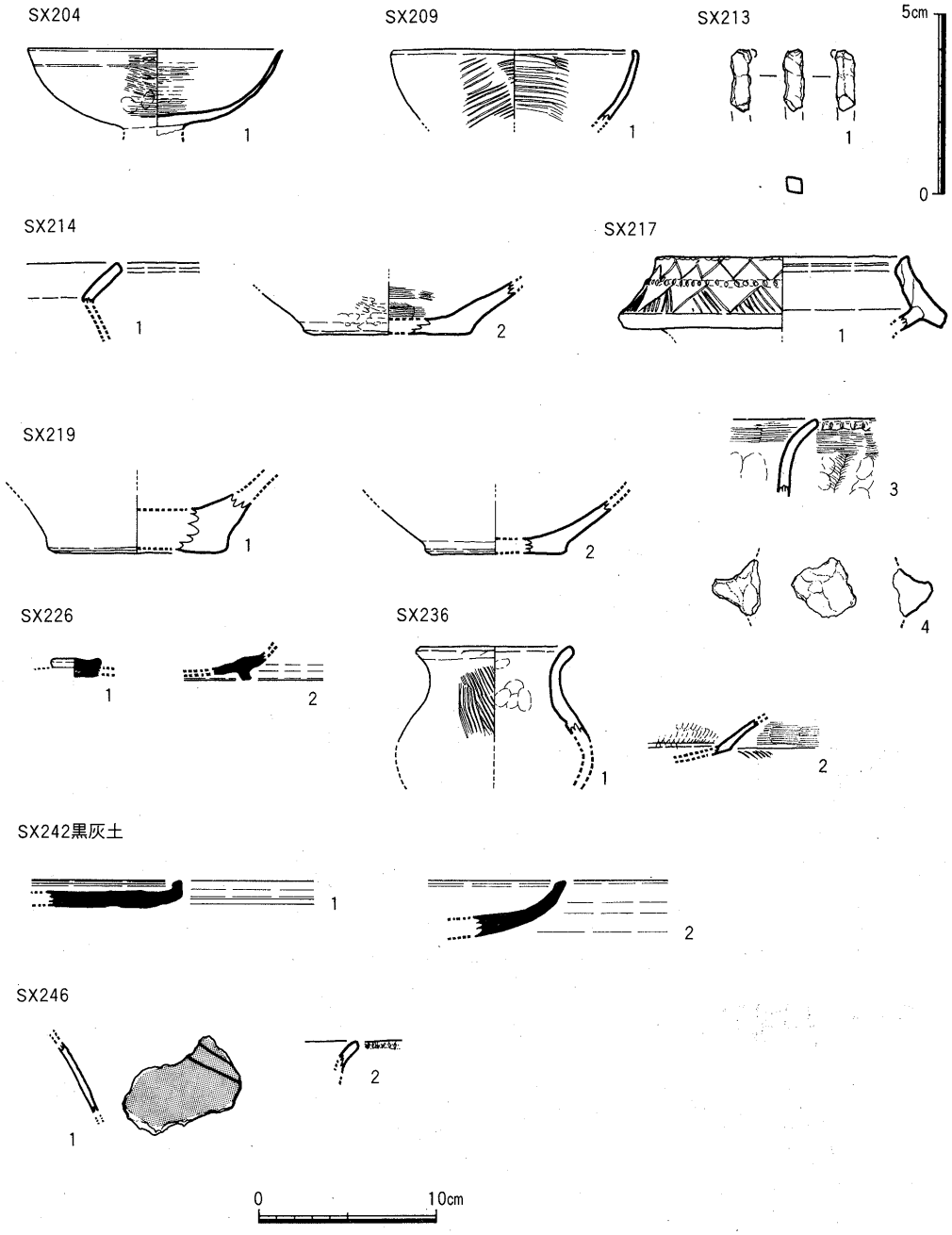
第83図　前田7次SX086～142出土土器実測図（1/4）



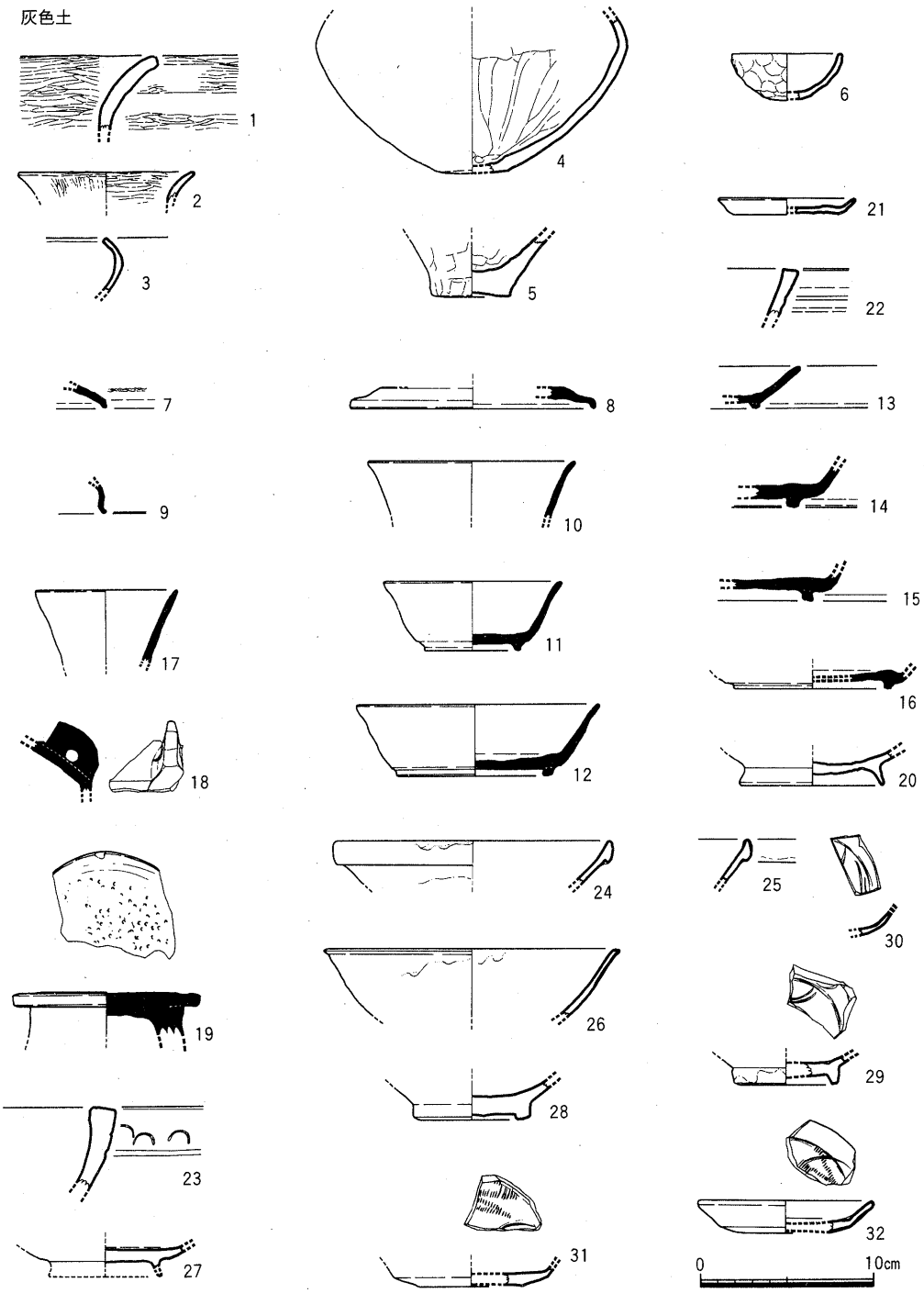
第84図　前田7次SX144～158出土土器金属製品実測図（1/4）（1/2）



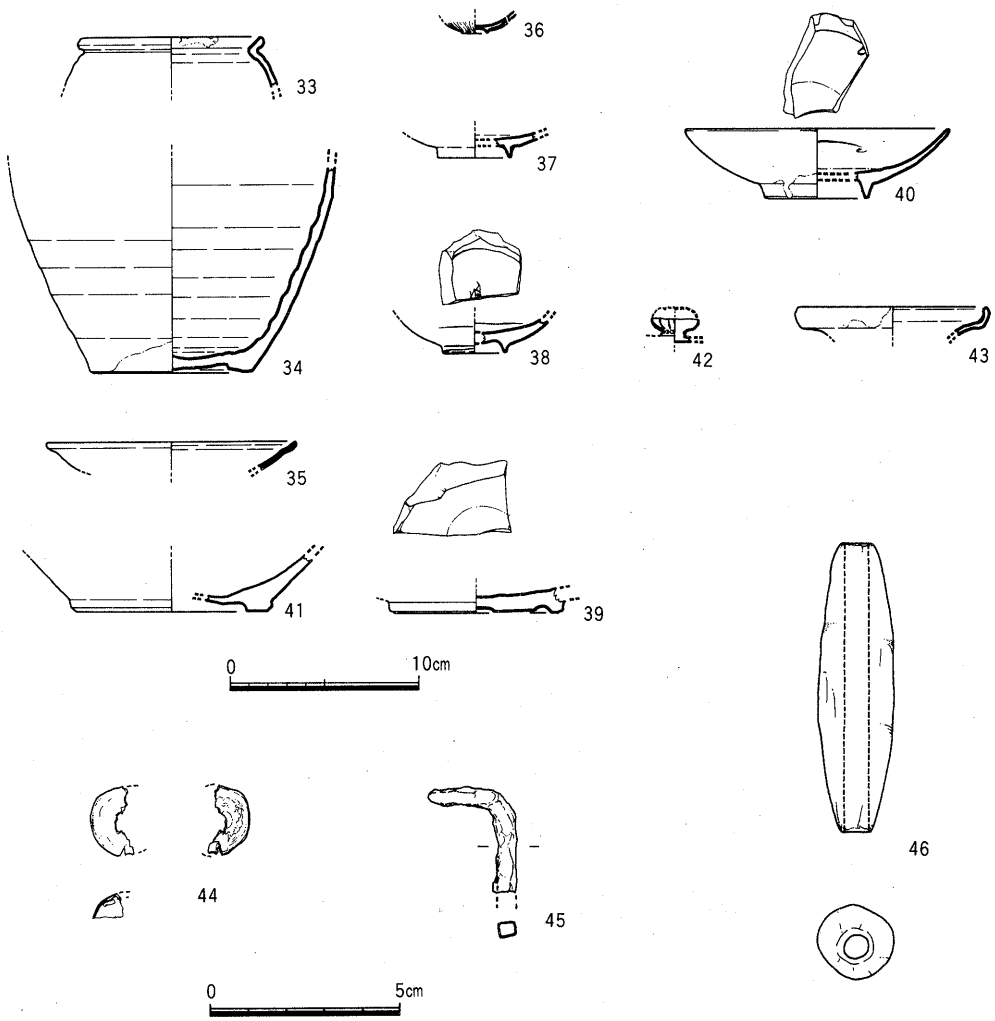
第85図　前田7次SX166～206出土土器金属製品実測図（1/4）（1/2）



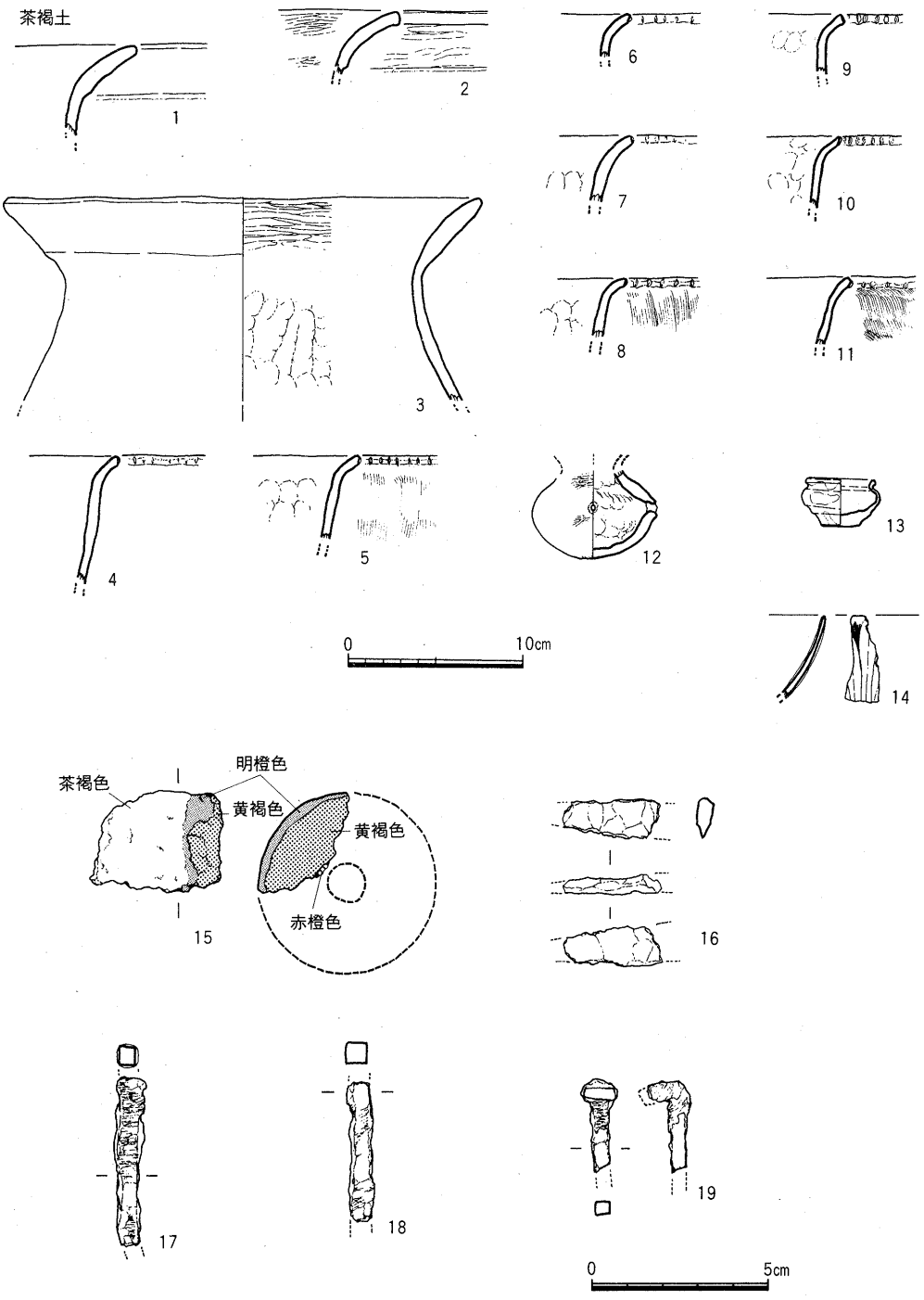
第86図　前田7次SX204～246出土土器金属製品実測図（1/4）（1/2）



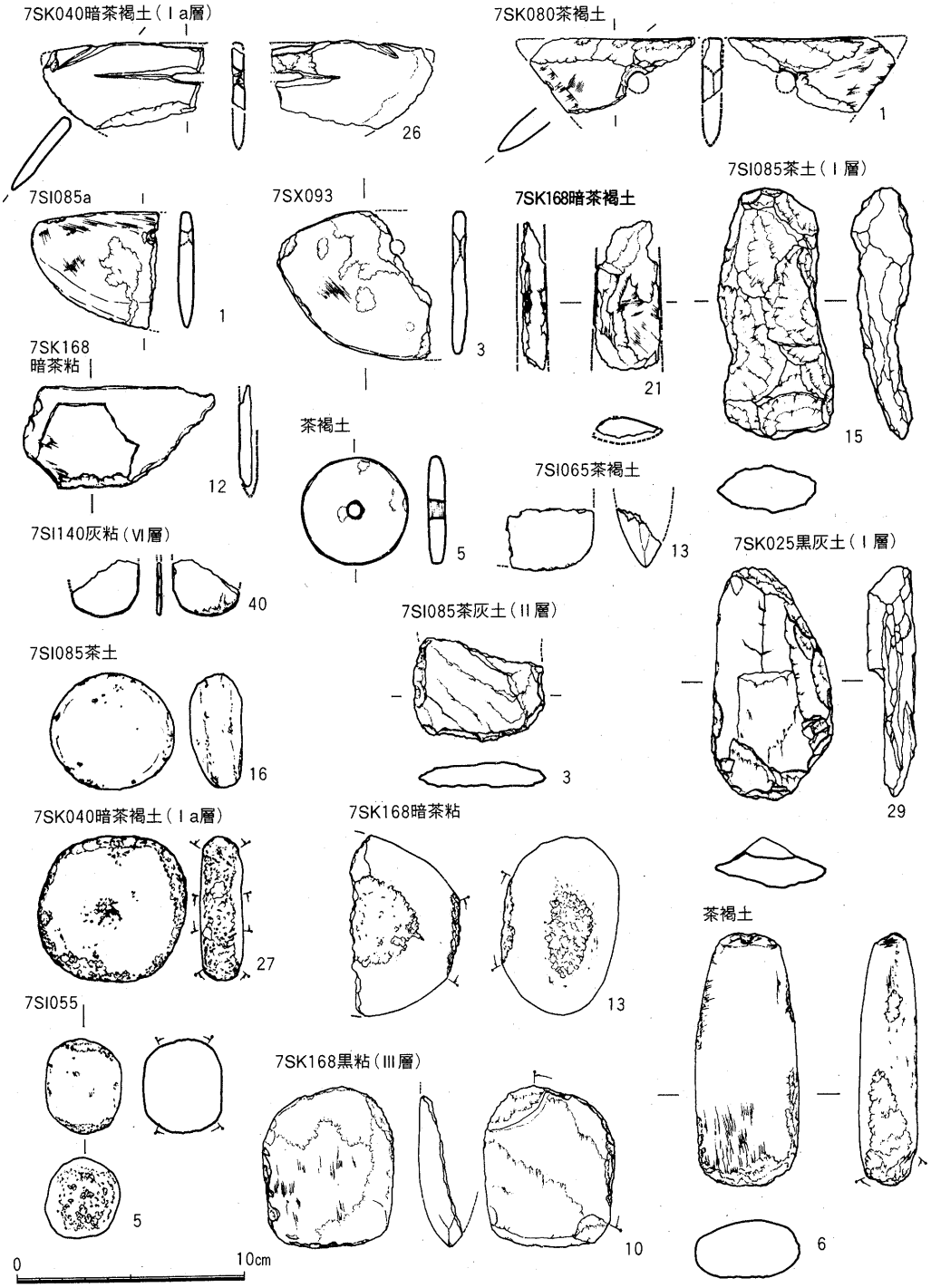
第87図　前田7次灰色土(1)出土土器実測図（1/4）



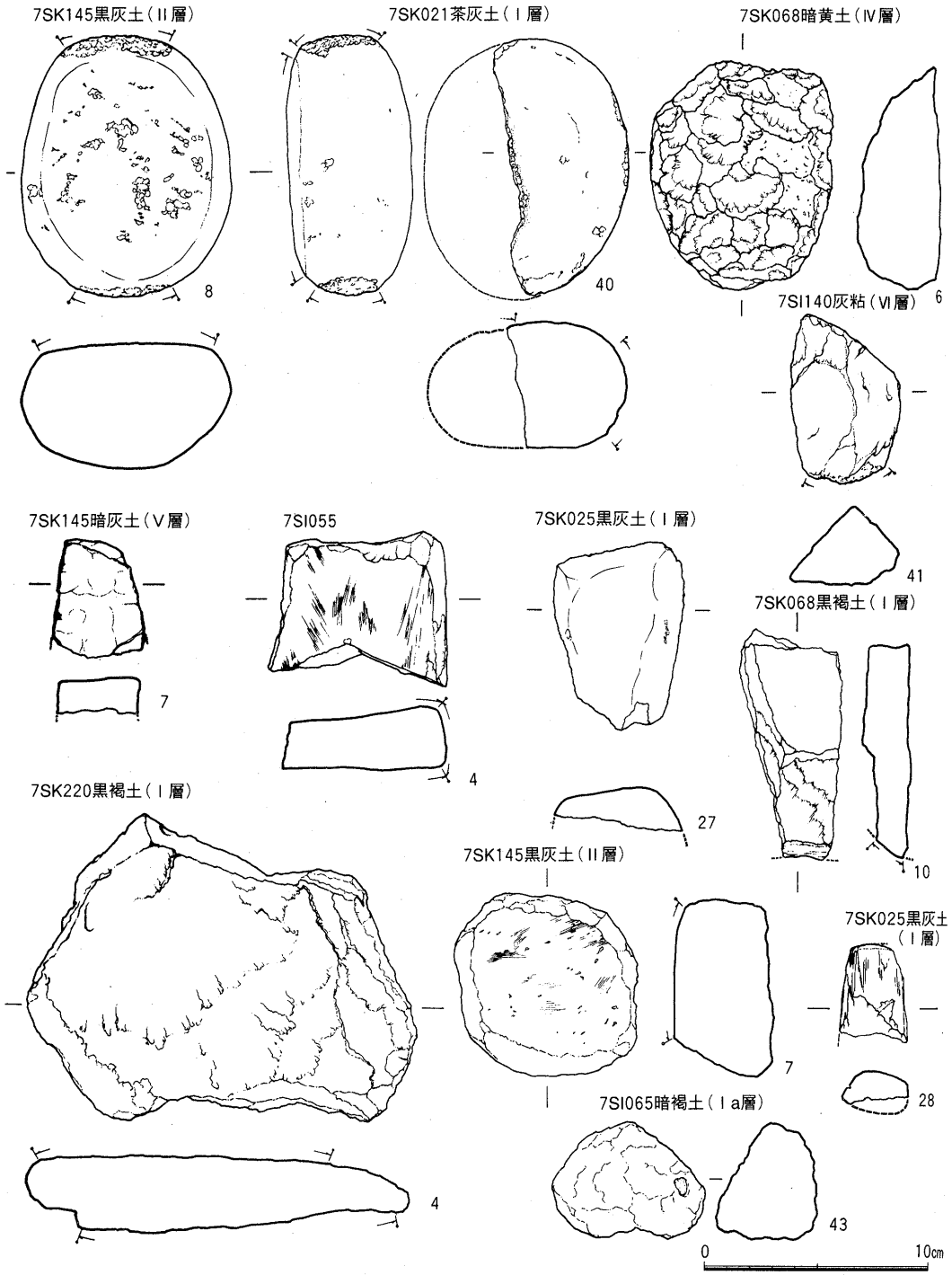
第88図　前田7次灰色土(2)
出土土器、鉄製品、土製品実測図（1/4）（1/2）



第89図　前田7次茶褐土
出土土器、鉄製品、土製品実測図（1/4）（1/2）



第90図　前田7次出土弥生前期の石器実測図（1）（1/3）



第91図　前田7次出土弥生前期の石器実測図（2）（1/3）

4．前田遺跡7次調査の小結

時代別遺構形成の概観

以上、検出した主要な遺構と遺物について述べたが、ここで本調査区における時代別の所見の総括をおこなっておきたい。

弥生時代以前

旧石器時代に関しては第8図でもふれているところであるが、調査区の北寄りの地点で地盤が橙色粘土層から暗茶褐色粘土層に移行する箇所で三稜尖頭器が3点出土している。この旧石器出土の認識が調査後であったため詳細な調査に踏む込むことができておらず、今後に問題を残す結果となってしまった。また、縄文時代についても晩期前半を中心とする時期に考えられる深鉢や浅鉢片が弥生前期の遺物に混じって7SK140,220他で出土しており、少なくとも弥生前期の段階では遺物が流入する状況があったと考えられる。しかし、量的には極わずかといわざるをえない量であり、積極的な人の活動があったとは考えにくい。本調査区から北約800mの原口1次調査でもごく小規模な焚き火痕跡と破砕した一個体分の深鉢が出土しており、前田から宮ノ本丘陵にかけては小規模なキャンプ地があったと考えている

弥生時代前期

出土遺物の時期的位置づけ

各遺構の詳細な時間的な位置づけをおこなうには、既存の土器編年の再検討をおこなう必要があるが、紙数に余裕を持たない。今回出土した弥生時代前期の遺物群は板付I式の新しい段階からIIa式にかかる頃の資料に位置づけられる。しかし、I式とII式の枠組みについては、近年、様々な形で議論されており研究者間でも意見が相違している。編年の問題の所在は板付I式とII式に対する様式と型式の把握に多少の錯綜が見られる点にあると思われるので、土器が持つ各属性の変化の方向についてはおおかた結論が得られているものと考えられる。ここでは各遺構間でも複数の属性を持ち合わせ比較的出土量の多い今回出土した前期の甕形土器を属性レベルで検討し、本調査区での遺構の展開説明につなげたい。

分析に使用する属性は口縁形態、胴部装飾、刻目、外面ナデの4項目で、各属性のバリエーションは表中に記している。積極的にその属性が認められるものには◎で表現している。各属性間には当然中間的な様相もあるが、表ではいずれかに属す形で○で表現している。特に刻目2と3では、刻み自体が小さく、口縁下端部に間隔を開けて施しているものを3、刻みの大きさが1と同等で間隔を詰めて口縁中位から下位にかけて施しているものを2に認定した（第32図参照)。数字で表現した属性は、学史上の所見から数字が大きいものほど新しい要素と考えられるものとなっている。

表からは有効属性として刻目が最も顕著なものと見られ、口縁、ナデ、胴部の属性は残状況

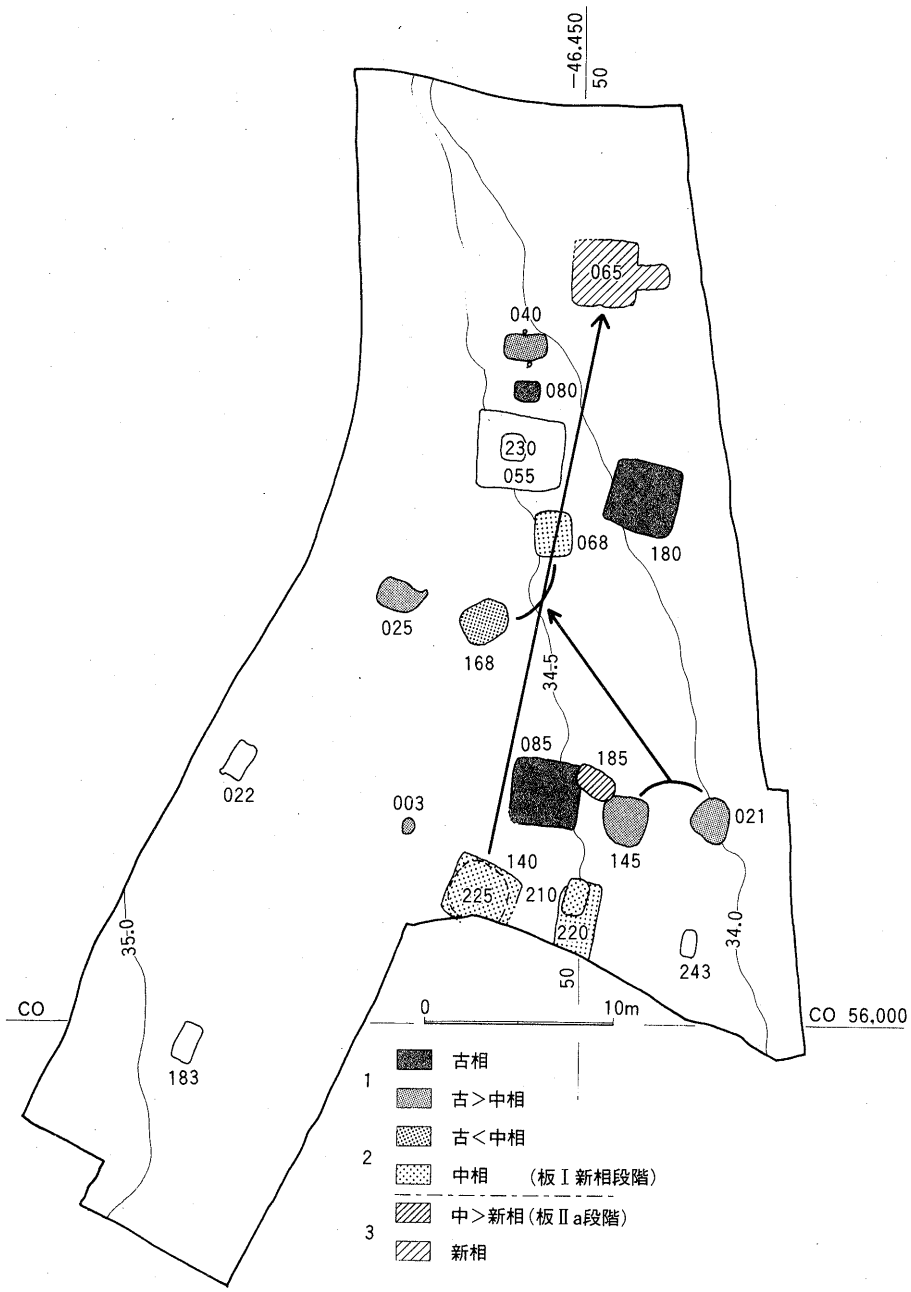
板付式甕属性分析表1

	属性凡例														
		口縁形態	1	口縁端部付近で短く外反する				◎	属性あり						
			2	口縁全体に外に向かって広がる				○	可能性あり						
		胴部装飾	1	ない				<	傾向の強い方向						
			2	段がある				>							
			3	屈曲を持つ											
			4	ヘラ描横沈線をもつ											
		刻目	1	口縁端部全体に施される											
			2	口縁端部中央から下にかけて施される											
			3	口縁端部の下角に小さく施される											
		外面ナデ	a	細かい繊維状の軌跡を残し、工具の当たりや縁がある											
			b	いわゆるハケ目を残す											
			c	全体に平滑。条線は直線的でない。指によるものか											
				※ただし部位は口縁端部ナデは除く胴部											

			口縁1	口縁2	刻目1	刻目2	刻目3	ナデa	ナデb	ナデc	胴部a	胴部b	胴部c	胴部d	備考
7SI065	暗褐土	3	◎		◎										新相
		4		◎			◎								
		5	◎				◎	◎			◎				
	茶褐土	1		○			◎								
7SI085	茶土	7	◎					◎	◎		◎				古相
		8	◎		◎					◎	◎				壺には森の板付I式あり
		9	◎		◎							◎			羽状ヘラ描文あり
		10	◎		◎			○			◎				ナデa：b=5：3
		11	◎		◎					◎	◎				ナデcは11/23にあり
		12	◎		◎			◎			◎				
		13	◎		◎										
		14	◎		◎					◎					
		15	◎		◎										
		16	◎		◎										
		17	◎		◎					○					
		18	◎		◎	○				◎					18の刻目1は2を手直し
		19	◎						◎						
		20	◎												
		21	◎			○									
	茶灰土	2	◎		◎			○		◎	◎				
		3	◎		◎						◎				
		4	◎		◎				◎	◎	◎				
		5	◎		◎					◎					
		6	◎		◎					◎					
		7	◎		◎					◎					
		8	◎		◎					○	◎				
		9	◎		◎			◎			◎				
7SI140	黄灰土	3	◎		◎										古≧中相
		4	◎		◎										刻目1：2=7：2と古手だが
		5	◎		◎										刻目3を一点含み
		6	◎		◎										胴部cがあり次時期の兆し
	暗灰土	7	◎		◎										壺の弧状文は直線的
		8							◎				◎		
	茶褐土	7	◎			○				○	◎				
		8	◎			◎					◎				
		9	◎		◎										
	灰粘	7	◎				○		◎		◎				
		8	◎		◎					○					
7SK021	茶灰土	9	◎			◎							◎		古≧中相
		10	◎		◎				○	○					刻目1：2=6：4と若干古手
		14	◎			◎									刻目2は上層に多い
	灰色細砂	1	◎		◎					◎					ナデaは横方向（古様相）あり
		2	○			◎									鉢は腰折れ型
	黒褐色土	1	◎			○		○							
	黒色粘土	2	◎		◎			◎よこ							
	橙茶土	4	◎		◎										
		5	◎		◎										
		6	◎		◎										
7SK025	暗茶土	1	◎		◎										
		2	◎		◎										
		3	◎							○					
	黒灰土	2	◎			◎			◎						中相
		3	◎			◎			◎						刻目2は下層のみ
		4	◎		◎					◎					ナデbと供伴
7SK040	暗茶褐土	7	◎		○				◎						古≧中相
		8	◎		◎						◎				刻目1：2=4：2と古手だが
		9	◎		◎						◎				刻目2は下層でも出土
		10	◎		◎										
	黒灰茶褐土	1	◎			○									
	明茶褐土	3	◎			○			○						
7SK068	黒褐土	3	◎		◎			○							中相
		4	◎			◎			◎						刻目1：2=1：6で
	暗茶褐土	4	◎			○				◎					ナデbと供伴

板付式甕属性分析表2

			口縁1	口縁2	刻目1	刻目2	刻目3	ナデa	ナデb	ナデc	胴部a	胴部b	胴部c	胴部d	備考
7SK068	暗黄土	1	◎			◎			◎						壷口縁は無段沈線化
	暗黄褐土	4	◎			◎				◎					小壷には球胴あり
		5	◎			◎			◎よこ						
		6	◎			◎				◎					
7SK080	茶褐土	1	◎		◎				◎	◎					
7SK145	茶灰土	3	◎		○				◎		◎				古≧中相
		4	◎		◎				◎	◎	◎				刻目1：2=4：1と古手だが
		5	◎		◎						◎				ナデbは3/5と高率
	黒灰土	1	◎			◎		◎よこ							壷には球胴に丸弧状文あり
	暗灰土	2	◎		◎				◎		◎				
7SK168	茶粘	2	◎			○									古＜中相
		3	◎							○					刻目1：2：3=9：8：4
		4	◎		○			○			◎				と2と3が優勢（下層でも）
	暗茶土	4	◎			◎					◎				ナデは残り悪し
		5	◎		○				◎						高坏口縁は鋤先型
		6	◎			◎									
		7	◎		◎										
		8	◎				◎			○	◎				
		9	◎				○	○			◎				
	茶褐土	9	◎			◎		○		◎					
		12	◎			◎		○							
		13	◎		○			○							
	暗茶粘	2	◎		◎										
		3	◎			○		◎		◎	◎				
	暗茶褐土	4	◎		○				○						
		5	◎		○										
		6	◎				◎			○					
		7	◎		◎					○	○				
		8	◎			◎			○						
		9		○			◎						◎		9は最も新しい要素のセット
		10	◎			◎				○					
		11	◎		◎										
7SK185		5	◎			◎		○			◎				中＜新相
		6	◎			◎		○			◎				刻目1：2：3=0：3：7
		7	◎			◎			○		◎				本報告中最も新しい傾向
		8	◎												完全な板付IIa段階
		9	◎				◎								鉢は有段S字胴
		10		◎			◎			○	◎				
		11		◎			◎								
		12		◎			◎								
		13	◎				◎			○	○				
		14	◎				◎								
		15	◎				◎				○				
7SK210	茶灰土	4	◎												古相
		5	◎		◎										刻目1：2=4：1
		6	◎		◎										
		7	◎		◎				○						
		8	◎			○			◎		◎				
7SK220	暗茶褐土	1	◎			◎		○	○						中相
		2	◎			◎									刻目2のみ
		3	◎			○									鉢は有段とS字あり
7SK225	黄色土	3		◎			◎	○				◎			3は新しい属性の組み合わせ
		4	◎		○										
7SX003	淡灰土	5	◎		◎				○	○	◎				古≧中相
		6	◎			◎				○	○				刻目1：2：3=3：1：1
		7	◎		○										壷には森の板付I式Aあり
		8	◎		○					○	◎				
		9	◎				○								
7SX158		2	◎			◎									中≧新相
		3	◎				○								刻目1：2：3=0：3：3
		4	◎			◎									壷に丸弧状文あり
		5	◎			○									
		6		○			◎	◎							
		7		○			◎								
7SX166	茶土	3	○			○									
		4	◎			◎		○							
		5	◎				○		○						
		6	◎					○		○	○				
剣塚遺跡	（6号袋状竪穴以外の土器セットには胴上位に刻目突帯を持つ甕が供伴し、完全に次時期のセットである。）														
6号竪穴		1		◎			◎			◎				◎	
		2		◎			◎			◎			◎		
		3	◎		◎					◎					



第92図　前田7次弥生前期遺構変遷図（1/400）

が全般的に良くなく、補助的な検討素材と認識される。刻目は1を主体とし2を若干伴う7SI085,145,7SK210,7SX003などが、刻目2が主体の7SK068,220と刻目2に3が共伴する7SK168,7SX158、刻目3が主体の7SK185の大きく3者が認められる。刻目1から3を古、中、新相に充てた場合、出土頻度から表中備考欄の「古＞中相」ような表現ができる。刻目3は従来から板付IIa式に充てられた属性であり、1は板付I式に相当する。刻目2は1と3との中間的様相を持ち、出土頻度からも1と3との中間的位置づけが可能であるが、様式のレベルに於いて板付I式の新段階に置くか、II式に包括するかは共伴する他の形式の土器の様相も含めて検討する必要があろう。本遺跡古層段階の様相も刻目突帯文系の土器を同時には消費しておらず、板付I式の中でさらに周辺遺跡の土器相との比較検討をおこなう必要がある。土器表面の最終調整としてのナデは古相段階から僅かながらナデb（いわゆるハケ調整）が見られる。ナデaとの違いは工具原体の板目の磨耗度合いである可能性も考えられるが、基本的には縄文系譜の粗い条痕を残したり、後代の板付II式以降の縦方向のハケ目を強調する最終調整方法とは異なり、調整痕跡が目立たないナデaなりcが主体を成す点が古相から中相段階の特徴の一つとして挙げられる。ナデa,bともに胴部外面中位で横方向に施されるものがあり、これも突帯文深鉢と縦ハケを用いる板付II式甕との中間的手法と位置づけられる。

遺構の展開

遺物の編年的位置づけから遺構の展開を見た場合、遺構の切り合い関係と土器相の先後関係に矛盾がある点に気づく。CQ51区の土坑7SK225→住居7SI140のケースとCQ50区の土坑7SK220→7SK210の順と土器相の新古では反対の結果となっている。これは土器相比較での資料母数の不足と、遺物の出土状況が遺構埋没過程での流れ込みによるものが大半を占めているという出土状況に原因があると考えられるので、切り合い上矛盾を持ち古い時期を示す資料は下限を下げて考える必要があろう。よって現状では埋没の順を考察する程度が限界である。

まず、古相段階では住居は085が主となり、壁溝等諸施設が多少貧弱な180は副次的な家屋と考えられる。貯蔵施設としての土坑は次時期の中相段階が主で、主体住居は140が充てられる。そして完全に板付II式期に属す新相段階の住居に設備が整った065が充てられ、土坑は185がこの時期に置かれよう。流れとしては中相段階に土坑をはじめとした全体の遺構が多くなり、新相段階の住居065を最後に新たな施設の展開は見られなくなる。全体的な集落相の分析は隣接する調査区1,4,11次の所見が出された時点で改めておこなってみたい。

弥生時代後期

後期の住居の展開も付図を参照いただければおわかりのとおり、北西部の端に位置する調査であり、多くを語り得ないが、時期的には後期の中頃以降の住居に070,115,135,160などがあり、後半に位置づけられる120,130,150,175,205,215などが挙げられる。125は古墳時代初頭の土器を

包含しており最も新しい。調査区南東隅の住居の切り合いは著しく、時期を違えず建て替えられたものもあったと考えられるが、方向性には規則性が感じられない。120は他のものに比べ大型で柱穴もしっかりしており、優位性がうかがえる。他の調査区でも複数この手の大型のものが検出されており、小型のものとの組み合わせによる展開があるのかも知れない。

奈良時代

区画溝、小規模な掘立柱建物、土坑、井戸があり、条坊外での小集落の様相を呈する。時期的には7SK141出土遺物などから8世紀第三四半期頃の所産と推定している。土坑105には小規模な鋳造関連遺物があり、4次調査のほぼ同時期に埋没した古代官道東側溝を掘り直した溝から多くのスラッグが出土しており、金属生産に係わった集落であった可能性が考えられる。北約500mの原口遺跡、久郎利遺跡ではある程度の規模を持つ掘立柱建物群が発見され、なんらかの官衙と推定しているが、それに係わる集落である可能性も考えられる。

平安時代

9世紀後半以降に西に隣接する宮ノ本丘陵にあった墳墓群がこの前田遺跡群に進入してくる。墳墓は6mほどの間隔をおいて営まれるが、方位に対する規則性の抽出には今回の成果だけでは言及できない。隣接する1,4,11次でも木棺墓が発見されている。

中世

12世紀の古代末以降、前田遺跡では現代に至るまで耕作面として土地が利用されたと考えられ、畝状遺構7SX143は鎌倉期頃に想定している畠に関連する遺構である。耕作の方向は古代官道の東側溝が古代末に用水路の役を果たした後に現代まで大畦として残された影響があったと見え、143の方位もほぼこれに沿う形となっている。水城以北の福岡平野の残存条里型地割りの方向にも近いものがある。大宰府の条坊地域と異なる現象と捉えることができよう。

参考文献

『太宰府・佐野地区遺跡群I～VII』　1989～97　太宰府市教育委員会
『宮ノ本遺跡』　1980　太宰府市教育委員会
『宮ノ本遺跡II』　1992　太宰府市教育委員会
『太宰府市史考古資料編』　1993　太宰府市
森貞次郎・岡崎敬「福岡県板付遺跡」『日本農耕文化の生成』　1961
「弥生文化成立期における土器の編年的研究」山崎純男『鏡山猛先生古稀記念古文化論攷』　1980
「日本における稲作の開始と展開」橋口達也『石崎曲り田遺跡III』　1992　福岡県教育委員会
「弥生時代初頭の土器」田崎博之『那珂5』　1992　福岡市教育委員会
「夜臼式土器から板付式土器へ」田崎博之　1994　『牟田裕二君追悼論集』
「板付式土器成立期の土器編年」吉留秀敏『古文化談叢32』　1994

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表1

灰色土・表土			打面再生薄片、片岩、石鏃？
		弥生前期	壺（2）
須恵器	大坏c、小坏c、坏a、坏片(1)	弥生後期	壺（2）、高坏（1）
	坏身、坏c(1)(4)、蓋1、蓋3(2)	弥生	甕（1）、ミニチュア鉢（1）
	蓋4、蓋c、壷蓋(1)、壷×瓶(1)		器台、支脚
	壷片(1)、皿、皿c？(1)、鉢(1)	瓦類	平瓦、片
	高坏片、長頚壷		
土師器	坏c、小皿、大坏c、甕(奈良)	茶褐色土	
	大皿(奈良)、小坏c、小皿a(1)		
製塩土器	片	須恵器	坏c、長頚壷
黒色土器A	椀c(1)、片	土師器	小型丸底壺(1)
須恵質土器	擂り鉢(1)	越州窯系青磁	その他；小壷(1)
越州窯系青磁	椀；椀片、椀I×坏I1(1)	龍泉窯系青磁	椀；III(1)
	皿；I(1)	金属製品	鉄釘(3)
龍泉窯系青磁	椀；I-4(5)、I-5-b(1)、III1(1)	土製品	フイゴ羽口(1)、メンコ(2)
	I3(1)、I(8)、I5(1)、片	石製品	and-f 、ob-f、ob-core、石鏃
	小椀；Ib(1)		縄文系石斧(玄武岩)、石鍋片
同安窯系青磁	椀；Ib(1)、I1b(1)、III(1)		チャート、砥石片
	I×III×IV(1)	弥生前期	甕（8）
	皿；I-1-b、I-2-b(2)、I(1)、片	弥生後期	甕、支脚、鉢
不明青磁	片(1)	弥生	壷（3）
白磁	椀；VIII(1)、VIII2(1)、IX(1)		
	V4b(1)、VI×VIII2(3)、IV(11)	S-1	
	IV-1、VI-b、V-4-a(3)、片(19)		
	IV-1a(1)、V(1)、V2(2)、II	須恵器	甕片、高坏片、坏c、蓋3
	皿；VIII1b、IIa(1)、III2(1)		大皿c
	その他；燭台・近世～片（28）	土師器	皿c、甕片(歴史時代)
	椀×皿IX（1）	龍泉窯系青磁	椀；片(混入)
青白磁	？壷類（1）	金属製品	鉄釘(1)
土師質土器	擂り鉢(1)	土製品	メンコ(27)、匙形土製品(1)
瓦質土器	鉢(1)	石製品	and-f 、ob-f、緑色片岩片
肥前系陶器	皿(1)	弥生前期	壷、甕、鉢
国産陶器	蓋(1)(ツマミのみ）、鉢（2）	弥生後期	壷、甕、鉢
	瓶(1)		
中国陶器	壷VI（3）、VI-1(1)、Ab’（1）	S-1淡灰色土	
	Ba(1)		
輸入陶器	片(薄手、胎土暗紫灰色、表面	金属製品	鉱滓
	茶色）（2）		
近世陶器	片(35)	S-2	
不明陶器	片(1)		
肥前系磁器	紅皿(1)、皿(1)、椀(1)	弥生後期	壷、高坏
	近世～片(29)、壷×水注(1)		
	白磁×染付皿(1)、椀×皿片(1)	S-3	
金属製品	鉄釘(1)、不明銅製品(1)		
土製品	土錘(1)	石製品	and-f
石製品	and片、ob-f、ob-core、r-f	弥生前期	甕片（2）
	弥生石斧(玄武岩)、緑色片岩片		

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表2

S-3淡茶灰土	
弥生前期	甕(4)
弥生	高坏、壷片(4)、蓋(1)、甕(3)
縄文土器	浅鉢？(1)
S-4	
弥生後期	壷
S-5	
土製品	メンコ（3）
石製品	ob-f
弥生前期	甕片（1）、壷片（1）
S-5黒色土	
土製品	メンコ（2）
石製品	ob-f
S-6	
弥生土器	片
S-7	
弥生後期	支脚
S-8	
弥生後期	片
S-9	
土製品	メンコ（2）
石製品	and-f、ob-f
弥生前期	甕(1)
S-11	
須恵器	坏蓋3
土製品	メンコ（2）
石製品	ob-f
弥生	片

S-12	
土師器	片
弥生土器	片
S-13	
土製品	メンコ（3）
石製品	and-core
弥生前期	甕(1)
S-14	
須恵器	坏c
中国陶器	褐釉陶器・耳壷片（1）
朝鮮無釉陶器	甕片（1）
S-15	
須恵器	坏c
越州窯系青磁	椀；I-2（1）
金属製品	紡錘車（1）、鉄釘(29)
石製品	ob-f
弥生後期	甕
弥生	片
S-15明茶土	
須恵器	片
金属製品	鉄釘(1)
土製品	メンコ（3）
弥生	片
S-15黒灰土	
金属製品	鉄釘
弥生	片
S-16	
須恵器	蓋c、甕片、壷片
青白磁	皿；VI-1(1)
瓦質土器	椀片(1)
陶器	片
土製品	メンコ（3）
石製品	ob-f
弥生	壷片

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表3

S-17	
須恵器	坏c
金属製品	鉄釘(1)
弥生	片
S-18	
土製品	メンコ
石製品	ob-f
弥生後期	甕片
S-19	
須恵器	甕片、坏c、蓋3
白磁	椀；V？
石製品	泥岩-F
弥生	片
S-20	
土師器	坏a(2)、椀c(1)、中椀c(1)
石製品	ob-f
S-20黒灰土	
須恵器	片
弥生	片
S-20淡茶灰土	
弥生後期	壷(1)
S-20茶粘	
須恵器	坏身c
土師器	坏
弥生後期	甕片
S-20暗茶土	
須恵器	片
弥生	片

S-21	
石製品	and-f
弥生前期	甕(2)、壷(1)
弥生	鉢(1)
S-21I層灰黒褐土	
土製品	メンコ(1)
石製品	and-f、ob-f
弥生	壷(1)
S-21I' 層	
土製品	メンコ(1)
弥生	壷片(1)
S-21灰細砂	
弥生前期	甕(2)
S-21暗灰黒土	
石製品	ob-f、ob-core、ob-rf
弥生	片
S-21黒褐土	
土製品	メンコ(1)
石製品	and-f、ob-f
弥生前期	壷、甕(1)
S-21黒灰土	
土製品	メンコ(2)
弥生前期	壷(1)
S-21黒粘	
土製品	メンコ
石製品	and-f、ob-f
弥生前期	壷、甕(1)
弥生	甕(2)、壷(1)

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表4

S-21茶灰土	
土製品	メンコ
石製品	and-core、ob-core、石鏃(ob)
	叩き石(花崗岩)
弥生前期	甕(3)、壷(1)
弥生後期	壷(1)
弥生	鉢(1)、甕(3)、壷(3)
縄文土器	片
S-21橙茶土	
石製品	and-f、ob-f、ob-ap、ob-core
弥生前期	壷(3)、甕(4)
弥生後期	壷
弥生	鉢(2)、高坏(2)
S-22淡茶土	
土製品	メンコ(1)
石製品	ob-f
弥生	甕、壷
S-22黄褐土	
石製品	and-f
弥生	片
S-22明茶褐土	
石製品	ob-f、ob-ap
弥生	壷片(1)
S-23	
土師器	短頚壷
古式土師器	布留甕
弥生	鉢
S-24	
弥生後期	甕

S-25暗茶土	
石製品	and-core、and-f、ob-f
弥生前期	甕1*(2)
弥生	甕(2)
S-25明茶褐土	
石製品	ob-f
弥生前期	甕(1)、壷
S-25黒灰土	
土製品	異型土器
石製品	ob-f、ob-rf、ob-core、石鏃
	and-f、砥石、珪化木の砥石
弥生前期	甕(3)
弥生	壷(1)、甕(1)
S-25黒茶粘質土	
弥生	片
S-26	
土製品	メンコ(7)
石製品	and-f、ob-f、ob-ap
弥生前期	甕(1)
弥生	壷(1)
S-27	
弥生	甕
S-28	
須恵器	坏蓋c
土師器	手ずくね丸底壷
石製品	ob-f
弥生	壷
S-29	
須恵器	片
白磁	椀；V-4×VIII-3(1)

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表5

S-30c	
須恵器	甕、壷
土師器	坏a？
S-30e	
弥生	片
S-30h	
石製品	ob-f
弥生前期	甕
弥生後期	鉢
S-31	
須恵器	甕
S-32	
弥生	壷、甕
S-33	
弥生	片
S-34	
弥生前期	甕(1)、高坏(1)
S-35a	
須恵器	坏？
土師器	蓋3
弥生	片
S-35d	
須恵器	坏c(2)
土師器	大坏c(1)、坏(1)
弥生	片

S-36	
須恵器	坏蓋3
S-37	
弥生後期	壷
S-38	
弥生	片
S-39	
弥生	片
S-40	
石製品	円形打具
S-40暗茶褐土	
土製品	メンコ(2)
石製品	ob-core、and-f、ob-f、砥石
	すり切り石包丁
弥生前期	壷、甕(2)
弥生	壷(6)、甕(2)、高坏(1)
S-40黒灰茶褐土	
土製品	メンコ(1)
石製品	ob-core、ob-f
弥生前期	壷、甕(1)
S-40明茶褐土	
弥生	壷(1)
S-40黄褐土	
土製品	メンコ(3)
石製品	ob-f
弥生前期	壷、甕、大壷
弥生	壷(1)、甕(3)

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表6

S-41	
弥生	片
S-42	
弥生後期	壷、支脚
S-43	
須恵器	蓋c3、高坏
S-44	
弥生後期	甕
S-45	
須恵器	蓋c1、蓋c2、蓋c3(1)、蓋3(3)
	坏(1)、坏c(3)、鉢、甕、高坏
	坏a(1)、壷b(1)、鉢b(1)
土師器	坏a、坏c、坏d、小皿a(1)イト
	甕
	製塩土器
白磁	椀；IV(1)
土製品	土錘(1)
石製品	ob-core、and-f、ob-ap2*
	ob-f
弥生中期	壷
弥生後期	壷
S-46	
弥生後期	壷
S-47茶褐土	
須恵器	坏c(2)、甕(1)
土師器	坏蓋
土製品	メンコ
石製品	ob-f、rf
弥生前期	甕(1)、壷(1)
弥生後期	甕、壷

S-47暗茶褐土	
須恵器	坏3、坏c、蓋3(1)、甕3b
土師器	坏蓋3、高坏a(1)
石製品	ob-f、and-f
弥生前期	壷(1)
弥生後期	器台、高坏、甕、複合口縁壷
S-48暗茶褐土	
須恵器	横瓶
土師器	甕片
S-48暗褐土	
古式土師器	脚付鉢(1)
弥生	甕(1)
S-49	
石製品	ob-f
弥生後期	壷、高坏、複合口縁壷
S-51	
須恵器	甕(1)、片
弥生	鉢
S-52	
須恵器	片
土製品	メンコ
石製品	ob-f
弥生	片
S-53	
土師器	鉢(1)
土製品	メンコ(1)
石製品	ob-f
弥生	鉢(1)

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表7

S-54	
弥生後期	壷
弥生	片
S-55	
石製品	ob-f、and-ap、and-core
	打具、砥石
弥生	片
S-56	
金属製品	ヤリガンナ(1)
弥生後期	大甕(1)
弥生	壷、器台、複合口縁壷
S-57	
弥生	片
S-58	
須恵器	蓋c3
S-59	
弥生	片
S-60	
須恵器	蓋3
古式土師器	丸底壷(1)
弥生前期	甕片
弥生後期	甕(1)、壷
S-60暗褐土	
金属製品	釘(1)
土製品	メンコ
石製品	ob-f、石包丁
弥生後期	高坏(2)
弥生	手ずくね丸底壷(1)、直口甕
	手ずくね坏(3)、甕(3)

S-61	
弥生後期	甕、鉢
S-62	
石製品	ob-f、ob-ap
弥生前期	甕(1)、壷
弥生後期	甕
S-63	
須恵器	坏蓋
土師器	甕片
輸入陶器	壷片、四耳壷(1)？
S-64	
弥生後期	袋状口縁
S-65暗褐土	
土製品	焼土塊
石製品	ob-core、ob-f、ob-ap2*
	and-ap1*、micro-f
弥生前期	甕(3)、壷(2)
弥生後期	片
弥生	壷(1)
縄文土器	浅鉢(1)
S-65茶褐土	
石製品	ob-core、ob-f、ob-ap、V？
	and-f2*、磨製石斧
弥生前期	甕(1)
弥生	片
縄文土器	晩期深鉢(1)
S-65c	
須恵器	蓋3
S-65d	
土製品	メンコ(1)
石製品	ob-f
弥生前期	壷

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表8

S-66	
弥生後期	片
S-67	
弥生前期	甕
弥生後期	甕
S-68	
石製品	ob-f、片岩の板石
弥生	片
S-68黒褐土	
石製品	ob-f、and-f
弥生前期	甕(2)、壷(1)、大壷
弥生	甕(1)、壷(1)
S-68淡茶褐土	
弥生	片
S-68暗茶褐土	
土製品	メンコ(2)
石製品	ob-f
弥生前期	甕(1)、壷(2)
弥生	甕(1)、壷(1)
縄文土器	押型文土器(1)、浅鉢(精製)(1)
S-68P-2暗茶褐土	
弥生前期	壷(彩文)
S-68暗黄土	
石製品	ob-f、and-f、打具
弥生前期	甕(1)
弥生	大壷、甕(1)

S-68暗黄褐土	
土製品	メンコ
石製品	ob-core、ob-f、and-f
弥生前期	甕(3)、壷(2)
弥生	甕(4)、壷(1)
S-68茶褐土	
弥生	片
S-68黒茶褐土	
石製品	ob-f
弥生	片
S-69	
土師器	坏a(1)イト
瓦質土器	椀(1)
越州窯系青磁	椀；片
陶器	褐釉壷
S-70暗茶褐土	
須恵器	坏c(混入か？)、坏蓋
古式土師器	丸底壷(1)
金属製品	鉄斧(1)、鉄鏃(1)
土製品	メンコ(2)
石製品	ob-core、ob-f、ob-ap
弥生前期	甕(2)
弥生	大壷(2)、壷(14)、高坏(4)
	器台(1)、支脚(2)、甕(10)
	鉢(4)、複合口縁壷(2)
S-70a	
弥生	片
S-70c	
弥生	片

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表9

S-70d	
弥生	片
S-71	
土師器	坏a(イト)
S-72	
弥生	壷片
S-73	
土師器	高坏片(平安？)
S-74	
石製品	ob-core
弥生	片
S-75	
土師器	坏c3(混入)(1)
土製品	メンコ
石製品	ob-f、micro-f
弥生前期	甕(2)
弥生	甕(1)、鉢(1)、壷(1)
S-75茶褐土	
須恵器	坏c(1)、蓋c、甕片
石製品	ob-f、and-f、and-ap
弥生前期	甕(1)
弥生	甕(2)
S-75b	
弥生後期	片
S-75c	
弥生	片

S-76	
石製品	and-f
弥生	器台、壷
S-77	
須恵器	坏c？
S-78	
弥生後期	片
S-79	
弥生	壷片
S-80茶褐土	
須恵器	坏c、蓋c(1)
石製品	ob-f、三角形石包丁
弥生前期	甕片
弥生	壷、甕(2)
S-80暗茶褐土	
土製品	メンコ(1)
弥生	片
S-80暗黄褐土	
弥生	壷、甕
S-81	
弥生	片
S-82	
土師器	高坏片
弥生	片
S-84	
弥生前期	甕片
弥生後期	甕片

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表10

S-85茶土		S-91	
須恵器	片	弥生	壷、甕
土製品	メンコ、焼土塊		
石製品	円形打具、VA石鏃、ob-f	S-92	
弥生前期	甕(10)、壷(2)		
弥生	甕(9)、壷(1)、大壷(3)	須恵器	坏2c、蓋c
		弥生	器台片
S-85茶灰土			
		S-93	
土製品	メンコ		
石製品	ob-f、and-f、片岩の石鏃	石製品	石包丁(片岩)
弥生前期	甕(8)、壷(1)	弥生	土器片
弥生	片(2)		
		S-94	
S-85b			
		須恵器	蓋1、短頸壷(小型)
石製品	cha-f	土製品	メンコ(1)
弥生	片(2)	石製品	and-f、ob-f
S-85壁溝		S-95	
石製品	ob-f	須恵器	甕(1)、坏、坏c3(1)、蓋c3(1)
			壷？、高坏(1)、蓋(1)、蓋3(1)
S-86		土師器	坏d(1)、高坏
		石製品	ob-f
弥生	大甕(1)、複合口縁壷(1)	弥生	壷、甕
	高坏(1)		
		S-95茶褐土	
S-88			
		須恵器	甕、坏c(3)、壷、蓋3(2)
石製品	ob-f		坏(1)、坏a(1)、鉢b(1)、鉢(1)
弥生後期	甕片		高坏(1)
		土師器	高坏(2)、甕a(1)、坏c
S-89		金属製品	鉱滓(1)
		土製品	土錘(1)、竈(1)
石製品	and-f	石製品	ob-f
弥生後期	壷(1)	弥生前期	甕
		弥生	甕、壷、脚付甕
S-90黒灰土			
		S-95暗茶褐土	
土製品	メンコ(7)		
石製品	ob-f	須恵器	坏c(1)、坏(1)、壷？片
弥生後期	甕片		大坏c(1)
弥生	壷(3)、鉢(1)	弥生後期	壷片

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表11

S-95淡茶褐土	
弥生	片
S-95黒褐土	
須恵器	蓋(2)
弥生後期	大甕、壷
S-95黒灰土	
須恵器	坏c(9)、高坏(2)、短頚壷(1)
	坏c1、大甕(2)、蓋(2)、皿c(1)
土師器	坏c、大坏c(1)、甕片(1)(奈良)
肥前系磁器	染付徳利(1)
青花	片
金属製品	鉄鏃(1)
土製品	土錘(1)
石製品	ob-f、ob-rf、ob-ap
弥生前期	甕
弥生後期	甕、壷
弥生	高坏
S-96	
須恵器	坏a、坏c、蓋c、蓋3、甕
弥生後期	甕片
瓦類	平瓦(縄目叩)
S-96黒褐土	
須恵器	長頚壷、甕
弥生	片
S-96茶褐土	
須恵器	坏a(1)、坏c3(3)、蓋c(1)
	蓋3(1)、蓋4(1)、甕(1)
弥生	土器片
瓦類	平瓦(縄目叩)(1)
S-97	
弥生後期	高坏、甕
縄文晩期	浅鉢(1)

S-98	
弥生	甕
S-99	
弥生	壷
S-101	
弥生	壷、高坏
S-102	
弥生	片
S-103	
弥生前期	甕(1)
弥生後期	支脚
S-104	
弥生後期	甕
S-105	
須恵器	坏c(2)、蓋3(1)、蓋c
土製品	焼土塊(2)
弥生	壷、高坏
S-105茶褐土	
須恵器	鉢b(把手付)(1)
S-105暗茶褐土	
須恵器	坏c3(2)、甕(1)、蓋3(1)、蓋c
土師器	坏c(2)、甕
金属製品	釘(1)
土製品	とりべ(1)
石製品	and-f、ob、打面再生剥片
弥生	壷、器台
縄文晩期	浅鉢

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表12

S-106	
弥生	片
S-107	
石製品	ob-f
弥生	甕、壷
S-108	
弥生	甕
S-109	
須恵器	坏c、長頸壷
S-110茶褐土	
須恵器	坏c(1)、甕(混入)
土師器	甕(1)
古式土師器	甕(1)
石製品	ob-f、and-f、ob-ap
弥生前期	甕(1)
弥生中期	甕棺蓋
弥生	甕(19)、壷(8)、高坏(8)、坏
	鉢(8)、脚付鉢(1)、支脚(3)
	器台(3)、甕型土器(1)
縄文晩期	浅鉢
S-111	
弥生	片
S-112	
弥生後期	短頸壷(1)
弥生	支脚、甕、複合口縁壷(1)
	坏(1)、器台(1)
S-113	
弥生	片

S-114	
須恵器	蓋3
弥生	支脚
S-115暗灰土	
弥生後期	甕(1)
弥生	高坏
S-115黒灰土	
須恵器	蓋3(混入)
土製品	メンコ(1)
弥生後期	複合口縁壷(1)
弥生	甕
S-116	
須恵器	蓋3、甕
白磁	破片
S-117	
須恵器	蓋3、坏、壷
弥生	片
S-118	
土師器	甕
弥生後期	甕
S-119	
須恵器	片
弥生後期	支脚
S-120暗灰土	
土師器	甕
石製品	and-f
弥生後期	袋状口縁壷(1)
弥生	甕(14)、器台(1)、高坏(1)
	壷(9)、支脚

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表13

S-120茶灰土	
須恵器	片(混入か？)
土師器	ミニチュア坏(1)、壷(1)
土製品	メンコ (2)
石製品	and-f、石包丁？
弥生前期	壷
弥生後期	小鉢、壷
弥生	鉢(5)、器台(1)、甕(5)、支脚
	壷(10)、複合口縁壷(高坏か？)
	長頚壷(1)
S-120灰色土	
弥生	片
S-120b灰色土	
須恵器	蓋c(混入)
弥生前期	甕(1)
弥生後期	甕(1)
S-120a	
土製品	メンコ(4)
弥生	甕(1)、鉢(1)、壷
S-120b	
土製品	メンコ
石製品	泥岩　石包丁？
弥生前期	壷
弥生後期	甕、壷
弥生	甕(7)
S-121	
須恵器	片
弥生後期	甕
S-122	
須恵器	坏

S-123	
須恵器	長頚壷
弥生	片
S-124	
弥生後期	支脚
弥生	甕
S-125a	
弥生後期	高坏
弥生	長頚壷？、支脚
S-125茶褐土	
須恵器	長頚壷、甕(混入か？)
土師器	壷、高坏、甕(混入か？)
古式土師器	布留甕(3)
弥生後期	甕(1)、山陰系甕(2)
弥生	壷(1)、高坏(1)、高坏大(1)
	支脚
S-126	
須恵器	坏c
S-127	
弥生後期	甕、壷
S-128	
弥生後期	甕
S-129	
弥生後期	甕、支脚、高坏
S-130灰褐土	
土製品	メンコ(3)
石製品	ob-f、砥石(1)
弥生後期	甕(1)
弥生	複合口縁壷(2)、高坏(2)、坏
	鉢(2)、支脚

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表14

S-131	
弥生	片
S-132	
弥生	片
S-133	
弥生後期	支脚、壷
S-134	
金属製品	青銅製品斧(1)
石製品	ob-rf
弥生後期	甕
弥生	複合口縁壷(1)、壷型土器(1)
	器台、甕(3)
S-135明茶土	
石製品	and-f、ob-f
弥生後期	甕、支脚
弥生	甕(1)、鉢(1)、壷(1)
S-136	
弥生後期	高坏、甕
S-137	
須恵器	坏a
S-138	
石製品	and-f
弥生後期	壷、甕
S-139	
須恵器	長頚壷？
弥生前期	大壷(1)

S-140灰褐土	
土製品	メンコ（2）
石製品	and-f、ob-f、ob-ap
弥生前期	壷、小壷、城ノ越？
弥生後期	混入？
弥生	甕(6)、壷(7)、鉢(1)
S-140黄灰土	
石製品	and-f、ob-f、and-rf
弥生前期	甕(4)
弥生	壷(2)、甕(1)
S-140暗灰土	
土製品	メンコ
石製品	and-ap 、ob-f、ob-rf、ob-ap
	and-f 、ob-core、vf
	ob打面再生剥片、黒色泥岩？
	小円礫(研磨具か？)
弥生前期	壷、甕(1)
弥生	壷(10)、甕(10)
S-140茶褐土	
土製品	メンコ
石製品	and-ap 、ob-f、ob-rf、and-f
弥生前期	甕(3)
弥生	大壷、高坏(1)、壷(6)、甕(3)
S-140灰粘	
石製品	ob-f、ob-rf、and-f
弥生前期	壷
弥生	甕(1)、壷(2)
S-140a	
土製品	メンコ(1)
石製品	rf(ob)
弥生前期	壷(1)
弥生	壷(1)

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表15

S-141黒灰土	
須恵器	坏蓋c、坏c(4)、大坏c(1)
	坏身V、高坏b(1)、蓋3(4)
	長頚壷、坏(2)、鉢b(1)
土師器	甕(4)
製塩土器	焼塩壷(2)
S-141黒灰粘	
須恵器	壷(1)、甕(2)、蓋c、壷蓋
	蓋3(12)、蓋c3(3)、蓋1(1)
	蓋2、坏(1)、坏c3(1)、坏c(7)
	大坏c(2)、鉢(1)、鉢b(2)
	高台(坏c)(1)、高坏b(1)、皿
	大皿、長頚壷、皿a(2)、皿c(1)
土師器	蓋2(1)、蓋3(3)、蓋c3(1)
	甕(4)、甕a(2)、坏c(3)、高坏片
製塩土器	焼塩壷I(1)、焼塩壷II-b(2)
金属製品	鉄釘(1)
土製品	土錘(1)
石製品	ob-f、ob-rf
弥生後期	甕、片
弥生	甕
S-141黒灰砂	
須恵器	坏蓋c、蓋c3(3)、蓋3(1)
	坏c(1)、坏身V、壷b(1)
土師器	甕(2)、甕a(2)、高坏(1)
弥生後期	甕
S-142	
白磁	合子蓋(1)
S-143	
須恵器	片
土師器	片
石製品	砥石(珪質泥岩)

S-144	
須恵器	坏身、坏蓋、坏c(2)、蓋c3(1)
	蓋3(2)、壷蓋(1)、鉢
古式土師器	鉢(1)
金属製品	刀子の柄(1)
土製品	メンコ(5)
石製品	ob-core
弥生後期	坏片、甕、壷
S-145	
弥生	甕(2)
S-145茶灰土	
土製品	メンコ(3)
石製品	ob-f、ob-打面再生剥片
弥生前期	甕(1)、壷(1)、壷(1)(円ぬり)
弥生	甕(4)
S-145黒灰土	
石製品	and-f、ob-f、砥石、叩き石、f
弥生前期	甕、彩文高坏(1)
弥生	大壷、甕(5)、壷(1)
縄文晩期	粗製鉢(浅鉢か？)(1)
S-145黄灰土	
石製品	片岩フレーク
弥生前期	甕(1)
弥生	大壷
S-145暗灰土	
石製品	and-f、ob-f、ob-ap、砥石
弥生前期	夜臼？壷？、甕、壷(1)
弥生後期	壷混入？
弥生	甕(1)
縄文晩期	深鉢か？
S-145白色砂	
石製品	and-rf

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表16

S-145黄色土	
弥生前期	壷、高坏(1)
S-146	
古式土師器	高坏(1)
弥生後期	高坏、壷
S-147	
土製品	メンコ(1)
石製品	ob-uf
S-148	
土製品	メンコ(2)
石製品	ob-f、ob-打面再生剥片、and-f
弥生前期	甕
弥生後期	壷
弥生	甕(3)
S-149	
須恵器	片
弥生	ミニチュア壷(1)
S-150	
土製品	メンコ(10)
古式土師器	長頚壷(1)
弥生後期	鉢、壷、器台
S-150茶褐土	
石製品	ob-f
弥生前期	甕(1)
弥生	鉢(1)、器台(1)、甕(1)、壷(6)
S-150明茶土	
石製品	ob-rf
S-150c	
弥生	片

S-151	
弥生後期	壷片
S-152	
須恵器	坏、甕、坏身(8c)
弥生前期	甕(1)
弥生後期	甕
S-153	
石製品	and-ap 、ob-f、and-f
弥生後期	壷(1)
S-154	
須恵器	坏蓋c、甕、長頚壷
弥生後期	壷
S-154暗褐土	
同安窯系青磁	皿；I-1-b(1)
石製品	ob-f
S-155茶褐土	
石製品	va-f
弥生前期	壷
弥生	壷(1)
S-157	
須恵器	坏身
石製品	ob-f、ob-rf
弥生前期	甕(1)、壷
弥生後期	甕
弥生	壷(1)、甕(1)
S-158	
須恵器	坏c、皿
土製品	メンコ(3)
石製品	and-f
弥生前期	甕(6)、壷、浅鉢
弥生	壷(2)、甕(1)、鉢(1)

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表17

S-159	
弥生後期	高坏
弥生	甕
S-160黒色土	
弥生前期	甕(1)
弥生	手ずくね坏(1)、甕(1)、鉢(1)
	複合口縁壷(1)、壷(1)、椀片
S-160暗灰土	
弥生	甕
S-161	
弥生後期	甕
S-162	
須恵器	片(2)
弥生後期	高坏、壷
S-163	
弥生後期	壷？
S-164	
須恵器	坏蓋
弥生前期	甕(1)
S-165	
土師器	坏a(1)
金属製品	鉄釘(3)
S-165茶粘	
須恵器	鉢、坏蓋
金属製品	鉄釘(1)
石製品	ob-f、and-f
弥生前期	ミニチュア壷
弥生	甕(2)、壷(1)

S-166茶土	
土製品	メンコ(2)
石製品	ob-f、and-f
弥生前期	甕(1)
弥生	甕(3)、壷(2)、甕×壷(1)
S-167	
須恵器	甕(2)
金属製品	鉄釘(S-165に帰属するか？)
土製品	メンコ(2)
弥生前期	壷
弥生後期	壷、甕
S-168茶粘	
土製品	メンコ(8)
弥生前期	甕(1)、壷
弥生	甕(4)、壷(4)
S-168暗茶土	
土製品	メンコ(3)
石製品	and-f、ob-f、ob-core、and-ap
	石包丁、未製品？
弥生前期	甕(6)、壷
弥生	壷(2)、甕(2)
S-168黒粘	
土製品	メンコ(1)
石製品	and-f、ob-f、石斧
弥生前期	甕(2)、高坏(1)、壷
弥生中期	甕
弥生	甕(1)、壷(4)、大壷
S-168暗茶粘	
石製品	and-f、ob-f、打具(花崗岩)
弥生前期	甕(2)
弥生	甕(1)、壷(1)

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表18

S-168茶褐土	
土製品	メンコ(2)
石製品	and-f、ob-f、ob-core
弥生前期	甕(3)、壷(1)
弥生	甕(2)、壷(6)、高坏(1)
S-168暗茶褐土	
土製品	メンコ(19)
石製品	and-f、ob-f、片岩石斧
	and-core、ob-core
弥生前期	甕(8)、壷
弥生	甕(2)、壷(4)
S-169	
弥生	片
S-170	
須恵器	坏c(2)、皿a(1)、蓋c3(1)、蓋3
	甕(1)、坏身、皿、壷
土師器	甕(1)
石製品	ob-f
弥生後期	器台
S-170黄灰土	
須恵器	坏c、蓋
土製品	メンコ (1)
石製品	and-f、ob-f
弥生後期	壷
弥生	片
S-170茶灰土	
土師器	片
S-170灰色土	
須恵器	坏c(4)、蓋3(3)、鉢b(1)、鉢
	鉢b(1)、長頚壷、甕、蓋c
土師器	坏c(1)、甕a(2)、甕把手(1)
	蓋3

S-170茶褐土	
須恵器	坏c(1)、蓋3(1)、蓋2、蓋4
土製品	メンコ
弥生	片
S-171	
白磁	その他；壷片(1)
弥生後期	甕
S-172	
土製品	メンコ(3)
石製品	and-rf、ob-rf、ob-f
弥生前期	壷
弥生	甕(1)
S-173	
須恵器	蓋
黒色土器A	椀
弥生後期	壷
S-174	
須恵器	蓋3(1)、坏(1)
土師器	甕
S-175茶灰土	
須恵器	坏(1)、蓋3(1)
金属製品	鉄製刀子？(1)
石製品	ob-f
弥生後期	甕
弥生	鉢(3)、高坏(2)、支脚、壷
S-175炭層	
須恵器	甕
弥生後期	甕
弥生	甕(3)、鉢(1)、壷(1)、高坏(2)
S-175a	
弥生	甕、片

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表19

S-176	
弥生	片
S-177	
土製品	メンコ(1)
弥生後期	壷
S-178	
土製品	メンコ(1)
弥生後期	甕
S-179	
土師器	小型丸底壷(1)
S-181	
須恵器	甕
土製品	メンコ (2)
石製品	ob-f
弥生後期	壷
S-182	
土師器	甕
土製品	メンコ (1)
弥生	甕
S-183明茶粘	
石製品	ob-f
弥生前期	壷
弥生	壷(1)、甕(1)、高坏(1)
S-184灰褐土	
土製品	メンコ (2)
石製品	ob-f
弥生	甕

S-185	
土製品	メンコ (5)
石製品	ob-f
弥生前期	甕
弥生	甕(6)
S-185灰褐砂	
石製品	and-f、ob-f、ob-rf(きり)
弥生前期	甕(6)、壷(2)、小壷(1)
弥生	鉢(1)、甕(2)、壷(1)
S-186暗灰土	
石製品	玄武岩(石斧片)
弥生後期	甕、高坏
弥生	壷、鉢(1)、器台(1)、甕(2)
S-187茶灰土	
土師器	小型特殊器台(1)
古式土師器	布留甕片
S-188	
弥生	片
S-189	
石製品	ob-f
弥生	片
S-190茶粘	
土製品	メンコ (5)
石製品	and-f、ob-f、ob-打面再生剥片
	ob-rf(ap？)
弥生前期	甕
弥生	甕(1)、複合口縁壷(1)

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表20

S-191	
土製品	メンコ（4）
石製品	and-f、ob-f
弥生前期	甕(1)
弥生後期	甕、高坏、支脚
弥生	甕(2)、鉢
S-192	
土製品	焼土塊(1)
石製品	and-f
弥生	甕、支脚、器台(2)
S-193暗灰土	
弥生前期	壷
S-193黄灰土	
石製品	ob-f、ob-rf、ob-core、and-f
	砥石？
弥生前期	壷、甕
弥生	甕(3)、壷(3)、高坏(1)
S-194	
石製品	ob-f
弥生前期	壷
弥生後期	支脚(1)、甕
弥生	西新式甕(1)
S-195淡茶褐土	
石製品	ob-core
S-195黒灰土	
土師器	高坏、鉢(2)
古式土師器	甕(布留)(1)
金属製品	鉄製火打金(1)
土製品	メンコ(5)、異形土製品
石製品	ob-f
弥生	甕(1)、壷(2)、鉢(1)、高坏(4)

S-196	
土製品	メンコ(7)
石製品	ob-f、石斧
弥生中期	甕
弥生	甕(1)、壷、鉢(1)
S-197	
金属製品	鉄釘(1)
土製品	メンコ(3)
弥生	片
S-198	
土製品	メンコ
弥生後期	壷、支脚
S-199	
弥生後期	壷
S-201	
石製品	ob-f
弥生後期	壷、甕
S-202	
土製品	メンコ(2)
弥生	片
S-203	
弥生後期	壷
S-204	
土師器	高坏(1)、器台
弥生前期	甕

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表21

S-205黒灰土	
土製品	メンコ(3)
石製品	ob-f
弥生後期	甕
弥生	坏(2)、鉢(1)、壷(2)、甕(2)
	袋状口縁壷(1)
S-206	
金属製品	ヤリガンナ(1)
土製品	メンコ(2)
弥生	片
S-207	
土製品	メンコ(8)
弥生後期	壷
S-208	
弥生後期	高坏
S-209	
土製品	メンコ(1)
石製品	ob-f
弥生後期	坏
弥生	鉢(1)
S-210茶灰土	
石製品	and-f、ob-f、ob-ドリル
	and-ap
弥生前期	甕(4)
弥生	甕(3)、壷(3)、高坏(2)
S-211	
土製品	メンコ（1）
弥生後期	高坏、甕
S-212	
弥生後期	支脚

S-213	
金属製品	鉄釘(1)
土製品	メンコ（1）
石製品	ob-f
弥生後期	片
S-214	
弥生	甕(1)、壷(1)
S-215a	
弥生前期	壷、甕
弥生	複合口縁壷(1)、鉢(1)
S-216	
須恵器	片
石製品	and-f
弥生	壷、高坏
S-217	
須恵器	甕片
弥生	複合口縁壷(1)
S-218	
土製品	メンコ（1）
弥生	片
S-219	
須恵器	片
土製品	メンコ（5）
石製品	ob-f
弥生前期	壷
弥生後期	壷(1)、甕

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表22

S-219暗灰土	
土製品	メンコ、把手(1)
石製品	花崗岩板石、ob-打面再生薄片
	ob-rf
弥生前期	壷、甕(1)
弥生後期	壷、甕、器台、支脚
弥生	甕、壷(1)
S-220灰褐土	
石製品	ob-f、ob-core、花崗岩板石
弥生前期	甕
弥生	甕(1)、高坏(2)、鉢(1)
縄文後期	深鉢(1)
S-220暗褐土	
土製品	メンコ(6)
石製品	ob-vf、f
弥生前期	甕(3)
S-220黒灰土	
石製品	ob-f(姫島)
弥生	壷
S-220黄灰土	
金属製品	鉱滓
土製品	メンコ (4)
石製品	ob-f、v-f
弥生前期	高坏
弥生	甕(2)、壷(2)、鉢(1)
S-221	
石製品	石包丁(泥岩)
S-222	
弥生	片
S-223	
須恵器	甕片
土製品	メンコ(1)

S-224	
石製品	チャート-f
弥生	片
S-225黄色土	
石製品	珪化木片、ob-f
弥生前期	甕(2)
弥生	壷(2)
S-225淡灰砂	
土製品	メンコ (2)
石製品	and-f、ob-f、ob-core
弥生前期	壷(1)、甕
弥生	鉢(1)、甕(2)
S-226	
須恵器	坏c3(1)、蓋c(1)、坏c
石製品	ob-f
S-227	
土師器	片
S-228	
須恵器	坏c
S-229	
須恵器	坏c
弥生	片
S-230	
石製品	ob-f
弥生後期	甕(1)
S-231	
須恵器	坏
弥生	片

前田遺跡第7次調査出土遺物一覧表23

S-232	
弥生	片
S-233	
弥生	片
S-234	
須恵器	片
弥生	片
S-236	
弥生後期	壷
弥生	壷(1)、高坏(1)
S-237	
弥生	壷
S-238	
弥生	壷、甕
S-239黒色土	
弥生	片
S-241暗灰土	
須恵器	甕(1)、坏c(1)、蓋c(1)
	蓋3(1)
石製品	ob-f
弥生	片
S-242黒灰土	
須恵器	高坏(1)、盤(1)、坏？(2)
弥生後期	支脚
S-243黄灰土	
弥生	甕(1)、片

S-246	
石製品	and-f、ob-f
弥生	壷(1)、甕(1)
S-247	
弥生	片
S-248	
弥生後期	壷、器台
S-249	
弥生	片
S-251	
弥生	片
S-252	
須恵器	坏片
石製品	ob-f
弥生	片
Z	
弥生	片

前田7次遺物観察表凡例

R番号とは遺物に付与された整理番号で、収蔵後の検索にはこの番号を用いる。
土器以外の法量は口径・高さ・底径を、長さ・幅・厚みに読み変える。
数値後の+は欠損状況での数値、*は復元状況での数値で表記している。
調整項目のナデの欄について
・「工」は工具ナデを示し、繊維状の条線を残すものを示す。
・その他のナデは「○」。
横ハケは体部上位の調整の最終段階で施される装飾的趣を持つハケで布留期に多く見られる。
ナデは最終調整として施されているもののみを表示。

刻目
1 口縁端部全体に施される
2 口縁端部中央から下にかけて施される
3 口縁端部の下角に小さく施される

外面ナデ
a 細かい繊維状の軌跡を残し、工具の当たりや縁がある
b いわゆるハケ目を残す
c 全体に平滑。条線は直線的でない。指によるものか
※ただし口縁端部ナデは2を付与し、b2のような表記を採る

傷
a 小動物（ネズミないしもぐら）の歯形か
b 小動物の爪痕か（一説に猫）

石器観察表について
観察表中の略号は次のとおり。
ob（黒曜石）、and（安山岩）、F（剥片）、RF（二次加工のある剥片）、
UF（微細剥離など使用痕のある剥片）、AP（石鏃）

前田7次石器観察表凡例

石器の設置方向は、剥片の場合は剥離面の打点部分を上とし、リングの広がりの中心部分を下としている。石核の場合は最終剥離面ないし最も明瞭な剥離面を正面としている。
長さの測定はノギスを、重量の測定には0.1桁表示の電子測りを使用した。
+は欠損値、*は復原値、-は測定不能の状況を示している。
石材の内、安山岩には青黒味を帯びる灰色系のものと白味を帯びる灰色系のものがあり、白味のものには備考欄にその旨を記載している。

前田7次遺物観察表 (1)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
							cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
7SI005	(S-5)	1	弥生 甕	33		001	-	1.9+	-		b2					b2				
7SI060暗褐土	(S-60)	1	古土師 小型丸底壷	33	43-2	001	9.1*	12.30	-		○	○				○	○			
〃	(S-60)	2	弥生 甕	33		002	26.2*	18.6+	-		○						○			
〃	(S-60暗褐土)	3	弥生 甕	33		002	-	2.2+	-		○	○					○			
〃	(S-60暗褐土)	4	弥生 甕	33		005	-	2.1+	-			○					○			
〃	(S-60暗褐土)	5	弥生 甕	33		001	21.0*	5.7+	-		工	○				○	○			
〃	(S-60暗褐土)	6	弥生 坏	33		006	-	5.4+	-		○						○			手捏ね・外面に煤
〃	(S-60暗褐土)	7	弥生 坏	33		008	-	3.5+	-							○				手捏ね
〃	(S-60暗褐土)	8	弥生 坏	33		007	-	3.8+	-							○				手捏ね
〃	(S-60暗褐土)	9	弥生 高坏脚	33		004	-	4.3+	-						○					
〃	(S-60暗褐土)	10	弥生 高坏脚	33		003	-	3.1+	-			○				○				
7SI065暗褐土	(S-65暗褐土)	1	弥生 壷	34	44-1	002	-	4.2+	8.6*						○	○				輪高台状
〃	(S-65暗褐土)	2	弥生 壷	34	44-1	007	-	2.3+	-		○					○				底に穀物圧痕か
〃	(S-65暗褐土)	3	弥生 甕	34	44-1	004	-	1.9+	-		a2					a2				刻目1
〃	(S-65暗褐土)	4	弥生 甕	34	44-1	003	-	2.3+	-		a×c					b2				刻目3
〃	(S-65暗褐土)	5	弥生 甕	34	44-1	006	25.2*	6.4+	-		a2					工				
〃	(S-65暗褐土)	6	弥生 壷	34	44-1	001	30.0*	7.0+	-		工				○				○	
〃	(S-65暗褐土)	7	弥生 鉢	34		005	-	2.1+	-		工				○	工				
7SI065茶褐土	(S-65茶褐土)	1	弥生 甕	34	44-1	001	-	1.5+	-		○					○	○?			刻目3
〃	(S-65茶褐土)	2	縄文 深鉢？	34	44-1	002	-	2.7+	-											縄文晩期
7SI065d	(S-65d)	1	弥生 壷	34	44-1	001	-	2.5+	-		工					工				

前田7次遺物観察表 (2)

遺構	No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
						cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
7SI070暗茶褐土 (S-70暗茶褐土)	1	弥生 複合口縁壷	34		008	22.9*	4.7+	-			○				○				屈曲部に刻目
〃 (S-70暗茶褐土)	2	弥生 複合口縁壷	34		014	22.0*	3.1+	-			○								
〃 (S-70暗茶褐土)	3	弥生 複合口縁壷	34		042	-	4.2+	-											
〃 (S-70暗茶褐土)	4	弥生 複合口縁壷	34		032	-	3.3+	-		○	○				○				
〃 (S-70暗茶褐土)	5	弥生 複合口縁壷	34		030	-	2.6+	-		○	○				○				
〃 (S-70暗茶褐土)	6	弥生 壷	34		011	15.0*	5.5+	-		○	○	○				○			
〃 (S-70暗茶褐土)	7	古土師 小型丸底壷	34	43-2	026	9.6*	10.90	4.20			○			○	工				
〃 (S-70暗茶褐土)	8	弥生 壷	35	43-2	001	33.0*	43.60	10.40		○	○					○			
〃 (S-70暗茶褐土)	9	弥生 壷	35		027	-	10.6+	-			○					○			
〃 (S-70暗茶褐土)	10	弥生 壷	35		043	-	4.5+	-		○					○				
〃 (S-70暗茶褐土)	11	弥生 壷	35		044	-	4.8+	-	○	○						○			外上部に赤色顔料
〃 (S-70暗茶褐土)	12	弥生 壷	35		021	-	14.2+	-			○				○	○			
〃 (S-70暗茶褐土)	13	弥生 壷	35		038	-	1.8+	5.3*											弥生前期
〃 (S-70暗茶褐土)	14	弥生 壷	35		037	-	2.3+	6.1*		工									弥生前期
〃 (S-70暗茶褐土)	15	弥生 壷	35		039	-	2.4+	5.6*			b				○				弥生前期
〃 (S-70暗茶褐土)	16	弥生 壷	35		020	-	2.3+	6.0*											弥生前期
〃 (S-70暗茶褐土)	17	弥生 壷	35		006	-	2.9+	-	○		○								
〃 (S-70暗茶褐土)	18	弥生 壷	35		040	-	2.4+	-		○					○				
〃 (S-70暗茶褐土)	19	弥生 壷	35		041	-	4.1+	9.0*								○			
〃 (S-70暗茶褐土)	20	弥生 壷	35		025	-	4.7+	8.40		○	○					○			
〃 (S-70暗茶褐土)	21	弥生 壷	35	43-2	023	-	5.8+	4.10							○				輪高台状、外来系
〃 (S-70暗茶褐土)	22	弥生 鉢	35	43-2	022	-	7.2+	4.40			○					○			高台状、外来系
〃 (S-70暗茶褐土)	23	弥生 甕	36		034	-	2.5+	-		○					○				
〃 (S-70暗茶褐土)	24	弥生 甕	36		036	-	3.2+	-			○					○			
〃 (S-70暗茶褐土)	25	弥生 甕	36		031	-	3.5+	-			○					○			
〃 (S-70暗茶褐土)	26	弥生 甕	36		035	-	2.4+	-		○	○					○			
〃 (S-70暗茶褐土)	27	弥生 鉢	36		033	-	3.4+	-		工			○		工				
〃 (S-70暗茶褐土)	28	弥生 高坏	36	43-2	002	-	16.2+	-						○				○	
〃 (S-70暗茶褐土)	29	弥生 高坏	36		013	-	3.3+	-		工									坏部
〃 (S-70暗茶褐土)	30	弥生 高坏	36		028	-	2.4+	-			○								
〃 (S-70暗茶褐土)	31	弥生 高坏	36		029	-	4.3+	-		○						○			脚部
〃 (S-70暗茶褐土)	32	弥生 器台	36		005	13.2*	7.6+	-		工	○					○			
〃 (S-70暗茶褐土)	33	弥生 支脚	36	43-2	003	5.00	9.60	10.00	○										
〃 (S-70暗茶褐土)	34	弥生 支脚	36	43-2	004	-	11.60	11.20	○										
〃 (S-70暗茶褐土)	35	弥生 鉢	36		024	28.0*	9.2+	-		○	○					○			
〃 (S-70暗茶褐土)	36	弥生 甕	36		019	-	6.1+	14.0*			○								弥生前期
〃 (S-70暗茶褐土)	37	弥生 甕	36		017	-	4.6+	9.8*			○				○				外底にもハケ
〃 (S-70暗茶褐土)	38	弥生 壷	36		012	-	3.2+	-						○				○	
〃 (S-70暗茶褐土)	39	弥生 甕	36		007	-	3.8+	9.0*		a									弥生前期
〃 (S-70暗茶褐土)	40	弥生 壷?	36		015	-	4.1+	7.2*		a					○				弥生前期
〃 (S-70暗茶褐土)	41	弥生 甕	36		016	-	3.4+	7.4*		a									弥生前期

前田7次遺物観察表 (3)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
							cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
7SI070暗茶褐土	(S-70暗茶褐土)	42	弥生 甕	36		018	-	3.1+	9.6*		c									弥生前期
7SI085茶土	(S-85茶土)	1	弥生 壷	37	46-1	017	18.0*	6.4+	-						○	○			○	外面に赤色顔料
〃	(S-85茶土)	2	弥生 壷	37	46-1	018	-	8.4+	-						○	○				ヘラ描き櫛文
〃	(S-85茶土)	3	弥生 壷	37	46-1	019	-	3.2+	-						○				○	外面に赤色顔料
〃	(S-85茶土)	4	弥生 壷	37	46-1	020	-	2.0+	10.2*		○									外面に赤色顔料
〃	(S-85茶土)	5	弥生 壷	37	46-1	006	-	2.3+	7.4*						○					
〃	(S-85茶土)	6	弥生 壷	37	46-1	029	-	1.6+	-											底部外側の粘土紐塊
〃	(S-85茶土)	7	弥生 甕	37	46-2	001	-	21.7+	8.90		a	b				○				
〃	(S-85茶土)	8	弥生 甕	37	46-2	016	22.2*	12.0+	-		c					○	○			刻目1
〃	(S-85茶土)	9	弥生 甕	37	46-2	014	18.4*	8.6+	-		-					○				刻目1
〃	(S-85茶土)	10	弥生 甕	37		015	23.2*	5.1+	-		a									刻目1
〃	(S-85茶土)	11	弥生 甕	37	49-1	021	-	6.1+	-		c									刻目1
〃	(S-85茶土)	12	弥生 甕	37	49-1	008	-	9.2+	-		a					○				刻目1
〃	(S-85茶土)	13	弥生 甕	37	49-1	009	-	3.6+	-		a2					○				刻目1
〃	(S-85茶土)	14	弥生 甕	37	49-1	010	-	3.9+	-		a2.c									刻目1
〃	(S-85茶土)	15	弥生 甕	37	49-1	022	-	2.1+	-		○					○				刻目1
〃	(S-85茶土)	16	弥生 甕	37	49-1	005	-	3.5+	-		-					○				刻目1
〃	(S-85茶土)	17	弥生 甕	37	49-1	011	-	3.0+	-		c					○				刻目1
〃	(S-85茶土)	18	弥生 甕	37	49-1	004	-	3.2+	-		c					○				刻目2→1
〃	(S-85茶土)	19	弥生 甕	37	49-1	028	-	2.9+	-			b								
〃	(S-85茶土)	20	弥生 甕	37	49-1	023	-	1.6+	-		○					○				
〃	(S-85茶土)	21	弥生 甕	37	49-1	002	-	6.1+	6.90		c									
〃	(S-85茶土)	22	弥生 甕	37	46-2	003	-	3.0+	10.2*			b								
〃	(S-85茶土)	23	弥生 甕	37	49-1	012	-	3.4+	9.6*		c×									
〃	(S-85茶土)	24	弥生 甕	37	49-1	013	-	3.9+	10.2*		a→c									
〃	(S-85茶土)	25	弥生 甕	37		007	-	5.9+	-		a2									刻目2
7SI085茶灰土	(S-85茶灰土)	1	弥生 壷	38	49-2	009	-	2.8+	-											ヘラ描き弧状文
〃	(S-85茶灰土)	2	弥生 甕	38	49-2	008	24.2*	5.8+	-		a×									刻目1
〃	(S-85茶灰土)	3	弥生 甕	38	49-2	002	23.2*	7.5+	-		-									刻目1
〃	(S-85茶灰土)	4	弥生 甕	38	49-2	007	-	5.7+	-		b→c					b→c				刻目1
〃	(S-85茶灰土)	5	弥生 甕	38	49-2	003	-	3.7+	-		c					a				刻目1
〃	(S-85茶灰土)	6	弥生 甕	38	49-2	004	-	2.1+	-		a2→c									刻目1
〃	(S-85茶灰土)	7	弥生 甕	38	49-2	001	-	3.2+	-		c									刻目1
〃	(S-85茶灰土)	8	弥生 甕	38	49-2	006	-	7.0+	-		a2.c									刻目1
〃	(S-85茶灰土)	9	弥生 甕	38	49-2	005	-	6.9+	-		a.a2									刻目1
7SI110茶褐土	(S-110茶褐土)	1	弥生 壷	38	47-2	003	14.00	12.8+	-		○	○				○	○			外口縁部赤色顔料
〃	(S-110茶褐土)	2	弥生 壷	38		042	-	4.2+	-			○					○			短頸壺
〃	(S-110茶褐土)	3	弥生 壷	38		041	-	4.2+	-			○								赤色顔料
〃	(S-110茶褐土)	4	弥生 壷	38		014	-	3.1+	-		○	○				○				口縁端部ハネ上げ
〃	(S-110茶褐土)	5	弥生 壷	38	47-2	002	12.00	17.1+	-		d	○					○			
〃	(S-110茶褐土)	6	弥生 壷	38	47-2	001	22.00	35.90	4.40		d	○					○			

前田7次遺物観察表 (4)

遺構	No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径 cm	高さ cm	底径 cm	外面 たたきめ	外面 なで	外面 はけ	外面 よこはけ	外面 下半けずり	外面 みがき	内面 なで	内面 はけ	内面 けずり	内面 みがき	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SI110茶褐土 (S-110茶褐土)	7	弥生 甕	39		049	39.0*	13.9+	-			○					○			
〃 (S-110茶褐土)	8	弥生 甕	39	47-2	027	22.0*	9.9+	-			○					○			
〃 (S-110茶褐土)	9	弥生 甕	39	47-2	028	-	17.2+	-							工				丸底
〃 (S-110茶褐土)	10	弥生 甕	39		017	22.6*	13.4+	-			○					○			
〃 (S-110茶褐土)	11	弥生 甕	39	47-2	011	16.0*	17.70	-		d	○					○			丸底
〃 (S-110茶褐土)	12	弥生 甕	39		012	13.8*	14.00	-		d	○	○			○	○			丸底
〃 (S-110茶褐土)	13	弥生 甕	39		039	18.4*	5.9+	-	○		○					○			
〃 (S-110茶褐土)	14	弥生 甕	39	47-2	040	16.8*	8.2+	-	○		○					○			
〃 (S-110茶褐土)	15	弥生 甕	40		013	26.0*	9.2+	-			○					○			R-017と接合
〃 (S-110茶褐土)	16	弥生 甕	40		016	-	3.6+	-			○					○			
〃 (S-110茶褐土)	17	弥生 甕	40		015	-	2.0+	-											口縁端部ハネ上げ
〃 (S-110茶褐土)	18	弥生 甕	40		018	-	2.4+	-		○						○			
〃 (S-110茶褐土)	19	弥生 甕	40		052	-	2.6+	-		○	○					○			
〃 (S-110茶褐土)	20	弥生 甕	40		051	-	2.8+	-	○							○			
〃 (S-110茶褐土)	21	弥生 壺	40		019	-	3.0+	-											
〃 (S-110茶褐土)	22	弥生 甕型土器	40		053	-	10.8+	-	○	d					○	○			
〃 (S-110茶褐土)	23	弥生 甕	40		005	-	11.2+	-		d	○					○			丸底
〃 (S-110茶褐土)	24	弥生 甕	40		010	-	9.4+	-		d					○				丸底・内面傷a
〃 (S-110茶褐土)	25	土師 甕	40		055	-	6.9+	-											丸底
〃 (S-110茶褐土)	26	弥生 甕	40		009	-	8.3+	-	○	d	○				○	○			丸底
〃 (S-110茶褐土)	27	土師 甕	40	47-2	006	-	6.9+	-		d	○					○	○		丸底
〃 (S-110茶褐土)	28	古土師 甕	40		054	-	3.4+	-		d						○			丸底
〃 (S-110茶褐土)	29	弥生 壺	40		008	-	5.1+	-		○					○				
〃 (S-110茶褐土)	30	弥生 鉢	41		020	30.4*	10.30	-			○							○	
〃 (S-110茶褐土)	31	弥生 鉢	41	47-2	004	18.20	12.40	-	○		○				工	○			丸底
〃 (S-110茶褐土)	32	弥生 鉢	41	47-2	045	13.1*	5.00	-		○	○		○		○	○			
〃 (S-110茶褐土)	33	弥生 鉢	41		043	-	5.0+	-		○			○			○			
〃 (S-110茶褐土)	34	弥生 鉢	41		046	-	4.2+	-		工			○			○			
〃 (S-110茶褐土)	35	弥生 鉢	41		022	-	2.6+	-								○			
〃 (S-110茶褐土)	36	弥生 鉢	41		044	-	5.4+	-		○					工				外面傷a
〃 (S-110茶褐土)	37	弥生 鉢	41		023	-	3.0+	-		○	○				○	○			
〃 (S-110茶褐土)	38	弥生 脚付鉢	41	47-2	047	-	6.1+	14.7*								○			外来系
〃 (S-110茶褐土)	39	弥生 高坏	41	47-2	029	33.8*	21.90	16.0*						○		○		○	
〃 (S-110茶褐土)	40	弥生 高坏	41		033	-	4.5+	-			○				工			○	
〃 (S-110茶褐土)	41	弥生 高坏	41		030	-	3.8+	-			○			○				○	
〃 (S-110茶褐土)	42	弥生 高坏	41		034	-	2.9+	-						○		○			
〃 (S-110茶褐土)	43	弥生 高坏	41		035	-	2.2+	-											
〃 (S-110茶褐土)	44	弥生 高坏	41		036	-	7.9+	-						○	○				
〃 (S-110茶褐土)	45	弥生 高坏	41		032	-	3.7+	-			○			○					坏部の可能性あり
〃 (S-110茶褐土)	46	弥生 高坏	41		031	-	3.0+	-											坏部の可能性あり
〃 (S-110茶褐土)	47	弥生 器台	42		048	-	13.4+	18.4*	○	工	○					○			

前田7次遺物観察表 (5)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
							cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、*は復原値)
7SI110茶褐土	(S-110茶褐土)	48	弥生 支脚	42		021	-	6.5+	-			○					○			
〃	(S-110茶褐土)	49	弥生 器台	42		025	-	5.5+	-	○							○			
〃	(S-110茶褐土)	50	弥生 器台	42		024	-	4.4+	-		○	○					○			
〃	(S-110茶褐土)	51	弥生 支脚	42		038	-	5.3+	-	○	○						○			上面から穿穴
〃	(S-110茶褐土)	52	弥生 支脚	42		037	-	4.9+	-		工					工				上面から穿穴
〃	(S-110茶褐土)	53	弥生 壷	42		026	-	3.6+	-						○				○	弥生前期
〃	(S-110茶褐土)	54	弥生 甕	42		007	-	2.6+	8.0*		a									弥生前期
〃	(S-110茶褐土)	55	須 坏c3	42		050	-	1.6+	-		○					○				混入か
7SI115暗灰土	(S-115暗灰土)	1	弥生 甕	42		001	-	2.0+	-			○					○			弥生後期
7SI115黒灰土	(S-115黒灰土)	1	弥生 壷	42		001	-	2.3+	-							工	○			弥生後期
7SI215a	(S-215a)	1	弥生 複合口縁壷	42		001	-	2.7+	-							工				弥生後期・赤色顔料
〃	(S-215a)	2	弥生 鉢	42		002	-	4.9+	-		○			○			○			
7SI120暗灰土	(S-120暗灰土)	1	弥生 複合口縁壷	42		018	-	3.8+	-		○	○				○	○			
〃	(S-120暗灰土)	2	弥生 複合口縁壷	42		019	-	2.8+	-											
〃	(S-120暗灰土)	3	弥生 複合口縁壷	42		023	-	2.7+	-			○					○			
〃	(S-120暗灰土)	4	弥生 壷	42		021	-	4.1+	-											高坏の可能性あり
〃	(S-120暗灰土)	5	弥生 壷	42		016	-	6.9+	6.2*											
〃	(S-120暗灰土)	6	弥生 壷	42		014	-	1.7+	7.2*		○	○					○			
〃	(S-120暗灰土)	7	弥生 甕	42		017	-	4.0+	-		○					○				山陰系
〃	(S-120暗灰土)	8	弥生 甕	42		015	-	2.1+	-		○					○				山陰系
〃	(S-120暗灰土)	9	弥生 甕	42		020	-	2.9+	-		○					○				
〃	(S-120暗灰土)	10	弥生 甕	43		010	24.0*	6.5+	-			○				○	○			外面に煤
〃	(S-120暗灰土)	11	弥生 甕	43		026	24.0*	2.4+	-		工					工				
〃	(S-120暗灰土)	12	弥生 甕	43		003	-	4.3+	-			○					○			
〃	(S-120暗灰土)	13	弥生 甕	43		002	-	6.0+	-			○								
〃	(S-120暗灰土)	14	弥生 甕	43		001	-	5.4+	-		工	○				工	○			
〃	(S-120暗灰土)	15	弥生 甕	43		005	-	2.1+	-		工	○				工	○			外面に煤
〃	(S-120暗灰土)	16	弥生 甕	43		007	-	4.9+	-											
〃	(S-120暗灰土)	17	弥生 甕	43		004	-	3.2+	-		工	○					○			
〃	(S-120暗灰土)	18	弥生 甕	43		008	-	3.0+	-		工	○					○			外面に煤
〃	(S-120暗灰土)	19	弥生 甕	43		009	-	5.1+	-	○		○					○			
〃	(S-120暗灰土)	20	弥生 甕	43		006	-	3.9+	-		工	○				○	○			
〃	(S-120暗灰土)	21	弥生 甕	43		011	-	3.1+	7.6*			○								
〃	(S-120暗灰土)	22	弥生 壷	43		013	-	6.1+	10.2*		○	○								
〃	(S-120暗灰土)	23	弥生 甕	43		012	-	4.7+	11.1*			○				○				
〃	(S-120暗灰土)	24	弥生 甕	43		025	-	2.0+	10.0*		○									
〃	(S-120暗灰土)	25	弥生 高坏	43		022	-	5.2+	-		○	○							○	暗文
〃	(S-120暗灰土)	26	弥生 器台	43		024	-	4.9+	18.0*			○					○			
7SI120茶灰土	(S-120茶灰土)	1	弥生 複合口縁壷	43		009	19.6*	6.3+	-											
〃	(S-120茶灰土)	2	弥生 複合口縁壷	43		010	-	5.3+	-			○					○			
〃	(S-120茶灰土)	3	弥生 複合口縁壷	43		015	-	3.6+	-			○					○			

前田7次遺物観察表 (6)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
							cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
7SI120茶灰土	(S-120茶灰土)	4	弥生 壷	43		014	-	2.7+	-							○				暗灰土4に類似
〃	(S-120茶灰土)	5	土師 壷	44		002	-	4.5+	-			○				○	○			
〃	(S-120茶灰土)	6	弥生 壷	44		016	-	6.6+	-		○	○					○			
〃	(S-120茶灰土)	7	弥生 壷	44		001	-	8.1+	-			○					○			外面傷b
〃	(S-120茶灰土)	8	弥生 壷	44		011	-	2.8+	9.1*			○								
〃	(S-120茶灰土)	9	弥生 壷	44		013	-	2.3+	7.1*											
〃	(S-120茶灰土)	10	弥生 壷	44		012	-	4.3+	7.2*		○	○					○			
〃	(S-120茶灰土)	11	弥生 長頸壷	44		024	-	7.5+	-		○	○				○	○			
〃	(S-120茶灰土)	12	弥生 甕	44		018	32.2*	3.8+	-		工	○					○			外面傷a
〃	(S-120茶灰土)	13	弥生 甕	44		017	17.8*	3.6+	-								○			
〃	(S-120茶灰土)	14	弥生 甕	44		019	-	4.2+	-	○	○	○					○			
〃	(S-120茶灰土)	15	弥生 甕	44		020	-	8.6+	-		○	○					○			外面に煤
〃	(S-120茶灰土)	16	弥生 甕	44		005	-	6.0+	-		工						○			外面に煤
〃	(S-120茶灰土)	17	弥生 鉢	44		006	16.0*	6.60	3.1*								○			
〃	(S-120茶灰土)	18	弥生 鉢	44		023	-	7.7+	-	○	○						○			
〃	(S-120茶灰土)	19	弥生 鉢	44		007	-	6.5+	-			○		○		工	○			
〃	(S-120茶灰土)	20	弥生 鉢	44		008	-	6.0+	-								○			
〃	(S-120茶灰土)	21	土師 坏	44		003	-	5.1+	-		○					○				ミニチュア土器
〃	(S-120茶灰土)	22	弥生 鉢	44		021	-	3.4+	-								○			
〃	(S-120茶灰土)	23	弥生 壷	44		004	-	4.4+	-	○	○					○				
〃	(S-120茶灰土)	24	弥生 器台	44		022	-	7.5+	16.6*		○	○				○	○			
7SI120a	(S-120a)	1	弥生 甕	45		001	-	4.0+	-	○	○	○					○			
〃	(S-120a)	2	弥生 鉢	45		002	-	3.0+	-	○	○					○	○			
7SI120b	(S-120b)	1	弥生 甕	45		001	12.9*	10.7+	-		○			○		工	○			
〃	(S-120b)	2	弥生 甕	45		006	22.3*	2.1+	-		工					○	○			外面に煤
〃	(S-120b)	3	弥生 甕	45		007	-	3.4+	-	○	○						○			外面に煤
〃	(S-120b)	4	弥生 甕	45		002	-	4.4+	-		○	○				○	○			
〃	(S-120b)	5	弥生 甕	45		004	-	2.8+	-							○				
〃	(S-120b)	6	弥生 甕	45		005	-	2.5+	-											
〃	(S-120b)	7	弥生 甕	45		003	-	5.9+	5.4*	○						○				
7SI120b灰色土	(S-120b灰色土)	1	弥生 甕	45		001	-	5.0+	-	○		○					○			
〃	(S-120b灰色土)	2	弥生 甕	45		002	-	2.0+	-			b								刻目2・弥生前期
7SI125茶褐土	(S-125茶褐土)	1	弥生 壷	45	50-1	001	-	11.8+	8.0*	○	○	○					○			
〃	(S-125茶褐土)	2	古土師 甕	45	50-1	008	-	8.4+	-				○			○		○		布留式・肩部に横沈線
〃	(S-125茶褐土)	3	古土師 甕	45	50-1	002	21.0*	7.8+	-		工		○			工		○		布留式
〃	(S-125茶褐土)	4	古土師 甕	45		009	-	2.7+	-				○							布留式
〃	(S-125茶褐土)	5	弥生 甕	45		005	24.4*	5.0+	-		○					○				山陰系
〃	(S-125茶褐土)	6	弥生 甕	45	50-1	004	24.3*	4.8+	-		工					○				山陰系
〃	(S-125茶褐土)	7	弥生 甕	45	50-1	003	16.2*	2.9+	-		○					○				
〃	(S-125茶褐土)	8	弥生 高坏	45	50-1	006	-	4.5+	-			○			○		○		○	暗文
〃	(S-125茶褐土)	9	弥生 高坏	45	50-1	007	19.0*	4.3+	-						○	○			○	

前田7次遺物観察表 (7)

遺構	No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
						cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
7SI130灰褐土 (S-130灰褐土)	1	弥生 複合口縁壺	46		006	-	2.6+	-		○					○				
〃 (S-130灰褐土)	2	弥生 複合口縁壺	46		007	-	2.1+	-		○	○					○			
〃 (S-130灰褐土)	3	弥生 甕	46		005	-	3.1+	-		○						○			丸底
〃 (S-130灰褐土)	4	弥生 鉢	46		001	15.8*	4.2+	-		○			○			○			
〃 (S-130灰褐土)	5	弥生 鉢	46		003	-	4.2+	-		○	○			○	○	○		○	
〃 (S-130灰褐土)	6	弥生 高坏	46		002	-	4.2+	-						○				○	暗文
〃 (S-130灰褐土)	7	弥生 高坏	46		004	-	5.0+	-		工					○				
7SI135明茶土 (S-135明茶土)	1	弥生 甕	46		003	-	2.8+	-								○			
〃 (S-135明茶土)	2	弥生 壷	46		002	-	2.2+	5.4*		d					○	○			
〃 (S-135明茶土)	3	弥生 鉢	46		001	-	4.1+	-		○						○			
7SI140灰褐土 (S-140灰褐土)	1	弥生 壷	46	50-2	010	-	2.7+	-						○				○	赤色顔料塗布
〃 (S-140灰褐土)	2	弥生 壷	46	50-2	008	-	2.8+	-						○	○			○	赤色顔料塗布
〃 (S-140灰褐土)	3	弥生 壷	46	50-2	014	-	3.6+	-						○				○	
〃 (S-140灰褐土)	4	弥生 壷	46	50-2	005	-	2.1+	6.0*											
〃 (S-140灰褐土)	5	弥生 壷	46	50-2	009	-	10.2+	-						○	○				ヘラ描弧状文
〃 (S-140灰褐土)	6	弥生 壷	46	50-2	001	-	7.0+	-						○	○				ヘラ描沈線
〃 (S-140灰褐土)	7	弥生 壷	46	50-2	002	-	3.1+	-						○	○				ヘラ描弧状文
〃 (S-140灰褐土)	8	弥生 甕	46	50-2	011	-	1.4+	-							a				
〃 (S-140灰褐土)	9	弥生 甕	46	50-2	004	-	1.4+	-											刻目突帯
〃 (S-140灰褐土)	10	弥生 甕	46	50-2	003	-	3.7+	6.2*		a.c									
〃 (S-140灰褐土)	11	弥生 甕	46	50-2	006	-	5.2+	7.4*		c									
〃 (S-140灰褐土)	12	弥生 甕	46	50-2	012	-	3.5+	7.0*		c									
〃 (S-140灰褐土)	13	弥生 鉢	46	50-2	013	-	4.4+	-						○				○	
〃 (S-140灰褐土)	14	弥生 甕	46	50-2	007	-	2.5+	-		a2									
7SI140黄灰土 (S-140黄灰土)	1	弥生 壷	47	52-1	002	-	3.2+	7.0*											
〃 (S-140黄灰土)	2	弥生 壷	47	52-1	003	-	1.2+	6.0*							○				
〃 (S-140黄灰土)	3	弥生 甕	47	52-1	007	-	2.3+	-		a2									刻目1
〃 (S-140黄灰土)	4	弥生 甕	47	52-1	004	-	3.6+	-		a2					a2				刻目1
〃 (S-140黄灰土)	5	弥生 甕	47	52-1	006	-	3.0+	-		a2									刻目1
〃 (S-140黄灰土)	6	弥生 甕	47	52-1	005	-	4.1+	-		a2					a2				刻目1
〃 (S-140黄灰土)	7	弥生 甕	47	64-2	001	-	22.8+	9.60			b				c				
7SI140暗灰土 (S-140暗灰土)	1	弥生 壷	47	46-2	002	20.6*	18.3+	-						○	c			○	肩部横沈線
〃 (S-140暗灰土)	2	弥生 壷	47		007	-	2.9+	-			b			○				○	
〃 (S-140暗灰土)	3	弥生 壷	47	52-1	005	-	6.8+	12.1*						○				○	
〃 (S-140暗灰土)	4	弥生 壷	47	52-1	003	-	6.3+	-						○	○				内側傷b
〃 (S-140暗灰土)	5	弥生 壷	47		004	-	1.7+	-		○					○				
〃 (S-140暗灰土)	6	弥生 壷	47		008	-	3.5+	-						○					黒色塗布に朱文か？
〃 (S-140暗灰土)	7	弥生 甕	47		006	-	3.1+	-		a2					c				刻目1
〃 (S-140暗灰土)	8	弥生 甕	47	52-1	011	-	7.7+	-			b								刻目突帯文系
〃 (S-140暗灰土)	9	弥生 甕	47		001	-	3.6+	7.1*											
〃 (S-140暗灰土)	10	弥生 甕	47		009	-	4.0+	8.2*		c									

前田7次遺物観察表 (8)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
							cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
7SI140暗灰土	(S-140暗灰土)	11	弥生 甕	47		010	–	10.2+	8.6*											
7SI140茶褐土	(S-140茶褐土)	1	弥生 壷	48	52-2	013	30.0*	6.5+	–										○	
〃	(S-140茶褐土)	2	弥生 壷	48	52-2	011	–	2.4+	–						○					肩部ヘラ描き横沈線
〃	(S-140茶褐土)	3	弥生 壷	48	52-2	010	–	2.3+	–						○	○				肩部ヘラ描き横沈線・赤色顔料塗布
〃	(S-140茶褐土)	4	弥生 壷	48	52-2	001	–	2.7+	–						○	○				ヘラ描き弧状文
〃	(S-140茶褐土)	5	弥生 壷	48	52-2	002	–	3.7+	–						○	○				ヘラ描き弧状文
〃	(S-140茶褐土)	6	弥生 壷	48	52-2	012	–	3.1+	11.0*						○					
〃	(S-140茶褐土)	7	弥生 甕	48	52-2	006	–	6.2+	–		a2.c									刻目2
〃	(S-140茶褐土)	8	弥生 甕	48	52-2	007	–	4.7+	–		–					b				刻目2
〃	(S-140茶褐土)	9	弥生 甕	48	52-2	008	–	2.1+	–		a2					○				刻目1
〃	(S-140茶褐土)	10	弥生 甕	48	52-2	003	–	9.0+	8.4*			b				○				
〃	(S-140茶褐土)	11	弥生 甕	48		004	–	4.0+	–							○				
〃	(S-140茶褐土)	12	弥生 甕	48		005	–	3.7+	–		c									
〃	(S-140茶褐土)	13	弥生 高坏	48	52-2	009	–	4.4+	–			b			○					
7SI140灰粘	(S-140灰粘)	1	弥生 壷	48	54-1	009	8.2*	1.4+	–						○					赤色顔料残存
〃	(S-140灰粘)	2	弥生 壷	48	54-1	008	–	2.8+	–						○				○	
〃	(S-140灰粘)	3	弥生 壷	48	54-1	012	–	4.8+	13.8*		○					○				
〃	(S-140灰粘)	4	弥生 壷	48	54-1	002	–	4.3+	10.5*						○					
〃	(S-140灰粘)	5	弥生 壷	48	54-1	010	–	2.8+	–						○	○				ヘラ描き弧状沈線
〃	(S-140灰粘)	6	弥生 壷	48	54-1	003	–	3.4+	–						○	○				ヘラ描き弧状沈線
〃	(S-140灰粘)	7	弥生 甕	48	54-1	006	21.2*	10.3+	–			b								刻目3
〃	(S-140灰粘)	8	弥生 甕	48		007	–	2.2+	–		c					○				刻目1
〃	(S-140灰粘)	9	弥生 甕	48	54-1	011	–	7.7+	7.9*			b				○				上底状
〃	(S-140灰粘)	10	弥生 甕	48		013	–	4.9+	8.2*		a→c									
〃	(S-140灰粘)	11	弥生 甕	48		004	–	3.5+	–											
〃	(S-140灰粘)	12	弥生 甕	48	54-1	001	–	5.9+	8.0*		c									上底状
〃	(S-140灰粘)	13	弥生 甕	48		005	–	3.0+	–		c									
7SI140a	(S-140a)	1	弥生 壷	49		001	19.0*	5.2+	–						○				○	赤色顔料塗布
〃	(S-140a)	2	弥生 壷	49		002	–	2.2+	–						○	○				ヘラ描弧状沈線
7SI150茶褐土	(S-150茶褐土)	1	弥生 壷	49		009	–	4.7+	–						○	○	○			
〃	(S-150)	2	古土師 長頸壷	49	57-1	001	–	6.1+	3.00						○	○	○			丸底・ソロバン玉型
〃	(S-150茶褐土)	3	弥生 壷	49	57-1	001	–	4.8+	10.0*		○					○	○			
〃	(S-150茶褐土)	4	弥生 壷	49		003	–	3.3+	–		工	○					○			
〃	(S-150茶褐土)	5	弥生 壷	49		002	–	4.9+	–		○					○				
〃	(S-150茶褐土)	6	弥生 壷	49		004	–	1.1+	2.6*	○	○						○			機内V様式系
〃	(S-150茶褐土)	7	弥生 甕	49		008	–	4.3+	–		○	○				工				
〃	(S-150茶褐土)	8	弥生 鉢	49	57-1	010	13.8*	7.00	3.9*		○	○				工			○	
〃	(S-150茶褐土)	9	弥生 器台	49		007	11.8*	4.4+	–		○	○				○	○			
〃	(S-150茶褐土)	10	弥生 壷	49		005	–	2.2+	–											弥生前期
〃	(S-150茶褐土)	11	弥生 甕	49		006	–	3.0+	–		c					b2				弥生前期・刻目1
7SI155茶褐土	(S-155茶褐土)	1	弥生 壷	49		001	–	3.3+	–										○	弥生前期

前田7次遺物観察表 (9)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
							cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
7SI160黒色土	(S-160黒色土)	1	弥生 複合口縁壺	49		005	-	3.0+	-		工	○				工	○			
〃	(S-160黒色土)	2	弥生 壷	49		001	-	5.2+	5.9*			○				工				
〃	(S-160黒色土)	3	弥生 甕	49		004	-	2.3+	-		○	○				工				
〃	(S-160黒色土)	4	弥生 鉢	49		006	-	3.4+	-		○					○				
〃	(S-160黒色土)	5	弥生 坏	49		002	7.2*	2.70	-											手捏ね
〃	(S-160黒色土)	6	弥生 甕	49		003	-	3.0+	-											弥生前期・刻目1
7SI175茶灰土	(S-175茶灰土)	1	弥生 鉢	50	57-1	001	15.6*	7.7+	-			○		○		○	○			
〃	(S-175茶灰土)	2	弥生 鉢	50		002	-	4.7+	-		○	○					○			
〃	(S-175茶灰土)	3	弥生 坏	50	57-1	003	14.2*	4.0+	-		○	○			○	○			○	アワビ貝型・煤付
〃	(S-175茶灰土)	4	弥生 高坏	50		004	-	3.3+	-		○	○					○		○	坏部の可能性あり・傷a
〃	(S-175茶灰土)	5	弥生 高坏	50		005	-	5.3+	-			○			○		○			赤色顔料
7SI175炭層	(S-175炭層)	1	弥生 壷	50		004	-	5.3+	-		○				○				○	鉢の可能性あり
〃	(S-175炭層)	2	弥生 甕	50	57-1	001	22.8*	31.9+	-	○	d	○					○			
〃	(S-175炭層)	3	弥生 甕	50		002	-	1.8+	-		○	○				○	○			
〃	(S-175炭層)	4	弥生 鉢	50		003	22.8*	8.4+	-		○	○					○			赤色顔料
〃	(S-175炭層)	5	弥生 高坏	50	57-1	006	-	7.4+	12.4*	○		○				○	○			
〃	(S-175炭層)	6	弥生 高坏	50		005	-	4.0+	-		工					○			○	ミガキは暗文
〃	(S-175炭層)	7	弥生 甕	50	57-1	007	18.0*	10.2+	-		a2.c	b				c	b			弥生前期・刻目1
7SI179	(S-179)	1	土師器 小型丸底壷	49		001	-	2.9+	-		○				○					
7SI190茶粘	(S-190茶粘)	1	弥生 甕	51		001	-	2.0+	-		a2					a2				刻目1
〃	(S-190茶粘)	2	弥生 鉢	51		002	-	3.3+	-		a	b				a				口縁屈曲型
7SI95黒灰土	(S-195黒灰土)	1	弥生 高坏	51		006	-	4.8+	-						○	○				
〃	(S-195黒灰土)	1	弥生 高坏	51		005	-	3.5+	17.2*		○	○					○			
〃	(S-195黒灰土)	2	弥生 壷	51		002	-	3.6+	-						○	工				
〃	(S-195黒灰土)	3	弥生 鉢	51		004	-	5.9+	-			○				○	○			
〃	(S-195黒灰土)	4	弥生 甕	51		001	-	3.2+	-			○					○			口縁端部跳ね上げ
〃	(S-195黒灰土)	5	弥生 壷	51		003	-	3.9+	-											
〃	(S-195黒灰土)	6	弥生 高坏	51		008	-	2.1+	-		○								○	
〃	(S-195黒灰土)	7	弥生 高坏	51		007	-	3.1+	-			○			○				○	ミガキは暗文
7SI205黒灰土	(S-205黒灰土)	1	弥生 複合口縁壺	51		001	22.0*	6.4+	-			○				○	○			
〃	(S-205黒灰土)	2	弥生 甕	51		006	-	3.9+	-		○					○	○			
〃	(S-205黒灰土)	3	弥生 壷	51		005	-	4.1+	-		工						○			
〃	(S-205黒灰土)	4	弥生 壷	51		003	-	4.9+	6.4*		工					工				
〃	(S-205黒灰土)	5	弥生 甕	51		008	-	9.8+	-	○							○			
〃	(S-205黒灰土)	6	弥生 坏	51		004	-	2.8+	-		○			○					○	
〃	(S-205黒灰土)	7	弥生 坏	51		007	-	3.4+	-		○								○	
〃	(S-205黒灰土)	8	弥生 鉢	51		002	17.4*	4.9+	-		○			○			○			
7SK021茶灰土	(S-21茶灰土)	1	弥生 壷	53	57-2	006	12.4*	6.4+	-						○				○	口縁外面段なし
〃	(S-21茶灰土)	2	弥生 壷	53	57-2	010	-	5.2+	-											大型
〃	(S-21茶灰土)	3	弥生 壷	53	57-2	009	-	3.9+	-		a								○	中型
〃	(S-21茶灰土)	4	弥生 壷	53	57-2	007	-	4.8+	-		a				○				○	

前田7次遺物観察表 (10)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
							cm	cm	cm	たたき	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
7SK021茶灰土	(S-21)	5	弥生 甕	53		001	-	1.5+	-											
〃	(S-21 I' 層)	6	弥生 壷	53	57-2	001	-	2.1+	-											Ib層
〃	(S-21 I層)	7	弥生 壷	53	57-2	001	-	1.5+	8.3*											Ia層(灰黒褐土層)
〃	(S-21)	8	弥生 壷	53	57-2	002	-	1.5+	-						○					器面黒色化
〃	(S-21茶灰土)	9	弥生 甕	53	57-2	001	23.6*	9.6+	-											胴部屈曲・刻目2
〃	(S-21茶灰土)	10	弥生 甕	53		002	24.6*	27.00	8.2*		a2.c	b				a2				刻目1
〃	(S-21茶灰土)	11	弥生 甕	53	57-2	004	-	5.3+	7.5*			b				○				
〃	(S-21)	12	弥生 甕	53		004	-	7.2+	7.2*		c									
〃	(S-21茶灰土)	13	弥生 甕	53	57-2	003	-	3.1+	7.5*			b								
〃	(S-21茶灰土)	14	弥生 甕	53	57-2	005	-	1.8+	-											刻目2
〃	(S-21茶灰土)	15	弥生 鉢	53	57-2	012	-	2.2+	-						○	○			○	
〃	(S-21茶灰土)	16	弥生 鉢	53	57-2	008	32.0*	5.1+	-		a								○	
〃	(S-21)	17	弥生 鉢	53		003	-	3.1+	-											
〃	(S-21茶灰土)	18	弥生 壷	53	57-2	011	-	3.0+	4.2*		a					c				
7SK021灰色細砂	(S-21灰色細砂)	1	弥生 甕	54	59-1	001	23.0*	4.7+	-		b2.c					b2				刻目1
〃	(S-21灰色細砂)	2	弥生 甕	54	59-1	002	-	1.1+	-											刻目2
7SK021黒褐土	(S-21黒褐土)	1	弥生 甕	54	59-1	001	-	2.0+	-		a					a2				刻目2
7SK021黒灰土	(S-21黒灰土)	1	弥生 壷	54	59-1	001	-	4.8+	-		a									大型
7SK021黒色粘土	(S-21黒色粘土)	1	弥生 壷	54	59-1	003	-	3.5+	-											大型
〃	(S-21黒色粘土)	2	弥生 甕	54	59-1	001	22.4*	7.6+	-		a2.a					c	b			刻目1・外面aは横
〃	(S-21黒色粘土)	3	弥生 甕	54	59-1	004	-	1.2+	-											壷の可能性あり
〃	(S-21黒色粘土)	4	弥生 甕	54	59-1	002	-	4.4+	8.6*		a					○				
7SK021橙茶土	(S-21橙茶土)	1	弥生 壷	54	59-2	010	-	5.1+	-											
〃	(S-21橙茶土)	2	弥生 壷	54	59-2	004	-	2.5+	-						○				○	赤色顔料塗布
〃	(S-21橙茶土)	3	弥生 壷	54	59-2	002	-	2.7+	7.0*						○	○				
〃	(S-21橙茶土)	4	弥生 甕	54	59-2	006	-	7.5+	-							a				刻目1
〃	(S-21橙茶土)	5	弥生 甕	54	59-2	007	-	2.0+	-							a2				刻目1
〃	(S-21橙茶土)	6	弥生 甕	54	59-2	005	-	2.7+	-											刻目1
〃	(S-21橙茶土)	7	弥生 甕	54	59-2	008	-	5.5+	9.2*											底部に葉脈痕跡
〃	(S-21橙茶土)	8	弥生 鉢	54	59-2	003	-	5.6+	-											
〃	(S-21橙茶土)	9	弥生 鉢	54	59-2	009	15.4*	5.6+	-		a2				○	a2			○	
〃	(S-21橙茶土)	10	弥生 高坏	54	59-2	001	-	7.6+	-							c				
7SK022明茶褐土	(S-22明茶褐土)	1	弥生 壷	55		001	-	2.2+	10.2*											中型
7SK025暗茶土	(S-25暗茶土)	1	弥生 甕	55	61-1	003	-	6.0+	-											刻目1
〃	(S-25暗茶土)	2	弥生 甕	55	61-1	002	-	7.2+	-											刻目1
〃	(S-25暗茶土)	3	弥生 甕	55	61-1	004	-	3.6+	-		c									1～3胎土は酷似
〃	(S-25暗茶土)	4	弥生 甕	55		001	-	6.7+	7.8*											
7SK025明茶褐土	(S-25明茶褐土)	1	弥生 甕	55		001	-	5.8+	-											
7SK025黒灰土	(S-25黒灰土)	1	弥生 壷	55	61-1	002	-	3.7+	-						○				○	
〃	(S-25黒灰土)	2	弥生 甕	55	61-1	001	24.9*	5.7+	-		a2	b					b			刻目2
〃	(S-25黒灰土)	3	弥生 甕	55	61-1	005	-	5.2+	-		a2	b								刻目2・bは幅広

前田7次遺物観察表 (11)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
							cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
7SK025黒灰土	(S-25黒灰土)	4	弥生 甕	55	61-1	003	–	2.9+	–		b2.c									刻目1
〃	(S-25黒灰土)	5	弥生 甕	55	61-1	004	–	6.6+	8.0*											
7SK040暗茶褐土	(S-40暗茶褐土)	1	弥生 壷	56	63-1	011	30.5*	20+	–		a				○	c			○	赤色顔料塗布
〃	(S-40暗茶褐土)	2	弥生 壷	56	64-2	007	14.2*	8.0+	–						○				○	口縁下沈線・傷a
〃	(S-40暗茶褐土)	3	弥生 壷	56	63-1	008	–	3.8+	–						○				○	
〃	(S-40暗茶褐土)	4	弥生 壷	56	63-1	005	–	3.6+	–						○	○				焼成により黒色化
〃	(S-40暗茶褐土)	5	弥生 壷	56	63-1	006	–	1.4+	–		工				○	○				
〃	(S-40暗茶褐土)	6	弥生 壷	56	63-1	003	–	1.6+	–							○				円盤状底ではない
〃	(S-40暗茶褐土)	7	弥生 甕	56		001	–	4.3+	–			b				a2				刻目1
〃	(S-40暗茶褐土)	8	弥生 甕	56	63-1	010	–	6.7+	–							a2				刻目1
〃	(S-40暗茶褐土)	9	弥生 甕	56	63-1	002	–	6.6+	–											刻目1
〃	(S-40暗茶褐土)	10	弥生 甕	56		004	–	4.1+	–											刻目1
〃	(S-40暗茶褐土)	11	弥生 高坏	56	63-1	009	–	1.0+	–											鋤先状口縁
7SK040黒灰茶褐土	(S-40黒灰茶褐土)	1	弥生 甕	56		001	–	3.4+	–											刻目2
7SK040明茶褐土	(S-40黄褐土)	1	弥生 壷	56		001	23.0*	7.6+	–						○	a			○	
〃	(S-40明茶褐土)	2	弥生 壷	56		001	–	2.3+	–										○	
〃	(S-40黄褐土)	3	弥生 甕	56		003	–	4.1+	–			b								刻目2・ハケは横
〃	(S-40黄褐土)	4	弥生 甕	56		005	–	4.3+	8.0*		c									
〃	(S-40黄褐土)	5	弥生 甕	56		004	–	4.8+	–											
7SK068黒褐土	(S-68黒褐土)	1	弥生 壷	57	65-1	004	–	3.5+	–		a								○	
〃	(S-68黒褐土)	2	弥生 壷	57	65-1	005	–	1.9+	–		a				○				○	
〃	(S-68黒褐土)	3	弥生 甕	57	65-1	003	–	1.6+	–		a2.a					a2				刻目1
〃	(S-68黒褐土)	4	弥生 甕	57	65-1	002	–	4.0+	–			b								刻目2
〃	(S-68黒褐土)	5	弥生 甕	57	65-1	001	–	3.8+	8.6*		a									
7SK068暗茶褐土	(S-68暗茶褐土)	1	弥生 壷	57	64-2	007	14.30	30.10	8.10		c				○	c	b		○	頸部に3条沈線
〃	(S-68暗茶褐土)	2	弥生 壷	57	64-2	005	–	7.7+	5.60			○			○	a				肩部に羽状の朱文
〃	(S-68暗茶褐土)	3	弥生 壷	57	65-1	004	–	1.3+	–						○				○	
〃	(S-68暗茶褐土)	4	弥生 甕	57	65-1	002	–	5.3+	–		c					○				刻目2
〃	(S-68暗茶褐土)	5	弥生 甕	57	65-1	001	–	2.8+	8.0*											刷痕あり
〃	(S-68暗茶褐土)	6	縄文 浅鉢	57	65-1	006	–	2.6+	–						○				○	
〃	(S-68暗茶褐土)	7	縄文 押型文土器	57	65-1	003	–	4.4+	–											楕円+山形文
7SK068暗黄土	(S-68暗黄土)	1	弥生 甕	57	66-1	001	–	4.3+	–			b					b			刻目2
〃	(S-68暗黄土)	2	弥生 甕	57	66-1	002	–	3.2+	–		c									底は幅広の輪高台状
7SK068暗黄褐土	(S-68暗黄褐土)	1	弥生 壷	58	66-2	004	–	4.5+	–										○	大型
〃	(S-68暗黄褐土)	2	弥生 壷	58	66-1	007	–	3.5+	11.5*						○	○				刷痕6つあり・89一2別にあり
〃	(S-68暗黄褐土)	3	弥生 壷	58	66-2	009	–	3.2+	10.8*											輪高台状・傷a
〃	(S-68暗黄褐土)	4	弥生 甕	58	66-1	001	22.0*	12.9+	–		b2.c					○				刻目2
〃	(S-68暗黄褐土)	5	弥生 甕	58	66-1	010	–	6.0+	–			b				○	b			刻目2
〃	(S-68暗黄褐土)	6	弥生 甕	58	66-2	008	–	7.4+	–		a2.c									刻目2
〃	(S-68暗黄褐土)	7	弥生 甕	58	66-2	002	–	5.5+	7.5*			b								
〃	(S-68暗黄褐土)	8	弥生 甕	58	66-2	006	–	4.4+	8.0*		a×c									

前田7次遺物観察表 (12)

遺構		No.	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径 cm	高さ cm	底径 cm	外面 たたきめ	外面 なで	外面 はけ	外面 よこはけ	外面 下半けずり	外面 みがき	内面 なで	内面 はけ	内面 けずり	内面 みがき	備考 (+は欠損、*は復原値)
7SK068暗黄褐土	(S-68暗黄褐土)	9	弥生 甕	58	66-2	003	-	3.7+	6.7*		c									
〃	(S-68暗黄褐土)	10	弥生 甕	58	66-2	005	-	3.6+	10.0*		a									輪高台状
7SK080茶褐土	(S-80茶褐土)	1	弥生 甕	58	67-1	002	18.7*	5.0+	-		b→c									刻目1
〃	(S-80茶褐土)	2	弥生 甕	58	67-1	001	-	7.0+	7.0*			b								輪高台状
〃	(S-80茶褐土)	3	須 蓋c	58	67-1	003	-	1.5+	-		○					○				混入・筒状
7SK090黒灰土	(S-90黒灰土)	1	土師 甕	58		003	15.3*	9.8+	-		工	○				工				布留式系
〃	(S-90黒灰土)	2	弥生 壷	58		001	-	4.4+	-						○					弥生前期
〃	(S-90黒灰土)	3	弥生 壷	58		002	-	4.2+	-											弥生前期
〃	(S-90黒灰土)	4	弥生 鉢	58		004	-	4.1+	-		工				○				○	弥生前期・内面漆黒色
7SK105茶褐土	(S-105)	1	須 蓋3	59		003	-	1.5+	-		○					○				ナデは回転利用のもの
〃	(S-105)	2	須 坏c	59	68-1	001	11.60	4.20	9.80		○			×		○				
〃	(S-105)	3	須 坏c	59	68-1	002	9.6*	3.50	6.70		○			×		○				
〃	(S-105茶褐土)	4	須 鉢b	59	68-1	001	27.0*	16.30	13.4*		○			○		○				ケズリは1/3以下
〃	(S-105)	5	土製品 焼土塊	59	68-2	004	3.70	3.50	2.00											植物繊維入り
〃	(S-105)	6	土製品 焼土塊	59	68-2	005	3.20	2.90	1.80											植物繊維入り
7SK105暗茶褐土	(S-105暗茶褐土)	1	須 坏c3	59	68-1	003	12.8*	4.30	9.30		○			×		○				
〃	(S-105暗茶褐土)	2	須 坏c3	59	68-1	004	13.6*	4.60	9.6*		○					○				外底もナデ
〃	(S-105暗茶褐土)	3	土師 坏c	59		002	-	1.3+	11.6*											皿の可能性もあり
〃	(S-105暗茶褐土)	4	土師 坏c	59	68-1	006	14.10	3.20	10.40		○				○					外底中央はヘラ切りのまま
〃	(S-105暗茶褐土)	5	須 蓋3	59		005	-	1.1+	11.2*		○					○				
〃	(S-105暗茶褐土)	6	須 甕	59		007	-	18.2+	-	○										外面櫛描文
〃	(S-105暗茶褐土)	7	土製品 とりべ	59	68-2	001	6.8*	1.8+	-											
〃	(S-105暗茶褐土)	8	金属 釘	59	85-2	008	3.80	1.00	1.10											
7SK141黒灰粘	(S-141)	1	須 蓋c3	60	67-2	010	-	3.00	14.50		○					○				ヘラ切りのまま
〃	(S-141)	2	須 坏c	60	67-2	004	14.70	4.40	10.20		○					○				
〃	(S-141)	3	須 坏c	60	67-2	003	11.3*	3.80	7.3*		○					○				
〃	(S-141)	4	須 坏c	60	67-2	007	13.30	4.10	9.50		○					○				外底ヘラ切りのまま
〃	(S-141)	5	須 皿c	60	67-2	001	27.10	4.80	20.40		○					○				底部回転ヘラケズリ
〃	(S-141)	6	須 皿a	60	67-2	002	13.0*	1.80	9.0*		○					○				外底に螺旋あり
〃	(S-141)	7	須 高坏b	60		006	26.20	1.9+	-		○									
〃	(S-141)	8	須 甕	60		009	-	5.5+	-	○									○	
〃	(S-141)	9	土師 甕a	60	67-2	008	32.8*	15.9+	-		○	○						○		
〃	(S-141)	10	土師 甕a	60		005	-	7.6+	7.0*			○						○		
〃	(S-141黒灰粘)	11	須 大坏c	60		045	18.6*	5.30	14.5*		○					○				
〃	(S-141黒灰粘)	12	須 坏c	60		044	16.2*	3.50	11.3*		○					○				
〃	(S-141黒灰粘)	13	須 大坏c	60		007	-	3.3+	12.7*		○					○				
〃	(S-141黒灰粘)	14	須 坏c3	60	67-2	003	14.30	3.80	10.00		○					○				外底ヘラ切りのまま
〃	(S-141黒灰粘)	15	土師 坏c	60		043	-	1.3+	11.3*		○					○				
〃	(S-141黒灰粘)	16	土師 坏c(ヘラ)	60		041	-	1.7+	9.7*		○					○				外底ヘラ切りのまま
〃	(S-141黒灰粘)	17	須 坏c3	60		031	11.7*	3.00	9.1*		○					○				
〃	(S-141黒灰粘)	18	須 坏c	60		001	-	2.4+	8.50		○					○				外底ヘラ切りのまま

前田7次遺物観察表 (13)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径 cm	高さ cm	底径 cm	外面 たたきめ	外面 なで	外面 はけ	外面 よこはけ	外面 下半けずり	外面 みがき	内面 なで	内面 はけ	内面 けずり	内面 みがき	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SK141黒灰粘	(S-141黒灰粘)	19	土師 坏c3	60		042	–	1.5+	11.6*		○					○				
〃	(S-141黒灰粘)	20	須 坏c(高台)	60		016	–	1.8+	–		○					○				壷の可能性あり
〃	(S-141黒灰粘)	21	須 蓋c3	61	67-2	002	15.80	1.80			○					○				ヘラ切りのまま
〃	(S-141黒灰粘)	22	須 蓋3	61		019	14.6*	2.1+			○					○				一部回転ヘラケズリ
〃	(S-141黒灰粘)	23	須 蓋3	61		037	16.5*	1.3+			○					○				
〃	(S-141黒灰粘)	24	須 蓋3	61		024	14.0*	1.1+			○					○				ヘラ切り→ナデ
〃	(S-141黒灰粘)	25	須 蓋3	61		018	16.8*	1.5+			○					○				ヘラ切り→ナデ
〃	(S-141黒灰粘)	26	須 蓋3	61		020	16.0*	1.0+			○					○				一部回転ヘラケズリ
〃	(S-141黒灰粘)	27	土師 蓋3	61		038	16.6*	1.0+			○					○				
〃	(S-141黒灰粘)	28	須 蓋3	61		025	13.2*	0.8+			○					○				
〃	(S-141黒灰粘)	29	須 蓋c3	61		022	13.0*	1.8+			○					○				一部回転ヘラケズリ
〃	(S-141黒灰粘)	30	須 蓋3	61		023	13.6*	1.7+			○					○				
〃	(S-141黒灰粘)	31	須 蓋3	61		017	15.8*	1.1+			○					○				ヘラ切りのまま
〃	(S-141黒灰粘)	32	土師 蓋c3	61		036	15.4*	1.7+			○					○				
〃	(S-141黒灰粘)	33	土師 蓋3	61		035	16.0*	1.8+			○					○				
〃	(S-141黒灰粘)	34	須 蓋1	61		029	–	1.1+			○					○				小壷
〃	(S-141黒灰粘)	35	須 蓋3	61		026	–	1.2+			○					○				
〃	(S-141黒灰粘)	36	土師 蓋2	61		040	–	2.1+			○					○				一部回転ヘラケズリ
〃	(S-141黒灰粘)	37	須 蓋3	61		039	–	1.4+			○					○				
〃	(S-141黒灰粘)	38	須 蓋3	61		027	–	1.0+			○					○				
〃	(S-141黒灰粘)	39	須 蓋3	61		028	–	1.3+			○					○				
〃	(S-141黒灰粘)	40	須 Ⅲa	61	67-2	004	19.20	2.70	15.80		○					○				ヘラ切りのまま
〃	(S-141黒灰粘)	41	須 壷	61		005	–	4.9+	–		○					○				貼付朱文あり
〃	(S-141黒灰粘)	42	須 長頸壷	61		032	12.4*	2.3+	–		○					○				
〃	(S-141黒灰粘)	43	須 甕	61		034	–	4.3+	–	○										器面は赤褐色
〃	(S-141黒灰粘)	44	須 鉢b	61		015	–	3.2+	–		○			○		○				
〃	(S-141黒灰粘)	45	須 鉢b	61		014	–	7.8+	–		○			○	○	○				
〃	(S-141黒灰粘)	46	土師 甕	61		006	29.0*	7.1+	–		○	○						○		
〃	(S-141黒灰粘)	47	土師 甕a	61		012	–	4.0+	–		○	○				○		○		
〃	(S-141黒灰粘)	48	土師 甕a	61		013	–	2.7+	–		○	○				○		○		
〃	(S-141黒灰粘)	49	土師 甕d	61		008	–	2.6+	–		○	○				○		○		小型
〃	(S-141黒灰粘)	50	土師 焼塩壷I	61		011	–	4.3+	–		○									内面に布目痕
〃	(S-141黒灰粘)	51	土師 焼塩壷II-b	61		009	–	4.1+	–											淡橙色
〃	(S-141黒灰粘)	52	土師 焼塩壷II-b	61		010	–	3.8+	–											淡橙色
7SK141黒灰土	(S-141黒灰土)	1	須 蓋3	62		005	14.3*	2.2+			○					○				ヘラ切り後ナデ
〃	(S-141黒灰土)	2	須 蓋3	62		008	14.0*	1.4+			○					○				ヘラ切りのまま
〃	(S-141黒灰土)	3	須 蓋3	62		009	13.5*	1.2+			○					○				
〃	(S-141黒灰土)	4	須 蓋3	62		022	13.4*	2.3+			○					○				
〃	(S-141黒灰土)	5	須 蓋3	62		002	11.2*	3.1+			○					○				ヘラ切り後ナデ
〃	(S-141黒灰土)	6	須 大坏	62		011	16.8*	4.1+	–		○					○				
〃	(S-141黒灰土)	7	須 坏	62		010	14.5*	4.2+	10.1*		○					○				

前田7次遺物観察表 (14)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径 cm	高さ cm	底径 cm	外面 たたきめ	外面 なで	外面 はけ	外面 よこはけ	外面 下半けずり	外面 みがき	内面 なで	内面 はけ	内面 けずり	内面 みがき	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SK141黒灰土	(S-141黒灰土)	8	須 中坏	62		020	15.2*	5.1+	11.9*		○					○				
〃	(S-141黒灰土)	9	須 坏c	62		012	-	1.9+	9.0*		○					○				
〃	(S-141黒灰土)	10	須 坏c	62		013	-	1.2+	6.8*		○					○				
〃	(S-141黒灰土)	11	須 坏c	62		021	-	1.0+	-											ヘラ切り後ナデ
〃	(S-141黒灰土)	12	須 坏c	62	67-2	001	9.6*	6.20	5.0*		○					○				
〃	(S-141黒灰土)	13	須 大坏c3	62		006	-	3.2+	11.4*		○					○				高台は内寄り
〃	(S-141黒灰土)	14	須 坏c3	62		003	-	2.9+	8.3*		○					○				
〃	(S-141黒灰土)	15	須 高坏b	62		007	20.8*	3.1+	-		○					○		○		
〃	(S-141黒灰土)	16	須 鉢b	62		018	-	4.1+	-		○					○		○		
〃	(S-141黒灰土)	17	土師 甕a	62		014	15.0*	6.0+	-		○	○				○		○		
〃	(S-141黒灰土)	18	土師 甕	62		004	-	3.9+	-		○	○				工	○			
〃	(S-141黒灰土)	19	土師 甕a	62		015	-	3.0+	-			○				○	○	○		
〃	(S-141黒灰土)	20	土師 甕	62		019	-	1.2+	5.8*		○									
〃	(S-141黒灰土)	21	土師 焼塩壺I×	62		017	-	6.2+	-							○				
〃	(S-141黒灰土)	22	土師 焼塩壺I×	62		016	-	5.1+	-							○				
7SK141黒灰砂	(S-141黒灰砂)	1	須 蓋c3	62	67-2	002	16.0*	1.10	-		○					○				一部回転ヘラケズリ
〃	(S-141黒灰砂)	2	須 蓋c3	62	67-2	003	15.0*	1.50	-		○					○				ヘラ切りのまま
〃	(S-141黒灰砂)	3	須 蓋3	62		005	15.8*	2.0+	-		○					○				一部回転ヘラケズリ
〃	(S-141黒灰砂)	4	須 蓋3	62		006	15.8*	2.3+	-		○					○				一部回転ヘラケズリ
〃	(S-141黒灰砂)	5	須 坏c3	62		004	-	2.5+	8.1*		○					○				
〃	(S-141黒灰砂)	6	須 壺b	62		011	-	6.3+	-							○				茶褐色で硬質
〃	(S-141黒灰砂)	7	土師 甕a	62		009	-	3.5+	-		○	○				○		○		
〃	(S-141黒灰砂)	8	土師 甕	62		008	-	4.1+	-		○	○				○		○		
〃	(S-141黒灰砂)	9	土師 甕a	62		001	28.0*	9.1+	-		○	○				○		○		
〃	(S-141黒灰砂)	10	土師 甕	62		007	-	8.8+	-			○						○		
〃	(S-141黒灰砂)	11	土師 高坏	62		010	-	3.9+	-											外面脚部に面取り
7SK145茶灰土	(S-145茶灰土)	1	弥生 壺	64	69-1	001	-	7.0+	-		a				○	○				赤色顔料塗布
〃	(S-145茶灰土)	2	弥生 壺	64	69-1	002	-	4.5+	-						○		○		○	端部に沈線・赤色顔料塗布
〃	(S-145茶灰土)	3	弥生 甕	64	69-1	006	-	13.4+	-		a2	b				○				刻目1
〃	(S-145茶灰土)	4	弥生 甕	64	69-1	005	-	9.8+	-		a2	b→c				a2				刻目1b→c典型例
〃	(S-145茶灰土)	5	弥生 甕	64	69-1	007	-	6.6+	-											刻目1
〃	(S-145)	6	弥生 甕(甑)	64	71-1	001	-	26.1+	8.00		b→c					a				焼成後穿穴・内底工具痕あり
〃	(S-145)	7	弥生 甕	64		002	-	4.6+	8.2*			b								
〃	(S-145茶灰土)	8	弥生 甕	64	69-1	004	-	5.7+	-		c						b			
〃	(S-145茶灰土)	9	弥生 甕	64		003	-	2.8+	-											
7SK145黒灰土	(S-145黒灰土)	1	弥生 甕	64	71-1	001	22.40	16.5+	-		a					a				2と同一個体・刻目2・aは横
〃	(S-145黒灰土)	2	弥生 甕	64	71-1	002	-	10.5+	8.10		a→c					a2.a				
〃	(S-145黒灰土)	3	弥生 甕	64	69-2	007	-	2.6+	7.8*		c					c				
〃	(S-145黒灰土)	4	弥生 壺	64	69-2	004	-	3.1+	7.6*						○				○	赤色顔料塗布
〃	(S-145黒灰土)	5	弥生 甕	64	69-2	005	-	4.9+	8.0*		c									
〃	(S-145黒灰土)	6	弥生 甕	64	69-2	006	-	4.1+	7.8*		a									aの小口痕あり

前田7次遺物観察表 (15)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
							cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
7SK145黒灰土	(S-145黒灰土)	7	弥生 高坏	64		003	–	19.8+	18.00						○	○脚部			○坏部	三角文・横線等朱文あり
〃	(S-145黒灰土)	8	縄文 精製鉢	64	69-2	008	–	3.6+	–						○				○	
7SK145黄灰土	(S-145黄灰土)	1	弥生 甕	65	71-2	001	–	4.5+	8.2*		c									
7SK145黄色土	(S-145黄色土)	1	弥生 高坏	65		001	–	0.9+	–											鋤先状口縁
7SK145暗灰土	(S-145暗灰土)	1	弥生 壷	65	71-2	002	–	15.0+	–						○	b→c				丸い重弧文
〃	(S-145暗灰土)	2	弥生 甕	65	71-1	001	19.6*	10.3+	–		a2	b				b				刻目1
7SK168茶粘	(S-168茶粘)	1	弥生 壷	65		009	–	3.3+	–											
〃	(S-168茶粘)	2	弥生 甕	65	73-1	001	–	3.6+	–											刻目2
〃	(S-168茶粘)	3	弥生 甕	65		008	–	15.3+	–		c									
〃	(S-168茶粘)	4	弥生 甕	65	73-1	004	–	8.0+	–		a									刻目1
〃	(S-168茶粘)	5	弥生 甕	65	73-1	002	–	4.7+	7.1*			b								
〃	(S-168茶粘)	6	弥生 甕	65	73-1	004	–	3.9+	–											
〃	(S-168茶粘)	7	弥生 甕	65	73-1	003	–	3.2+	–											
〃	(S-168茶粘)	8	弥生 壷	68	75-1	005	28.0*	8.5+	–							a			○	
〃	(S-168茶粘)	9	弥生 壷	68		006	–	11.3+	–		a				○	a				
〃	(S-168茶粘)	10	弥生 壷	68	75-1	007	–	15.6+	12.4*		a				○	a				
7SK168暗茶土	(S-168暗茶土)	1	弥生 高坏	65	73-2	010	–	2.6+	–											鋤先状口縁
〃	(S-168暗茶土)	2	弥生 壷	65	73-2	009	–	3.9+	8.4*											
〃	(S-168暗茶土)	3	弥生 甕	65	73-1	007	–	2.3+	–											
〃	(S-168暗茶土)	4	弥生 甕	65	73-1	001	24.2*	10.1+	–							c				刻目2
〃	(S-168暗茶土)	5	弥生 甕	65	73-2	008	–	4.0+	–		b→a2					b2				刻目1
〃	(S-168暗茶土)	6	弥生 甕	65	73-1	006	–	2.3+	–											刻目2
〃	(S-168暗茶土)	7	弥生 甕	65	73-1	003	–	3.9+	–											刻目1
〃	(S-168暗茶土)	8	弥生 甕	65	73-1	005	–	5.6+	–		c					○				刻目3
〃	(S-168暗茶土)	9	弥生 甕	65	73-1	002	–	5.3+	–		a2.a									刻目3
7SK168黒粘	(S-168黒粘)	1	弥生 壷	66	75-1	001	22.90	39.90	11.2*		a2				○	a				胴横と底部打割穿孔
〃	(S-168黒粘)	2	弥生 壷	66	73-2	006	–	3.1+	–											
〃	(S-168黒粘)	3	弥生 壷	66	73-2	008	–	3.3+	–								b			横沈線あり・赤色顔料あり
〃	(S-168黒粘)	4	弥生 壷	66	73-2	002	–	3.7+	12.5*											
〃	(S-168黒粘)	5	弥生 甕	66	73-2	005	–	2.0+	–		a2									刻目1
〃	(S-168黒粘)	6	弥生 甕	66	73-2	004	–	5.2+	–		a2									刻目1
〃	(S-168黒粘)	7	弥生 甑?	66	73-2	003	–	4.5+	7.6*		a×c									焼成後底部に穿穴
〃	(S-168黒粘)	8	弥生 高坏	66	73-2	007	–	1.0+	–											鋤先状口縁
7SK168茶褐土	(S-168茶褐土)	1	弥生 壷	66	74-1	010	–	4.9+	–						○					3と同一個体・赤色顔料
〃	(S-168茶褐土)	2	弥生 壷	66	74-1	011	–	4.9+	–		a				○				○	2と同一個体・赤色顔料
〃	(S-168茶褐土)	3	弥生 壷	66	74-1	013	–	4.2+	–						○	a				黒色化焼成
〃	(S-168茶褐土)	4	弥生 壷	66	74-1	012	–	2.1+	–											赤色顔料
〃	(S-168茶褐土)	5	弥生 壷	66	74-1	008	–	3.8+	–										○	内面のみ黒色化
〃	(S-168茶褐土)	6	弥生 壷	66	74-1	007	–	3.7+	6.7*											
〃	(S-168茶褐土)	7	弥生 壷	66	74-1	005	–	4.0+	–											内面のみ黒色化
〃	(S-168茶褐土)	8	弥生 高坏	67	74-2	006	26.8*	6.2+	–						○					鋤先状口縁

前田7次遺物観察表 (16)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
							cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
7SK168茶褐土	(S-168茶褐土)	9	弥生 甕	67	74-2	001	22.0*	15.5+	–		a.a2.c					a2				刻目2
〃	(S-168茶褐土)	10	弥生 甕	67	75-1	002	–	12.00	8.0*			b				c				胎土中に籾痕あり
〃	(S-168茶褐土)	11	弥生 壷	67	74-1	003	–	2.6+	–											
〃	(S-168茶褐土)	12	弥生 甕	67	74-1	009	–	1.7+	–		a									刻目2
〃	(S-168茶褐土)	13	弥生 甕	67	74-1	004	–	5.8+	–		a									刻目1
7SK168暗茶粘	(S-168暗茶粘)	1	弥生 壷	67	76-2	003	–	2.3+	–											
〃	(S-168暗茶粘)	2	弥生 甕	67	76-2	002	–	3.7+	–											刻目1
〃	(S-168暗茶粘)	3	弥生 甕	67	76-2	001	–	9.6+	–		c.a									刻目2
〃	(S-168暗茶粘)	4	弥生 甕	67	76-2	004	–	7.1+	8.3*		a									
7SK168暗茶褐土	(S-168暗茶褐土)	1	弥生 壷	67	77-1	012	–	4.2+	–						○				○	
〃	(S-168暗茶褐土)	2	弥生 壷	67	77-1	013	–	3.3+	–											赤色顔料
〃	(S-168暗茶褐土)	3	弥生 壷	67	77-1	011	–	3.7+	5.7*						○	○				輪高台状
〃	(S-168暗茶褐土)	4	弥生 甕	67	77-1	001	17.9*	6.6+	–		a2	←b				c	b			刻目1
〃	(S-168暗茶褐土)	5	弥生 甕	67	77-1	014	–	3.2+	–											刻目1
〃	(S-168暗茶褐土)	6	弥生 甕	67	77-1	007	–	4.2+	–		c					a				刻目3
〃	(S-168暗茶褐土)	7	弥生 甕	67	77-1	003	–	6.4+	–		c					b→c				刻目1
〃	(S-168暗茶褐土)	8	弥生 甕	67	77-1	004	–	1.9+	–			b					b			刻目2
〃	(S-168暗茶褐土)	9	弥生 甕	67	77-1	005	–	4.8+	–											刻目3・胴部屈曲
〃	(S-168暗茶褐土)	10	弥生 甕	67	77-1	002	–	5.5+	–		c					○				刻目2
〃	(S-168暗茶褐土)	11	弥生 甕	67	77-1	006	–	4.9+	–							○				刻目1
〃	(S-168暗茶褐土)	12	弥生 甕	67	77-1	010	–	2.7+	8.7*			b				c				
〃	(S-168暗茶褐土)	13	弥生 甕	67	77-1	008	–	2.3+	–			b				c				
〃	(S-168暗茶褐土)	14	弥生 甕	67	77-1	009	–	3.1+	–											
7SK183明茶粘	(S-183明茶粘)	1	弥生 壷	68		001	–	3.5+	11.2*							○				
〃	(S-183明茶粘)	2	弥生 甕	68		002	–	4.0+	–											
〃	(S-183明茶粘)	3	弥生 高坏	68		003	–	4.1+	–							○				壷口縁の可能性もあり
7SK185	(S-185灰褐砂)	1	弥生 小壷	69	78-2	010	6.3*	6.7+	–						○				○	ヘラ描き沈線内に朱
〃	(S-185灰褐砂)	2	弥生 壷	69	79-2	008	–	2.5+	–						○				○	
〃	(S-185灰褐砂)	3	弥生 壷	69	79-2	012	–	1.8+	–						○				○	
〃	(S-185灰褐砂)	4	弥生 壷	69	79-1	009	–	9.1+	–						○	○				
〃	(S-185)	5	弥生 甕	69	79-1	001	22.9*	6.7+	–		a2.a					a2				刻目2・刻目下に横沈線
〃	(S-185)	6	弥生 甕	69	79-1	002	20.0*	10.4+	–		a									刻目2
〃	(S-185灰褐砂)	7	弥生 甕	69	78-2	002	21.5*	9.2+	–		a2	b				c				刻目2
〃	(S-185)	8	弥生 甕	69	79-2	004	9.8*	3.6+	–											小型・外面に煤
〃	(S-185灰褐砂)	9	弥生 甕	69	79-2	004	–	5.3+	–		a2									刻目3
〃	(S-185)	10	弥生 甕	69	79-1	003	–	7.9+	–		c									刻目3
〃	(S-185)	11	弥生 甕	69	79-1	005	–	2.6+	–		a2									刻目3・口縁端部a2
〃	(S-185灰褐砂)	12	弥生 甕	69	79-2	013	–	5.5+	–											刻目3
〃	(S-185灰褐砂)	13	弥生 甕	69	79-1	005	–	8.4+	–		c					○				刻目3
〃	(S-185灰褐砂)	14	弥生 甕	69	79-1	003	–	5.0+	–		a2					a				刻目3
〃	(S-185灰褐砂)	15	弥生 甕	69	79-2	011	–	6.7+	–		a2					a2.c				刻目3

前田7次遺物観察表 (17)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
							cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
7SK185	(S-185)	16	弥生 甕	69	79-1	006	－	4.9+	－							a				
〃	(S-185灰褐砂)	17	弥生 甕	69	79-2	007	－	2.6+	6.4*		a→c					c	b			壺の可能性もあり
〃	(S-185灰褐砂)	18	弥生 甕	69	79-2	006	－	4.9+	8.8*		a					a				
〃	(S-185灰褐砂)	19	弥生 鉢	69	78-2	001	34.8*	27.0+	－		c	b			○					
7SK193暗灰土	(S-193暗灰土)	1	弥生 壺	70		001	－	1.2+	9.0*						○					
7SK193黄灰土	(S-193黄灰土)	1	弥生 壺	70		006	－	1.9+	－						○				○	
〃	(S-193黄灰土)	2	弥生 壺	70		007	－	1.7+	－						○				○	赤色顔料塗布
〃	(S-193黄灰土)	3	弥生 壺	70		004	－	2.5+	－							○				ヘラ描羽状沈線
〃	(S-193黄灰土)	4	弥生 甕	70		001	－	2.4+	－			b				○				
〃	(S-193黄灰土)	5	弥生 甕	70		003	－	3.4+	7.8*		a					○				輪高台状
〃	(S-193黄灰土)	6	弥生 甕	70		002	－	1.5+	－											
〃	(S-193黄灰土)	7	弥生 高坏(脚)	70		005	－	2.9+	－											壺口縁の可能性もあり
7SK210茶灰土	(S-210茶灰土)	1	弥生 壺	70		003	－	2.0+	－										○	
〃	(S-210茶灰土)	2	弥生 壺	70	80-2	004	－	1.7+	－						○					
〃	(S-210茶灰土)	3	弥生 壺	70	80-2	012	－	14.8+	－						○	○				赤色顔料塗布
〃	(S-210茶灰土)	4	弥生 甕	70	80-2	009	－	3.3+	－											
〃	(S-210茶灰土)	5	弥生 甕	70	80-2	011	－	1.9+	－		a2					a2				刻目1・刻目下に沈線
〃	(S-210茶灰土)	6	弥生 甕	70	80-2	008	－	3.9+	－		a2									刻目1・刻目下に沈線
〃	(S-210茶灰土)	7	弥生 甕	70	80-2	010	－	2.9+	－		a2	←b				a2				刻目1
〃	(S-210茶灰土)	8	弥生 甕	70	80-2	007	－	8.4+	－		a2	b					b			刻目2
〃	(S-210茶灰土)	9	弥生 甕	70	80-2	002	－	2.5+	－		c									
〃	(S-210茶灰土)	10	弥生 甕	70	80-2	001	－	3.6+	7.9*		c									
〃	(S-210茶灰土)	11	弥生 高坏	70	80-2	006	－	3.7+	－											
〃	(S-210茶灰土)	12	弥生 高坏	70	80-2	005	－	3.2+	－											弥生後期・混入品
7SK220灰褐土	(S-220灰褐土)	1	弥生 壺	70	81-1	005	－	2.3+	－											
〃	(S-220灰褐土)	2	弥生 高坏	70	81-1	001	－	2.4+	18.0*						○	a				赤色顔料
〃	(S-220灰褐土)	3	弥生 高坏	70	81-1	002	－	2.2+	16.0*						○	a				
〃	(S-220灰褐土)	4	弥生 鉢	70	81-1	003	－	4.5+	－						○	a				
〃	(S-220灰褐土)	5	縄文 深鉢	70	81-1	004	－	3.9+	－							工				ヘラ描沈線・前半か
7SK220暗茶褐土	(S-220暗茶褐土)	1	弥生 甕	71		003	22.0*	11.6+	－		b→a					○				刻目2
〃	(S-220暗茶褐土)	2	弥生 甕	71	81-1	001	－	3.0+	－											刻目2・刻目下に沈線
〃	(S-220暗茶褐土)	3	弥生 甕	71		002	－	1.8+	－		○					○				所在不明
7SK220黄灰土	(S-220黄灰土)	1	弥生 鉢	71	81-1	005	31.2*	6.1+	－						○				○	内面黒色化
〃	(S-220黄灰土)	2	弥生 甕	71	81-1	001	－	2.6+	8.0*			b								
〃	(S-220黄灰土)	3	弥生 甕	71	81-1	004	－	1.5+	－		a									
7SK225黄色土	(S-225黄色土)	1	弥生 壺	71	83-1	001	－	2.2+	－							○				
〃	(S-225黄色土)	2	弥生 壺	71	83-1	002	－	3.0+	7.4*						○	c	b			
〃	(S-225黄色土)	3	弥生 甕	71	83-1	003	－	5.6+	－		a									刻目3・外のは横
〃	(S-225黄色土)	4	弥生 甕	71	83-1	004	－	1.2+	－		a2					a2				刻目1
7SK225淡灰砂	(S-225淡灰砂)	1	弥生 壺	71	83-1	001	－	4.1+	7.4*		a									外底に5つの種子痕跡
〃	(S-225淡灰砂)	2	弥生 甕	71	83-1	003	－	2.0+	－		a									刻目2・刻目下に横沈線

前田7次遺物観察表 (18)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
							cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
7SK225淡灰砂	(S-225淡灰砂)	3	弥生 甕	71	83-1	002	-	3.4+	7.5*		a									
〃	(S-225淡灰砂)	4	弥生 鉢	71	83-1	004	-	2.6+	-		a2					c				甕の可能性もあり
7SK230	(S-230)	1	弥生 甕	71		001	26.8*	4.0+	-		○	○					○			混入品・口縁端部に跳ね上げ
7SK243	(S-243黄灰土)	1	弥生 甕	71		001	-	2.8+	-			○					○			
7ST015	(S-15)	1	青磁 椀I-2	72	84-1	001	16.7*	3.4+	-											越州窯系青磁
〃	(S-15)	2	金属 紡錘車	72	84-1	002	19.8*	4.30	4.30											取上31
〃	(S-15)	3	金属 鉄釘	72	84-1	031	5.90	1.00	1.10											取上19
〃	(S-15)	4	金属 鉄釘	72	84-1	013	4.10	1.15	1.10											取上10
〃	(S-15)	5	金属 鉄釘	72	84-1	009	6.05	1.00	2.25											取上6
〃	(S-15)	6	金属 鉄釘	72	84-1	006	3.10	1.25	1.20											R-006(1) 取上3
〃	(S-15)	7	金属 鉄釘	72	84-1	016	2.85	0.80	0.70											取上13
〃	(S-15)	8	金属 鉄釘	72	84-1	023	4.60	3.00	0.80											取上24
〃	(S-15)	9	金属 鉄釘	72	84-1	024	5.25	1.00	0.50											取上23
〃	(S-15)	10	金属 鉄釘	72	84-1	017	4.55	0.90	0.90											取上14
〃	(S-15)	11	金属 鉄釘	72	84-1	014	1.35	1.20	1.30											R-014(1) 取上11
〃	(S-15)	12	金属 鉄釘	72	84-1	005	3.10	0.80	0.75											取上2
〃	(S-15)	13	金属 鉄釘	72	84-1	007	4.80	1.50	1.00											取上4
〃	(S-15)	14	金属 鉄釘	73	84-2	021	4.90	1.90	1.05											取上18
〃	(S-15)	15	金属 鉄釘	73	84-2	020	4.45	1.90	1.25											取上17
〃	(S-15)	16	金属 鉄釘	73	84-2	025	2.00	1.25	0.40											取上22
〃	(S-15)	17	金属 鉄釘	73	84-2	012	3.40	1.20	1.15											取上9
〃	(S-15)	18	金属 鉄釘	73	84-2	019	2.45	1.30	1.10											取上16
〃	(S-15黒灰土)	19	金属 鉄釘	73	84-2	001	4.80	1.30	0.90											
〃	(S-15)	20	金属 鉄釘	73	84-2	018	3.80	1.15	0.90											取上15
〃	(S-15)	21	金属 鉄釘	73	84-2	010	3.70	1.55	1.10											取上7
〃	(S-15)	22	金属 鉄釘	73	84-2	003	2.00	0.80	0.85											取上1
〃	(S-15)	23	金属 鉄釘	73	84-2	014	2.30	0.55	0.45											R-014(2) 取上11
〃	(S-15)	24	金属 鉄釘	73	84-2	026	1.60	1.00	1.00											取上22
〃	(S-15)	25	金属 鉄釘	73	84-2	027	1.40	2.00	1.20											取上26
〃	(S-15)	26	金属 鉄釘	73	84-2	004	1.90	1.65	1.10											取上2
〃	(S-15)	27	金属 鉄釘	73	84-2	028	3.00	0.50	0.40											取上27
〃	(S-15)	28	金属 鉄釘	73	84-2	030	2.75	1.65	0.60											取上33
〃	(S-15)	29	金属 鉄釘	73	84-2	029	1.80	1.90	0.90											取上32
〃	(S-15)	30	金属 鉄釘	73	84-2	022	3.95	1.70	0.65											取上25
〃	(S-15)	31	金属 鉄釘	73	84-2	008	2.70	2.75	8.50											取上5
〃	(S-15)	32	金属 鉄釘	73	84-2	011	1.90	0.60	0.65											取上8
〃	(S-15明茶土)	33	金属 鉄釘	73	84-2	001	1.50	1.30	0.50											
〃	(S-15)	34	金属 鉄釘	73	84-2	006	1.05	0.80	0.60											R-006(2) 取上3
〃	(S-15)	35	金属 鉄釘	73	84-2	015	1.75	0.60	0.55											取上12
7ST020	(S-20)	1	土師 坏a(ヘラ)	74	85-1	001	11.50	2.60	6.70		○					○				VII～VIII期(9c後～10c前)
〃	(S-20)	2	土師 坏a(ヘラ)	74	85-1	002	11.30	2.90	6.60		○					○				VII～VIII期

前田7次遺物観察表 (19)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
							cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
7ST020	(S-20)	3	土師 椀c	74	85-1	004	12.20	4.10	7.40		○					○				VII～VIII期・内底に浅い螺旋
〃	(S-20)	4	土師 椀c	74	85-1	003	12.20	4.50	7.70		○					○				VII～VIII期・内底に浅い螺旋
7ST165	(S-165)	1	土師 坏a(ヘラ)	74	85-1	001	11.50	3.70	6.80		○					○				VIII期
〃	(S-165)	2	金属 鉄釘	74	56-1	002	3.00	1.00	1.00											
〃	(S-165茶粘)	3	金属 鉄釘	74	56-1	004	2.50	2.00	0.80											
〃	(S-165)	4	金属 鉄釘	74	56-1	004	3.90	3.80	0.85											
〃	(S-165)	5	金属 鉄釘	74	56-1	003	3.40	4.10	1.05											
〃	(S-165茶粘)	6	弥生 壷	74		003	-	2.4+	-							a				弥生前期・小型
〃	(S-165茶粘)	7	弥生 甕	74		002	-	2.3+	-											弥生前期・小型
〃	(S-165茶粘)	8	弥生 鉢	74		001	-	5.6+	-											弥生前期・小型
7SD001	(S-1)	1	弥生 壷	75		002	25.0*	5.0+	-											弥生前期・小型
〃	(S-1)	2	弥生 甕	75		004	-	5.3+	-		a2.c					a2.c				刻目1
〃	(S-1)	3	弥生 甕	75		003	-	9.4+	-		a2.a	b					○			刻目2・ナデbは横方向
〃	(S-1)	4	弥生 甕	75		010	-	2.1+	-		a2.c					a2				刻目3
〃	(S-1)	5	弥生 甕	75		009	-	3.3+	-											刻目2
〃	(S-1)	6	弥生 甕	75		005	-	3.5+	-		c					a2				刻目2
〃	(S-1)	7	弥生 甕	75		007	-	3.3+	-											刻目1
〃	(S-1)	8	弥生 甕	75		006	-	3.0+	-			b				a2				刻目1
〃	(S-1)	9	弥生 甕	75		008	-	5.1+	-		a					○				
〃	(S-1)	10	弥生 甑	75		001	-	4.4+	6.3*			b				○				底部は焼成前穿穴
〃	(S-1)	11	土師 蓋	75		015	-	1.3+	-											
〃	(S-96茶褐土)	12	須 蓋c	75		006	-	1.1+	-		○					○				天井部ヘラ切り後ナデ
〃	(S-1)	13	須 蓋3	75		016	17.0*	1.2+	-		○					○				
〃	(S-96茶褐土)	14	須 蓋3	75		004	14.8*	1.0+	-		○					○				
〃	(S-1)	15	須 蓋3	75		017	-	1.0+	-		○					○				
〃	(S-1)	16	須 蓋3	75		018	-	1.2+	-		○					○				
〃	(S-96茶褐土)	17	須 蓋4	75		005	-	0.8+	-		○					○				
〃	(S-1)	18	須 坏c	75		011	-	2.6+	9.0*		○					○				底部ヘラ切のまま
〃	(S-1)	19	須 坏c	75		012	-	1.3+	8.5*		○					○				
〃	(S-96茶褐土)	20	須 坏c3	75		001	-	1.2+	8.4*		○					○				底部ヘラ切のまま
〃	(S-96茶褐土)	21	須 坏c3	75		002	-	1.4+	8.4*		○					○				
〃	(S-1)	22	須 坏c3	75		014	-	1.3+	10.0*		○					○				
〃	(S-96茶褐土)	23	須 坏c3	75		003	-	1.2+	-		○					○				
〃	(S-1)	24	須 大坏c	75		013	-	1.2+	12.8*		○					○				ヘラ切後ナデ
〃	(S-96茶褐土)	25	須 坏a	75		007	-	1.3+	8.4*		○									底部ヘラ切のまま
〃	(S-96茶褐土)	26	須 甕	75		008	-	3.2+	-	○										
〃	(S-96茶褐土)	27	瓦 平瓦	75		009	7.60	8.00	2.40	縄目										縦×横×厚さ
〃	(S-1)	28	青磁 椀I	75		019	-	1.4+	-											越州窯系青磁・混入品
〃	(S-1)	29	金属 鉄釘	75	85-2	021	5.65	2.00	0.60											
〃	(S-1)	30	土製品 匙	75		020	3.95	4.95	2.60											縦×横×厚さ・弥生か
7SD047茶褐土	(S-47茶褐土)	1	須 甕	76		003	-	4.0+	-	○	○					○				径がまだ大きい可能性あり

前田7次遺物観察表 (20)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
										たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	
							cm	cm	cm											(+は欠損、＊は復原値)
7SD047茶褐土	(S-47茶褐土)	2	須 坏c3	76		002	-	1.4+	10.0*		○					○				
〃	(S-47茶褐土)	3	須 坏c3	76	87-2	001	14.4*	3.90	11.0*		○					○				
〃	(S-47茶褐土)	4	弥生 壷	76		004	-	2.2+	-							c				弥生前期
〃	(S-47茶褐土)	5	弥生 甕	76		005	-	2.2+	-		a2					a2				弥生前期・刻目2
7SD047暗茶褐土	(S-47暗茶褐土)	1	須 蓋3	76		002	14.2*	1.3+	-		○					○				天井部回転ヘラケズリ
〃	(S-47暗茶褐土)	2	土師 高坏a	76	87-2	001	24.4*	7.4+	12.7*		○				○	○			○	
〃	(S-47暗茶褐土)	3	弥生 壷	76		003	-	3.4+	-											弥生前期
7SD095茶褐土	(S-95)	1	須 蓋c3	76	87-2	003	18.0*	2.20	-		○					○				天井部回転ヘラケズリ
〃	(S-95)	2	須 蓋3	76	87-2	004	18.0*	1.4+	-											天井部回転ヘラケズリ
〃	(S-95)	3	須 蓋	76		002	-	1.1+	-		○					○				天井部ヘラ切り後ナデ
〃	(S-95茶褐土)	4	須 蓋3	76		002	-	1.8+	-		○					○				
〃	(S-95茶褐土)	5	須 蓋3	76		013	-	1.7+	-		○					○				
〃	(S-95)	6	須 坏c3	76		005	-	2.9+	10.6*		○					○				
〃	(S-95茶褐土)	7	須 坏c3	76		010	-	3.3+	9.2*		○					○				
〃	(S-95茶褐土)	8	須 坏c3	76		011	-	1.3+	9.0*											
〃	(S-95茶褐土)	9	須 坏c3	76		016	-	1.6+	-											
〃	(S-95茶褐土)	10	須 坏	76		012	-	4.1+	-		○					○				
〃	(S-95茶褐土)	11	須 坏a	76		005	-	1.8+	-		○					○				
〃	(S-95茶褐土)	12	須 鉢b	76		006	-	1.9+	-											焼成瓦質
〃	(S-95茶褐土)	13	須 高坏	76		003	20.4*	2.1+	-		○			○		○				
〃	(S-95)	14	須 高坏	76		007	-	0.9+	-		○					○				
〃	(S-95茶褐土)	15	土師 高坏(脚部)	76	87-2	008	-	6.4+	-		○					○				
〃	(S-95茶褐土)	16	土師 高坏(脚部)	76	87-2	009	-	5.3+	-		○					○				
〃	(S-95茶褐土)	17	須 鉢a	76		004	-	3.8+	11.8*		○					○				
〃	(S-95)	18	須 甕	76	87-2	001	22.0*	7.0+	-	○	○									
〃	(S-95)	19	土師 坏d	76	87-2	006	12.2*	3.50	6.2*		○			○	○				○	
〃	(S-95茶褐土)	20	土師 甕a	76		007	-	4.4+	-			○					○			
〃	(S-95茶褐土)	21	土製品 竈	76		015	-	6.2+	-		○							○		
7SD095暗茶褐土	(S-95暗茶褐土)	1	須 坏c3	77		002	13.0*	4.20	9.4*		○					○				ヘラ切りのまま
〃	(S-95暗茶褐土)	2	須 大坏c3	77		001	-	2.4+	13.0*		○					○				
〃	(S-95暗茶褐土)	3	須 坏	77		003	-	3.4+	-		○					○				
7SD095黒褐土	(S-95黒褐土)	1	須 坏蓋	77		001	-	2.7+	-											外面は段、口縁端部は面
〃	(S-95黒褐土)	2	須 坏蓋	77		002	-	1.8+	-											口縁端部は面
7SD095黒灰土	(S-95黒灰土)	1	須 蓋a1	77	87-2	001	14.6*	1.90	-		○					○				ヘラ切りのまま
〃	(S-95黒灰土)	2	須 坏蓋3	77		015	-	1.4+	-		○					○				
〃	(S-95黒灰土)	3	須 坏c3	77		014	12.2*	4.10	8.8*		○					○				ヘラ切りのまま
〃	(S-95黒灰土)	4	須 坏c3	77		012	-	3.6+	-		○					○				
〃	(S-95黒灰土)	5	須 坏c3	77		010	-	2.8+	9.6*		○					○				
〃	(S-95黒灰土)	6	須 坏c3	77		006	-	1.6+	7.3*		○					○				
〃	(S-95黒灰土)	7	須 坏c3	77		002	-	1.6+	9.00		○					○				
〃	(S-95黒灰土)	8	須 坏c3	77		009	-	1.3+	8.8*		○					○				

前田7次遺物観察表 (21)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
							cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
7SD095黒灰土	(S-95黒灰土)	9	須　坏c3	77		003	-	2.7+	-		○					○				
〃	(S-95黒灰土)	10	須　坏c3	77		011	-	2.2+	10.0*		○					○				
〃	(S-95黒灰土)	11	須　坏c3	77		007	-	1.7+	10.6*		○					○				ヘラ切りのまま
〃	(S-95黒灰土)	12	須　皿c	77	87-2	008	-	1.5+	13.0*		○					○				
〃	(S-95黒灰土)	13	須　高坏(脚部)	77		018	-	3.3+	-		○					○				
〃	(S-95黒灰土)	14	須　高坏(脚部)	77		019	-	1.1+	11.2*		○					○				
〃	(S-95黒灰土)	15	須　短頸壺	77	87-2	020	12.9*	11.5+	-							○				
〃	(S-95黒灰土)	16	須　甕	77		016	21.4*	4.2+	-		○					○				
〃	(S-95黒灰土)	17	須　甕	77		017	-	10.0+	-		○					○				
〃	(S-95黒灰土)	18	土師　大坏c(ヘラ)	77		013	-	2.7+	14.4*						○				○	
〃	(S-95黒灰土)	19	土師　甕	77		021	-	3.8+	-		○		○				○	○		
〃	(S-95黒灰土)	20	染付　徳利	77		005	-	3.5+	-		○					○				肥前系磁器
7SD095	(S-95黒灰土)	1	土製品　土錘	78		004	7.60	1.90	0.60											長さ×直径×穴直径・23.3g
〃	(S-95茶褐土)	2	土製品　土錘	78		014	7.30	1.90	0.55											長さ×直径×穴直径・21.9g
〃	(S-95黒灰土)	3	金属　鉄鏃	78	85-2	022	12.6+	2.30	0.30											
〃	(S-95茶褐土)	4	金属　鉱滓	78		001	4.00	3.00	2.40											23.8g
7SE170	(S-170)	1	須　蓋3	79		004	14.0*	1.4+	11.8*		○					○				天井部回転ヘラケズリ
〃	(S-170)	2	須　坏c3	79		001	12.6*	4.20	8.6*		○					○				
〃	(S-170)	3	須　坏c3	79		002	-	2.8+	6.8*		○					○				
〃	(S-170)	4	須　皿a	79		003	18.6*	2.20	14.8*		○			○		○				ケズリは外周のみ
〃	(S-170)	5	須　甕	79		006	-	6.6+	-	○	○									
〃	(S-170)	6	土師　甕	79		005	21.9*	3.0+	-											
7SE170灰色土	(S-170灰色土)	1	須　蓋3	79		004	15.4*	1.5+	10.8*		○					○				ヘラ切後ナデ
〃	(S-170灰色土)	2	須　蓋3	79		005	12.4*	1.2+	8.6*		○					○				ヘラ切まま
〃	(S-170灰色土)	3	須　蓋3	79		010	14.2*	1.6+	9.7*		○					○				回転ヘラケズリ
〃	(S-170灰色土)	4	須　坏c3	79		001	14.6*	3.5+	9.6*		○					○				
〃	(S-170灰色土)	5	土師　坏c3	79		007	17.8*	3.90	11.0*		○					○				
〃	(S-170灰色土)	6	須　坏c3	79		002	-	2.4+	9.2*		○					○				外底に板目
〃	(S-170灰色土)	7	須　坏c3	79		009	-	2.2+	7.8*		○					○				外底にヘラ記号か
〃	(S-170灰色土)	8	須　坏c3	79		003	-	2.15+	10.1*		○					○				ヘラ切後ナデ
〃	(S-170灰色土)	9	須　壺b(頸部)	79		012	-	10.5+	-		○					○				中位に沈線
〃	(S-170灰色土)	10	須　鉢b	79		006	-	5.2+	10.4*					○		○				
〃	(S-170灰色土)	11	土師　甕a	79		008	16.2*	4.6+	-		○	○					○	○		
〃	(S-170灰色土)	12	土師　甕a	79		011	23.2*	4.6+	-		○						○	○		
〃	(S-170灰色土)	13	土師　甕(把手)	79		013	-	4.7+	-											
7SE170茶褐土	(S-170茶褐土)	1	須　蓋4	79		002	-	0.8+	-		○					○				
〃	(S-170茶褐土)	2	須　坏c3	79		001	-	2.5+	9.6*		○					○				
7SE241暗灰土	(S-241暗灰土)	1	須　蓋3	79		003	14.8*	1.4+	12.8*		○					○				
〃	(S-241暗灰土)	2	須　蓋c	79		004	-	1.1+	-		○					○				
〃	(S-241暗灰土)	3	須　坏c3	79		002	-	1.1+	8.4*		○					○				
〃	(S-241暗灰土)	4	須　甕	79		001	16.9*	3.9+	-		○					○				

前田7次遺物観察表 (22)

遺構	No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
						cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、*は復原値)
7SX045黒褐土 (S-45)	1	須 蓋c3	80		002	14.7*	2.60	-		○					○				天井部ヘラ切まま
〃 (S-45)	2	須 蓋3	80		005	11.8*	1.3+	-		○					○				天井部回転ヘラケズリ
〃 (S-45)	3	須 蓋3	80		003	19.9*	1.6+	-		○					○				天井部回転ヘラケズリ
〃 (S-45)	4	須 蓋3	80		004	21.0*	2.0+	-		○					○				天井部回転ヘラケズリ
〃 (S-45)	5	須 坏c3	80		007	10.1*	3.50	8.8*		○					○				
〃 (S-45)	6	須 坏c3	80		008	13.2*	3.30	9.2*		○					○				
〃 (S-45)	7	須 坏c3	80		009	15.8*	3.70	10.2*		○					○				
〃 (S-45)	8	須 坏	80		006	-	4.0+	-		○					○				褐色帯びる、肥前系か？
〃 (S-45)	9	須 坏a	80		010	-	2.50	-		○					○				
〃 (S-45)	10	須 鉢b	80		001	-	11.7+	12.2*		○			○		○				
〃 (S-45)	11	須 壷b	80	87-2	011	13.2*	15.0+	-		○					○				
〃 (S-45)	12	土師 小皿a(イト)	80		012	8.0*	1.20	6.3*		○					○				鎌倉後半期頃か？
〃 (S-45)	13	土製品 土錘	80		013	4.70	1.20	0.50											長さ×直径×穴直径 8.1g
7SX003淡茶灰土 (S-3淡茶灰土)	1	弥生 壷	81	86-1	008	10.0*	2.6+	-										○	弥生前期
〃 (S-3淡茶灰土)	2	弥生 壷	81	86-1	007	-	2.9+	-						○				○	
〃 (S-3淡茶灰土)	3	弥生 壷	81	86-1	006	-	2.1+	-						○				○	
〃 (S-3淡茶灰土)	4	弥生 壷	81	86-2	012	-	2.2+	-		a				○					
〃 (S-3)	5	弥生 甕	81	86-2	001	21.0*	11.9+	-		b→c					b→c				刻目1
〃 (S-3淡茶灰土)	6	弥生 甕	81	86-2	003	-	7.5+	-		a2.c					c				刻目2
〃 (S-3淡茶灰土)	7	弥生 甕	81	86-1	010	-	1.6+	-											刻目1
〃 (S-3淡茶灰土)	8	弥生 甕	81	86-2	002	-	11.9+	-		a2.c							○		刻目1
〃 (S-3淡茶灰土)	9	弥生 甕	81	86-2	001	-	5.1+	-		a2					a2				刻目3
〃 (S-3淡茶灰土)	10	弥生 甕	81	86-2	011	-	4.0+	8.8*		a									
〃 (S-3淡茶灰土)	11	弥生 甕	81	86-2	004	-	2.9+	8.4*			b				○				輪高台状
〃 (S-3淡茶灰土)	12	弥生 甕	81	86-2	005	-	3.0+	-		c									
〃 (S-3)	13	弥生 甕	81	86-1	002	-	4.8+	9.0*		c									輪高台状
〃 (S-3淡茶灰土)	14	弥生 蓋	81	86-1	009	-	4.8+	-		c					c				
7SX009 (S-9)	1	弥生 甕	81		001	-	2.8+	-											刻目2
7SX013 (S-13)	1	弥生 甕	81		001	-	3.1+	-											
7SX014 (S-14)	1	陶器 耳壷	81		001	-	2.3+	-											中国陶器(褐釉)
〃 (S-14)	2	陶器 甕	81		002	-	3.6+	-											朝鮮無釉陶器
7SX016 (S-16)	1	青白磁 皿VI-1	81		001	-	1.05+	3.0*											中国磁器
〃 (S-16)	2	瓦器 椀	81		002	-	1.4+	-											高台部
7SX017 (S-17)	1	金属 鉄釘	81		001	1.40	0.60	0.30											
7SX023 (S-23)	1	土師 壷	81		002	10.0*	5.5+	-		○					○				
〃 (S-23)	2	弥生 甕	81		004	-	2.9+	-	○							○			
〃 (S-23)	3	古土師 甕	81		001	-	6.2+	-			○	○					○		布留式・外面煤
〃 (S-23)	4	弥生 鉢	81		003	16.0*	5.1+	-		○	○			○		○			
7SX026 (S-26)	1	弥生 壷	81		002	-	1.6+	-		○					○				弥生前期
〃 (S-26)	2	弥生 甕	81		001	-	1.2+	-											弥生前期・輪高台状
7SX029 (S-29)	1	白磁 椀V	81		001	16.0*	4.5+	-											中国磁器

前田7次遺物観察表 (23)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
										たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、*は復原値)
							cm	cm	cm											
7SX034	(S-34)	1	弥生 高坏	82		001	-	3.2+	-		○				○					
〃	(S-34)	2	弥生 甕	82		002	-	1.5+	-											刻目突帯
7SX035d	(S-35d)	1	須 坏c3	82		002	-	2.1+	7.0*		○					○				
〃	(S-35d)	2	土師 大坏c	82		003	-	1.5+	-											
〃	(S-35d)	3	須 坏	82		001	10.8*	2.3+	-											
〃	(S-35d)	4	土師 坏	82		004	-	2.2+	-		○								○	
7SX048暗褐土	(S-48暗褐土)	1	古土師 脚付鉢	82	87-1	001	16.5*	4.80	5.70		○	○			○					
〃	(S-48暗褐土)	2	弥生 甕	82		002	-	1.4+	-		○	○					○			
7SX051	(S-51)	1	須 甕	82		001	-	6.5+	-	○										
7SX053	(S-53)	1	土師 鉢	82		001	-	10.6+	-	○	○			○		○	○			
7SX056	(S-56)	1	金属 ヤリガンナ	82		001	2.00	1.30	0.50											
7SX062	(S-62)	1	弥生 甕	82		001	-	3.3+	-		a2						b			刻目3
7SX063	(S-63)	1	陶器 水注×壺	82		001	-	1.6+	9.2*		○					○				輪高台
7SX069	(S-69)	1	土師 坏a(イト)	82		001	-	1.0+	-					○		○				
〃	(S-69)	2	瓦器 椀	82		002	-	1.0+	-											
7SX075茶褐土	(S-75茶褐土)	1	須 坏c	82		004	-	1.2+	10.0*											
〃	(S-75)	2	土師 坏c3	82		005	-	1.1+	-										○	
〃	(S-75茶褐土)	3	弥生 甕	82		002	-	3.4+	-			○					○			外面に煤
〃	(S-75)	4	弥生 壺	82		004	-	3.2+	-		○	○				工				
〃	(S-75)	5	弥生 甕	82		002	-	2.6+	-		a2					c				刻目1・傷a
〃	(S-75茶褐土)	6	弥生 甕	82		001	-	4.2+	-			b								刻目1
〃	(S-75)	7	弥生 甕	82		006	-	3.1+	-		a									
〃	(S-75)	8	弥生 甕	82		001	-	7.3+	7.0*			b								
〃	(S-75茶褐土)	9	弥生 甕	82		003	-	1.7+	6.0*							c				
〃	(S-75)	10	弥生 鉢	82		003	21.0*	9.40	5.7*			○					○			
7SX086	(S-86)	1	弥生 複合口縁壺	83		001	-	2.8+	-		○					○				
〃	(S-86)	2	弥生 甕	83		002	-	2.6+	-		○	○					○			
〃	(S-86)	3	弥生 高坏	83		003	-	3.3+	18.0*						○		○			
7SX089	(S-89)	1	弥生 壺	83		001	-	4.8+	-		○						○			
7SX094	(S-94)	1	土製品 メンコ	83		001	3.40	3.80	0.50											
7SX097	(S-97)	1	縄文 浅鉢	83		001	-	2.5+	-		○									外の段は沈線化
7SX103	(S-103)	1	弥生 甕	83		001	20.0*	4.9+	-		c									刻目1・傷a
7SX112	(S-112)	1	弥生 複合口縁壺	83		001	-	2.5+	-			○				○				
〃	(S-112)	2	弥生 短頸壺	83		004	8.8*	6.8+	-		○	○				○				
〃	(S-112)	3	弥生 坏	83		003	-	2.5+	-							工				
〃	(S-112)	4	弥生 器台	83		002	-	4.15+	-	○		○				工	○			
7SX134	(S-134)	1	弥生 複合口縁壺	83		004	20.1*	5.25+	-			○				○	○			
〃	(S-134)	2	弥生 壺	83		005	-	4.5+	-			○					○			
〃	(S-134)	3	弥生 甕	83		002	-	2.1+	-		a									刻目2
〃	(S-134)	4	弥生 甕	83		003	-	4.0+	8.0*			b				c				
〃	(S-134)	5	弥生 鉢	83		001	-	4.0+	-						○				○	

前田7次遺物観察表 (24)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
							cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
7SX134	(S-134)	6	金属 斧	83	85-2	006	-	2.4+	-											青銅製品
7SX139	(S-139)	1	弥生 壷	83		001	-	4.2+	13.4*											弥生前期大型
7SX142	(S-142)	1	青白磁 合子蓋	83		001	4.20	1.50	-											中国磁器・型製品
7SX144	(S-144)	1	須 蓋3	84		003	18.5*	2.2+	-		○					○				天井部回転ヘラケズリ
〃	(S-144)	2	須 蓋c3	84	87-2	002	13.60	2.40	-		○					○				天井部ヘラ切まま
〃	(S-144)	3	須 蓋3	84		004	10.9*	1.5+	-											現物所在不明
〃	(S-144)	4	須 壷蓋	84		005	-	5.1+	-		○					○				天井部回転ヘラケズリ
〃	(S-144)	5	須 坏c3	84	87-2	006	12.20	3.70	8.30		○					○				ヘラ切まま
〃	(S-144)	6	須 坏c3	84		007	-	1.5+	-											
〃	(S-144)	7	古土師 鉢	84		001	11.10	4.30	4.00		○						○			
〃	(S-144)	8	金属 刀子	84	87-2	008														柄
7SX146	(S-146)	1	古土師 高坏	84		001	-	4.0+	-						○				○	ミガキは暗文
7SX148	(S-148)	1	弥生 甕	84		003	-	5.9+	-							c				刻目1・刻目下に沈線
〃	(S-148)	2	弥生 甕	84		002	-	4.3+	-											刻目2
〃	(S-148)	3	弥生 甕	84		001	-	3.9+	-		a2					a2				刻目2
7SX149	(S-149)	1	弥生 小型壷	84		001	5.5*	2.2+	-						○				○	
7SX152	(S-152)	1	弥生 甕	84		001	-	4.5+	7.8*			b								
7SX153	(S-153)	1	弥生 壷	84		001	-	2.0+	-											複合口縁
7SX154	(S-154暗褐土)	1	青磁 ⅢI-1b	84		001	-	1.35+	4.8*											同安窯系青磁・釉潰けがけ
7SX157	(S-157)	1	弥生 壷	84		003	-	1.8+	-						○				○	
〃	(S-157)	2	弥生 甕	84		002	-	4.5+	-		c.a2					a2				刻目1
〃	(S-157)	3	弥生 甕	84		001	-	2.5+	-											
7SX158	(S-158)	1	弥生 壷	84	78-2	001	20.0*	17.9+	-		a				○	a			○	ヘラ描弧状文・赤色顔料
〃	(S-158)	2	弥生 甕	84	72-1	005	-	4.0+	-											刻目2・刻目下に横沈線
〃	(S-158)	3	弥生 甕	84	72-1	006	-	1.4+	-											刻目3
〃	(S-158)	4	弥生 甕	84	72-1	009	-	2.2+	-		a2					a2				刻目2
〃	(S-158)	5	弥生 甕	84	72-1	004	-	4.5+	-		a2					a2				刻目2か
〃	(S-158)	6	弥生 甕	84	72-1	008	-	1.2+	-		a					a2				刻目3
〃	(S-158)	7	弥生 甕	84	72-1	007	-	2.0+	-		a2					a2				刻目3
〃	(S-158)	8	弥生 鉢	84	72-1	010	-	3.4+	-										○	
〃	(S-158)	9	弥生 壷	84	72-1	003	-	1.8+	-						○					
〃	(S-158)	10	弥生 甕	84	72-1	002	-	4.8+	7.8*		a									ナデの典型資料(写真あり)
7SX164	(S-164)	1	弥生 甕	84		001	-	1.4+	-		a									刻目2
7SX166茶土	(S-166茶土)	1	弥生 壷	85	72-2	006	-	6.3+	-						○	○				ヘラ描沈線文
〃	(S-166茶土)	2	弥生 壷	85	72-2	007	-	3.4+	-						○					ヘラ描沈線文
〃	(S-166茶土)	3	弥生 壷	85	72-2	005	-	1.2+	-											刻目2
〃	(S-166茶土)	4	弥生 甕	85	72-2	002	-	6.3+	-		a					a2				刻目2
〃	(S-166茶土)	5	弥生 甕	85	72-2	004	-	5.8+	-			b				c	b			刻目3
〃	(S-166茶土)	6	弥生 甕	85	72-2	003	-	4.1+	-		a→c					a				
〃	(S-166茶土)	7	弥生 甕	85	72-2	001	-	6.6+	8.3*			b				c				
7SX172	(S-172)	1	弥生 甕	85		001	-	2.4+	8.2*											輪高台状

前田7次遺物観察表 (25)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
							cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
7SX186暗灰土	(S-186暗灰土)	1	弥生 鉢	85		004	_	1.5+	_		○					○				高坏の可能性あり
〃	(S-186暗灰土)	2	弥生 甕	85		002	_	6.1+	_		○	○				○	○			
〃	(S-186暗灰土)	3	弥生 鉢	85		003	_	1.7+	_		○					○				
〃	(S-186暗灰土)	4	弥生 器台	85		001	_	9.4+	_			○				○	○			
7SX187茶灰土	(S-187茶灰土)	1	土師 器台	85	87-1	001	10.30	5.5+	_		○	○			○	○	○			小型特殊器台
7SX191	(S-191)	1	弥生 甕	85		001	11.8*	7.5+	_		○・工						○			
〃	(S-191)	2	弥生 甕	85		002	_	4.9+	_			○					○			
〃	(S-191)	3	弥生 甕	85		003	_	3.2+	_		a2					c				刻目1と2
7SX192	(S-192)	1	弥生 器台	85		002	_	5.1+	15.60			○					○			
〃	(S-192)	2	弥生 器台	85		001	5.60	11.20	10.90		○					○	○			
〃	(S-192)	3	土製品 焼土塊	85		003	5.00	4.00	2.00											繊維は入らず
7SX194	(S-194)	1	弥生 甕	85		002	_	7.3+	_	○	○						○			
〃	(S-194)	2	弥生 支脚	85		001	6.1*	5.4+	_		○	○					○			
7SX196	(S-196)	1	弥生 甕	85		001	_	2.6+	7.0*											
〃	(S-196)	2	弥生 鉢	85		002	_	6.3+	_						○	○				前期か
7SX197	(S-197)	1	金属 鉄釘	85		001	1.60	1.90	0.40											
7SX206	(S-206)	1	金属 ヤリガンナ	85		001	3.30	1.15	0.15											
7SX204	(S-204)	1	土師 高坏	86	87-1	001	14.3*	4.4+	_		○				○	○			○	口縁端部のみに煤
7SX209	(S-209)	1	弥生 鉢	86		001	14.0*	3.9+	_	○							○			
7SX213	(S-213)	1	金属 鉄釘	86		001	1.70	0.60	0.60											
7SX214	(S-214)	1	弥生 甕	86		002	_	2.2+	_											
〃	(S-214)	2	弥生 壷	86		001	_	3.0+	9.6*						○		b			
7SX217	(S-217)	1	弥生 複合口縁壷	86		001	14.2*	4.1+	_		○					○				ヘラ描連続三角文
7SX219	(S-219)	1	弥生 壷	86		001	_	2.8+	9.9*											
〃	(S-219暗灰土)	2	弥生 壷	86		002	_	3.0+	7.9*											
〃	(S-219暗灰土)	3	弥生 甕	86		001	_	4.4+	_		a.2a					a2				刻目2
〃	(S-219暗灰土)	4	弥生 把手	86		003	_	3.0+	_											雀居SK188に類例
7SX226	(S-226)	1	須 蓋c	86		002	_	1.1+	_		○					○				
〃	(S-226)	2	須 坏c3	86		001	_	1.6+	_		○					○				
7SX236	(S-236)	1	弥生 壷	86		001	9.9*	5.3+	_			○				○				
〃	(S-236)	2	弥生 高坏	86		002	_	2.0+	_			○			○		○		○	ミガキは暗文
7SX242黒灰土	(S-242黒灰土)	1	須 高坏	86		001	_	1.5+	_		○			○		○				
〃	(S-242黒灰土)	2	須 盤	86		002	_	3.2+	_		○			○		○			○	
7SX246	(S-246)	1	弥生 壷	86		002	_	5.5+	_							○				ヘラ描沈線・赤色顔料
〃	(S-246)	2	弥生 甕	86		001	_	1.9+	_											刻目3
灰色土	(灰色土)	1	弥生 壷	87		002	_	4.3+	_		a				○				○	
〃	(灰色土)	2	弥生 壷	87		004	10.2*	1.7+	_						○				○	小壷
〃	(灰色土)	3	弥生 壷	87		003	_	3.2+	_											袋状口縁
〃	(灰色土)	4	弥生 壷	87		001	_	8.8+	4.2*		○					○				
〃	(灰色土)	5	弥生 甕	87		005	_	3.2+	4.5*		工					工				甕内系
〃	(灰色土表土)	6	弥生 鉢	87		002	6.4*	2.70	_							○				ミニチュア

前田7次遺物観察表 (26)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径 cm	高さ cm	底径 cm	外面 たたきめ	外面 なで	外面 はけ	外面 よこはけ	外面 下半けずり	外面 みがき	内面 なで	内面 はけ	内面 けずり	内面 みがき	備考 (+は欠損、＊は復原値)
灰色土	(灰色土)	7	須 蓋3	87		011	-	1.3+	-		○					○				
〃	(灰色土)	8	須 蓋3	87		012	14.2*	1.3+	-		○					○				
〃	(灰色土)	9	須 壺蓋	87		010	-	1.7+	-		○					○				
〃	(灰色土)	10	須 坏	87		009	12.1*	3.2+	-		○					○				
〃	(灰色土)	11	須 坏c3	87		006	10.4*	4.00	5.60		○					○				
〃	(灰色土表土)	12	須 坏c3	87		006	14.1*	4.10	9.00		○					○				外底ヘラ切後ナデ
〃	(灰色土)	13	須 坏c3	87		007	-	2.40	-		○					○				
〃	(灰色土表土)	14	須 坏c3	87		007	-	2.2+	-		○					○				ヘラ切後回転ヘラケズリ
〃	(灰色土表土)	15	須 坏c3	87		008	-	1.7+	-		○					○				ヘラ切後ナデ
〃	(灰色土)	16	須 坏c3	87		008	-	1.0+	9.1*		○					○				
〃	(灰色土)	17	須 壺×瓶	87		013	8.2*	4.3+	-		○					○				
〃	(灰色土)	18	須 壺	87		014	-	4.0+	-											肩部 耳
〃	(灰色土)	19	須 鉢	87		016	10.8*	2.6+	-											上面工具による刺突
〃	(灰色土表土)	20	黒A 椀c	87		005	-	1.7+	10.4*							○				
〃	(灰色土表土)	21	土師 小皿a	87		003	8.0*	1.00	6.0*		○					○				糸切りか
〃	(灰色土表土)	22	土師質 擂り鉢	87		001	-	2.7+	-			○				○				
〃	(灰色土表土)	23	瓦質 火鉢	87		004	-	4.8+	-											沈線と劃竹管文
〃	(灰色土表土)	24	白磁 椀IV	87		018	15.7*	2.2+	-											中国磁器
〃	(灰色土表土)	25	白磁 椀IV	87		016	-	2.5+	-											中国磁器
〃	(灰色土表土)	26	白磁 椀V-4	87		015	17.1*	3.9+	-											中国磁器
〃	(灰色土表土)	27	青磁 皿I	87		011	-	1.4+	-											越州窯系青磁
〃	(灰色土表土)	28	白磁 椀IV-1	87		009	-	2.3+	6.8*											中国磁器
〃	(灰色土表土)	29	白磁 椀VI-b	87		013	-	1.5+	6.0*											中国磁器
〃	(灰色土表土)	30	白磁 皿VIII-1	87		017	-	1.5+	-											中国磁器
〃	(灰色土表土)	31	青磁 皿I-2	87		012	-	1.1+	6.0*											同安窯系青磁
〃	(灰色土)	32	青磁 皿I-2	87		020	10.2*	1.90	4.8*											同安窯系青磁
〃	(灰色土表土)	33	陶器 壺VI	88		010	9.7*	2.7+	-		○					○				中国陶器 オリーブ色釉
〃	(灰色土表土)	34	陶器 壺VI-1	88		014	-	11.3+	8.60		○					○				中国陶器 オリーブ色釉
〃	(灰色土)	35	陶器 皿	88		018	13.2*	1.5+	-											肥前系陶器 近世～
〃	(灰色土表土)	36	白磁 紅皿	88		023	-	0.7+	1.5*											肥前系磁器 近世～
〃	(灰色土表土)	37	白磁 皿	88		022	-	1.3+	4.0*											肥前系磁器 白磁×染付
〃	(灰色土表土)	38	染付 椀	88		021	-	1.8+	3.6*											肥前系磁器
〃	(灰色土)	39	陶器 鉢	88		017	-	1.3+	9.2*											国産陶器 蛇の目釉ハギ
〃	(灰色土表土)	40	磁器 皿	88		020	14.1*	3.70	5.50											肥前系磁器
〃	(灰色土表土)	41	陶器 鉢	88		019	-	2.8+	10.6*											国産陶器
〃	(灰色土)	42	陶器 蓋(ツマミ)	88		022	2.55	1.3+	-											国産陶器 褐色釉
〃	(灰色土)	43	陶器 瓶	88		019	10.1*	1.5+	-											国産陶器 緑色釉
〃	(灰色土表土)	44	金属 不明銅製品	88	85-2	024	-	1.8+	-											
〃	(灰色土)	45	金属 鉄釘	88		023	-	2.8+	-											
〃	(灰色土)	46	土製品 土錘	88		021	7.50	2.05	-											23.5g
茶褐土	(茶褐土)	1	弥生 壺	89		006	-	5.2+	-											前期

前田7次遺物観察表 (27)

遺構		No,	器種	図版番号	写真番号	R番号	口径	高さ	底径	外面						内面				備考
							cm	cm	cm	たたきめ	なで	はけ	よこはけ	下半けずり	みがき	なで	はけ	けずり	みがき	(+は欠損、＊は復原値)
茶褐土	(茶褐土)	2	弥生 壷	89		011	-	3.6+	-						○				○	赤色顔料
〃	(茶褐土)	3	弥生 壷	89		001	27.4*	11.5+	-						○				○	
〃	(茶褐土)	4	弥生 甕	89		007	-	7.2+	-											刻目2
〃	(茶褐土)	5	弥生 甕	89		013	-	4.8+	-		a									刻目2
〃	(茶褐土)	6	弥生 甕	89		005	-	2.5+	-		c					a2				刻目3
〃	(茶褐土)	7	弥生 甕	89		010	-	3.8+	-											刻目1
〃	(茶褐土)	8	弥生 甕	89		008	-	3.3+	-											刻目1
〃	(茶褐土)	9	弥生 甕	89		004	-	3.4+	-		c					a2				刻目2
〃	(茶褐土)	10	弥生 甕	89		009	-	4.0+	-											刻目2
〃	(茶褐土)	11	弥生 甕	89		002	-	3.9+	-			b				c				刻目3
〃	(茶褐土)	12	土師 小型丸底壷	89		003	-	5.1+	-						○	○				
〃	(茶褐土)	13	青磁 小壷	89		015	4.00	2.70	2.20											越州窯系青磁・内のみ釉
〃	(茶褐土)	14	青磁 椀III	89		014	-	4.8+	-											龍泉窯系青磁
〃	(茶褐土)	15	土製品 フイゴ羽口	89		012	-	2.8+	-											
〃	(茶褐土)	16	金属 刀子	89		019														
〃	(茶褐土)	17	金属 釘	89		016	4.80	0.90	0.60											
〃	(茶褐土)	18	金属 釘	89		017	4.00	0.80	0.60											
〃	(茶褐土)	19	金属 釘	89		018	2.70	1.05	0.40											
7SI070暗茶褐土	(S-70暗茶褐土)	43	金属 鉄斧	52	56-1	045	7.10	3.10	1.60											
〃	(S-70暗茶褐土)	44	金属 鉄鏃	52	56-1	046	9.55	2.30	0.85											
〃	(S-70暗茶褐土)	45	土製品 メンコ	52		009	3.90	4.10	0.60											
〃	(S-70暗茶褐土)	46	土製品 メンコ	52		010	3.20	3.90	0.60											
7SI130灰褐土	(S-130灰褐土)	8	石製品 砥石	52	56-1	008	1.95	3.10	1.15											
7SI175茶灰土	(S-175茶灰土)	6	金属 刀子？	52	56-1	006	1.10	2.90	0.50											
7SI195黒灰土	(S-195黒灰土)	8	金属 火打ち金	52	56-1	009	2.20	6.00	1.00											
7SK141黒灰粘	(S-141黒灰粘)	53	金属 鉄釘	63	85-2	047	3.50	3.25	0.65											
〃	(S-141黒灰粘)	54	土製品 土錘	63		046	5.80	2.10	1.90											

前田遺跡第7次調石器観察表1

遺構		No,	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SI055	(S-55)	1	ob	F		43-1	001	2.82	2.72	1.61	7.9	
〃	(S-55)	2	and	AP		43-1	002	3.10	2.29	0.45	2.4	
〃	(S-55)	3	and	core		43-1	003	4.11	7.56	1.94	74.4	
〃	(S-55)	4	砂岩	砥石	91	43-1	004	6.8+	7.90	2.80	213.2	
〃	(S-55)	5	火成岩系	叩き石	90	43-1	005	4.10	3.30	3.50	61.6	窪みに赤色顔料か
7SI065暗褐土	(S-65暗褐土)	1	ob	打面再生剥片		45-2	008	3.03	5.00	1.15	8.8	
〃	(S-65暗褐土)	2	ob	横長剥片		45-2	009	2.73	3.30	0.76	5.3	
〃	(S-65暗褐土)	3	ob	横長剥片		45-2	010	2.10	2.35	1.16	3.1	
〃	(S-65暗褐土)	4	ob	横長剥片		45-2	011	1.34	1.67	0.37	0.6	
〃	(S-65暗褐土)	5	ob	横長剥片		45-2	012	1.34	2.60	0.91	2.0	
〃	(S-65暗褐土)	6	ob	横長剥片		45-2	013	2.15	2.19	0.45	1.3	
〃	(S-65暗褐土)	7	ob	横長剥片		45-2	014	1.50	1.83	0.47	0.7	
〃	(S-65暗褐土)	8	ob	横長剥片		45-2	015	1.97	2.39	0.58	2.2	
〃	(S-65暗褐土)	9	ob	横長剥片		45-2	016	1.95	2.57	0.85	3.1	
〃	(S-65暗褐土)	10	ob	縦長剥片		45-2	017	2.30	0.85	0.46	0.5	パティナ
〃	(S-65暗褐土)	11	ob	縦長剥片		45-2	018	1.70	1.10	0.52	0.6	
〃	(S-65暗褐土)	12	ob	chip		45-2	019	0.96	1.60	0.29	0.3	
〃	(S-65暗褐土)	13	ob	chip		45-2	020	1.36	1.92	0.41	0.4	
〃	(S-65暗褐土)	14	ob	chip		45-2	021	1.22	1.53	0.32	0.5	
〃	(S-65暗褐土)	15	ob	chip		45-2	022	1.20	1.25	0.30	0.2	
〃	(S-65暗褐土)	16	ob	chip		45-2	023	0.74	1.06	0.21	0.1	
〃	(S-65暗褐土)	17	ob	chip		45-2	024	0.98	0.85	0.22	0.1	
〃	(S-65暗褐土)	18	ob	chip		45-2	025	1.46	0.88	0.20	0.1	
〃	(S-65暗褐土)	19	ob	chip		45-2	026	1.00	0.74	0.24	0.1	
〃	(S-65暗褐土)	20	and	横長剥片		45-2	027	2.53	2.58	0.65	3.3	
〃	(S-65暗褐土)	21	and	横長剥片		45-2	028	1.85	2.31	0.51	1.7	
〃	(S-65暗褐土)	22	フォルンフェルス	F		45-2	029	3.15	4.58	0.47	7.6	
〃	(S-65暗褐土)	23	ob	AP		45-1	030	1.76	1.21	0.38	0.4	
〃	(S-65暗褐土)	24	ob	AP		45-1	031	2.01	1.35	0.41	0.7	
〃	(S-65暗褐土)	25	and	AF		45-1	032	2.59	1.88	0.52	1.7	
〃	(S-65暗褐土)	26	and	RF		45-1	033	3.34	2.55	0.91	6.8	
〃	(S-65暗褐土)	27	ob	core		45-1	034	2.50	5.70	2.05	16.8	
〃	(S-65暗褐土)	28	ob	core		45-1	035	2.90	3.83	1.60	12.7	
〃	(S-65暗褐土)	29	ob	F		45-1	036	2.79	4.14	1.22	10.9	
〃	(S-65暗褐土)	30	ob	F		45-1	037	3.86	3.24	0.66	5.9	
〃	(S-65暗褐土)	31	ob	F		45-1	038	1.74	2.07	0.47	1.1	
〃	(S-65暗褐土)	32	ob	F		45-1	039	1.20	1.77	0.37	0.8	
〃	(S-65暗褐土)	33	ob	F		45-1	040	1.25	2.06	0.68	1.2	
〃	(S-65暗褐土)	34	ob	F		45-1	041	2.93	2.06	0.57	1.9	
〃	(S-65暗褐土)	35	ob	F		45-1	042	1.59	1.00	0.21	0.1	

前田遺跡第7次調石器観察表2

遺構		No,	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ	幅	厚さ	重量	備考
								cm	cm	cm	g	(+は欠損、＊は復原値)
7SI065暗褐土	(S-65暗褐土)	36	ob	F		45-1	043	1.54	0.92	0.57	0.5	
〃	(S-65暗褐土)	37	ob	F		45-1	044	2.17	0.95	0.68	0.9	
〃	(S-65暗褐土)	38	ob	F		45-1	045	1.46	1.89	0.66	1.1	
〃	(S-65暗褐土)	39	and	F		45-1	046	2.56	2.94	0.71	4.5	
〃	(S-65暗褐土)	40	and	F		45-1	047	1.51	1.98	0.23	0.5	
〃	(S-65暗褐土)	41	and	F		45-1	048	0.81	2.58	0.49	1.3	
〃	(S-65暗褐土)	42	and	F		45-1	049	1.76	1.82	0.75	1.9	
〃	(S-65暗褐土)	43		焼土塊	91	45-2	050	5.20	6.80	4.50	85.2	角閃石含む
7SI065暗茶褐土	(S-65暗茶褐土)	1	and	RF		45-1	001	2.44	4.23	1.08	7.8	
〃	(S-65暗茶褐土)	2	ob	F		45-1	002	1.04	1.43	0.45	0.5	
〃	(S-65暗茶褐土)	3	ob	F		45-1	003	1.38	0.80	0.16	0.1	
7SI065d	(S-65d)	1	ob	F		45-1	002	1.46	2.25	0.99	1.6	
7SI065茶褐土	(S-65茶褐土)	1	ob	AP		44-2	003	1.86	1.62	0.40	0.8	
〃	(S-65茶褐土)	2	and	RF		44-2	004	1.39	2.69	0.46	1.1	
〃	(S-65茶褐土)	3	ob	core		44-2	005	2.52	2.88	1.43	10.4	
〃	(S-65茶褐土)	4	ob	打面再生剥片		44-2	006	3.45	3.83	1.65	16.4	
〃	(S-65茶褐土)	5	ob	F		44-2	007	2.42	2.75	0.74	2.5	
〃	(S-65茶褐土)	6	ob	F		44-2	008	1.86	2.98	1.12	3.0	
〃	(S-65茶褐土)	7	ob	F		44-2	009	1.52	2.44	0.86	1.9	
〃	(S-65茶褐土)	8	ob	F		44-2	010	1.18	1.55	0.33	0.4	
〃	(S-65茶褐土)	9	ob	F		44-2	011	1.57	1.46	0.33	0.6	
〃	(S-65茶褐土)	10	ob	F		44-2	012	1.48	1.67	0.87	1.1	
〃	(S-65茶褐土)	11	ob	F		44-2	013	1.68	2.70	0.94	3.7	
〃	(S-65茶褐土)	12	ob	F		44-2	014	1.35	1.14	0.40	0.2	
〃	(S-65茶褐土)	13	緑色片岩	石斧	90	44-2	015	2.7+	3.9+	1.9+	17.5	刃部片
7SI085茶土	(S-85茶土)	1	ob	core		48-1	030	2.43	3.86	2.18	10.9	
〃	(S-85茶土)	2	ob	F		48-1	031	2.72	3.67	1.37	7.3	
〃	(S-85茶土)	3	ob	F		48-1	032	3.04	3.08	0.64	3.6	
〃	(S-85茶土)	4	ob	F		48-1	033	3.14	2.21	1.09	5.4	
〃	(S-85茶土)	5	ob	F		48-1	034	2.87	1.22	0.48	0.9	
〃	(S-85茶土)	6	ob	F		48-1	035	1.50	1.72	0.38	0.6	
〃	(S-85茶土)	7	ob	F		48-1	036	0.94	1.56	0.43	0.4	
〃	(S-85茶土)	8	ob	F		48-1	037	1.07	1.17	0.09	0.1	
〃	(S-85茶土)	9	and	core		48-1	038	3.38	7.11	3.14	30.5	
〃	(S-85茶土)	10	and	AP		48-1	039	2.50	1.47	0.35	1.6	
〃	(S-85茶土)	11	and	F		48-1	040	2.41	3.47	0.31	0.9	
〃	(S-85茶土)	12	and	F		48-1	041	2.05	3.37	0.55	2.6	
〃	(S-85茶土)	13	and	F		48-1	042	2.13	2.60	0.67	2.8	
〃	(S-85茶土)	14	珪質泥岩	磨製石斧		48-1	043	2.45	1.58	0.42	1.5	
〃	(S-85茶土)	15	玄武岩	石鏃	90	48-1	044	10.90	4.80	2.70	154.1	

前田遺跡第7次調石器観察表3

遺構		No,	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SI085茶土	(S-85茶土)	16	火成岩	すり石	90	48-1	045	5.40	5.00	2.30	88.2	
7SI085茶灰土	(S-85茶灰土)	1	ob	F		48-1	010	1.87	1.77	0.33	0.7	
〃	(S-85茶灰土)	2	ob	F		48-1	011	2.00	2.50	0.08	2.0	
〃	(S-85茶灰土)	3	片岩	石鏃	90	48-1	012	4.50	5.70	1.10	36.0	
7SI085b	(S-85b)	1	ob	F		48-1	001	0.85	0.93	0.39	0.2	
〃	(S-85b)	2	ob	F		48-1	002	1.74	2.86	0.37	1.2	姫島産か？
7SI085壁溝	(S-85壁溝)	1	ob	F		48-1	001	3.75	2.14	0.49	2.4	
7SI085a	(S-85a)	1	and	石包丁	90	48-1	001	5.60	5.10	0.70	27.4	
7SI085	(S-85)	1	ob	AP		47-1	001	1.54	1.46	0.43	0.8	
〃	(S-85)	2	ob	F		47-1	002	1.95	1.86	0.21	0.6	
〃	(S-85)	3	ob	F		47-1	003	3.19	3.40	0.62	4.6	
〃	(S-85)	4	ob	F		47-1	004	1.45	3.09	0.76	2.3	
〃	(S-85)	5	ob	F		47-1	005	0.86	1.10	0.20	0.1	
〃	(S-85)	6	ob	F		47-1	006	3.40	2.46	0.98	5.8	
〃	(S-85)	7	ob	F		47-1	007	1.05	1.42	0.22	0.2	
〃	(S-85)	8	ob	F		47-1	008	2.60	2.68	0.93	5.1	
〃	(S-85)	9	ob	F		47-1	009	1.11	0.97	0.21	0.1	
〃	(S-85)	10	ob	F		47-1	010	1.12	1.25	0.27	0.1	
〃	(S-85)	11	ob	F		47-1	011	1.66	1.36	0.53	1.0	
〃	(S-85)	12	ob	F		47-1	012	2.41	1.94	0.81	2.0	
〃	(S-85)	13	ob	F		47-1	013	2.43	2.10	0.37	1.3	
〃	(S-85)	14	ob	F		47-1	014	1.79	2.08	0.46	0.8	
〃	(S-85)	16	ob	chip		47-1	016	0.42	0.86	0.38	0.1	
〃	(S-85)	17	and	F		47-1	017	1.76	1.73	0.61	0.1	
〃	(S-85)	18	ob	AP		47-1	018	2.19	1.50	0.48	1.0	
〃	(S-85)	19	ob	F		47-1	019	1.48	2.40	0.34	0.9	
〃	(S-85)	20	ob	F		47-1	020	1.64	2.57	0.73	2.8	
〃	(S-85)	21	ob	F		47-1	021	1.49	2.17	0.52	0.8	
〃	(S-85)	22	ob	F		47-1	022	2.46	1.72	0.67	2.0	
〃	(S-85)	23	ob	F		47-1	023	2.27	3.53	1.29	7.0	
〃	(S-85)	24	ob	F		47-1	024	2.29	1.88	1.41	3.4	
〃	(S-85)	25	ob	UF		47-1	025	1.98	1.15	0.45	1.0	
〃	(S-85)	26	and	F		48-2	026	2.39	1.77	1.18	3.7	
〃	(S-85)	27	and	F		48-2	027	2.73	1.98	0.71	2.8	
〃	(S-85)	28	and	F		48-2	028	2.54	1.10	0.63	1.3	
〃	(S-85)	29	and	F		48-2	029	1.97	3.22	0.60	2.4	
〃	(S-85)	30	ob	F		48-2	030	2.30	3.10	0.74	4.4	
〃	(S-85)	31	and	F		48-2	031	5.37	6.67	1.55	39.5	
〃	(S-85)	32	ob	F		48-2	032	2.08	2.03	0.56	2.0	
〃	(S-85)	33	ob	F		48-2	033	3.17	2.21	0.80	3.9	

前田遺跡第7次調石器観察表4

遺構		No,	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SI085	(S-85)	34	ob	F		48-2	034	2.18	1.79	0.99	4.1	
〃	(S-85)	35	and	F		48-2	035	1.09	1.53	0.15	0.2	
〃	(S-85)	36	ob	F		48-2	036	2.00	1.59	0.26	0.7	
〃	(S-85)	37	and	F		48-2	037	1.26	1.38	0.17	0.1	
〃	(S-85)	38	and	RF		48-2	038	1.95	1.83	0.28	0.8	
〃	(S-85)	39	ob	chip		48-2	039	0.77	0.91	0.33	0.1	
〃	(S-85)	40	ob	F		48-2	040	3.80	1.87	1.12	5.9	
7SI130灰褐土	(S-130灰褐土)	8	砂岩	砥石	52	56-1	008	3.10	1.95	1.15	13.4	
7SI140灰褐土	(S-140灰褐土)	1	ob	AP		51-1	015	1.80	1.91	0.34	1.0	
〃	(S-140灰褐土)	2	ob	AP		51-1	016	2.38	1.99	0.65	2.7	
〃	(S-140灰褐土)	3	ob	RF		51-1	017	0.93	2.55	0.41	1.0	
〃	(S-140灰褐土)	4	ob	RF		51-1	018	0.94	2.16	0.35	0.4	
〃	(S-140灰褐土)	5	ob	RF		51-1	019	1.34	1.88	0.36	0.4	
〃	(S-140灰褐土)	6	ob	core		51-1	020	3.64	3.82	1.15	11.4	
〃	(S-140灰褐土)	7	ob	F		51-1	021	2.83	3.65	1.08	7.8	
〃	(S-140灰褐土)	8	ob	F		51-1	022	2.29	3.15	0.91	5.2	
〃	(S-140灰褐土)	9	ob	F		51-1	023	2.00	2.11	1.33	4.9	
〃	(S-140灰褐土)	10	ob	F		51-1	024	1.49	2.43	0.86	2.7	
〃	(S-140灰褐土)	11	ob	F		51-1	025	1.91	2.96	1.16	6.0	
〃	(S-140灰褐土)	12	ob	F		51-1	026	2.30	2.01	1.02	3.3	
〃	(S-140灰褐土)	13	ob	F		51-1	027	2.37	2.46	0.62	2.4	
〃	(S-140灰褐土)	14	ob	F		51-1	028	1.96	2.74	0.69	2.4	
〃	(S-140灰褐土)	15	ob	F		51-1	029	1.91	2.35	0.40	1.3	
〃	(S-140灰褐土)	16	ob	F		51-1	030	2.08	2.45	0.61	2.7	
〃	(S-140灰褐土)	17	ob	F		51-1	031	1.16	1.77	0.46	0.8	
〃	(S-140灰褐土)	18	ob	F		51-1	032	1.62	1.77	0.27	0.5	
〃	(S-140灰褐土)	19	ob	F		51-1	033	1.00	1.81	0.35	0.6	
〃	(S-140灰褐土)	20	ob	F		51-2	034	1.94	1.80	0.71	1.6	
〃	(S-140灰褐土)	21	ob	F		51-2	035	1.41	1.30	0.41	0.5	
〃	(S-140灰褐土)	22	ob	F		51-2	036	2.90	1.30	0.59	1.1	
〃	(S-140灰褐土)	23	ob	F		51-2	037	2.03	1.76	0.43	1.2	
〃	(S-140灰褐土)	24	ob	F		51-2	038	2.06	1.34	0.40	0.9	
〃	(S-140灰褐土)	25	ob	F		51-2	039	1.73	1.17	0.44	0.6	
〃	(S-140灰褐土)	26	ob	chip		51-2	040	0.84	0.86	0.41	0.2	
〃	(S-140灰褐土)	27	ob	chip		51-2	041	0.58	1.00	0.26	0.1	
〃	(S-140灰褐土)	28	ob	chip		51-2	042	0.81	0.77	0.15	0.1	
〃	(S-140灰褐土)	29	and	F		51-2	043	3.07	2.67	0.99	7.9	
〃	(S-140灰褐土)	30	and	F		51-2	044	2.70	3.17	0.93	3.2	
〃	(S-140灰褐土)	31	and	F		51-2	045	1.74	2.86	0.50	1.9	
〃	(S-140灰褐土)	32	and	F		51-2	046	1.72	1.64	0.38	0.7	

前田遺跡第7次調石器観察表5

遺構		No,	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SI140灰褐土	(S-140灰褐土)	33	and	F		51-2	047	1.22	1.61	0.36	0.6	
〃	(S-140灰褐土)	34	and	F		51-2	048	0.69	1.00	0.14	0.1	
7SI140黄灰土	(S-140黄灰土)	1	ob	F		51-2	008	1.24	1.48	0.40	0.5	
〃	(S-140黄灰土)	2	ob	F		51-2	009	2.69	1.59	0.42	1.5	
〃	(S-140黄灰土)	3	ob	F		51-2	010	0.98	0.74	0.19	0.1	
〃	(S-140黄灰土)	4	and	RF		51-2	011	5.22	4.00	1.00	22.3	石材は白味系
〃	(S-140黄灰土)	5	and	F		51-2	012	1.03	1.53	2.02	0.2	
〃	(S-140黄灰土)	6	and	F		51-2	013	0.97	2.37	0.15	0.1	
〃	(S-140黄灰土)	7	and	F		51-2	014	2.07	1.36	0.42	0.9	
7SI140暗灰土	(S-140暗灰土)	1	ob	AP		53-1	012	2.15	1.50	0.44	0.9	
〃	(S-140暗灰土)	2	ob	AP		53-1	013	1.83	1.50	0.42	0.8	
〃	(S-140暗灰土)	3	ob	AP		53-1	014	2.20	1.91	0.76	2.6	
〃	(S-140暗灰土)	4	ob	RF		53-1	015	3.31	2.72	0.71	5.6	
〃	(S-140暗灰土)	5	ob	RF		53-1	016	3.98	1.85	1.09	5.2	
〃	(S-140暗灰土)	6	ob	F		53-1	017	3.14	3.41	1.20	8.9	
〃	(S-140暗灰土)	7	ob	F		53-1	018	2.80	3.73	1.07	8.4	
〃	(S-140暗灰土)	8	ob	F		53-1	019	2.50	2.72	1.12	6.2	
〃	(S-140暗灰土)	9	ob	F		53-1	020	1.72	2.31	0.48	1.3	
〃	(S-140暗灰土)	10	ob	F		53-1	021	0.83	0.79	0.29	0.6	
〃	(S-140暗灰土)	11	ob	F		53-1	022	1.38	1.54	0.42	0.7	
〃	(S-140暗灰土)	12	ob	F		53-1	023	1.05	2.57	0.55	1.0	
〃	(S-140暗灰土)	13	ob	F		53-1	024	1.33	1.87	0.56	1.0	
〃	(S-140暗灰土)	14	ob	F		53-1	025	1.05	2.44	1.12	1.2	
〃	(S-140暗灰土)	15	ob	F		53-1	026	1.48	1.64	0.43	0.8	
〃	(S-140暗灰土)	16	ob	F		53-1	027	1.50	1.79	0.12	0.2	
〃	(S-140暗灰土)	17	ob	F		53-1	028	1.01	1.10	0.17	0.1	
〃	(S-140暗灰土)	18	ob	F		53-1	029	3.45	2.45	0.35	2.1	
〃	(S-140暗灰土)	19	ob	F		53-1	030	2.86	2.46	0.62	2.4	
〃	(S-140暗灰土)	20	ob	F		53-1	031	2.22	2.17	0.53	1.7	
〃	(S-140暗灰土)	21	ob	F		53-2	032	2.79	1.93	1.01	5.1	
〃	(S-140暗灰土)	22	ob	F		53-2	033	1.73	1.25	0.65	1.0	
〃	(S-140暗灰土)	23	ob	F		53-2	034	1.39	1.14	0.35	0.5	
〃	(S-140暗灰土)	24	ob	F		53-2	035	1.31	1.12	0.27	0.4	
〃	(S-140暗灰土)	25	ob	F		53-2	036	1.43	1.19	0.24	0.2	
〃	(S-140暗灰土)	26	ob	F		53-2	037	1.35	0.79	0.13	0.1	
〃	(S-140暗灰土)	27	ob	F		53-2	038	1.30	0.88	0.28	0.2	
〃	(S-140暗灰土)	28	ob	F		53-2	039	1.44	0.97	0.30	0.2	
〃	(S-140暗灰土)	29	ob	F		53-2	040	1.16	1.22	0.90	0.4	
〃	(S-140暗灰土)	30	ob	chip		53-2	041	0.84	1.00	0.09	0.1	
〃	(S-140暗灰土)	31	ob	chip		53-2	042	0.47	0.56	0.13	0.1	

前田遺跡第7次調石器観察表6

遺構		No,	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SI140暗灰土	(S-140暗灰土)	32	and	F		53-2	043	2.49	2.06	0.63	1.9	
〃	(S-140暗灰土)	33	and	core		53-2	044	5.37	3.33	2.37	28.4	
〃	(S-140暗灰土)	34	and	F		53-2	045	2.74	2.25	1.10	7.1	
〃	(S-140暗灰土)	35	and	F		53-2	046	1.86	1.85	0.44	1.3	
〃	(S-140暗灰土)	36	and	F		53-2	047	1.71	1.64	0.33	0.5	
〃	(S-140暗灰土)	37	and	F		53-2	048	1.17	1.40	0.25	0.2	
〃	(S-140暗灰土)	38	石英	白丸石		53-2	049	3.42	4.47	1.45	33.5	
7SI140茶褐粘	(S-140茶褐粘)	1	ob	core		54-2	001	1.92	3.05	1.09	5.9	
〃	(S-140茶褐粘)	2	ob	F		54-2	002	4.53	2.41	0.87	5.7	
〃	(S-140茶褐粘)	3	ob	F		54-2	003	3.24	2.03	0.67	3.3	
〃	(S-140茶褐粘)	4	ob	F		54-2	004	1.58	2.21	0.98	4.3	
〃	(S-140茶褐粘)	5	ob	F		54-2	005	2.57	2.33	0.64	4.1	
〃	(S-140茶褐粘)	6	ob	F		54-2	006	3.31	2.98	0.62	4.4	
〃	(S-140茶褐粘)	7	ob	F		54-2	007	2.12	1.86	0.37	1.1	
〃	(S-140茶褐粘)	8	ob	F		54-2	008	2.42	2.29	0.45	2.2	
〃	(S-140茶褐粘)	9	ob	F		54-2	009	1.46	2.41	0.50	1.2	
〃	(S-140茶褐粘)	10	ob	F		54-2	010	1.27	1.99	0.41	0.8	
〃	(S-140茶褐粘)	11	ob	F		54-2	011	1.25	1.64	0.53	1.2	
〃	(S-140茶褐粘)	12	ob	F		54-2	012	1.42	1.66	0.24	0.4	
〃	(S-140茶褐粘)	13	ob	F		54-2	013	1.52	1.74	0.32	0.5	
〃	(S-140茶褐粘)	14	ob	F		54-2	014	1.38	1.24	0.36	0.5	
〃	(S-140茶褐粘)	15	ob	F		54-2	015	2.58	2.16	0.51	2.0	
〃	(S-140茶褐粘)	16	ob	F		54-2	016	1.71	0.90	0.22	0.2	
〃	(S-140茶褐粘)	17	ob	F		54-2	017	1.45	0.69	0.33	0.2	
〃	(S-140茶褐粘)	18	ob	F		54-2	018	1.39	0.72	0.22	0.1	
〃	(S-140茶褐粘)	19	ob	F		54-2	019	1.78	1.36	0.40	0.7	
〃	(S-140茶褐粘)	20	ob	F		54-2	020	1.72	1.43	0.49	0.8	
〃	(S-140茶褐粘)	21	ob	F		54-2	021	1.30	1.47	0.42	0.7	
〃	(S-140茶褐粘)	22	ob	F		54-2	022	1.20	1.47	0.38	0.3	
〃	(S-140茶褐粘)	23	ob	F		54-2	023	0.85	1.32	0.33	0.2	
〃	(S-140茶褐粘)	24	ob	chip		54-2	024	0.60	1.01	0.18	0.1	
〃	(S-140茶褐粘)	25	ob	chip		54-2	025	0.47	0.90	0.17	0.1	
〃	(S-140茶褐粘)	26	ob	chip		54-2	026	0.64	0.73	0.16	0.1	
〃	(S-140茶褐粘)	27	ob	chip		54-2	027	0.60	0.86	0.28	0.1	
〃	(S-140茶褐粘)	28	ob	chip		54-2	028	0.88	0.82	0.17	0.1	
〃	(S-140茶褐粘)	29	ob	chip		54-2	029	0.66	0.68	0.11	0.1	
〃	(S-140茶褐粘)	30	ob	chip		54-2	030	0.60	0.59	0.10	0.1	
〃	(S-140茶褐粘)	31	and	AP		54-2	031	5.42	1.63	0.41	2.3	
〃	(S-140茶褐粘)	32	and	F		54-2	032	1.21	1.06	0.24	0.2	
〃	(S-140茶褐粘)	33	and	F		54-2	033	1.20	1.39	0.28	0.2	

前田遺跡第7次調石器観察表7

遺構		No,	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SI140茶褐粘	(S-140茶褐粘)	34	ob	chips		54-2	034	-	-	-	-	
7SI140灰粘	(S-140灰粘)	1	ob	AP		55-1	014	1.81	1.53	0.38	0.8	
〃	(S-140灰粘)	2	ob	core		55-1	015	3.49	3.07	2.57	21.3	
〃	(S-140灰粘)	3	ob	core		55-1	016	3.22	5.05	1.11	14.2	
〃	(S-140灰粘)	4	ob	F		55-1	017	2.19	3.40	0.86	8.2	
〃	(S-140灰粘)	5	ob	F		55-1	018	2.70	3.02	0.76	6.9	
〃	(S-140灰粘)	6	ob	F		55-1	019	2.06	2.93	1.18	3.7	
〃	(S-140灰粘)	7	ob	F		55-1	020	2.27	2.47	1.44	4.3	
〃	(S-140灰粘)	8	ob	F		55-1	021	2.43	3.26	1.17	6.9	
〃	(S-140灰粘)	9	ob	F		55-1	022	1.90	2.46	0.64	2.3	
〃	(S-140灰粘)	10	ob	F		55-1	023	1.62	2.30	0.37	0.8	
〃	(S-140灰粘)	11	ob	F		55-1	024	2.05	1.99	0.46	1.3	
〃	(S-140灰粘)	12	ob	F		55-1	025	2.13	2.03	0.60	1.2	
〃	(S-140灰粘)	13	ob	F		55-1	026	2.30	1.92	0.40	1.0	
〃	(S-140灰粘)	14	ob	F		55-1	027	1.17	1.61	0.60	0.9	
〃	(S-140灰粘)	15	ob	F		55-1	028	0.73	1.46	1.07	0.1	
〃	(S-140灰粘)	16	ob	F		55-1	029	3.14	2.31	1.08	6.0	
〃	(S-140灰粘)	17	ob	F		55-1	030	3.46	1.57	0.59	3.1	
〃	(S-140灰粘)	18	ob	F		55-1	031	3.02	1.67	0.88	2.9	
〃	(S-140灰粘)	19	ob	F		55-1	032	2.90	2.06	0.66	3.2	
〃	(S-140灰粘)	20	ob	F		55-2	033	2.97	2.06	0.59	2.2	
〃	(S-140灰粘)	21	ob	F		55-2	034	1.99	1.24	0.50	0.7	
〃	(S-140灰粘)	22	ob	F		55-2	035	2.05	0.94	0.54	0.7	
〃	(S-140灰粘)	23	ob	F		55-2	036	1.96	0.98	0.43	0.7	
〃	(S-140灰粘)	24	ob	F		55-2	037	1.41	0.93	0.22	0.1	
〃	(S-140灰粘)	25	ob	F		55-2	038	1.40	1.23	0.37	0.4	
〃	(S-140灰粘)	26	ob	F		55-2	039	1.56	0.92	0.22	0.2	
〃	(S-140灰粘)	27	ob	F		55-2	040	1.01	0.91	0.25	0.1	
〃	(S-140灰粘)	28	ob	F		55-2	041	0.97	0.99	0.21	0.1	
〃	(S-140灰粘)	29	ob	F		55-2	042	0.95	0.86	0.13	0.1	
〃	(S-140灰粘)	30	ob	F		55-2	043	0.93	0.55	0.14	0.1	
〃	(S-140灰粘)	31	ob	F		55-2	044	0.86	0.34	0.17	0.1	
〃	(S-140灰粘)	32	and	F		55-2	045	3.37	2.36	0.59	3.6	
〃	(S-140灰粘)	33	and	F		55-2	046	2.91	2.20	0.58	2.8	
〃	(S-140灰粘)	34	and	F		55-2	047	2.58	1.76	0.52	2.5	
〃	(S-140灰粘)	35	and	F		55-2	048	2.07	2.20	0.43	1.4	
〃	(S-140灰粘)	36	and	F		55-2	049	0.99	1.91	0.59	0.6	
〃	(S-140灰粘)	37	and	F		55-2	050	1.03	1.71	0.34	0.2	
〃	(S-140灰粘)	38	and	F		55-2	051	0.75	1.09	2.02	0.1	
〃	(S-140灰粘)	39	and	F		55-2	052	0.60	0.77	0.14	0.1	

前田遺跡第7次調石器観察表8

遺構		No,	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SI140灰粘	(S-140灰粘)	40	緑色片岩	円盤状石製品	90	55-2	053	2.37	2.87	0.24	2.5	
〃	(S-140灰粘)	41	花崗岩	打具	91	55-2	054	7.47	4.84	3.57	125.0	
7SI140a	(S-140a)	1	ob	F		55-2	003	2.50	3.63	1.15	11.0	
7SI190茶粘	(S-190茶粘)	1	ob	AP		56-2	003	1.86	1.40	0.31	0.7	
〃	(S-190茶粘)	2	ob	core		56-2	004	1.45	3.55	1.01	4.5	
〃	(S-190茶粘)	3	ob	F		56-2	005	4.34	3.87	1.64	21.3	
〃	(S-190茶粘)	4	ob	F		56-2	006	3.94	1.89	1.00	7.5	
〃	(S-190茶粘)	5	ob	F		56-2	007	2.86	3.23	0.50	4.0	
〃	(S-190茶粘)	6	ob	F		56-2	008	2.52	2.08	0.80	2.2	
〃	(S-190茶粘)	7	ob	F		56-2	009	2.27	2.78	1.05	4.2	
〃	(S-190茶粘)	8	ob	F		56-2	010	2.07	2.65	0.14	1.7	
〃	(S-190茶粘)	9	ob	F		56-2	011	1.82	2.50	0.63	2.4	
〃	(S-190茶粘)	10	ob	F		56-2	012	2.15	1.90	0.68	1.7	
〃	(S-190茶粘)	11	ob	F		56-2	013	1.76	1.54	0.39	0.7	
〃	(S-190茶粘)	12	ob	F		56-2	014	1.63	2.17	0.58	1.8	
〃	(S-190茶粘)	13	ob	F		56-2	015	1.43	1.42	0.69	0.7	
〃	(S-190茶粘)	14	ob	F		56-2	016	2.22	1.18	0.43	0.8	
〃	(S-190茶粘)	15	ob	F		56-2	017	1.78	0.90	0.50	0.5	
〃	(S-190茶粘)	16	ob	chip		56-2	018	0.73	0.80	0.26	0.1	
〃	(S-190茶粘)	17	and	RF		56-2	019	4.89	3.64	1.38	20.2	
〃	(S-190茶粘)	18	and	F		56-2	020	2.48	2.27	0.64	3.1	
〃	(S-190茶粘)	19	and	F		56-2	021	1.86	3.00	0.62	3.3	
7SK021茶灰土	(S-21茶灰土)	1	ob	core		58-1	013	3.65	3.27	1.50	21.0	
〃	(S-21茶灰土)	2	ob	原石		58-1	014	5.07	2.20	2.27	15.4	
〃	(S-21茶灰土)	3	and	core		58-1	015	3.53	3.90	2.69	39.5	
〃	(S-21茶灰土)	4	ob	横長剥片		58-1	016	2.78	3.74	0.86	5.0	
〃	(S-21茶灰土)	5	ob	横長剥片		58-1	017	1.78	3.05	0.45	2.3	
〃	(S-21茶灰土)	6	ob	横長剥片		58-1	018	1.99	3.50	1.00	6.0	
〃	(S-21茶灰土)	7	ob	横長剥片		58-1	019	1.87	2.74	0.60	2.0	
〃	(S-21茶灰土)	8	ob	横長剥片		58-1	020	1.85	2.72	0.86	3.1	
〃	(S-21茶灰土)	9	ob	横長剥片		58-1	021	2.48	2.65	7.40	4.5	
〃	(S-21茶灰土)	10	ob	横長剥片		58-1	022	2.54	3.05	1.43	3.9	
〃	(S-21茶灰土)	11	ob	横長剥片		58-1	023	1.82	2.37	0.47	1.1	
〃	(S-21茶灰土)	12	ob	横長剥片		58-1	024	1.74	1.90	0.40	1.1	
〃	(S-21茶灰土)	13	ob	横長剥片		58-1	025	2.04	1.89	0.32	0.8	
〃	(S-21茶灰土)	14	ob	横長剥片		58-1	026	1.75	1.80	0.35	0.8	
〃	(S-21茶灰土)	15	ob	横長剥片		58-1	027	1.54	2.23	0.60	1.4	
〃	(S-21茶灰土)	16	ob	横長剥片		58-1	028	1.55	3.40	1.79	4.9	
〃	(S-21茶灰土)	17	ob	横長剥片		58-1	029	1.69	2.14	0.33	0.7	
〃	(S-21茶灰土)	18	ob	横長剥片		58-1	030	1.27	2.03	0.27	0.7	

前田遺跡第7次調石器観察表9

遺構		No,	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SK021茶灰土	(S-21茶灰土)	19	ob	横長剥片		58-1	031	1.50	1.81	0.29	0.8	
〃	(S-21茶灰土)	20	ob	横長剥片		58-1	032	1.19	1.84	0.30	0.6	
〃	(S-21茶灰土)	21	ob	横長剥片		58-1	033	1.17	2.40	0.43	1.2	
〃	(S-21茶灰土)	22	ob	縦長剥片		58-2	034	1.68	2.73	0.90	2.5	
〃	(S-21茶灰土)	23	ob	縦長剥片		58-2	035	2.30	2.05	0.65	1.4	
〃	(S-21茶灰土)	24	ob	縦長剥片		58-2	036	2.97	1.62	0.65	1.9	
〃	(S-21茶灰土)	25	ob	縦長剥片		58-2	037	2.85	1.80	0.48	2.2	
〃	(S-21茶灰土)	26	ob	縦長剥片		58-2	038	2.24	1.93	0.45	1.1	
〃	(S-21茶灰土)	27	ob	縦長剥片		58-2	039	1.48	1.38	0.24	0.5	
〃	(S-21茶灰土)	28	ob	折断剥片		58-2	040	2.18	1.67	0.51	1.2	
〃	(S-21茶灰土)	29	ob	折断剥片		58-2	041	1.46	1.52	0.46	0.5	
〃	(S-21茶灰土)	30	ob	折断剥片		58-2	042	1.81	2.00	0.37	0.5	
〃	(S-21茶灰土)	31	ob	chip		58-2	043	1.19	0.73	0.42	0.2	
〃	(S-21茶灰土)	32	ob	chip		58-2	044	0.93	1.00	0.13	0.1	
〃	(S-21茶灰土)	33	and	横長剥片		58-2	045	4.00	3.94	0.80	9.3	
〃	(S-21茶灰土)	34	and	横長剥片		58-2	046	3.06	3.94	0.85	7.3	
〃	(S-21茶灰土)	35	and	横長剥片		58-2	047	1.85	2.96	0.95	3.9	
〃	(S-21茶灰土)	36	and	縦長剥片		58-2	048	2.67	2.22	0.44	2.2	
〃	(S-21茶灰土)	37	and	縦長剥片		58-2	049	3.74	1.41	9.95	3.3	
〃	(S-21茶灰土)	38	and	縦長剥片		58-2	050	3.41	1.37	0.66	2.2	
〃	(S-21茶灰土)	39	and	横長剥片		58-2	051	0.96	1.32	0.20	0.2	
〃	(S-21茶灰土)	40	花崗岩	打具	91	58-2	052	11.30	6.00	5.60	520.8	
〃	(S-21茶灰土)	41	泥岩	丸小石		58-2	053	1.70	1.78	0.82	3.1	表面光沢あり。工具か。
7SK021暗灰黒土	(S-21暗灰黒土)	1	ob	core		60-2	001	2.75	3.32	1.67	13.2	
〃	(S-21暗灰黒土)	2	ob	RF		60-2	002	2.32	1.75	0.38	1.2	
〃	(S-21暗灰黒土)	3	ob	縦長剥片		60-2	003	3.12	2.49	1.20	5.5	
〃	(S-21暗灰黒土)	4	ob	F		60-2	004	1.29	2.15	1.00	1.9	
7SK021黒褐土	(S-21黒褐土)	1	ob	core		60-2	002	2.50	2.72	2.17	10.0	
〃	(S-21黒褐土)	2	ob	縦長剥片		60-2	003	2.85	2.13	0.73	4.1	
〃	(S-21黒褐土)	3	ob	縦長剥片		60-2	004	2.29	1.20	0.47	0.8	
〃	(S-21黒褐土)	4	ob	chip		60-2	005	0.87	0.94	0.53	0.3	
〃	(S-21黒褐土)	5	and	縦長剥片		60-2	006	2.42	2.42	0.56	2.5	
7SK021橙茶土	(S-21橙茶土)	1	ob	AP		60-1	011	2.34	1.69	0.38	1.0	
〃	(S-21橙茶土)	2	ob	AP		60-1	012	2.20	2.02	0.40	1.1	
〃	(S-21橙茶土)	3	ob	打面再生剥片		60-1	013	3.46	3.50	2.00	15.1	
〃	(S-21橙茶土)	4	ob	縦長剥片		60-1	014	3.30	2.12	1.46	6.6	
〃	(S-21橙茶土)	5	ob	縦長剥片		60-1	015	3.04	1.60	0.65	2.5	
〃	(S-21橙茶土)	6	ob	縦長剥片		60-1	016	2.79	1.02	0.31	0.5	
〃	(S-21橙茶土)	7	ob	縦長剥片		60-1	017	2.40	1.10	0.58	1.1	
〃	(S-21橙茶土)	8	ob	縦長剥片		60-1	018	1.83	0.89	0.45	0.5	

前田遺跡第7次調石器観察表10

遺構		No,	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ	幅	厚さ	重量	備考
								cm	cm	cm	g	(+は欠損、＊は復原値)
7SK021橙茶土	(S-21橙茶土)	9	ob	縦長剥片		60-1	019	1.98	1.74	0.52	1.2	
〃	(S-21橙茶土)	10	ob	縦長剥片		60-1	020	1.68	0.84	0.38	0.2	
〃	(S-21橙茶土)	11	ob	横長剥片		60-1	021	2.47	2.56	1.13	4.7	
〃	(S-21橙茶土)	12	ob	横長剥片		60-1	022	1.98	2.63	0.67	2.2	
〃	(S-21橙茶土)	13	ob	横長剥片		60-1	023	1.72	2.28	1.09	3.0	
〃	(S-21橙茶土)	14	ob	chip		60-1	024	1.52	1.74	0.48	0.3	
〃	(S-21橙茶土)	15	ob	chip		60-1	025	1.73	1.18	0.47	0.5	
〃	(S-21橙茶土)	16	ob	chip		60-1	026	1.60	0.91	0.25	0.1	
〃	(S-21橙茶土)	17	ob	chip		60-1	027	0.93	0.75	0.18	0.1	
〃	(S-21橙茶土)	18	and	横長剥片		60-1	028	3.53	3.14	0.71	5.0	
〃	(S-21橙茶土)	19	and	横長剥片		60-1	029	2.87	3.27	0.69	4.8	
〃	(S-21橙茶土)	20	and	横長剥片		60-1	030	1.96	2.18	0.55	2.2	
〃	(S-21橙茶土)	21	and	横長剥片		60-1	031	1.73	2.15	0.80	2.2	
〃	(S-21橙茶土)	22	and	横長剥片		60-1	032	2.70	2.74	0.72	3.9	
7SK021灰黒褐土	(S-21灰黒褐土)	1	ob	縦長剥片		58-2	002	2.52	2.04	1.37	5.6	
〃	(S-21灰黒褐土)	2	ob	chip		58-2	001	1.02	0.62	0.43	0.2	
7SK025黒灰土	(S-25黒灰土)	1	ob	RF		62-1	006	5.31	1.34	1.00	4.4	
〃	(S-25黒灰土)	2	ob	RF		62-1	007	2.10	2.05	0.48	1.9	
〃	(S-25黒灰土)	3	ob	RF		62-1	008	2.43	1.46	0.66	2.1	
〃	(S-25黒灰土)	4	ob	core		62-1	009	2.15	4.06	1.63	13.4	
〃	(S-25黒灰土)	5	ob	core		62-1	010	2.96	3.63	1.90	19.0	
〃	(S-25黒灰土)	6	ob	core		62-1	011	4.05	1.86	1.40	9.9	
〃	(S-25黒灰土)	7	ob	横長剥片		62-1	012	2.17	3.26	1.18	6.0	
〃	(S-25黒灰土)	8	ob	横長剥片		62-1	013	2.66	2.99	0.88	5.1	
〃	(S-25黒灰土)	9	ob	横長剥片		62-1	014	1.87	3.50	0.80	4.6	
〃	(S-25黒灰土)	10	ob	横長剥片		62-1	015	1.70	2.76	0.85	3.7	
〃	(S-25黒灰土)	11	ob	横長剥片		62-1	016	2.26	2.42	0.55	2.3	
〃	(S-25黒灰土)	12	ob	横長剥片		62-1	017	1.65	2.76	0.63	1.9	
〃	(S-25黒灰土)	13	ob	横長剥片		62-1	018	1.59	3.12	1.05	4.4	
〃	(S-25黒灰土)	14	ob	横長剥片		62-1	019	1.11	2.58	1.04	2.4	
〃	(S-25黒灰土)	15	ob	横長剥片		62-1	020	1.58	3.87	1.85	5.9	
〃	(S-25黒灰土)	16	ob	横長剥片		62-1	021	1.86	1.80	0.30	1.1	
〃	(S-25黒灰土)	17	ob	横長剥片		62-1	022	2.41	3.31	1.33	7.6	
〃	(S-25黒灰土)	18	ob	横長剥片		62-1	023	2.39	2.00	0.99	3.3	
〃	(S-25黒灰土)	19	ob	縦長剥片		62-2	024	3.43	1.89	1.04	4.1	
〃	(S-25黒灰土)	20	ob	縦長剥片		62-2	025	2.77	2.50	1.24	5.1	
〃	(S-25黒灰土)	21	ob	縦長剥片		62-2	026	2.54	1.89	1.35	4.2	
〃	(S-25黒灰土)	22	ob	縦長剥片		62-2	027	1.72	1.23	0.62	0.6	
〃	(S-25黒灰土)	23	and	core		62-2	028	3.19	3.75	1.54	20.3	
〃	(S-25黒灰土)	24	and	core		62-2	029	2.74	4.66	1.86	13.5	

前田遺跡第7次調石器観察表11

遺構		No,	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SK025黒灰土	(S-25黒灰土)	25	and	横長剥片		62-2	030	1.64	2.19	0.38	1.3	
〃	(S-25黒灰土)	26	and	横長剥片		62-2	031	2.91	2.66	0.55	3.0	
〃	(S-25黒灰土)	27	砂岩	砥石	91	62-2	032	8.3+	5.80	1.9+	100.4	
〃	(S-25黒灰土)	28	泥岩	砥石	91	62-2	033	4.3+	3.0+	1.5+	15.6	
〃	(S-25黒灰土)	29	緑色片岩	石鍬	90	62-2	034	10.20	5.30	2.20	124.0	
7SK025暗茶土	(S-25暗茶土)	1	ob	AF		61-2	005	1.47	0.96	0.24	0.2	
〃	(S-25暗茶土)	2	ob	横長剥片		61-2	006	2.26	3.52	0.99	6.1	
〃	(S-25暗茶土)	3	ob	横長剥片		61-2	007	2.73	2.33	1.45	6.4	
〃	(S-25暗茶土)	4	ob	横長剥片		61-2	008	1.86	2.32	0.58	1.5	
〃	(S-25暗茶土)	5	ob	横長剥片		61-2	009	1.50	2.52	0.42	1.0	
〃	(S-25暗茶土)	6	ob	横長剥片		61-2	010	1.53	3.22	0.75	3.3	
〃	(S-25暗茶土)	7	ob	縦長剥片		61-2	011	1.92	1.52	0.45	1.1	
〃	(S-25暗茶土)	8	ob	縦長剥片		61-2	012	2.73	2.12	0.88	2.9	
〃	(S-25暗茶土)	9	ob	縦長剥片		61-2	013	2.47	1.41	0.31	0.6	
〃	(S-25暗茶土)	10	ob	縦長剥片		61-2	014	1.86	1.24	0.36	0.6	
〃	(S-25暗茶土)	11	and	core		61-2	015	3.56	3.33	1.94	25.6	
〃	(S-25暗茶土)	12	and	横長剥片		61-2	016	4.44	5.46	1.74	26.4	
〃	(S-25暗茶土)	13	and	横長剥片		61-2	017	2.06	2.46	0.33	1.4	
〃	(S-25暗茶土)	14	and	横長剥片		61-2	018	1.90	3.20	0.69	2.9	
7SK025明茶褐土	(S-25明茶褐土)	1	ob	F		61-2	002	2.88	3.45	1.00	9.8	
7SK040暗茶褐土	(S-40暗茶褐土)	1	ob	core		63-2	012	3.30	5.34	2.17	24.2	
〃	(S-40暗茶褐土)	2	ob	core		63-2	013	3.10	4.53	1.92	18.9	
〃	(S-40暗茶褐土)	3	ob	core		63-2	014	3.23	4.00	1.45	16.1	
〃	(S-40暗茶褐土)	4	ob	core		63-2	015	2.70	3.50	1.76	11.7	
〃	(S-40暗茶褐土)	5	ob	横長剥片		63-2	016	1.83	4.30	1.02	6.2	
〃	(S-40暗茶褐土)	6	ob	横長剥片		63-2	017	2.05	2.82	0.80	3.8	
〃	(S-40暗茶褐土)	7	ob	横長剥片		63-2	018	1.56	2.78	0.33	1.2	
〃	(S-40暗茶褐土)	8	ob	横長剥片		63-2	019	2.37	2.22	0.75	2.2	
〃	(S-40暗茶褐土)	9	ob	横長剥片		63-2	020	2.10	2.98	0.67	3.0	
〃	(S-40暗茶褐土)	10	ob	横長剥片		63-2	021	2.43	2.37	0.78	3.4	
〃	(S-40暗茶褐土)	11	ob	横長剥片		63-2	022	2.07	2.01	0.70	1.6	
〃	(S-40暗茶褐土)	12	ob	横長剥片		63-2	023	1.40	1.63	0.41	0.7	
〃	(S-40暗茶褐土)	13	ob	横長剥片		63-2	024	2.35	1.79	1.12	3.0	
〃	(S-40暗茶褐土)	14	ob	縦長剥片		63-2	025	3.46	2.79	0.68	4.2	
〃	(S-40暗茶褐土)	15	ob	縦長剥片		63-2	026	3.18	1.98	0.93	4.7	
〃	(S-40暗茶褐土)	16	ob	縦長剥片		63-2	027	2.75	2.23	0.46	2.1	
〃	(S-40暗茶褐土)	17	ob	縦長剥片		63-2	028	2.50	1.53	0.62	1.6	
〃	(S-40暗茶褐土)	18	ob	縦長剥片		63-2	029	1.88	1.26	0.42	0.5	
〃	(S-40暗茶褐土)	19	ob	F		63-2	030	1.46	1.03	0.48	0.2	
〃	(S-40暗茶褐土)	20	ob	F		63-2	031	1.35	0.93	0.38	0.4	

前田遺跡第7次調石器観察表12

遺構		No,	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SK040暗茶褐土	(S-40暗茶褐土)	21	ob	F		63-2	032	1.17	0.82	0.23	0.1	
〃	(S-40暗茶褐土)	22	and	横長剥片		63-2	033	2.66	3.22	0.93	10.6	
〃	(S-40暗茶褐土)	23	and	横長剥片		63-2	034	2.47	2.50	0.43	1.9	
〃	(S-40暗茶褐土)	24	and	横長剥片		63-2	035	1.79	2.39	0.48	1.3	
〃	(S-40暗茶褐土)	25	and	縦長剥片		63-2	036	2.73	1.74	0.90	3.6	
〃	(S-40暗茶褐土)	26	泥岩	石包丁	90	63-2	037	7.0+	3.8+	0.50	22.8	擦り切り穿穴
〃	(S-40暗茶褐土)	27	火成岩	打具	90	63-2	038	6.30	6.50	1.90	122.1	
7SK040黄褐土	(S-40黄褐土)	1	ob	F		64-1	006	2.00	3.22	0.86	3.6	
〃	(S-40黄褐土)	2	ob	F		64-1	007	2.17	2.84	0.74	2.7	
〃	(S-40黄褐土)	3	ob	F		64-1	008	1.92	2.03	0.59	2.2	
〃	(S-40黄褐土)	4	ob	F		64-1	009	2.14	2.04	0.37	1.3	
7SK040黒灰茶褐土	(S-40黒灰茶褐土)	1	ob	縦長剥片		64-1	002	3.30	2.95	1.63	12.1	
〃	(S-40黒灰茶褐土)	2	ob	横長剥片		64-1	003	2.34	2.78	1.16	6.5	
〃	(S-40黒灰茶褐土)	3	ob	横長剥片		64-1	004	2.97	3.34	0.85	6.0	
7SK068黒褐土	(S-68黒褐土)	1	ob	RF		64-1	006	2.88	2.33	0.82	5.6	
〃	(S-68黒褐土)	2	ob	F		64-1	007	1.65	4.36	0.82	5.8	
〃	(S-68黒褐土)	3	ob	F		64-1	008	2.44	2.62	1.23	5.5	
〃	(S-68黒褐土)	4	ob	F		64-1	009	2.83	2.40	0.54	3.1	
〃	(S-68黒褐土)	5	ob	F		64-1	010	1.56	2.06	0.45	1.1	
〃	(S-68黒褐土)	6	ob	F		64-1	011	1.56	0.89	0.18	0.1	
〃	(S-68黒褐土)	7	ob	F		64-1	012	1.80	1.53	0.65	1.8	
〃	(S-68黒褐土)	8	ob	F		64-1	013	1.28	1.24	0.54	0.5	
〃	(S-68黒褐土)	9	and	F		64-1	014	2.40	2.37	0.82	4.2	
〃	(S-68黒褐土)	10	緑色片岩	砥石	91	64-1	015	10.2+	4.6+	2.2+	127.7	
7SK068暗茶褐土	(S-68暗茶褐土)	1	ob	F		65-2	008	2.78	2.50	0.75	3.2	
〃	(S-68暗茶褐土)	2	ob	F		65-2	009	1.47	3.19	0.51	1.8	
〃	(S-68暗茶褐土)	3	ob	F		65-2	010	2.45	2.30	0.46	1.9	
〃	(S-68暗茶褐土)	4	ob	F		65-2	011	1.15	1.95	0.18	0.4	
〃	(S-68暗茶褐土)	5	ob	F		65-2	012	1.22	1.24	0.40	0.3	
〃	(S-68暗茶褐土)	6	ob	F		65-2	013	5.30	1.47	0.64	2.5	
〃	(S-68暗茶褐土)	7	ob	F		65-2	014	1.98	1.28	0.47	0.7	
7SK068暗黄土	(S-68暗黄土)	1	ob	core		65-2	003	1.85	2.66	1.10	4.4	
〃	(S-68暗黄土)	2	ob	F		65-2	004	2.62	3.53	0.78	5.2	
〃	(S-68暗黄土)	3	ob	F		65-2	005	3.24	1.66	0.46	1.4	
〃	(S-68暗黄土)	4	ob	F		65-2	006	2.52	1.68	0.62	1.9	
〃	(S-68暗黄土)	5	and	F		65-2	007	1.82	2.05	0.57	2.2	
〃	(S-68暗黄土)	6	火成岩	打具	91	65-2	008	10.00	8.00	3.90	411.5	
7SK068暗黄褐土	(S-68暗黄褐土)	1	ob	core		65-2	011	5.27	2.15	1.98	10.5	
〃	(S-68暗黄褐土)	2	ob	core		65-2	012	3.30	3.03	1.35	9.3	
〃	(S-68暗黄褐土)	3	ob	F		65-2	013	2.89	3.88	1.28	9.7	

前田遺跡第7次調石器観察表13

遺構		No,	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SK068暗黄褐土	(S-68暗黄褐土)	4	ob	F		65-2	014	2.95	3.31	1.06	6.2	
〃	(S-68暗黄褐土)	5	ob	F		65-2	015	2.42	2.80	0.71	2.7	
〃	(S-68暗黄褐土)	6	ob	F		65-2	016	1.72	3.10	0.74	3.7	
〃	(S-68暗黄褐土)	7	ob	F		65-2	017	2.57	1.31	0.42	1.1	
〃	(S-68暗黄褐土)	8	ob	F		65-2	018	1.85	1.16	0.42	0.6	
〃	(S-68暗黄褐土)	9	ob	F		65-2	019	1.56	1.34	0.42	0.6	
〃	(S-68暗黄褐土)	10	ob	F		65-2	020	1.35	1.74	0.45	0.8	
〃	(S-68暗黄褐土)	11	and	F		65-2	021	1.70	1.53	0.59	1.2	
〃	(S-68暗黄褐土)	12	and	F		65-2	022	1.60	1.84	0.65	1.4	
7SK080茶褐土	(S-80茶褐土)	1	泥岩	石包丁	90-1		004	7.3+	3.3+	0.90	21.2	
7SK145茶灰土	(S-145茶灰土)	1	ob	core		70-1	008	2.01	2.21	1.24	4.8	
〃	(S-145茶灰土)	2	ob	F		70-1	009	3.08	3.33	1.14	6.8	
〃	(S-145茶灰土)	3	ob	F		70-1	010	2.52	2.40	0.72	2.8	
〃	(S-145茶灰土)	4	ob	F		70-1	011	1.91	2.96	0.78	3.8	
〃	(S-145茶灰土)	5	ob	F		70-1	012	1.17	2.38	0.73	2.4	
〃	(S-145茶灰土)	6	ob	F		70-1	013	2.01	1.65	0.44	1.7	
〃	(S-145茶灰土)	7	ob	F		70-1	014	2.15	1.25	0.30	0.5	
〃	(S-145茶灰土)	8	ob	F		70-1	015	1.42	1.00	0.30	0.2	
7SK145黒灰土	(S-145黒灰土)	1	ob	F		70-1	009	1.54	2.21	0.52	1.0	
〃	(S-145黒灰土)	2	ob	F		70-1	010	2.02	1.77	0.65	1.7	
〃	(S-145黒灰土)	3	and	F		70-1	011	4.20	3.60	0.91	8.9	
〃	(S-145黒灰土)	4	and	F		70-1	012	3.18	3.99	1.33	17.1	
〃	(S-145黒灰土)	5	and	F		70-1	013	2.32	3.83	0.60	3.4	
〃	(S-145黒灰土)	6	and	F		70-1	014	1.44	2.00	0.24	0.7	
〃	(S-145黒灰土)	7	花崗岩	砥石	91	70-2	015	8.00	8.20	4.50	437.3	
〃	(S-145黒灰土)	8	火成岩	打具兼用台石	91	70-2	016	11.50	9.40	5.60	871.6	
7SK145暗灰土	(S-145暗灰土)	1	ob	AP		70-1	003	2.12	1.77	0.36	1.1	
〃	(S-145暗灰土)	2	ob	RF		70-1	004	2.78	2.22	0.34	1.9	
〃	(S-145暗灰土)	3	and	F		70-1	005	2.50	1.58	0.54	1.5	
〃	(S-145暗灰土)	4	and	F		70-1	006	1.81	2.86	0.37	1.3	
〃	(S-145暗灰土)	5	and	F		70-1	007	1.95	1.71	0.29	0.9	
〃	(S-145暗灰土)	6	and	F		70-1	008	5.25	5.81	1.93	55.3	
〃	(S-145暗灰土)	7	砂岩	砥石	91	70-1	009	5.2+	4.1+	1.7+	52.6	
7SK145白砂	(S-145白砂)	1	and	RF		70-1	001	3.64	6.57	1.14	30.6	
7SK168暗茶土	(S-168暗茶土)	1	ob	F		75-2	011	1.97	3.32	0.70	2.9	
〃	(S-168暗茶土)	2	ob	F		75-2	012	1.55	2.54	0.56	1.9	
〃	(S-168暗茶土)	3	ob	F		75-2	013	1.73	2.44	0.44	1.5	
〃	(S-168暗茶土)	4	ob	F		75-2	014	1.85	2.12	0.63	1.7	
〃	(S-168暗茶土)	5	ob	F		75-2	015	2.22	2.29	0.62	1.8	
〃	(S-168暗茶土)	6	ob	F		75-2	016	1.51	1.54	0.21	0.3	

前田遺跡第7次調石器観察表14

遺構		No,	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SK168暗茶土	(S-168暗茶土)	7	ob	UF		75-2	017	5.43	3.51	1.18	11.3	
〃	(S-168暗茶土)	8	ob	F		75-2	018	4.38	1.99	1.19	10.9	
〃	(S-168暗茶土)	9	ob	F		75-2	019	3.72	2.70	0.72	4.6	
〃	(S-168暗茶土)	10	ob	F		75-2	020	3.26	2.13	0.66	5.0	
〃	(S-168暗茶土)	11	ob	F		75-2	021	2.77	2.11	0.52	1.0	
〃	(S-168暗茶土)	12	ob	F		75-2	022	2.18	1.59	1.25	1.9	
〃	(S-168暗茶土)	13	ob	F		75-2	023	1.91	1.77	0.38	0.9	
〃	(S-168暗茶土)	14	ob	F		75-2	024	1.64	1.27	0.51	0.7	
〃	(S-168暗茶土)	15	ob	F		75-2	025	0.95	1.40	0.99	0.7	
〃	(S-168暗茶土)	16	ob	F		75-2	026	1.05	1.30	0.27	0.2	
〃	(S-168暗茶土)	17	ob	F		75-2	027	1.12	1.56	0.37	0.2	
〃	(S-168暗茶土)	18	and	AP		75-2	028	2.54	1.44	0.35	0.9	
〃	(S-168暗茶土)	19	and	F		75-2	029	0.87	1.68	0.37	0.4	
7SK168黒粘	(S-168黒粘)	1	ob	F		76-1	009	1.00	2.27	0.34	0.4	
〃	(S-168黒粘)	2	ob	F		76-1	010	1.54	1.48	0.18	0.2	
〃	(S-168黒粘)	3	ob	F		76-1	011	1.58	1.96	0.16	0.3	
〃	(S-168黒粘)	4	ob	F		76-1	012	1.57	2.08	0.58	1.0	壷内
〃	(S-168黒粘)	5	ob	F		76-1	013	2.74	1.86	0.93	2.6	
〃	(S-168黒粘)	6	ob	F		76-1	014	1.65	1.40	0.35	0.4	
〃	(S-168黒粘)	7	ob	F		76-1	015	2.15	0.80	0.26	0.3	
〃	(S-168黒粘)	8	and	F		76-1	016	1.46	2.14	0.18	0.2	
〃	(S-168黒粘)	9	and	F		76-1	017	3.46	2.54	0.52	2.9	
〃	(S-168黒粘)	10	泥岩	石斧	90	76-1	018	7.0+	5.7+	1.9+	77.7	
7SK168茶褐土	(S-168茶褐土)	1	ob	core		76-1	014	2.33	4.15	2.30	13.9	
〃	(S-168茶褐土)	2	ob	core		76-1	015	2.57	3.40	1.71	15.3	
〃	(S-168茶褐土)	3	ob	F		76-1	016	2.04	2.80	0.56	2.8	
〃	(S-168茶褐土)	4	ob	F		76-1	017	1.95	1.74	0.38	0.6	
〃	(S-168茶褐土)	5	ob	F		76-1	018	1.53	1.95	0.46	0.7	
〃	(S-168茶褐土)	6	ob	F		76-1	019	2.42	2.00	0.56	2.7	
〃	(S-168茶褐土)	7	ob	F		76-1	020	2.38	2.07	0.53	2.2	
7SK168暗茶粘	(S-168暗茶粘)	1	ob	F		78-1	005	2.92	3.23	1.47	9.1	
〃	(S-168暗茶粘)	2	ob	F		78-1	006	2.41	2.86	0.47	2.2	
〃	(S-168暗茶粘)	3	ob	F		78-1	007	2.84	2.39	1.37	4.1	
〃	(S-168暗茶粘)	4	ob	F		78-1	008	1.27	1.49	0.33	0.2	
〃	(S-168暗茶粘)	5	ob	F		78-1	009	1.51	1.44	0.22	0.2	
〃	(S-168暗茶粘)	6	and	core		78-1	010	3.34	3.26	1.52	13.0	
〃	(S-168暗茶粘)	7	and	F		78-1	011	2.02	2.58	0.40	1.7	
〃	(S-168暗茶粘)	8	and	F		78-1	012	2.00	2.02	0.83	1.5	
〃	(S-168暗茶粘)	9	and	F		78-1	013	1.44	2.10	0.37	0.7	
〃	(S-168暗茶粘)	10	and	F		78-1	014	0.93	2.21	0.56	0.8	

前田遺跡第7次調石器観察表15

遺構		No,	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SK168暗茶粘	(S-168暗茶粘)	11	and	F		78-1	015	3.45	2.60	1.05	7.1	
〃	(S-168暗茶粘)	12	泥岩	石包丁	90	78-1	016	8.4+	4.5+	0.5+	24.1	
〃	(S-168暗茶粘)	13	花崗岩	打具	90	78-1	017	7.9+	4.8+	5.20	258.9	
7SK168暗茶褐土	(S-168暗茶褐土)	1	ob	core		77-2	015	2.30	3.75	1.75	15.9	
〃	(S-168暗茶褐土)	2	ob	core		77-2	016	2.63	3.71	1.87	13.8	
〃	(S-168暗茶褐土)	3	ob	core		77-2	017	1.74	6.00	1.34	11.5	
〃	(S-168暗茶褐土)	4	ob	F		77-2	018	2.59	3.31	1.57	10.3	
〃	(S-168暗茶褐土)	5	ob	F		77-2	019	2.71	2.43	0.59	2.3	
〃	(S-168暗茶褐土)	6	ob	F		77-2	020	2.22	2.31	0.71	2.0	
〃	(S-168暗茶褐土)	7	ob	F		77-2	021	2.02	2.45	0.73	3.1	
〃	(S-168暗茶褐土)	8	ob	F		77-2	022	1.65	2.99	0.75	3.2	
〃	(S-168暗茶褐土)	9	ob	F		77-2	023	1.54	2.19	0.43	0.8	
〃	(S-168暗茶褐土)	10	ob	F		77-2	024	1.83	2.40	0.93	2.9	
〃	(S-168暗茶褐土)	11	ob	F		77-2	025	1.34	1.48	0.54	0.8	
〃	(S-168暗茶褐土)	12	ob	F		77-2	026	1.08	2.01	0.35	0.6	
〃	(S-168暗茶褐土)	13	ob	F		77-2	027	1.20	2.18	0.46	0.9	
〃	(S-168暗茶褐土)	14	ob	F		77-2	028	3.63	2.26	1.04	3.4	
〃	(S-168暗茶褐土)	15	ob	F		77-2	029	1.78	1.55	0.54	0.6	
〃	(S-168暗茶褐土)	16	ob	F		77-2	030	1.55	1.58	0.45	0.5	
〃	(S-168暗茶褐土)	17	and	core		77-2	031	2.98	2.24	1.37	12.7	
〃	(S-168暗茶褐土)	18	and	core		77-2	032	2.94	3.22	1.51	16.2	
〃	(S-168暗茶褐土)	19	and	core		77-2	033	2.32	3.09	1.99	7.7	
〃	(S-168暗茶褐土)	20	and	F		77-2	034	1.51	2.65	0.50	1.5	
〃	(S-168暗茶褐土)	21	泥岩	石剣	90	77-2	035	6.4+	3.0+	0.9+	20.5	
7SK172	(S-172)	1	ob	AP		80-1	002	2.03	1.84	0.59	1.3	
〃	(S-172)	2	ob	AP		80-1	003	0.79	0.74	0.20	0.1	
〃	(S-172)	3	ob	F		80-1	004	1.98	1.24	0.58	0.9	
〃	(S-172)	4	ob	F		80-1	005	2.50	1.14	0.60	1.4	
〃	(S-172)	5	ob	F		80-1	006	1.57	0.89	0.71	0.5	
〃	(S-172)	6	ob	F		80-1	007	1.52	0.60	0.19	0.1	
〃	(S-172)	7	ob	F		80-1	008	0.81	1.20	0.25	0.1	
〃	(S-172)	8	ob	F		80-1	009	0.59	0.84	0.19	0.1	
〃	(S-172)	9	and	RF		80-1	010	3.07	4.80	1.49	19.2	
〃	(S-172)	10	and	F		80-1	011	1.05	2.43	0.45	0.8	
〃	(S-172)	11	and	F		80-1	012	1.19	1.30	0.34	0.3	
7SK185灰褐砂	(S-185灰褐砂)	1	ob	RF		80-1	014	3.49	1.64	0.70	2.3	ドリルか？
〃	(S-185灰褐砂)	2	ob	F		80-1	015	2.80	2.26	1.01	6.3	
〃	(S-185灰褐砂)	3	ob	F		80-1	016	3.02	2.04	0.86	3.9	
〃	(S-185灰褐砂)	4	ob	F		80-1	017	1.73	2.51	0.60	2.5	
〃	(S-185灰褐砂)	5	ob	F		80-1	018	2.40	1.37	1.27	1.9	

前田遺跡第7次調石器観察表16

遺構		No,	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SK185灰褐砂	(S-185灰褐砂)	6	ob	F		80-1	019	2.05	0.95	0.67	0.7	
〃	(S-185灰褐砂)	7	ob	F		80-1	020	1.68	1.15	0.43	0.5	
〃	(S-185灰褐砂)	8	and	F		80-1	021	8.26	6.16	1.74	64.3	
〃	(S-185灰褐砂)	9	and	F		80-1	022	6.52	3.53	2.34	41.2	
〃	(S-185灰褐砂)	10	and	BF		80-1	023	2.89	4.93	1.50	21.7	
〃	(S-185灰褐砂)	11	and	BF		80-1	024	1.84	2.12	0.46	1.6	
〃	(S-185灰褐砂)	12	and	BF		80-1	025	2.37	3.91	1.08	9.2	
7SK193黄灰土	(S-193黄灰土)	1	ob	core		81-2	008	2.80	5.00	1.54	20.2	
〃	(S-193黄灰土)	2	ob	core		81-2	009	2.23	3.01	1.10	4.1	
〃	(S-193黄灰土)	3	ob	F		81-2	010	2.05	1.91	0.51	1.5	
〃	(S-193黄灰土)	4	ob	F		81-2	011	1.78	1.57	0.39	0.6	
〃	(S-193黄灰土)	5	ob	F		81-2	012	1.28	1.65	0.29	0.5	
〃	(S-193黄灰土)	6	ob	F		81-2	013	1.11	1.94	0.52	0.8	
〃	(S-193黄灰土)	7	ob	F		81-2	014	1.10	1.00	0.30	0.1	
7SK210茶灰土	(S-210茶灰土)	1	ob	RF		81-2	013	2.27	1.72	0.36	1.1	APの未製品
〃	(S-210茶灰土)	2	ob	F		81-2	014	1.96	4.05	0.83	5.3	
〃	(S-210茶灰土)	3	ob	F		81-2	015	3.32	2.09	0.50	2.7	
〃	(S-210茶灰土)	4	ob	UF		81-2	016	3.97	1.41	0.81	2.9	
〃	(S-210茶灰土)	5	and	AP		81-2	017	3.45	2.07	0.44	2.5	
〃	(S-210茶灰土)	6	and	F		81-2	018	5.73	4.05	1.42	27.2	
〃	(S-210茶灰土)	7	and	BF		81-2	019	2.43	3.23	0.80	7.6	
7SK220灰褐土	(S-220灰褐土)	1	ob	core		81-2	006	2.59	2.85	2.47	8.0	
〃	(S-220灰褐土)	2	ob	core		81-2	007	1.87	2.72	1.58	2.3	
〃	(S-220灰褐土)	3	and	F		81-2	008	2.16	1.50	0.43	3.3	
〃	(S-220灰褐土)	4	花崗岩	台石	91	82-1.2	009	13.40	17.30	3.40	920.1	
7SK220暗褐土	(S-220暗褐土)	1	ob	F		81-2	004	2.72	1.78	2.23	5.9	
〃	(S-220暗褐土)	2	ob	F		81-2	005	2.53	1.94	0.58	2.2	
〃	(S-220暗褐土)	3	ob	F		81-2	006	2.01	1.63	0.38	0.8	
7SK220黒灰土	(S-220黒灰土)	1	ob	F		81-2	001	1.95	1.55	0.54	1.2	
〃	(S-220黒灰土)	2	ob	F		81-2	002	2.80	2.26	0.95	3.3	姫島産
7SK220黄灰土	(S-220黄灰土)	1	ob	F		81-2	006	1.42	2.19	0.48	0.8	
〃	(S-220黄灰土)	2	ob	F		81-2	007	0.98	1.32	0.26	0.2	
〃	(S-220黄灰土)	3	玄武岩	F		81-2	008	4.41	7.41	1.32	30.0	
7SK225黄色土	(S-225黄色土)	1	珪化木			83-2	005	1.10	5.99	1.12	9.9	
〃	(S-225黄色土)	2	ob	F		83-2	006	1.52	1.08	0.31	0.4	
7SK225淡灰砂	(S-225淡灰砂)	1	ob	core		83-2	005	2.12	3.12	1.70	11.0	
〃	(S-225淡灰砂)	2	ob	RF		83-2	006	3.12	2.00	0.75	3.1	
〃	(S-225淡灰砂)	3	ob	F		83-2	007	2.60	3.49	1.22	5.0	
〃	(S-225淡灰砂)	4	and	F		83-2	008	3.01	3.47	1.28	10.2	
〃	(S-225淡灰砂)	5	and	F		83-2	009	2.88	1.72	0.63	2.3	

前田遺跡第7次調石器観察表17

遺構		No,	石材	器種	図版番号	写真番号	R番号	長さ cm	幅 cm	厚さ cm	重量 g	備考 (+は欠損、＊は復原値)
7SK225淡灰砂	(S-225淡灰砂)	6	and	F		83-2	010	1.29	1.56	0.35	0.5	
〃	(S-225淡灰砂)	7	and	F		83-2	011	1.27	1.08	0.36	0.3	
7SX045	(S-45)	16	ob	AP		88-2	014	2.50	1.54	0.34	0.8	
〃	(S-45)	17	ob	AP		88-2	015	2.50	1.62	0.61	1.7	
7SX060暗褐土	(S-60暗褐土)	4	泥岩	石包丁		88-1	010	4.09	5.40	0.52	13.1	後期
7SX062	(S-62)	18	ob	AP		88-2	002	2.20	2.12	0.46	1.3	
7SX070暗茶褐土	(S-70暗茶褐土)	15	ob	AP		88-2	047	1.44	1.93	0.21	0.5	
7SX093	(S-93)	3	泥岩	石包丁	90	88-1	001	6.70	6.50	0.70	42.2	本来は7SI190の所属か
7SX095黒灰土	(S-95黒灰土)	25	ob	AP		88-2	023	1.38	1.46	0.28	0.5	
〃	(S-95黒灰土)	28	ob	剥片尖頭器		88-2	024	4.60	2.40	1.50	4.8	
7SX110	(S-110)	23	ob	AP		88-2	001	1.53	1.50	0.30	0.5	
7SX134	(S-134)	20	ob	AP		88-2	007	2.02	1.89	0.44	1.6	
7SX138	(S-138)	29	安山岩	剥片尖頭器		88-2	001	4.40	2.10	1.60	9.9	
7SX144	(S-144)	13	ob	core		88-2	009	2.93	3.42	3.07	28.8	
7SX150明茶土	(S-150明茶土)	24	ob	AP		88-2	001	1.47	1.24	0.42	0.7	
7SX153	(S-153)	22	and	AP		88-2	002	1.75	1.67	0.40	0.9	
7SX157	(S-157)	21	ob	AP		88-2	004	1.68	1.66	0.40	0.9	
7SX193黄灰土	(S-193黄灰土)	19	ob	AP		88-2	015	2.04	2.17	0.46	1.9	
7SX221	(S-221)	2	泥岩	石包丁		88-1	002	10.58	3.52	0.65	36.8	7SI005に所属するものか？
7SX224	(S-224)	31	チャート	剥片		88-2	001	3.20	2.90	1.00	8.2	
茶褐土	茶褐土	5	緑色片岩	紡錘車	90	88-1	020	4.70	4.70	0.80	31.4	
〃	茶褐土	6	緑色片岩	打具	90	88-1	021	11.00	4.60	2.50	268.9	磨製石斧転用
〃	茶褐土	7	安山岩	打石斧		88-1	022	5.88	5.15	1.25	58.4	
〃	茶褐土	9	and	RF		88-1	023	5.70	7.16	1.49	35.2	
〃	茶褐土	10	ob	core		88-2	024	3.59	4.85	3.37	56.3	
〃	茶褐土	14	ob	AP		88-2	025	2.74	1.92	0.85	3.1	
〃	茶褐土	27	ob	剥片尖頭器		88-2	026	6.00	1.80	1.30	12.0	
〃	茶褐土	30	チャート	剥片		88-2	027	3.70	1.80	1.00	5.6	
〃	茶褐土	32	滑石	石鍋		89-1	028	4.29	8.09	2.27	62.4	
〃	茶褐土	33	滑石	石鍋		89-1	029	6.90	10.63	6.02	251.9	
〃	茶褐土	34	白石	碁石		89-1	031	1.38	1.47	0.76	2.2	
〃	茶褐土	35	砂岩	砥石		89-1	030	6.08	9.29	4.47	289.9	
灰色土	灰色土	1	泥岩	石包丁		88-1	024	9.40	3.72	0.45	22.4	
〃	灰色土	8	緑色片岩	打石斧		88-1	028	5.51	4.27	0.72	30.4	
〃	灰色土	11	ob	core		88-2	025	4.40	5.26	2.34	61.9	
〃	灰色土	12	ob	core		88-2	026	2.98	3.65	1.25	14.0	
〃	灰色土	26	ob	RF		88-2	027	1.65	2.66	0.46	1.9	

宮ノ本遺跡　第９次調査

はじめに

宮ノ本遺跡は佐野地区区画整理事業にともない事前の発掘調査をおこなってきたものであり、今報告はその第９次調査に関するものである。調査地は宮ノ本遺跡第７次調査地に挟まれた谷部を中心とした場所である。第７次調査の成果（『太宰府・佐野地区遺跡群』IV・V　太宰府市の文化財21・27集　1993・1995）では調査地の周辺は古墳時代から平安時代にかけての墳墓が確認されている。このため今次調査地でも同様の遺構群が展開していると考えられた。調査地は太宰府市大字向佐野381-1、383-1、432-3、384-1に所在し、対象面積は8000mで調査面積は6300mである。調査は1996年６月10日から同年９月18日までおこない城戸康利が担当した。

調査地は山林で雑木が茂っていたが第７次調査の際に一括して伐採をおこなっていた。また現在使用中である墓地が第７次調査との間に存在していたため調査地からはずした。この墓地は近世以降継続して使用されている。

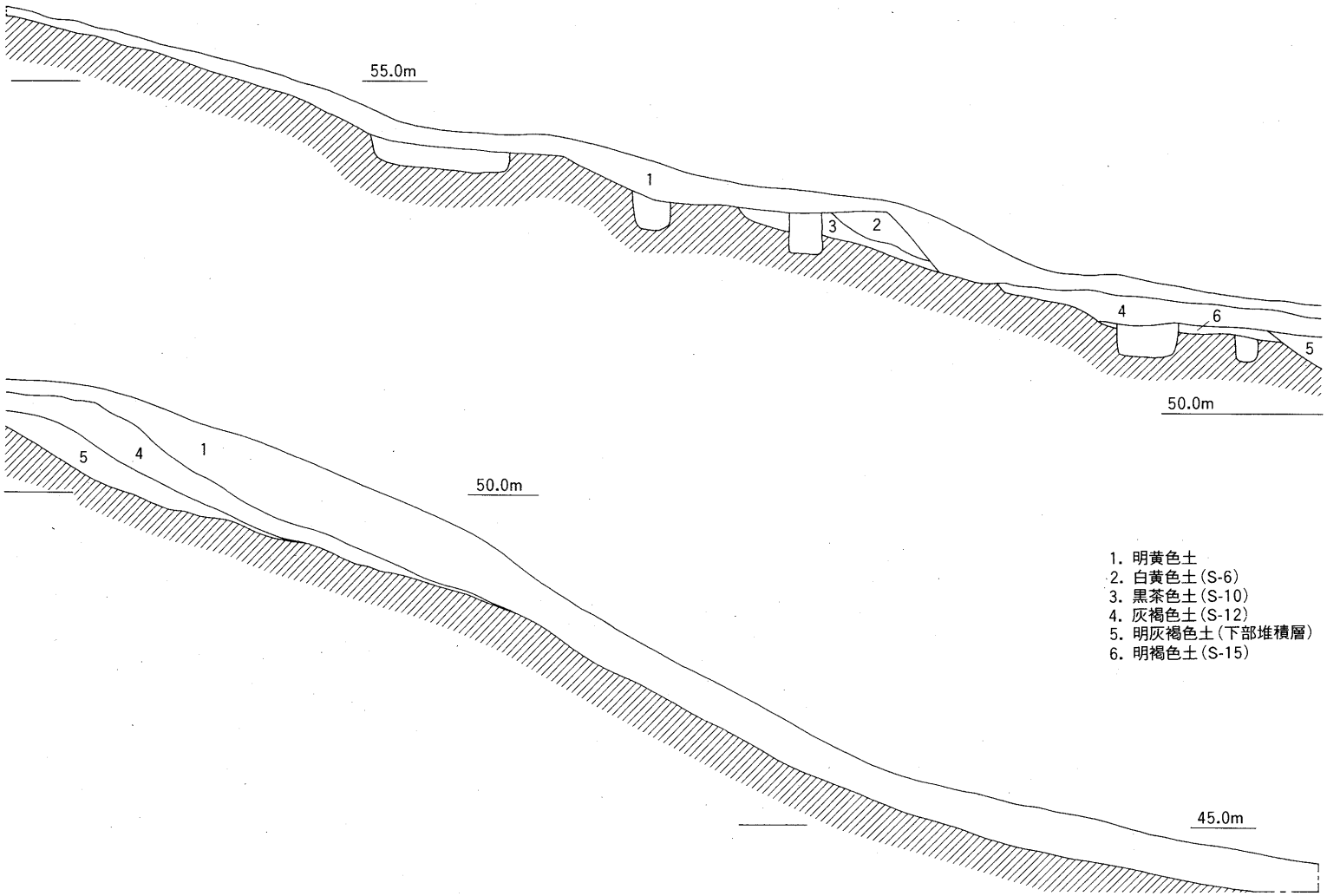
調査は南北にある丘陵頂部からその間にある谷に向かって重機にて表土層を除去しながら遺構が確認できる面を検出していった。最終的に谷の最下部に排土を積み上げた。その後調査区を大雑把ではあるが北丘陵部、南丘陵部、谷部に分割して遺構検出をした。以下、調査区の呼称はこれに従うことにする。測量は谷部のみ任意の３ｍメッシュをきり縮尺1/100で略測図を作成した。個別遺構図は1/10・1/20で作成し、全体の地形測量・遺構配置は固定翼機（セスナ）による垂直撮影写真からデジタルマッピング手法にて図化（縮尺1/100）をおこなった。

遺構・遺物は谷部に集中して検出された。北丘陵部では少量の遺物と奈良時代の火葬墓を、谷部では縄文後晩期から近代までの遺物と古墳時代から中世までの遺構を検出した。南丘陵部では遺構・遺物ともに確認できなかった。

立地と層位（第93図・付図、図版90・91）

調査地は太宰府の平野部へ西から張り出した丘陵斜面に位置し、標高は40～70m程である。地形は南北にそれぞれ丘陵頂部があり、北側が標高72ｍ、南側が標高60ｍである。傾斜角度は北丘陵部で約43°、南丘陵部で約38°と急な傾斜を示す。この丘陵の間に西から東へ谷が一筋入っている。谷部の形状は山側（西側）から緩斜面、中程で急斜面、東側（平野側）で再び緩斜面となっている。山側の緩傾斜部分は標高50～55ｍ付近であり、遺構群はこの部分に集中していた。急傾斜部分は堆積土を除去すると滝壺状を呈しており、水流によって浸食されたものと考えられる。谷部の傾斜角度は緩傾斜部分で30°前後、東側の急傾斜部分で約36°を測る。

土層の堆積状態は自然堆積層と人為的整地が観察された。北および南丘陵部は土壌化した表土（明黄色土）を除去すると白橙色をした花崗岩風化土の地山が検出された。表土からは頂部



第93図　宮ノ本遺跡第９次調査谷部土層堆積模式図（約1/100）

で平安時代の平瓦片が出土した。南丘陵部はなにも検出できなかった。

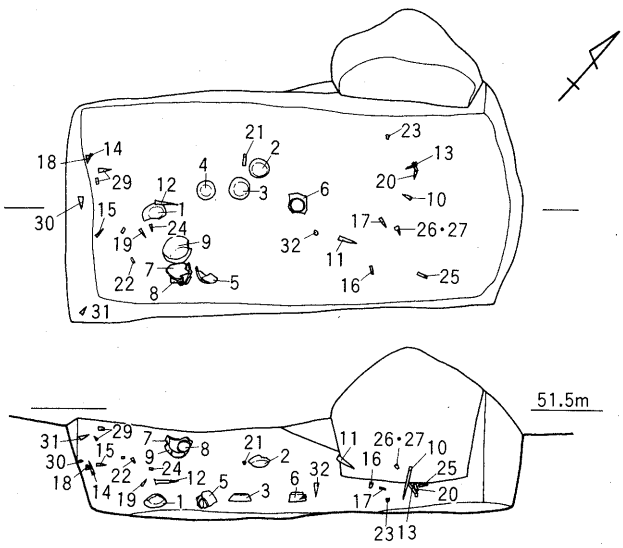
谷部では表土層は基盤層である花崗岩の風化土の二次堆積（明黄色土）で表面は土壌化しており谷部の急傾斜面から東側に厚く堆積している。遺物は縄文時代後晩期からおよそ近代までのものを含んでいる。表土下は谷部山側に３段の段造成が確認できた。標高にして51～54mの部分であり地形の緩傾斜部分に一致している。高い方から3×10m、3×12m、6×12mの扇形をしたひろがりをもっている。比高差は一段目と二段目の間が約0.8m、二段目と三段目が約1.1mを測る。一段目が切り土、二・三段目が盛土によって形成されている。これらの造成面には1～2m程の長方形の土壙が存在した。当初は遺構と認識していたが、周辺への聞き取りから昭和になって改葬した跡であることがわかった。隣接する墓地が近世以降のものであることから当該地の改葬された墓も同時期のものであると考えている。したがってこれらの段造成は墓地のためのものであり近世以降に造成されたと考えられ、遺物の出土状態と矛盾しない。

二段目の盛土は白黄色土（S-6）と黒茶色土（S-10）で構成される。白黄色土は花崗岩風化土であり黒茶色土より新しく、地山の新鮮な部分と考えられ、黒茶色土は表層に近い部分の土を使用していると思われる。三段目は灰褐色土（S-12）によって盛土されている。灰褐色土を除去すると明灰褐色土（下部堆積層）と明褐色土（S-15）になりこの面で9ST014・016を検出した。これらの層は8世紀後半代までの遺物を包含している。さらにこの２層を除いた段階で9SX017を検出した。

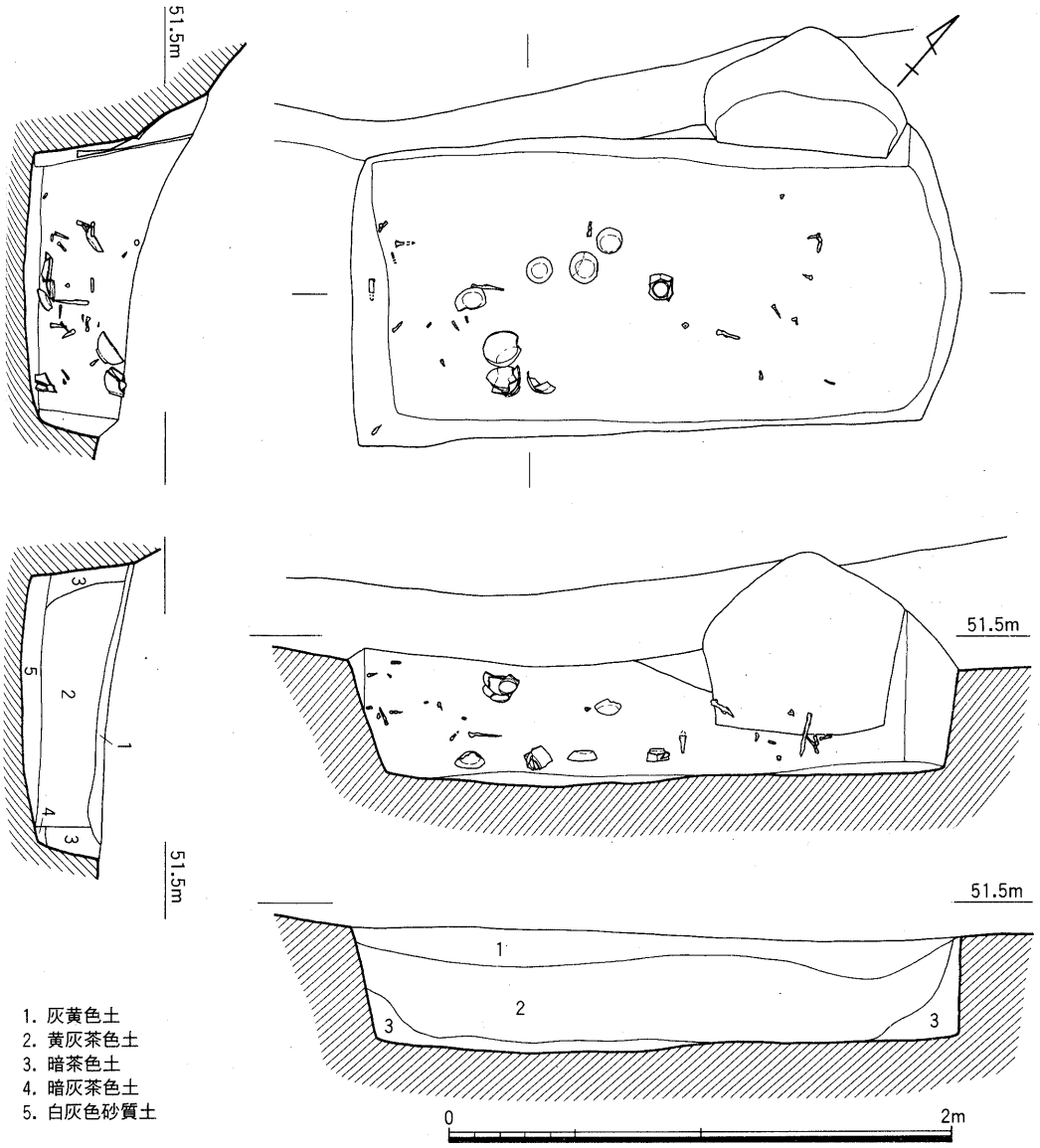
遺構

墓（第94～97図、図版92～98）

9ST014　谷部の緩傾斜面で明褐色土を少し掘り込んだところで検出した。土層から明褐色土から掘り込んでいることがわかった。長方形の平面形を呈し、長軸方向で2.4m、短軸方向1.15m、検出面からの深さ0.63mを測る。長軸の振れはN-47° 10′ -Eであり、等高線にほぼ並行している。標高は51.5m付近である。埋土は掘り方の周辺に棺の裏込め土と思われる暗茶色土が堆積している。特に長



第94図　9ST014遺物出土位置模式図（約1/40）

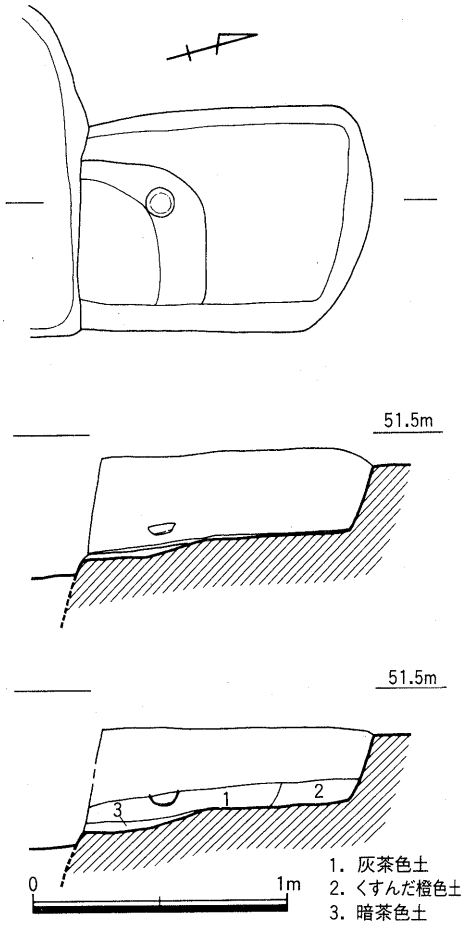


第95図　9ST014実測図（1/30）

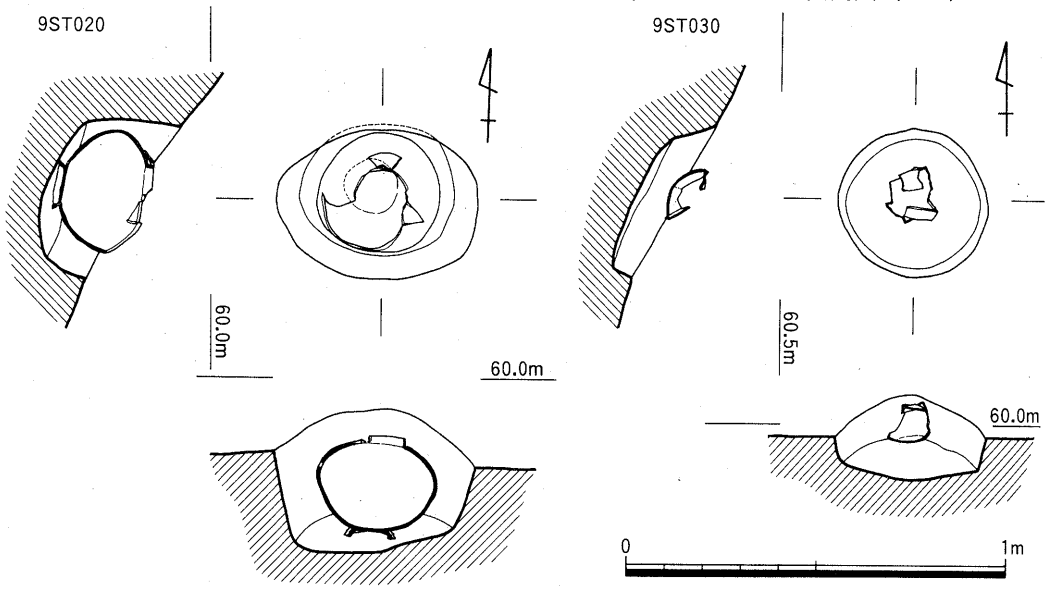
辺南壁付近は垂直に土層が立ち上がっており棺材の痕跡と考えられる。底面に分布している白灰色砂質土は棺を置くために底面を調整したものであろうか。黄灰茶色土は棺の中に流入した墓壙の埋土で詳細に見ると中心へたわんだ状態が観察できる。出土遺物は黒色土器椀が３個体、土師器椀が２個体、坏が４個体、鉄釘が34本出土した。釘の出土状態から木棺墓と判断した。棺は長さ約1.7m、幅約0.6～0.7m、棺材の厚さ2～3cm程度に復原される。黒色土器は３個体が重ねられていた。一番上に見栄えのいいＢ類が置いてあり、下２個体はＡ類である。頭位方向はわからない。

9ST016　谷部緩斜面で灰褐色土を除去した段階で検出した。土壙墓もしくは木蓋土壙墓と考えられる。近世以降の墓壙に切られ北半部分しか遺存していなかった。長方形を呈していたと考えられ遺存している部分の法量は長軸方向1.05m以上、短軸方向約0.9m、深さ約0.35mである。長軸の振れはN-16°-E前後で、等高線にほぼ並行している。頭位は不明である。埋土は上面から2/3程まで暗灰色土の単一層で土層を記録する前に掘ってしまい細部については不明である。遺物は土師器の坏を１点のみ正位置で底部近くの灰茶色土から検出した。

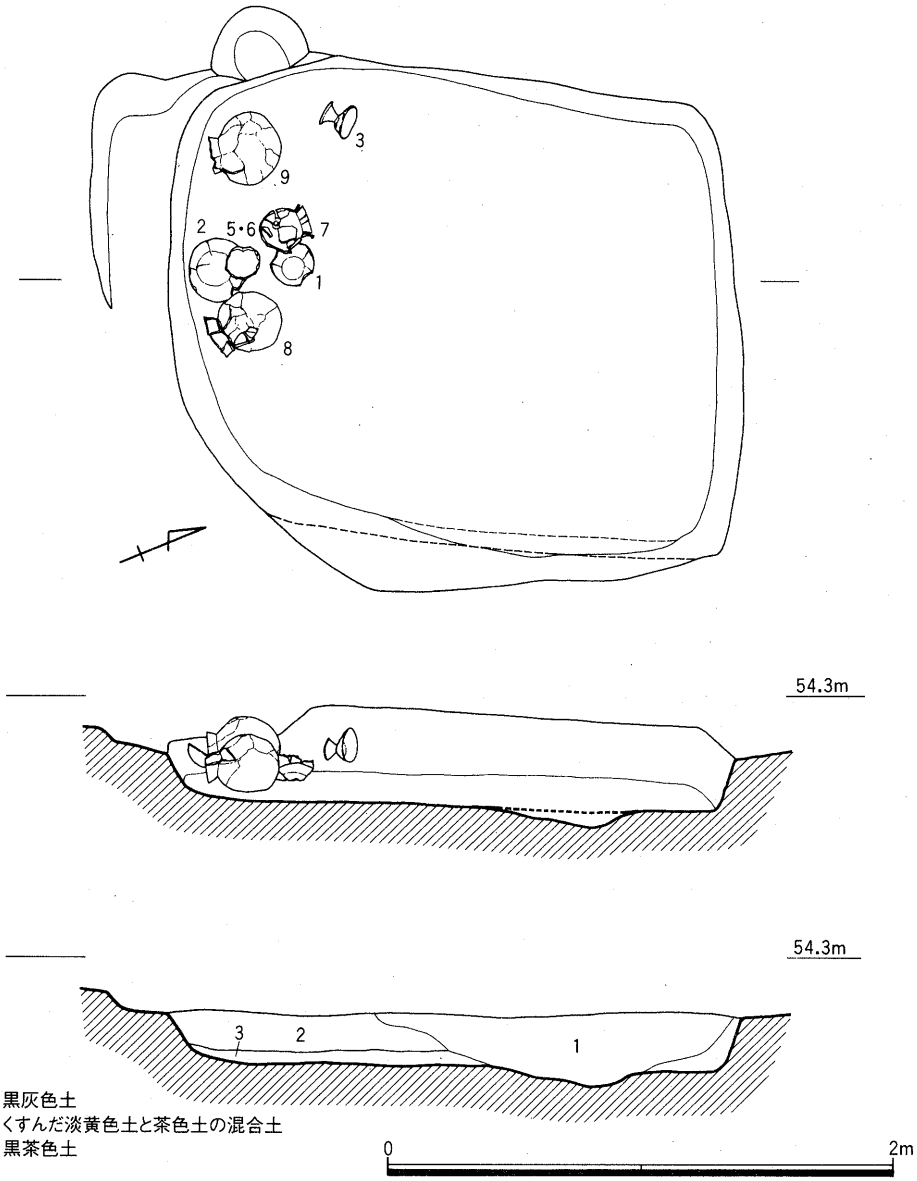
9ST020　北丘陵部南斜面の少し凹んだ部分で9ST030と並んで検出した火葬墓である。標高は約60mの地点である。掘り方は楕円形をしており、長軸方向で0.55m、短軸方向で0.4m、残存する深さは0.37mである。長軸がほぼ等高線に並行しており、短軸の山側は少しオーバーハングしている。この中に須恵器の台付短頸壺が正位置で埋めてあった。蓋には土師器の坏ｄが２個体使われていた。壺の中には



第96図　9ST016実測図（1/30）



第97図　9ST020・030実測図（1/20）

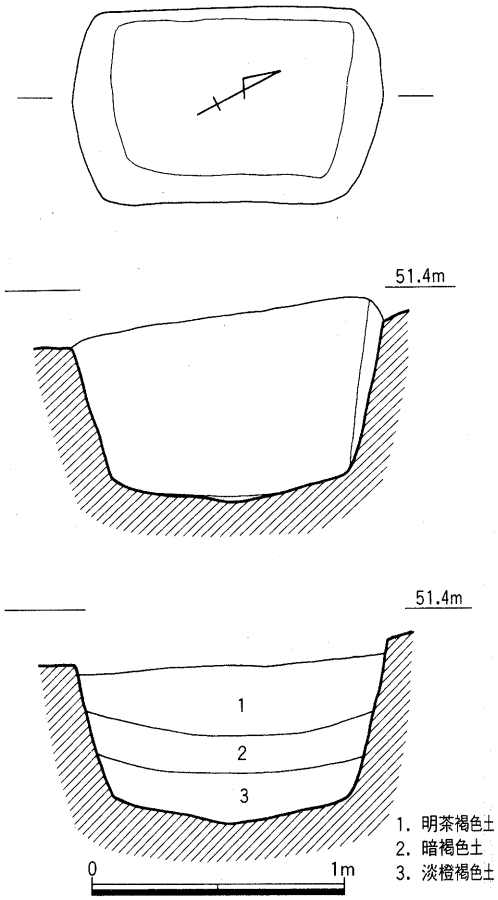


第98図　9SX005実測図（1/30）

焼骨と鉄釘、蓋に使用していた坏の破片が入っていた。骨は灰と混じって壺の1/3程を満たしていたが、脊椎や大腿骨などの大型の骨は確認できなかった。掘り方の埋土は単一のくすんだ明黄色をした地山と区別のつきにくい土であった。

9ST030　北丘陵部南斜面の少し凹んだ部分で9ST020の西約1mで検出した。標高は約60mの地点である。掘り方は直径約0.4mの円形を呈する。検出面からの深さは約0.1mである。埋土は9ST020と同様で地山との区別がつきにくかった。南側は底を掘りすぎている（写真図版の土層

の線が本来の掘り方と思われる)。遺物は土師器の小甕と須恵器の皿aである。検出時点で甕の上半部は欠失していた。甕内に落ち込んだ破片の状態や9ST020の存在から土師器甕を蔵骨器として、須恵器皿を蓋として使用していたと考えられる。骨片は検出できなかったが火葬墓と捉えられる。

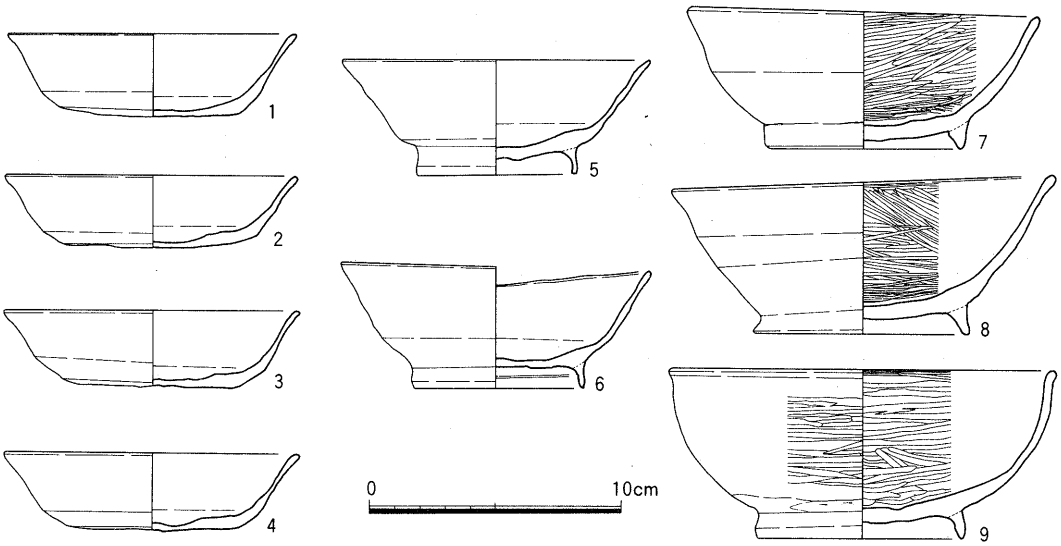


第99図　9SX017実測図（1/30）

その他の遺構（第98・99図、図版99～101）

9SX005　谷部緩斜面の一段目の段造成面で検出した。造成は切り土でおこなっているため当遺構は削平され、さらに樹木の根株で撹乱（S-1）されている。掘り方は歪んだ長方形を呈し、長軸方向で約2.25m 、短軸方向で約1.7m、残存する深さ約0.4m を測る。底面は平坦で南に少し傾斜している。長軸の振れはN-24° 30′ -E前後で、等高線にほぼ並行している。標高は約54mの地点である。埋土はくすんだ淡黄色と茶色土の混合したバサバサした感じのもので、地山（明黄色土）との区別がつきにくかった。下層には炭化物を含む黒茶色土がはいっていた。遺物は黒茶色土の上面に接地しており、遺構内の南西部にかたまって検出された。出土状態から埋納もしくは遺構内に並べた状態で放置した可能性が考えられる。遺物は土師器の甕、高坏、小形丸底壺である。高坏は脚を意図的に欠いたと思えるものが２個体ある。甕、壺は火にかけられ外面に炭化物が付着したものもある。遺構の性格は不明である。

9SX017　谷部緩斜面で明褐色土（S-15）を除去した段階で検出した。掘り方は長方形で長軸方向で約1.2m、短軸方向約0.7m、検出面からの深さ約0.7mを測る。長軸の振れはN-28° -E前後で、等高線にほぼ並行している。標高は約51mの地点である。埋土は褐色系の土で単純な層序を示している。遺物は出土していない。遺構の性格は不明である。



第100図　9ST014出土遺物実測図（1）（1/3）

出土遺物

9ST014（第100図、図版102～104）

土師器

坏a（1～4）　口径11.7～11.95cm、器高2.9～3.3cm、底径6.7～7.3cmを測る。口縁端部は少し外反し、底部と体部の境は丸みを帯びる。底部はヘラ切りで内底部は不定方向のナデ、他は横ナデをおこなう。胎土はいずれも石英・長石粒を含み白黄色を呈し、よく似ている。

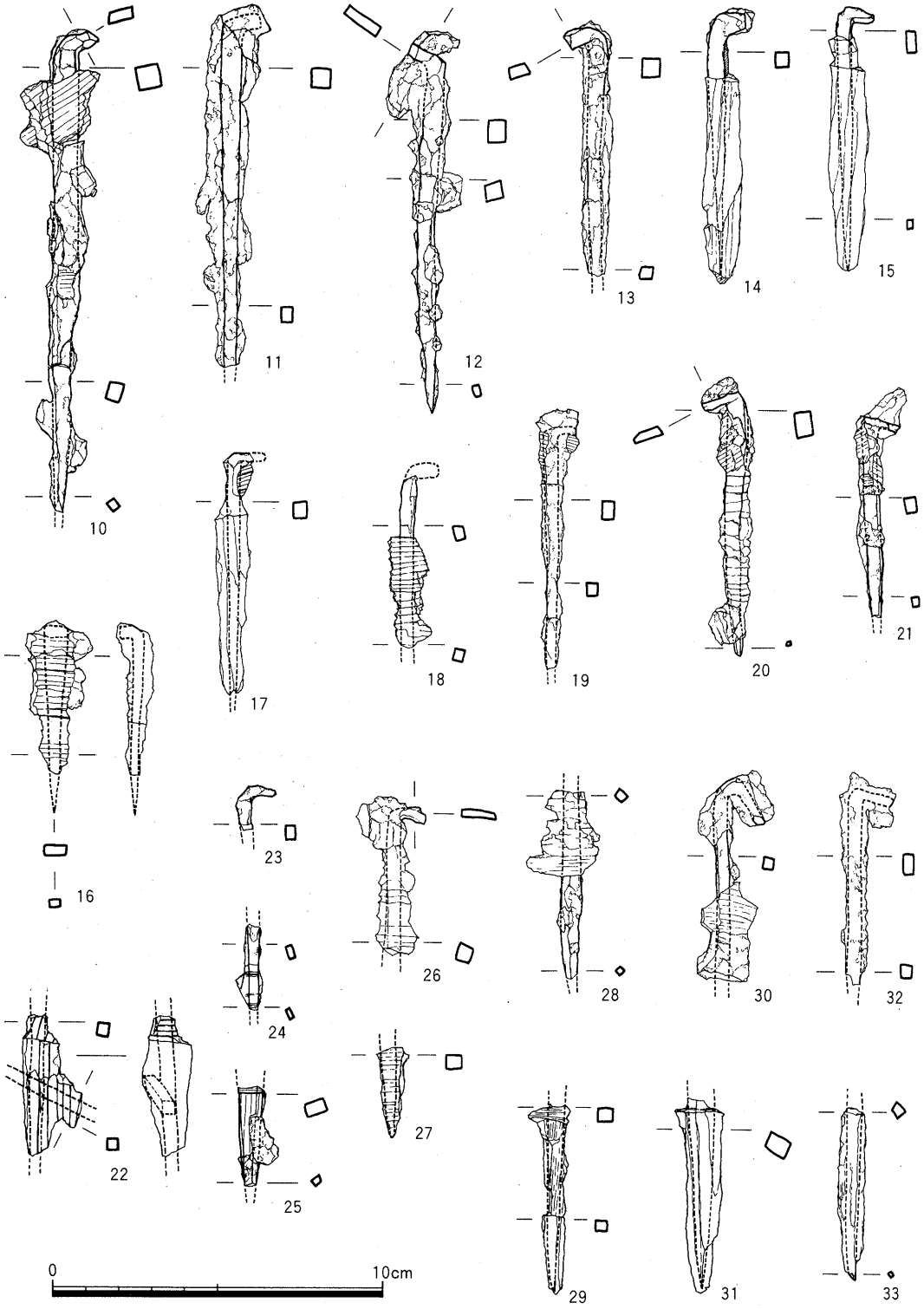
中椀c（5・6）　口径12.4cm、器高4.55・4.5cm、高台径6.4・6.8cmを測る。体部は直線的で下半に屈曲を持つ。底部はヘラ切りで板状圧痕がわずかにみえる。内底部は 不定方向のナデ、他は横ナデをおこなう。胎土はいずれも石英・長石粒を含み橙～白黄色を呈する。

黒色土器

椀c（7～9）　口径14.2～15.5cm、器高5.4～6.65cm、高台径8.05～8.5cmである。7・8はA類で外面横ナデ、内面ミガキcをおこなう。底部はヘラ切り後軽くナデている。内底部のミガキcは三分割しておこなわれる。胎土は細かい石英・長石粒を含む。外面黄灰色、内面黒～灰黒色を呈する。全体に粗い作りの印象をうける。9はB類である。内外ともミガキcを施すが、外面は粗く下のナデがみえる。体部外面高台近くには回転ヘラ削りの痕跡がある。底部はヘラ切り後ナデをおこなう。内底部のミガキcは六分割されている。色調は漆黒～灰黒色を呈し、漆黒の部分には何らかを塗布した可能性もある。胎土は緻密である。

金属製品

鉄釘（10～33）　すべて棺をとめる釘と考えられる。完形のものは4点であり、木質の変化から棺材の厚さは約2～3cmと見られる。釘の長さは8cm前後のものと10cmをこえるものの二種類



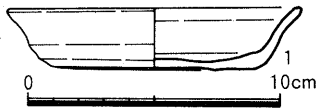
第101図　9ST014出土遺物実測図（2）（1/2）

があると推定される。

9ST016（第102図、図版104）

土師器

坏a（1）　墓への供献品と考えられ、9ST016から一点だけ出土した。口径11.8cm、器高2.4cm、底径8.1cmを測る。底部はヘラ切り後ナデを施す。板状圧痕が残る。内底部は不定方向のナデ、他は横ナデである。胎土はきめ細かく、細かな砂粒と雲母片を含む。黄灰～茶灰色をしている。



第102図 9ST016出土遺物
実測図（1/3）

9ST020（第103図、図版104・105）

土師器

坏d（1・2）　どちらも蔵骨器の蓋に使用されていたと考えられる。口径13.9・16.6cm、器高3.2・4.2cm、底径7.5・8.0cmを測る。底部はヘラ切り。外面下半から底部途中まで回転ヘラ削りを施す。内底部は不定方向のナデと思われる。他はミガキa。どちらも焼成前に外底部へ細いヘラ書きで「×」印を入れている。胎土、焼成ともに良好で、橙～明橙色をしている。1はS-13出土の破片と接合した。

須恵器

壺a（3）　蔵骨器として使用されていた。口径14.3cm、器高25.8cm、高台径14.4cm、胴部最大径30.3cmを測る。短く直立する頸部によく張った胴部を持つ。最大径は中央より少し上位にある。高台は高く外面は装飾風の段がつく。体部外面下半が回転ヘラ削り、内底部は強くなでつけており指痕が明瞭に残る。他は横ナデを施す。口縁部にはたいへん細かい織りの布圧痕がつく（図版104）。胎土は緻密で細かい白色の粒子を含む。焼成は良好で茶～青明灰色を呈する。全体に歪んでおり丁寧にみえて粗雑な作りである。

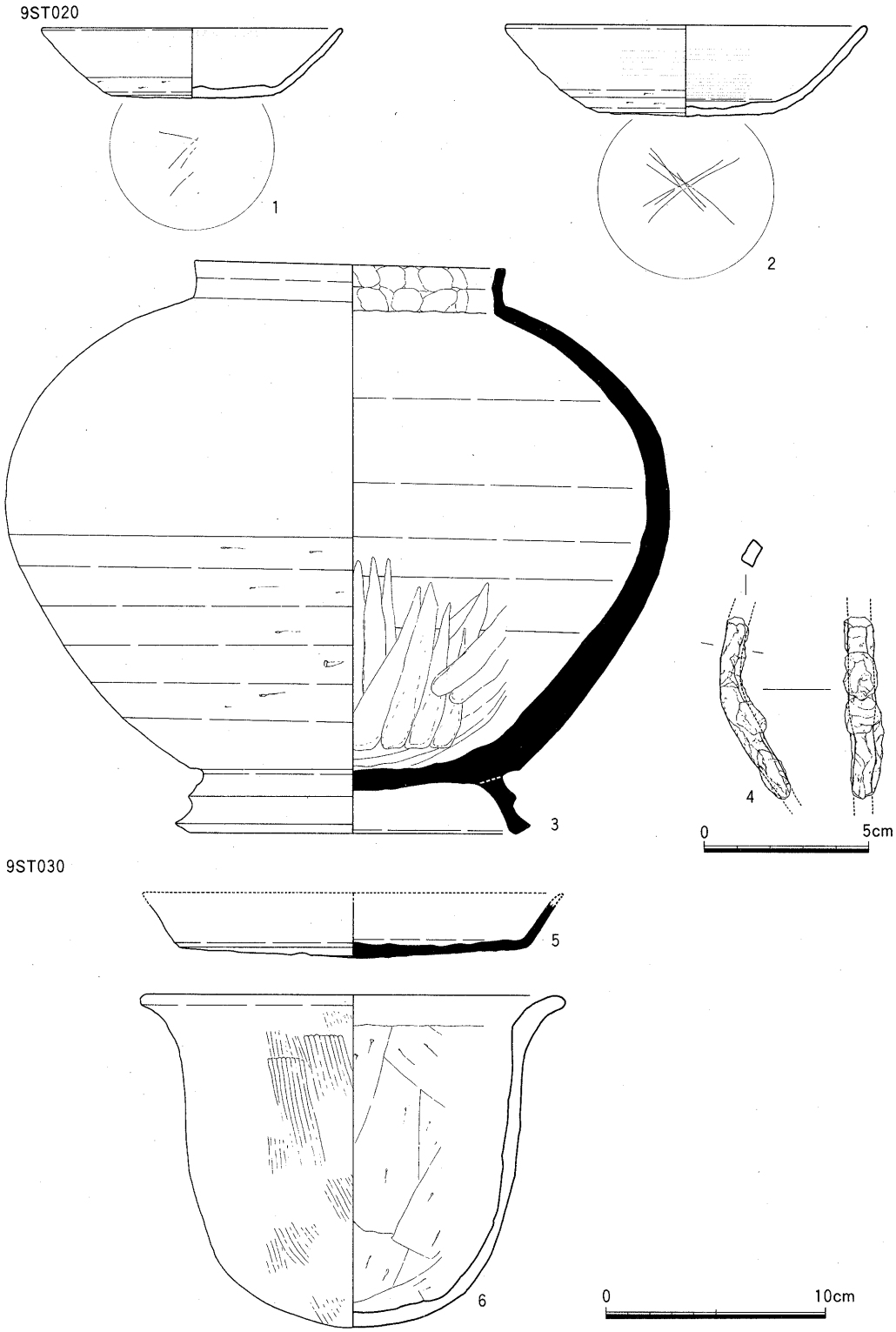
金属製品

鉄釘（4）　蔵骨器の中で骨と混じって検出した。曲がっており、上下端を欠損している。どのような経緯で蔵骨器に入ったのか不明であるが、骨とともに検出したことから故意か偶然かは別問題として集骨の際に棺の釘が入ったものと想定できる。

9ST030（第103図、図版106）

土師器

小甕a（6）　口径19.5cm、器高15.1cmを測る。外面はハケ目後横方向のナデを施し、下半部と口縁部はハケ目がほとんど残っていない。内面は口縁部は横ナデ、他は粗いヘラ削りをおこ

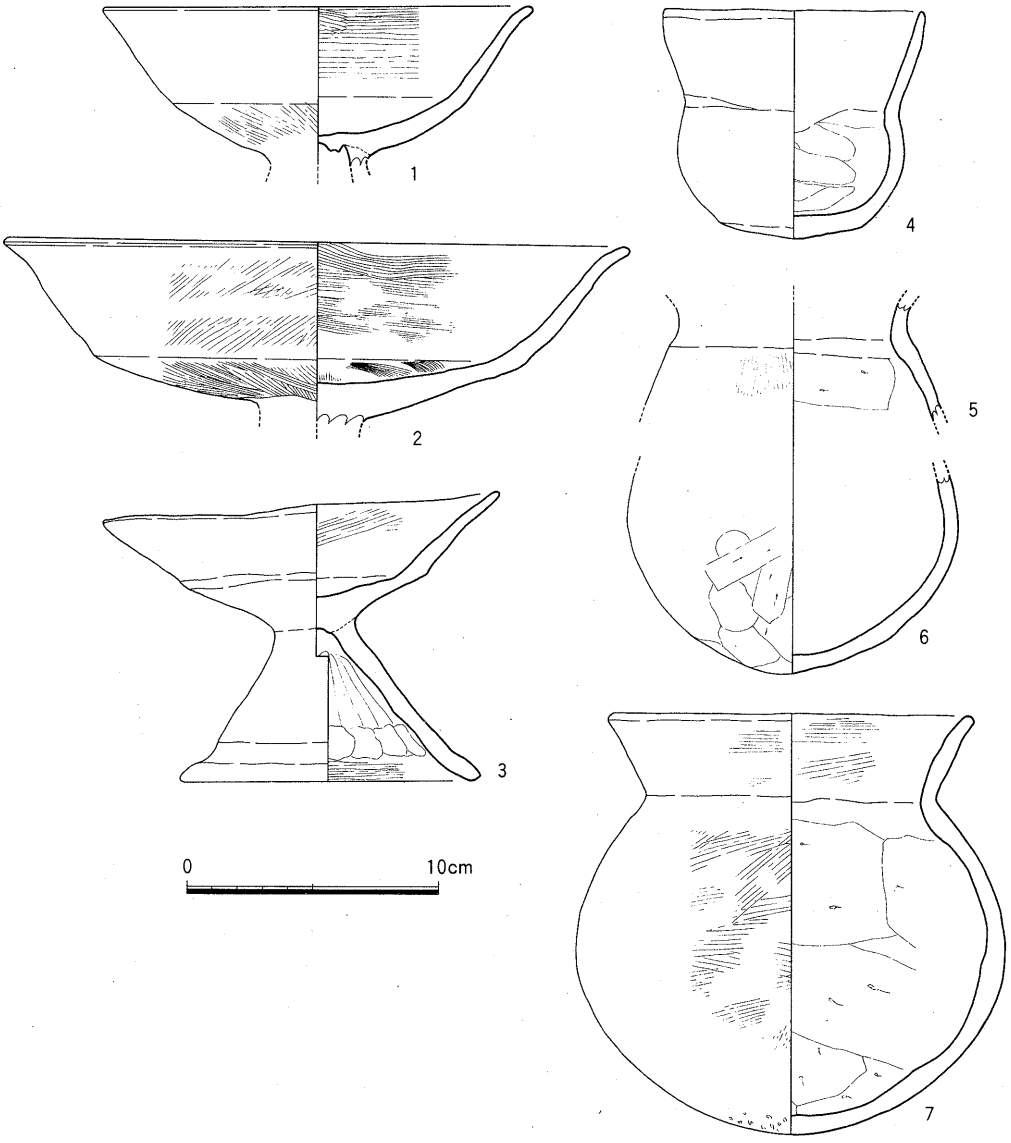


第103図　9ST020・030出土遺物実測図（1/2・1/3）

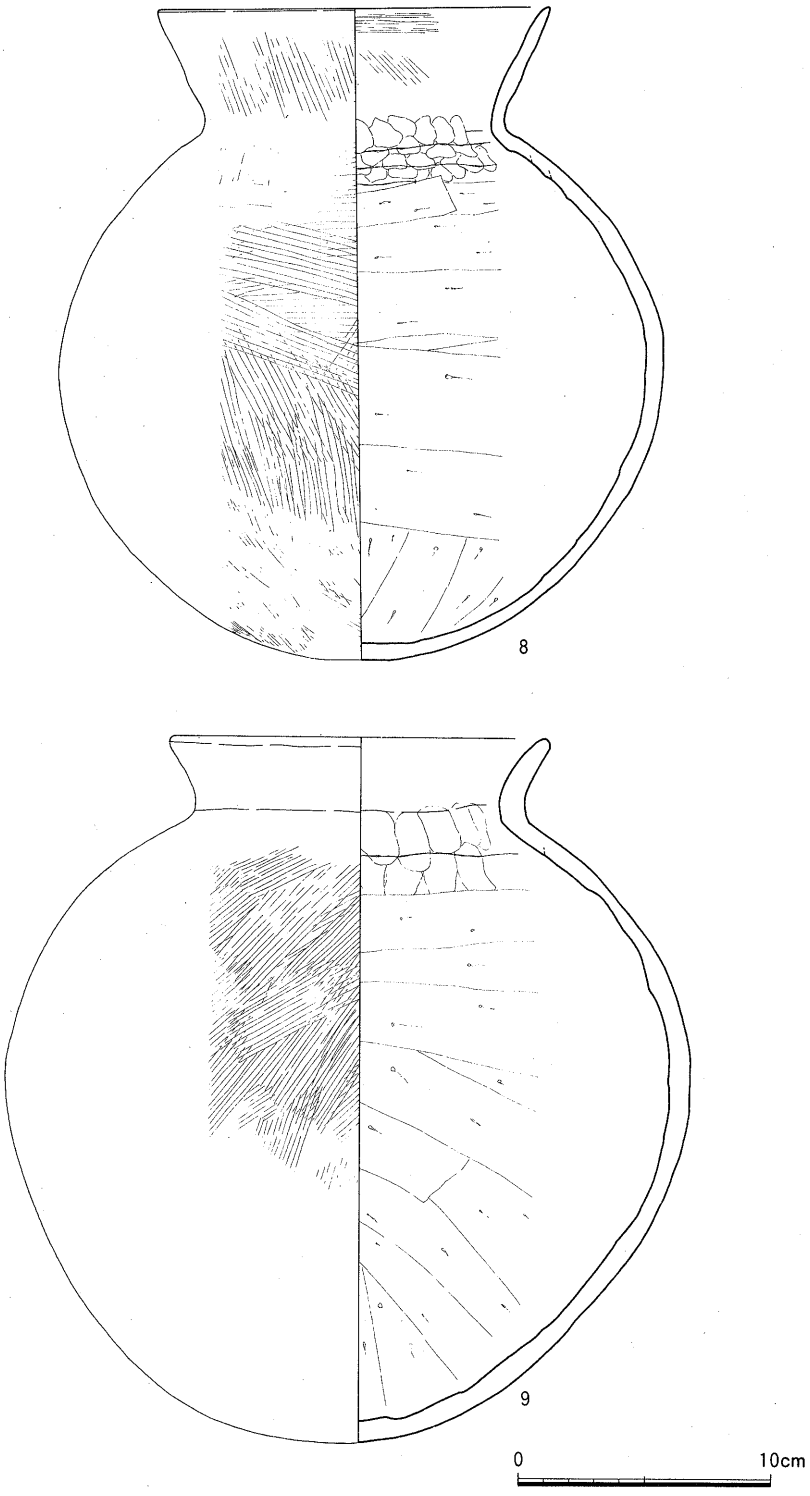
なう。胎土は大粒の石英粒を含み、茶がかった白黄色をしている。出土状況から蔵骨器として使用されたと考えている。

須恵器

皿a（5）　推定口径約20cm、器高約3cm 、底径16.0cmを測る。口縁端部を欠損する。底部は回転ヘラ切り後ナデ、内底部は不定方向のナデ、他は横ナデを施す。胎土は緻密で緑青灰色を呈する。蔵骨器の蓋として使用されたと考えている。



第104図　9SX005出土遺物実測図（1）（1/3）



第105図　9SX005出土遺物実測図（2）（1/3）

9SX005（第104・105図、図版106～108）

土師器

高坏（1～3）　1・2は脚部を意図的に欠いている。口径は17.2・25.1cmで2は大型である。内外ともハケ目後ナデを施す。3は口径16.0cm、器高11.0cm、脚部径12.0cmを測る。外面は横ナデ、坏部内面はハケ目後ナデである。胎土は1・2が白色粒子を、3が大粒の石英・長石粒を含み、明橙色をしている。1の外面には煤様の付着物がある。

小形丸底壺（4）　口径10.4cm、器高9.0cmを測る。全体ナデによる調整をおこなう。体部は手づくね風で指頭圧痕、焼成前のひび割れが残る。焼成は良好でくすんだ橙黄色を呈す。

甕（5～9）　5～7が小型の甕である。外面はハケ目とナデ、内面は口縁以外にヘラ削りをおこなう。6は底部付近に指頭圧痕が残り、ヘラ削りともみえる強いナデをしている。5・6は同一個体と考えられる。胎土には石英・長石粒を含み、5・6はビスケット状を呈し明黄色を、7は淡橙色をしている。6・7は二次焼成を受けている。8・9は口径15.7・15.2cm、器高25.7・27.8cmを測る。調整は外面がハケ目とナデ、内面が粗いヘラ削りを主体としている。頸部には指頭圧痕と粘土紐の痕跡が確認できる。胎土には石英・長石粒を多く含む。焼成は良好で明橙～黒灰色を呈する。

各層出土遺物（第106図、図版108～110）

灰褐色土

金属製品

刀子（1）　残存長11.9cm、残存幅1.7cm、厚さ0.4cmを測る。刃先はねじれている。関部分は一部欠ける。茎端部は残っているか明瞭でない。

明褐色土

土師器

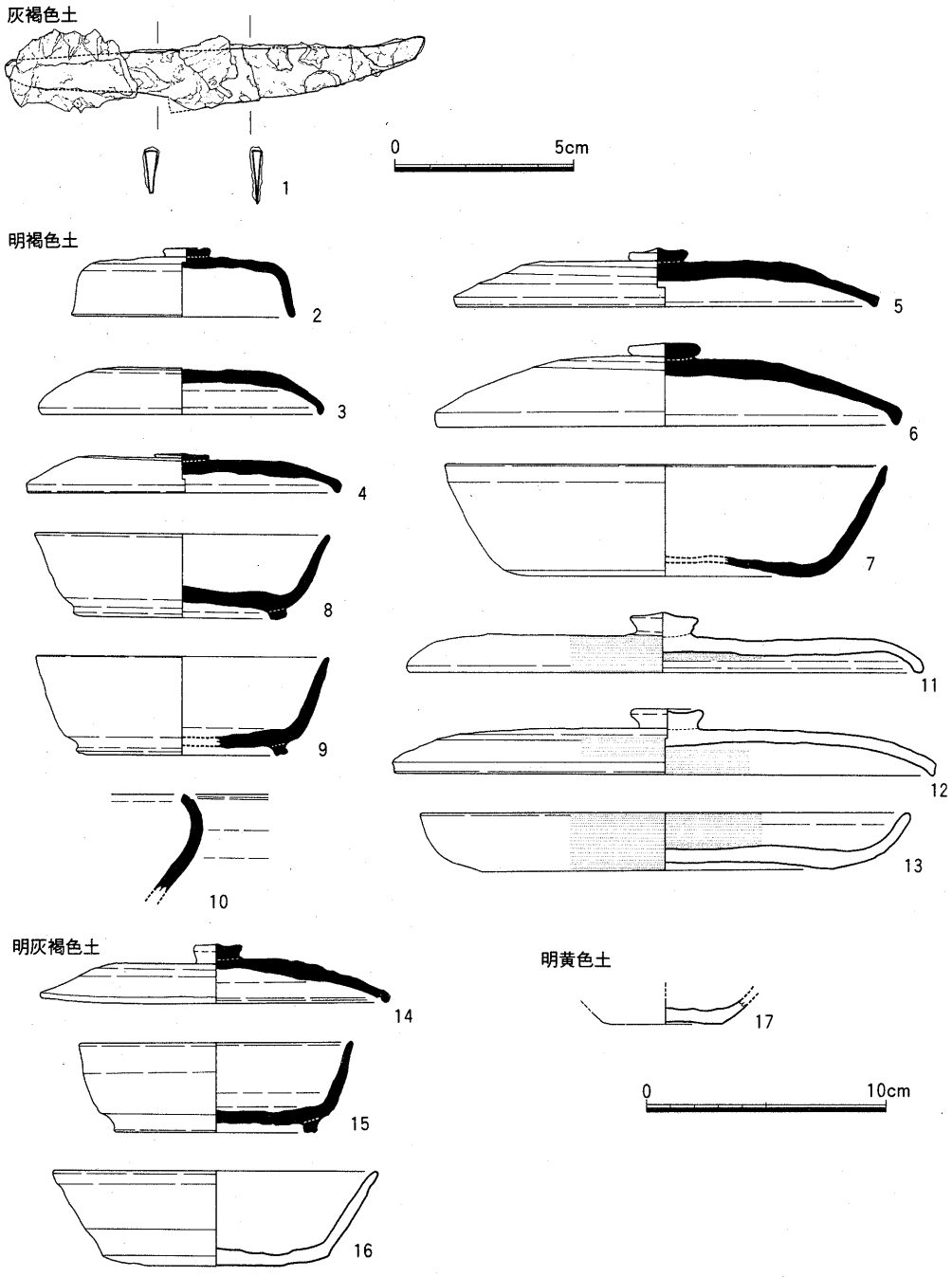
蓋c3（11・12）　口径21.8・22.6cm、器高2.5・2.7cmを測る。天井部は11がヘラ切り、12が回転ヘラ削りでその後全面にミガキaをおこなう。焼成は良好で明橙色を呈する。

皿a（13）　口径20.6cm、器高2.45cm、底径14.7cmを測る。底部はヘラ切り。全面にミガキaを施す。胎土は石英・長石粒を含む。焼成は良好で橙色を呈する。

須恵器

壺蓋c（2）　口径9.4cm、器高2.8cmを測る。天井部はヘラ切り。全体にナデを施す。ボタン状のつまみが付く。胎土は微細な砂粒を含む。焼成は良好で十分還元され青灰色を呈する。

蓋（3～6）　口径11.7～19.3cm、器高1.7～3.5cmを測る。3はa類で天井部はヘラ切り。4～6は



第106図　各層出土遺物実測図（1/2・1/3）

c類で天井部はヘラ切り後回転ヘラ削りを施す。いづれもボタン状のつまみを持つ。胎土は3・4が微細な白色粒子を、5・6が石英・長石粒を含む。焼成は3～5は良好であるが、6は生焼けぎみである。色調は順に青灰色、橙灰色、明灰色、白灰色である。5は焼け歪みがはげしく、亀裂がはいっている。

坏c（8・9）　口径12.5・12.4cm、器高3.6・4.15cm、高台径9.0・8.9cmを測る。底部はヘラ切り後軽くナデをおこなう。他は横ナデである。胎土は8には大粒の、9には小粒の石英・長石粒が入る。焼成は良好で8が青灰色、9が明灰色を呈する。8は焼け歪みがある。

椀a（7）　口径18.6cm、器高4.7cm、底径12.3cmを測る。底部はヘラ切り、他は横ナデを施す。口縁端部を直立ぎみにしている。底部は歪んでおり他の土器片が溶着している。歪みを直すと器高が高く、底径が大きくなると考えられる。

鉢a（10）　鉄鉢形になると考えられる。口縁端部外面に沈線様の段がつく。調整はナデである。胎土は精良で砂粒をわずかに含む。焼成・還元は良好で暗灰色を呈する。

明灰褐色土

土師器

坏a（16）　口径13.9cm、器高4.0cm、底径9.6cmを測る。底部はヘラ切り後ナデをおこなう。体部下半は回転ヘラ削りらしい痕跡が残る。ほかはナデを施す。胎土は砂っぽい。焼成は不良で明茶灰～灰褐色をしている。

須恵器

蓋c3（14）　口径14.5cm、器高2.5cmを測る。天井部ヘラ切り後ナデ、他はナデをおこなう。口縁内面には折り曲げ部分に鋭い沈線が入っている。胎土・焼成は良好で青灰～黒灰色を呈する。口縁部外面には重ね焼きの痕が残る。

坏c3（15）　口径11.7cm、器高4.0cm、高台径9.6cmを測る。底部はヘラ切り、他はナデを施す。胎土・焼成は良好で、明灰～黒灰色をしている。

明黄色土

土師器

小皿a（17）　底径4.6cmを測る。体部のゆがみをみると、耳皿の可能性もある。底部は糸切り、他はナデである。胎土・焼成は良好で、黄～茶灰色を呈し、堅い。

表面採集資料（第107図、図版109・110）

重機で表土を除去する際に検出した遺物である。

土師器

小皿a（6）　口径10.0cm、器高1.8cm、底径7.1cmを測る。底部は糸切り、他はナデを施す。胎土・焼成は良好で、淡橙白色を呈する。

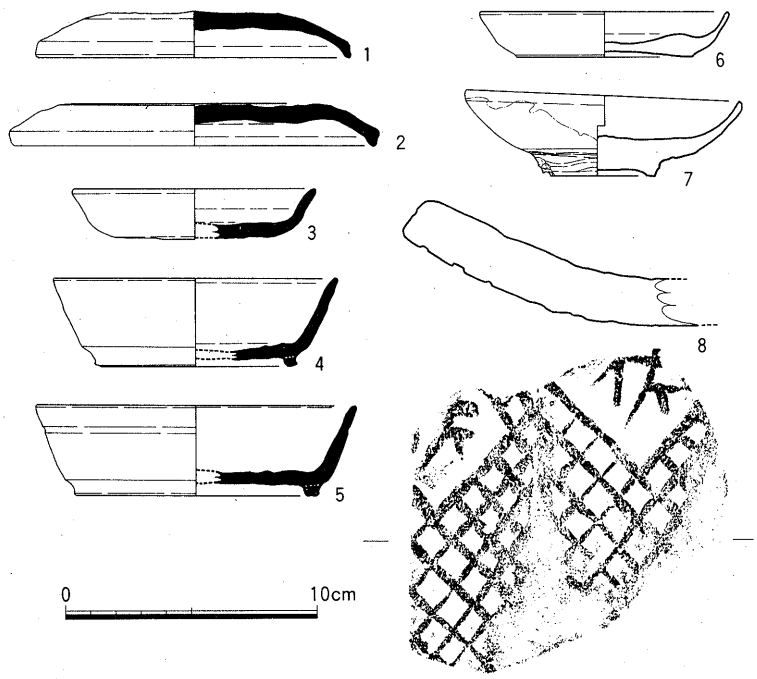
須恵器

蓋a3（1・2）　口径12.6・14.6cm、器高1.8・1.7cmを測る。天井部に1は丁寧な回転ヘラ削り

を、2はヘラ切り後粗いナデを施す。他はナデである。胎土は1が石英・長石粒を含み、2が白色の微粒子を含み砂っぽい。色調は1が小豆色で2は青灰色である。

坏c（4・5）　口径11.4・12.8cm、器高3.5・3.6cm、高台径8.1・9.1cmを測る。底部はヘラ切り後ナデ、他はナデを施す。胎土・焼成は良好で青灰色を呈する。

小皿a（3）　口径9.8cm、器高2.0cm、底径6.4cmを測る。底部はヘラ切り後ナデを、他はナデを施す。胎土には石英・長石粒を含む。焼成は良好で淡青灰色を呈する。



第107図　宮ノ本遺跡第９次調査表採資料実測図（1/3）

陶器

坏（7）　口径11.2cm、器高3.2cm、高台径4.5cmを測る。底部は高台を削り出すが、うまくいかずヘラミガキ様の調整で直している。他は回転ナデである。内底部には浅い圏線がある。釉は内面から外面中程まで施釉し不透明のくすんだオリーブ色をしている。胎土は砂っぽい。表面は赤褐～くすんだ暗茶色を呈する。炭が多く付着している。近世の唐津焼と考えられる。

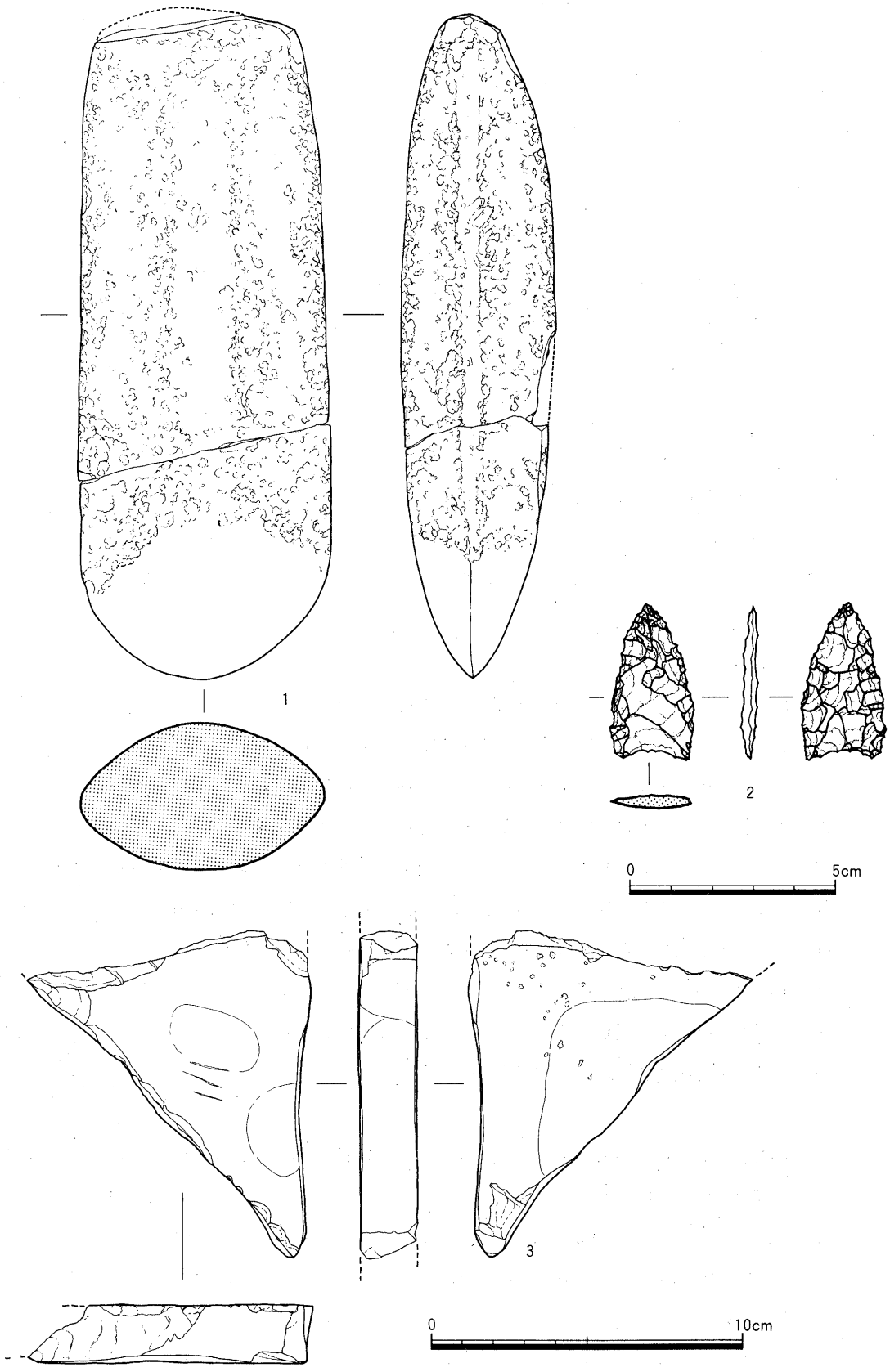
瓦

平瓦（8）　文字瓦片で格子目のなかに「佐」字がはいる。

このほか鉱滓を1点検出している。分析の結果鉄滓であることがわかった。

石製品（第108図、図版110）

1は太型蛤刃石斧で玄武岩製である。谷部の表面採集品である。ほぼ完形で現存長21.3cm、幅8.2cm、厚み4.8cm、重さ1331.4gを測る。刃部を除いて全面に敲打痕が残る。刃部から1/3のところで折れている。折断面も表面同様の風化をしていることから調査地付近で使用中に折れ、捨てられたものと考えられる。明褐色土中から出土した破片が接合した。折断の際のチップと考えられる。



第108図　宮ノ本遺跡第9次調査出土石製品実測図（1/2・2/3）

2は石鏃で安山岩製である。9SX005の埋土から出土した。完形で長さ3.8cm、幅2.1cm、厚さ0.35cm、重さ3.3gを測る。

3は砂岩製の砥石である。谷部の表面採集品である。折損しているがその面もさらに使用している（計4面使用）。現存長10.5cm、幅9.15cm、厚み1.95cm、重さ181.7gである。

小結

今回の調査でも宮ノ本の丘陵が長年にわたり墓地として使用されていたことが明らかとなった。以下各遺構についての所見を列記する。年代観は山本（1990）による。

9ST014　谷部で検出した木棺墓でVII期のものである。供献土器は棺外に置かれていたと考えられ、土層から土師器は棺上に、黒色土器はさらにそれより上層に重ねた状態で置かれていたと思われる。検出した釘は8cm前後に復原できるものが多い。一方10cmをこえるものも少数あり使い分けがされていたことが想定される。木棺の釘の位置を検討すると底板をとめている釘が見つからないことから、痕跡をとどめない木釘の使用の可能性など棺構造を考える必要がある。

9ST016　谷部で検出した。供献土器からVIII期のものと考えている。土器は陥没した部分に落ち込んだ埋土中から浮いた状態で検出されたが、木蓋があったかどうかは判然としない。

宮ノ本遺跡第７次調査（太宰府市教育委員会1993・1995）の所見では、同時期の墳墓は北尾根では木蓋土壙墓、南尾根では木棺墓とに分けられることから階層差による選地の違いを想定している。また供献品の種類から階層を「黒色土器供献＞土師器椀供献＋破片副葬＞土師器椀供献のみ＞椀供献なしの順位」（狭川1993）として想定することもおこなわれている。9ST014は北尾根に属し標高も第７次調査で検出された墳墓とほぼ同じであるが木棺であり、近接する9ST016は木蓋もしくは土壙墓と考えられる。供献品と埋葬形態が階層差を表現しているとするならば選地に階層差が反映しているとすることには再検討を要することになる。または北尾根のなかでも異なる墓域である可能性も考えられる。

9ST020　北丘陵部の斜面で検出した火葬墓である。蓋に使用していた坏dからV期のものと考える。蔵骨器はいわゆる薬壺形であるが高台に特徴がある。牛頸産ではなく、産地は不明である。蓋に使われた坏dは２個体で大小がある。同時期の埋納遺構で蓋に２個体使用したものは博多遺跡35次調査（SX-100）で検出されている。博多遺跡の例では土師器の甕に須恵器蓋cの小を反転させ中蓋に、大を正位置で外蓋に使用し、蓋と蓋の間に空間を作っている。9ST020の場合は大きな個体の口縁部が壺の頸部に伏せた状態で検出されたことで、大きな個体は、逆さにし

て被せてあったことがわかる。壺内からはどちらの個体の破片も検出している。また小さな個体の底部片が谷部のS-13で検出されたことから、２個とも逆さにして壺の蓋としていたと推定される。内部に小空間を作るための工夫として博多遺跡の例は理解し易く、9ST020も同様の構造と考えていたが、上述のように２枚とも伏せた状態であると推定でき、今度はそのような形態にする理由がよくわからない。蔵骨器内の釘は骨や灰の中から検出しており、火葬施設から骨とともに入ったと考えられ遺体を入れていた棺の釘の可能性があるが意図的なものかどうかはわからない。

9ST030　9ST020と並んで検出した。甕内には骨等は残存していなかったが、第２次調査（太宰府市教育委員会1987）７・8号墓の例から火葬墓と判断した。V期のものと考える。立地も7・8号墓に似ておりふたつで１セットとなっている点も同じである。

9SX005　性格不明の土壙であるが、出土遺物から布留式の新相段階にあたると考えられる。丘陵上で古墳時代の墳墓が営まれていた時期の最終段階にあたる。遺物やその出土状況から単なる生活址ではないと思われる。

9SX017　谷部で明褐色土の下で検出した。明褐色土が8世紀後半代までの遺物を含むことからそれ以前であることは分かるが、出土遺物がなく時期は確定できない。

9ST014出土の釘について

9ST014は９世紀代後半の木棺墓と考えられ30本余りの釘が木棺を止めるために使用されている。形態はすべて頭部をＬ字に屈曲させているが、その大きさで大小があるようにおもえたので周辺遺跡の木棺墓と比較してみた。

宮ノ本遺跡をはじめ大宰府条坊周辺には官人の墓と考えられている平安期の墳墓群が丘陵上に展開し、12世紀代からは大宰府条坊内にいわゆる屋敷墓といわれる墳墓が存在している。また他地域との比較をはかるために博多遺跡と那珂川町周辺を加えたサンプルを設定してみた。時期的には９世紀から14世紀前後にわたる。

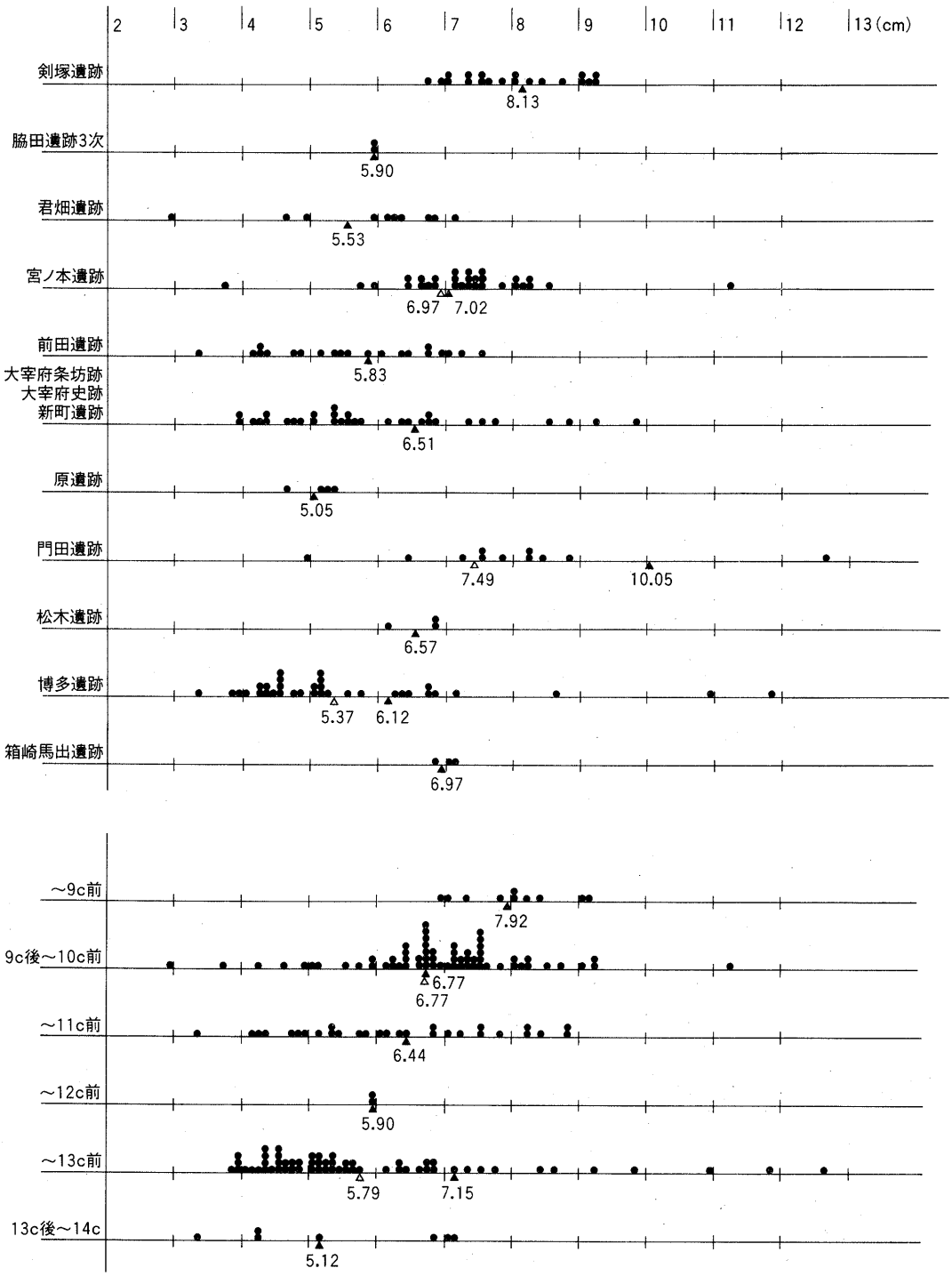
墓壙内から出土した釘を長さ、頭部付近の幅、木質が残るものについてはその変化点から頭部までの長さと木目の方向の計測、観察をおこなった。木質は棺の復原と、変化点で折れて先端側が残っているものの長さの復原を考えていた。その結果、材の厚さは検討できるが、ひとつの墳墓で材厚が異なることがわかり、折れたものから釘の長さを復原することは出土状態から釘の原位置を確定しないとできないことがわかった。

今回は単純に完形の釘の長さの表を作成し（表1）、遺跡ごと（大宰府条坊跡、大宰府史跡、

表1　大宰府周辺・博多遺跡群周辺の木棺墓出土釘計測表

遺跡名	遺構名	時期	長　さ													平均	文献
剣塚遺跡	5号木棺墓	9c前	7.0	7.3	7.3	8.0	8.2	9.1								7.82	2
剣塚遺跡	2号木棺墓	9c前～中	6.9	7.8	8.0	8.4	9.0									8.02	2
前田遺跡	1ST140	9c中	4.2	5.5	6.4	6.7	7.2	7.5								6.25	6
宮ノ本遺跡	7ST002	9c中～後	8.2													8.20	4
剣塚遺跡	3号木棺墓	9c中～後	6.7	7.0	7.5	7.5	7.6	9.0	9.2	9.2						7.96	2
君畑遺跡	2号墓	9c中～後	2.9	5.9												4.40	1
宮ノ本遺跡	9ST014	9c後	7.1	7.3	8.0	8.0	8.2	11.2								8.30	本書
宮ノ本遺跡	7ST270	9c後	7.4	7.8												7.60	5
宮ノ本遺跡	7ST300	9c後	7.1	7.3												7.20	5
前田遺跡	11S-90	9c後	6.7	6.9												6.80	7
宮ノ本遺跡	7ST120	9c後	6.4													6.40	5
博多遺跡62	5508号遺構	9c後	5.1	6.7												5.90	14
宮ノ本遺跡	7ST295	9c後	5.7													5.70	5
剣塚遺跡	4号木棺墓	9c後～10c前	8.7													8.70	2
君畑遺跡	18号墓	9c末～10c前	4.6	4.9	6.2	6.8										5.63	1
博多遺跡79	2164号遺構	9c～10c	5.0	6.2	6.4	6.7										6.08	17
宮ノ本遺跡	7ST330	10c前	6.4	6.6	7.1	7.2	7.3	7.5	7.5	8.1	8.5					7.36	5
宮ノ本遺跡	7ST305	10c前	6.6													6.60	5
宮ノ本遺跡	7ST040	10c前～中	7.4													7.40	4
君畑遺跡	1号墓	10c前～中	6.1	6.3	6.7	7.1										6.55	1
宮ノ本遺跡	7ST050	10c中	6.8	6.8	7.5											7.03	4
宮ノ本遺跡	7ST310	10c中	3.7	5.9	6.7											5.43	5
門田遺跡	木棺墓	10c後	4.9	6.4	7.2	7.5	7.5	7.8	8.2	8.2	8.4	8.8				7.49	9
前田遺跡	6ST010	10c後	4.2	4.3	4.7	4.8	5.1	5.3	5.4	6.3						5.01	6
大宰府条坊跡	63ST001	10c後	5.3	5.7												5.50	6
松木遺跡	木棺墓	10c後～11c前	6.1	6.8	6.8											6.57	11
前田遺跡	7ST015	10c後～11c中	3.3	4.1	5.8	6.0	7.0									5.24	本書
新町遺跡	3ST030	11c中	8.8													8.80	6
脇田遺跡3	1号木棺墓	12c前	5.9	5.9												5.90	3
博多祇園町K区	SK49	12c中～	10.9	11.8												11.35	12
門田2号墳	中世墓	12c後	12.5													12.50	10
博多遺跡60	315墓	12c後～13c前	7.1													7.10	13
大宰府史跡	SX629	12c後～13c前	6.7													6.70	8
大宰府条坊跡	50ST320	12c後～13c前	3.9	3.9	4.1	4.3	4.3	4.6	4.7	4.8	5.0	5.0	5.3	5.3	5.4		6
			5.5	5.6	6.3	6.4	6.7	6.8	7.3	7.5	7.7	8.5	9.2	9.8		5.92	
原遺跡	3ST160	12c後～13c前	4.6	5.1	5.2	5.3										5.05	6
大宰府条坊跡	71ST400	12c後～13c前	4.2	5.6	6.1	6.6										5.63	6
博多遺跡78	306号遺構	13c前	3.8	4.0	4.5	5.0	5.1	5.1	5.7	8.6						5.23	16
博多遺跡62	1016号遺構	13c～	3.9	4.3	4.3	4.4	4.5	4.5	4.5	4.7	4.8	5.2	5.5	6.3	6.8	4.90	14
箱崎馬出遺跡	SK30	13c後	6.8	7.0	7.1											6.97	12
博多遺跡70	SX20	13c後	3.3	5.1												4.20	15
博多遺跡70	SX65	14c～	4.2	4.2												4.20	15

新町遺跡は大宰府の平野部として一括している）と時期ごとに区分して、長さと個数のグラフを作成した（第109図）。長さは一本ずつの釘の長さである。計測できたのは総数で171本、一遺構で１～25本とばらつきがある。したがって一遺構ごとの平均値にも個体の数値が表れているものと平均化されているもののばらつきがある。これをみると遺跡ごとの平均値（▲）は門田遺跡の例をのぞいて５～８cm代に収まり遺跡ごとの変化はあまりみられない。博多と大宰府などの地域差も明瞭でない。一方時期ごとの区分は宮ノ本遺跡の古代の造墓活動が９世紀代後半から10世紀代前半までであることから機械的にその後を１世紀ごとに割り振ってみた。すると時期が新しくなるにつれて大枠で釘は短くなる傾向がみえる。ここでも例外があり12世紀代後半から13世紀代前半の平均値が高くなっている。



第109図　大宰府周辺・博多遺跡群周辺木棺墓出土釘法量分布図

門田２号墳中世墓、博多遺跡祇園K区SK49、宮ノ本遺跡9ST014には10cmを超える大型の釘がある。門田例は折れたのを含め６点が確認でき、うち２本は10cmを超えると思われる。博多遺跡祇園K区例は欠損したものを含めると10cm超のものは３本となる。宮ノ本遺跡9ST014は34本出土し10cm超のものは欠損資料を含め３本である。前二者は全容が不明であるが、大型の釘は少数で他はその時期の平均的な長さの釘であったと宮ノ本遺跡例から考えられる。試みに上記の三遺構の10cm超のものを除いて平均値を求めると例外なく釘の長さは時代とともに短くなっていることがわかる（△）。つまり時期により釘の長さの傾向があり、その中には例外的に大型の釘を少数含むものがあるといえる。

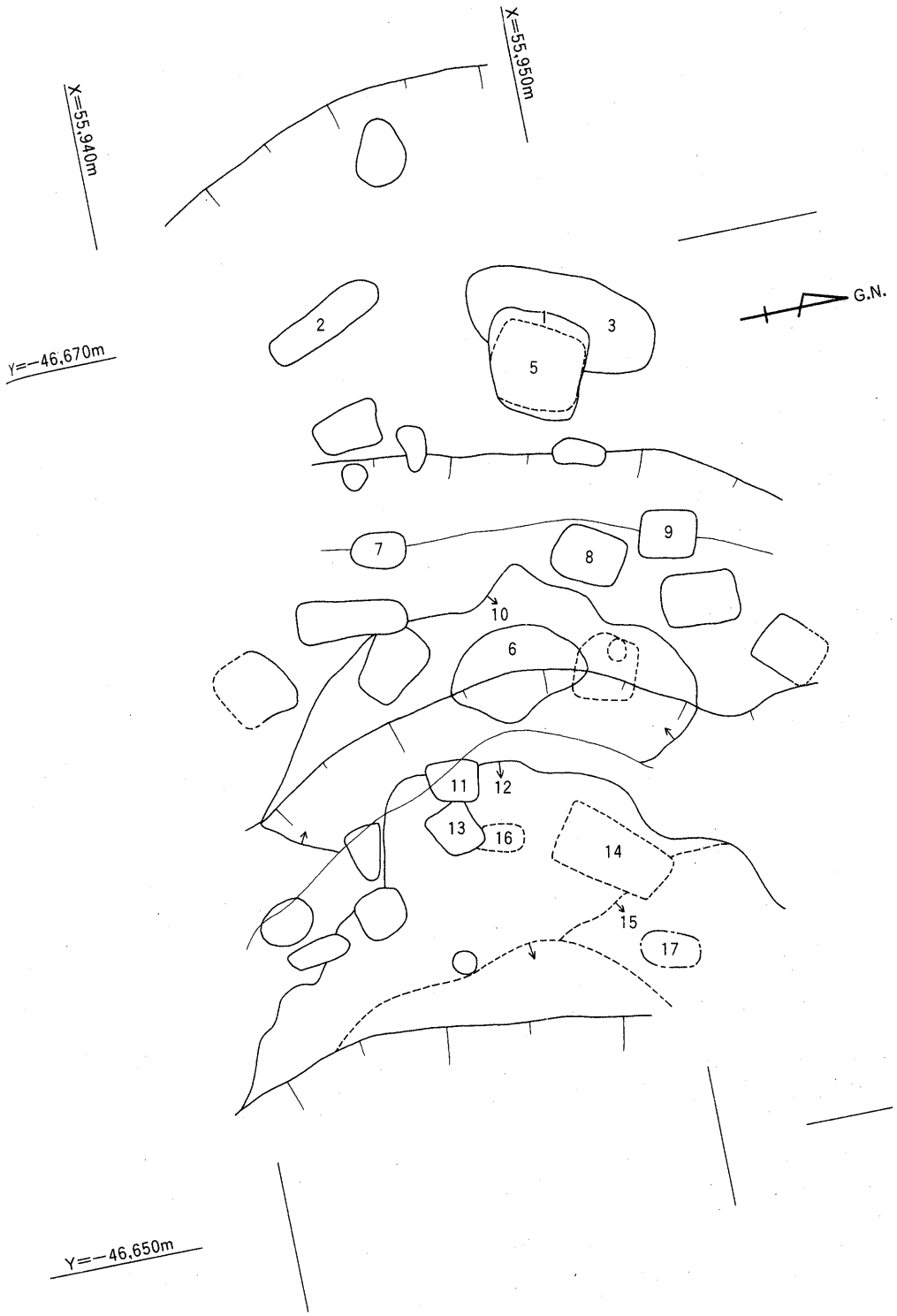
以上の推察には例外的大型の釘が何を意味するのか、なぜ釘は短くなっていくのか、遺構内で検出した釘がすべて木棺にかかわるという確証がないこと、11世紀代から12世紀代前半の墳墓例が少ないこと、サンプル数の絶対量が少ないこと、時期設定の問題など欠陥があるが、今後の課題としたい。今回は釘から情報を引き出せる可能性があることを指摘しておきたい。

文献（番号は表1の文献番号に一致する）

1） 福岡県教育委員会 1977『福岡南バイパス関係埋蔵文化財調査報告 第７集』
2） 福岡県教育委員会 1978『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告 XXIV』
3） 筑紫野市教育委員会 1994『脇田遺跡 III』（筑紫野市文化財調査報告書 第43集）
4） 太宰府市教育委員会 1993『太宰府・佐野地区遺跡群 IV』（太宰府市の文化財 第21集）
5） 太宰府市教育委員会 1995『太宰府・佐野地区遺跡群 V』（太宰府市の文化財 第27集）
6） 太宰府市 1992『太宰府市史 考古資料編』
7） 未報告　太宰府市教育委員会により『太宰府・佐野地区遺跡群』として1998年刊行予定
8） 九州歴史資料館 1976『大宰府史跡　昭和50年度発掘調査概報』
9） 福岡県教育委員会 1977『山陽新幹線関係埋蔵文化財調査報告 第７集』
10） 福岡県教育委員会 1976『山陽新幹線関係埋蔵文化財調査報告 第１集』
11） 那珂川町教育委員会 1984『松木遺跡 I』（那珂川町文化財調査報告書 第11集）
12） 福岡市教育委員会 1988『高速鉄道関係埋蔵文化財調査報告 VII 博多』（福岡市埋蔵文化財調査報告書 第193集）
13） 福岡市教育委員会 1992『博多 30』（福岡市埋蔵文化財調査報告 第285集）
14） 福岡市教育委員会 1995『博多 48』（福岡市埋蔵文化財調査報告 第397集）
15） 福岡市教育委員会 1994『博多 41』（福岡市埋蔵文化財調査報告 第370集）
16） 福岡市教育委員会 1995『博多 44』（福岡市埋蔵文化財調査報告 第393集）
17） 福岡市教育委員会 1996『博多 50』（福岡市埋蔵文化財調査報告 第447集）

参考文献

太宰府市教育委員会 1987『宮ノ本遺跡 II　古墳・墳墓篇』（太宰府市の文化財 第10集）
福岡市教育委員会 1988『博多 12』（福岡市埋蔵文化財調査報告 第177集）
太宰府市教育委員会 1993『太宰府・佐野地区遺跡群 IV』（太宰府市の文化財 第21集）
太宰府市教育委員会 1995『太宰府・佐野地区遺跡群 V』（太宰府市の文化財 第27集）
狭川真一 1993「墳墓にみる供献形態の変遷とその背景　北部九州を中心として」（貿易陶磁研究 13）
山本信夫 1990「統計上の土器　歴史時代土師器の編年研究によせて」（『乙益重隆先生古稀記念九州上代文化論集』）



第110図　宮ノ本遺跡第９次調査略測図（1/150）

宮ノ本遺跡第９次調査　遺構番号台帳

S-番号	遺構番号	種別		地区
1		根穴　SX005→S-3→S-1　灰黄色土		谷部
2		撹乱　根穴の跡か		谷部
3		撹乱　新しい溜まり　明白黄色土		谷部
4		欠番		
5	SX005	性格不明土壙　土師器を埋納	布留	谷部
6	白黄色土	造成土	近世以降	谷部
7		撹乱　改葬後の墓壙	現代	谷部
8		撹乱　改葬後の墓壙	現代	谷部
9		撹乱　改葬後の墓壙	現代	谷部
10	黒茶色土	造成土　S-10→S-6	近世以降	谷部
11		撹乱　改葬後の墓壙	現代	谷部
12	灰褐色土	造成土　S-15→下部堆積土→S-12	近世以降	谷部
13		撹乱　改葬後の墓壙	現代	谷部
14	ST014	木棺墓　ST014→S-12	VII期	谷部
15	明褐色土	遺物包含層　S-15→ST014	V期	谷部
16	ST016	土壙墓もしくは木蓋土壙墓	VIII期	谷部
17	SX017	不明遺構　SX017→S-15		谷部
18		欠番		
19		欠番		
20	ST020		V期	北丘陵部
30	ST030		V期	北丘陵部
下部堆積層	明灰褐色土			谷部
明黄色土	明黄色土	北頂部・北丘陵部・谷部に分割		
表採		北丘陵部・谷部に分割		

宮ノ本遺跡第９次調査　出土遺物一覧表　1

S-1	
土師器	椀a、小型丸底壺
	甕、坏
縄文土器？	片
S-2	
須恵器	甕
S-3	
土師器	片
縄文土器	鉢、片
S-5	
土師器	高坏、小型丸底壺、甕、壺
石製品	チップ(ob)、鏃(and)
S-6	
須恵器	坏a、蓋
土師器	小皿a(ヘラ)、蓋c
瓦類	片
弥生土器	壺(？)
金属製品	釘
S-7	
金属製品	釘
S-8	
須恵器	坏、蓋
土師器	片
瓦類	平(斜格子)
縄文土器	片

S-9	
須恵器	蓋
土師器	甕
瓦類	片
S-10	
須恵器	坏a、坏c、甕、蓋３
土師器	蓋３、甕
青白磁	皿
弥生土器	片
金属製品	釘
S-11	
須恵器	甕
土師器	片
S-12	
須恵器	坏c、蓋３
土師器	坏d、壺×甕、甕(古墳)
	坏a、小皿a(イト)
黒色土器A	椀
瓦類	平(縄目)
白磁	片
金属製品	刀子、釘
その他	鉄塊
S-13	
須恵器	鉢a3、甕、蓋(？)、壺(？)
土師器	坏a
S-14	
土師器	椀c、坏a
黒色土器A	椀c
黒色土器B	椀c
金属製品	釘

宮ノ本遺跡第９次調査　出土遺物一覧表　2

S-１５		明黄土	
須恵器	蓋c3、椀a、高坏(古墳)、坏c	須恵器	小蓋c3、蓋3、甕、壺、坏c
	壺蓋a、鉢、鉢b	土師器	蓋c3、椀c、坏a、坏c、坏d(？)
土師器	蓋c3、皿a、坏d、甕、壺		皿、甕、高坏、壺、小皿b
石製品	石斧片(谷部表採と接合)	瓦類	平(片)
縄文土器？	片	石製品	フレーク(ob)
		白磁	椀　片
S-１６		弥生土器	壺(前)
		縄文土器	深鉢(？)
土師器	坏a		
		斜面表採	
S-２０			
		須恵器	鉢a、坏c
須恵器	短頸壺	龍泉窯系青磁	椀　Ⅰ-3、Ⅰ
土師器	坏d	瓦類	平(片)
金属製品	釘	石製品	太型蛤刃石斧
		縄文土器	片
S-３０			
		谷部表採	
須恵器	皿a、蓋、坏		
土師器	甕	須恵器	小坏a、小坏c、坏c、蓋a３
			皿a、甕、壺
下部堆積土		土師器	坏d、高坏、壺、蓋３、器台
			小皿a(イト)、甕、短頸壺
須恵器	坏c、蓋c４、壺	瓦類	平(縄目、「佐」)、丸(縄目)
土師器	坏a	石製品	砥石(砂岩)
		肥前系陶磁器	坏(唐津？)
北頂部明黄土		白磁	椀　片
		弥生土器	壺
須恵器	坏c、蓋３	その他	鉱滓
土師器	壺、高坏(古墳)、蓋(古代)		
瓦類	平(斜格子)		
石製品	フレーク(ob)		

宮ノ本遺跡第９次調査　土器計測表

S-5

	器種	R番号	図版番号	口径	器高	底径	C	D
1	土師器　壺	R-001	104-4	10.4	9.0	—		
2	〃　甕	R-002	104-6	—	8.0+	—		
3	〃　甕	R-003	104-5	5.0+	3.9+	—		
4	〃　甕	R-007	105-8	15.7	25.7	—		
5	〃　甕	R-009	104-7	14.6	16.7	—		
6	〃　甕	R-010	105-9	15.2	27.8	—		
7	〃　高坏	R-004	104-3	16.0	11.0	12.0		
8	〃　高坏	R-005	104-1	17.2	6.3+	—		
9	〃　高坏	R-006	104-2	25.1	7.2+	—		

S-14

	器種	R番号	図版番号	口径	器高	底径	C	D
1	土師器　坏a	R-023	100-1	11.7	3.3	7.3	○	○
2	〃　〃	R-024	100-4	11.95	3.2	6.95	○	×
3	〃　〃	R-025	100-3	11.95	3.1	7.2	○	○
4	〃　〃	R-026	100-2	11.7	2.9	6.7	○	○
5	〃　中椀c1	R-027	100-5	12.4	4.55	6.4	○	○
6	〃　〃	R-028	100-6	12.4	4.5	6.8	○	○
7	黒色土器A 椀c2	R-029	100-7	14.2	5.4	8.05		○
8	〃　椀c	R-030	100-8	14.4	6.0	8.5		
9	黒色土器B 椀c2	R-031	100-9	15.5	6.65	8.25		

S-15

	器種	R番号	図版番号	口径	器高	底径	C	D
1	須恵器　壺蓋c	R-011	106-2	(9.4)	2.8	—		
2	〃　蓋a3	R-001	106-3	11.7	2.0	—		
3	〃　蓋c3	R-002	106-4	13.3	1.7	—		
4	〃　〃	R-003	106-5	17.5	2.45	—		
5	〃　〃	R-006	106-6	19.3	3.5	—		
6	〃　椀a	R-007	106-7	18.6	4.7	12.3		
7	〃　坏c	R-004	106-8	12.5	3.6	9.0		
8	〃　〃	R-005	106-9	12.4	4.15	8.9		
9	土師器　大蓋c3	R-008	106-11	21.8	2.5	—		
10	〃　蓋c3	R-010	106-12	(22.6)	2.7	—		
11	〃　皿a	R-009	106-13	20.6	2.45	14.7		

S-16

	器種	R番号	図版番号	口径	器高	底径	C	D
1	土師器　坏a	R-001	102-1	11.8	2.4	8.1	○	○

S-20

	器種	R番号	図版番号	口径	器高	底径	C	D
1	須恵器　壺a	R-002	103-3	14.3	25.8	14.4		
2	土師器　坏d	R-003	103-2	16.6	4.2	8.0		
3	〃　〃	R-004	103-1	13.9	3.2	7.5		

S-30

	器種	R番号	図版番号	口径	器高	底径	C	D
1	須恵器　皿a	R-002	103-5	18.6+	2.6+	16.0		
2	土師器 小甕a	R-001	103-6	19.5	15.1	—		

下部堆積層

	器種	R番号	図版番号	口径	器高	底径	C	D
1	須恵器　蓋c3	R-001	106-14	14.5	2.5	—		
2	〃　坏c	R-002	106-15	11.7	3.8	8.6	○	×
3	土師器　坏a	R-003	106-16	(13.9)	4.0	(9.6)	○	

明黄色土

	器種	R番号	図版番号	口径	器高	底径	C	D
1	土師器　小皿a	R-001	106-17	—	1.1+	4.6	×	×
2	弥生土器 小甕	R-002		(14.0)	4.2+	—		

谷部表採

	器種	R番号	図版番号	口径	器高	底径	C	D
1	須恵器　蓋a3	R-001	107-2	(14.6)	1.7	—		
2	〃　〃	R-002	107-1	12.6	1.8	—		
3	〃　小皿a	R-003	107-3	9.8	2.0	6.4	○	
4	〃　坏c	R-006	107-4	(11.4)	3.5	(8.1)		
5	〃　〃	R-007	107-5	(12.8)	3.6	(9.8)		
6	土師器　小皿a	R-004	107-6	10.0	1.8	7.1	○	
7	陶器　坏	R-005	107-7	11.2	3.2	4.5		

C：見込み部のナデの有無
D：底部における板状圧痕の有無

鉄製釘計測表

A：木質変化点から上端までの計測値
B：木質変化点から下端までの計測値
（ ）は欠損資料

9ST014

図版番号	R番号	長さ	幅1	幅2	A	B
101-10	R-020	14.5+	0.75	0.75	3.45	(11.05)
101-11	R-004	10.7+	0.70	0.60	(2.5)	(8.2)
101-12	R-018	11.2	0.70	0.55	2.5	8.7
101-13	R-022	7.4+	0.60	0.60	2.0	(5.4)
101-14	R-014	8.2	0.50	0.50	2.0	6.2
101-15	R-003	8.0	0.70	0.40	1.85	6.15
101-16	R-001	4.5+	0.70	0.35	2.75	(1.75)
101-17	R-006	7.3+	0.50	0.45	1.95	(5.35)
101-18	R-015	5.2+	0.40	0.40	(1.85)	(3.35)
101-19	R-010	7.4+	0.60	0.45	1.85	(5.55)
101-20	R-021	8.0	0.75	0.55	2.55	5.45
101-21	R-019	6.1+	0.45	0.45	2.0	(4.1)
101-22	R-012	4.2+	0.40	0.40	0.75	3.45
〃	〃	1.9+	0.40	0.40	—	—
101-23	R-017	1.4+	0.50	0.35	—	—
101-24	R-011	2.5+	0.40	0.25	(1.45)	(1.05)
101-25	R-009	3.0+	0.70	0.45	—	—
101-26	R-007	4.45+	0.60	0.45	2.1	(2.35)
101-27	R-008	2.7+	0.50	0.45	—	—
101-28	R-032	5.6+	0.40	0.30	(2.55)	(3.05)
101-29	R-016	5.6+	0.50	0.40	(0.5)	(5.1)
101-30	R-013	6.1+	0.40	0.40	3.0	(3.1)
101-31	R-005	5.75+	0.70	0.55	(0.45)	5.3
101-32	R-002	5.95+	0.70	0.50	2.05	(3.9)
101-33	R-033	5.2+	0.4	0.4	—	—

9ST020

図版番号	R番号	長さ	幅1	幅2	A	B
103-4	R-001	5.5+	0.7	0.4	—	—



1　前田7次(北より)



2　前田7次(右が北)

図版2



1　前田7次北半部



2　前田7次中央部



1　前田7次中央部



2　前田7次南半部



1　前7SI005検出時(西より)



2　前7SI055(東より)



1　前7SI055(西より)



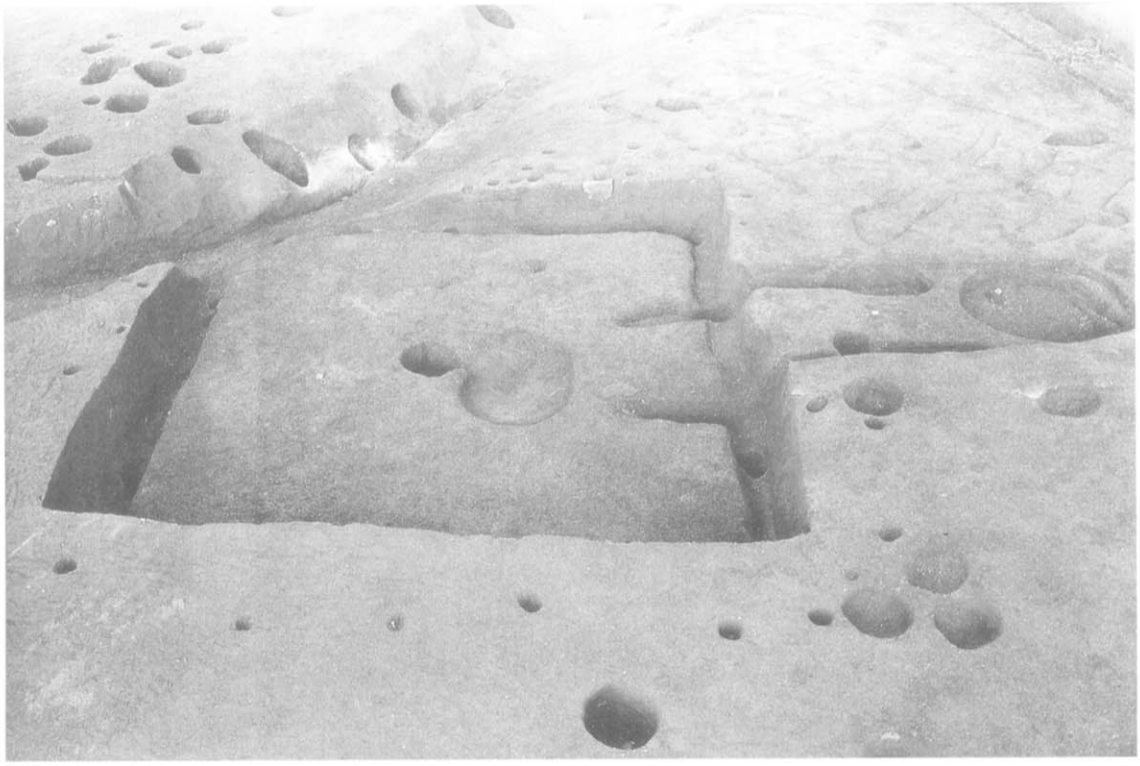
2　前7SI060(北より)



1　前7SI060(南より)



2　前7SI065(東より)



1　前7SI065(南より)



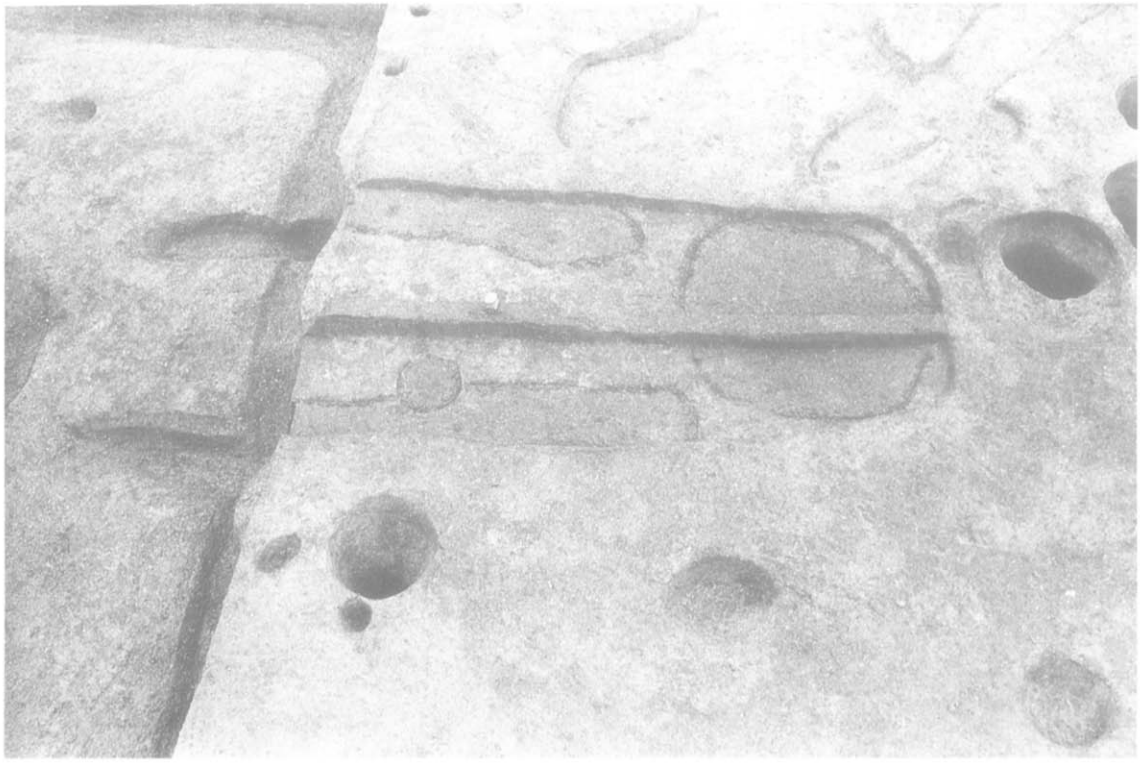
2　前7SI065(南より)



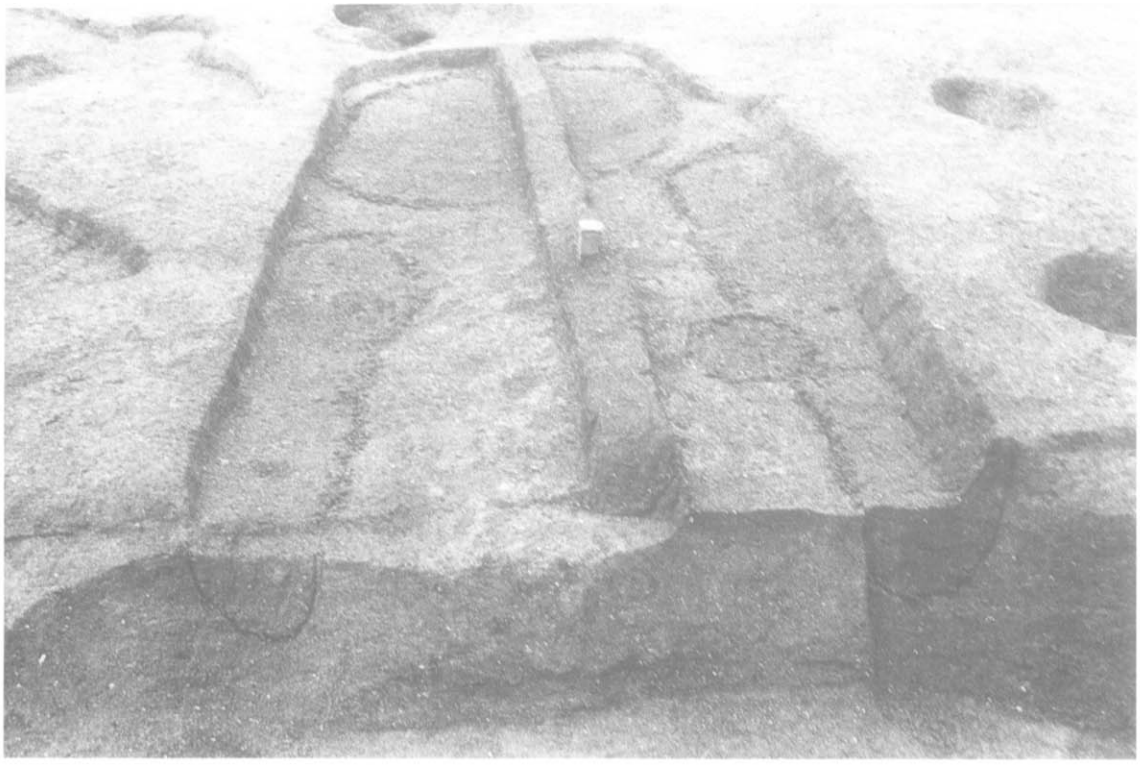
1　前7SI065南北土層(東より)



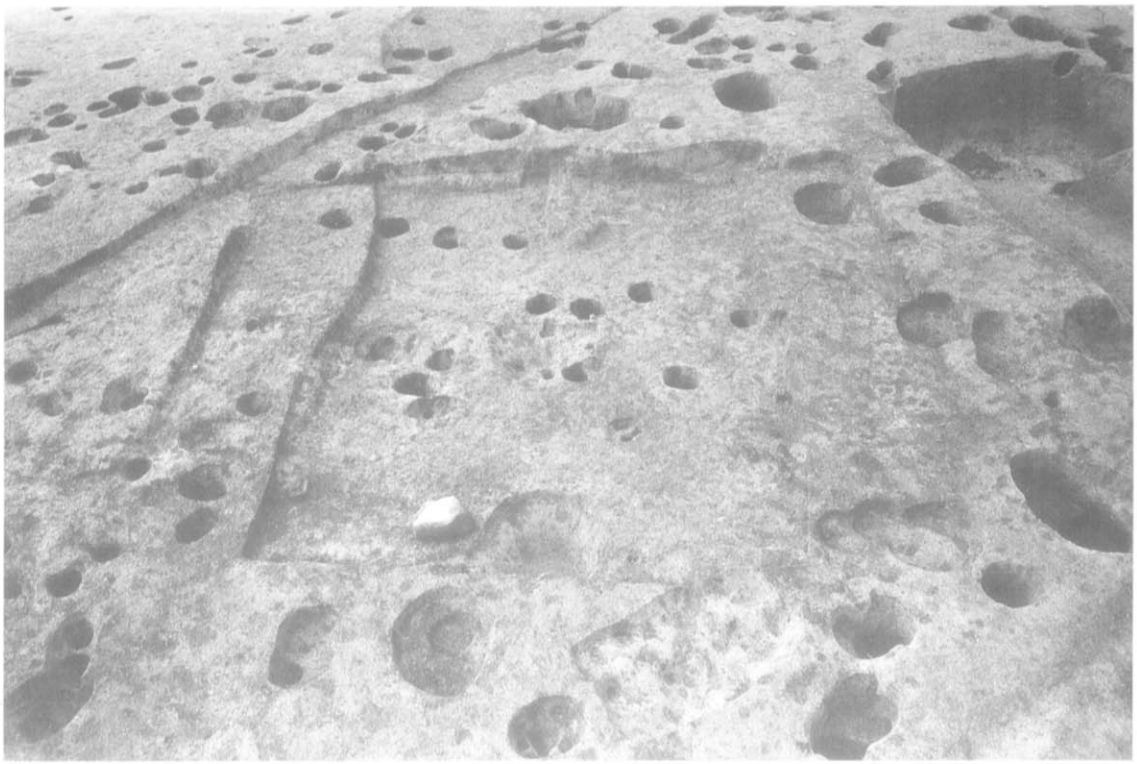
2　前7SI065西東土層(南より)



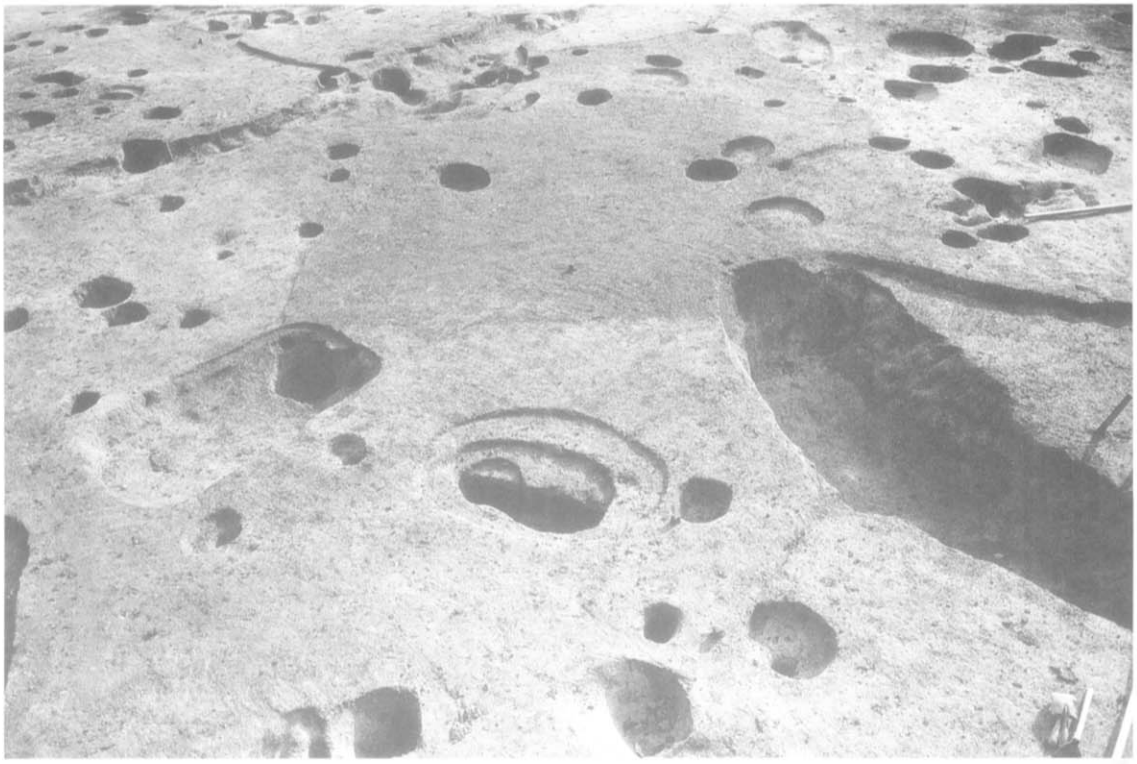
1　前7SI065張り出し部(南より)



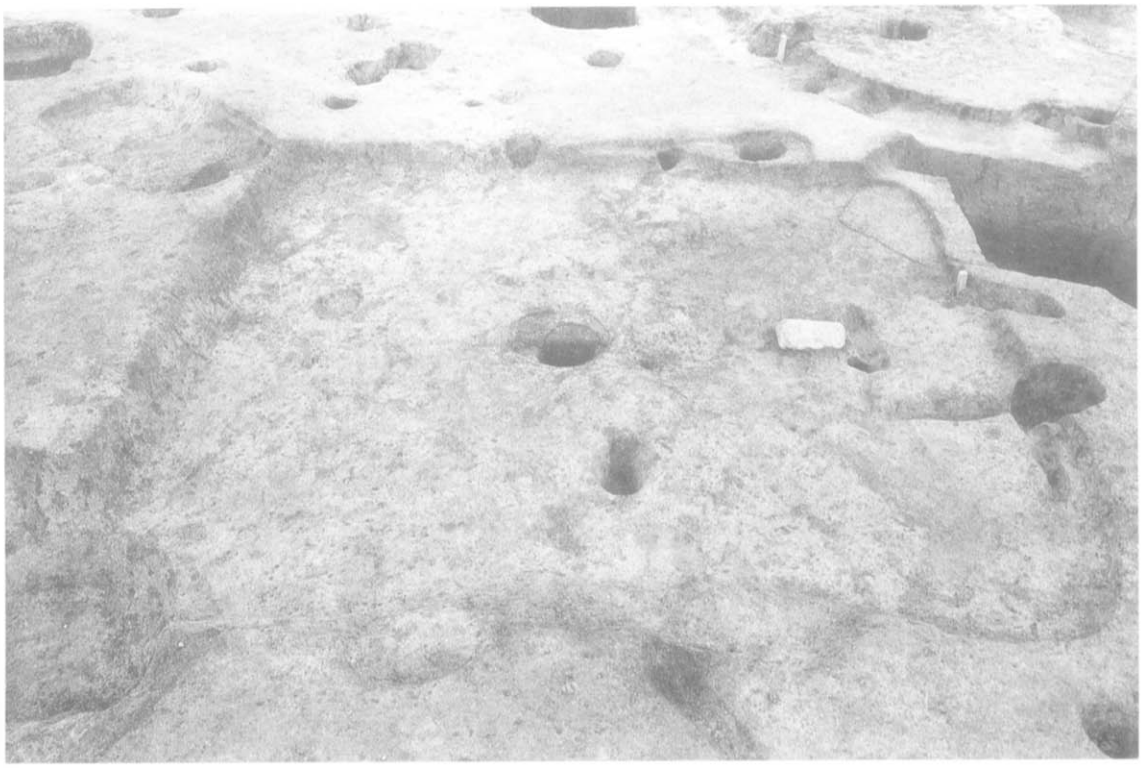
2　前7SI065張り出し部(東より)



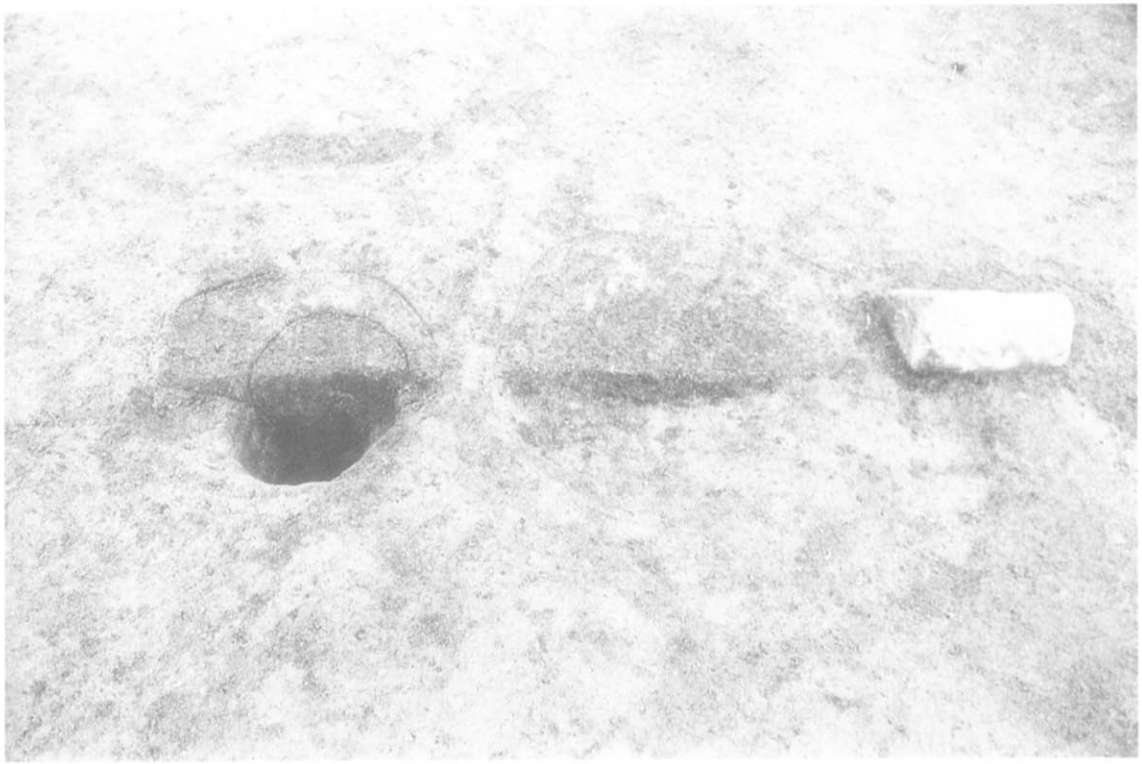
1　前7SI070(東より)



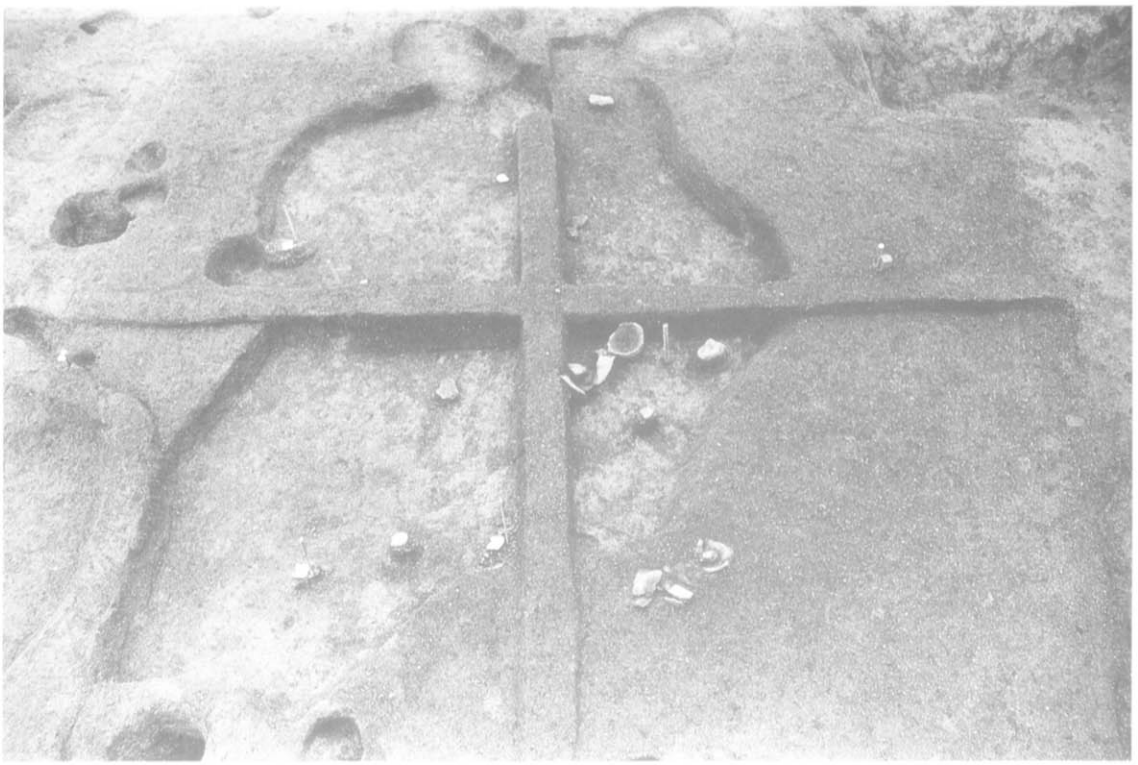
2　前7SI085eと7SK105(西より)



1　前7SI085(南より)



2　前7SI085柱穴と炉跡(南より)



1　前7SI085茶色土除去時(北より)



2　前7SI110(西より)



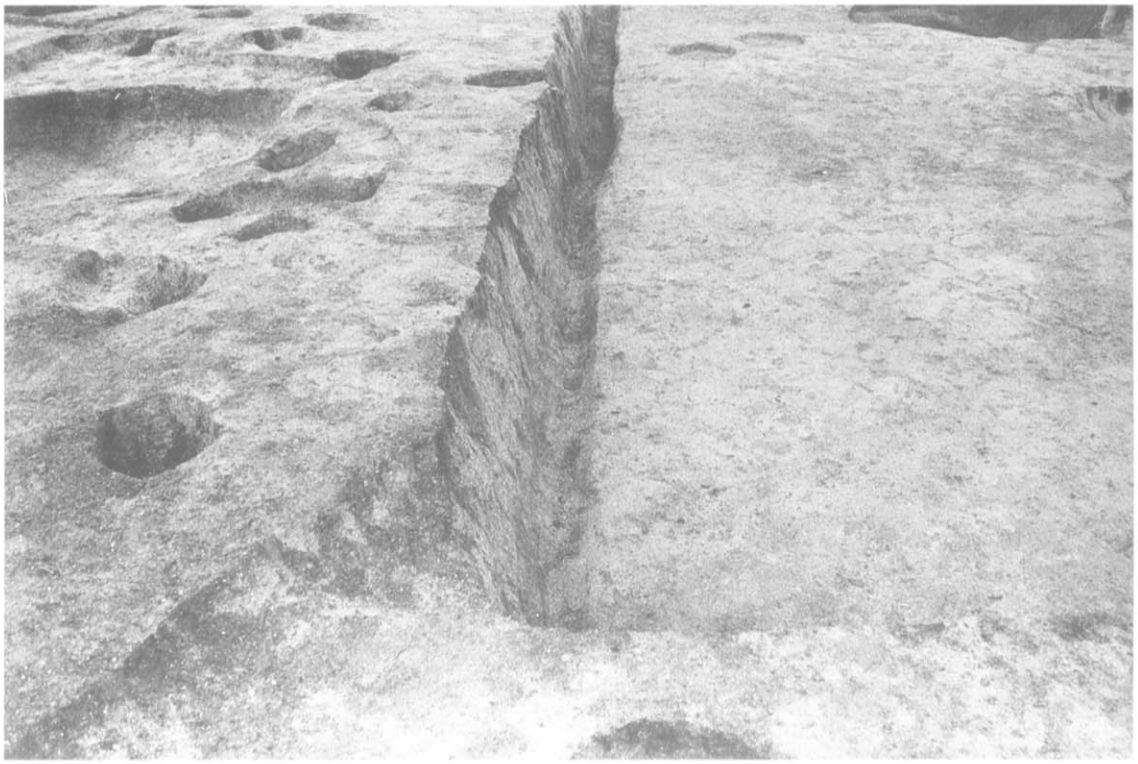
1　前7SI115(西より)



2　前7SI120(南より)



1　前7SI120壁面(東より)



2　前7SI120壁溝(南より)



1　前7SI125(北より)



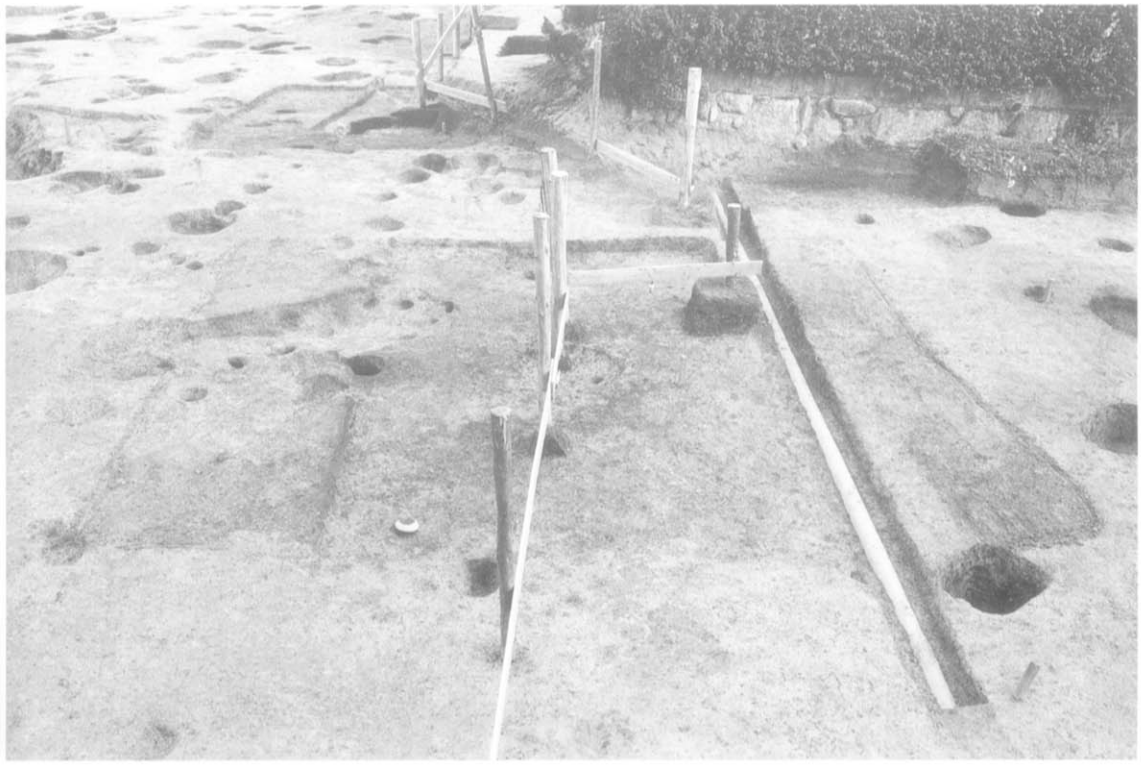
2　前7SI130(西より)



1　前7SI140黄灰土除去時(西より)



2　前7SI140床面(北より)



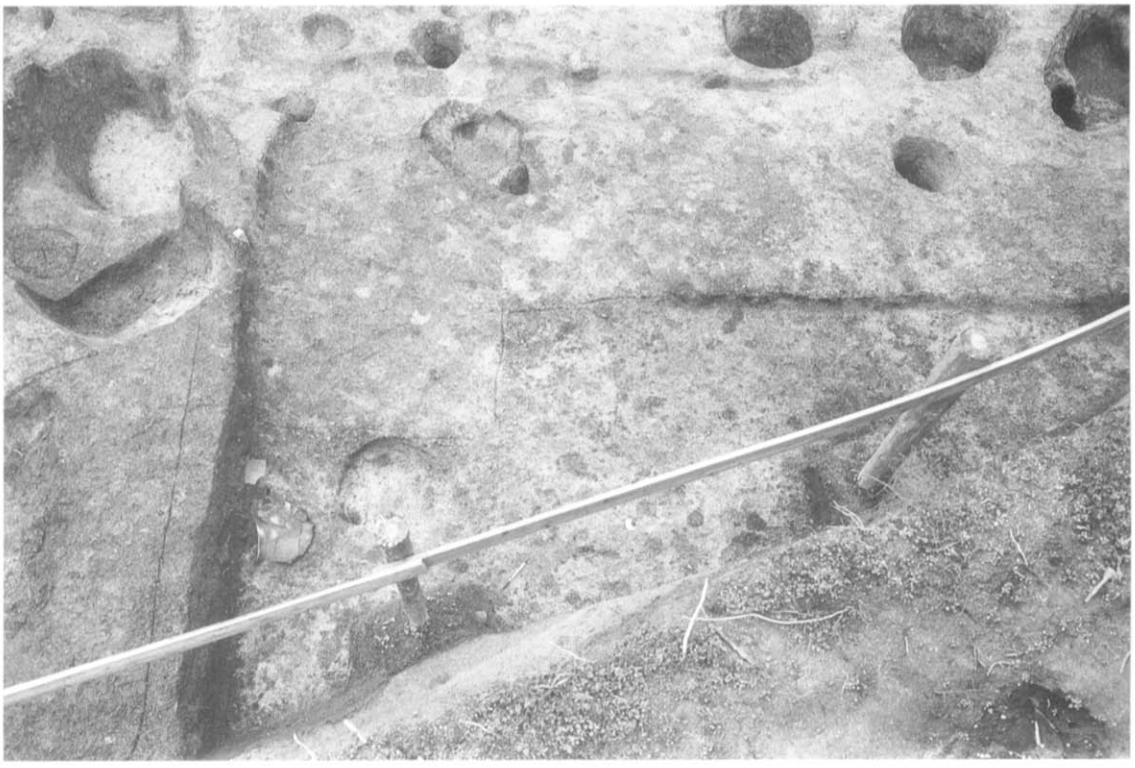
1　前7SI150(西より)



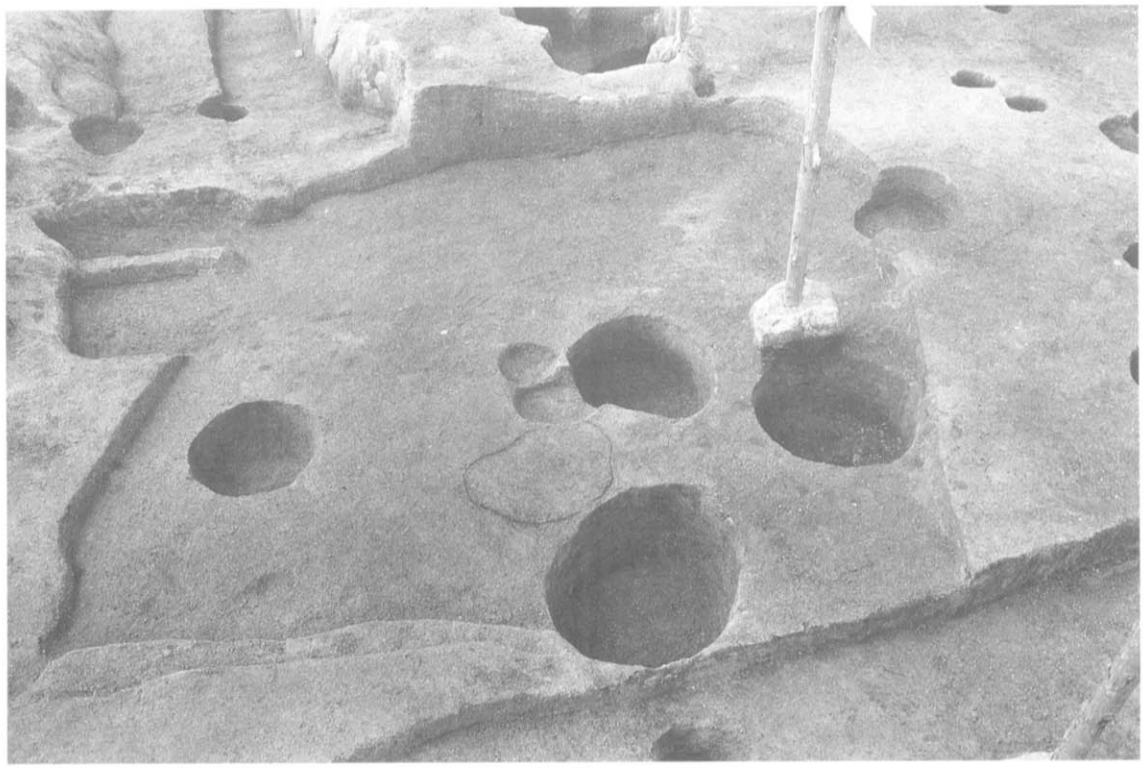
2　前7SI155(西より)



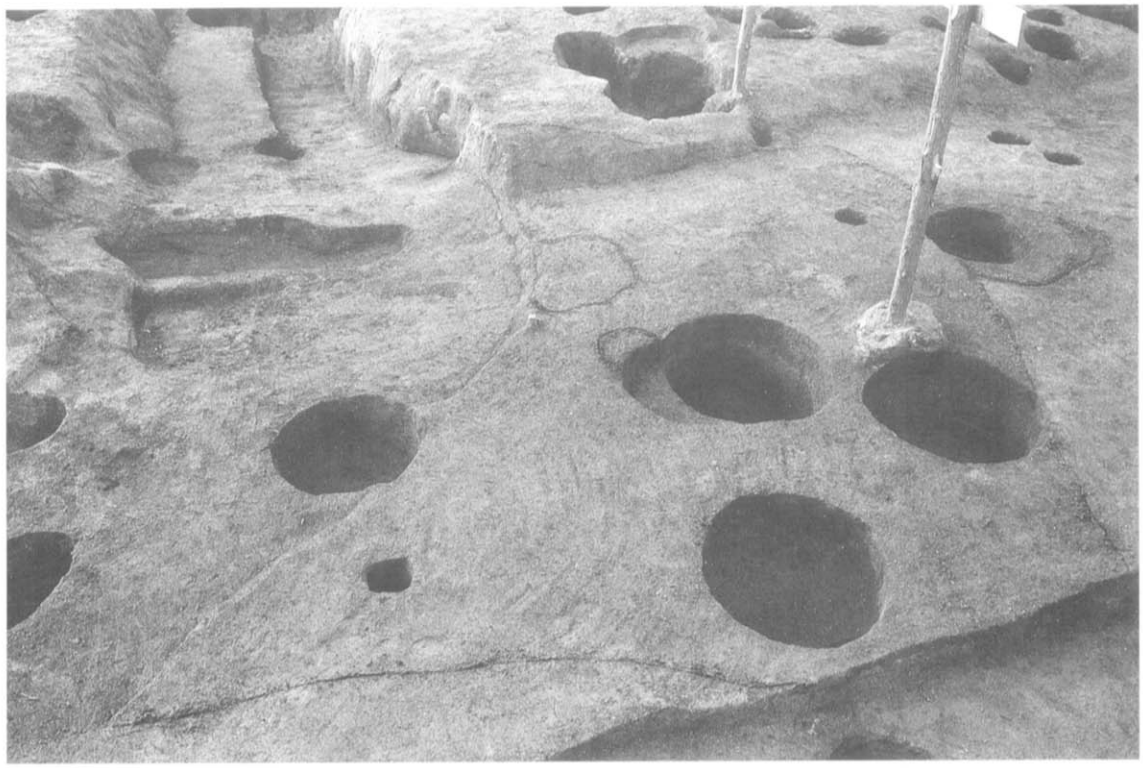
1　前7SI175.179(北東より)



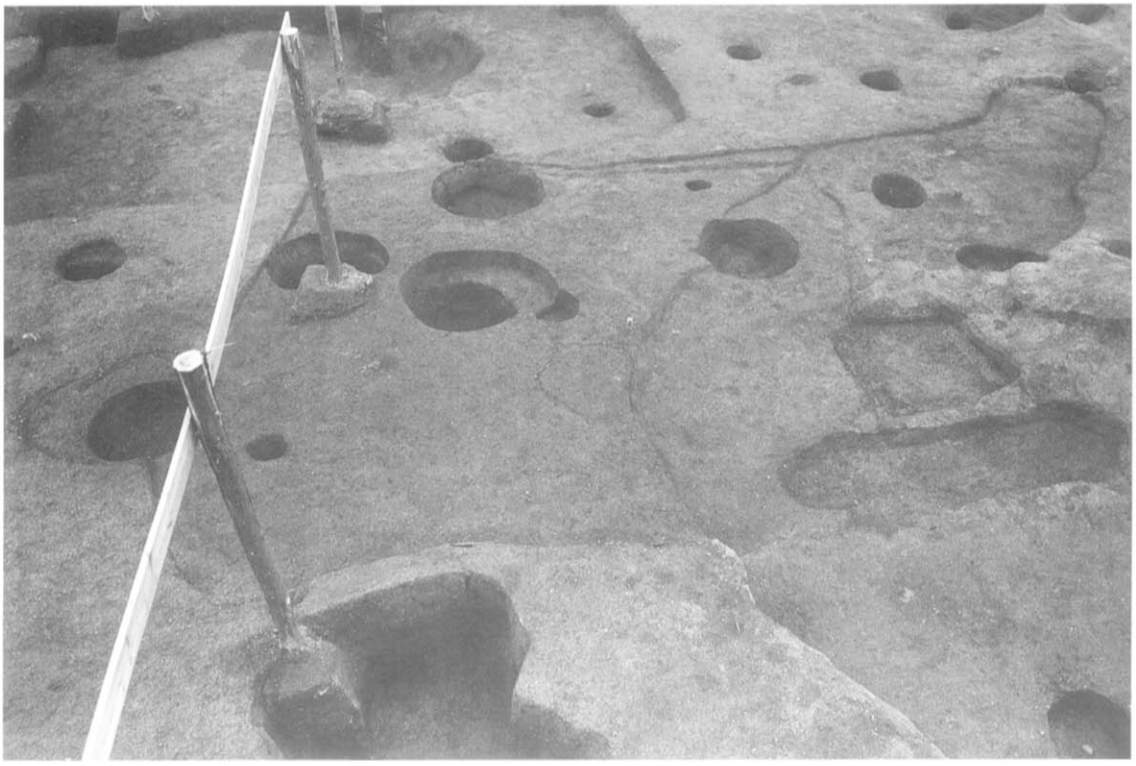
2　前7SI175(南より)



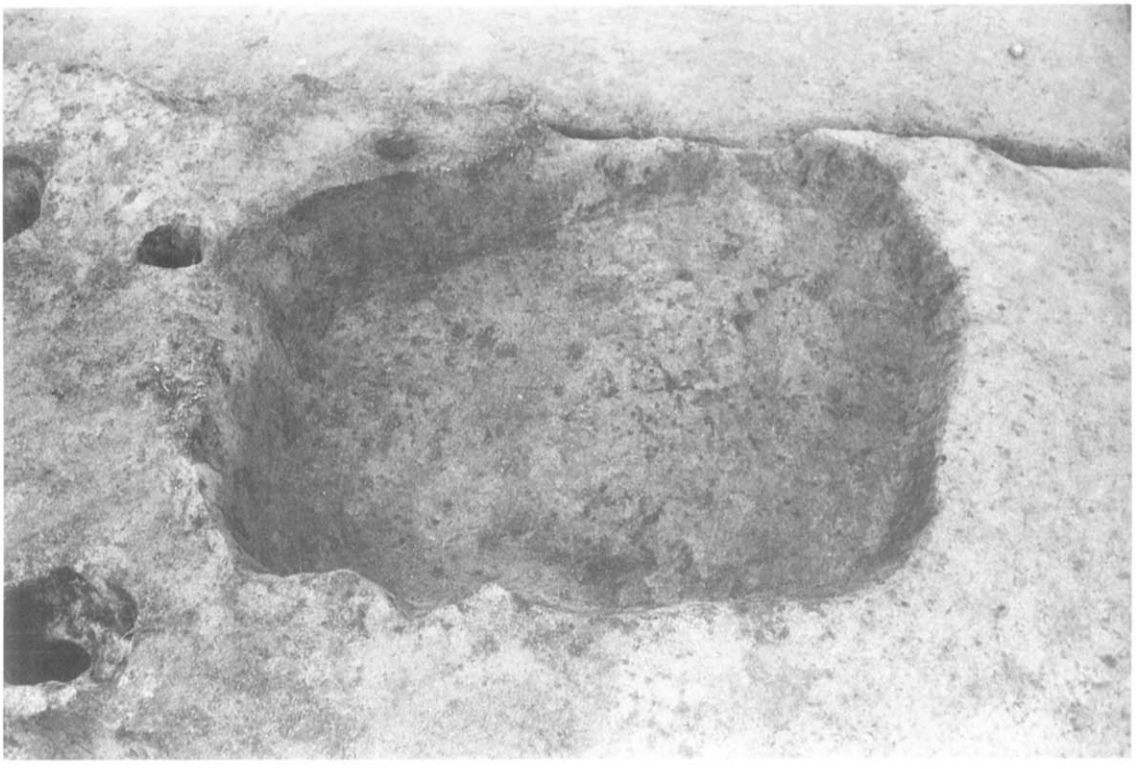
1　前7SI190(東より)



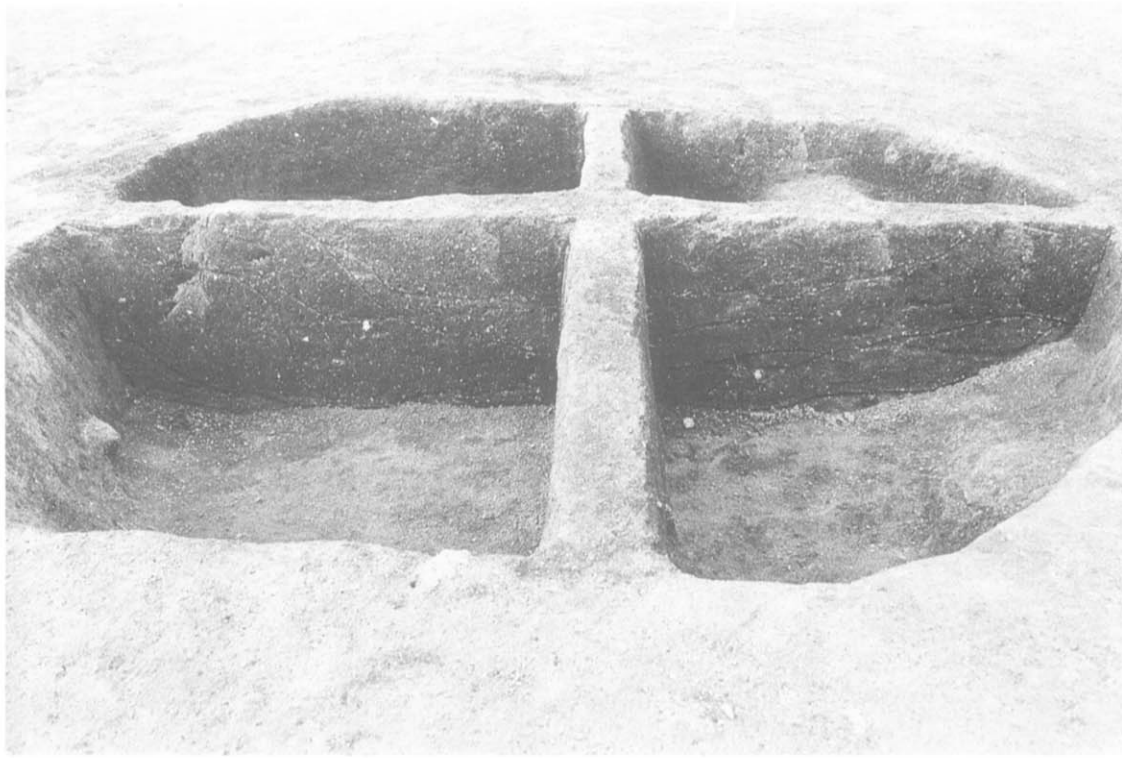
2　前7SI190.7SD047(東より)



1　前7SI190(西より)



2　前7SK021(南より)



1　前7SK021土層(東より)

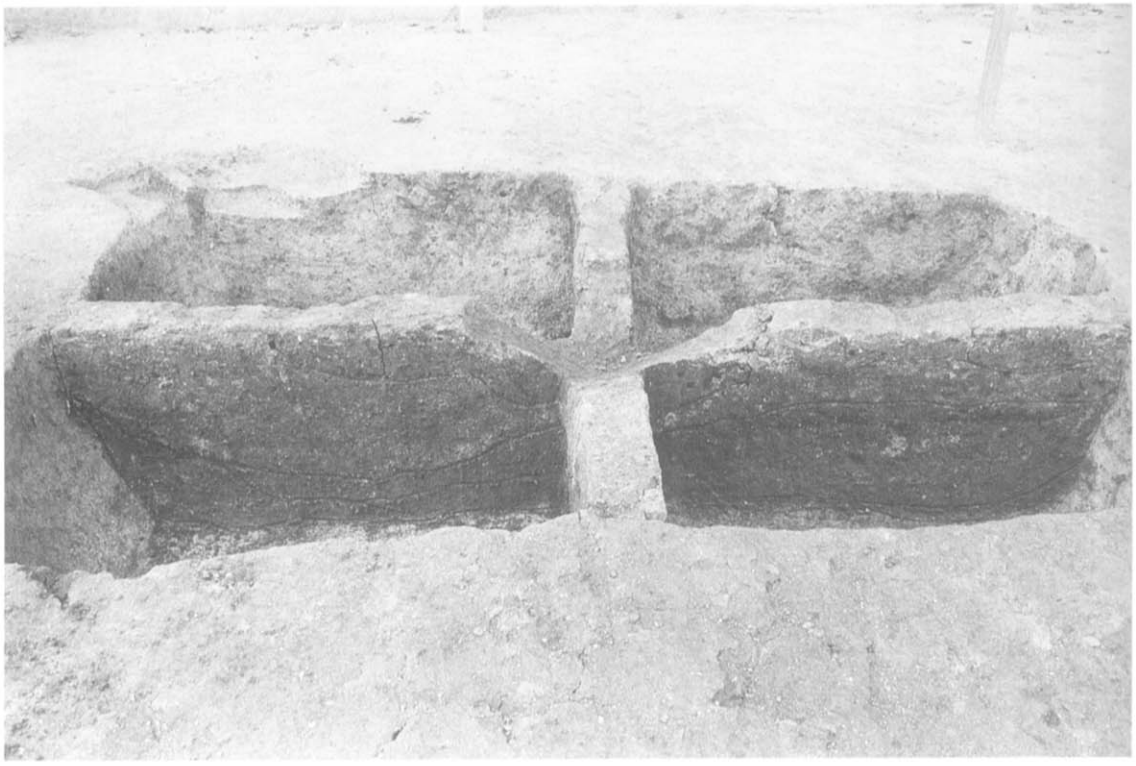


2　前7SK021土層(南より)

図版22



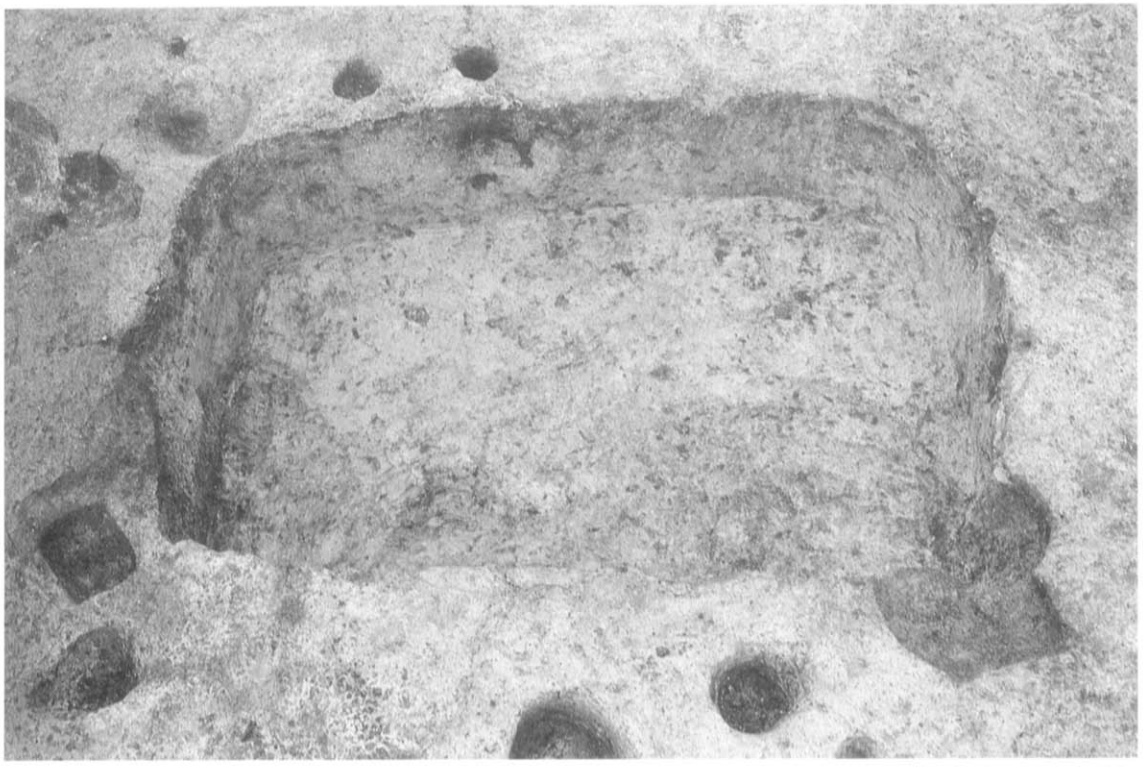
1　前7SK022(東より)



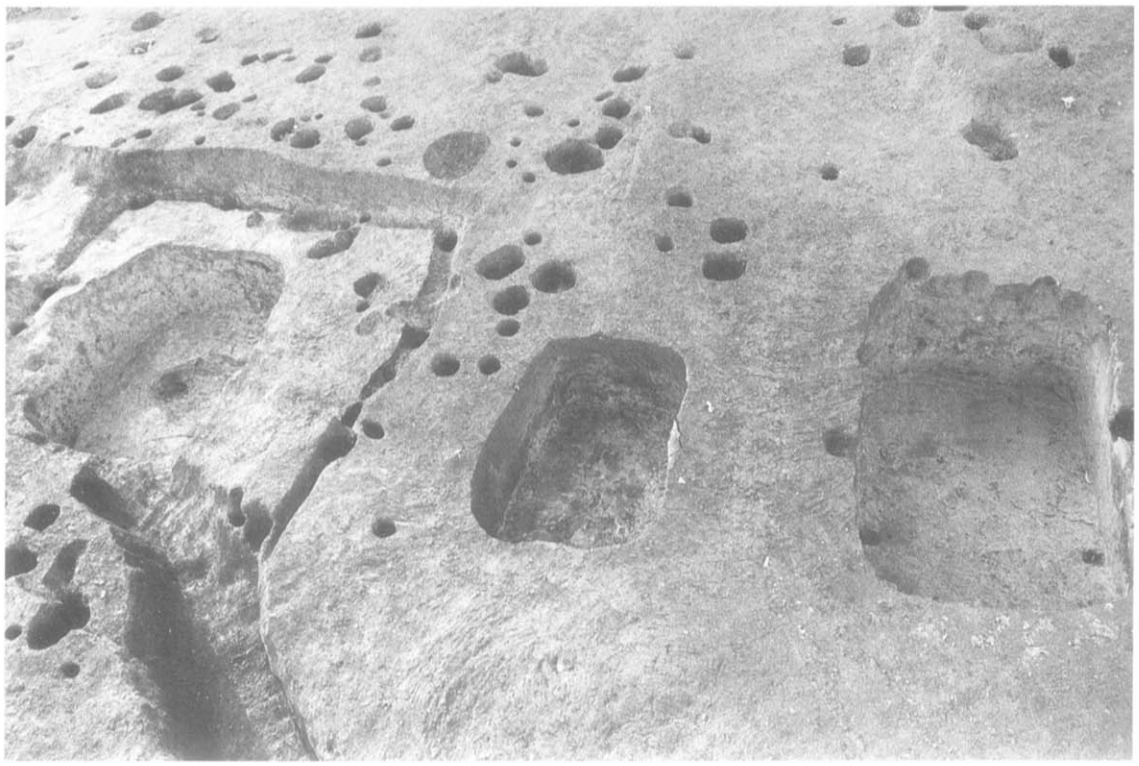
2　前7SK022土層(東より)



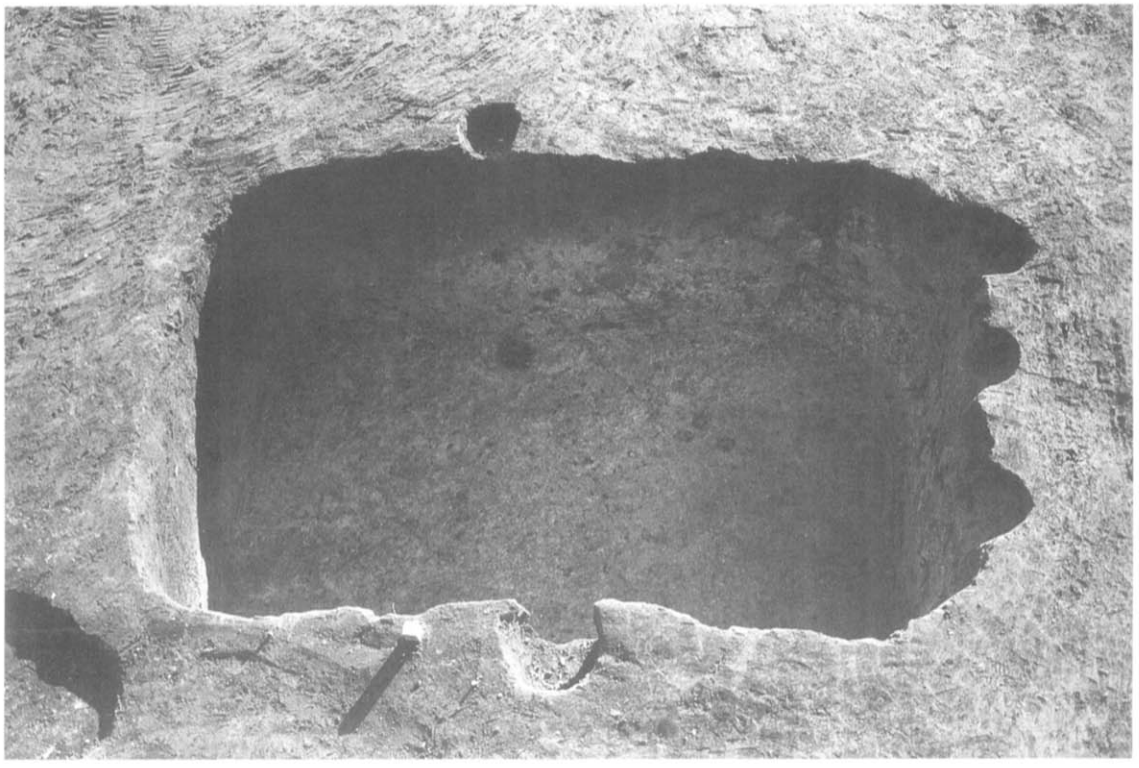
1　前7SK022土層(南より)



2　前7SK025(南より)



1　前7SK230.080.040(東より)



2　前7SK040(北より)



1　前7SK040(東より)



2　前7SK040(北より)



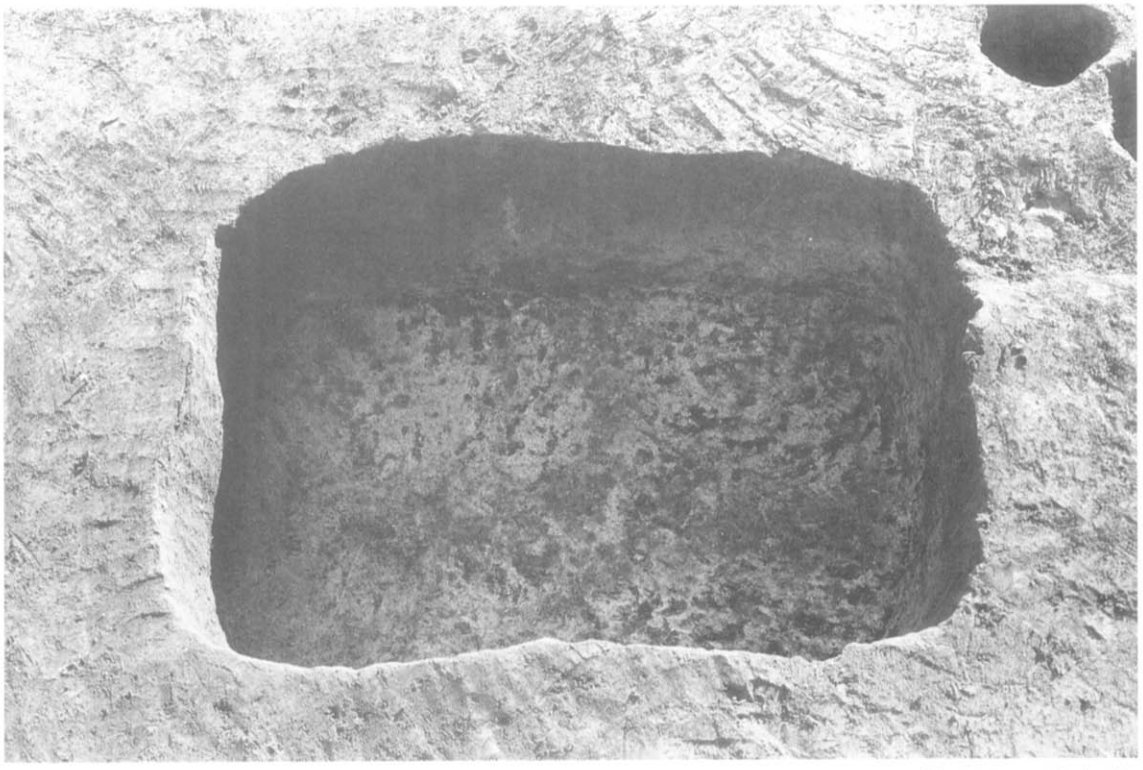
1　前7SK068(西より)



2　前7SK068土層(東より)



1　前7SK068途中(南より)



2　前7SK080(北より)



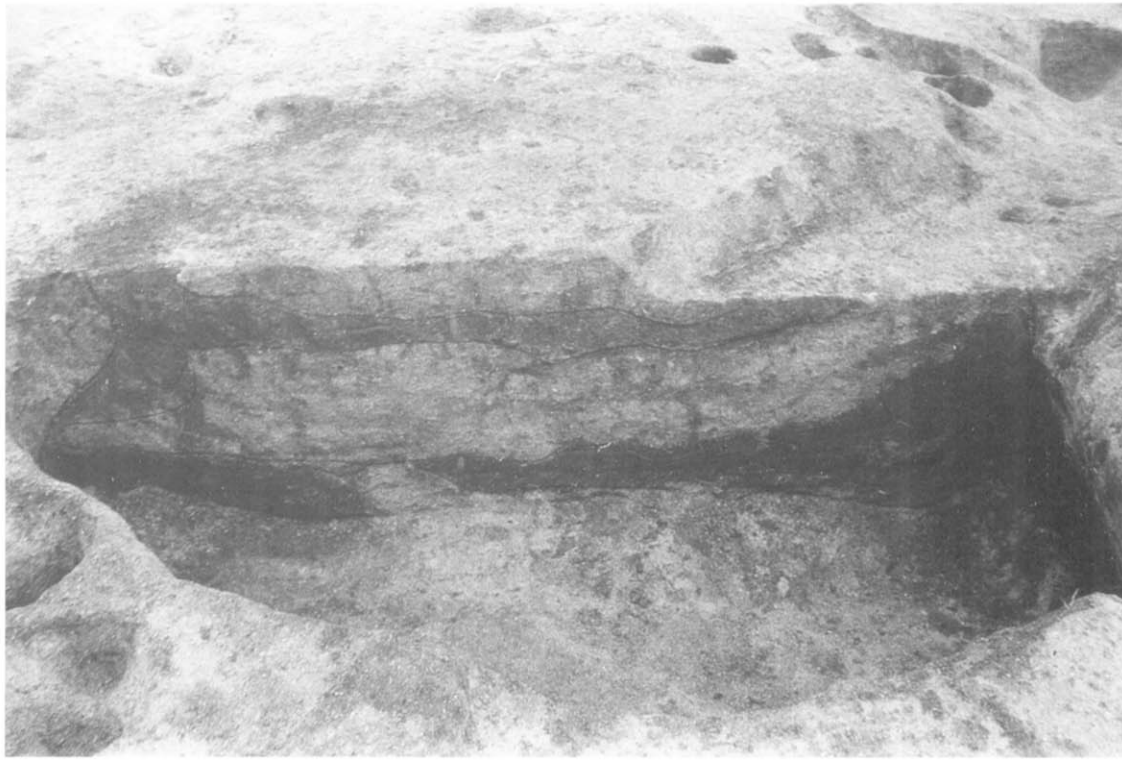
1　前7SI060.SK141(北より)



2　前7SK141土層(西より)



1　前7SK145(南より)



2　前7SK145土層(東より)



1　前7SK168(南より)



2　前7SK168(東より)



1　前7SK168(東より)



2　前7SK168(南より)

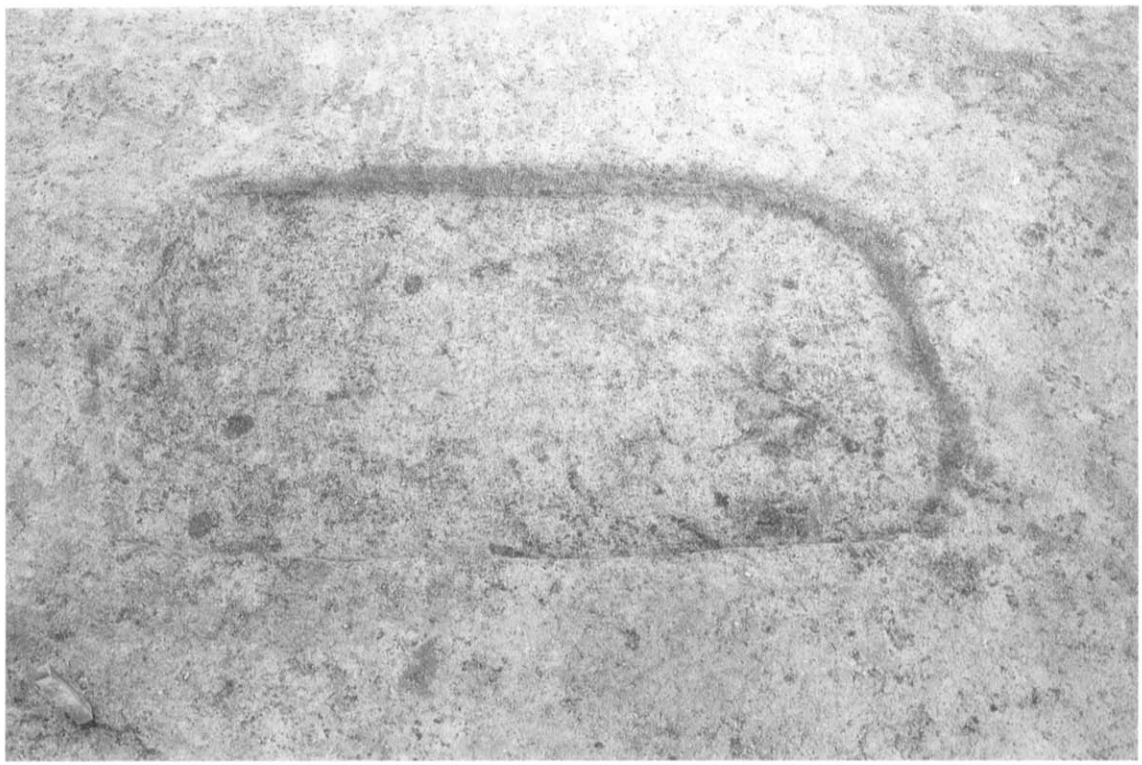
図版32



1　前7SK168(北より)



2　前7SK168柱痕跡(北より)



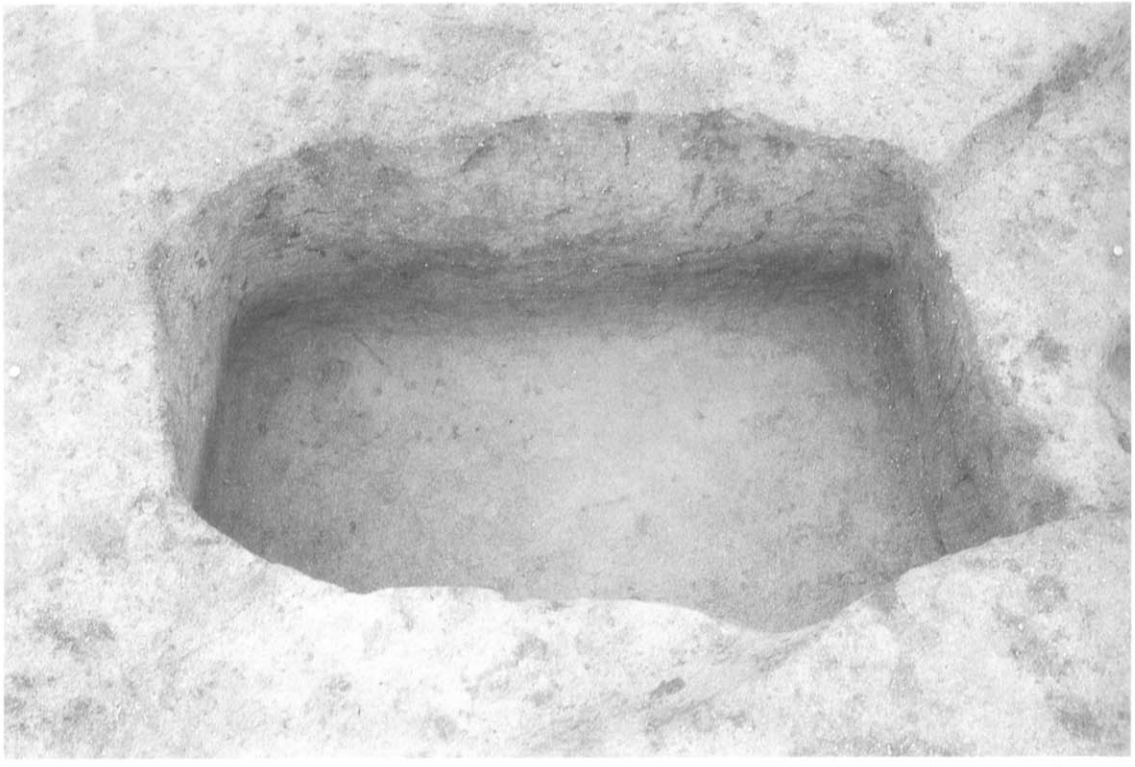
1　前7SK183(西より)



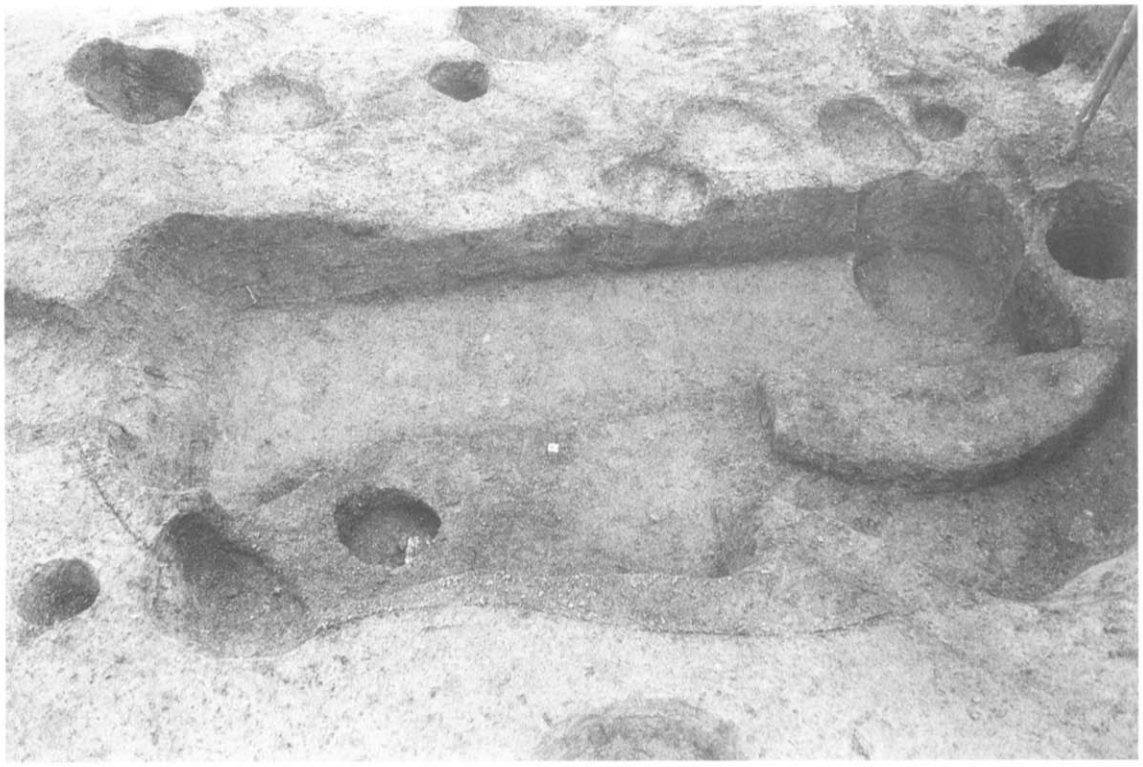
2　前7SK184(北より)



1　前7SK185(北より)



2　前7SK193(東より)



1　前7SK210.220(西より)



2　前7SK220(北より)



1　前7SK225(西より)



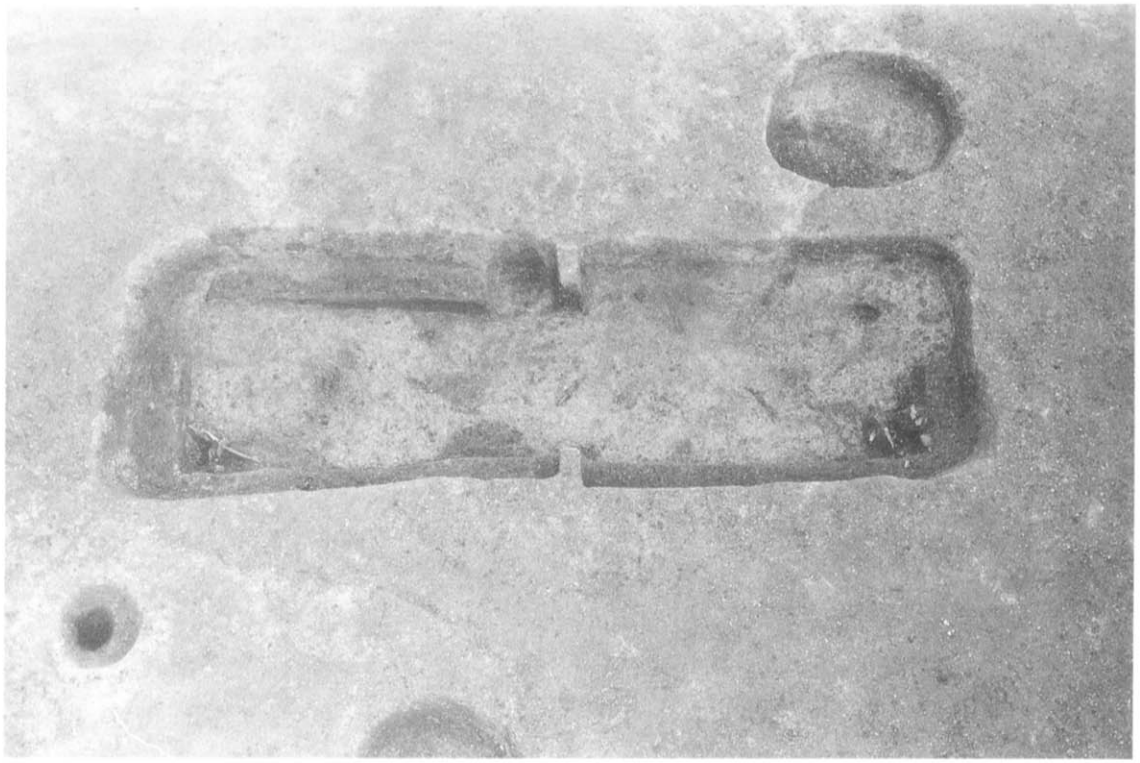
2　前7SK225土層(北より)



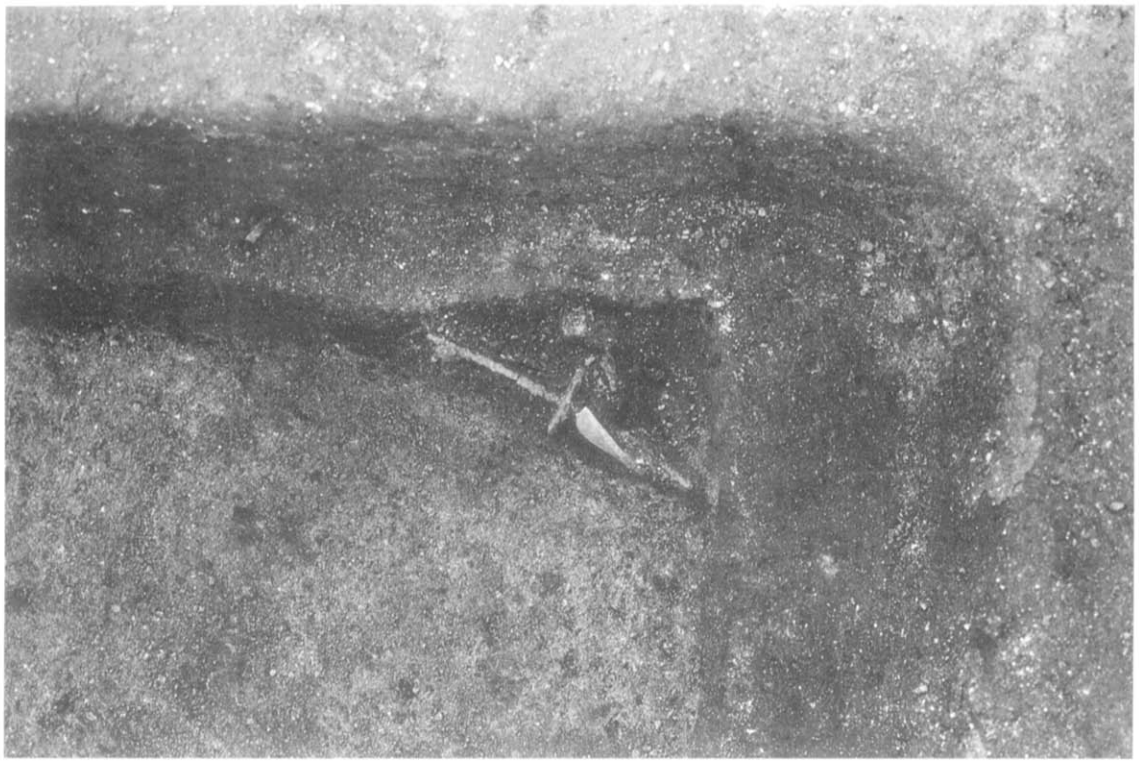
1　前7SK230(西より)



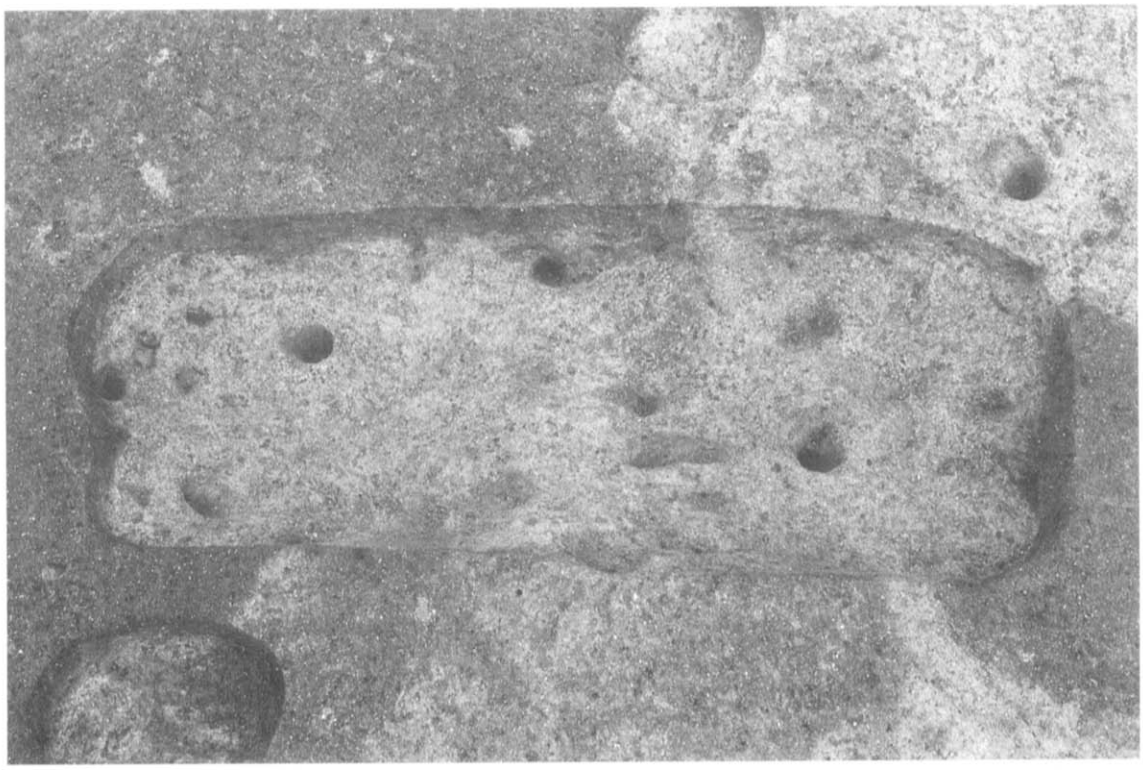
2　前7SK230土層(東より)



1　前7ST015(東より)



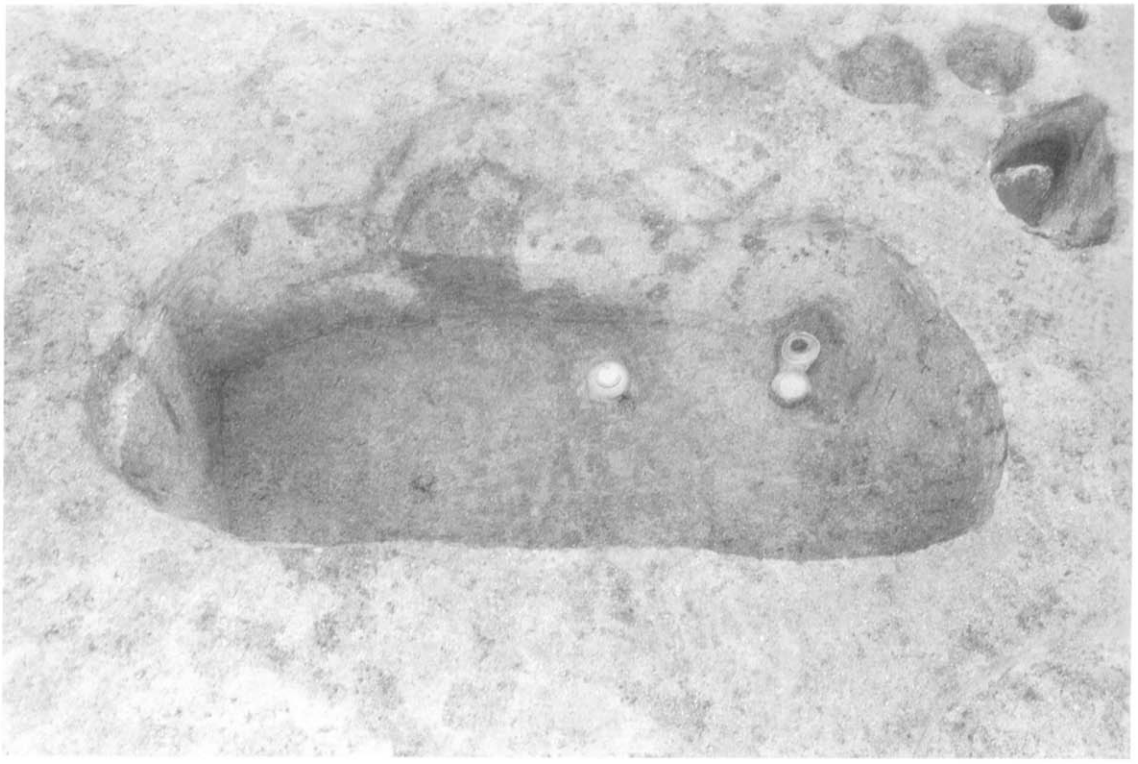
2　前7ST015(西より)



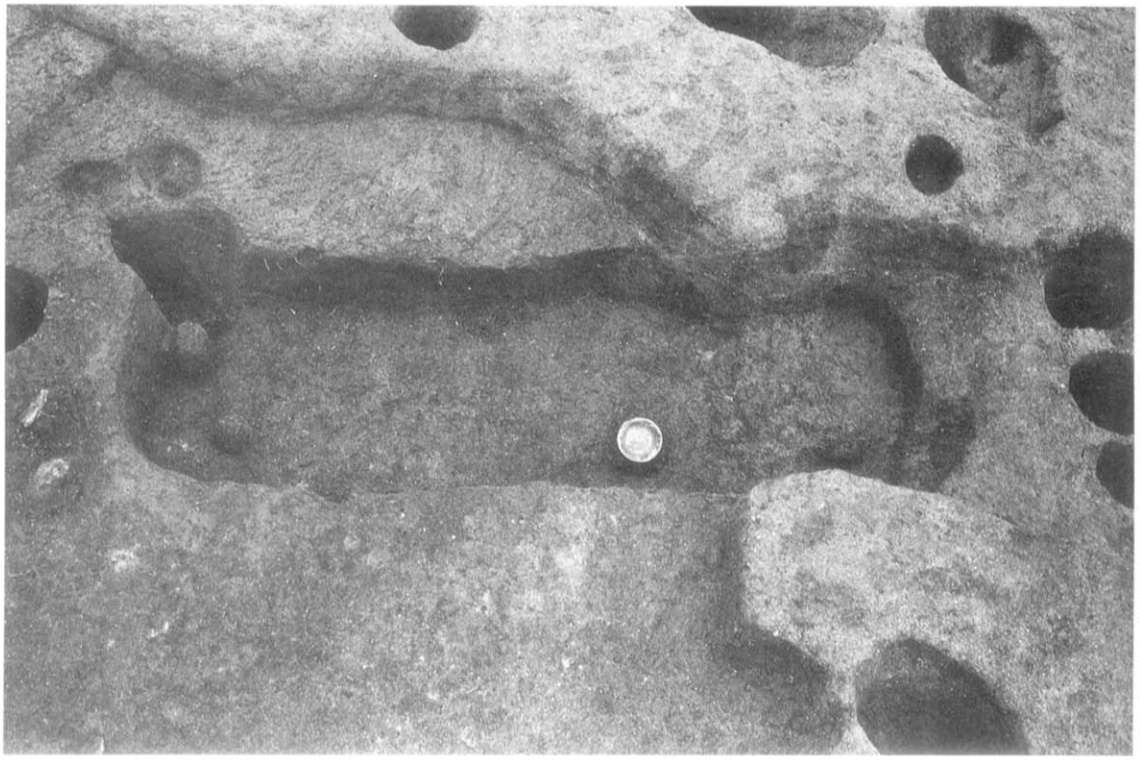
1　前7ST015(東より)



2　前7ST015.SI150(北より)



1　前7ST020(南より)



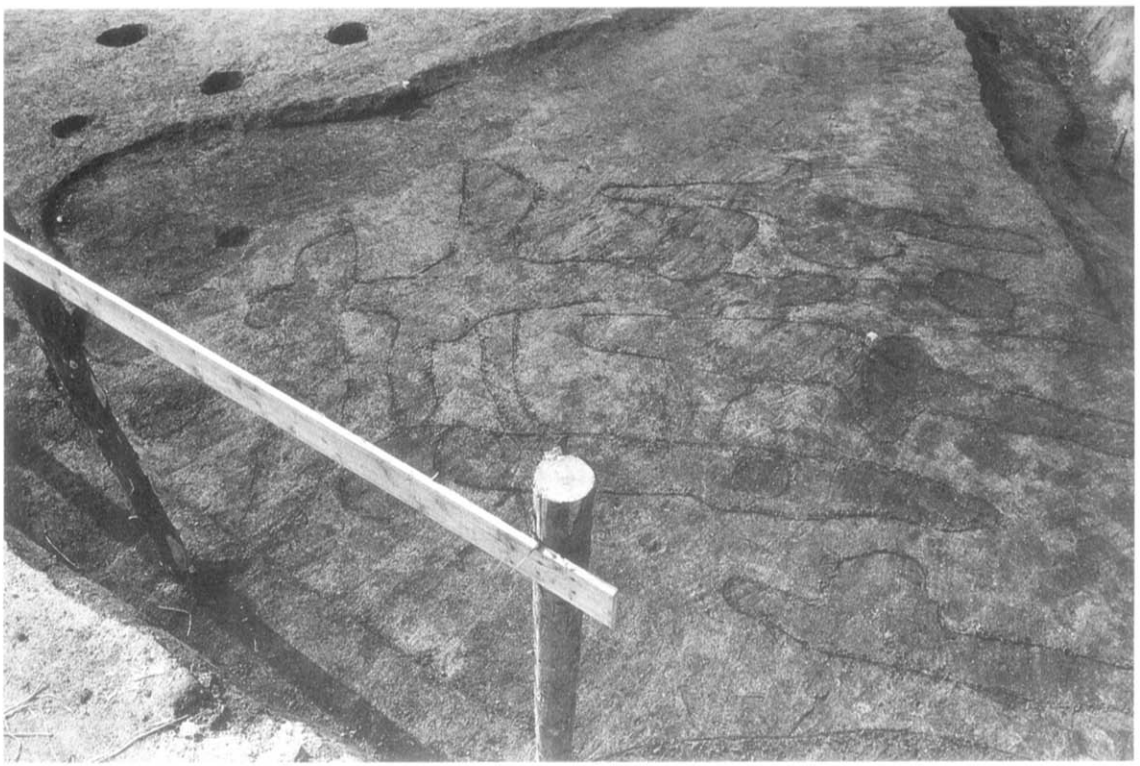
2　前7ST165(西より)



1　前7SD095(東より)



2　前7SE170(南より)



1　前7SX143(北東より)

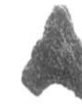


2　前7SX143(南東より)

7SI055


3


1


2


4

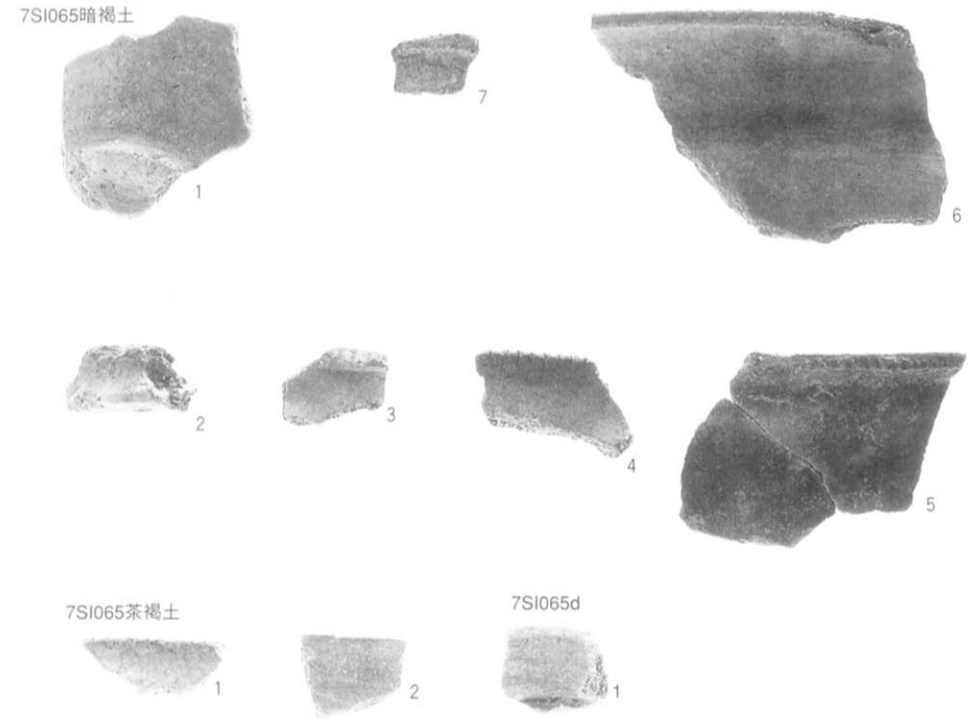

5

1　前7SI055

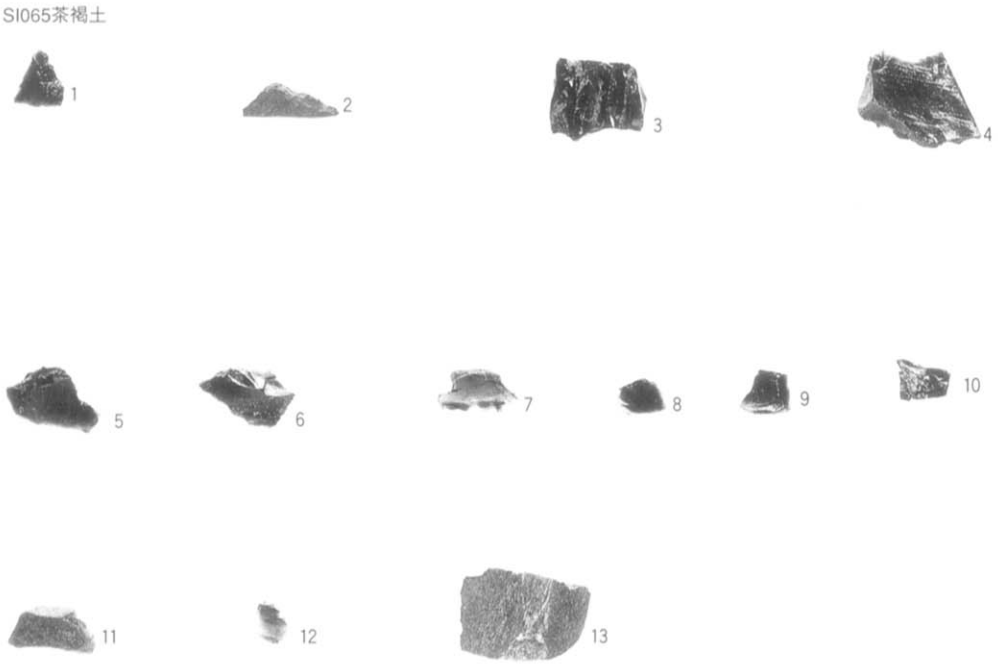


2　前7SI060暗褐土　7SI070暗茶褐土

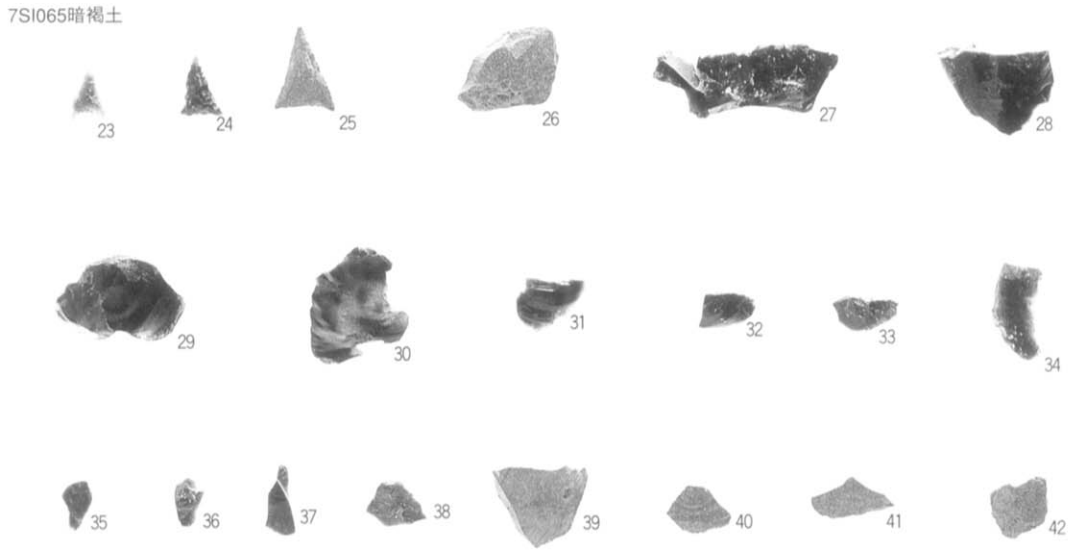
図版44



1　前7SI065暗褐土　茶褐土　d



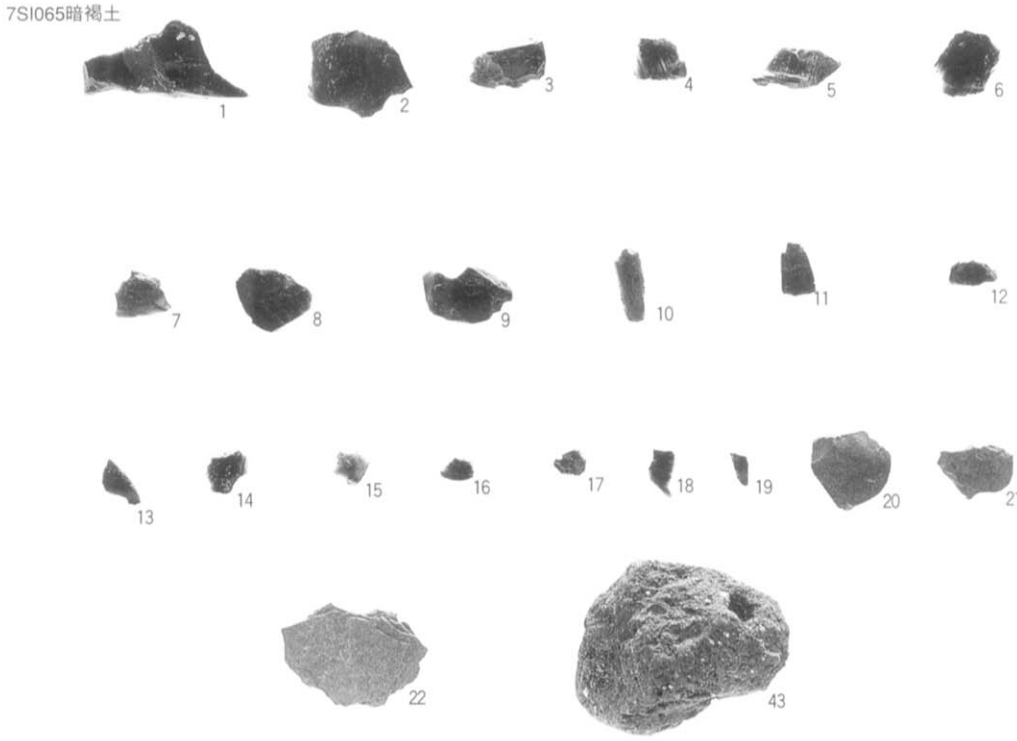
2　前7SI065茶褐土





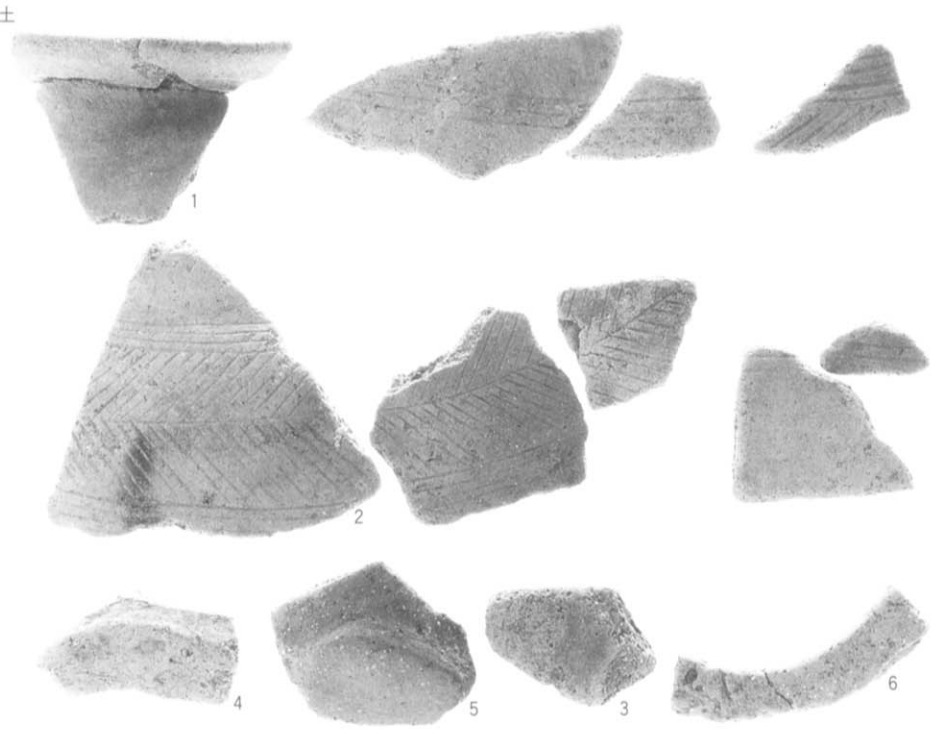


1　前7SI065暗褐土　暗茶褐土　d



2　前7SI065暗褐土

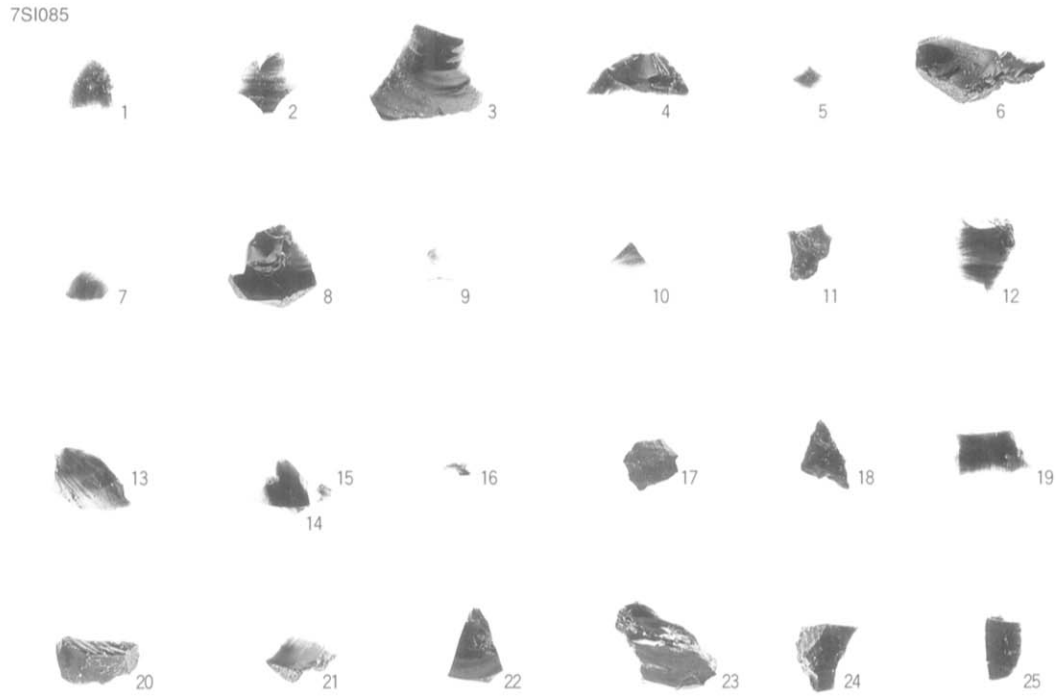
図版46



1　前7SI085茶土



2　前7SI085茶土　SI140暗灰土

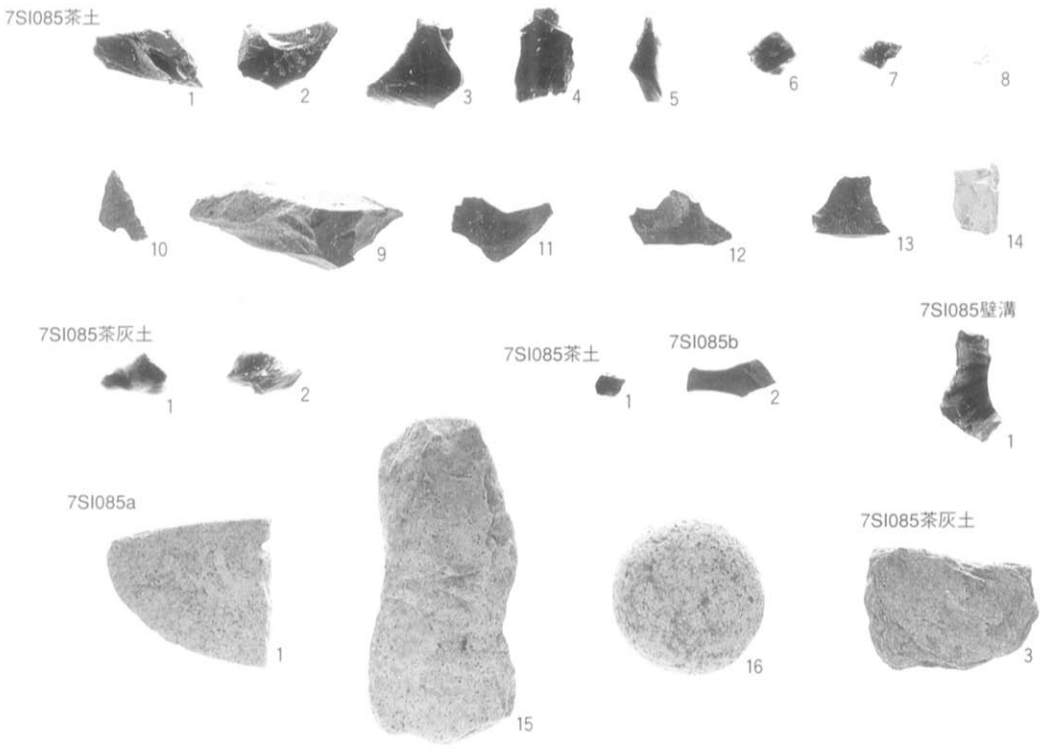


1　前7SI085

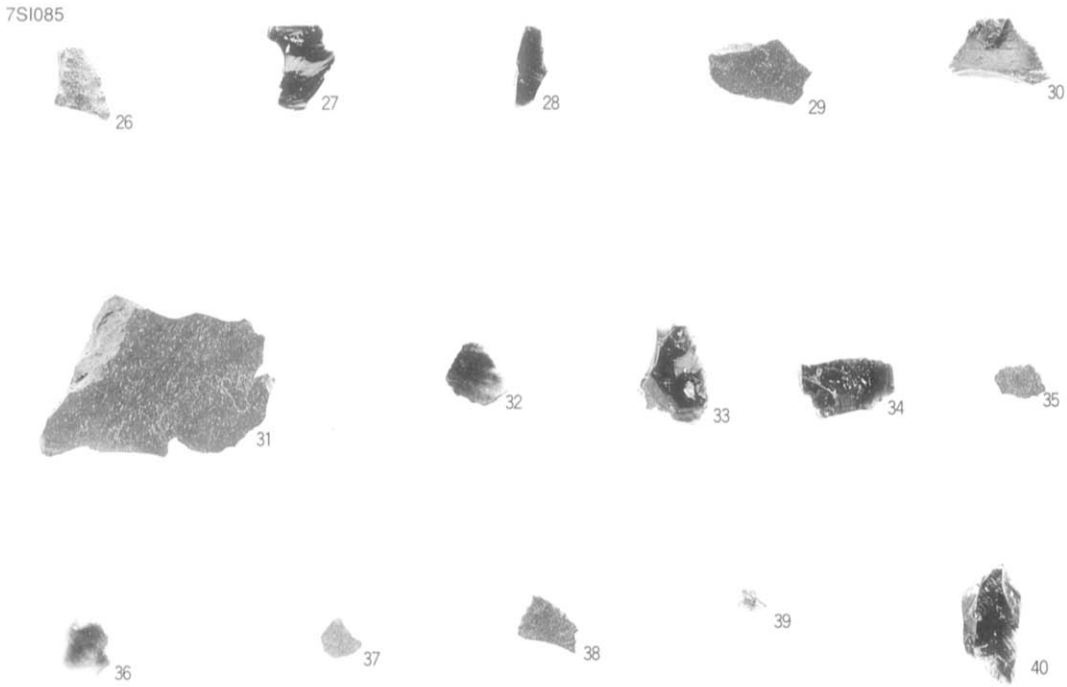


2　前7SI110茶褐土

図版48

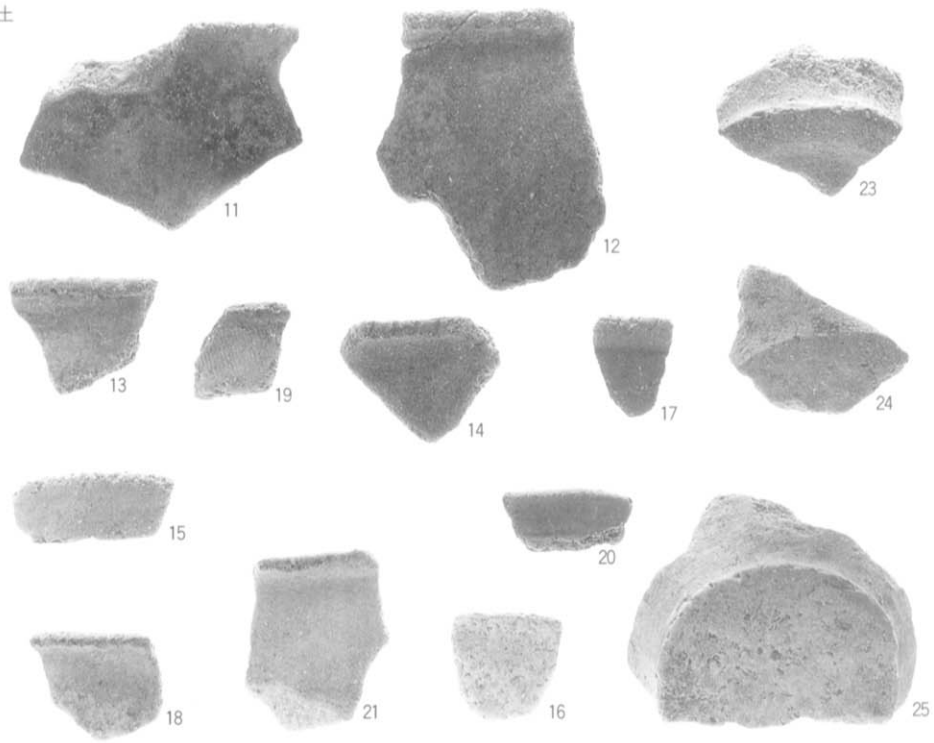


1　前7SI085茶土　茶灰土(2層)　b　壁溝a



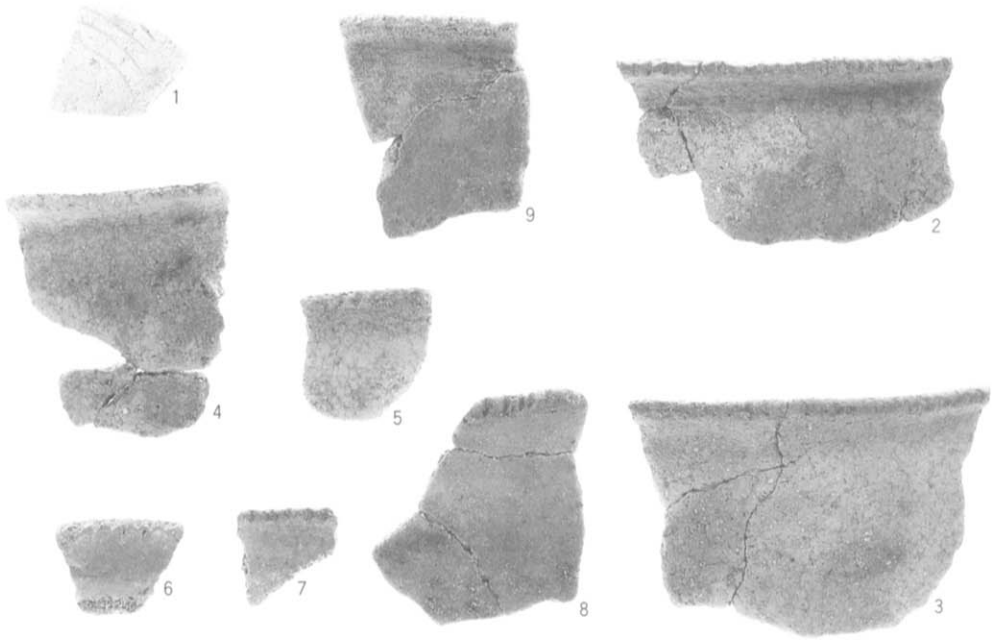
2　前7SI085

7SI085茶土



1　前7SI085茶土

7SI085茶灰土



2　前7SI085茶灰土

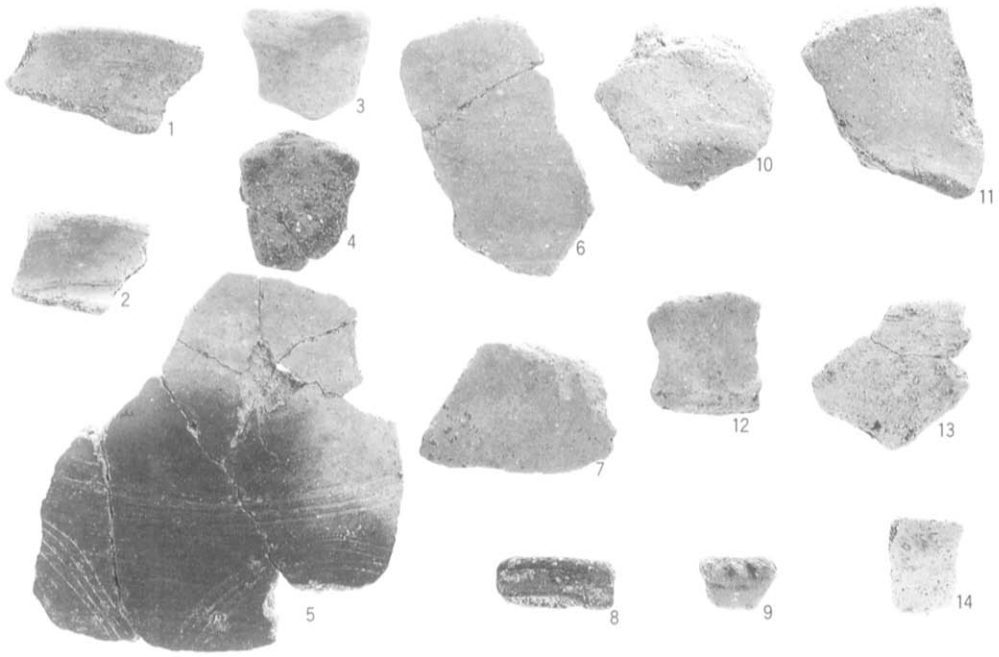
図版50

7SI125茶褐土



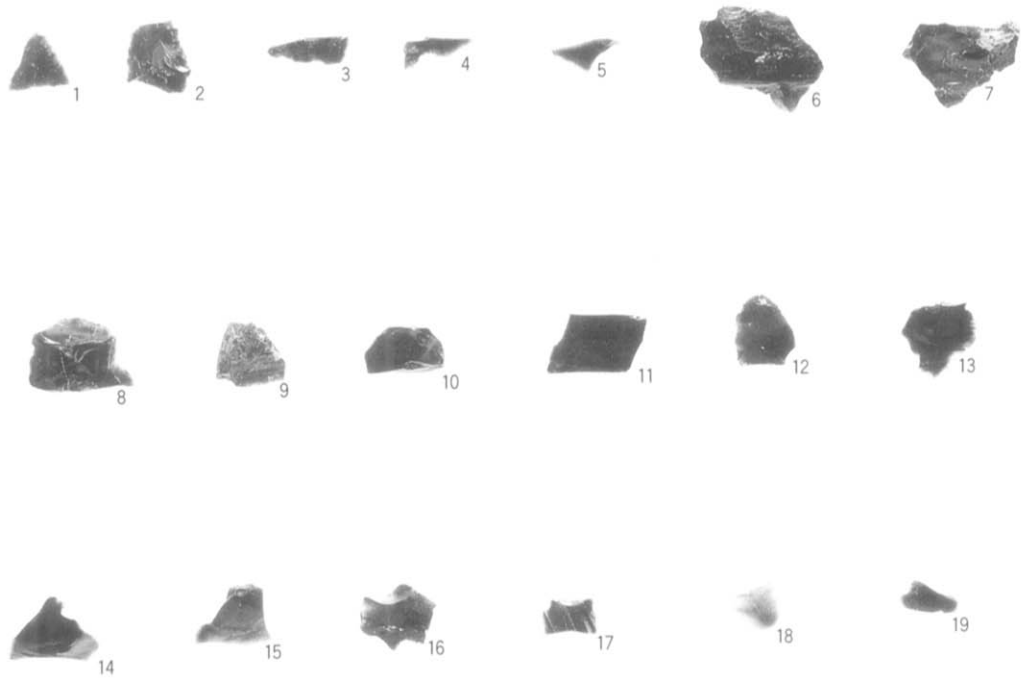
1　前7SI125茶褐土

7SI140灰褐土



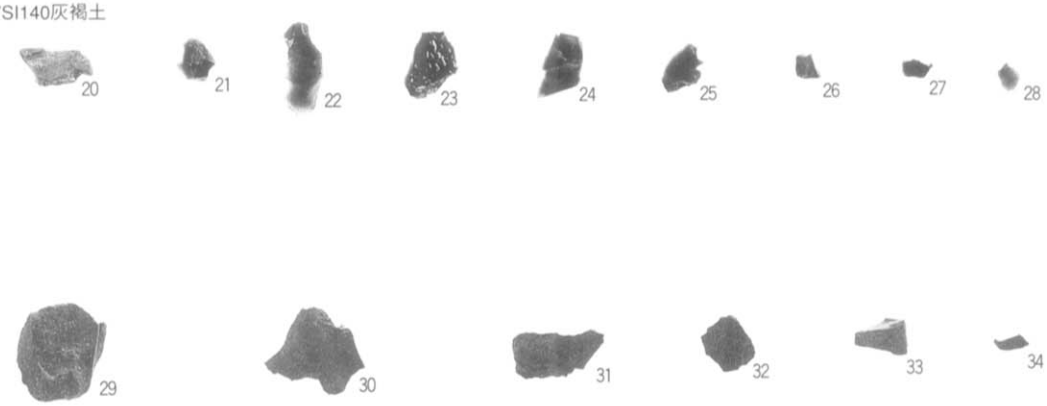
2　前7SI140灰褐土

7SI140灰褐土

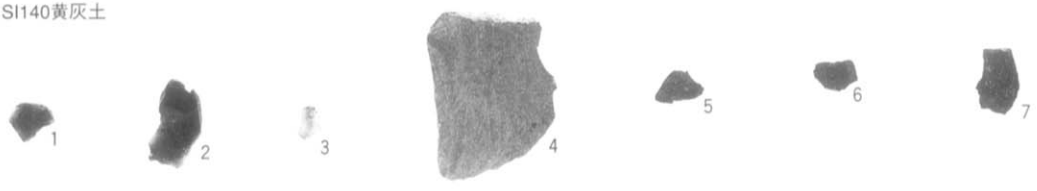


1　前7SI140灰褐土

7SI140灰褐土

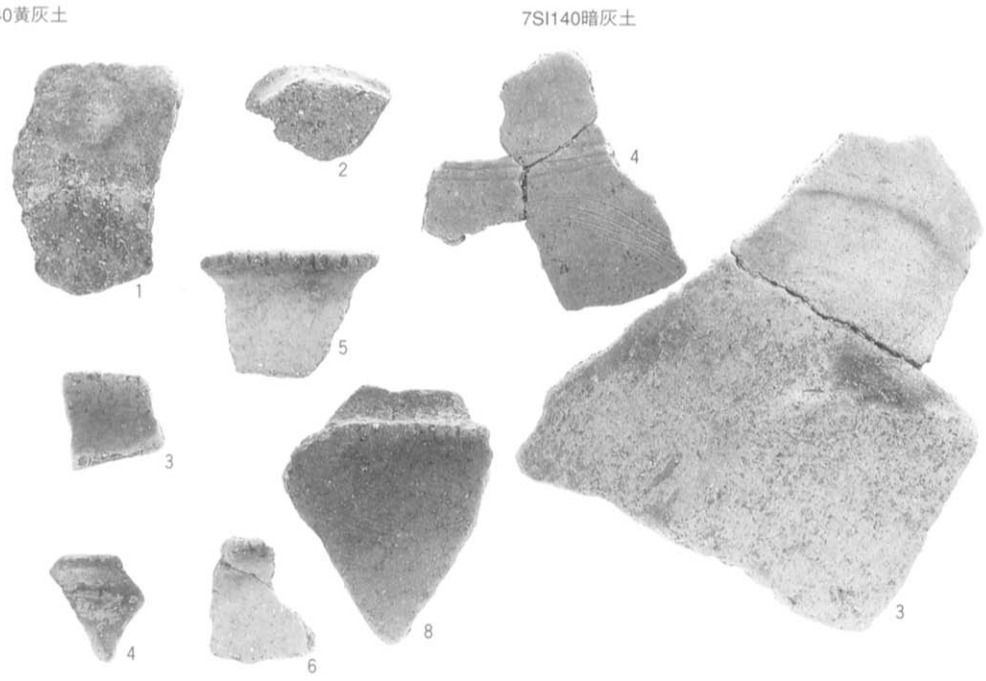


SI140黄灰土

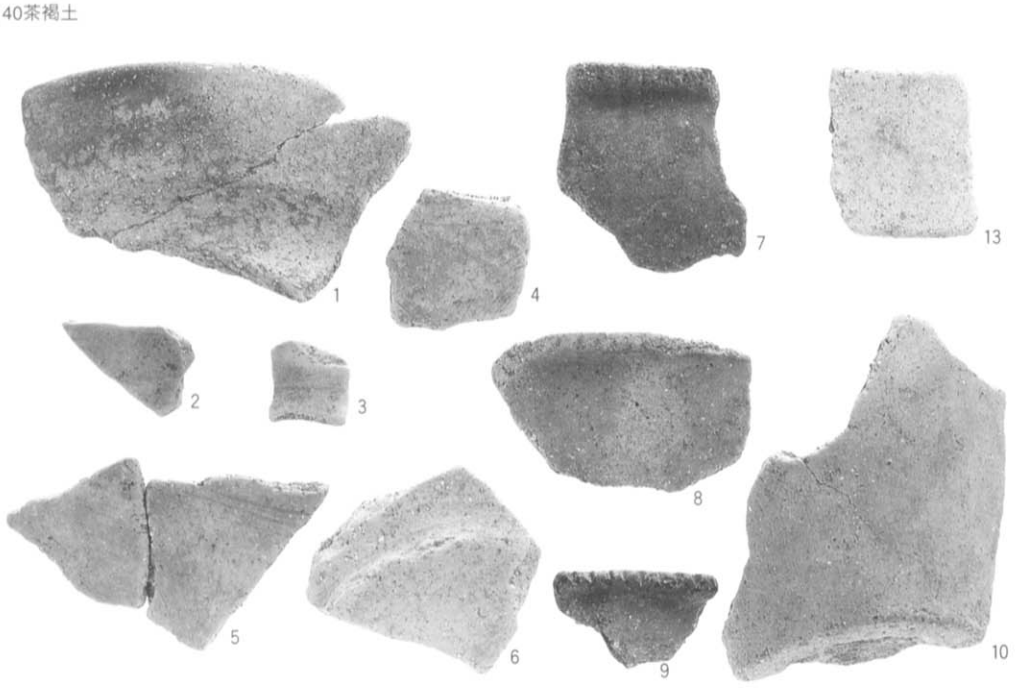


2　前7SI140灰褐土　黄灰土

図版52

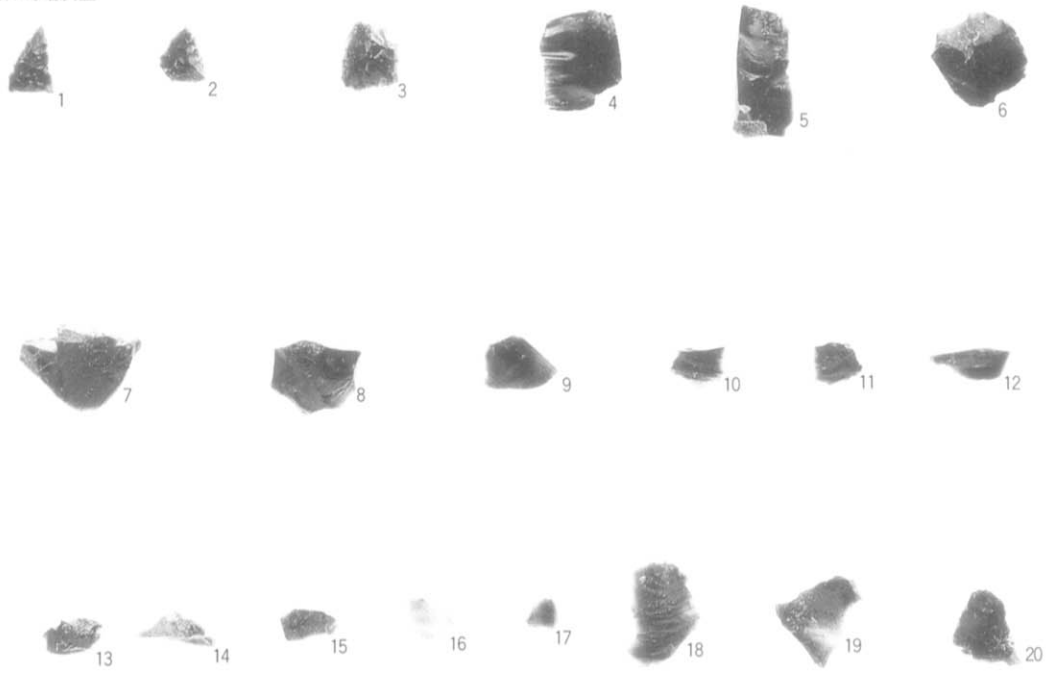


1　7SI140黄灰土　暗灰土



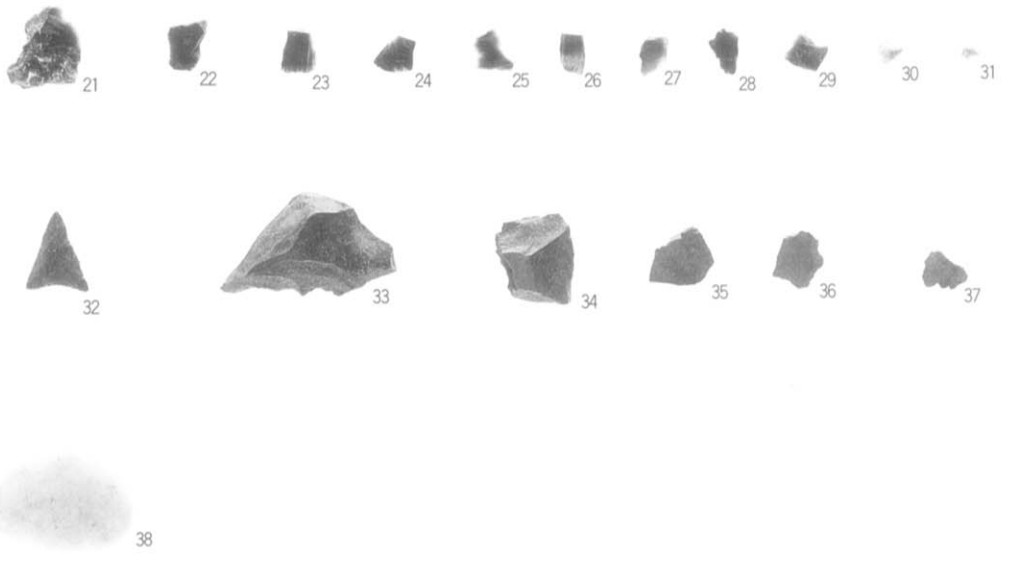
2　7SI140茶褐土

7SI140暗灰土



1　7SI140暗灰土

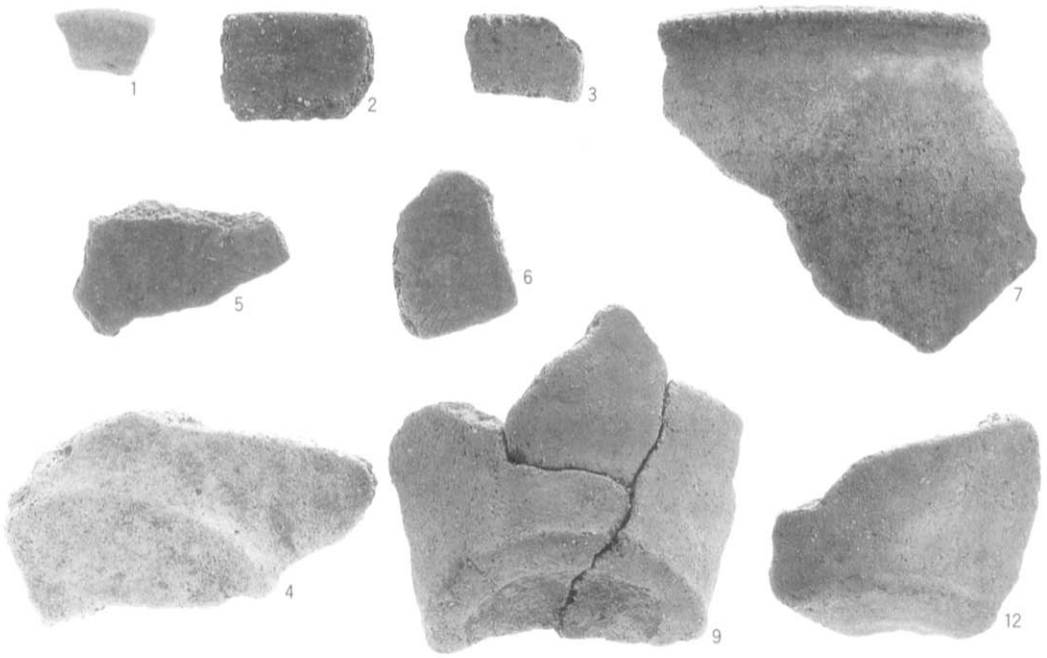
7SI140暗灰土



2　7SI140暗灰土

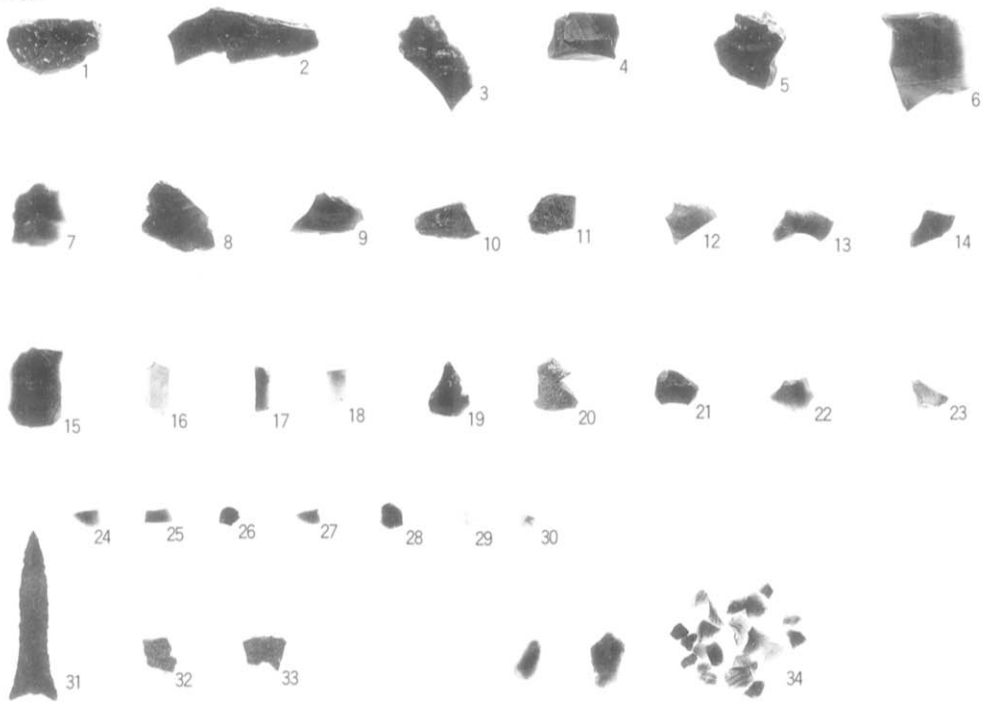
図版54

7SI140灰粘



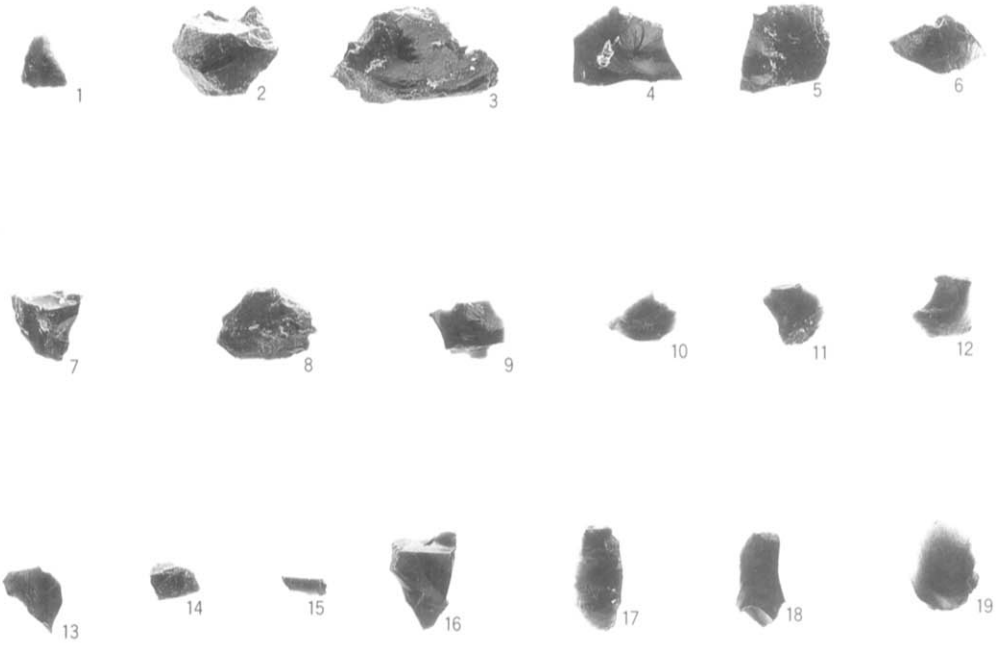
1　7SI140灰粘

7SI140茶褐粘



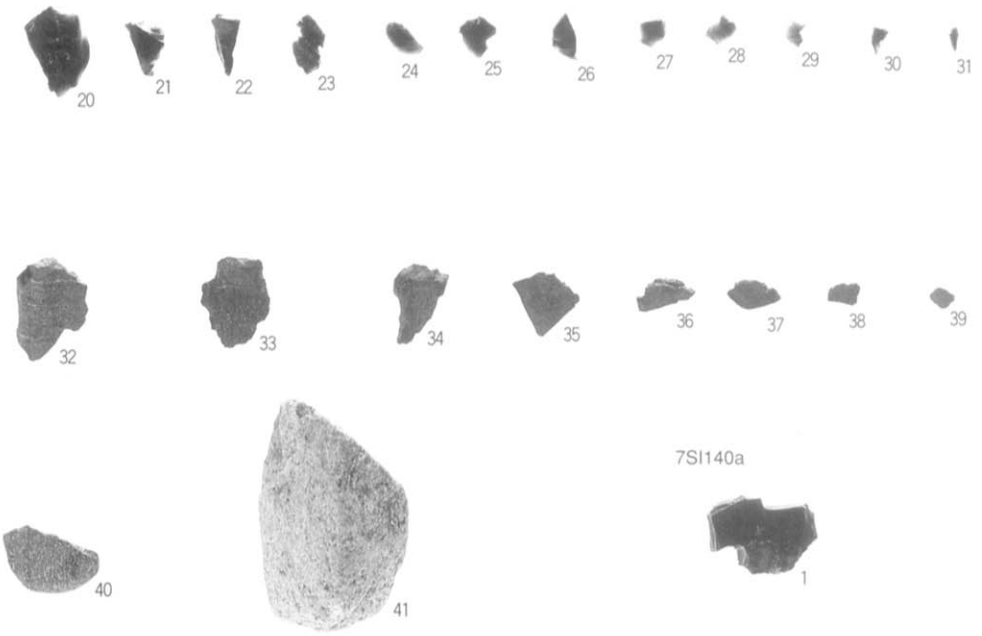
2　7SI140茶褐粘

7SI140灰粘



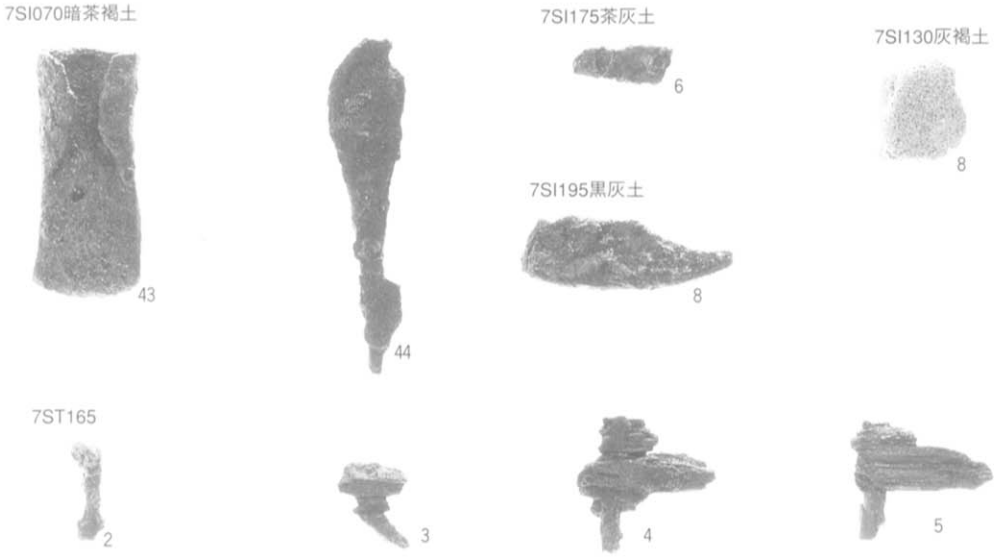
1　7SI140灰粘(6層)

7SI140灰粘

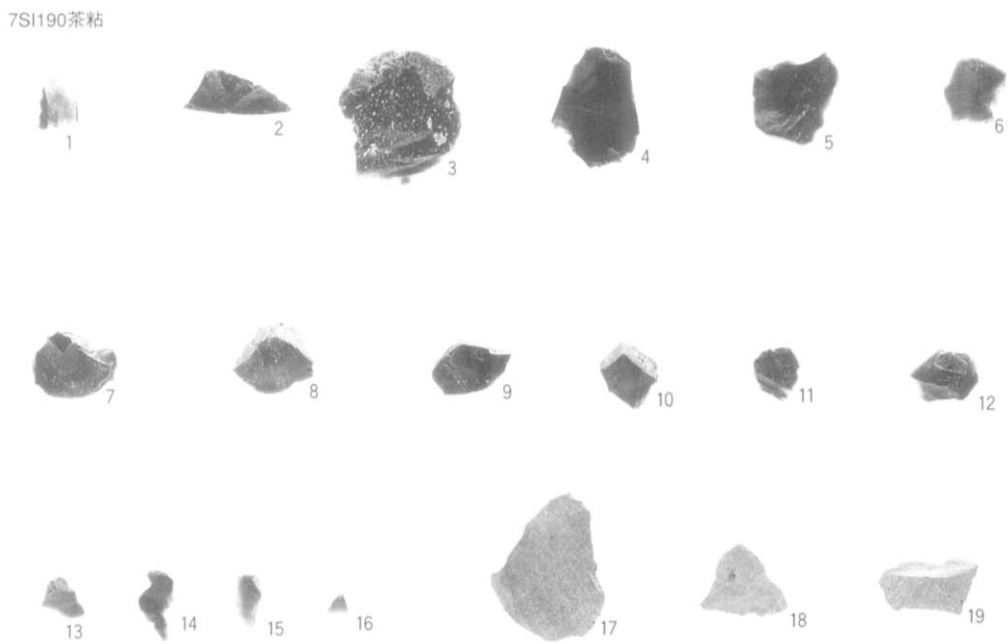


2　7SI140灰粘　SI140a

図版56



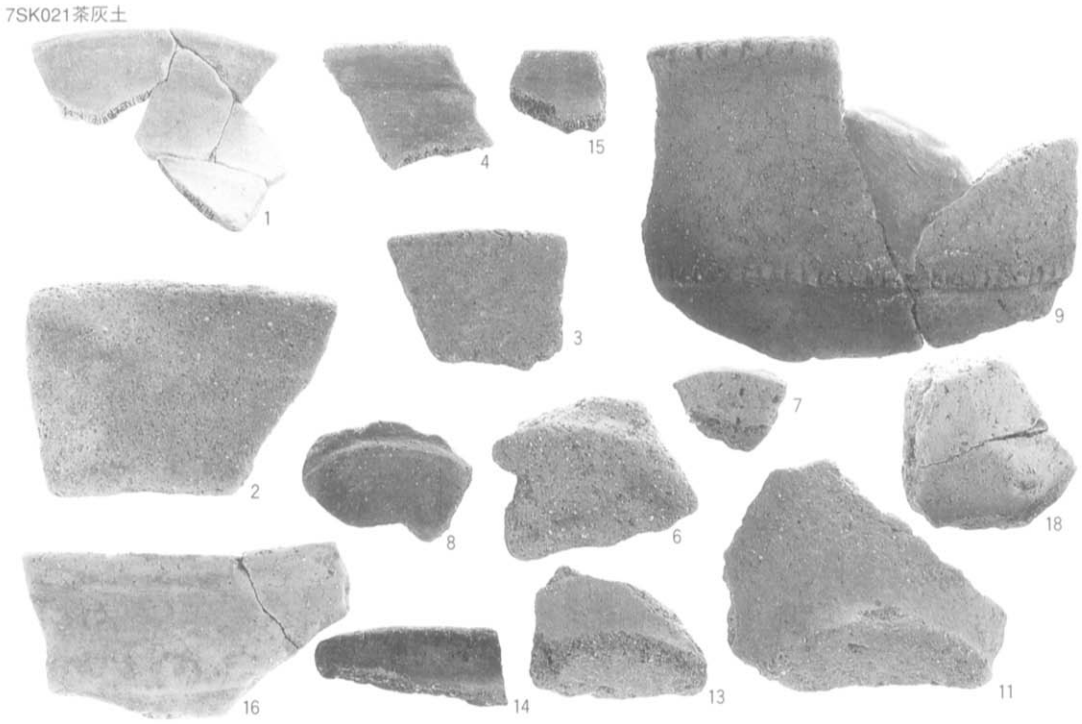
1　7SI070暗茶褐土　7SI175茶灰土　7SI195黒灰土　7SI130灰褐土　7ST165



2　7SI190茶粘

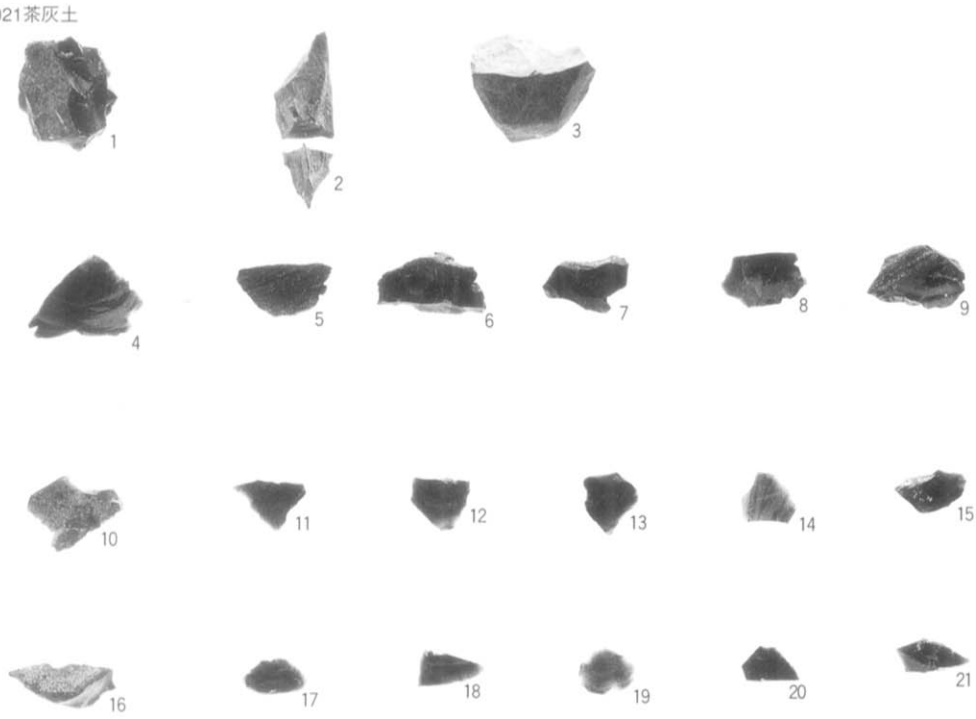


1　前7SI150茶褐土　7SI175茶灰土　炭層

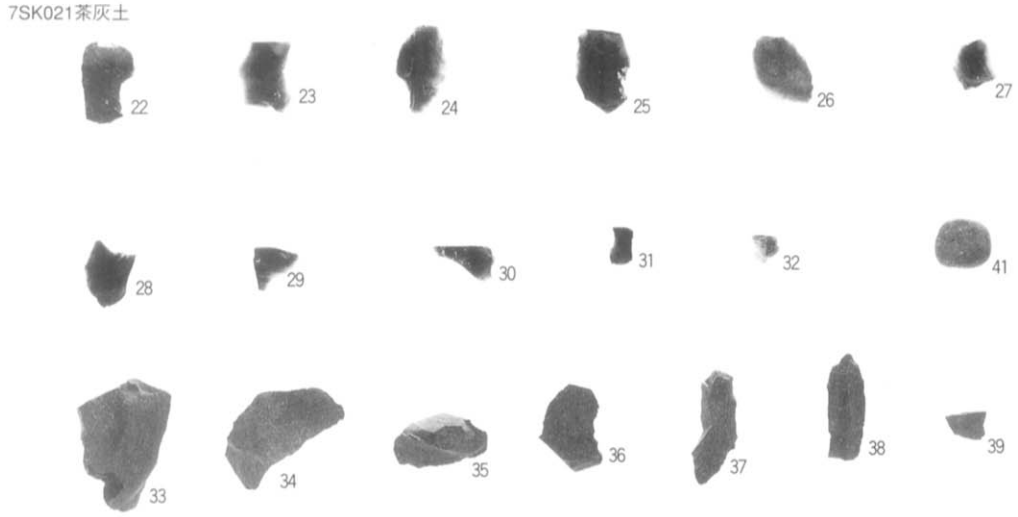


2　7SK021茶灰土

図版58

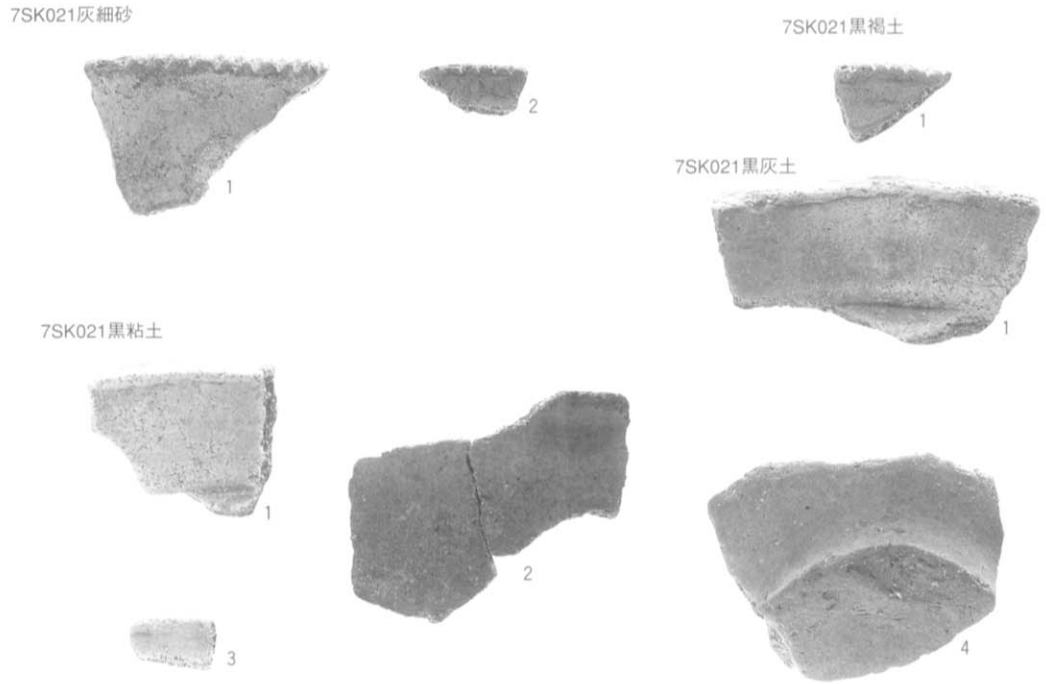


1　7SK021茶灰土





2　7SK021茶灰土　灰黒褐土



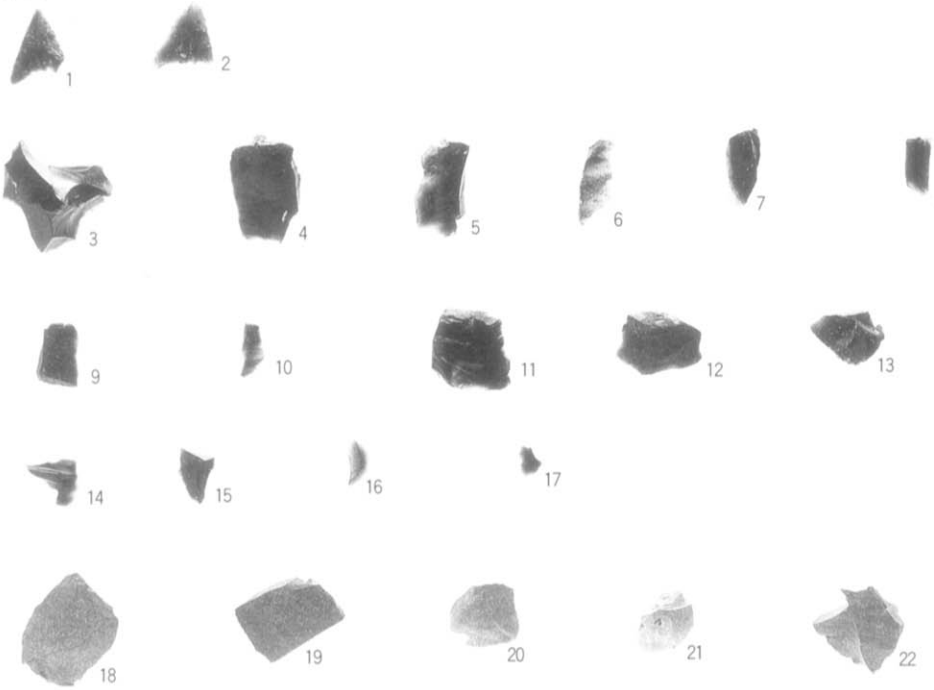
1　7SK021灰細砂　黒褐土　黒灰土　黒粘土



2　7SK021橙茶土

図版60

7SK021橙茶土

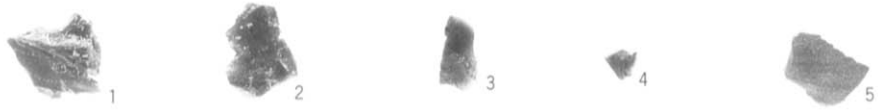


1　7SK021橙茶土

7SK021暗灰黒土



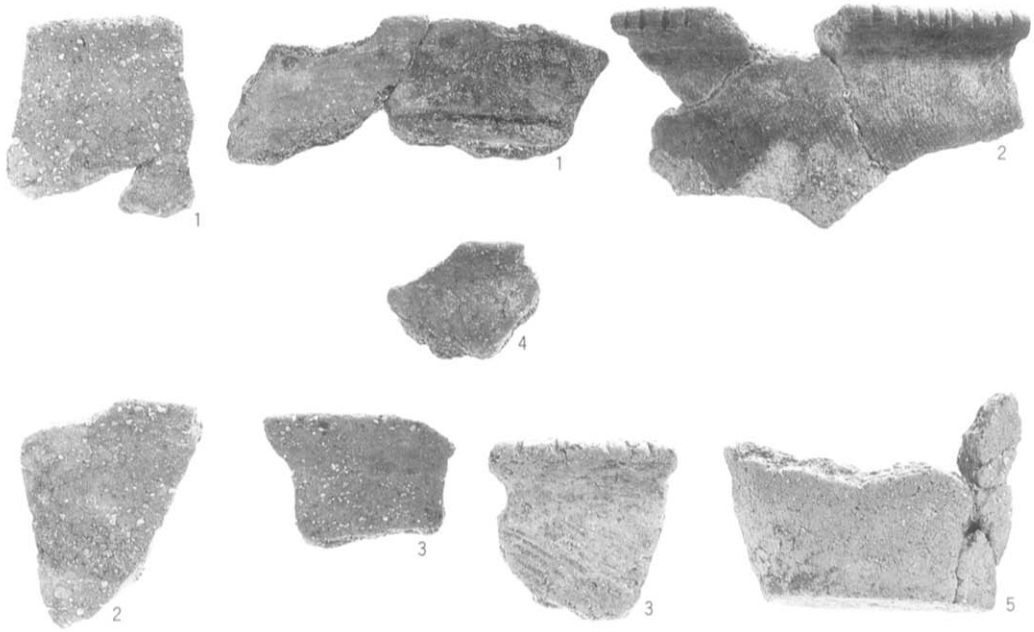
7SK021黒褐土



2　前7SK021暗灰黒土　黒褐土

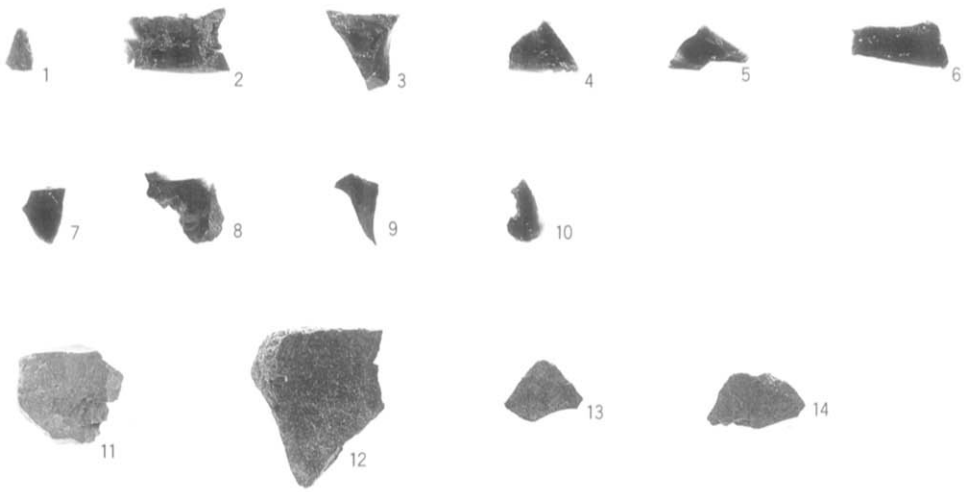
7SK025暗茶土

7SK025黒灰土

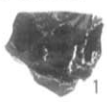


1　前7SK025暗茶土　黒灰土

7SK025暗茶土

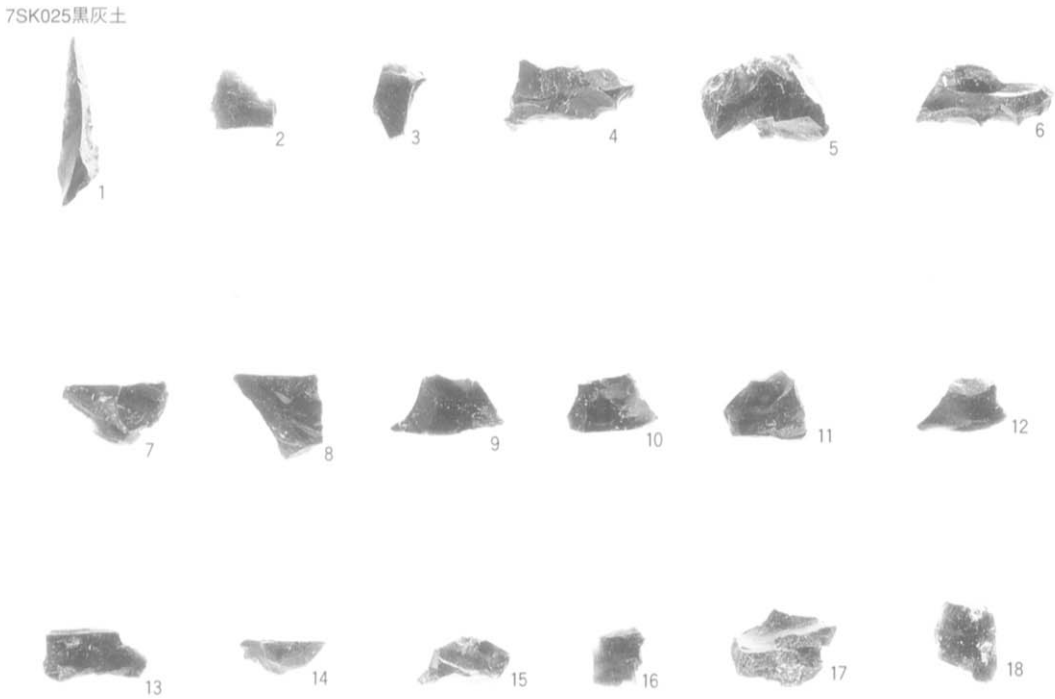


7SK025明茶褐土

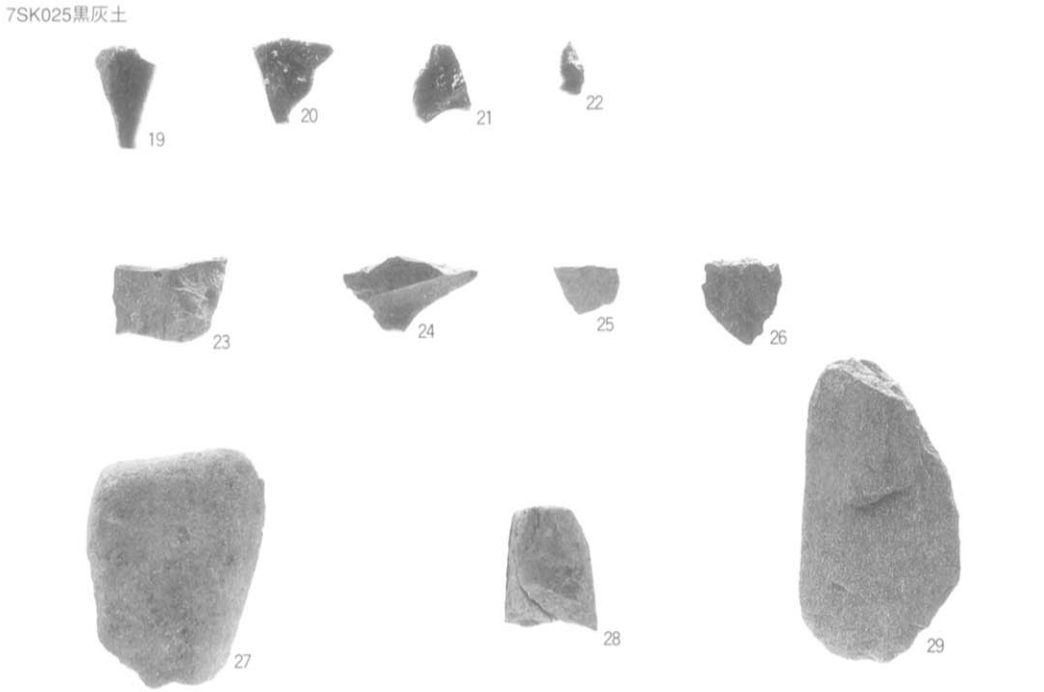


2　前7SK025暗茶土　明茶褐土

図版62



1　前7SK025黒灰土



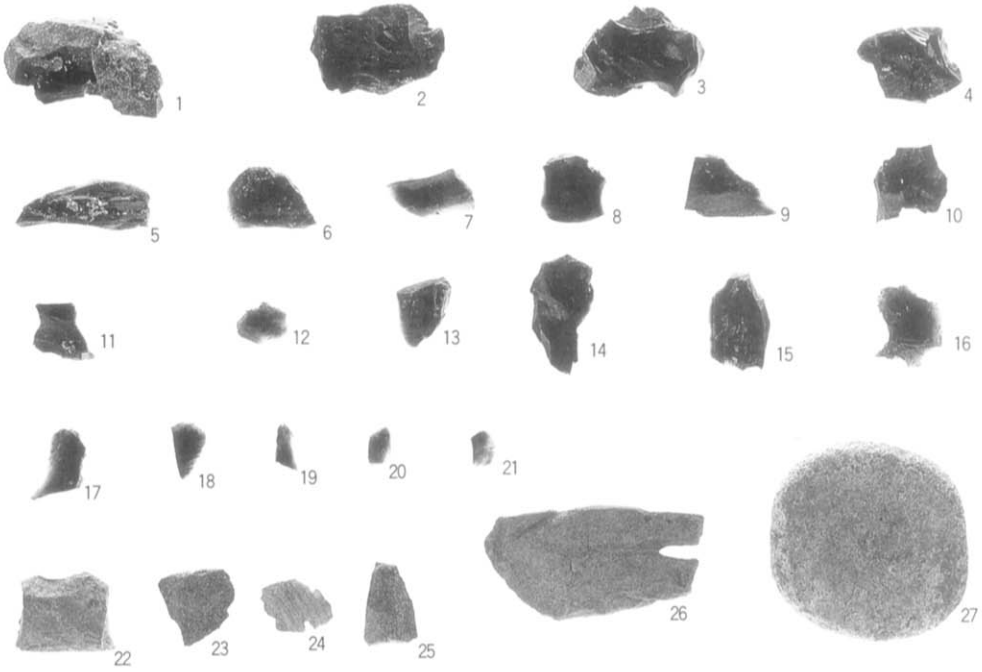
2　前7SK025黒灰土

7SK040暗茶褐土



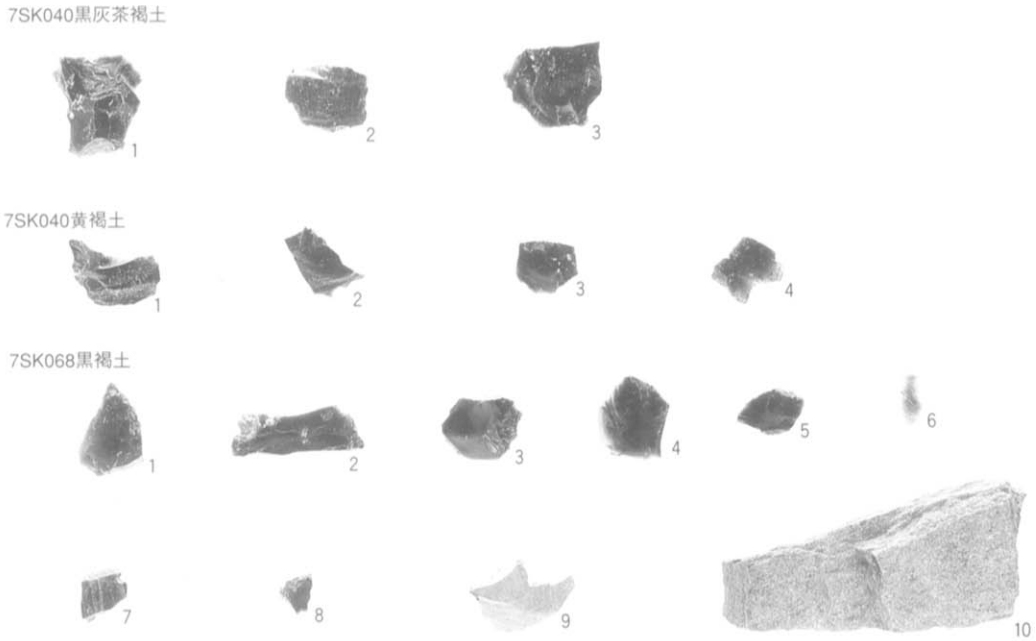
1　前7SK040暗茶褐土

7SK040暗茶褐土

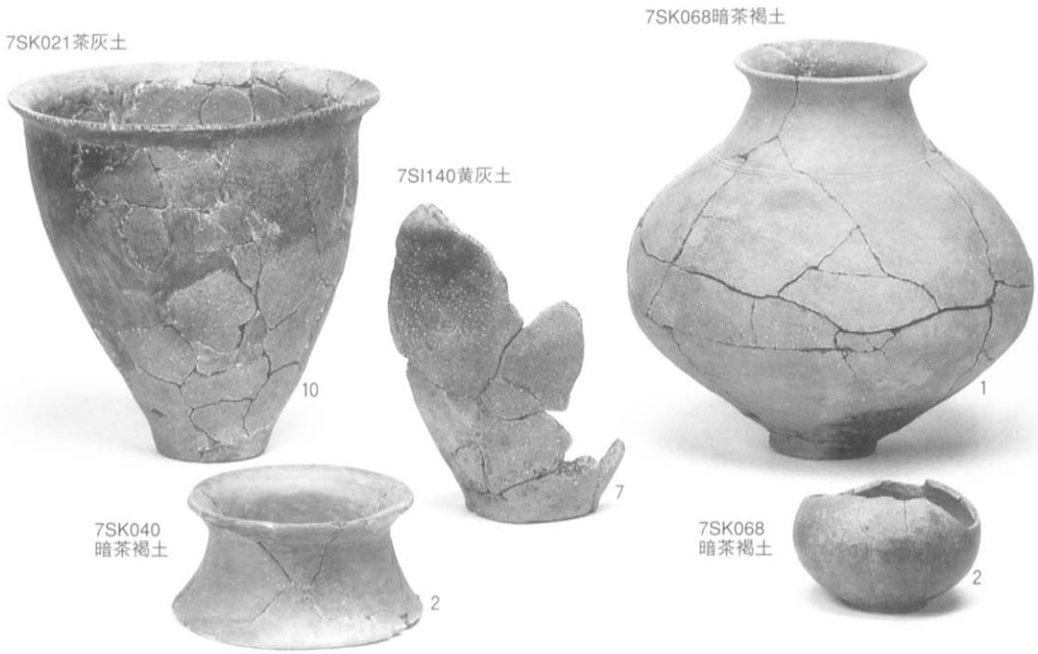


2　前7SK040暗茶褐土

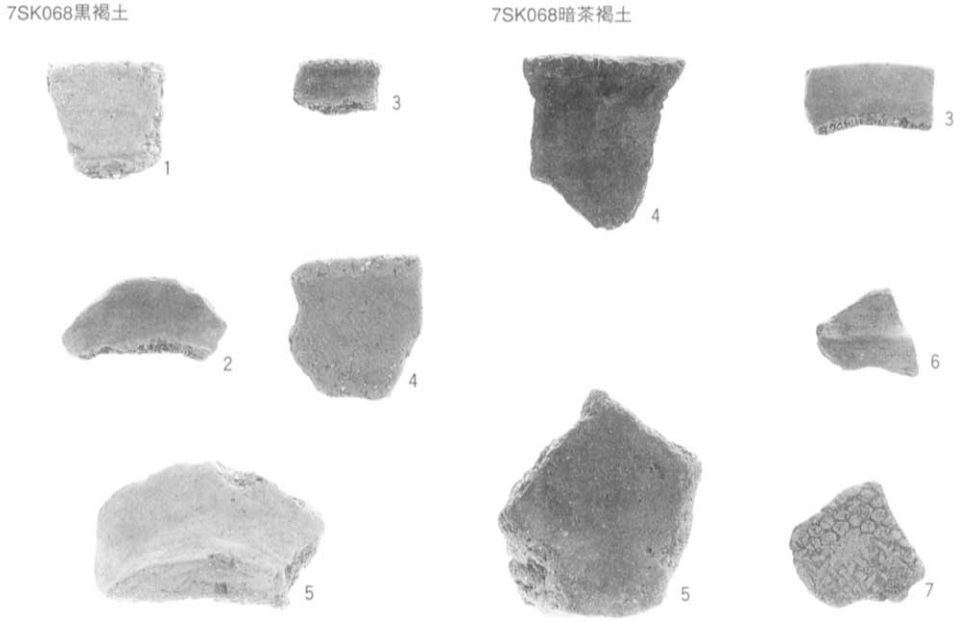
図版64



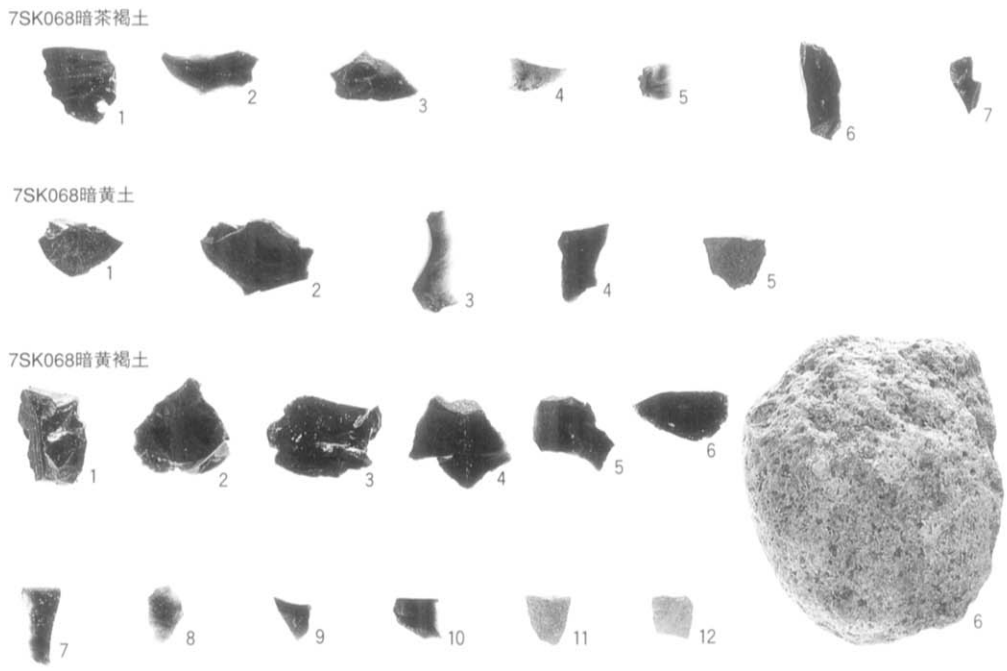
1　前7SK040黒灰茶褐土　黄褐土　7SK068黒褐土



2　前7SK021茶灰土　7SK040暗茶褐土　7SI140黄灰土　7SK068暗茶褐土

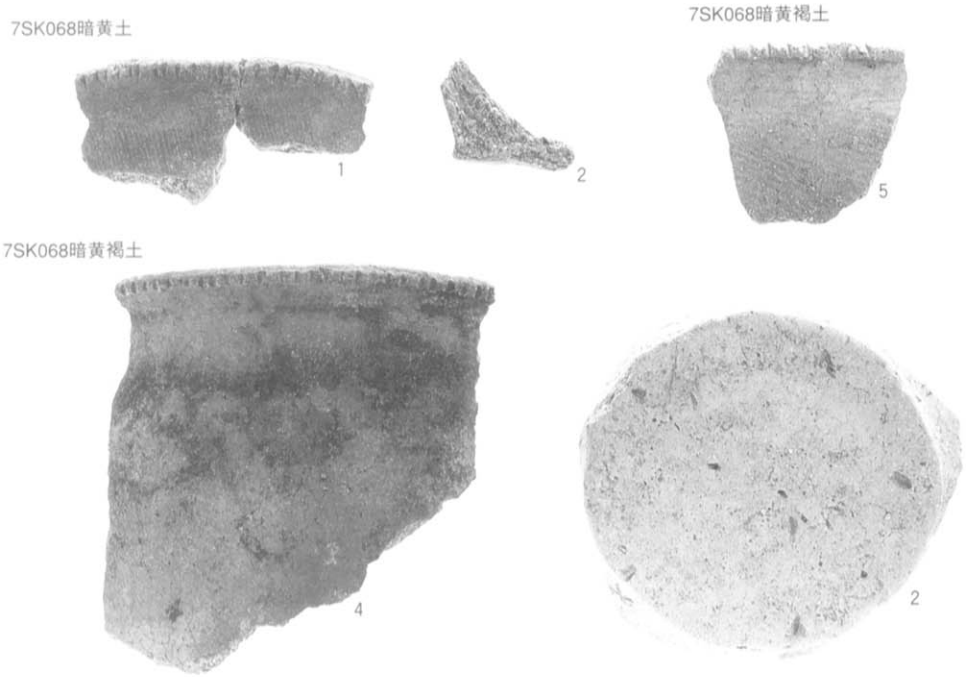


1　7SK068黒褐土　暗茶褐土

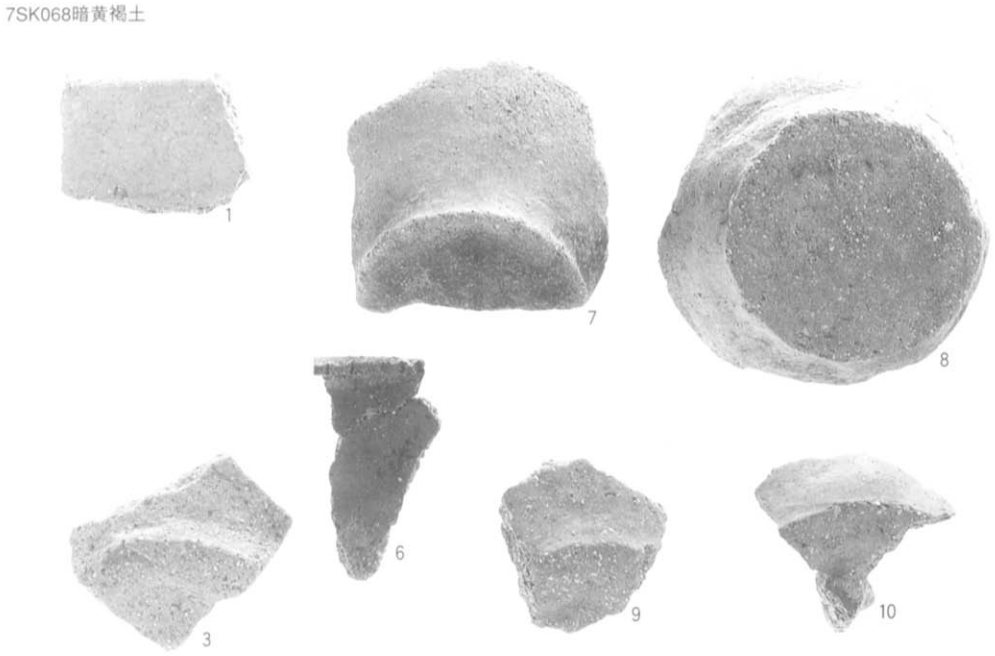


2　前7SK068暗茶褐土　暗黄土　暗黄褐土

図版66

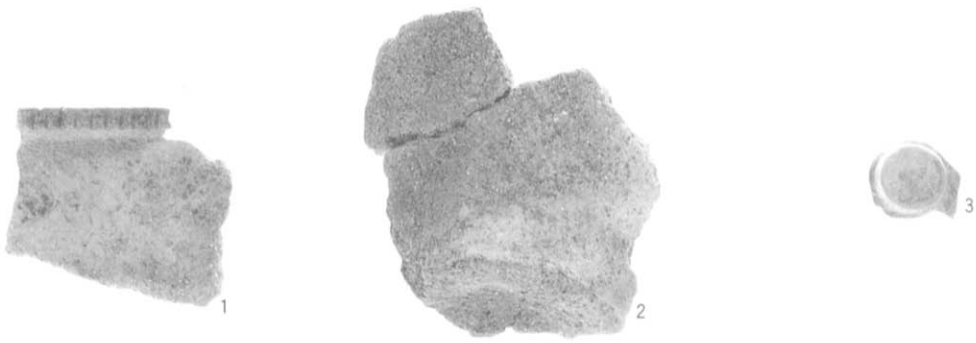


1　7SK068暗黄土　暗黄褐土



2　7SK068暗黄褐土

7SK080茶褐土



1　前7SK080茶褐土

7SK141黒灰粘



2　前7SK141黒灰粘　黒灰土　黒灰砂

図版68

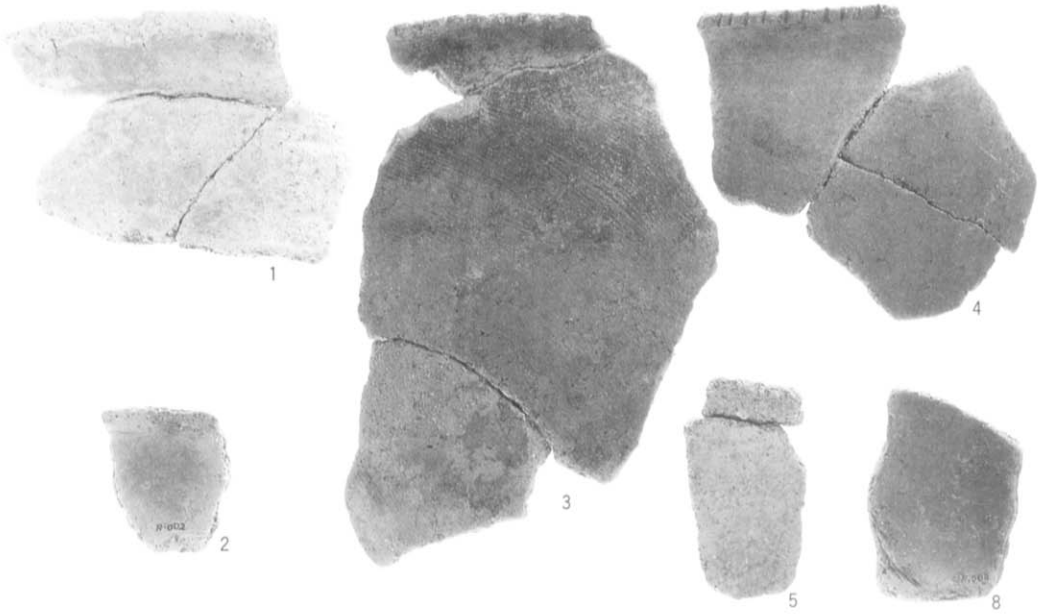


1　前7SK105茶褐土　暗茶褐土



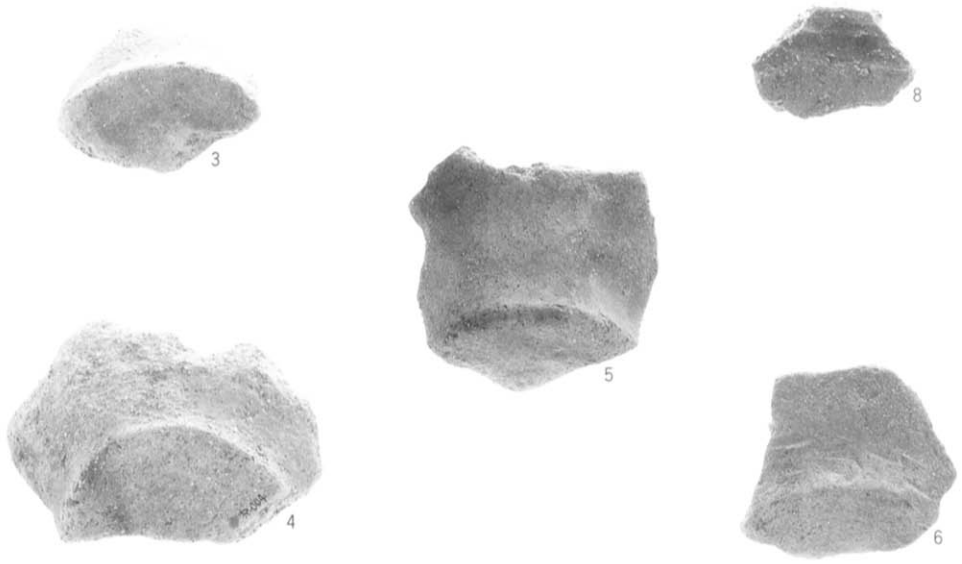
2　前7SK105

7SK145茶灰土



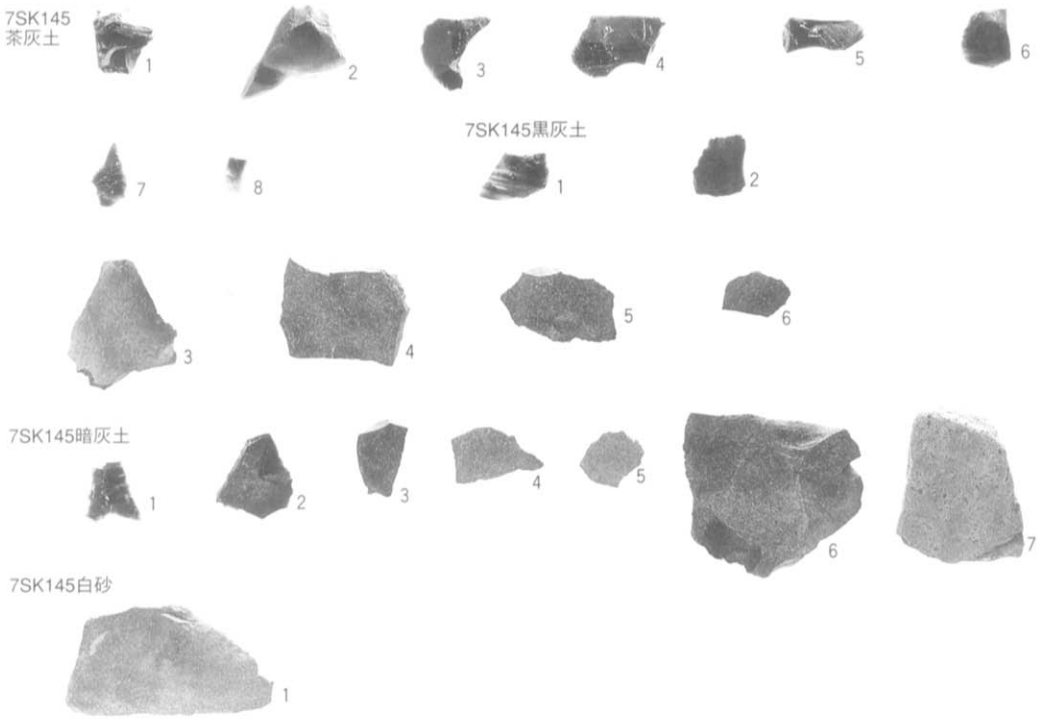
1　前7SK145茶灰土

7SK145黒灰土



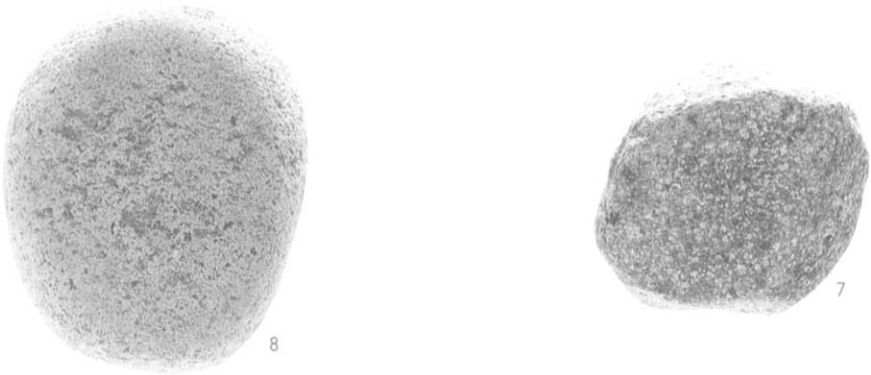
2　前7SK145黒灰土

図版70



1　前7SK145茶灰土　黒灰土　暗灰土　白砂

7SK145黒灰土



2　前7SK145黒灰土



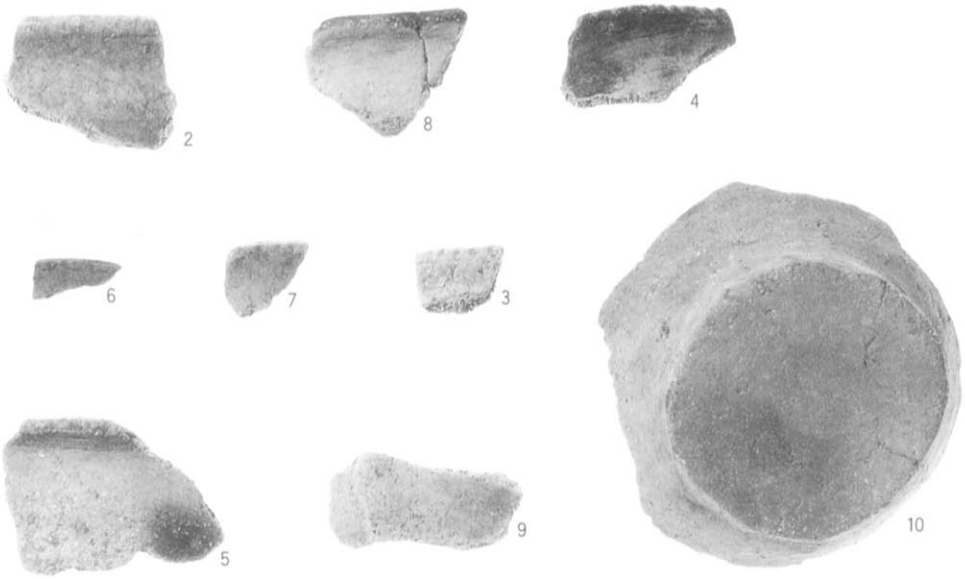
1　前7SK145茶灰土　黒灰土　暗灰土



2　前7SK145黄灰土　暗灰土

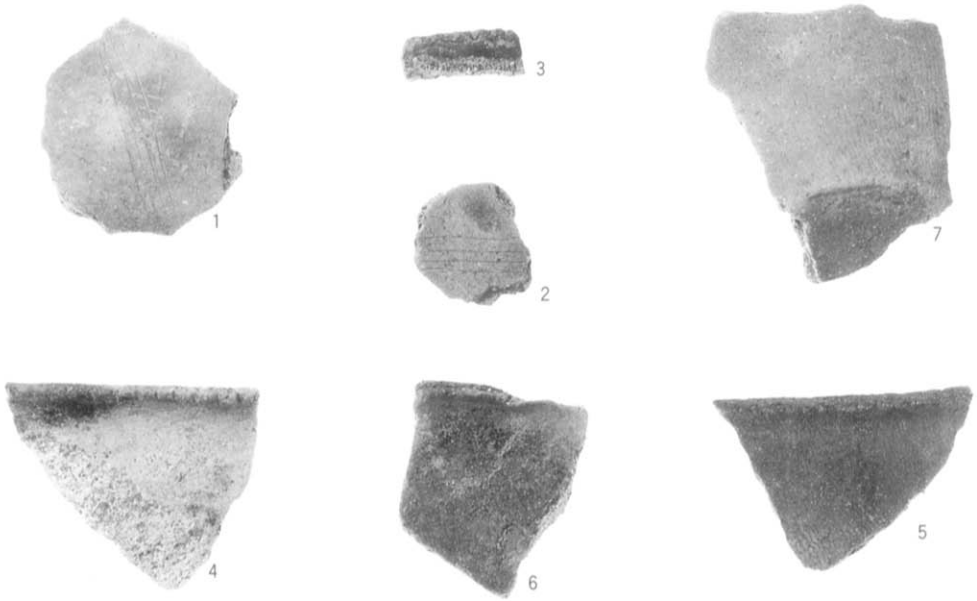
図版72

7SX158



1　前7SX158

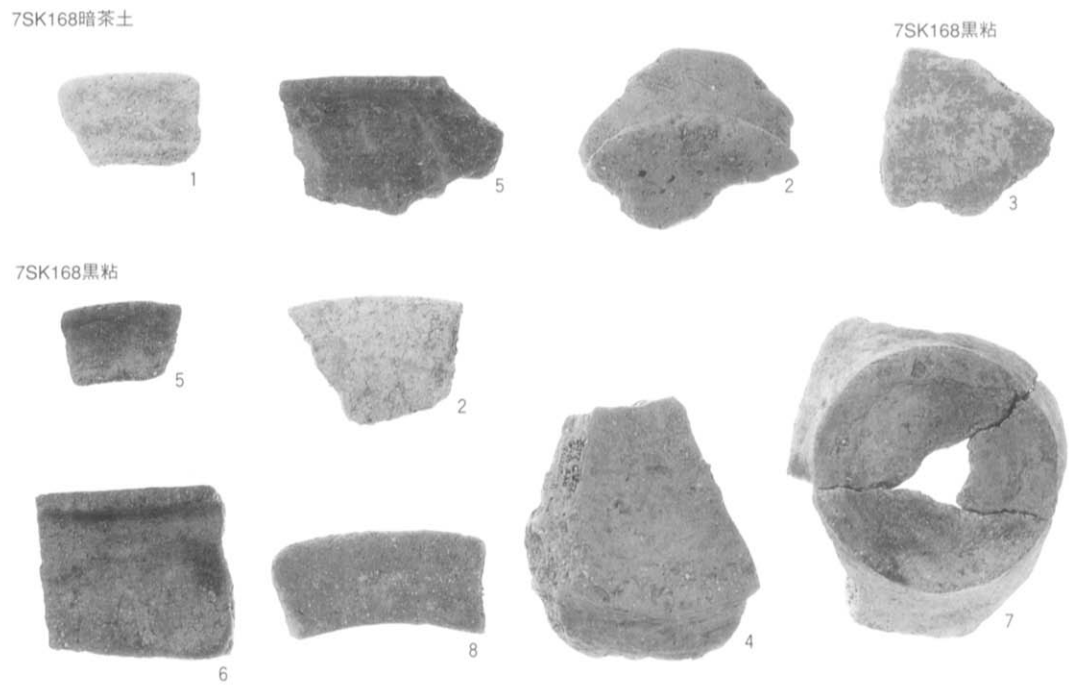
7SX166茶土



2　前7SX166茶土



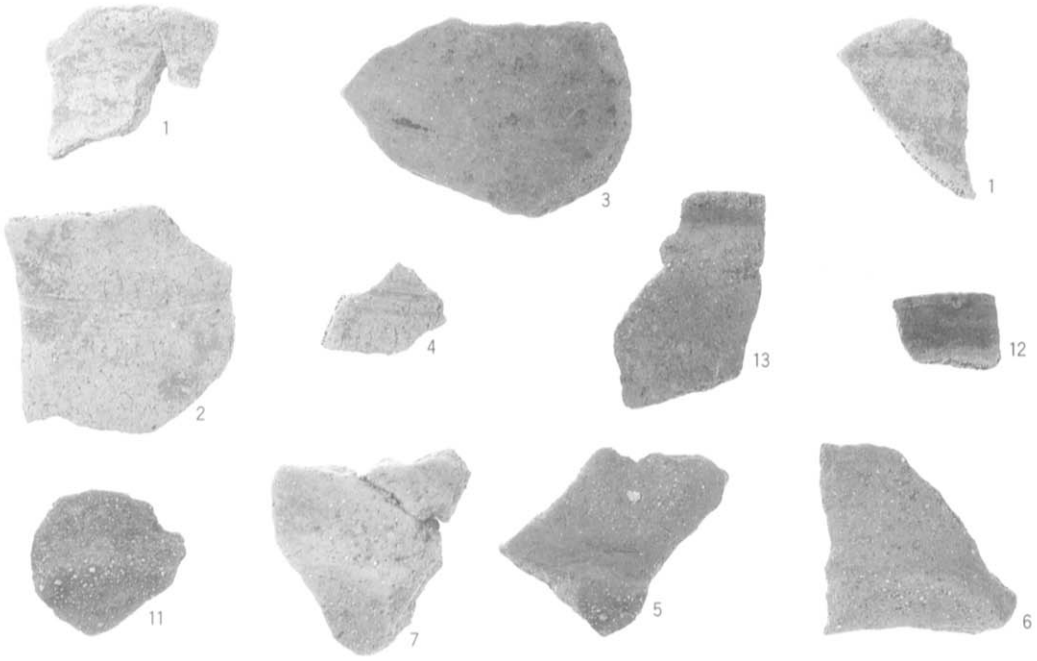
1　前7SK168茶粘　暗茶土



2　前7SK168暗茶土　黒粘

図版74

7SK168茶褐土

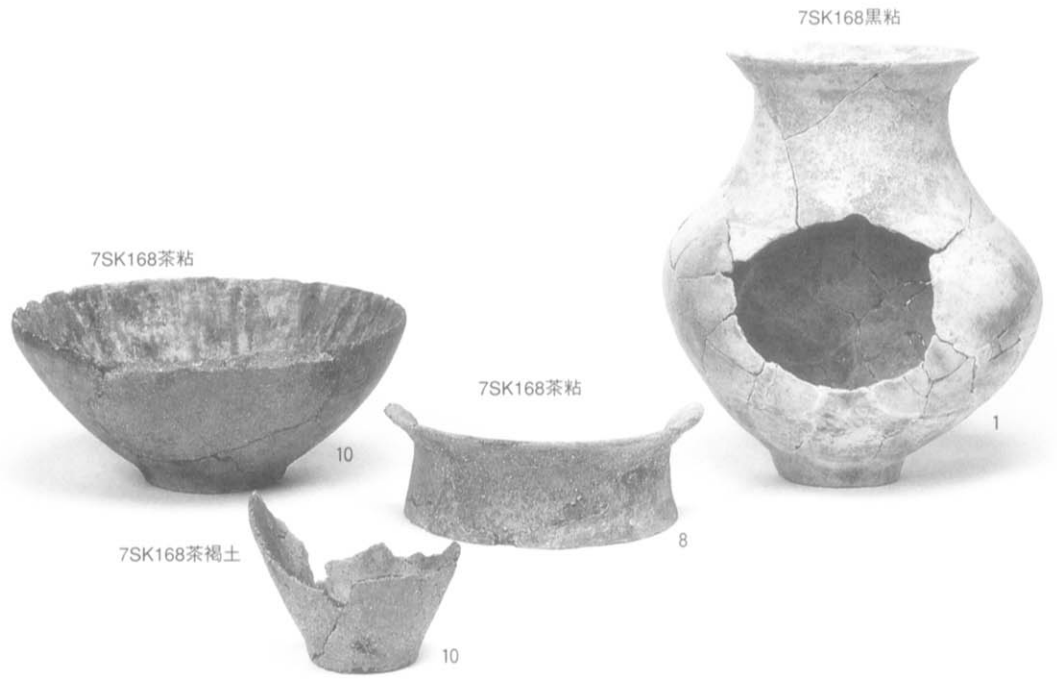


1　前7SK168茶褐土

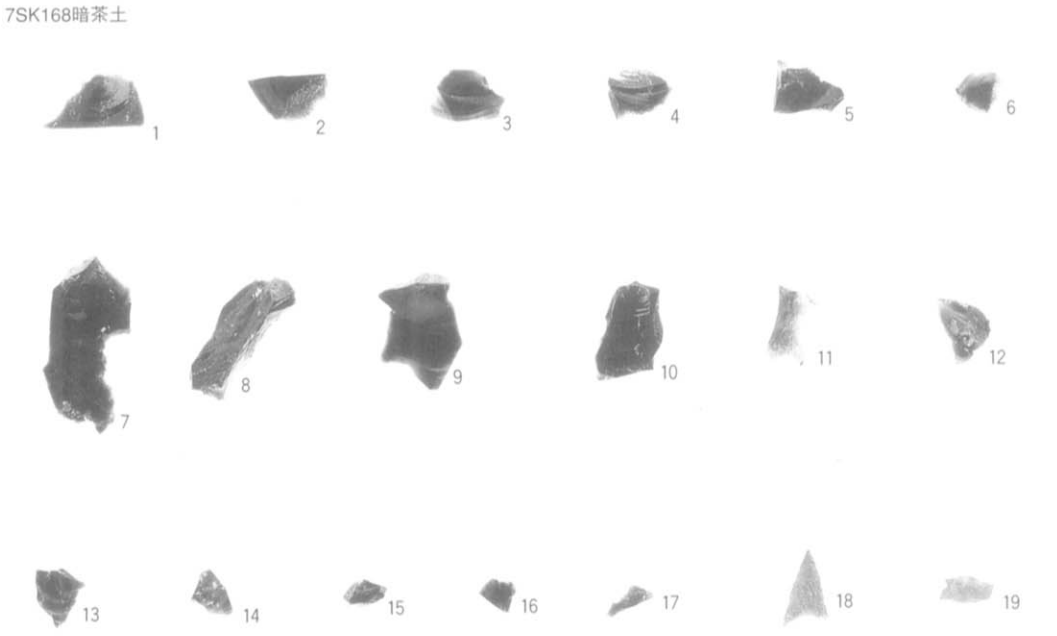
7SK168



2　前7SK168



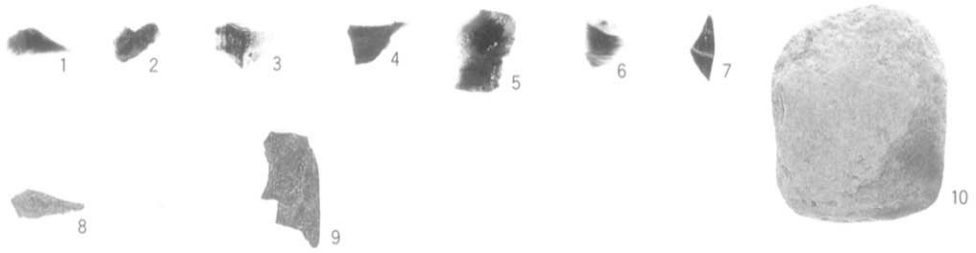
1　前7SK168茶粘　黒粘　茶褐土



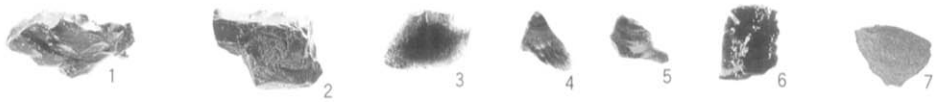
2　前7SK168暗茶土

図版76

7SK168黒粘



7SK168茶褐土

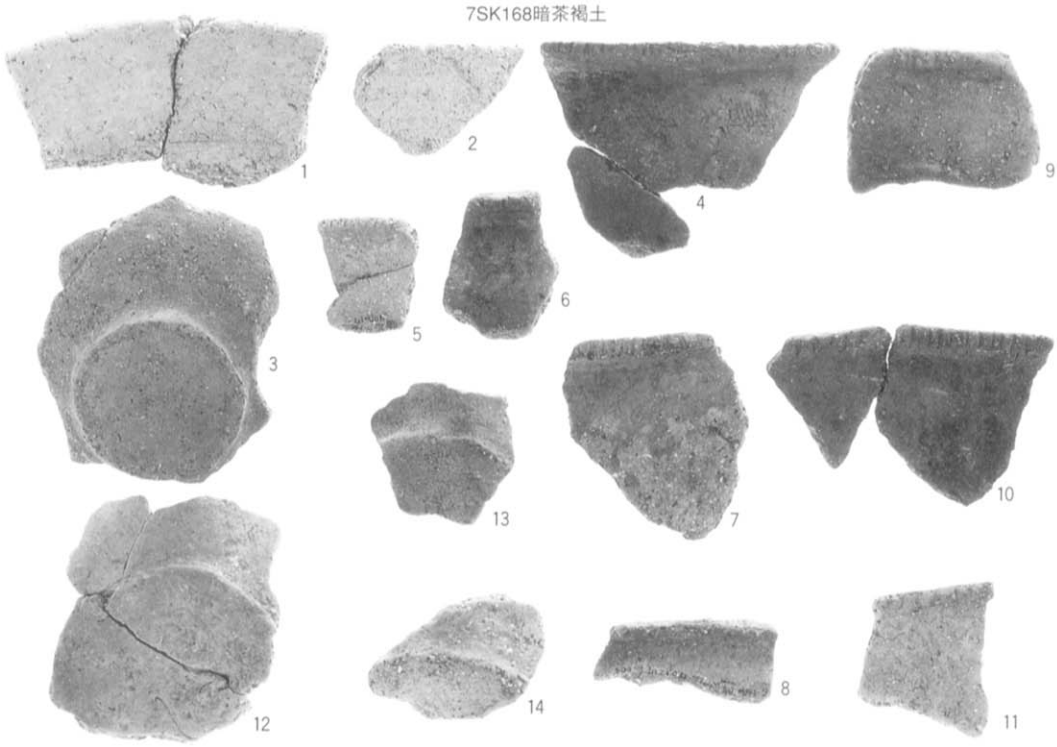


1　前7SK168黒粘　茶褐土

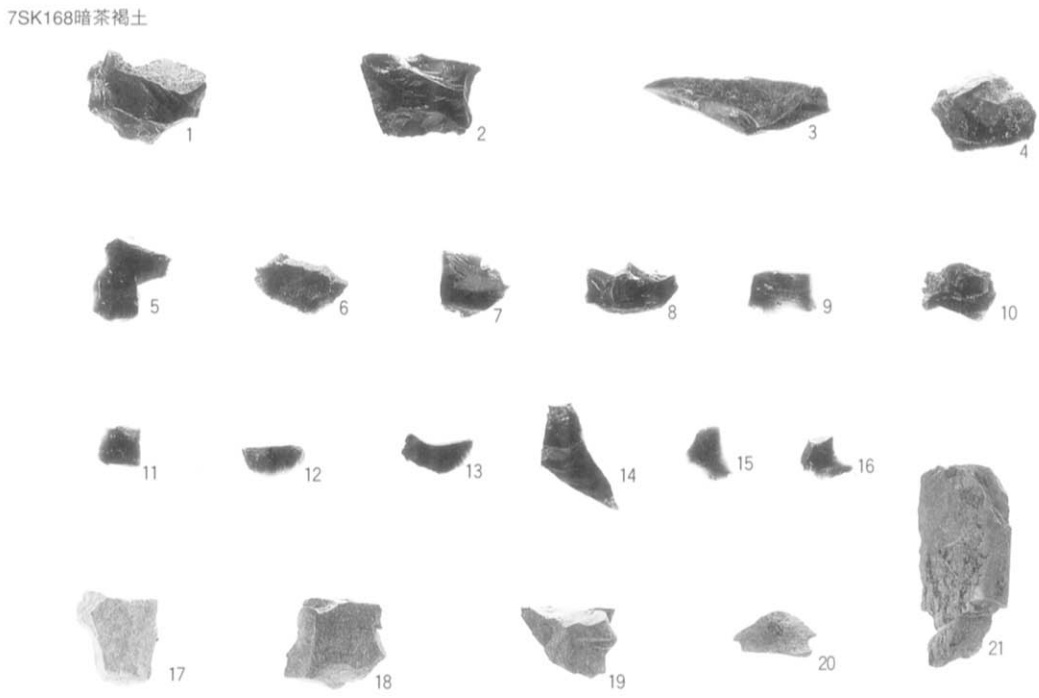
7SK168暗茶粘



1　前7SK168暗茶粘

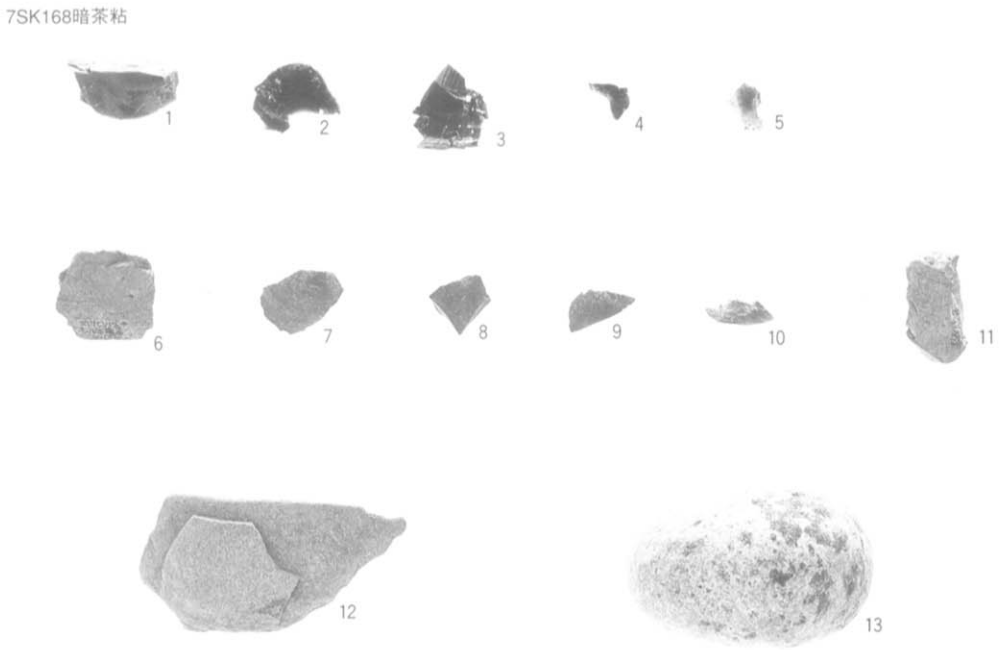


1　前7SK168暗茶褐土



2　前7SK168暗茶褐土

図版78

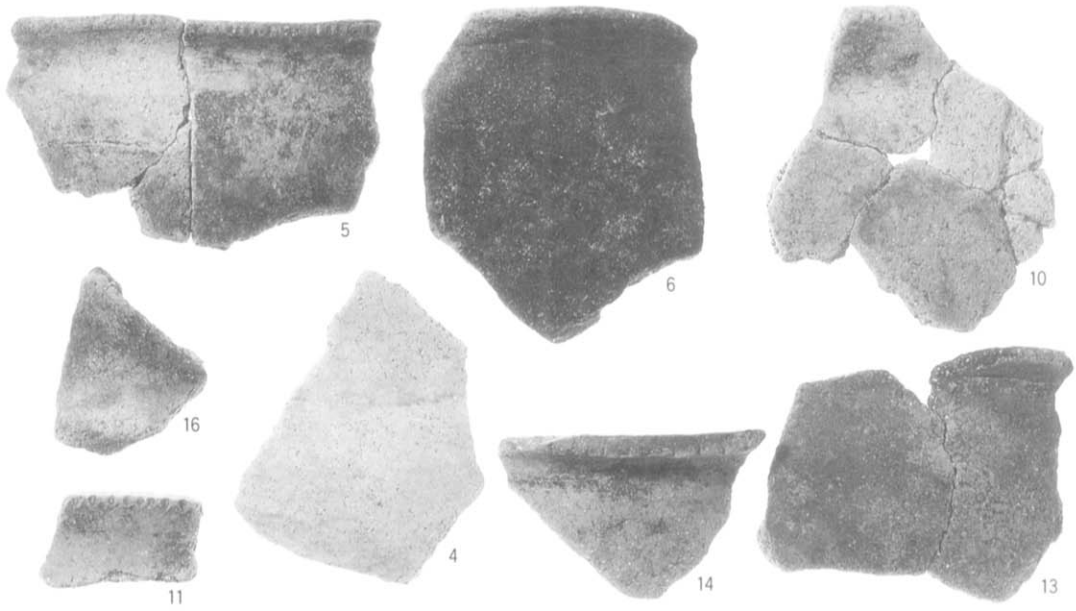


1　前7SK168暗茶粘



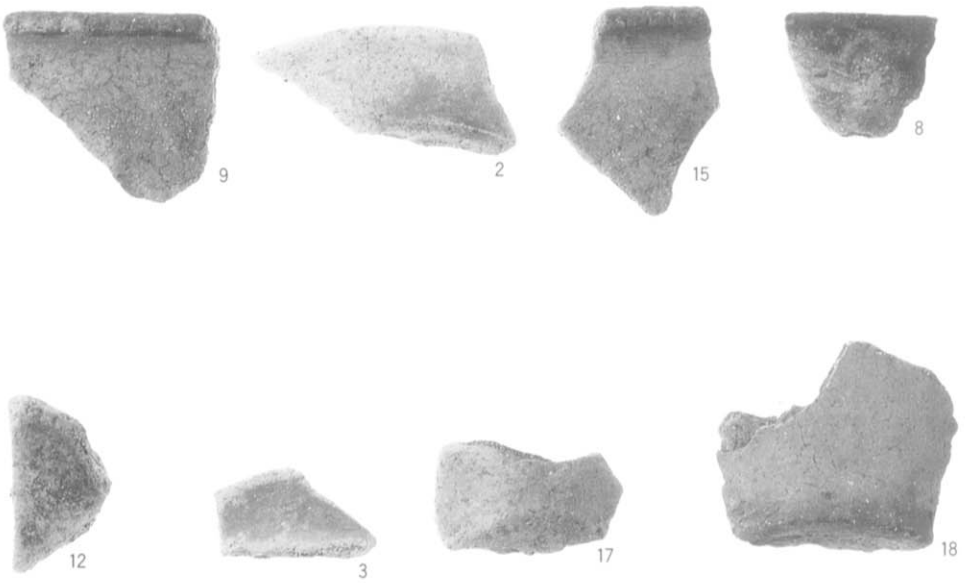
2　前7SX158　SK185　SK220暗茶褐土

7SK185



1　前7SK185

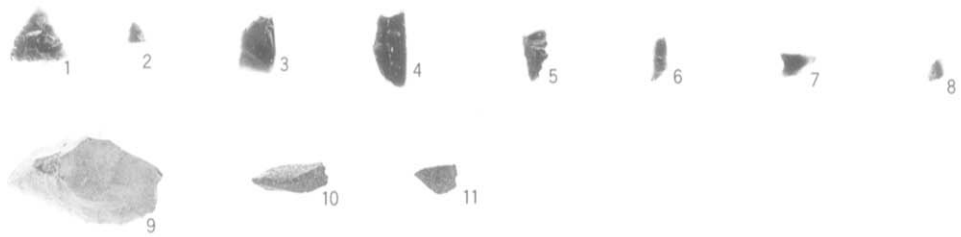
7SK185



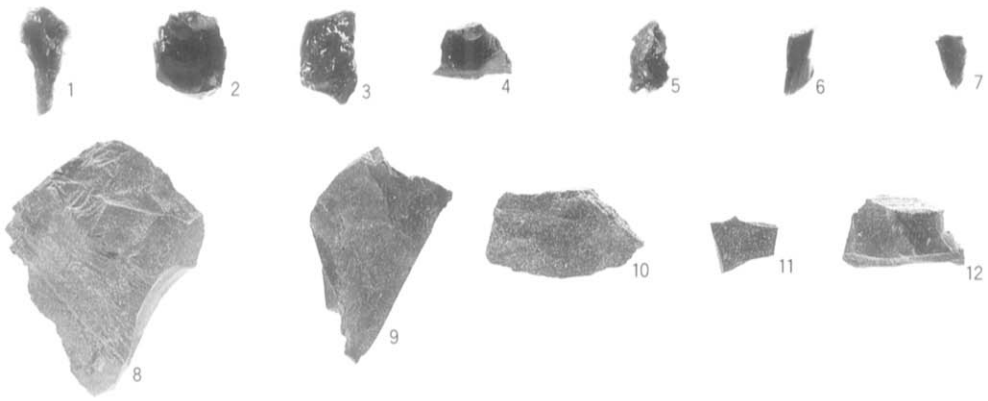
2　前7SK185

図版80

7SK172

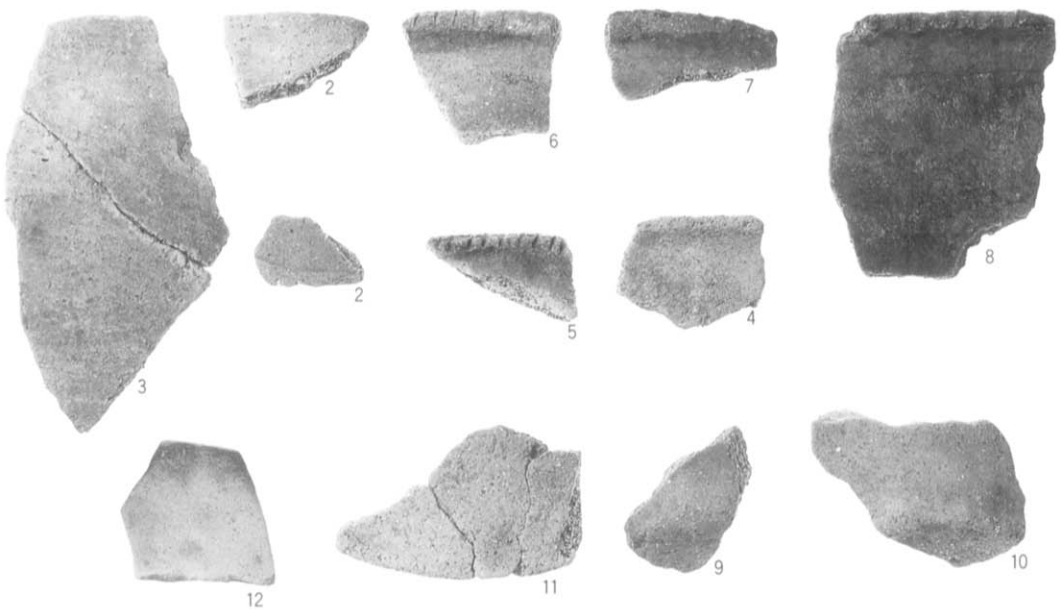


7SK185灰褐砂

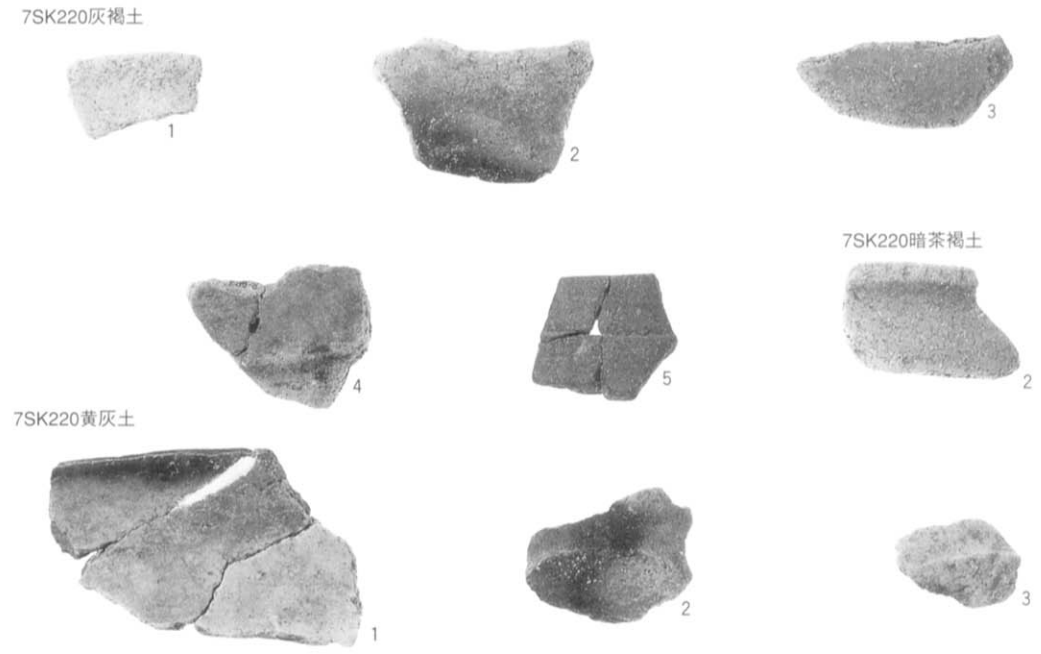


1　前7SK172 185灰褐砂

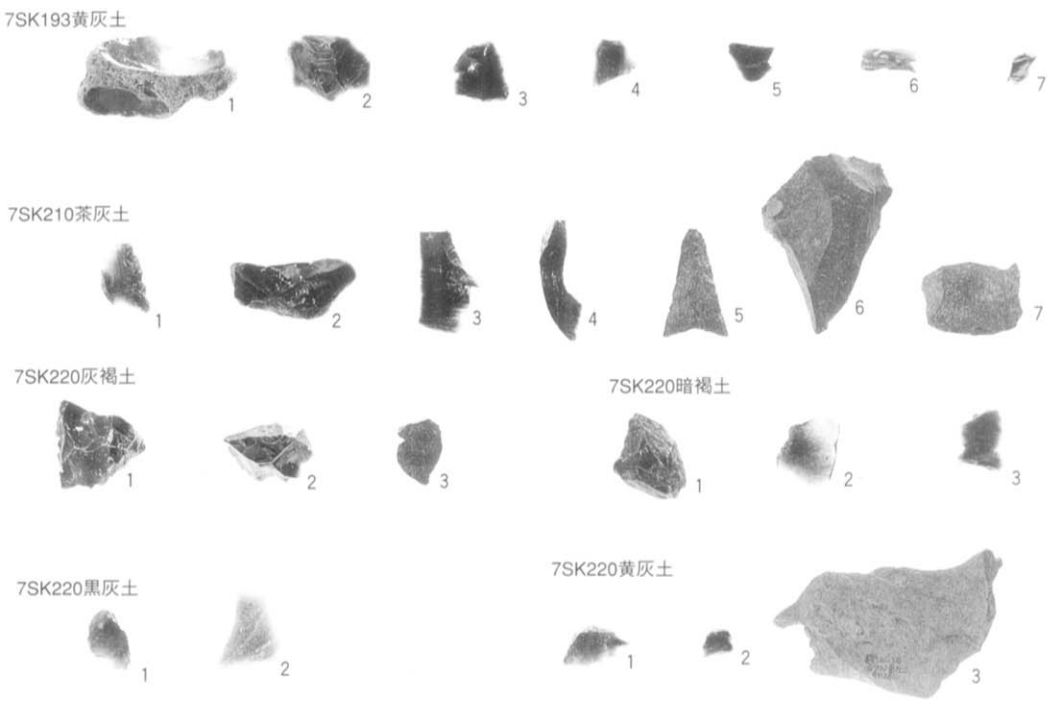
7SK210茶灰土



2　前7SK210茶灰土



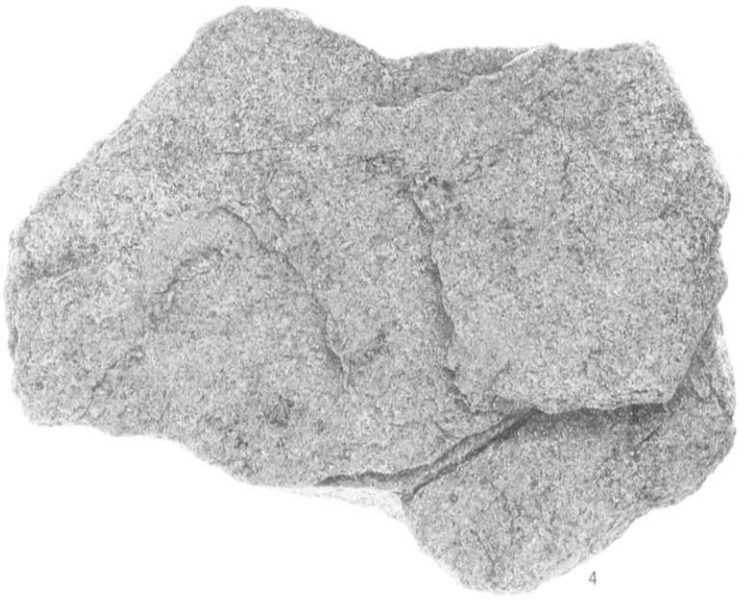
1　前7SK220灰褐土　暗茶褐土　黄灰土



2　前7SK193黄灰土　210茶灰土　220灰褐土　暗褐土　黒灰土　黄灰土

図版82

7SK220灰褐土



4

1　前7SK220灰褐土

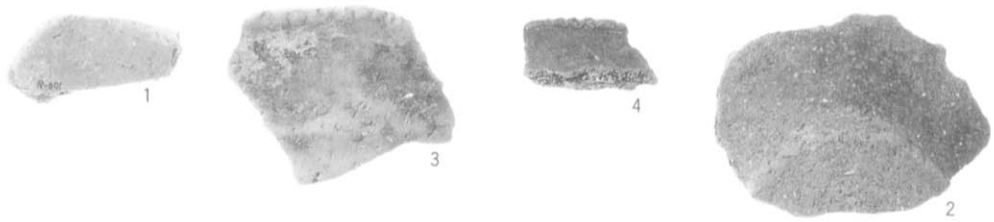
7SK220灰褐土



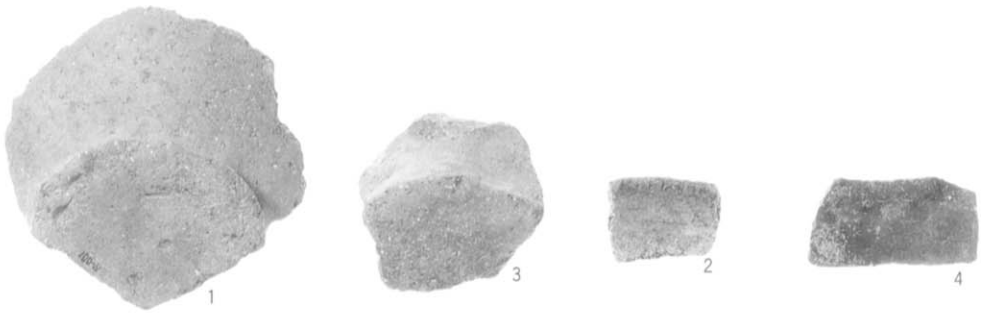
4

2　前7SK220灰褐土

7SK225黄土



7SK225淡灰砂



1　前7SK225黄土　淡灰砂

7SK225黄土

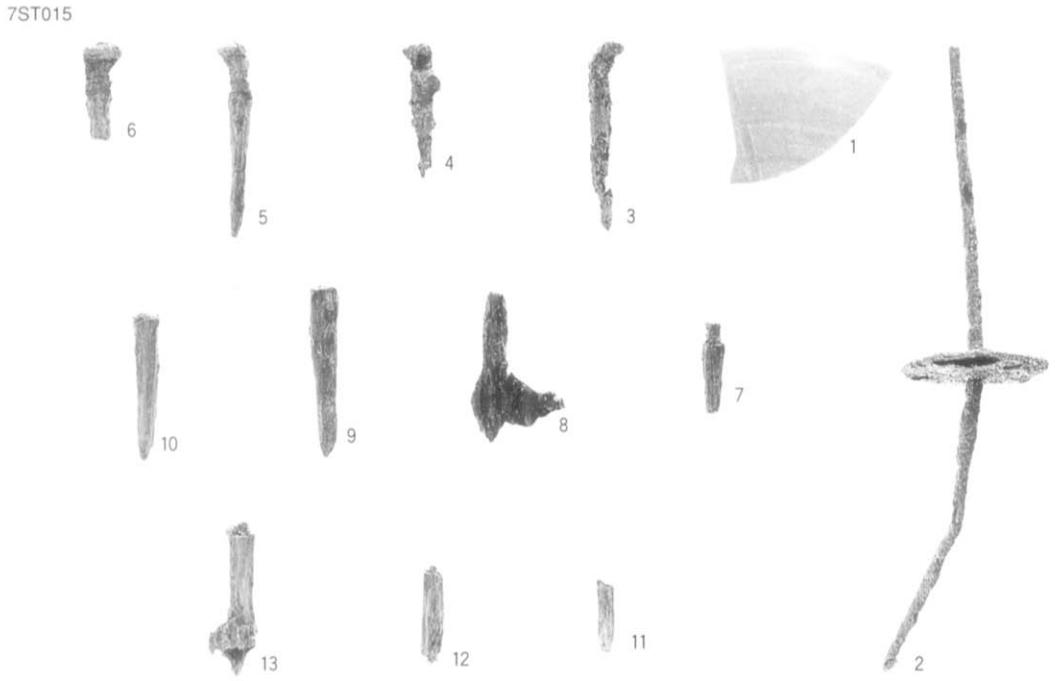


7SK225淡灰砂

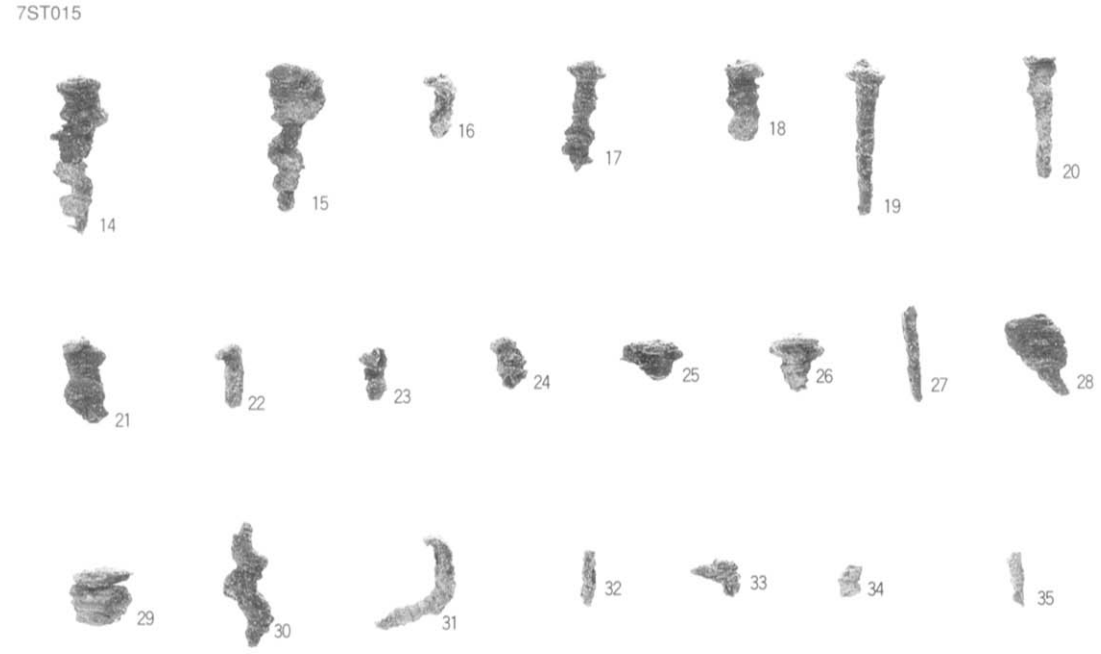


2　前7SK225黄土　淡灰砂

図版84



1　前7ST015



2　前7ST015

7ST020





7ST165



1　前7ST020.165

7SD095黒灰土



7SD001



7SK105暗茶褐土



7SK141黒灰粘



7SK144



7SX134



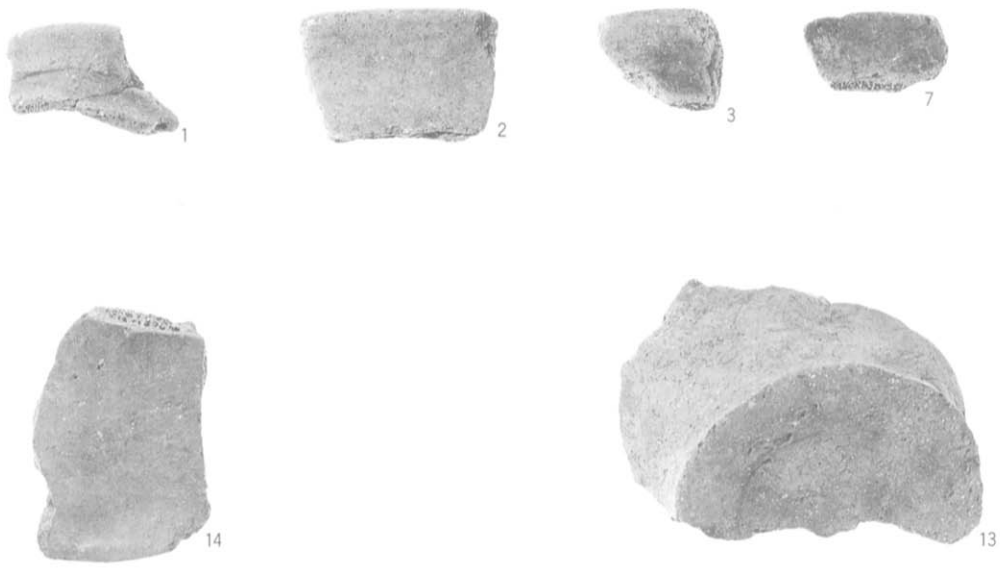
7灰色土



2　前7出土金属製品

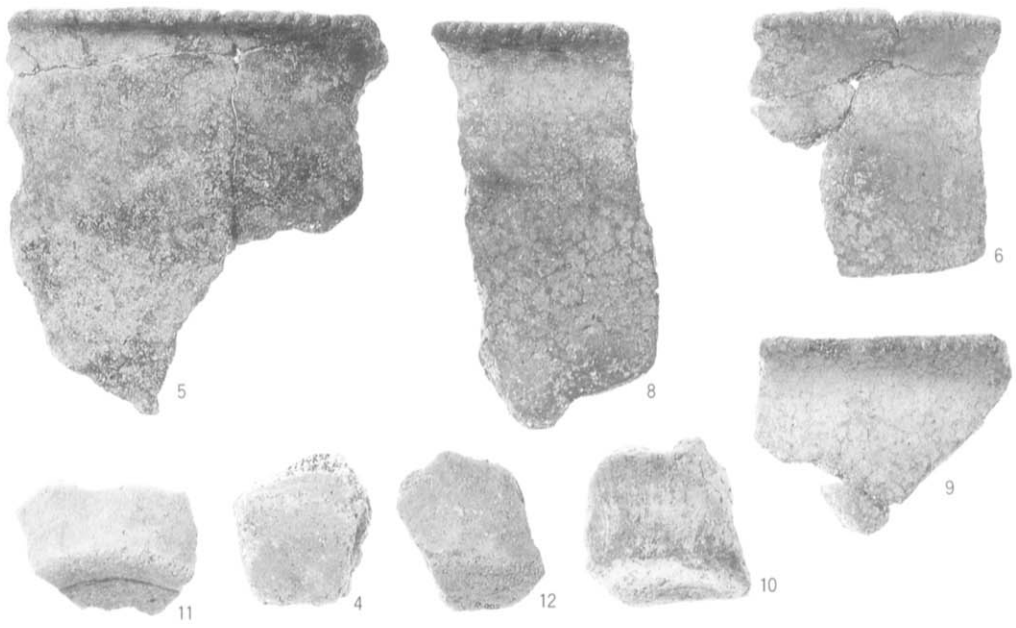
図版86

7SX003淡茶灰土



1　前7SX003淡茶灰土

7SX003淡茶灰土



2　前7SX003淡茶灰土

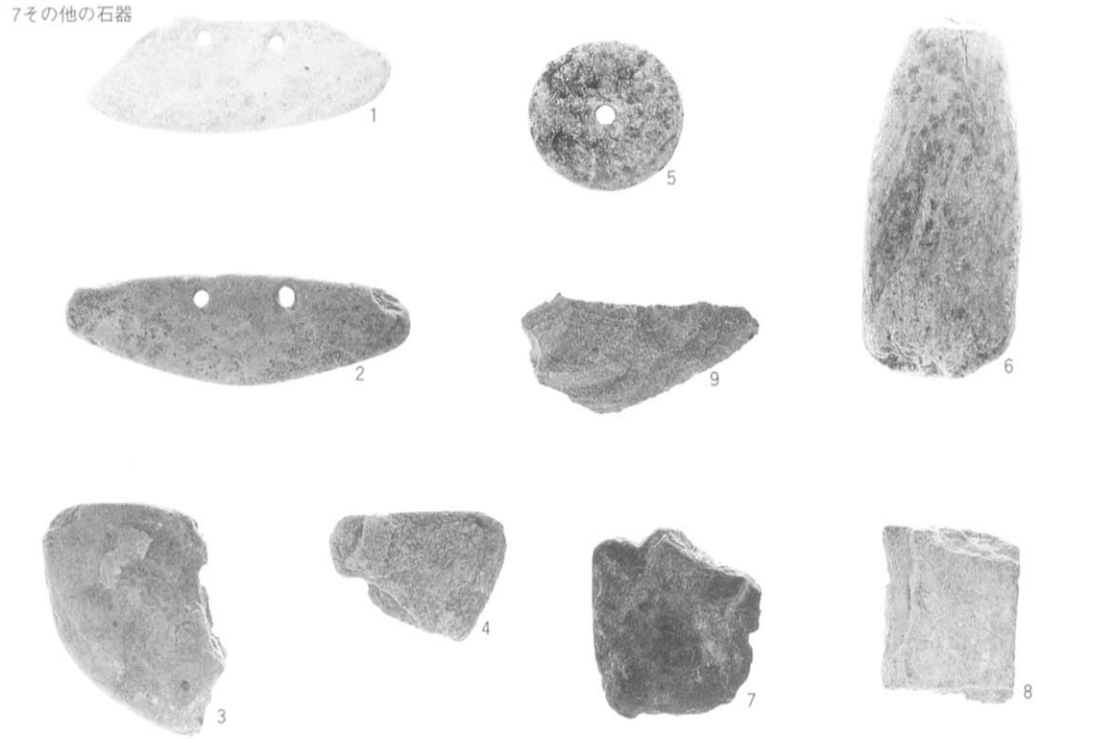


1　前7SX048暗褐土　187茶灰土　204　217

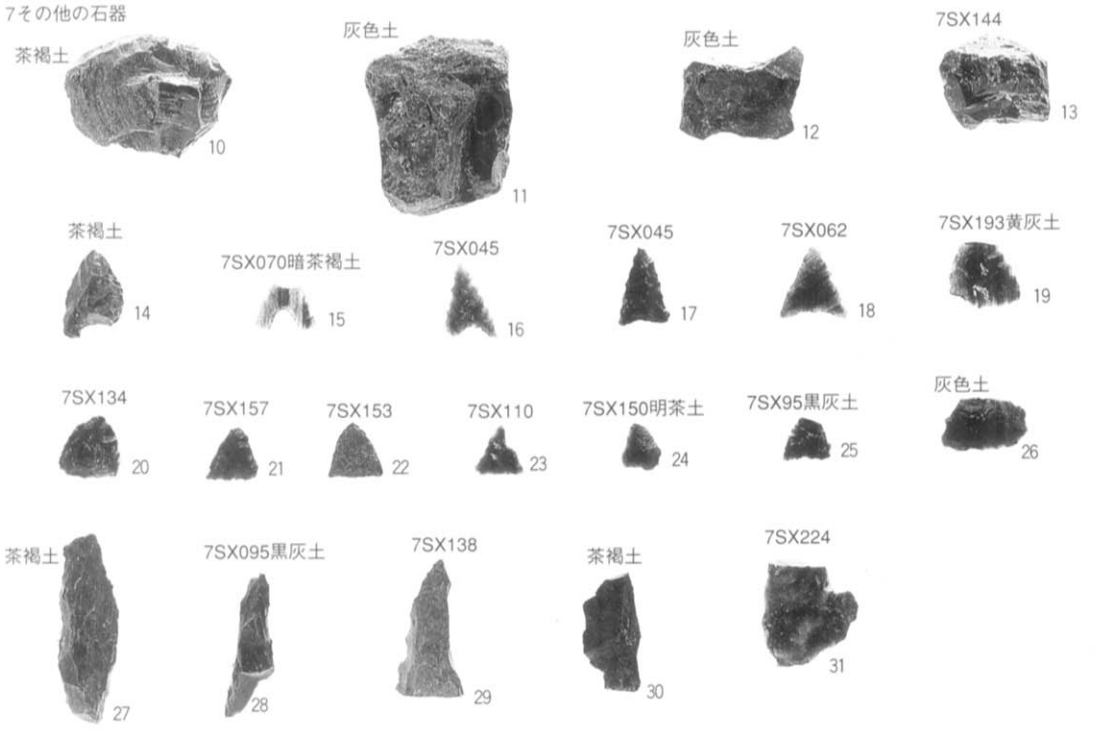


2　前7SX045　SD047　095　SK144

図版88



1　その他の石器

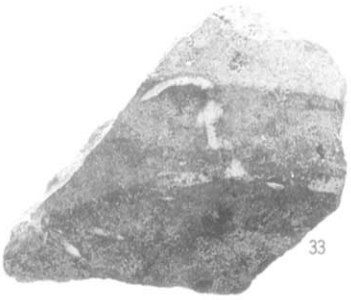


2　その他の石器

7その他の石器



32



33

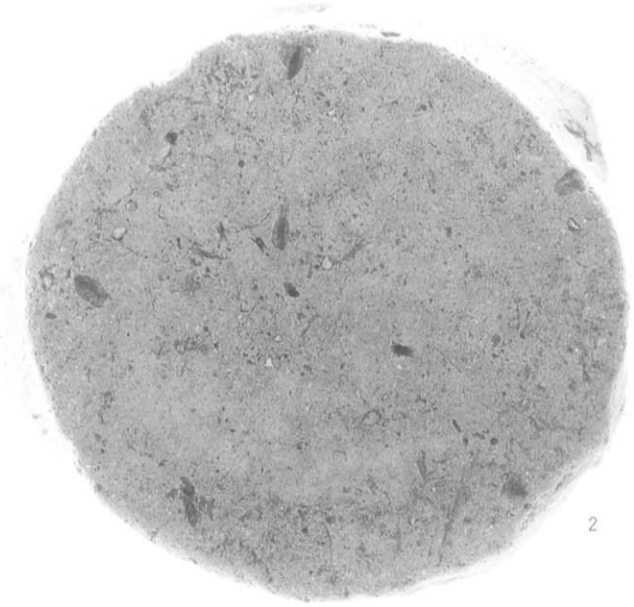


35

34

1　その他の石器

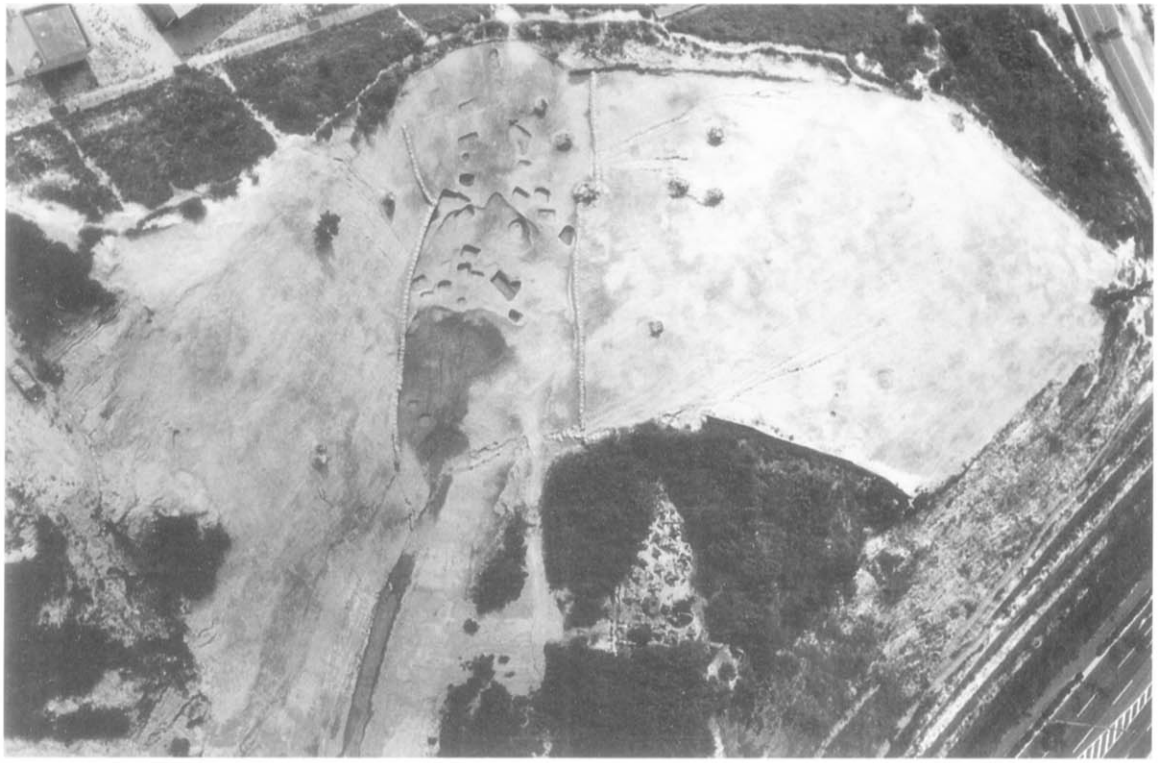
7SK068暗黄褐土
籾痕跡



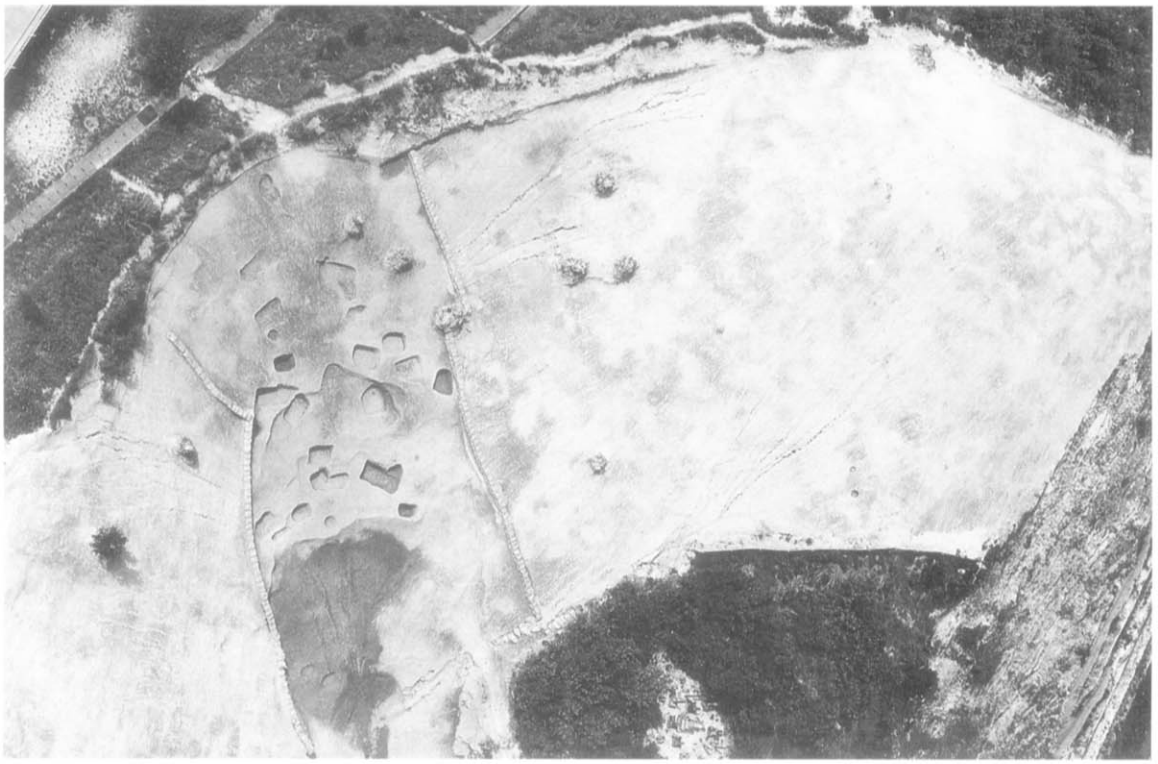
2

2　弥生前期甕底に残る籾殻の痕跡

図版90



宮ノ本遺跡第９次調査全景（上が西）



宮ノ本遺跡第９次調査区全景（上が西）

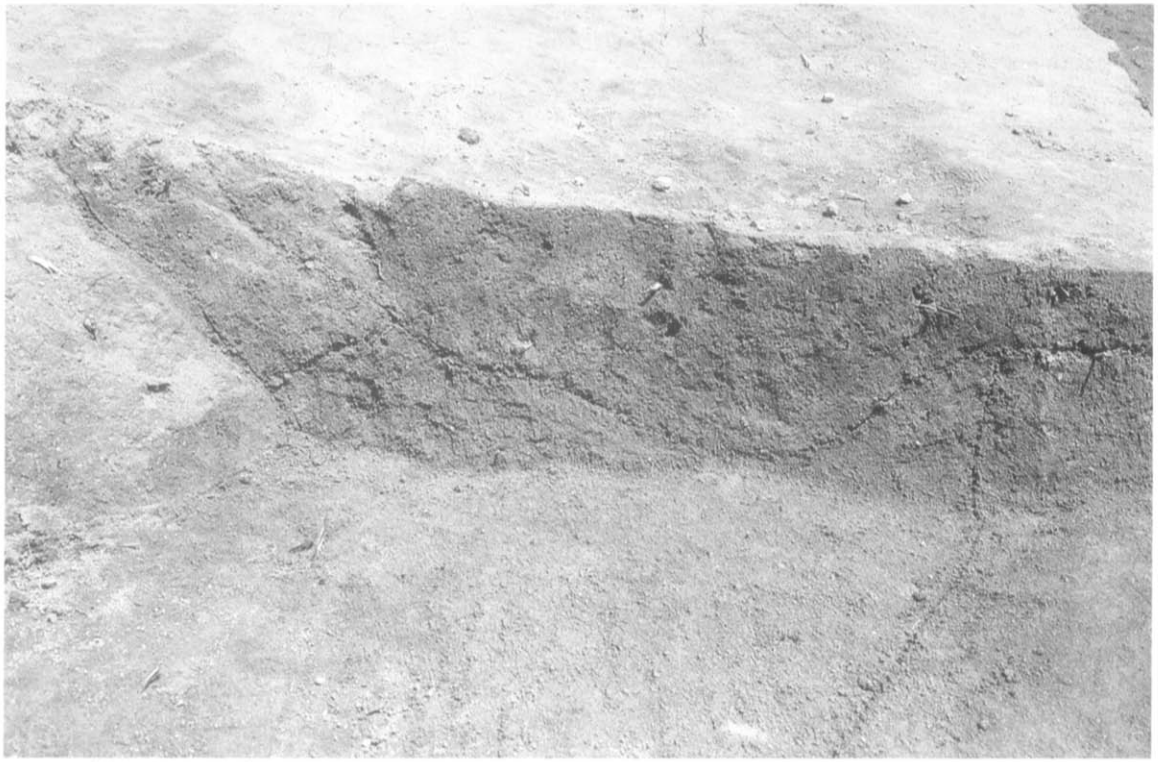


宮ノ本遺跡第９次調査全景（西から大宰府条坊方向をのぞむ）

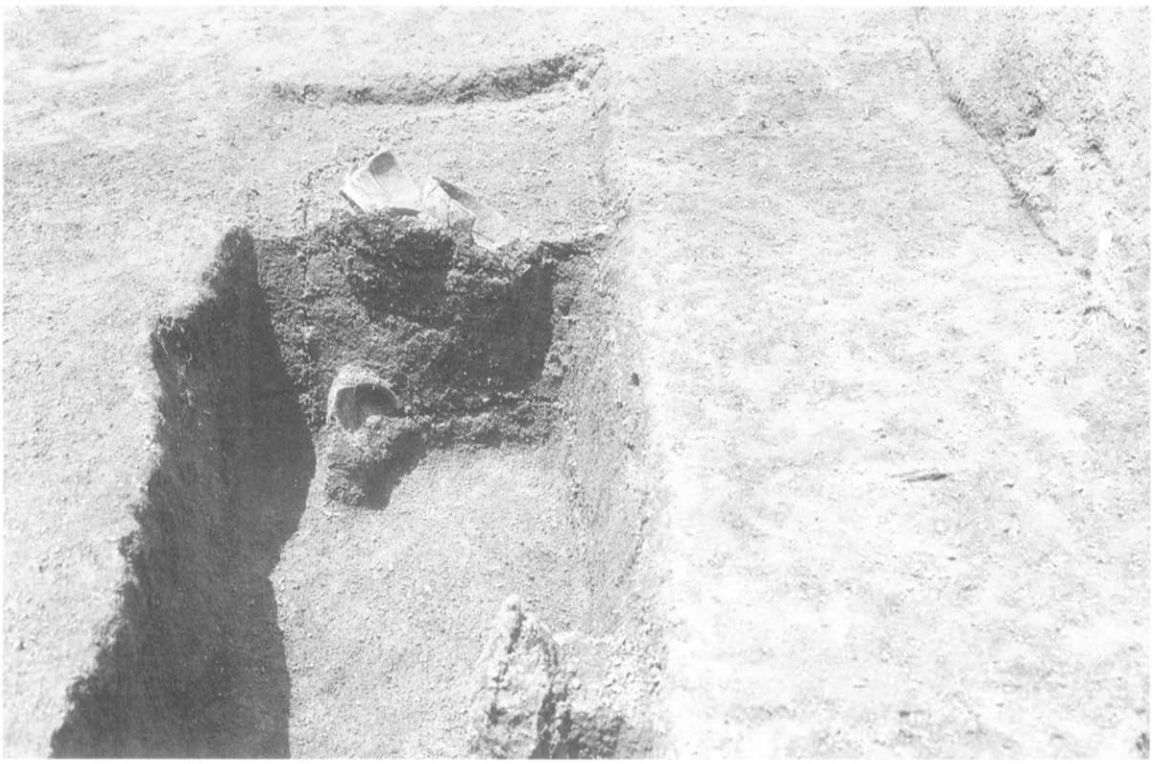


宮ノ本遺跡第９次調査全景（東から丘陵方向をのぞむ）

図版92



9ST014検出時土層堆積状況（南から）



9ST014黒色土器検出状況（北から）



9ST014土層堆積状況（東から）

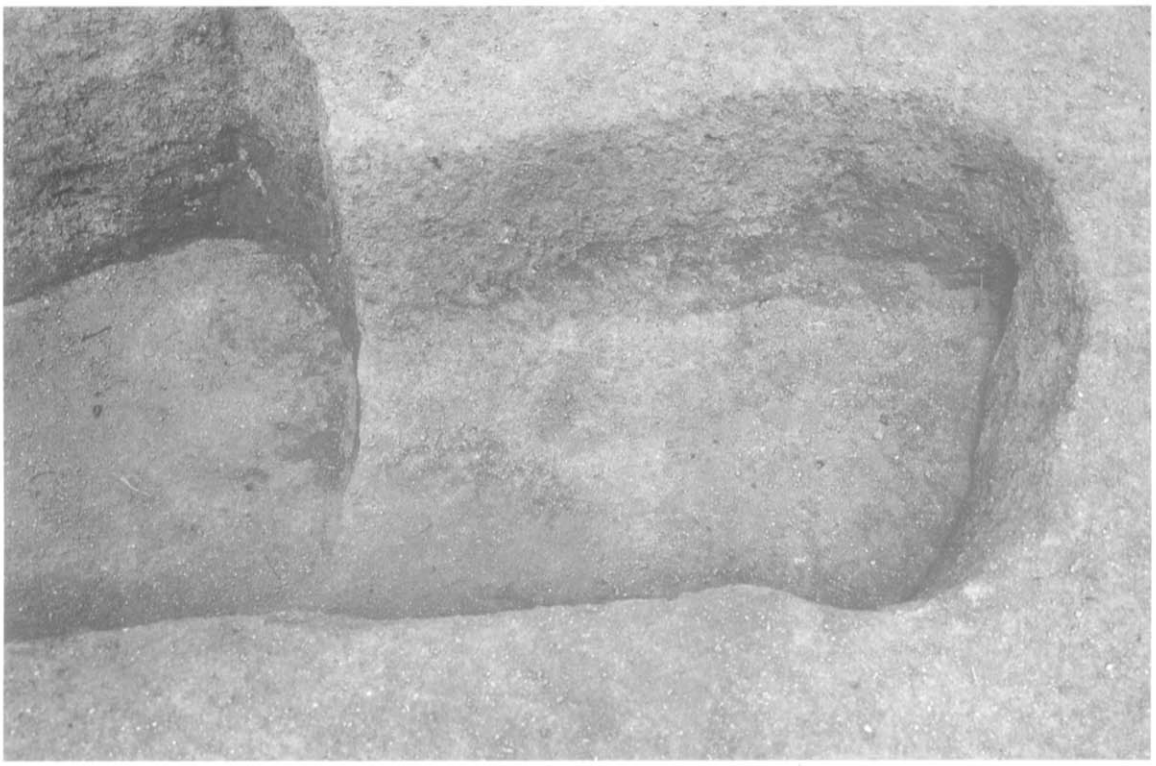


9ST014遺物検出状況（東から）

図版94



9ST016遺物検出状況（東から）



9ST016完掘状況（東から）



9ST020・030検出状況（南から）



9ST020検出状況（南から）

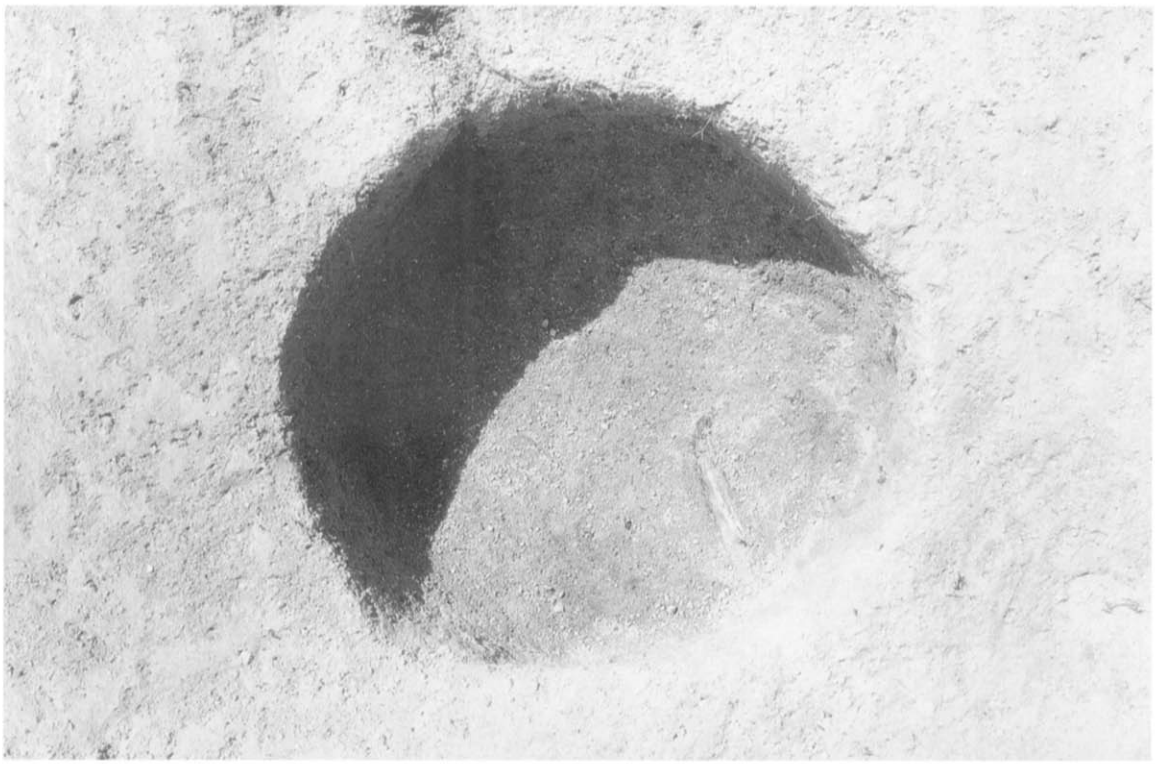
図版96



9ST020土層断面（西から）



9ST020蔵骨器設置状況（南東から）



9ST020完掘状況（南から）

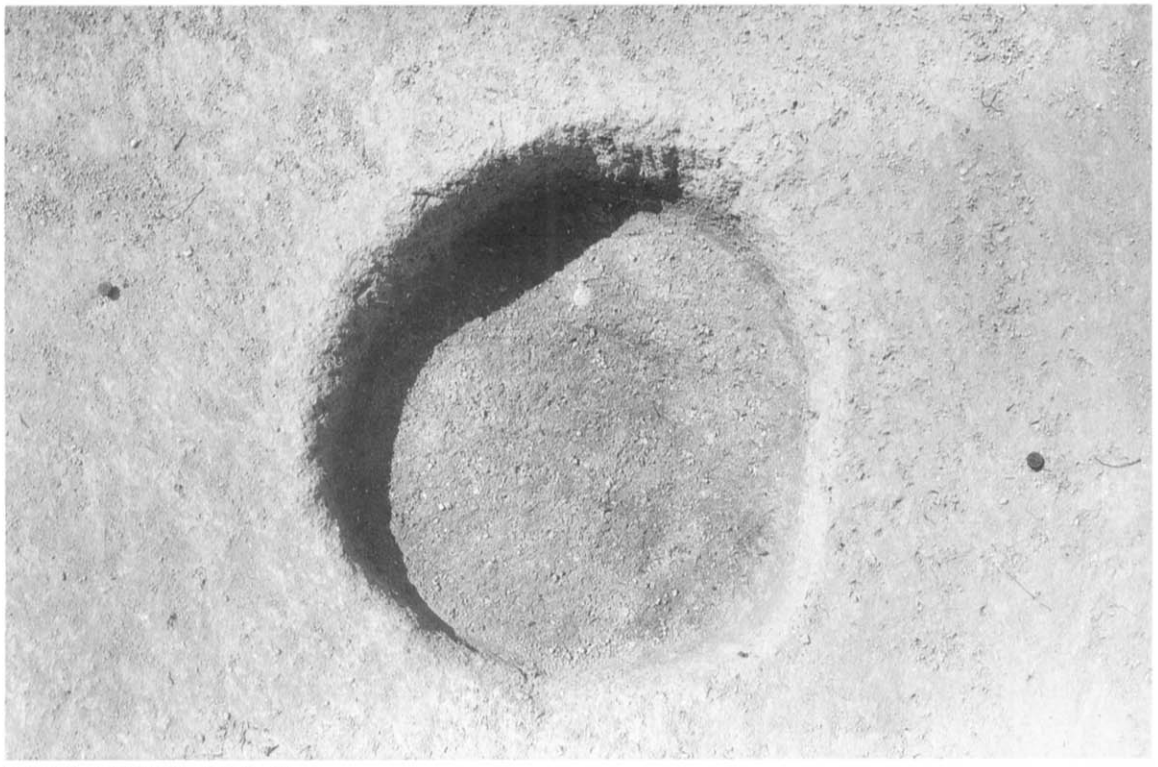


9ST030検出状況（南から）

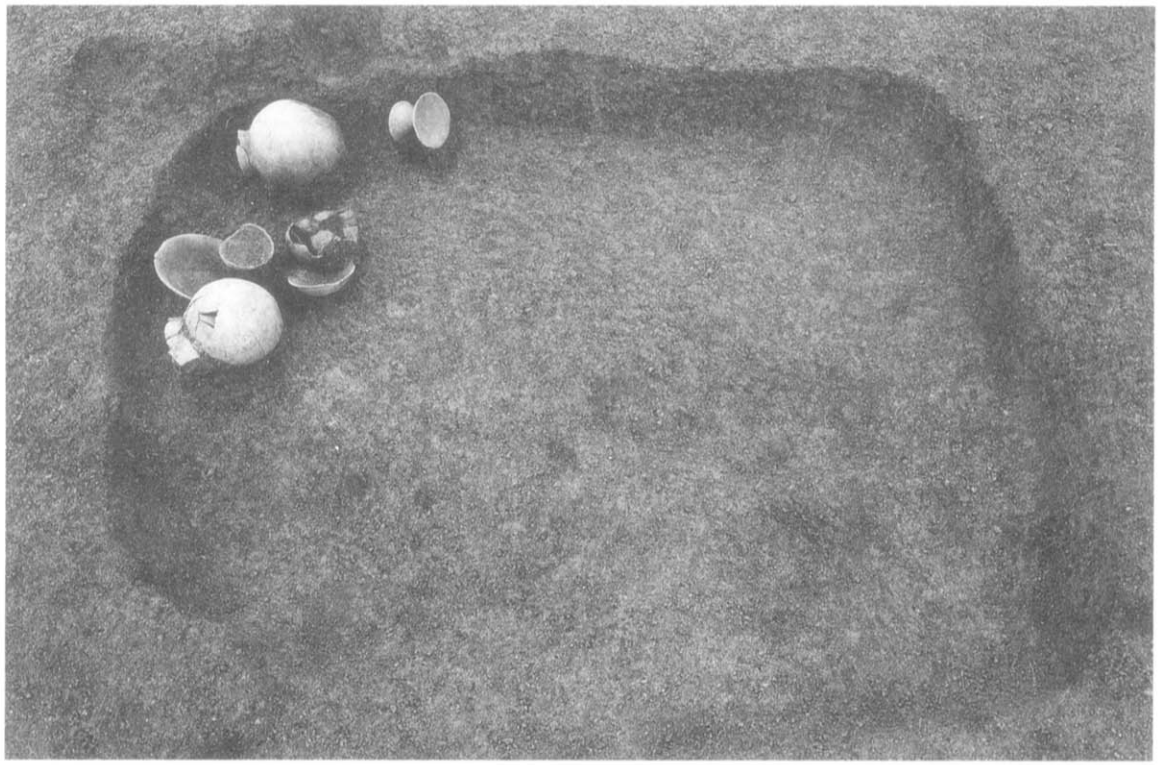
図版98



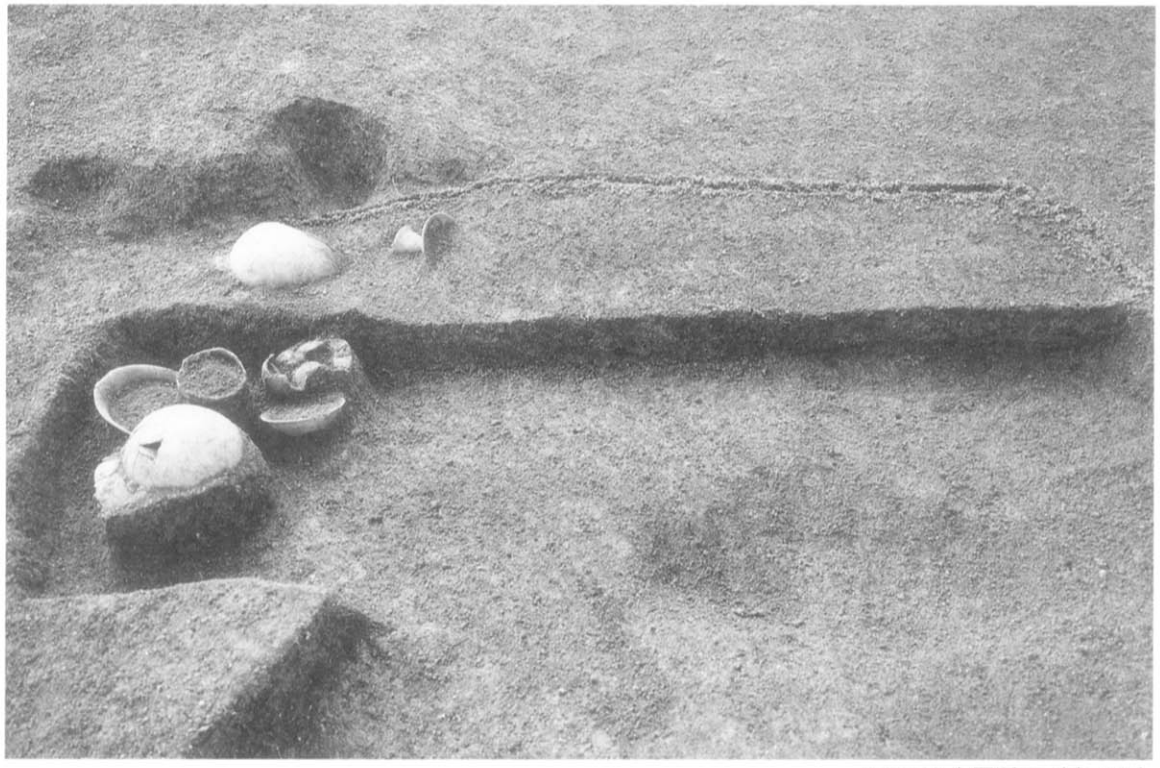
9ST030土層断面（西から）



9ST030完掘状況（南から）



9SX005遺物検出状況（東から）

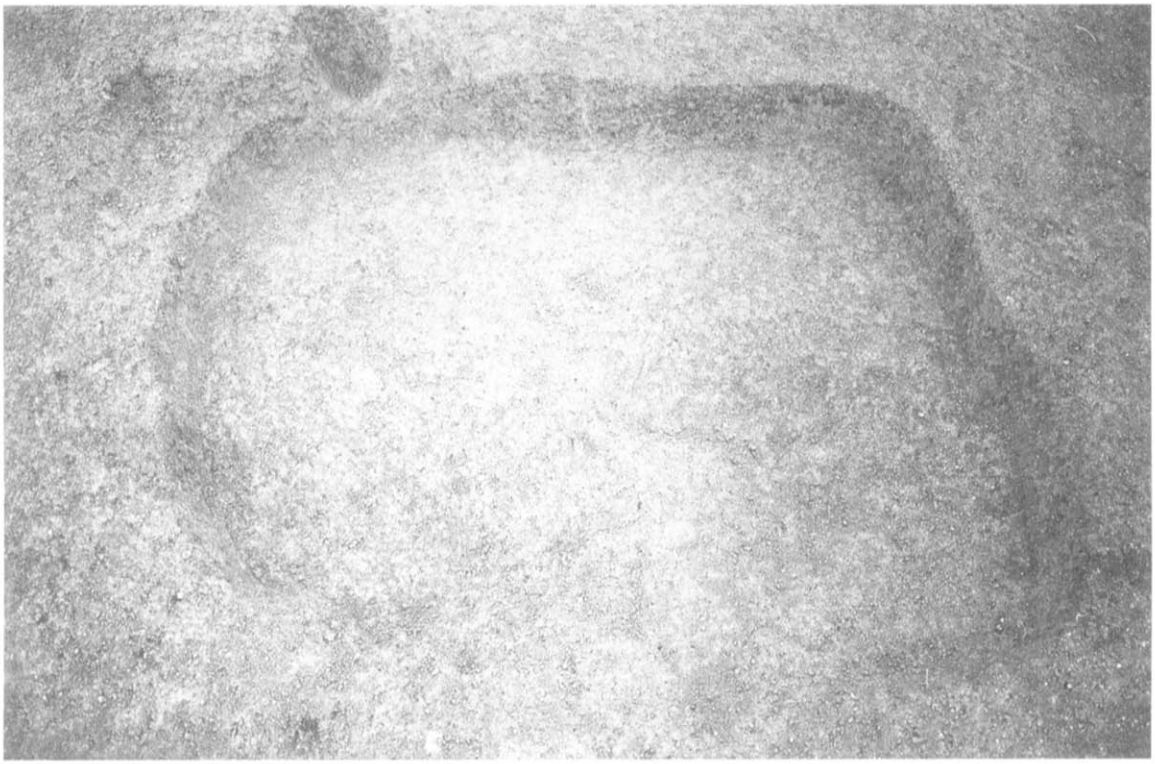


9SX005土層断面（東から）

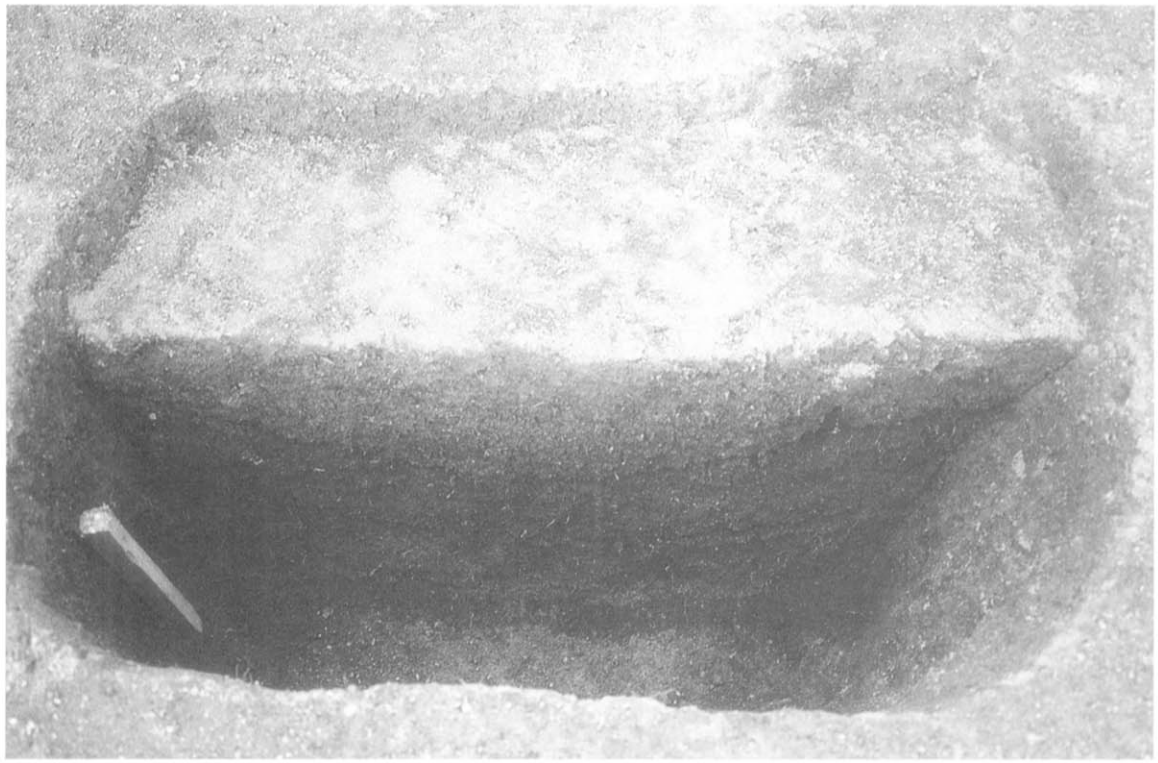
図版100



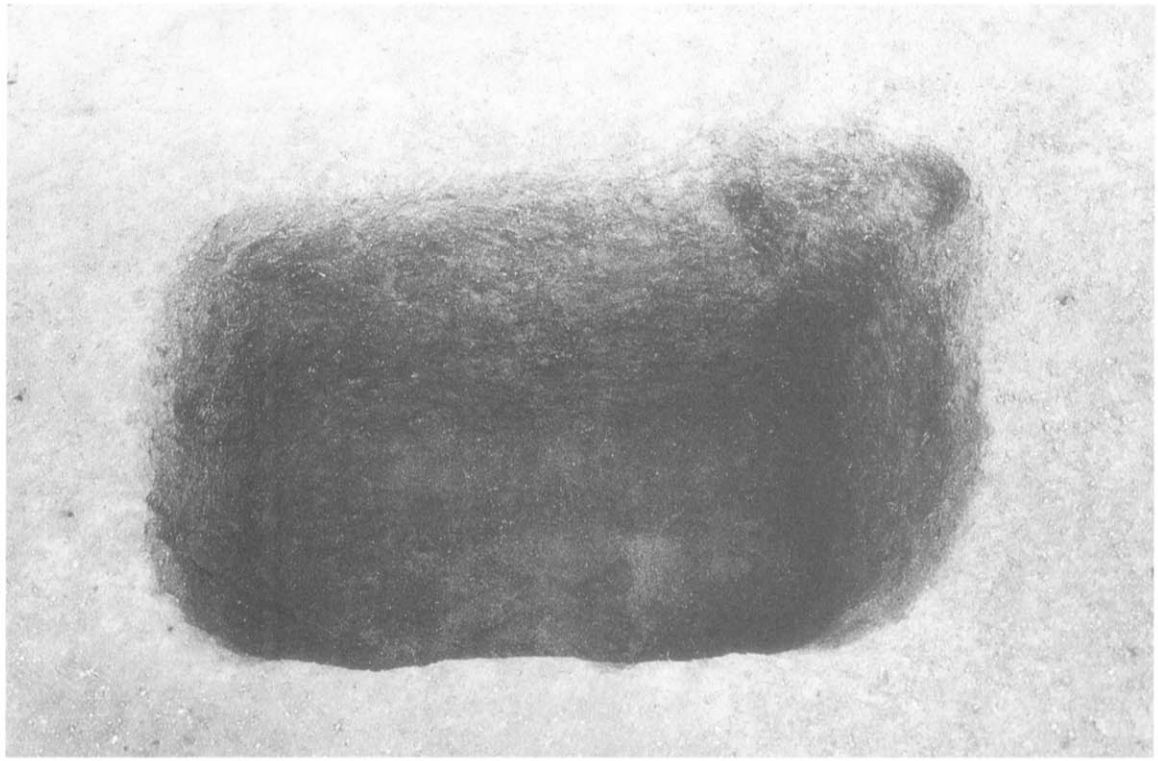
9SX005土層断面（北から）



9SX005完掘状況（東から）



9SX017土層断面（東から）

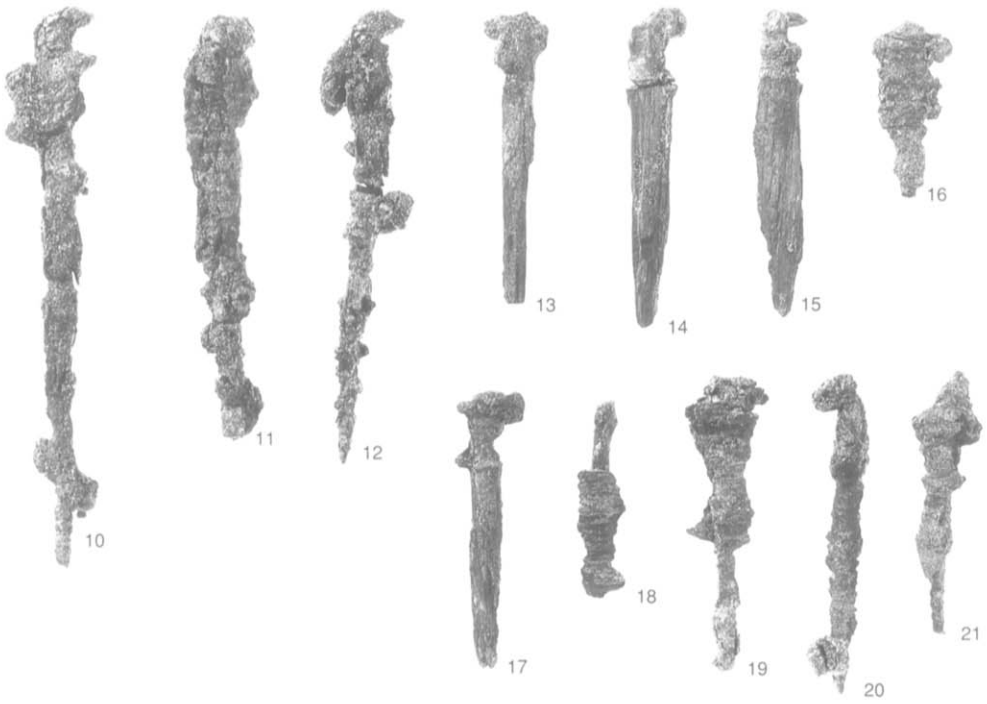


9SX017完掘状況（東から）

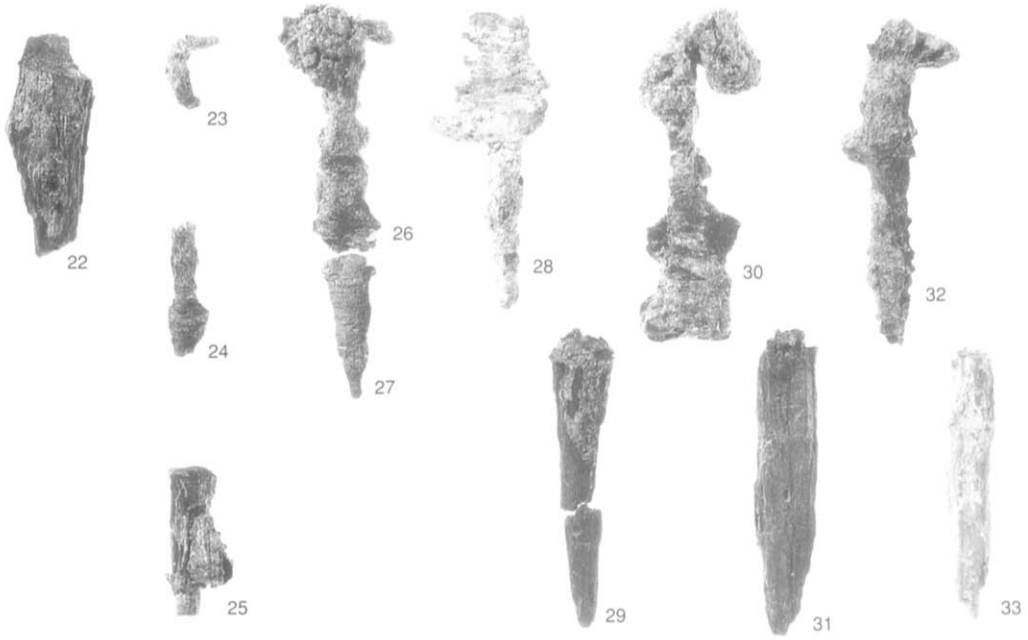
図版102



9ST014出土土器



9ST014出土鉄釘（1）



9ST014出土鉄釘（2）

9ST014



図版104

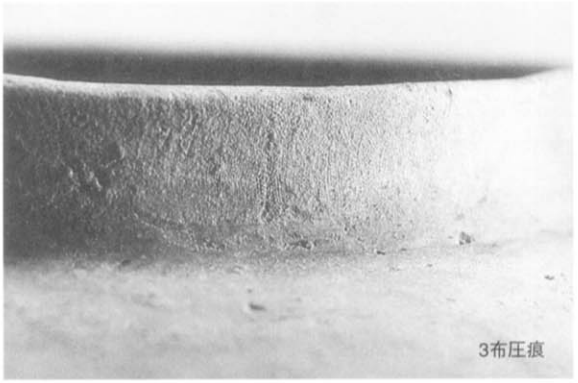

7


2


3

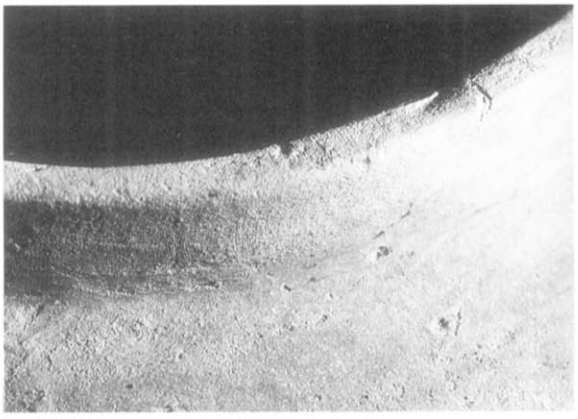

8


9


3布圧痕

9ST016


1



9ST020


1


4

9ST020



3内遺物



3内火葬骨

図版106

9ST030



9SX005



9SX005


1


2


3


4


6


7


8

図版108

9SX005



9



4



5



6

灰褐色土



1

明褐色土



2



7



3



8

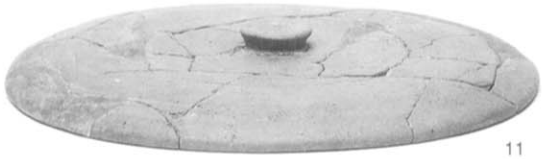
明褐色土


9


16

明黄色土


17


11

表面採集


12


1


13


2

明灰褐色土


14


3


15

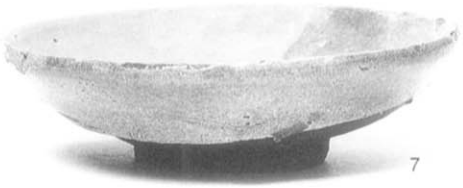

5

図版110

表面採集



6



7



8

石製品



1







2

太宰府・佐野地区遺跡群 VIII

太宰府市の文化財　第39集

佐野地区土地区画整理事業に伴う調査

前田遺跡7次　宮ノ本遺跡9次

1998年3月

編集　太宰府市教育委員会

太宰府市観世音寺1-1-1

印刷　大道印刷株式会社

春日市日の出町6-23

-46,000

-46,400

56,100

56,000

9次

10次

5次

4次

2次

7次

3次

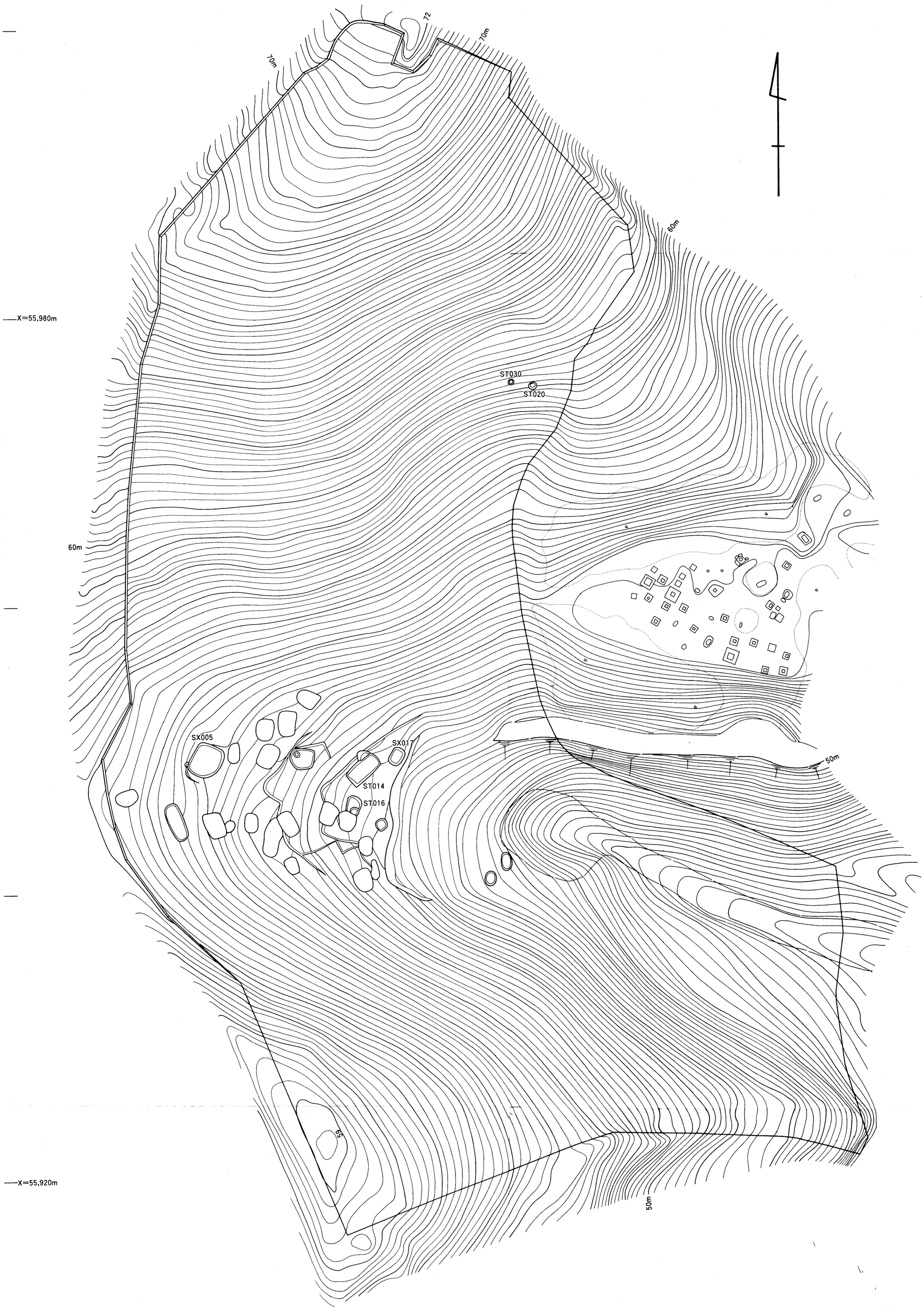
11次

1次

6次

付図1　前田遺跡全体図（1/500）

『太宰府佐野地区遺跡群Ⅷ』1998太宰府市教育委員会



付図2　宮ノ本遺跡第9次調査　調査区全体図(1/200)
『太宰府佐野地区遺跡群Ⅷ』1998太宰府市教育委員会